

青森市埋蔵文化財調査報告書 第 集

<sup>いな</sup> 稲 <sup>やま</sup> 山 遺 跡

発掘調査報告書

( 第一分冊 本文編 )

平成 年度

青森市教育委員会





第 号竖穴式住居跡 ( N )



第 号配石遺構 ( SE )



第 号土坑 ( S E )



狩獵文土器、動物形土製品

## 序

青森市内では、ヶ所を超える多数の遺跡が確認されており、近年では、これまで大規模な調査例の少なかった東部地区においても県新総合運動公園建設事業に係る調査等、多くの発掘調査が実施されております。

当委員会においても、東北縦貫自動車道八戸線建設に係る市内諏訪沢地区所在の稲山遺跡について、その記録保存を図るため、これまで平成年度より平成年度まで四次にわたる発掘調査を実施しており、本書は第三次にあたる平成年度に実施した発掘調査の成果をまとめたものであります。

当該年度の調査では、遺構、遺物の密集区東側の調査を実施しており、調査の結果これまでの西側の調査と同様、竪穴式住居跡、土坑、配石遺構等を検出し、また、土器、石器等の遺物もこれまでの調査と同様、多数が出土いたしております。

本書が、今後の埋蔵文化財の保護並びに活用にささやかなりとも役立つことができれば幸いと存じます。

最後となりましたが、調査の実施から本書の作成にわたる、調査員、関係各機関並びに各位からのご指導、地元各町会からのご協力、さらに工事主体者であります日本道路公団並びに青森市都市整備部のご理解に対しまして、厚くお礼申し上げます。

平成 年 3 月

青森市教育委員会

教育長 角 田 詮 二 郎



## 例 言

1. 本書は、日本道路公団並びに青森市都市政策部（現 青森市都市整備部）より委託を受け青森市教育委員会が平成 年度より実施している東北縦貫自動車道八戸線（青森～青森）建設事業並びに高規格道路建設促進事業に係る青森市大字諏訪沢字山辺に所在する稲山遺跡の、第三次調査に相当する平成 年度調査の発掘調査報告書である。
2. 稲山遺跡の現地調査は、これまで平成 ～ 年度に四次にわたり実施しており、平成 年度には、整理・報告書刊行作業を実施した。なお、平成 年度以降に第五次調査を予定している。
3. 第一次、第二次調査である平成 、 年度調査については、これまで平成 年度に「稲山遺跡発掘調査報告書」（第1～4編）、平成 年度に「稲山遺跡発掘調査報告書」（第5編）として刊行しており、本書の構成もこれらに引き続き「第6編 平成 年度発掘調査成果」とした。第一分冊は、本文編、第二分冊は、表・写真図版編である。なお、平成 年度刊行の「稲山遺跡発掘調査概報」は、平成 年度調査成果について速報的にまとめたものであり、記載内容については、本書が優先する。
4. 本遺跡の遺跡番号は、 である。
5. 本書の執筆並びに編集は、青森市教育委員会が行った。小野貴之が担当した。
6. 出土遺物の分類については、種別毎に凡例に記載した。
7. 調査区におけるグリッドの設定、測量原点（B・M）基本層序については、第一次調査に相当する平成 年度発掘調査を踏襲し、これと同様である。また、土層の注記については、「新版標準土色帳」（小山正忠、竹原秀雄）に準拠した。なお、各遺構の計測値については、確認面から計測した数値である。
8. 遺構番号は、第一次調査より継続して、原則的に遺構の種別毎に、確認順に番号を付した。また、精査後、遺構でないことが判明したものについては欠番とした。
9. 図版番号及び表番号は、原則的に「第 図」、「第 表」とし、順番に通し番号を付した。
  - ・挿図の縮尺は、各図ごとに示した。また、写真図版の縮尺については統一を図っていない。
  - ・資料の鑑定及び分析について次の方々に依頼した。（順不同・敬称略）

石器の石質鑑定	青森県総合学校教育センター指導主事	工藤 一 彌
水晶の鑑定	山梨学院大学教授	十 菱 駿 武
  - ・土器実測並びに石器実測及びそのトレースは、一部を次の業者に委託した。

土器の実測・トレース	アイシン精機株式会社文化財プロジェクト
石器の実測・トレース	株式会社シン技術コンサル
＃	株式会社アルカ
  - ・発掘調査における出土遺物、実測図、写真等は、現在、青森市教育委員会にて保管している。
  - ・発掘調査及び報告書の作成にあたって次の各機関・各氏からご指導・ご協力を賜った。記して感謝の意を表する（順不同・敬称略）

青森県教育庁文化財保護課・青森県埋蔵文化財調査センター・東部二区連合町会・諏訪沢地区農事振興会・財団法人山形県埋蔵文化財センター・山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館・稲野 裕介・岡田 康博・小笠原 雅行・葛城 和穂・川崎 利夫・齊藤 主税・佐野 一絵・鈴木 徹・高橋 潤・高橋 忠彦・竹田 純子・中島 友文・中村 哲也・成田 滋彦・秦 光次郎・林 謙作・平山 明寿

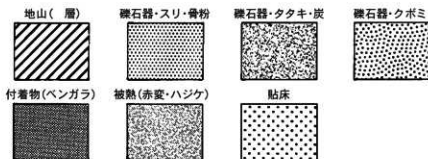




# 凡 例

1. 本報告書内で使用する、スクリーントーン・表現方法・略称は以下のとおりである。

(1) 図中で使用したスクリーントーン



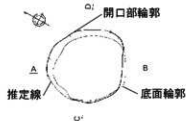
(2) 土器片利用土製品研磨範囲



(3) 石器実測図の剥片石器原礫面については、ドットを用いた。また、調査・整理時における欠損と思われる剥離面は、空白とした。

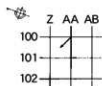
(4) 遺構の推定線等

(例) 第 〇号土坑



(5) グリッドの呼称

(例) AA - グリッド



(6) 図中、表中で使用した遺構の略称

「第〇号竪穴式住居跡」、「〇住」、「第〇号土坑」、「〇土」、「第 〇号埋設土器遺構」、「埋」、「第 〇号配石遺構」、「配」、「第 〇号溝状遺構」、「溝」、「第 〇号焼土遺構」、「焼」

(7) 図中で使用したアルファベットを用いた略称

P 土器 S 石器 LB ロームブロック

## 2. 出土遺物の分類

本遺跡の出土遺物の分類については、第一次調査である平成 年度調査時より継続するものであり、本書並びに今後刊行予定である本遺跡の調査報告書についても基本的には同様である。各種遺物の分類やその詳細については、青森市埋蔵文化財調査報告書第 集『稲山遺跡発掘調査報告書』（青森市教育委員会 ）において記述しており、第 集を参照されたい。

### (1) 出土土器の分類

本遺跡で出土した土器は以下のように分類した。

第 群土器	縄文時代早期の土器
第 群土器	縄文時代前期の土器
第 群土器	縄文時代中期の土器
第 群土器	縄文時代後期の土器
第 群土器	縄文時代晩期の土器
第 群土器	続縄文・弥生時代の土器
第 群土器	平安時代の土器

### (2) 出土石器の分類

本遺跡で出土した石器は以下のように分類した。

#### (1) 剥片石器

##### ・石鏃

##### 1 無茎

- (1) 凹基
- (2) 平基

##### 2 円・尖基

- (1) 円基
- (2) 尖基

##### 3 有茎

- (1) 凹基
- (2) 平基
- (3) 凸基

##### 4 その他の石鏃

##### 5 欠損品等で基部が無く、細分できないもの

##### 6 石鏃未製品

##### ・石槍

##### ・石槍（6 cm以上のもの）

- 1 幅広のもの
- 2 細長のもの
- 3 欠損品等で細分できないもの

・石錐

- 1 錐部のみ二次調整を行うもの
- 2 全体に二次調整を行うもの  
(1) つまみ部を有するもの  
(2) 直線的な棒状のもの
- 3 錐部の欠損品等で細分できないもの

・石匙

- 1 縦型
- 2 横型
- 3 欠損品等で細分できないもの

・大石平型石筥

・石筥

- 1 撮形を呈するもの
- 2 側縁が弧状のもの
- 3 側縁が直線的なもの
- 4 欠損品等で細分できないもの

・異形石器

・不定形石器

- 1 刃部の調整が一側縁の / 以上にわたるもの
  - A 側縁部だけに調整が施されるもの
  - B 端部だけに調整が施されるもの
  - C 側縁部及び端部に調整が施されるもの
  - D 尖頭状の刃部を有するもの
  - E 円形、楕円形の周囲に調整が施されるもの
  - F 定形石器の欠損品と思われるもの
  - G 挟入部をもつもの
  - H 鋸歯縁のもの
- 2 刃部の調整が一側縁の / 未満のもの
- 3 刃部は作出されていないが、微細剥離が認められるもの
- 4 欠損品等で細分できないもの

・その他の剥片石器

・剥片

・石核

(2) 石斧

- 1 磨製石斧
  - A 小型磨製石斧
  - B 擦切磨製石斧
  - C A、B以外のもの
- 2 打製石斧

(3) 礫石器

・礫石錘

- 1 器体の長軸に平行な側縁に抉りを作成するもの
- 2 器体の短軸に平行な側縁に抉りを作成するもの
- 3 器体の長軸及び短軸に平行な側縁に抉りを作成するもの
- 4 欠損品等で細分できないもの

・有溝石錘

- 1 円形・扁平な礫の器体長軸に全周する1条の溝を有するもの
- 2 円形・扁平な礫の器体短軸に全周する1条の溝を有するもの
- 3 2条以上の溝を有するもの

・敲磨器類

- 1 磨痕のみを有するもの
  - A 円形、楕円形を呈する礫の側縁に磨痕を有するもの
  - B 断面が三角形を呈する礫の側縁に磨痕を有するもの
  - C 円形、楕円形を呈する礫の全面に磨痕を有するもの
  - D 円形、楕円形を呈する礫の平坦面中央に磨痕を有するもの
  - E 磨痕の部位が複合するもの
  - F 上記以外の形態の自然礫を用いているもの
  - G 他の石器を転用しているもの
- 2 敲打痕のみを有するもの
  - A 円形、楕円形を呈する扁平な礫の平坦面に敲打痕を有するもの
  - B 円形、楕円形を呈する扁平な礫の端部に敲打痕を有するもの
  - C 球状を呈する礫の広範囲に敲打痕を有するもの
  - D 断面が三角形を呈する礫の側縁に敲打痕を有するもの
  - E 敲打痕の部位が複合するもの
  - F 上記以外の形態の自然礫を用いているもの
  - G 他の石器を転用しているもの
- 3 凹痕のみを有するもの
- 4 磨痕、敲打痕、凹痕を複合し有するもの
- 5 1～4に含まれないもの

・半円状扁平打製石器及び類似する石器

・挟入扁平磨製石器及び類似する石器

・剥離のある礫

・擦切具

・砥石

・石皿・台石

- 1 石皿
- 2 台石

(3) 水晶

- 1 加工しているもの

## 2 加工していないもの

A 群品

B 単体

### (3) 出土土製品の分類

本遺跡で出土した土製品は以下のように分類した。

- ・土偶
- ・鐺形土製品
- ・ミニチュア土器
- ・耳飾
- ・腕輪状土製品
- ・動物形土製品
- ・有孔土製品
- ・紐状土製品
- ・笠形土製品
- ・三角形土版
- ・円形土版
- ・土器片利用土製品
- ・焼成粘土塊
- ・箕形土製品
- ・靴形土製品

### (4) 出土石製品の分類

本遺跡で出土した石製品は以下のように分類した。

- ・三角形岩版
- ・円形岩版
- ・その他の岩版
- ・岩版関係資料
- ・有孔石製品
- ・球状石製品
- ・椀状石製品
- ・耳飾
- ・イモ貝状石製品
- ・線刻礫
- ・採集石製品
- ・石冠
- ・石棒
- ・石刀
- ・軽石製品
- ・その他の石製品

# 目 次

(第一分冊 本文編)

序

例言

凡例

本文目次

図版目次

第6編	平成	年度発掘調査成果	1	
	第1章	平成	年度稲山遺跡発掘調査要項	1
	第2章	調査経過	5	
	第3章	検出遺構と出土遺物		
		第1節	検出遺構	
			1. 竪穴式住居跡	
			2. 土坑	
			3. 埋設土器遺構	
			4. 配石遺構	
			5. 溝状遺構	
			6. 焼土遺構	
		第2節	出土遺物	
			1. 土器	
			第 群土器	
			第 群土器	
			2. 石器	
			3. 土製品	
			4. 石製品	
	平成	年度調査のまとめ		
	引用・参考文献			
	報告書抄録			
	既刊埋蔵文化財関係報告書一覧			











## 第6編 平成 年度発掘調査成果

### 第1章 平成 年度稲山遺跡発掘調査要項

#### 1. 調査目的

東北縦貫自動車道八戸線（青森～青森）建設工事、高規格道路建設促進事業に先立ち、予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地の発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を図り、地域社会の文化財の活用に資する。

#### 2. 遺跡名及び所在地

稲山遺跡（いなやま）  
青森市大字諏訪沢字山辺地内

3. 事業実施期間 平成 年4月1日～平成 年3月 日  
(発掘調査期間 平成 年5月 日～平成 年 月 日)

4. 調査対象面積  $m^2$  (全調査対象面積)  
 $m^2$  (平成 年度調査実施面積)

6. 調査委託者 日本道路公団、青森市都市政策部（現 青森市都市整備部）

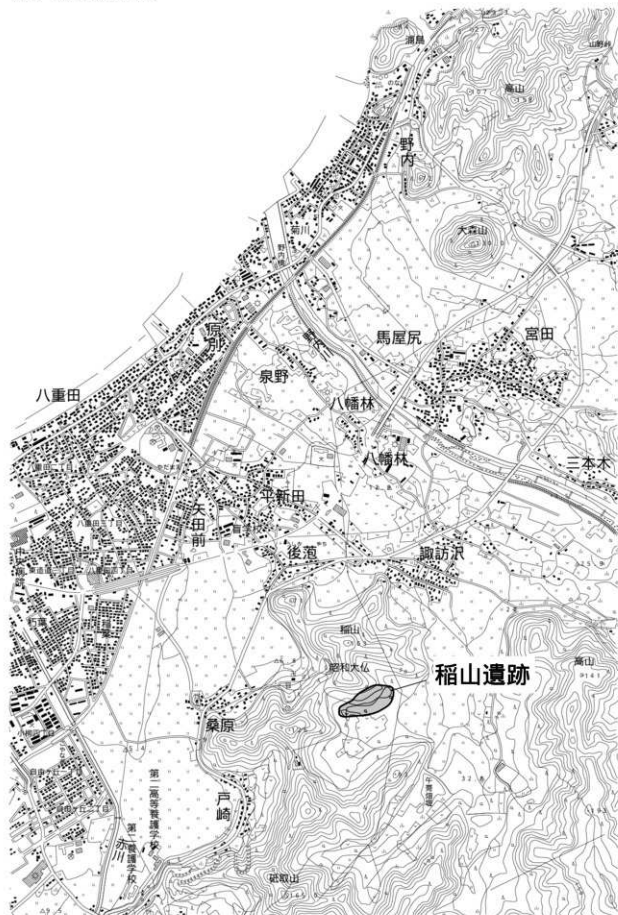
7. 調査受諾者 青森市教育委員会

8. 調査担当機関 青森市教育委員会生涯学習部文化財課（現 青森市教育委員会文化財課）

9. 調査指導機関 青森県教育庁文化課（現 青森県教育庁文化財保護課）

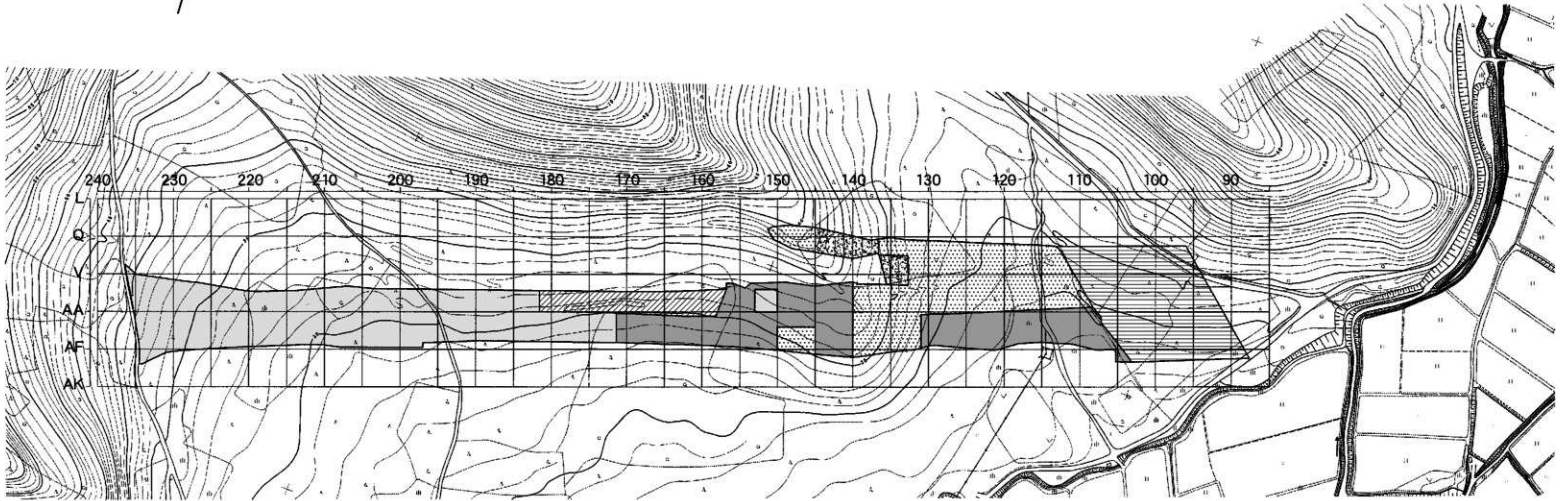
#### 調査体制

調査指導員	村 越 潔	青森大学教授	(考古学)
調査員	藤 沼 邦彦	弘前大学教授	(考古学)
"	十 菱 駿 武	山梨学院大学教授	(考古学)
"	葛 西 勳	青森短期大学助教授	(考古学)
"	市 川 金 丸	青森県考古学会会長	(考古学)
"	工 藤 一 彌	青森県総合学校教育センター指導主事	(地質学)
調査協力員	小笠原 実	東部二区連合町会長	
"	斎 藤 義 隆	諏訪沢地区農事振興会会長	
"	豊 川 功		
"	斎 藤 誠		



第1図 稲山遺跡位置図 (S=1/25,000)

※本図は、青森市教育委員会が作成した「青森市遺跡地図(数値地図)」を一部複写の上、加工・転載したものである。



凡 例	
	平成10年度 調査終了範囲
	平成11年度 調査終了範囲
	平成12年度 調査終了範囲
	平成12年度 確認調査終了範囲
	平成13年度 調査終了範囲
	平成15年度以降調査予定範囲



第2図 調査区設定図

調査事務局	青森市教育委員会	
	教 育 長	池 田 敬 (現 青森市民図書館長)
		角 田 詮二郎
	生涯学習部長	中 西 秀 吉 (現 市民室内プール館長)
	事 務 局 長	三 浦 賢 吾
	"	大 柴 正 文
	教 育 部 長	大 柴 正 文
	生涯学習部次長	三 浦 賢 伍
	教 育 次 長	竹 内 徹
	参事・文化財課長事務取扱	遠 藤 正 夫
	課 長 補 佐	蝦 名 淳 一
	"	工 藤 勝 則
	主 査	堀 谷 久 子 (現 青森市国保医療課医療助成係長)
	"	木 浪 貴 子
	主 事	小 野 貴 之 (調査担当)
	"	木 村 淳 一
	"	児 玉 大 成
	"	設 楽 政 健
	"	足 澤 愛 子 (庶務担当)
	調 査 補 助 員	蝦 名 純
	"	長 内 礼 二
	"	工 藤 かおり
	"	堀 内 万里子
	"	本 多 顕 子
	"	横 山 智 子
	"	久米田 さやか
	"	松 橋 智佳子
	"	松 原 千佳子

## 第2章 調査経過

5月 日、調査開始式をおこない、越冬対策をしていた調査区内外の環境整備を開始した。

5月 日、環境整備と並行して、遺物包含層並びに遺構の精査を開始した。調査委託者側からは、工事工程上、平成 年度調査終了範囲である調査区 ライン以西へ到る取り付け道路造成のため、本年度調査区の南側調査区 ー ラインについて早期に引渡して欲しい旨の要望があり、引渡し予定地点及び安全対策上、調査区南半の調査を優先して精査等進めることとした。

6月初旬、調査区南端に位置する第 号竪穴式住居跡の精査において、調査区外南側へ住居の分布が広がることを確認した。

6月中旬、調査区南半を主体に精査を進めた。丘陵頂部から斜面中位にかけて土坑が密集し、斜面下位においては、縄文時代前期の竪穴式住居跡を確認した。また、土坑については、これまで確認してきた袋状、フラスコ状のものと形態が異なる。平面形が隅丸長方形、楕円形を呈する土坑を新たに確認した。

7月上旬、調査区南側の引渡し予定地点及びその北側の安全を保持できるとされる範囲の調査が終了したので、調査委託者側立会いの上で引渡しを行った。調査区北半を主体に精査を進めた。

8月初旬、Y - グリッド第 a層において、複数の土器が重ねられた状況で出土した。第 号埋設土器遺構として、精査を進めた。

8月中旬、本遺跡において石棺墓や配石遺構は、丘陵頂部付近において確認してきたが、調査区丘陵斜面中位の調査区AA - グリッドにおいて、弧状に礫が配置されている第 号配石遺構を確認した。

8月下旬、X - グリッド第 a層において、壘形土器が埋設されたと思われる、第 号埋設土器遺構を確認した。

9月初旬、縄文時代前期の遺物包含層は、竪穴式住居跡廃絶後の窪地を利用したものが主体的であったが、調査区R・S - 地点の精査において、自然地形の斜面を利用した遺物包含層を確認した。最下層からは、円筒下層b式土器が出土した。

9月中旬、標高が最も高い調査区北端部の精査を開始した。遺構精査では、土坑覆土中において円筒土器と石匙や磨製石斧が共存する状況を確認した。

9月下旬、前年度の南側の調査結果から遺構・遺物は少ないと思われた調査区 - ラインの精査をおこなった。土坑3基を検出したに留まった。

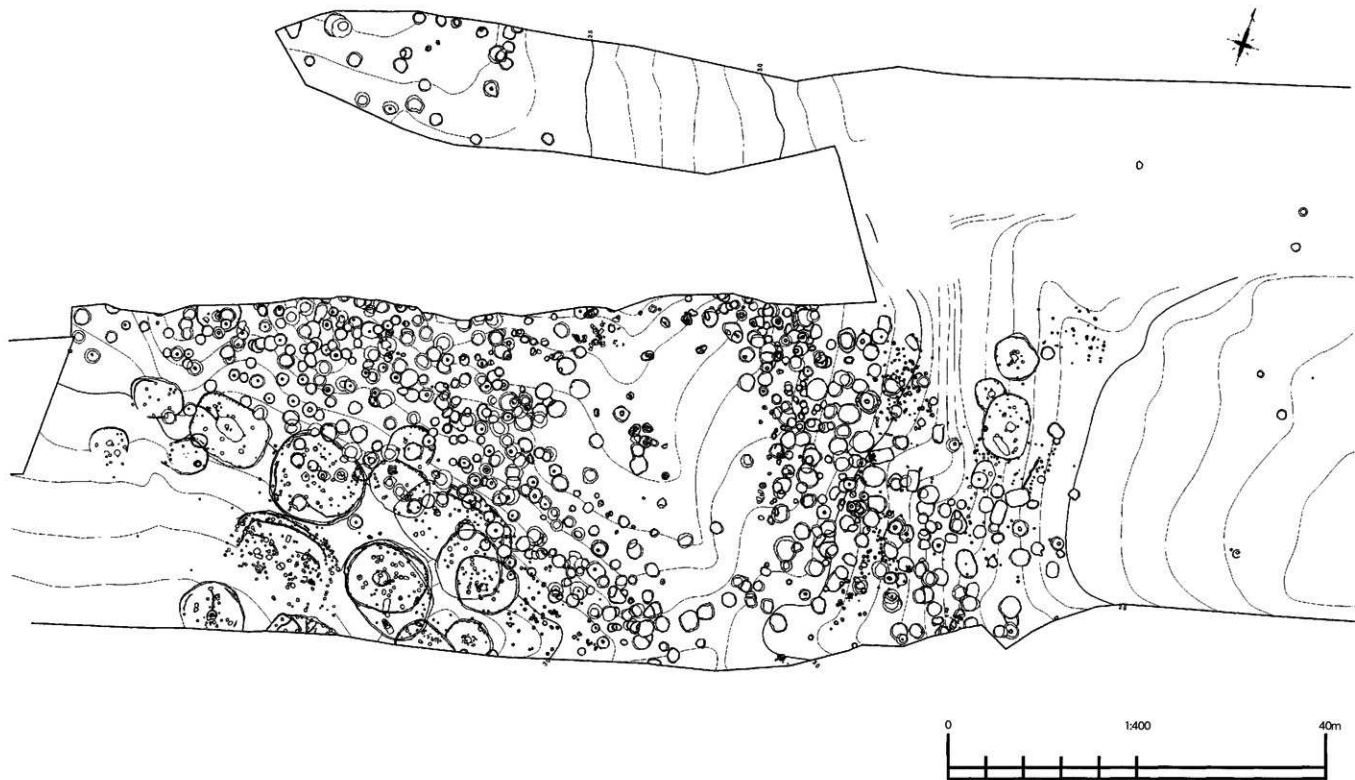
月上旬、平成 年度以降に調査予定であった調査区東端部の共有地(第1図 平成 年度確認調査終了範囲)について調査可能な状況となった。委託者側からは、工事工程上この地点の調査を優先して欲しい旨の要望があり、協議の結果、一部遺構精査を実施していた調査区北端部について部分的(第1図 平成 年度調査終了範囲)に翌年度以降に調査を実施することとし、調査区東端部の調査を実施することとした。この地点については、これまでの調査状況より遺跡の縁辺部である可能性が高いと思われることから、まず部分的にトレンチを設定し状況を把握することとした。また、他の調査区においては、引き続き遺構精査を続けた。

月 日、現地見学会を実施した。一般市民等約 名が現地を訪れた。

月下旬、調査区東端部分では2 4m幅を主体に ヲ所にトレンチを設定し、状況把握をしたが、遺構は確認しなかった。また遺物も流れ込みと考えられるような土器細片等が主体であった。この地点については、遺跡の縁辺部と思われるが全面調査を実施するまでには至らないとの判断をして、調査を終了した。

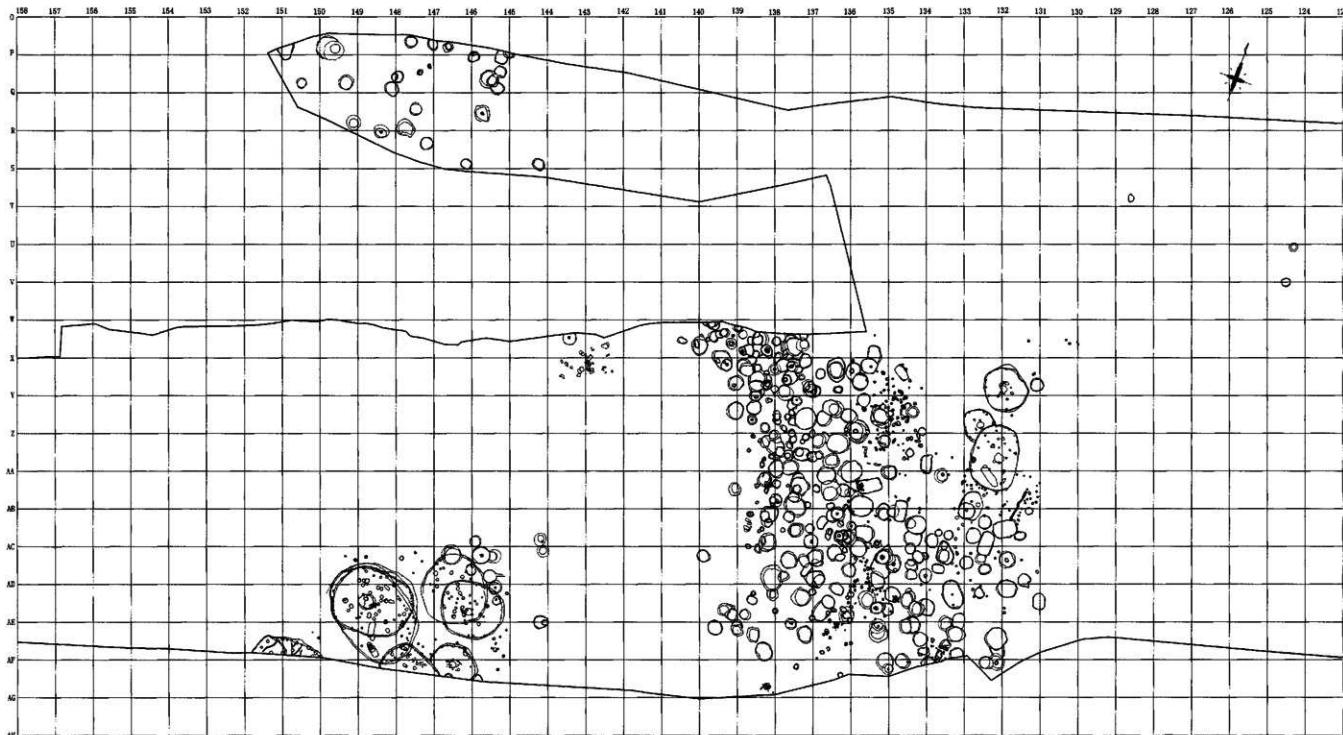
なお、平成 年度、本遺跡より北東方向へ約 m離れた地点で新規遺跡を確認しており、調査区東端部出土遺物については、こちらからの流れ込みの可能性も考えられる。

月 日、作図、写真撮影等遺構の検出が終了した。現地調査最終日であり、調査終了式を行い、平成 年度の調査を終了した。検出遺構数は、竪穴式住居跡 軒、土坑 基、埋設土器遺構 基、配石遺構 8基、溝状遺構 4基、焼土遺構 3基である。出土遺物は、土器、石器、土製品、石製品等段ボール箱換算で 箱が出土した。



第3図 平成10~12年度遺構配置図





第4図 平成12年度遺構配置図  
(遺構番号は付図を参照)

## 第3章 検出遺構と出土遺物

### 第1節 検出遺構

#### 1. 竪穴式住居跡

##### 第 号竪穴式住居跡（第5図）

[位置・確認層] AD・AE - 、 AF - グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。

[重複] 第2号竪穴式住居跡、第 号竪穴式住居跡、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第2号竪穴式住居跡、第 号竪穴式住居跡より新しく、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、長径 mである。

[壁] 床面端から外側へ緩やかに立ち上がる。一部は直線的に立ち上がる。壁高は、北壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、東壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、西壁確認面から直下の床までが床面までの最大幅で cm、南西側は壁を確認できなかった。

[床] 第 層及び第 号竪穴式住居跡覆土を床面としており、第 層上面の床は強く締まる。第 号竪穴式住居跡覆土上の床面は、若干落ち込んでいる。若干の起伏を有し、全体に北西側から南東側への傾斜が見られる。

[柱穴] 床面において 基のビットを確認した。ビット3、4、7、8、 は、規模的に主柱穴の可能性が考えられる。次いでビット 、 、 が規模は小さくなるが主柱穴の可能性が考えられる。ビット5、 、 、 は壁柱穴と思われる。

[炉] 床面中央部北寄り焼土が堆積した浅いビットを確認しており、炉の可能性が考えられる。

[その他の附属施設] なし。

[堆積土] 層に分層した。第1～5層は、褐色～にぶい黄褐色土が堆積し各層ローム、第 層白土と思われる角礫を含む。第7層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第6、8～、 層は暗褐色～褐色土が堆積し、第8、 層の暗褐色土は、ロームを中量含む。また本遺構が位置する丘陵からは、不自然と思われる南～南西側からの堆積である。第 層は、黒褐色土が堆積しロームを少量含む。第7、 層は、自然堆積、他は、人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 群3、5a、5b、6類土器が出土している。第 層より第 群6類土器（第 図、 ）第 層より第 群6類土器（第 図）第9層より第 群3類土器（第 図）第8層より第 群6類土器（第 図）第7層より第 群3類土器（第 図）5a類土器（第 図）第5層より第 群5a類土器（第 図）第4層より第 群6類土器（第 図）第3層より第 群3類土器（第 図）第 群5a類土器（第 図）第2層より第 群3類土器（第 図）第 群5a類土器（第 図）第1層より第 群3類土器（第 図）第 群5a類土器（第 図1、第 図、 ）覆土より、第 群5b類土器（第 図）が出土している。また、ビット4第1層より第 群6類土器（第 図、 ）ビット7第1層より第 群5a類土器（第 図）ビット9覆土より第 群3類土器（第 図）が出土している。

石器は、第8層より不定形石器3類が1点（図示していない）、4類が1点（図示していない）、敲

磨器類2類Eが1点(第 図 ) 4類Bが1点(第 図 ) 第5層より石鏃1類2が1点(第 図 1) 挟入扁平磨製石器が1点(第 図 ) 砥石が2点(第 図 、 ) 第3層より石趾1類が2点(第 図 2、3) 第2層より敲磨器類1類Dが1点(第 図 ) 2類Bが1点(第 図 ) 3類が1点(第 図 ) 4類Aが1点(第 図 ) 覆土より不定形石器1類Aが3点(第 図 4、6、1点は図示していない) 不定形石器1類Cが1点(第 図 5) 3類が5点(図示していない) 4類が2点(図示していない) 石斧1類Aが1点(第 図 ) 敲磨器類1類Aが1点(第 図 ) 2類Aが1点(第 図 ) 2類Bが1点(第 図 ) 3類が1点(第 図 ) 4類Aが4点(第 図 、 、 ) 4類Bが1点(第 図 ) 4類Dが1点(第 図 ) 半円状扁平打製石器が2点(第 図 、 ) 出土している。また、ビット7第1層より敲磨器類4類Aが1点(第 図 ) ビット 第1層より不定形石器3類が1点(図示していない) ビット 第1層より砥石が1点(第 図 ) ビット 覆土より石皿・台石2類が1点(第 図 ) 出土している。

土製品は、覆土より焼成粘土塊が1点(第 図 1)出土している。

石製品は、第5層より軽石製品が1点(第 図 4) 第1層より軽石製品が1点(第 図 3)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期未葉の竪穴式住居跡と思われる。

#### 第 号竪穴式住居跡(第6図)

[位置・確認層] AF - ~ グリッドに位置する。第 ~ 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 調査区端に位置し、平面形は不明である。残存部最長は mである。

[壁] 床面端から外側へ屈曲し立ち上がる。西壁はほぼ垂直に立ち上がる。壁高は、北壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、東壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、西壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、南側は不明である。

[床] 第 層及び貼床と思われる第9層を床面としており、堅く締まる。貼床は床面西側では広く、東側では部分的に確認した。おおむね平坦であるが若干の起伏を有し、西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[柱穴] 基のビットを検出した。ビット9~、 は、上面に貼床が見られる。ビット、9、 は規模的に主柱穴の可能性が考えられる。ビット1~5、 ~、 は、壁柱穴と思われる。

貼床の存在する新しい段階と存在しない古い段階が考えられ、古い段階では、ビット9、 について主柱穴の可能性が考えられる。また、ビット、 は、壁柱穴と思われ、ビット1~5、 も規模的に同じ古い段階の壁柱穴と考えられる。新しい段階では主柱穴は未調査部分に存在すると思われる、ビット ~ については拡張後の壁柱穴と思われる。また、ビット ~ についても規模的に同じ新しい段階での壁柱穴と思われる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の附属施設] 溝を確認しており、西側の溝は上面に貼床が見られ古い段階に伴うものと思われる。

[堆積土] 第1~4層は、黒褐色~褐色土が堆積する。黒褐色土は、ローム、炭化物を中量含む。第c層に相当すると思われる。第5、6層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第7層は黒色土

が堆積し、ロームを中量含む。第8層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第9層は、黒色土が堆積し堅く締まる。貼床と思われる。第6～8層は、自然堆積、その他は人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3群3類、5a類、6類土器が出土している。床面より第3群3類土器(第図)、第5a類土器(第図)、第8層より第6群6類土器(第図)、第6層より第3群3類土器(第図)、第5a類土器(第図2、第図、)、第5層より第3群3類土器(第図)、第5、2層より第5a類土器(第図)、第4層より第3群3類土器(第図、)、第3層より第3群3類土器(第図)、第5a類土器(第図、)、第3、1層より第5a類土器(第図3)第2層より第3群3類土器(第図)、第5a類土器(第図4、第図、)、第1層より第3群3類土器(第図)、第5a類土器(第図5、第図、)が出土している。また、ピット5覆土より第5a類土器(第図)が出土している。

石器は、床面より石匙1類が1点(第図8)、第4層より石匙1類が1点(図示していない)、敲磨器類1類Aが1点(第図)、4類Aが1点(第図)、半円状扁平打製石器が1点(第図)、第3層より半円状扁平打製石器が1点(第図)、第2層より石匙2類が1点(第図9)、不定形石器1類Bが1点(図示していない)、敲磨器類1類Aが1点(第図)、第1層より不定形石器1類Aが1点(図示していない)、剥離のある礫が1点(第図)、覆土より石匙1類が2点(第図7、1点は図示していない)、石匙2類が1点(第図)、不定形石器1類Dが1点(図示していない)、3類が1点(図示していない)、4類が4点(図示していない)、その他の剥片石器が1点(図示していない)出土している。

石製品は、第4層より石刀が1点(第図5)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期末葉の竪穴式住居跡と思われる。

#### 第 号竪穴式住居跡(第7、8図)

[位置・確認層] AD-、  
、AE・AF-  
、AG-、グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡、第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、長軸 m 短軸 mである。

[壁] 床面端から外側へおおむね緩やかに立ち上がる。壁高は、北壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、東壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、西側確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cmである。南側確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cmである。

[床] 第層及び第、号竪穴式住居跡覆土を底面としており、第層上面の床は堅く締まる。第、号竪穴式住居跡覆土上面の床面は、若干落ち込んでいる。若干の起伏を有し、南側から北側への傾斜が見られる。

[柱穴] 基のピットを確認した。ピット1、2、8、  
、  
、  
、  
、  
、  
、  
は、規模、配置より主柱穴と思われる。ピット5、  
、  
、  
、  
、  
、  
、  
は、壁柱穴と思われる。複数回の建替があったものと思われる。

[炉] 焼土1、2は、いずれも火床面の見られない堆積土と判断したが、いずれも同規模の浅い掘り込

み上面に位置し、炉の可能性を必ずしも否定できないと考える。他には確認していない。

[その他の附属施設] 焼土1、2下の浅いピットは、隅丸長方形ないし楕円形を呈する。焼土1下のピットは、底面断面形が波状を呈するものである。なんらかの施設と思われる。

[堆積土] 層に分層した。第1層は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、炭化物を多量ないし中量含む。第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第3層は、黒褐色土が堆積しロームを多量含む。第4層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第5層は、自然堆積、他は人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3群3類、5a類、6類、7類土器が出土している。貼床より第3群5a類土器(第図) 焼土より第3群5a類土器(第図) 第3群6類土器(第図) 第3層より第3群5a類土器(第図8、第図) 第3群6類土器(第図) 第3層、覆土より第3群5a類土器(第図9) 第3層より第3群3類土器(第図) 第3群5a類土器(第図、第図、) 第3層より第3群3類土器(第図、) 第3群5a類土器(第図、) 第3群7類土器(第図) 第3層、8層より第3群5a類土器(第図) 第3層より第3群5a類土器(第図、) 第3層、8層より第3群5a類土器(第図、第図) 第3層より第3群3類土器(第図、) 第3群5a類土器(第図) 第3層より第3群3類土器(第図、) 第3群5a類土器(第図、第図) 第3層、覆土より第3群6類土器(第図) 第3層より第3群3類土器(第図) 第3群5a類土器(第図、) 第3層より第3群5a類土器(第図) 第3層より第3群3類土器(第図、) 第3群5a類土器(第図) 第3層より第3群3類土器(第図) 第3群5a類土器(第図) 第3群6類土器(第図) 第3層より第3群6類土器(第図) 第3層より第3群3類土器(第図) 第3群5a類土器(第図) 第3層、覆土より第3群5a類土器(第図、) 第3層より第3群5a類土器(第図、) 第3層より第3群6類土器(第図) 第3層より第3群6類土器(第図) 第3層より第3群3類土器(第図) 第3群5a類土器(第図) 第3層、覆土より第3群5a類土器(第図) 第3層より第3群3類土器(第図) 第3群5a類土器(第図、) 第3層、8層より第3群5a類土器(第図、) 第3層より第3群5a類土器(第図、) 第3層より第3群7類土器(第図) 第3層、覆土より第3群5a類土器(第図) 第3層より第3群6類土器(第図) 第3層より第3群3類土器(第図) 第3群5a類土器(第図、第図、) 第3層、8層より第3群5a類土器(第図、) 第3層より第3群5a類土器(第図、) 第3層より第3群6類土器(第図) 第3層より第3群6類土器(第図) 第3層より第3群3類土器(第図) 第3群5a類土器(第図) 第3層より第3群5a類土器(第図、第図) 第3群5b類土器(第図) 第3群6類土器(第図) が出土している。また、ピット2覆土より第3群5a類土器(第図) ピット 覆土より第3群5a類土器(第図) ピット 覆土より第3群5a類土器(第図) ピット 覆土より第3群5a類土器(第図) ピット 覆土より第3群3類土器(第図) ピット 覆土より第3群5a類土器(第図6、7)が出土している。

石器は、第3層より不定形石器4類が1点(図示していない)、敲磨器類1類Aが1点(図示していない)、2類Aが1点(図示していない)、2類Eが1点(図示していない)、4類Cが1点(第図

) 第 層より石匙1類が2点(第 図、 ) 石匙3類が1点(図示していない) 不定形石器1類G類が1点(第 図) 不定形石器3類が2点(図示していない) その他の剥片石器が1点(図示していない) 石斧1類Bが1点(第 図) 敲磨器類1類Aが2点(第 図、 1点は図示していない) 1類Dが1点(図示していない) 2類Bが4点(第 図、 3点は図示していない) 4類Aが3点(第 図、 ) 4類Bが1点(第 図) 半円状扁平打製石器が2点(第 図、 ) 砥石が1点(第 図) 第 層よりその他の剥片石器が(1点図示していない) 敲磨器類2類Bが1点(図示していない) 第 層より敲磨器類2類Bが1点(図示していない) 第 層より石匙1類が1点(第 図) 敲磨器類4類Dが1点(第 図) 挟入扁平磨製石器が1点(第 図) 第 層より不定形石器3類が1点(図示していない) 第 層より石匙1類が1点(第 図) 不定形石器4類が1点(図示していない) 砥石が1点(第 図) 第 層より不定形石器1類Aが1点(図示していない) 敲磨器類2類Eが2点(第 図、 ) 4類Aが2点(図示していない) 半円状扁平打製石器が1点(第 図) 第 層より石匙2類2が2点(第 図、 ) 石匙2類が1点(第 図) 3類が1点(図示していない) 不定形石器1類Aが3点(図示していない) 1類Fが1点(図示していない) 3類が3点(図示していない) 4類が2点(図示していない) 敲磨器類1類Aが1点(図示していない) 1類Bが1点(図示していない) 1類Dが1点(図示していない) 1類Eが1点(図示していない) 4類Aが1点(第 図) 第 層より石匙1類が1点(第 図) 敲磨器類1類Eが1点(図示していない) 剥離のある礫が1点(図示していない) 第 層より石匙1類が1点(第 図) 2類が1点(第 図) 不定形石器1類Aが3点(第 図、 1点は図示していない) 1類Bが1点(図示していない) 1類Hが1点(図示していない) 2類が1点(図示していない) 石斧が1点(図示していない) 敲磨器類2類Eが1点(第 図) 4類Aが2点(第 図、 1点は図示していない) 4類Bが1点(第 図) 第 層より敲磨器類4類Bが1点(第 図) 第 層より不定形石器3類が1点(図示していない) 敲磨器類1類Aが1点(第 図) 石皿・台石1類が1点(第 図) 第 層より不定形石器1類Cが1点(第 図) 敲磨器類1類Aが2点(第 図、 1点は図示していない) 1類Bが1点(第 図) 1類Dが1点(図示していない) 1類Eが1点(第 図) 2類Bが2点(第 図、 1点は図示していない) 2類Eが1点(図示していない) 半円状扁平打製石器が1点(第 図) 石皿・台石1類が1点(第 図) 第 層より不定形石器4類が1点(図示していない) 敲磨器類4類Aが1点(第 図) 砥石が2点(第 図、 ) 第 層より石匙1類が1点(図示していない) 不定形石器1類Eが1点(図示していない) 1類Fが1点(図示していない) 3類が1点(図示していない) 4類が1点(図示していない) 敲磨器類2類Bが1点(図示していない) 水晶2類が1点(第 図) 第 層より石匙2類が1点(第 図) 不定形石器4類が1点(図示していない) 敲磨器類2類Bが1点(図示していない) 2類Eが1点(第 図) 4類Aが2点(第 図、 ) 第7層より敲磨器類1類Aが1点(図示していない) 第6、5層より不定形石器1類Aが1点(図示していない) 第5層より石匙1類1が1点(第 図) 石匙1類が1点(第 図) 3類が1点(図示していない) 石匙2類が1点(第 図) 不定形石器1類Aが1点(第 図) 1類Bが1点(図示していない) 1類Dが1点(図示していない) 2類が1点(第 図) 3類が1点(図示していない) 4類が1点(図示していない) 敲磨器類1類Aが2点(図示していない) 2類Aが1点(第 図) 4類A

が1点(第 図 ) 剥離のある礫が2点(第 図 、 1点は図示していない) 第5、4層より敲磨器類2類Dが1点(第 図 ) 第1層より敲磨器類4類Aが1点(第 図 ) 剥離のある礫が1点(第 図 ) 覆土より石礫2類が1点(第 図 ) 石匙1類が3点(第 図 、 、 ) 不定形石器1類Aが1点(図示していない) 1類Bが1点(第 図 ) 1類Cが2点(第 図 、 1点は図示していない) 1類Fが1点(図示していない) 2類が1点(図示していない) 3類が1点(図示していない) 4類が3点(図示していない) その他の剥片石器が3点(図示していない) 石斧が1点(図示していない) 敲磨器類1類Bが1点(第 図 ) 1類Eが1点(図示していない) 2類Aが1点(第 図 ) 2類Bが1点(第 図 ) 2類Eが1点(第 図 ) 4類Aが1点(第 図 ) 4類Bが2点(第 図 、 ) 5類が1点(第 図 ) 石皿・台石1類が6点(第 、 図 、 、 ) また、ビット 覆土より敲磨器類1類Aが1点(図示していない) 4類Aが1点(図示していない) ビット 覆土より敲磨器類2類Eが1点(図示していない) ビット 覆土より敲磨器類3類が1点(第 図 )出土している。

石製品は、第 層より有孔石製品が1点(第 図7) 第 層より石棒が1点(第 図8) 第 層よりその他の岩版が1点(第 図6)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期末葉もしくはそれ以降の竪穴式住居跡と思われる。

#### 第 号竪穴式住居跡(第9図)

[位置・確認層] A D～A F - ー グリッドに位置する。第 c層、第 層において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で最大残存幅は mである。

[壁] 床面端から外側へ途中屈曲して立ち上がる。壁高は、北壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、東壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、南壁確認面より直下の床までが床面までの最大幅で cm、西壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cmである。

[床] 第 層を床面とし、堅く締まる。若干の起伏を有し、全体に東側から西側への傾斜が見られる。

[柱穴] 基のビットを確認した。ビット1、3、4、6ー 、 、 は、規模、配置より支柱穴と思われる。数度の建替えがあったと思われる。ビット ー 、 ー は、壁柱穴と思われる。

[炉] 床面北壁際及び東壁際で焼土及び炭化物を検出しており、炉と思われる。

[その他の附属施設] 床面中央部にて浅く広がるビットを確認した。

[堆積土] 8層に分層した。第1、2層は、褐色土及びローム、炭化物を含む黒褐色土が堆積する。第3、4層は、黒色～黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第5～7層は、黄褐色～明黄褐色土が堆積し、黒色土を含む。第8層は、暗褐色土が堆積する。第1、2層は人為堆積、他は自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 群3、5 a、6類土器が出土している。第3層より第 群6類土器(第 図 ) 第2層より第 群3類土器(第 図 、 第 図 、 ) 第 群5 a類土器(第 図 ) 第1層より第 群3類土器(第 図 、 )が出土している。また、ビット 第1層より第 群3類土器(第 図 、 ) ビット 第2層より第 群5 a類土器(第 図 )が出土している。

石器は、第2層より石匙1類が2点(第図、)不定形石器1類Gが1点(第図)不定形石器3類が2点(図示していない)4類が1点(図示していない)敲磨器類1類Aが2点(第図、)1類Bが1点(第図)3類が1点(図示していない)4類Aが1点(第図)4類Bが2点(第図、)4類Cが1点(第図)石皿・台石1類が1点(第図)第1層より挟入扁磨製石器が1点(第図)覆土より敲磨器類4類Dが1点(第図)5類が1点(第図)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期末葉の竪穴式住居跡と思われる。

#### 第 号竪穴式住居跡(第 図)

[位置・確認層] AF-、AG- ー グリッドに位置する。第 c層、第 層において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡、第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構は第 号竪穴式住居跡より古く、第 号竪穴式住居跡より新しい。

[平面形・規模] 調査区端に位置し、平面形は不明である。残存部最長は mである。

[壁] 全体として、床面端から外側へおおむね直線的に立ち上がる。東壁は一部屈曲して立ち上がる。壁高は、北壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、東壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、西壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、南側は壁を確認できなかった。

[床] 第 層を床面とし堅く締まる。若干の起伏が見られ、全体に北側から南側への傾斜が見られる。

[柱穴] 基のピットを確認した。

ピット1は、その規模から主柱穴と思われる。ピット2、7、ー は壁柱穴と思われる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。

[その他の付属施設] なし。

[堆積土] 層に分層した。第1、3、6、9層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第2、4、5、7、8、層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、土器片を中量ないし多量含む。第、層は、黒色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。第1、3、6、9、層は自然堆積、他は人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 群3、5 a、6類土器が出土している。第、8層より第 群3類土器(第、図、)第9～7、4層より第 群3類土器(第図)第8層より第 群3類土器(第、図、)第 群5 a類土器(第図、第図、)第7層より第 群5 a類土器(第図)第 群6類土器(第図)第6層より第 群3類土器(第図、)第5層より第 群3類土器(第図)第4層より第 群3類土器(第図)第3層より第 群3類土器(第図、)第 群5 a類土器(第図)第2層より第 群3類土器(第図、)第1層より第 群3類土器(第図)覆土より第 群5 a類土器(第図)が出土している。

石器は、第8層より石匙1類が2点(第図、)不定形石器3類が1点(図示していない)敲磨器類4類Aが1点(第図)第7層より不定形石器1類Dが1点(第図)敲磨器類4類Aが1点(第図)第6層より不定形石器1類Dが1点(第図)第4層より石斧1類Cが1



点(第 図 ) 不定形石器3類が1点(図示していない) 第3層より敲磨器類2類Eが1点(第 図 ) 挟入扁平磨製石器が1点(第 図 ) 第2層より不定形石器4類が1点(図示していない) 敲磨器類5類が1点(第 図 ) 第1層より敲磨器類4類Aが1点(第 図 ) 覆土より敲磨器類1類Bが1点(第 図 ) 挟入扁平磨製石器が1点(第 図 ) 出土している。

土製品は、第8層より土器片利用土製品が1点(第 図2)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期末葉の竪穴式住居跡と思われる。

#### 第 号竪穴式住居跡(第 図)

[位置・確認層] AF・AG - ー グリッドに位置する。第 c層、第 層において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号竪穴式住居跡、第 号土坑、第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 調査区端に位置し平面形は不明である。残存部最長は mである。

[壁] 北壁、東壁は、床面端から外側へ緩やかに立ち上がる。西壁は、床面端から外側へ直線的に立ち上がる。壁高は、北壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、東壁確認面より直下の床までが cm、床面までの最大幅が cm、西壁確認面より直下の床面までが床面までの最大幅で cm、南側は、調査区端のため壁を確認できなかった。

[床] 第 層を床面とし堅く締まる。起伏が見られ、全体として北東側から南西側への傾斜が見られる。

[柱穴] 基のピットを確認した。ピット9、 は規模、配置より主柱穴と思われる。ピット2-7、  
、 ー は壁柱穴と思われる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。ピット1は、床面中央部と思われる地点に位置し、浅い掘り込み部とより深い掘り込み部を有し、2段階の時間差が考えられるが、浅い掘り込み部については、炉の可能性も考えられる。

[その他の付属施設] ピット ー は、ピット1を取り囲むように位置し、何らかの施設の可能性も考えられる。

[堆積土] 層に分層した。第1-6、9、 層は、黒褐色〜褐色土が堆積し、ローム、炭化物、土器片を中量ないし多量含む。第7、8、 層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第 ー 層は、黒色〜暗褐色土が堆積する。壁の崩落土の可能性が考えられる。第1-6、9、 層は、人為堆積、他は自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 群3類、5 a類、6類土器が出土している。第 層より第 群3類土器(第 図、 )、第 層より第 群3類土器(第 図、 、第 図 )、第 群5 a類土器(第 図 )、第 群5、3、1層より第 群3類土器(第 図 )、第9層より第 群3類土器(第 図、 )、第8層より第 群3類土器(第 図 )、第7層より第 群3類土器(第 図 )、第5層より第 群3類土器(第 図、第 図、 )、第 群5 a類土器(第 図 )、第5、4層より第 群5 a類土器(第 図 )、第5、2層より第 群3類土器(第 図 )、第4層より第 群5 a類土器(第 図 )、第3層より第 群3類土器(第 図 )、第2層より第 群3類土器(第 図 )、第 群5 a類土器(第 図 )、第1層より第 群3類土器(第 図 )、第 群5 a類土器(第 図 )が出土している。また、住居内土坑ピット1第2層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

石器は、第 層より石匙1類が1点(第 図)、石葩4類が1点(第 図)、不定形石器1類Bが1点(図示していない)、その他の剥片石器が1点(図示していない)、挟入扁平磨製石器が1点(第 図)、第9層より敲磨器類1類Aが1点(第 図)、4類Dが1点(第 図)、第5層より敲磨器類1類Cが1点(第 図)、第3層より敲磨器類5類が1点(第 図)、第2層より石匙1類が1点(第 図)、第1層より不定形石器1類Aが1点(第 図)、敲磨器類2類Dが1点(第 図)、覆土より不定形石器1類Gが1点(第 図)出土している。また、ビット1第1層より石皿・台石1類が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物、及び遺構間の重複関係より縄文時代前期末葉もしくはそれ以前の竪穴式住居跡と思われる。

#### 第 号竪穴式住居跡(第 図)

[位置・確認層] AD～AF、グリッドに位置する。第 c層、第 層、第 層において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、長径は mである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。壁高は、北壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cm、東壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cm、南壁確認面より直下の床面までが床面までの最大幅で cm、西壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cmである。

[床] 第9層及び第 層を床面とし、堅く締まる。また、若干の起伏を有し、全体に北東側から南西側への傾斜が見られる。

[柱穴] 基のビットを確認した。ビット2～4、7、8、、、、は規模、配置より主柱穴と思われる。またビット ～ は、壁柱穴と思われる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。床面中央部南よりに位置するビット6は、浅い掘り込み部とやや深い掘り込み部を有しており、2段階の時期差が考えられる。浅い掘り込み部は炉の可能性も考えられる。

[その他の付属施設] なし。

[堆積土] 7層に分層した。第7層は堅く締まり貼床と思われる。第1～4、6層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。第5層は、黒褐色土を中量含む。第1～6層は人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 群3類、5 a類、6類土器が出土している。

第6層より第 群3類土器(第 図、、)、第5層より第 群3類土器(第 図)、第4層より第 群3類土器(第 図)、第2層より第 群3類土器(第 図、、)、第 群5 a類土器(第 図)、第1層より第 群3類土器(第 図)、第 群5 a類土器(第 図)、第1層、覆土より第 群3類土器(第 図)、覆土より第 群3類土器(第 図)が出土している。また、ビット 覆土より第 群6類土器(第 図)が出土している。

石器は、第6層より石匙1類が1点(第 図)、不定形石器1類Gが1点(第 図)、3類が1点(図示していない)、敲磨器類4類Bが1点(第 図)、4類Dが1点(第 図)、第4層より

石匙1類が1点(図示していない) 第2層より石匙1類が1点(第 図 ) 不定形石器1類Gが1点(図示していない) 覆土より石匙1類が1点(第 図 ) 石斧1類Bが1点(第 図 ) 1類Cが1点(第 図 ) 敲磨器類4類Aが1点(第 図 ) 4類Bが1点(第 図 )出土している。  
[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期末葉の竪穴式住居跡と思われる。







#### 第 号竪穴式住居跡(第 図)

- [位置・確認層] A・B・A・C - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、最大残存幅は mである。
- [壁] 北壁、西壁は、外側へ直線的に立ち上がる。南壁は、外側へ直線的に立ち上がるが、一部内側へ直線的に立ち上がる。第 号土坑の壁面を利用したものと思われる。壁高は、北壁確認面より直下の床面までが6cm、床面までの最大幅が cm、南壁確認面より直下の床面までが床面までの最大幅で cm、西壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cmである。南壁は確認していない。
- [床] 第 層及び第 号土坑覆土を床面としており、どちらの床面も固く締まる。第 号土坑上の床面は ~ cm程落ち込んでいる。他は平坦であるが北側から南側へ若干の傾斜が見られる。
- [柱穴] 基のピットを確認した。床面では主柱穴は確認していない。ピット2~ は住居跡周囲を取り囲み本遺構の柱穴と思われる。
- [炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。
- [その他の付属施設] なし。
- [堆積土] 3層に分層した。第1、3層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第2層は、褐色土が堆積し、ローム、暗褐色土を少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第 群5a類土器が出土している。第3層より第 群5a類土器(第 図 )、第2層より第 群5a類土器(第 図 )、覆土より第 群5a類土器(第 図 )が出土している。土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期末葉もしくはそれ以後の竪穴式住居跡と思われる。


#### 第 号竪穴式住居跡(第 図)



- [位置・確認層] Z・A・A・A・B - 、 グリッドに位置する。第 ~ 層、及び第 号竪穴式住居跡覆土上において確認した。
- [重複] 第 号竪穴式住居跡、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号竪穴式住居跡より新しく、第 号土坑との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、長軸 m、短軸 mである。
- [壁] 床面端から外側へ直線的に立ち上がる。西壁は一部緩やかに立ち上がる。壁高は、北壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cm、東壁確認面より直下の床面までが床面までの最大幅で4cm、南壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cm、西壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cmである。南東壁は確認していない。
- [床] 第 層を床面として堅く締まる。起伏を有し、傾斜が見られる。また、全体として北東側から南西































側への傾斜が見られる。














[柱穴] 基のピットを確認した。ピット3、、、は規模、配置より主柱穴と思われる。ピット6、、、は壁柱穴と思われる。

[炉] 床面中央部に位置するピット2は、浅い掘り込みを有し、焼土、炭化物が出土しており、炉と思われる。

[その他の付属施設] 床面西壁際に位置するピットは、掘り込み周囲に第1層及び黒褐色土、黄色褐色土を堤状に盛り上げた構造を持ち、特殊施設と思われる。

[堆積土] 層に分層した。第1、3、5、6層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第2、4、7～層は、黒褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土、黒褐色土はロームを中量含む。第、層は、第7層中にブロック状に存在する。第1、3、5、6層は自然堆積、その他は人為堆積と思われる。


[出土遺物] 土器は、第1群3類、5a類、5b類、6類土器が出土している。第1層より第1群5a類土器(第図)、第7層より第1群5a類土器(第図)、第7、4層より第1群5a類土器(第図)、第7、2層、覆土より第1群5a類土器(第図)、第7、1層、覆土より第1群5a類土器(第図)、第5層より第1群5a類土器(第図)、第4、2、1層より第1群5a類土器(第図)、第3層より第1群5a類土器(第図)、第3層、覆土より第1群5a類土器(第図)、第2層より第1群3類土器(第図)、第1群5a類土器(第図、、、)、第2、1層、覆土より、第1群3類土器(第図)、第1群5a類土器(第図)、第1層より第1群5a類土器(第図、、、、、、、、、)、第1群6類土器(第図)が出土している。また、住居内土坑覆土より第1群6類土器(第図)、ピット2覆土より第1群5a類土器(第図)、第1群6類土器(第図)が出土している。

石器は、第1層より不定形石器4類が1点(図示していない)、第4層より不定形石器1類Aが1点(第図)、第2層より石匙1類が1点(第図)、2類が1点(第図)、不定形石器2類が1点(図示していない)、4類が2点(図示していない)、敲磨器類4類Aが1点(第図)、4類Bが1点(第図)、第1層より不定形石器1類Eが1点(第図)、2類が1点(図示していない)、4類が1点(図示していない)、敲磨器類1類Dが1点(第図)、2類Bが1点(第図)、4類Aが1点(第図)、覆土より石匙1類が1点(第図)、不定形石器2類が1点(図示していない)、3類が1点(図示していない)、敲磨器類4類Bが1点(第図)、4類Dが1点(第図)、半円状扁平打製石器が1点(第図)出土している。また、ピット1覆土より石匙1類が1点(図示していない)出土している。

石製品は、第1層より有孔石製品が1点(第図9)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期末葉もしくはそれ以降の竪穴式住居跡と思われる。

#### 第1号竪穴式住居跡(第図)

[位置・確認層] Y・Z - 、グリッドに位置する。第1層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、長径mである。

[壁] 床面端から外側へおおむね直線的に立ち上がる。北壁は、外側へ緩やかに立ち上がる。また、南壁は、一部内側へ立ち上がる。壁高は、北壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cm、東壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cm、南壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cm、西壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cmである。

[床] 第 層を床面とし、堅く締まっている。若干の起伏を有し、全体に南西側から北東側への傾斜が見られる。

[柱穴] 基のビットを確認した。ビット2～4は、規模、配置より主柱穴と思われる。ビット5～は壁柱穴と思われる。

[炉] ビット1は床面中央部に位置しており炉の可能性が考えられる。

[その他の付属施設] なし。

[堆積土] 層に分層した。第1～6層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を多量ないし中量含む。第4層からは、 個体以上の復元可能な土器が出土している。第7～9層は、黒色～黒褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。第 層は、黒色土が堆積し、ロームを多量含む。第7～9層は自然堆積その他は、人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 群3、5a、6類土器が出土している。第8層より第 群3類土器(第 図、 ) 第6層より第 群3類土器(第 図、 ) 第 群5a類土器(第 図) 第5層より第 群5a類土器(第 図) 第4層より第 群3類土器(第 図、 )、 ) 第 群5a類土器(第 図、第 図、第 図) 第 群6類土器(第 図、第 図、第 図) 第2層より第 群5a類土器(第 図) 第1層より第 群3類土器(第 図) 覆土より第 群5a類土器(第 図) 第 群6類土器(第 図) が出土している。

石器は、第6層より石匙1類が1点(第 図) 2類が1点(第 図) 不定形石器4類が1点(図示していない) 第5層より石匙1類が1点(第 図) 3類が1点(図示していない) 敲磨器類4類Bが1点(第 図) 第4層より石鏃2類2が1点(第 図) 石匙1類が8点(第 図、 )、 ) 2類が1点(第 図) 異形石器が1点(第 図) 不定形石器1類Aが2点(第 図、 ) 1類Bが1点(第 図) 1類Fが1点(図示していない) 敲磨器類2類Eが1点(第 図) 3類が1点(第 図) 4類Aが2点(第 図、 ) 4類Bが2点(第 図、 ) 4類Dが1点(第 図) 挟入扁平磨製石器が2点(第 図、 ) 第2層より石鏃2類2が1点(第 図) 敲磨器類1類Aが1点(第 図) 5類が1点(第 図) 覆土より石匙1類が9点(第 図、 )、 )、 )、 ) 1点は図示していない) 2類が1点(第 図) 異形石器が1点(第 図) 不定形石器1類Aが1点(図示していない) 1類Dが1点(図示していない) 1類Fが1点(図示していない) 3類が1点(図示していない) 4類が2点(図示していない) 石斧1類Bが1点(第 図) 敲磨器類1類Aが1点(図示していない) 1類Cが1点(図示していない) 1類Dが1点(第 図) 4類Aが2点(第 図、 ) 4類Bが1点(第 図) 挟入扁平磨製石器が1点(第 図) 出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期中葉の竪穴式住居跡と思われる。

## 第 号竪穴式住居跡(第 図)

[位置・確認層] AA - 、 Z - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、長径 mである。

[壁] 床面端から外側へ緩やかに立ち上がる。壁高は、北壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cm、東壁確認面より直下の床面までが cm、床面までの最大幅が cm、西壁確認面より直下の床面までが床面までの最大幅で cm、南壁は重複のため確認していない。

[床] 第 層を床面とし、堅く締まる。若干の起伏を有し、全体に西側から東側への傾斜が見られる。

[柱穴] 基のビットを確認した。ビット2、3は規模、配置より支柱穴と思われる。ビット4〜 は、壁柱穴と思われる。

[炉] 明確に炉と思われる施設は確認していない。床面中央部のビット1は、位置的に炉の可能性も考えられる。

[その他の附属施設] なし。

[堆積土] 3層に分層した。黒色〜黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

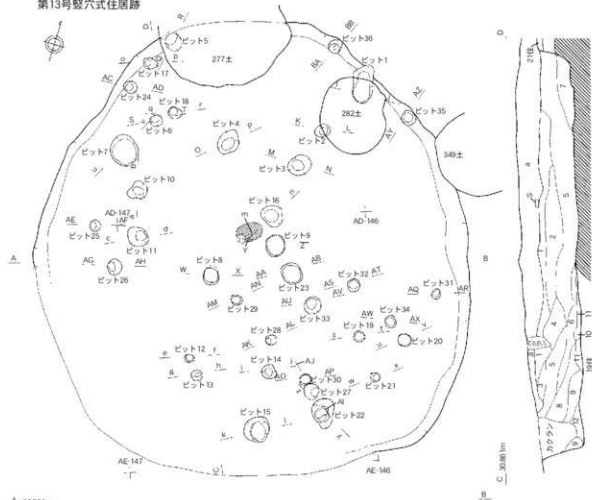
[出土遺物] 土器は、第 群3類、6類土器が出土している。第3層より第 群3類土器(第 図 ー、第 図)、第 群6類土器(第 図)、第2層より第 群3類土器(第 図)が出土している。

石器は、第3層より不定形石器が1点(図示していない)、敲磨器類4類Dが1点(第 図)、第2層より不定形石器1類Eが1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期中葉〜末葉の竪穴式住居跡と思われる。



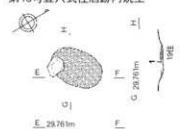
第13号竪穴式住居跡



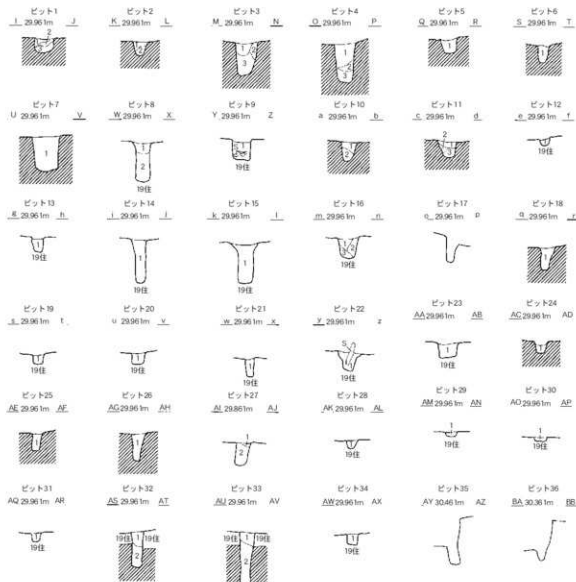
第13号竪穴式住居跡

- 第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量, 炭化物少量, 焼土少量
- 第2層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第3層 赤土 (10YR4/3) ローム粒中量, 炭化物少量
- 第4層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量, 炭化物少量
- 第5層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量, 炭化物少量
- 第6層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒, 炭化物少量
- 第7層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒, 炭化物少量
- 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量, 炭化物少量
- 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量, 炭化物少量
- 第10層 暗褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒, 角礫少量
- 第11層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量, 炭化物少量
- 第12層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒中量, 褐色土 (7.5YR4/4) 少量

第13号竪穴式住居跡内焼土



第13号竪穴式住居跡内焼土  
第1層 赤褐色土 (5YR5/4) ローム粒, 炭化物少量, F1土少量



第13号竪穴式住居跡内ビット1

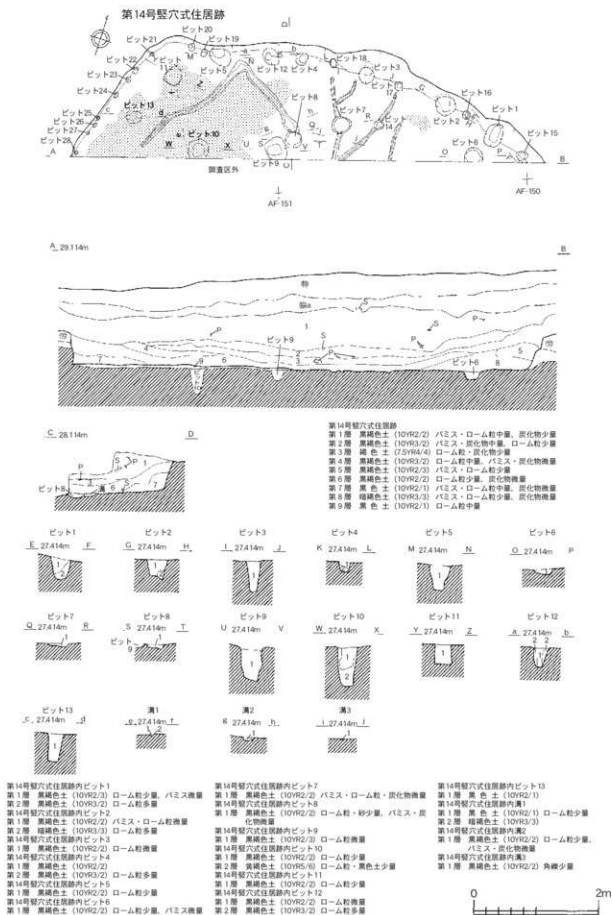
- 第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量
- 第3層 暗褐色土 (10YR4/4) L.B.・ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット2
- 第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第2層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒, 炭化物少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット3
- 第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム土, 炭化物少量
- 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量
- 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット4
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒, 暗褐色土少量
- 第2層 暗褐色土 (10YR3/3) 褐色土 (7.5YR4/4) 少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット5
- 第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第2層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット6
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット7
- 第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット8
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量
- 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット9
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量, 角礫少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット10
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒中量
- 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量
- 第3層 暗褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット11
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒, 炭化物少量
- 第2層 暗褐色土 (7.5YR4/4) F1土少量
- 第3層 暗褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒少量

第13号竪穴式住居跡内ビット12

- 第1層 赤土 (10YR4/3) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット13
- 第1層 赤土 (10YR4/3) ローム粒少量, 角礫少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット14
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒, 炭化物少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット15
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量, 炭化物少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット16
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量
- 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/2) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット17
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒, 炭化物少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット18
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第2層 暗褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット19
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒, 炭化物少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット20
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット21
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット22
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット23
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量, 炭化物少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット24
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット25
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第2層 暗褐色土 (7.5YR4/4) 暗褐色土少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット26
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第2層 暗褐色土 (7.5YR4/4) 暗褐色土少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット27
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR4/4) ローム粒少量
- 第2層 暗褐色土 (7.5YR4/4) 暗褐色土少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット28
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット29
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット30
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量
- 第2層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット31
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット32
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット33
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット34
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット35
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量
- 第13号竪穴式住居跡内ビット36
- 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量

第5図 第13号竪穴式住居跡

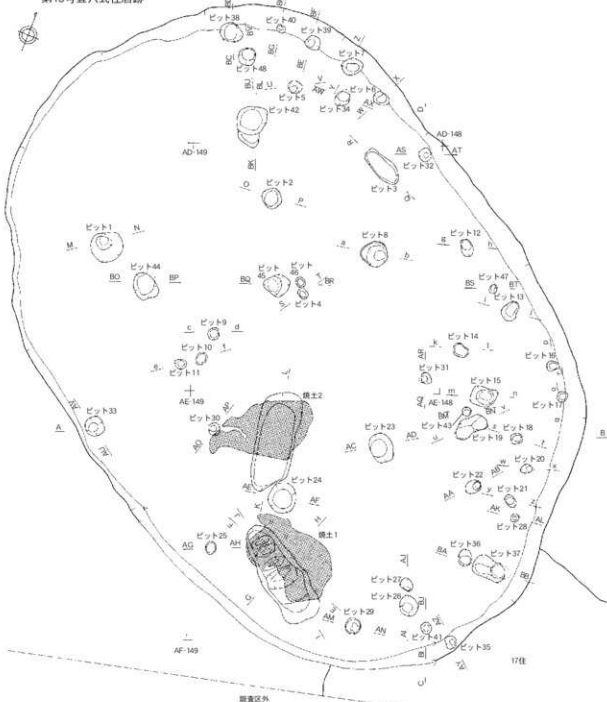




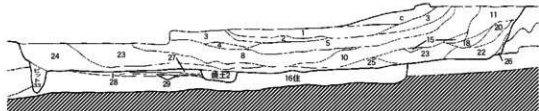
第6図 第14号竪穴式住居跡



第15号竪穴式住居跡

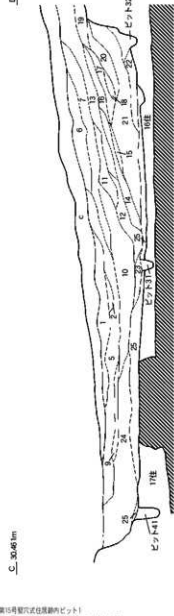


A 29.78 m



B

d

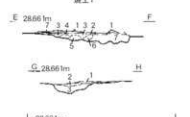


C 29.78 m

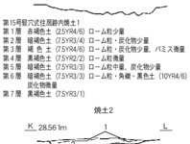
- 第15号竪穴式住居跡内ピット
- 第1層 暗褐色土 (10950/4) ロ-土粒少量
  - 第2層 暗褐色土 (10942/3) ロ-土粒少量
  - 第3層 暗褐色土 (10944/4) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第4層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量
  - 第5層 暗褐色土 (10952/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第6層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第7層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第8層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第9層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第10層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第11層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第12層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第13層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第14層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第15層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第16層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第17層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第18層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第19層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第20層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第21層 暗褐色土 (10954/3) ロ-土粒、炭化物少量

構1

- 第15号竪穴式住居跡
- 第1層 暗褐色土 (10946/4) ロ-土粒、炭化物少量、角礫少量
  - 第2層 暗褐色土 (10945/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第3層 暗褐色土 (10945/4) 炭化物少量、ロ-土粒少量
  - 第4層 暗褐色土 (10946/4) ロ-土粒少量
  - 第5層 暗褐色土 (10947/3) 炭化物少量、ロ-土粒少量
  - 第6層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量
  - 第7層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒、炭化物少量
  - 第8層 暗褐色土 (10948/4) 土層厚、ロ-土粒、炭化物少量
  - 第9層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第10層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第11層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第12層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第13層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第14層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第15層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第16層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第17層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第18層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第19層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第20層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量
  - 第21層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒少量、炭化物少量



I 28.66 m



J 28.66 m

第15号竪穴式住居跡内構1

- 第1層 暗褐色土 (10946/4) ロ-土粒少量
- 第2層 暗褐色土 (10945/4) ロ-土粒、炭化物少量
- 第3層 暗褐色土 (10946/4) ロ-土粒、炭化物少量、F12少量
- 第4層 暗褐色土 (10947/3) ロ-土粒少量
- 第5層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒、炭化物少量
- 第6層 暗褐色土 (10948/4) ロ-土粒、炭化物少量
- 第7層 暗褐色土 (10948/4) 少量
- 第8層 暗褐色土 (10948/4) 少量

第1層 暗褐色土 (10946/4)

第2層 暗褐色土 (10945/4)

第3層 暗褐色土 (10946/4)

第4層 暗褐色土 (10947/3)

第5層 暗褐色土 (10948/4)

第6層 暗褐色土 (10948/4)

第7層 暗褐色土 (10948/4)

第8層 暗褐色土 (10948/4)

第9層 暗褐色土 (10948/4)

第10層 暗褐色土 (10948/4)

第11層 暗褐色土 (10948/4)

第12層 暗褐色土 (10948/4)

第13層 暗褐色土 (10948/4)

第14層 暗褐色土 (10948/4)

第15層 暗褐色土 (10948/4)

第16層 暗褐色土 (10948/4)

第17層 暗褐色土 (10948/4)

第18層 暗褐色土 (10948/4)

第19層 暗褐色土 (10948/4)

第20層 暗褐色土 (10948/4)

第21層 暗褐色土 (10948/4)

第22層 暗褐色土 (10948/4)

第23層 暗褐色土 (10948/4)

第24層 暗褐色土 (10948/4)

第25層 暗褐色土 (10948/4)

第26層 暗褐色土 (10948/4)

第27層 暗褐色土 (10948/4)

第28層 暗褐色土 (10948/4)

第29層 暗褐色土 (10948/4)

第30層 暗褐色土 (10948/4)

第31層 暗褐色土 (10948/4)

第32層 暗褐色土 (10948/4)

第33層 暗褐色土 (10948/4)

第34層 暗褐色土 (10948/4)

第35層 暗褐色土 (10948/4)

第36層 暗褐色土 (10948/4)

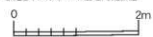
第37層 暗褐色土 (10948/4)

第38層 暗褐色土 (10948/4)

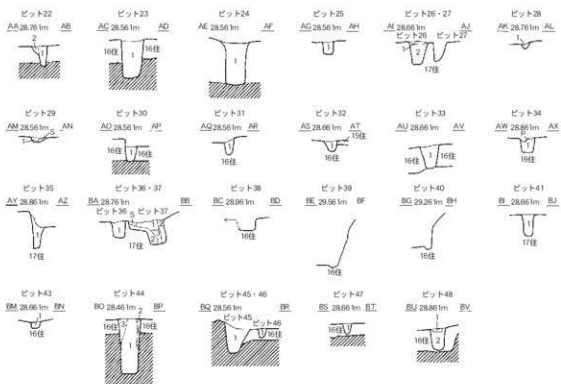
第39層 暗褐色土 (10948/4)

第40層 暗褐色土 (10948/4)

第41層 暗褐色土 (10948/4)



第7図 第15号竪穴式住居跡 (1)



## 第15号竪穴住居跡内ピット22

第1層 褐色土 (75YR4/4) ローム粒少量  
 第2層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量

## 第15号竪穴住居跡内ピット23

第1層 褐色土 (75YR4/4) 炭化物中量、ローム粒少量  
 第15号竪穴住居跡内ピット24

第1層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量  
 第15号竪穴住居跡内ピット25

第1層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒中量、炭化物微量  
 第15号竪穴住居跡内ピット26

第1層 褐色土 (75YR4/4) 砂質層  
 第2層 黄褐色土 (10YR2/3) ローム粒中量、褐色土 (75YR4/6) 少量、炭化物微量

## 第15号竪穴住居跡内ピット28

第1層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒少量  
 第15号竪穴住居跡内ピット29

第1層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒少量、炭化物微量  
 第15号竪穴住居跡内ピット31

第1層 褐色土 (75YR4/4) 砂質層

## 第15号竪穴住居跡内ピット33

第1層 褐色土 (75YR4/4) ローム粒中量、黄褐色土少量  
 第15号竪穴住居跡内ピット34

第1層 褐色土 (75YR4/4) 砂質層、ローム粒、炭化物微量

## 第15号竪穴住居跡内ピット35

第1層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒、炭化物少量  
 第15号竪穴住居跡内ピット36

第1層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒中量、パミス少量  
 第15号竪穴住居跡内ピット37

第1層 暗褐色土 (75YR3/3) ローム粒多量、炭化物微量  
 第2層 褐色土 (75YR4/6) ローム粒多量、炭化物少量  
 第3層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒中量、パミス少量

第15号竪穴住居跡内ピット41

第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒多量、黄褐色土 (10YR3/3) 少量

## 第15号竪穴住居跡内ピット43

第1層 褐色土 (75YR4/4) ローム粒中量

## 第15号竪穴住居跡内ピット44

第1層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒多量、炭化物少量  
 第2層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒多量、炭化物微量  
 第3層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒中量、黄褐色土 (75YR2/2) 少量

## 第15号竪穴住居跡内ピット45

第1層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒中量、黄褐色土 (75YR2/2) 少量、炭化物微量  
 第15号竪穴住居跡内ピット46

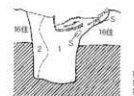
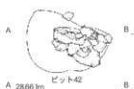
第1層 褐色土 (75YR4/4) ローム粒、炭化物微量  
 第15号竪穴住居跡内ピット47

第1層 褐色土 (75YR4/4) ローム粒微量  
 第2層 暗褐色土 (75YR3/3) ローム粒中量、炭化物微量  
 第3層 暗褐色土 (75YR3/3) ローム粒少量、炭化物微量

## 第15号竪穴住居跡内ピット48

第1層 暗褐色土 (75YR3/3) ローム粒中量、炭化物微量  
 第2層 暗褐色土 (75YR3/3) ローム粒少量、炭化物微量

## ピット42内埋設土器



## 第15号竪穴住居跡内ピット42

第1層 暗褐色土 (75YR3/4) ローム粒中量、黄褐色土 (75YR2/2) 少量、炭化物微量  
 第2層 黄褐色土 (75YR2/2) ローム粒多量、炭化物微量



第8図 第15号竪穴住居跡 (2)

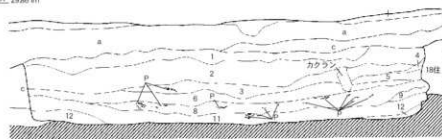




第17号竪穴式住居跡

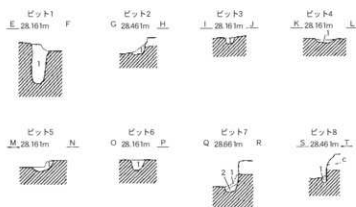


A. 20.96 m



第17号竪穴式住居跡

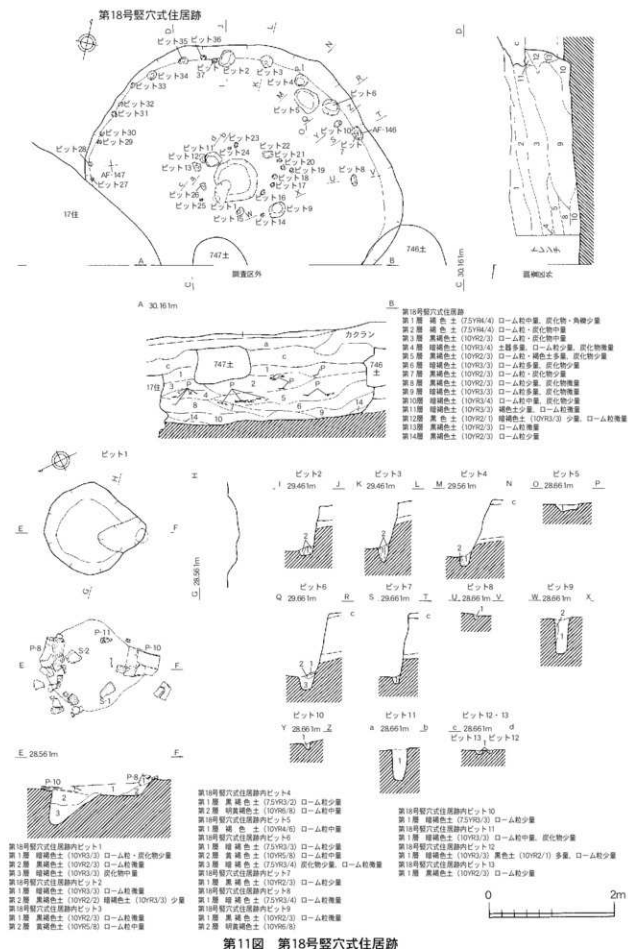
- 第1層 黄緑色土 (10YR3/2) ローム粒少量、炭化物微量  
 第2層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒中量、炭化物、黄緑少量  
 第3層 黄緑色土 (10YR3/2) ローム粒、炭化物少量  
 第4層 黄緑色土 (10YR3/2) 炭化物、土器中量、ローム粒、黄緑少量  
 第5層 黄緑色土 (10YR3/2) ローム粒多量、炭化物微量  
 第6層 黄緑色土 (10YR2/2) ローム粒、炭化物少量  
 第7層 黄褐色土 (10YR2/2) ローム粒多量、炭化物少量  
 第8層 黄緑色土 (10YR3/4) 炭化物、土器多量、ローム粒中量  
 第9層 黄褐色土 (10YR2/2) ローム粒、炭化物少量  
 第10層 黄褐色土 (10YR2/1) ローム粒少量、炭化物微量  
 第11層 黄褐色土 (10YR2/2) ローム粒多量、炭化物微量  
 第12層 黄褐色土 (10YR2/1) ローム粒微量



- 第17号竪穴式住居跡内ピット1  
 第1層 黄緑色土 (10YR2/2) ローム粒、褐色土少量  
 第17号竪穴式住居跡内ピット2  
 第1層 黄緑色土 (10YR2/2) ローム粒、炭化物微量  
 第17号竪穴式住居跡内ピット3  
 第1層 黄緑色土 (10YR2/2) ローム粒、炭化物微量  
 第17号竪穴式住居跡内ピット4  
 第1層 黄褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量、炭化物微量  
 第17号竪穴式住居跡内ピット5  
 第1層 褐色土 (10YR4/4) 砂質層 黄褐色土 (10YR2/1) 少量  
 第17号竪穴式住居跡内ピット6  
 第1層 黄緑色土 (10YR3/2) 黄緑色土 (10YR5/6) 少量、炭化物微量  
 第17号竪穴式住居跡内ピット7  
 第1層 黄緑色土 (10YR2/2) ローム粒中量、炭化物微量  
 第2層 褐色土 (10YR4/4) 砂質層  
 第17号竪穴式住居跡内ピット8  
 第1層 黄緑色土 (10YR2/2) ローム粒微量



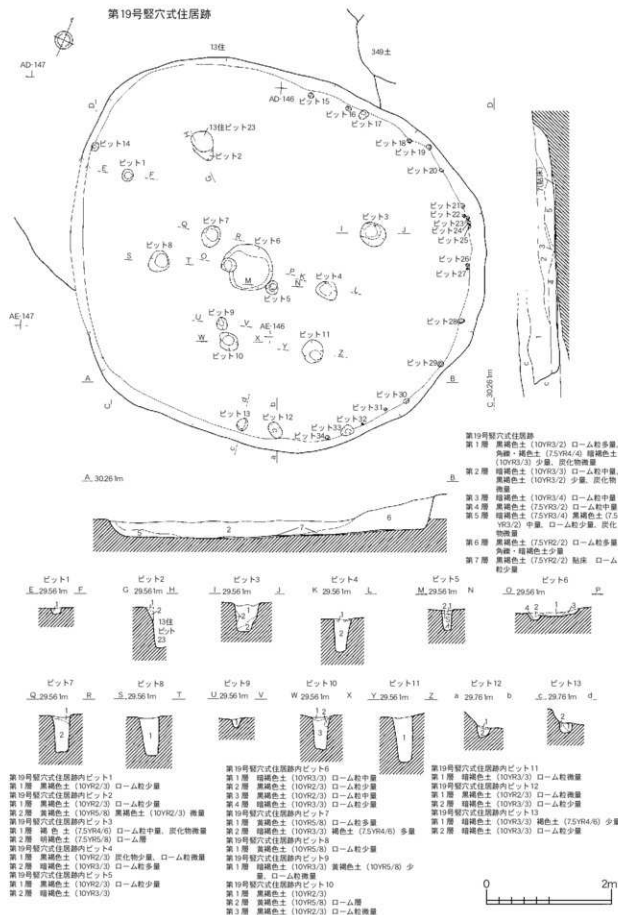
第10図 第17号竪穴式住居跡



第11図 第18号竪穴式住居跡

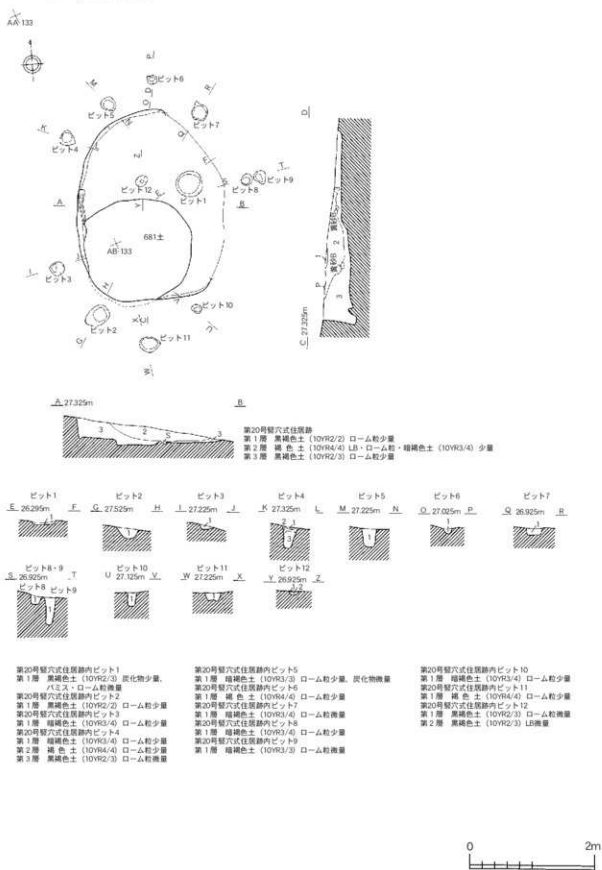


第19号竪穴式住居跡



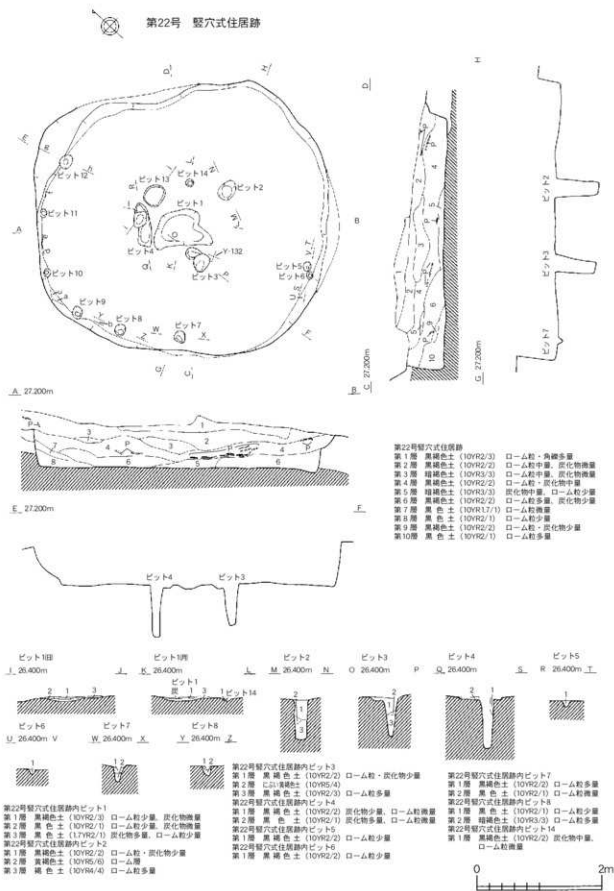
第12図 第19号竪穴式住居跡

第20号竪穴式住居跡

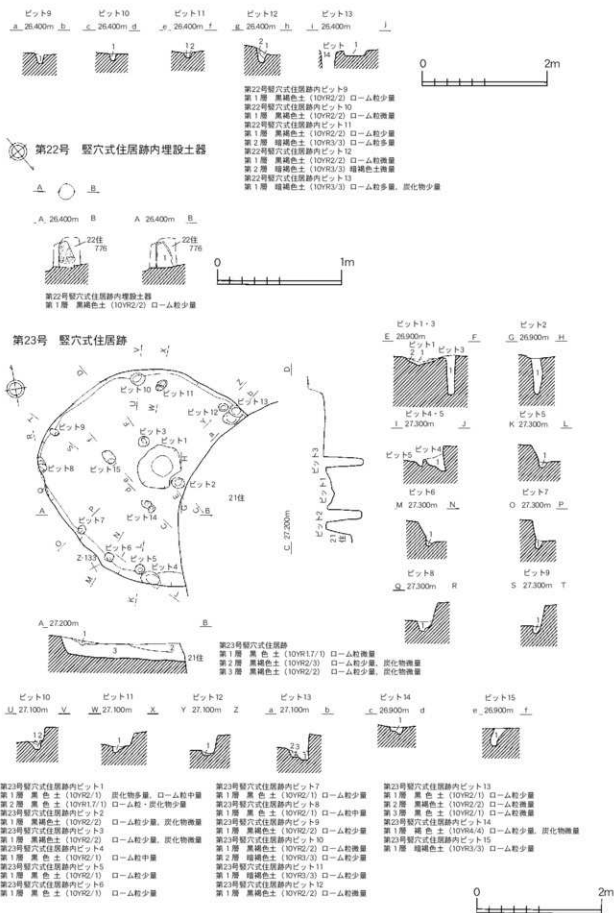


第13図 第20号竪穴式住居跡

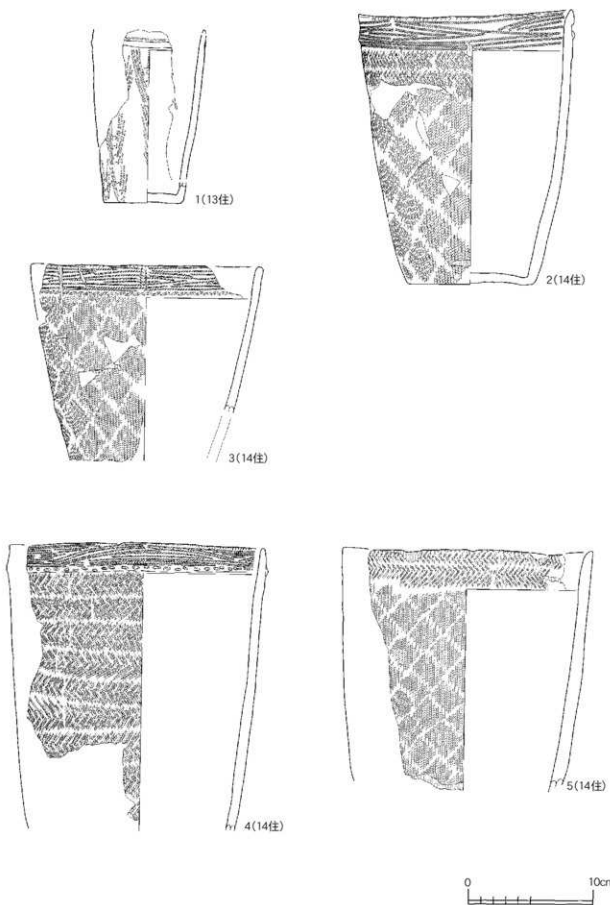




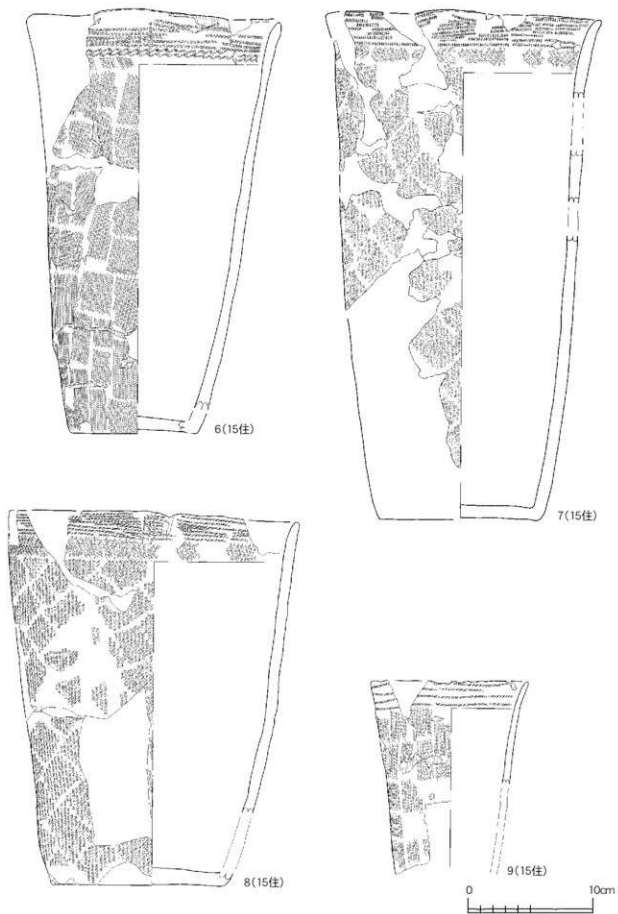
第15図 第22号竪穴式住居跡



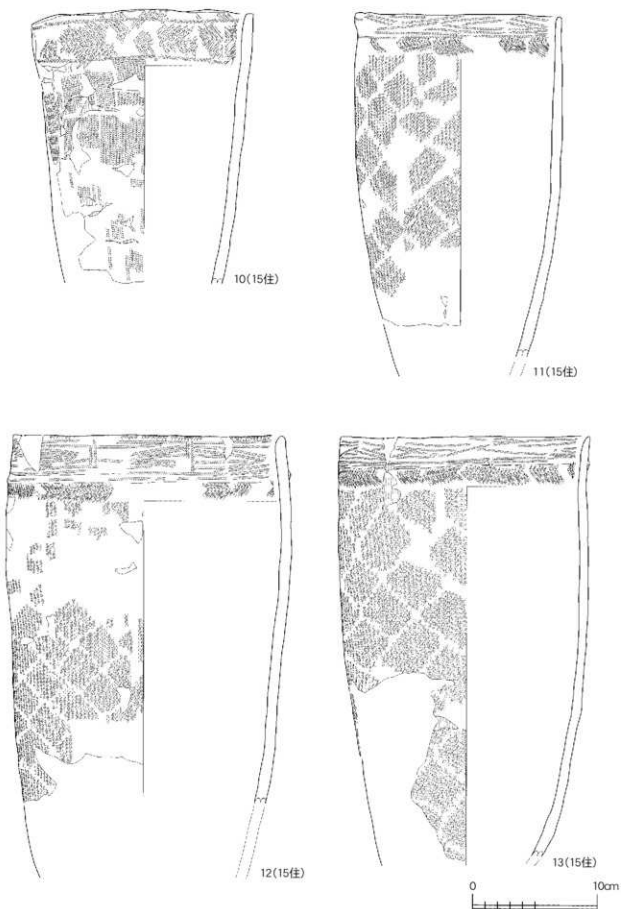
第16図 第22・23号竪穴式住居跡



第17図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(1)

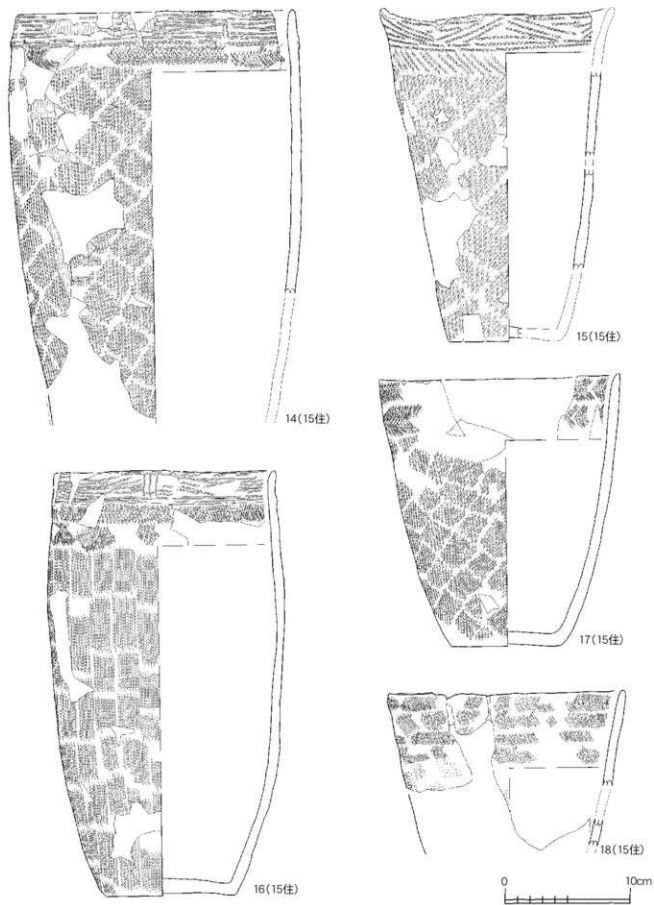


第18図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(2)

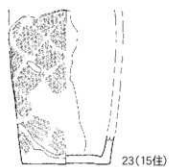
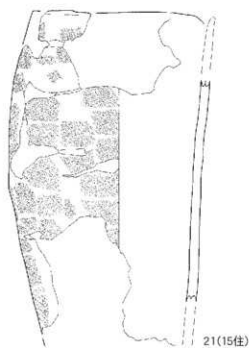
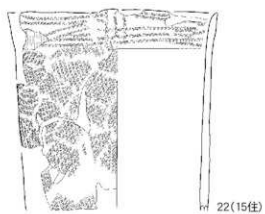
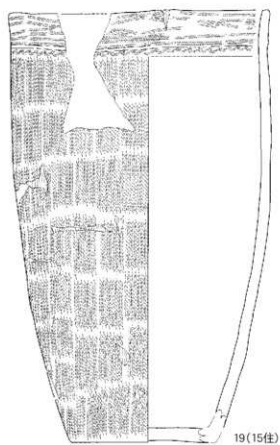


第19図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(3)

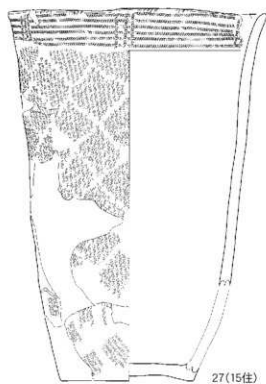
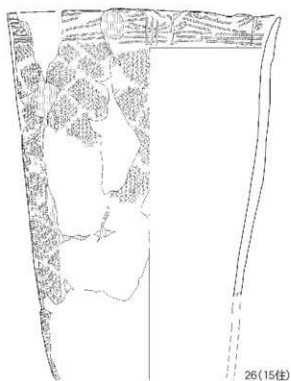
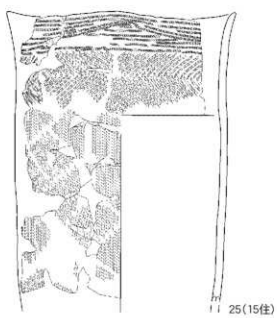




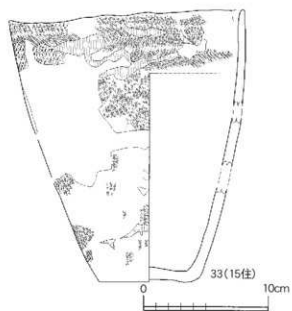
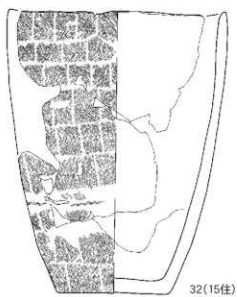
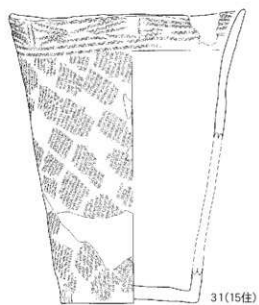
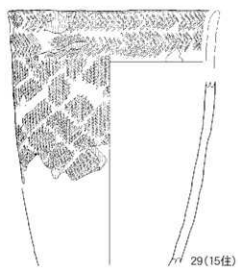
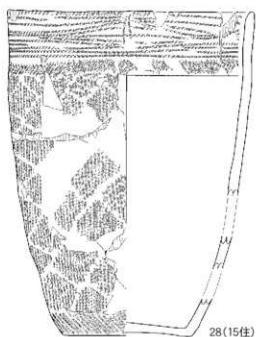
第20図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(4)



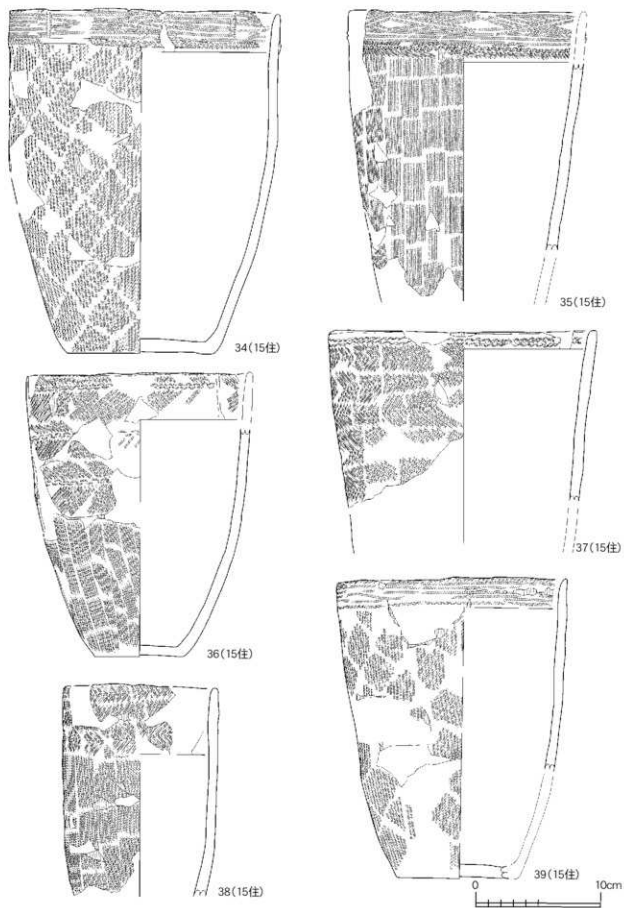
第21図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(5)



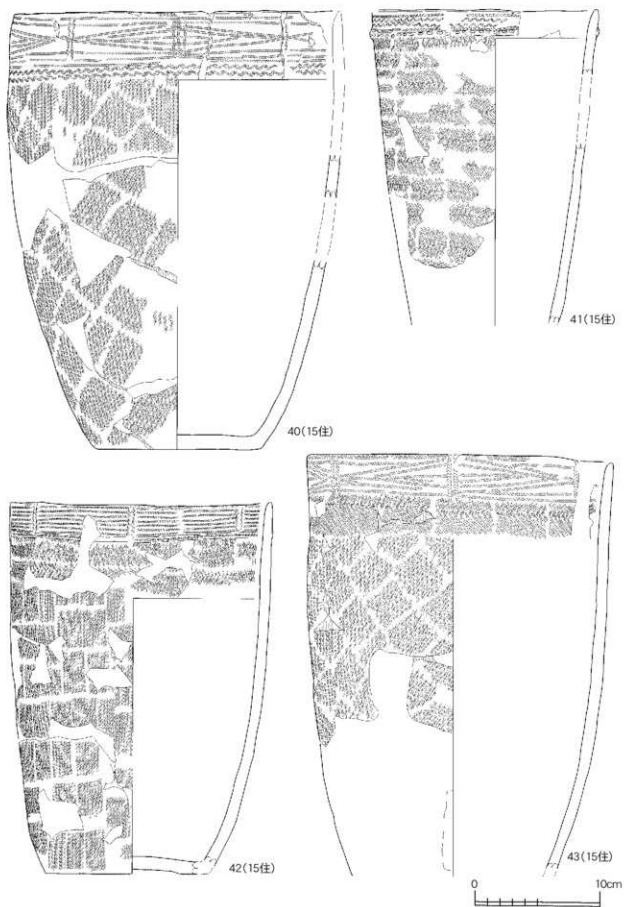
第22図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(6)



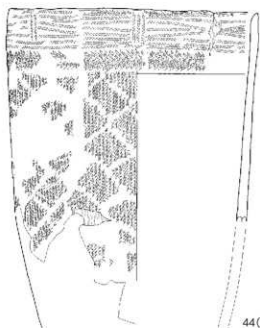
第23図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(7)



第24図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(8)



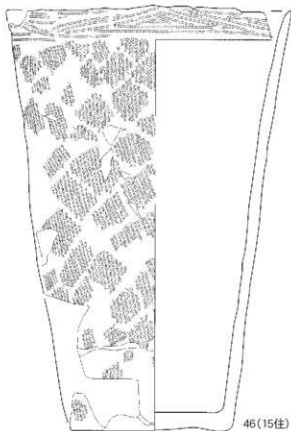
第25図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(9)



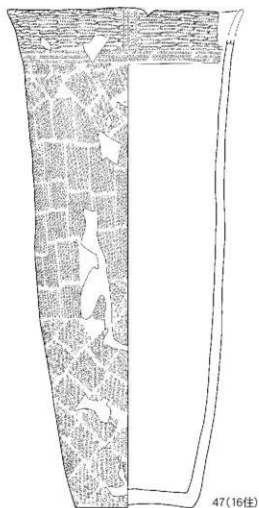
44(15住)



45(15住)



46(15住)



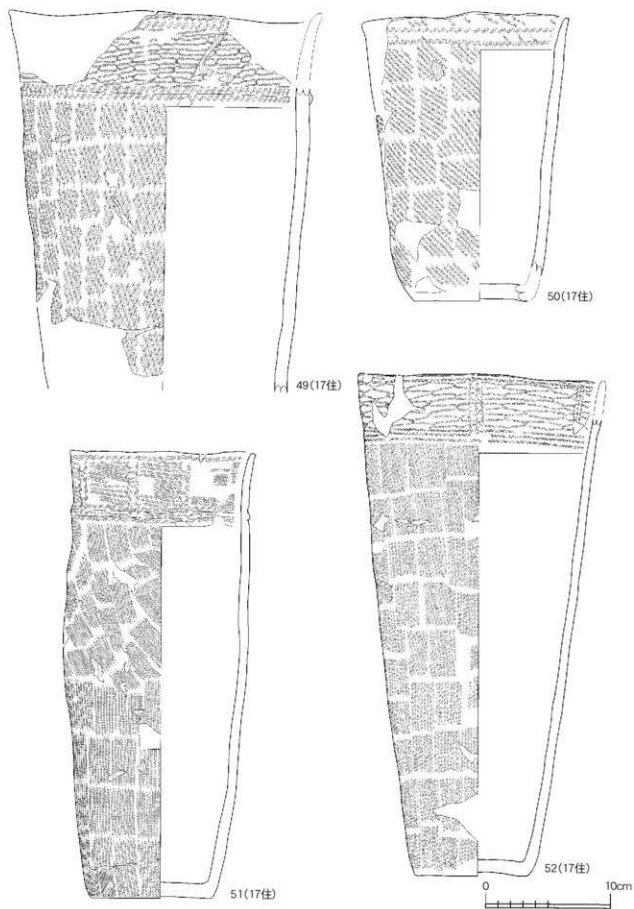
47(16住)



48(17住)

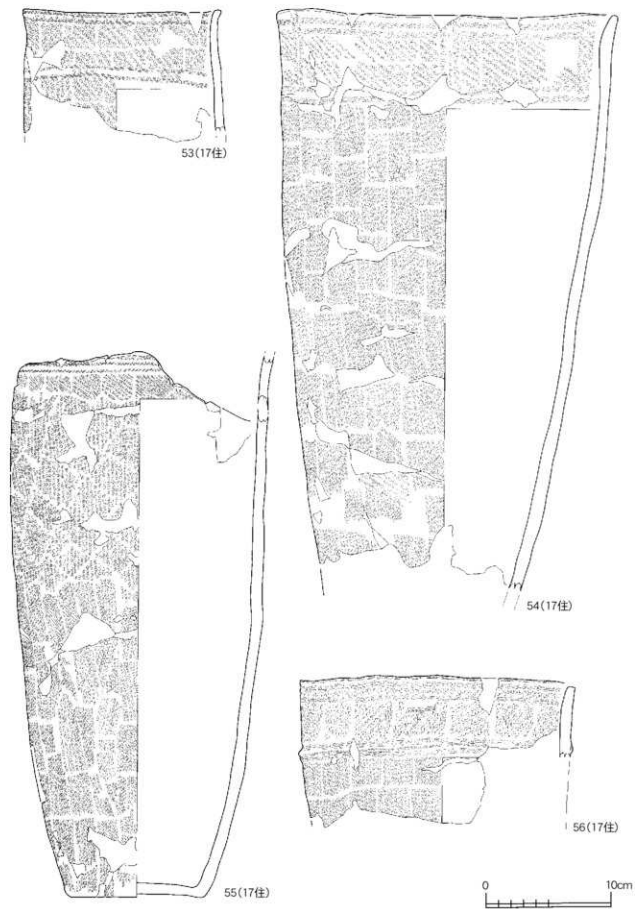


第26図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(10)

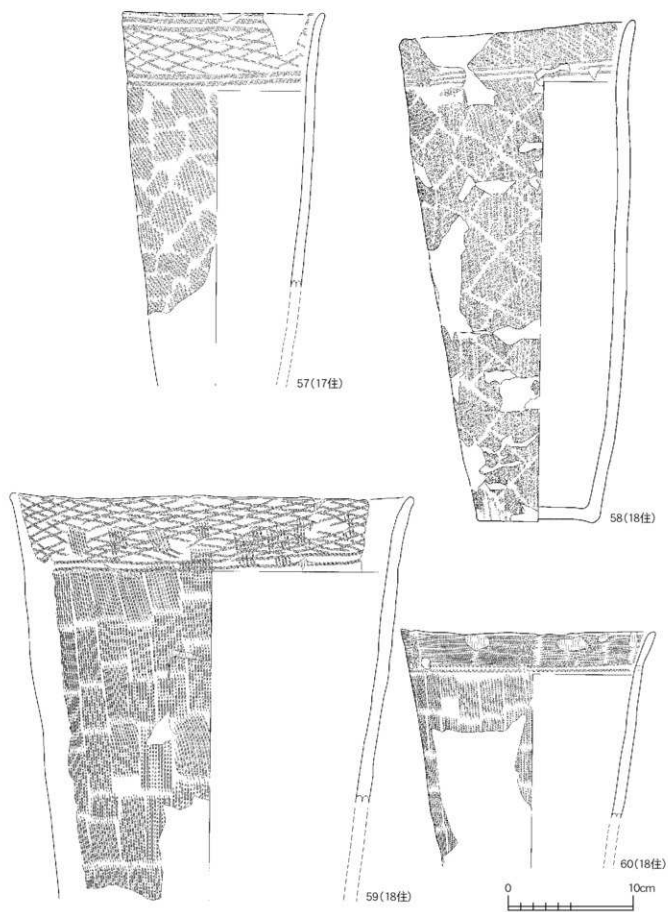


第27図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(11)

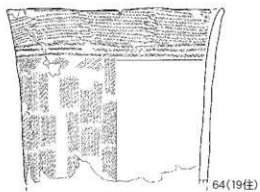
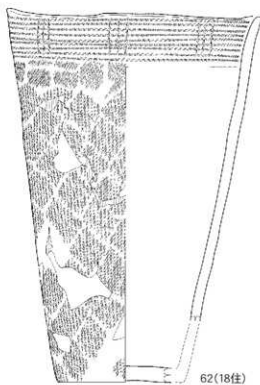
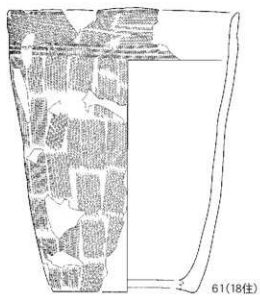




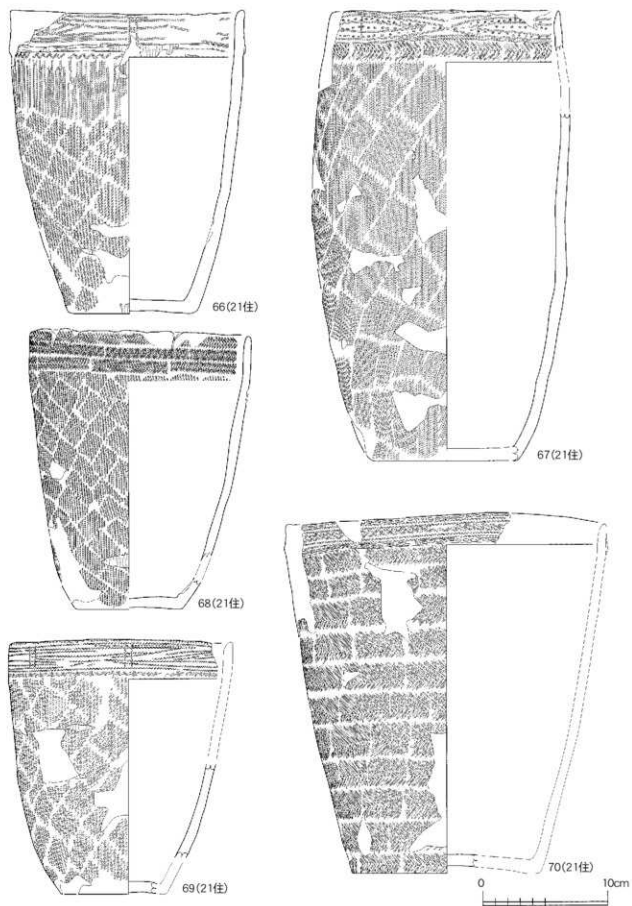
第28図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(12)



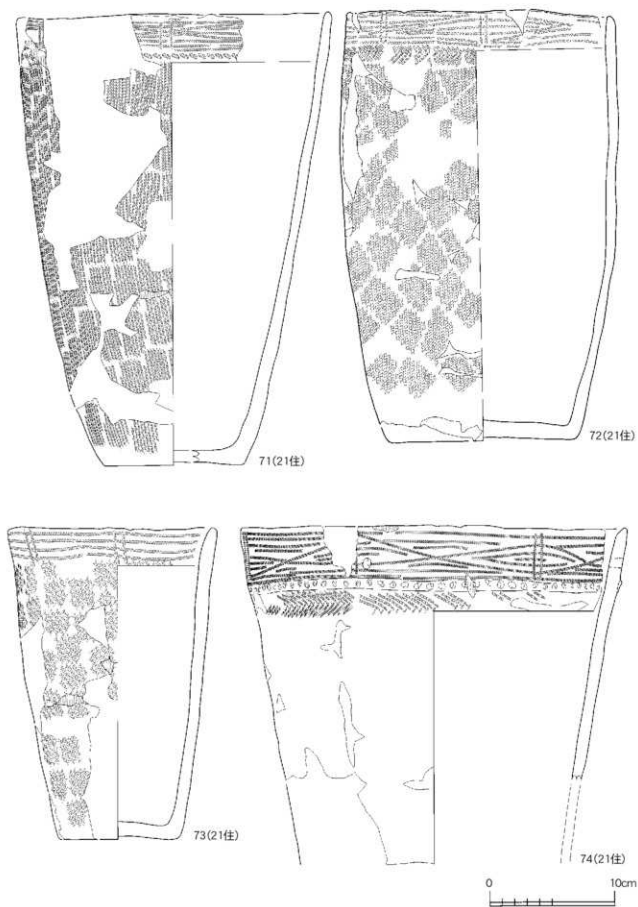
第29図 遺構内出土土器 (竪穴式住居跡) (13)



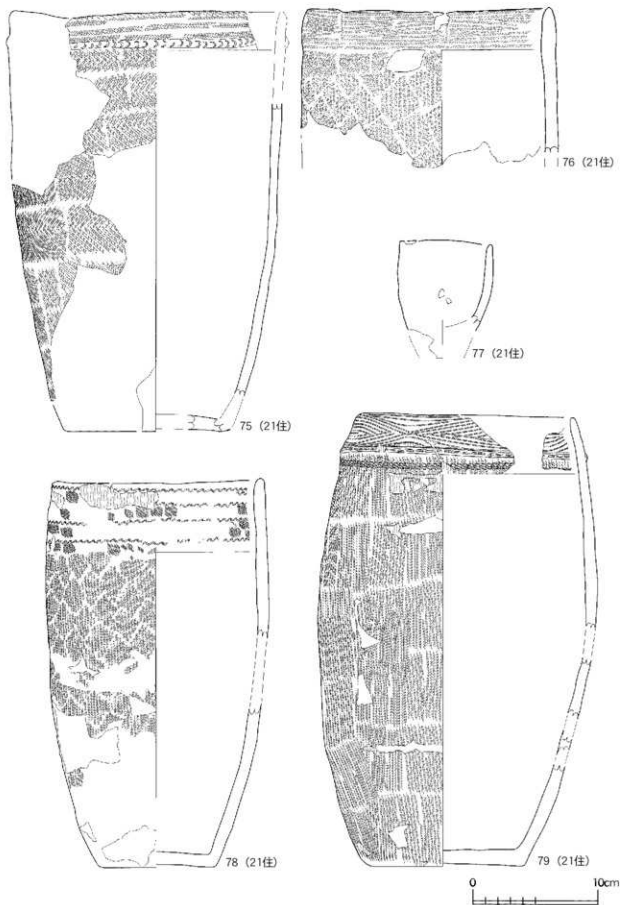
第30図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(14)



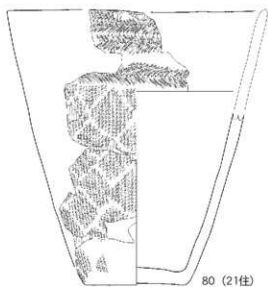
第31図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(15)



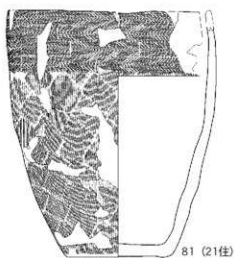
第32図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(16)



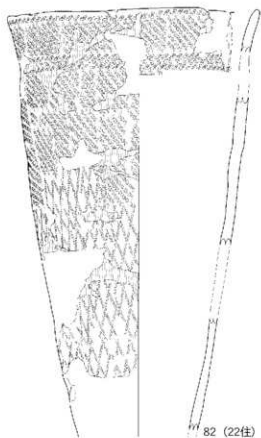
第33図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(17)



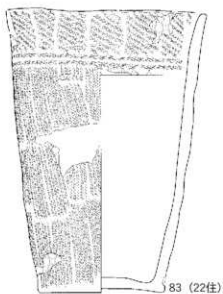
80 (21住)



81 (21住)



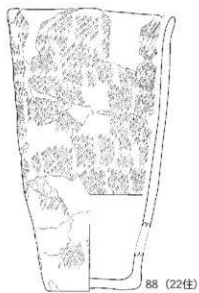
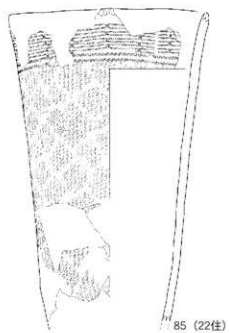
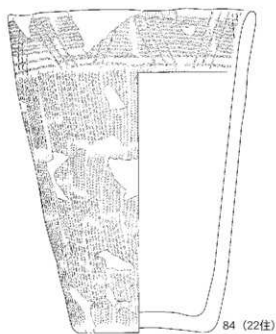
82 (22住)



83 (22住)

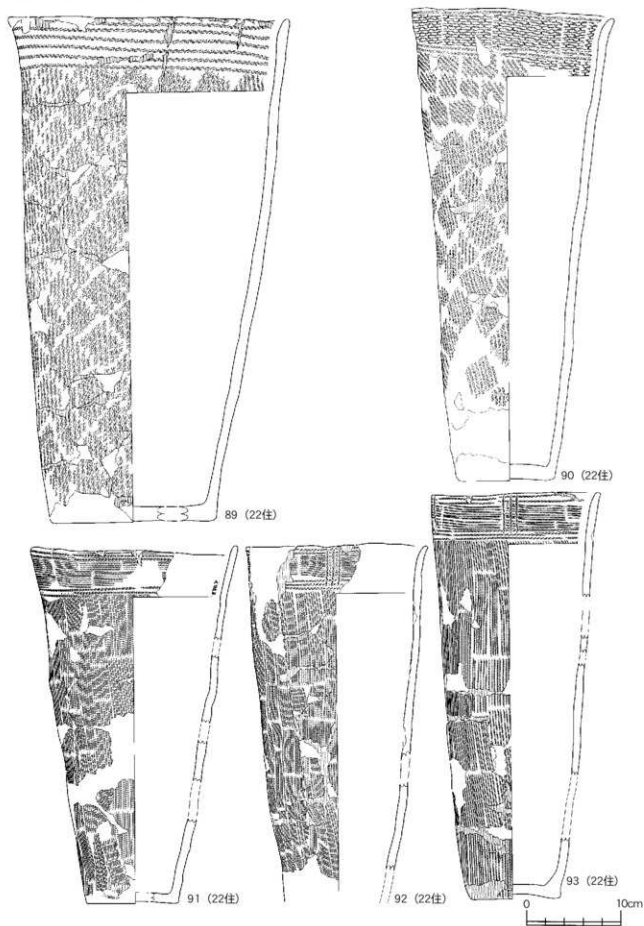


第34図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(18)

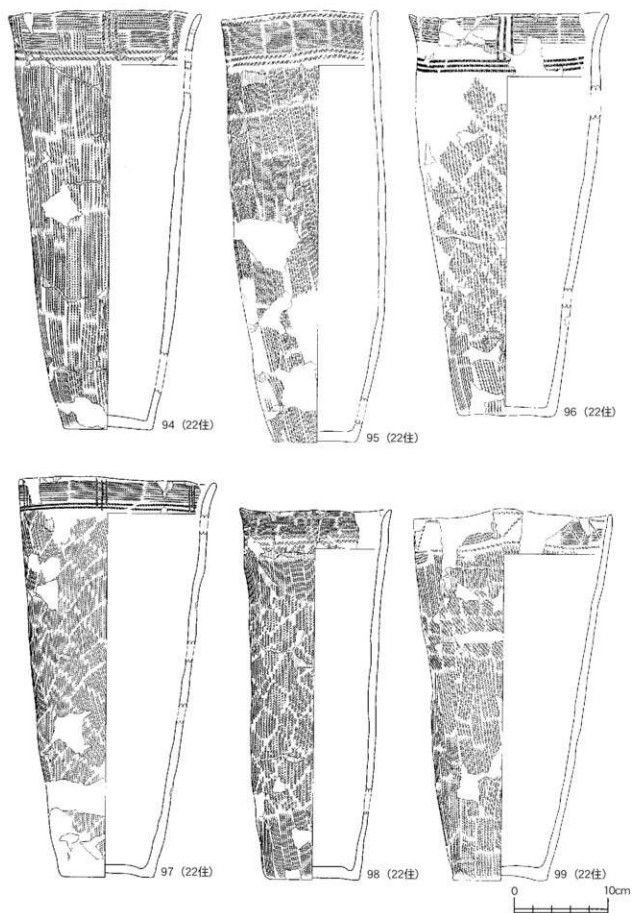


第35図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(19)

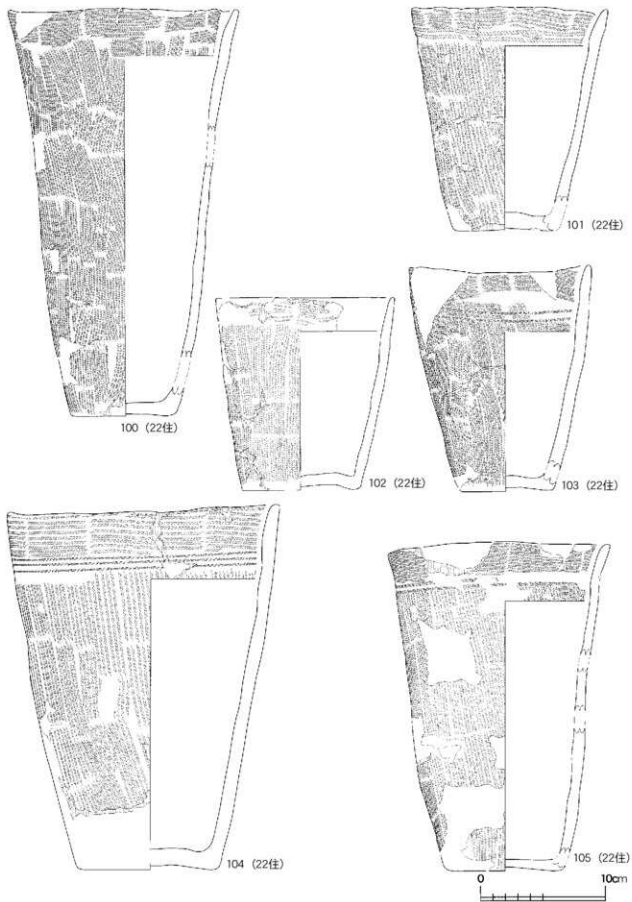




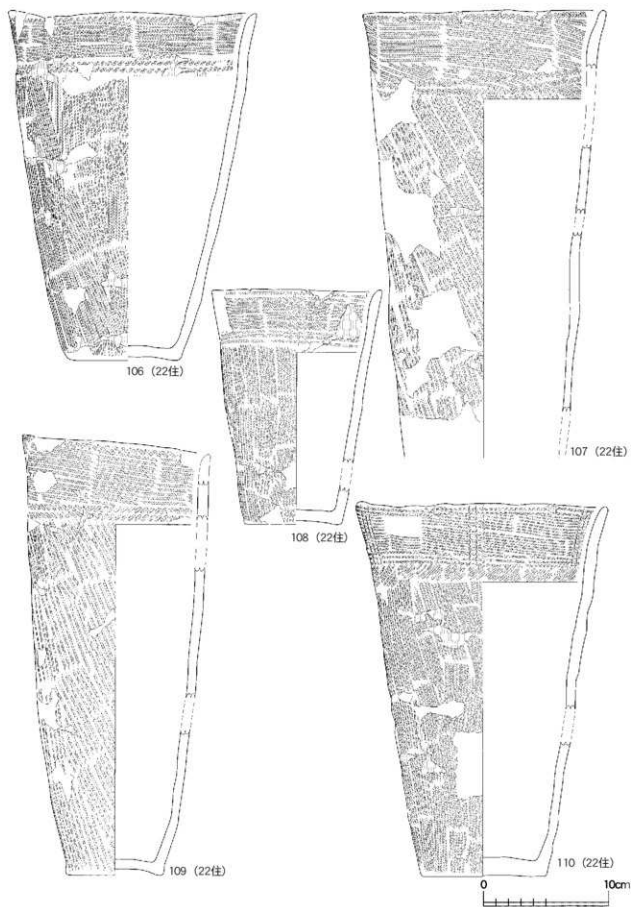
第36図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(20)



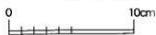
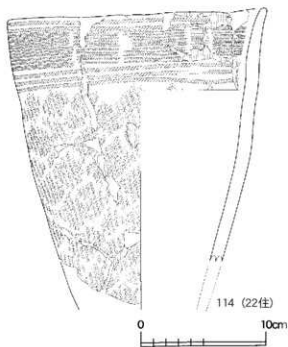
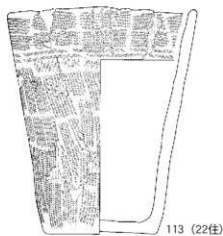
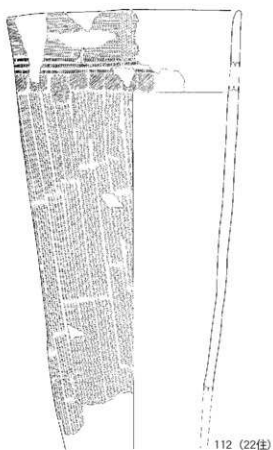
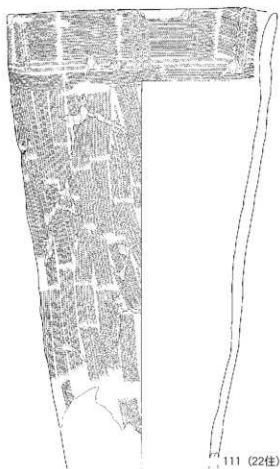
第37図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(21)



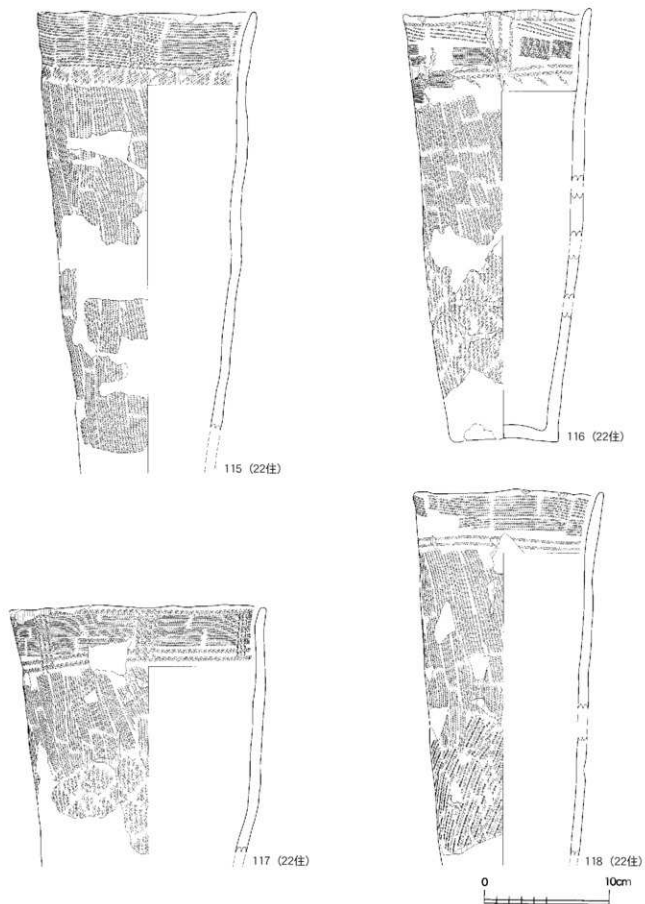
第38図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(22)



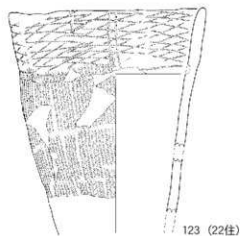
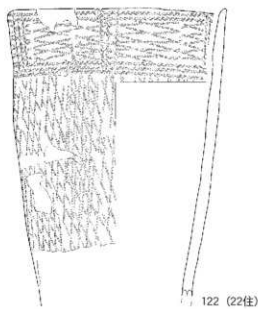
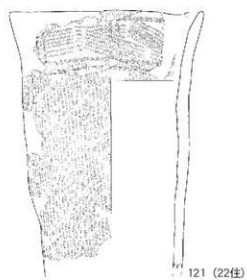
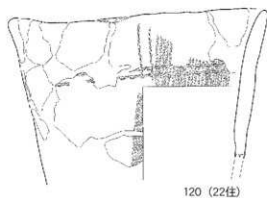
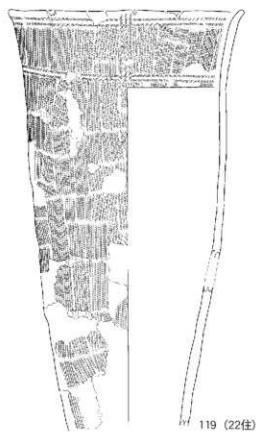
第39図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(23)



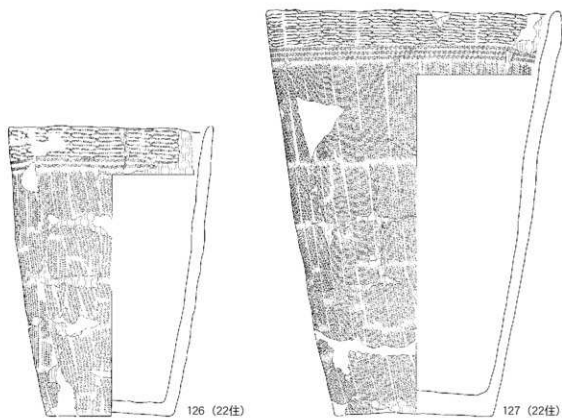
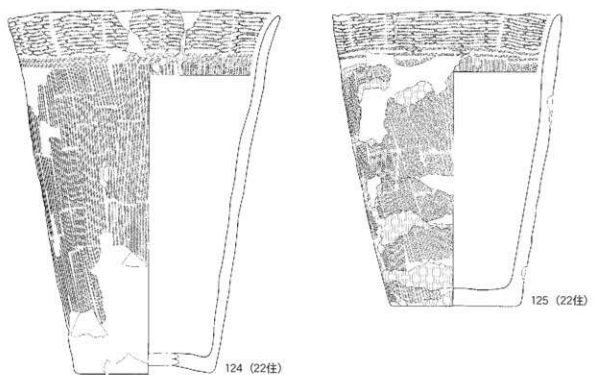
第40図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(24)



第41図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(25)

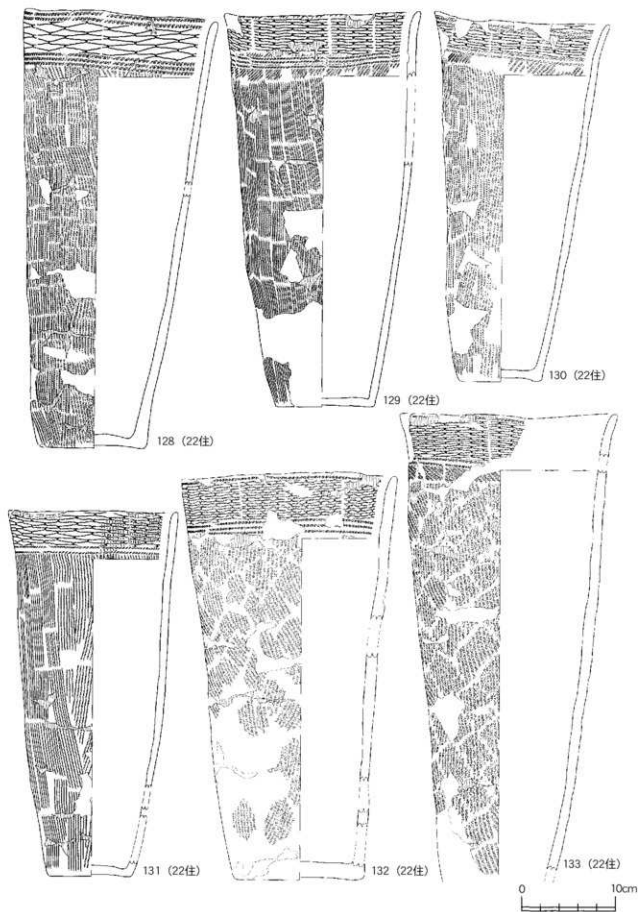


第42図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(26)

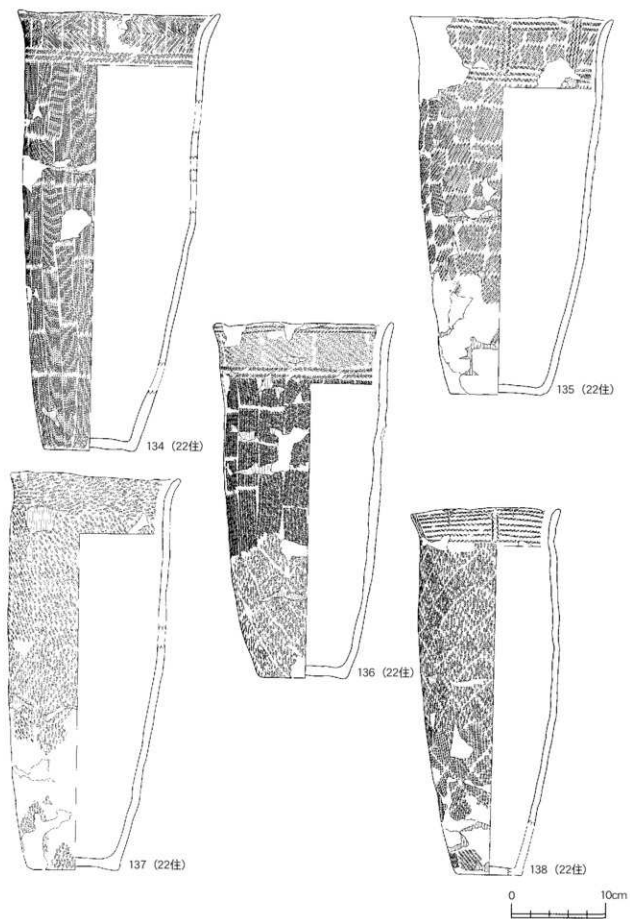


第43図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(27)

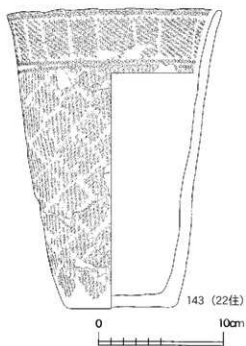
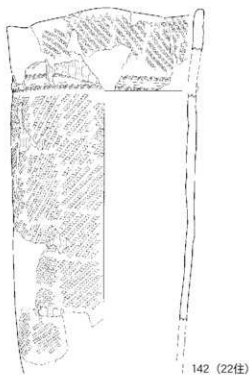
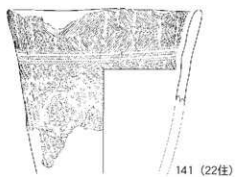
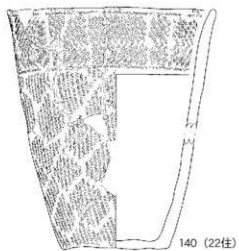
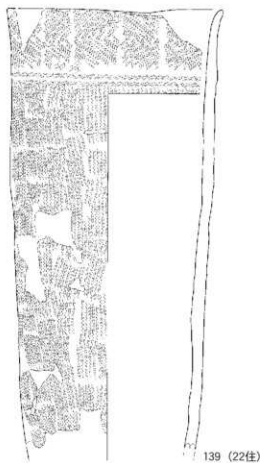




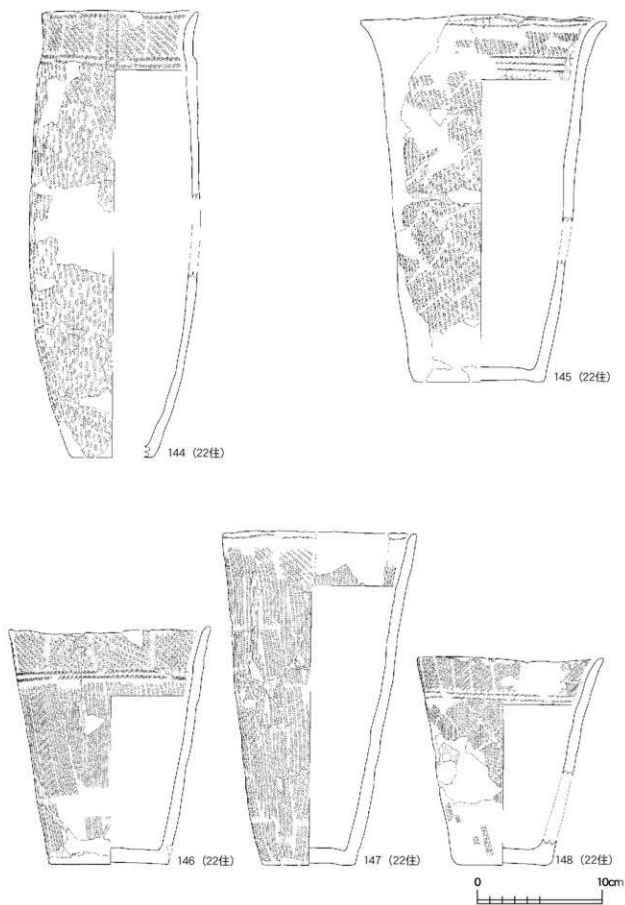
第44図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(28)



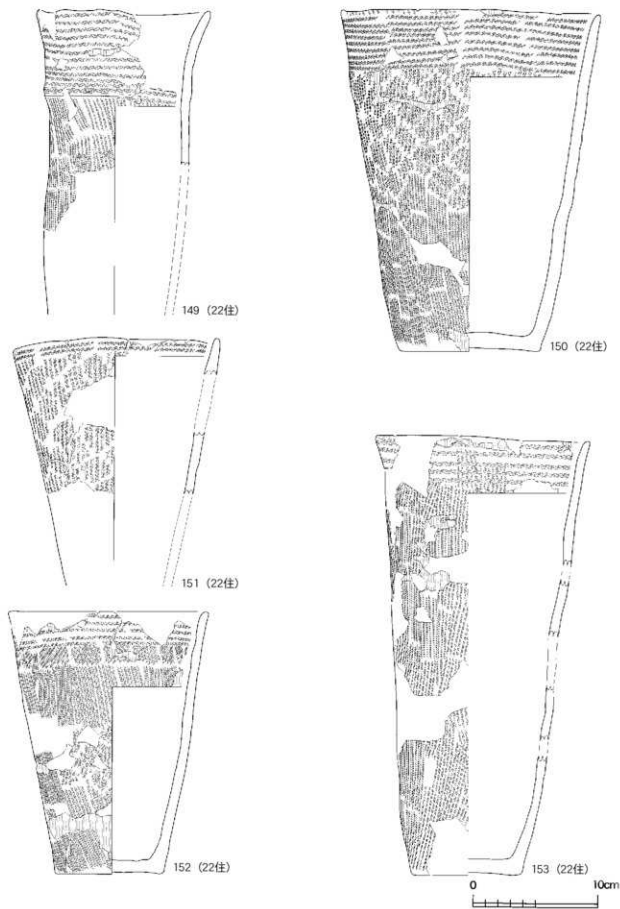
第45図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(29)



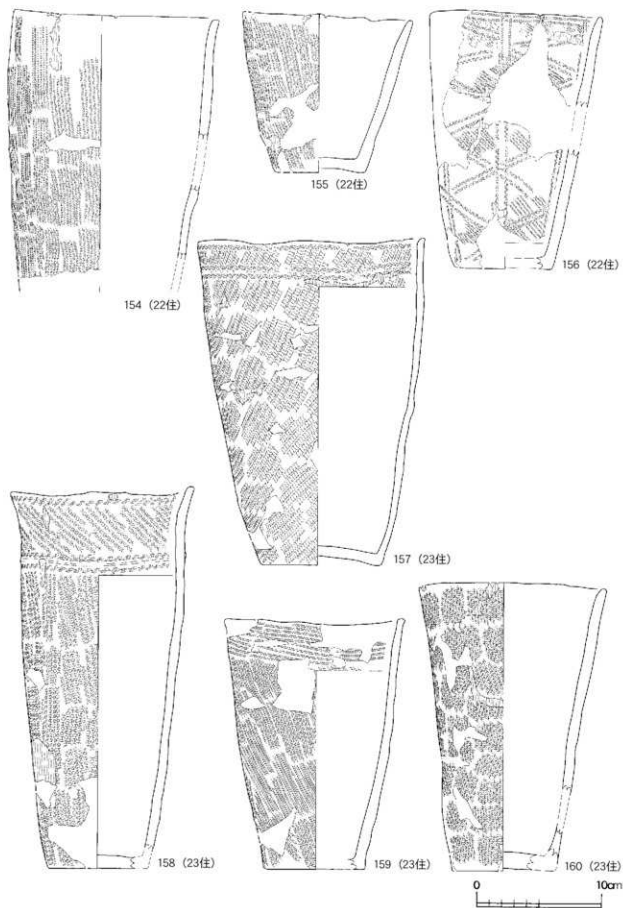
第46図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(30)



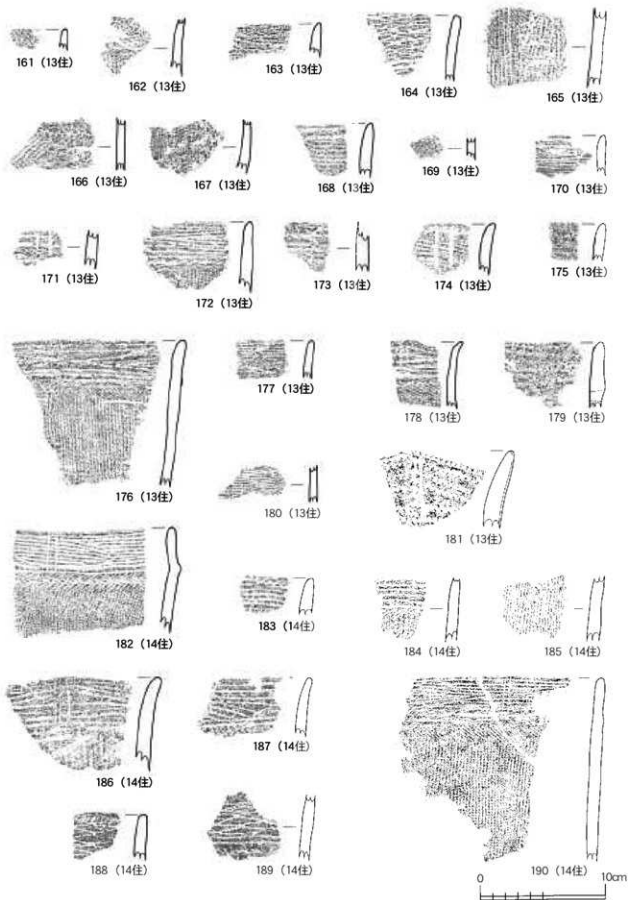
第47図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(31)



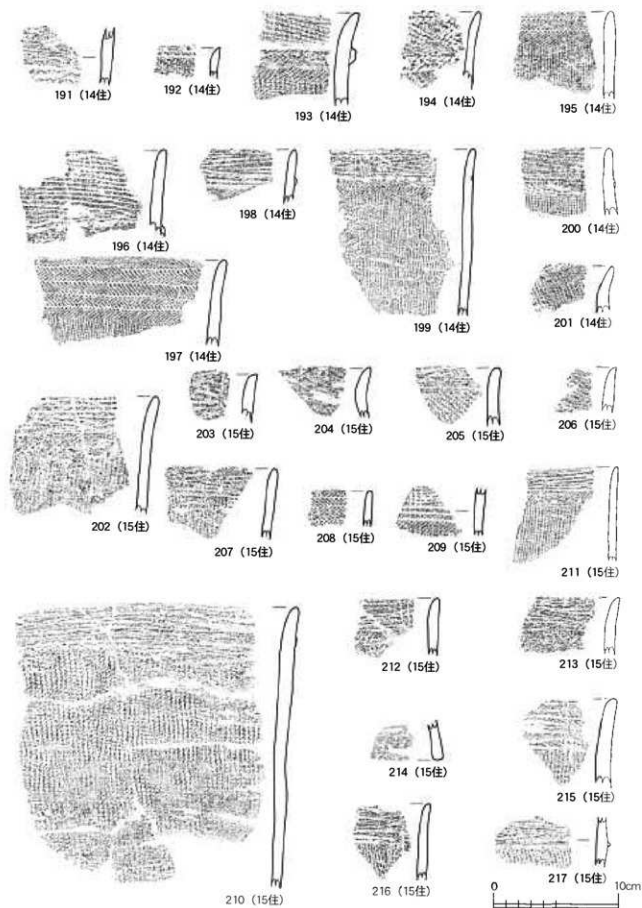
第48図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(32)



第49図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(33)

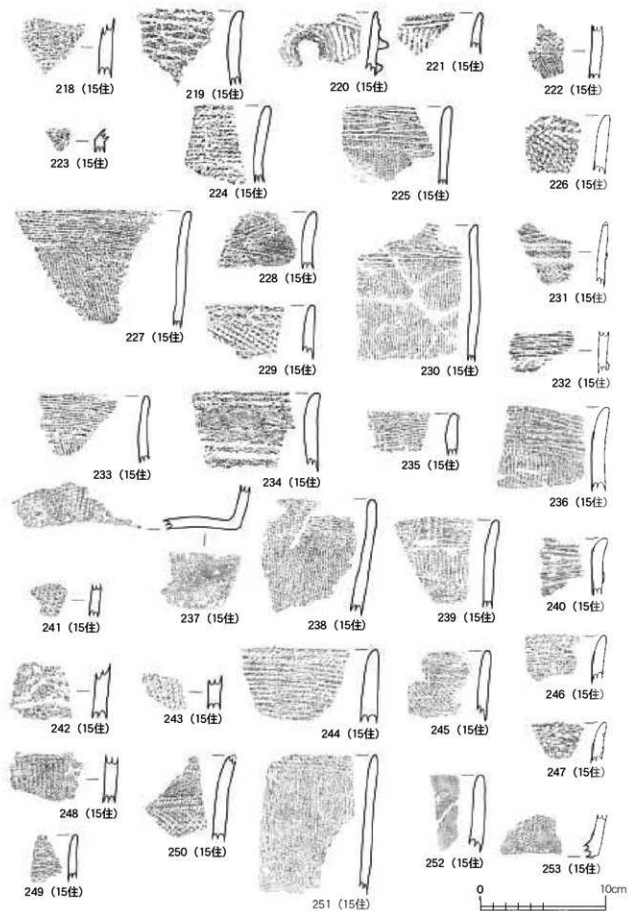


第50図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(34)

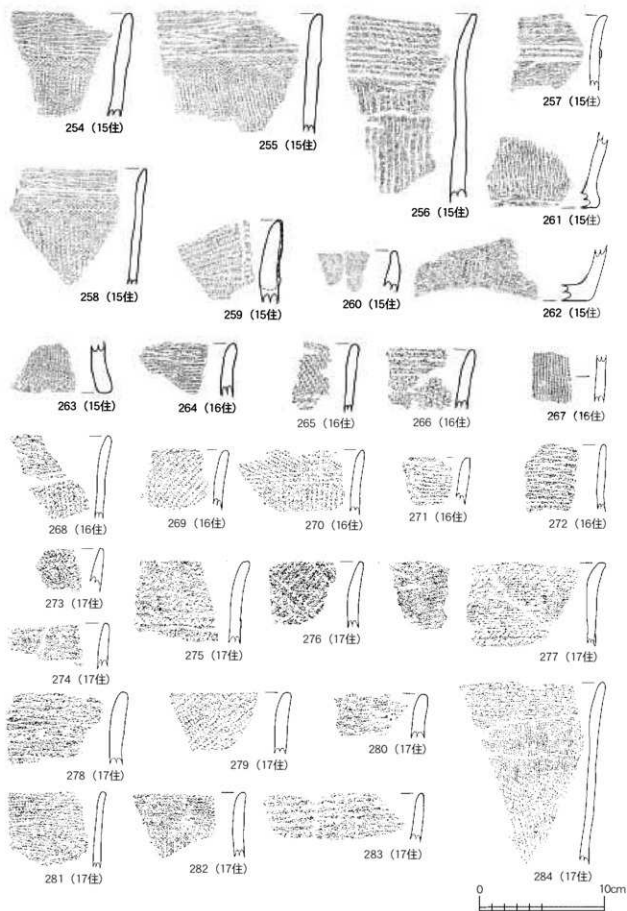


第51図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(35)

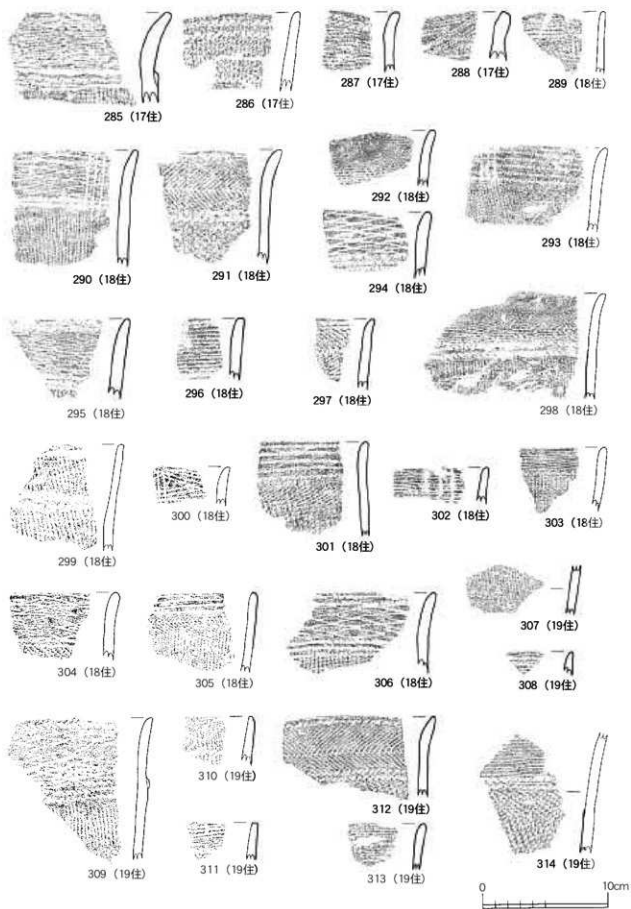




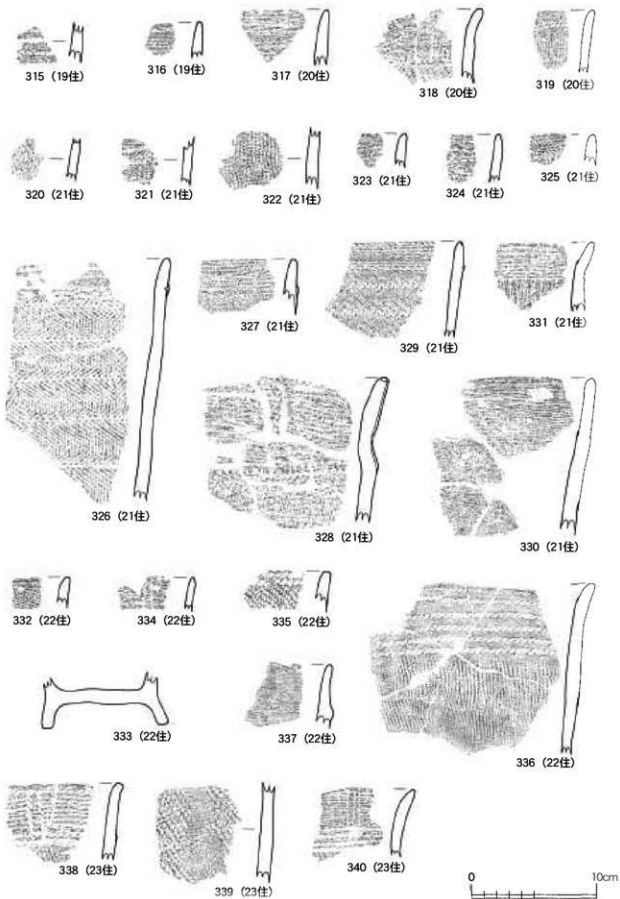
第52図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(36)



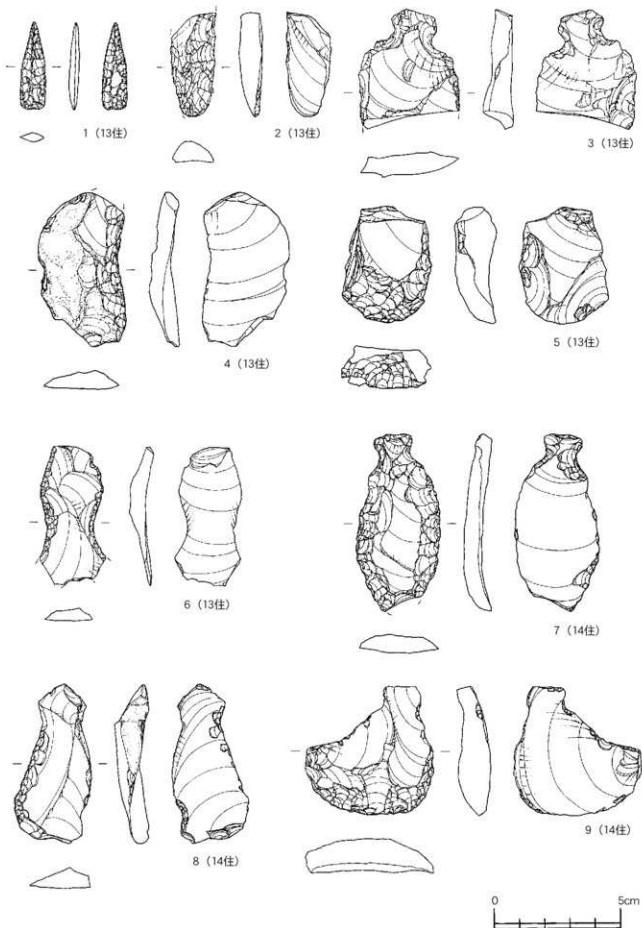
第53図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(37)



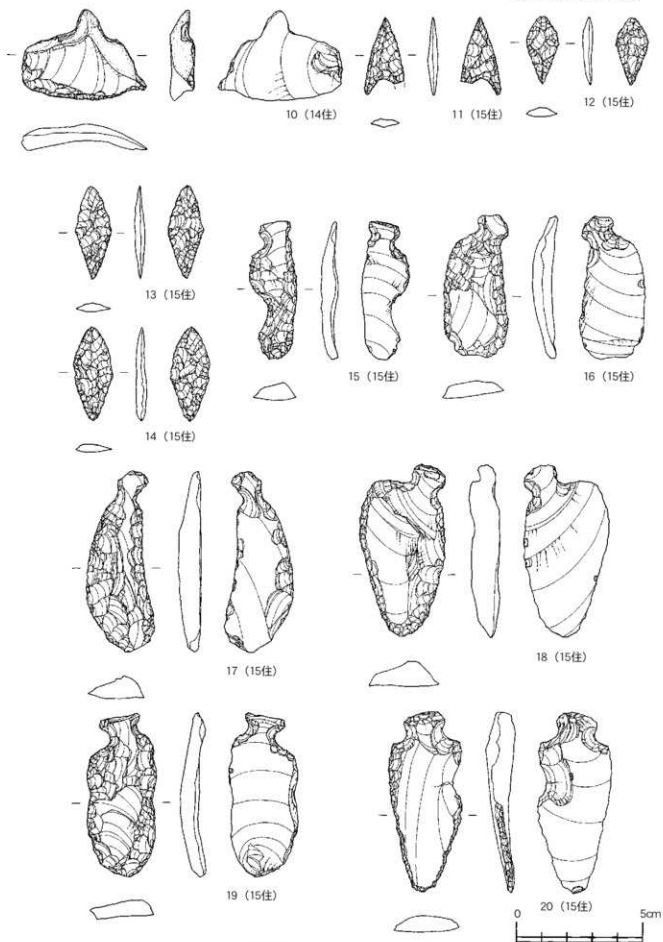
第54図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(38)



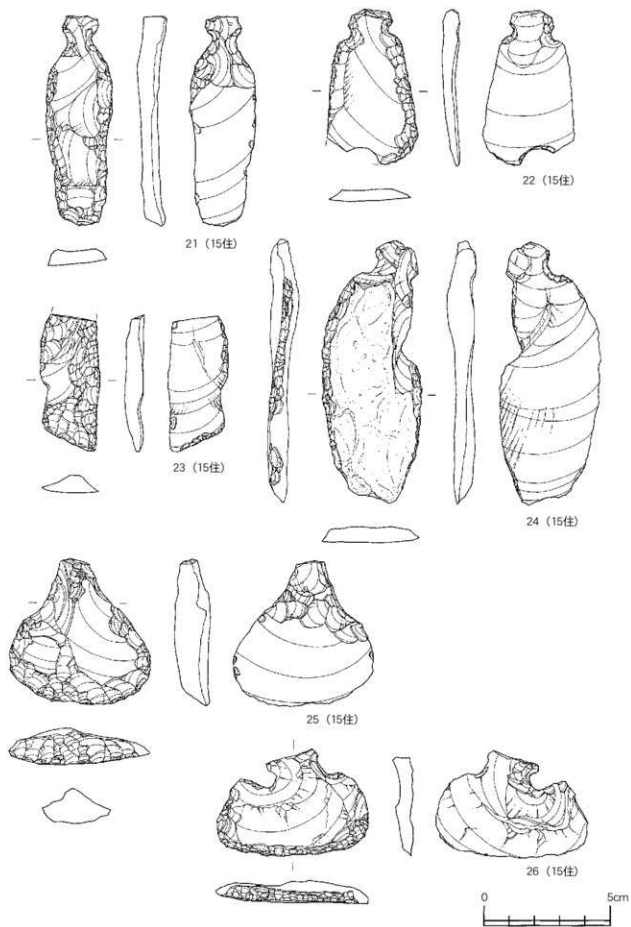
第55図 遺構内出土土器（竪穴式住居跡）(39)



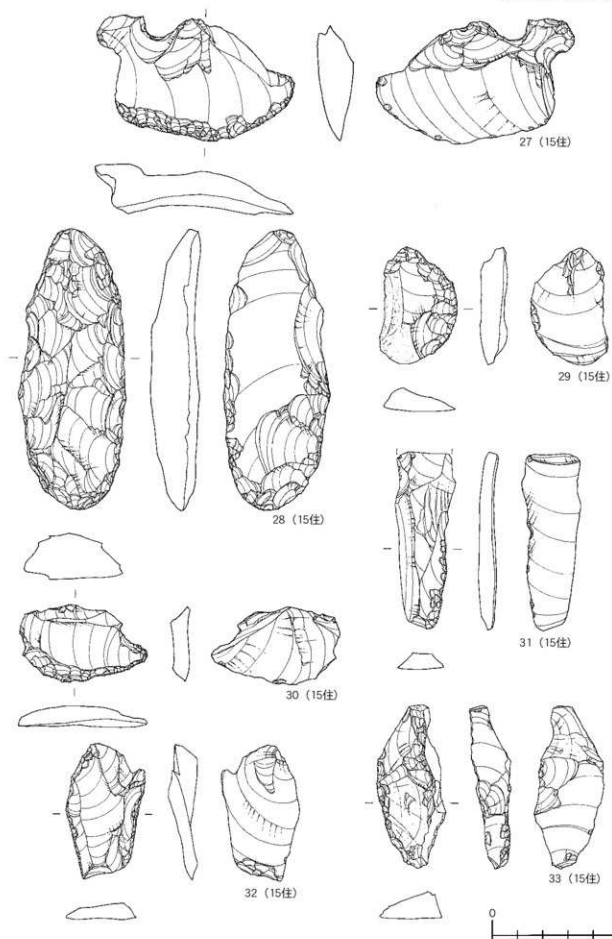
第56図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(1)



第57図 遺構内出土石器 (竪穴式住居跡) (2)

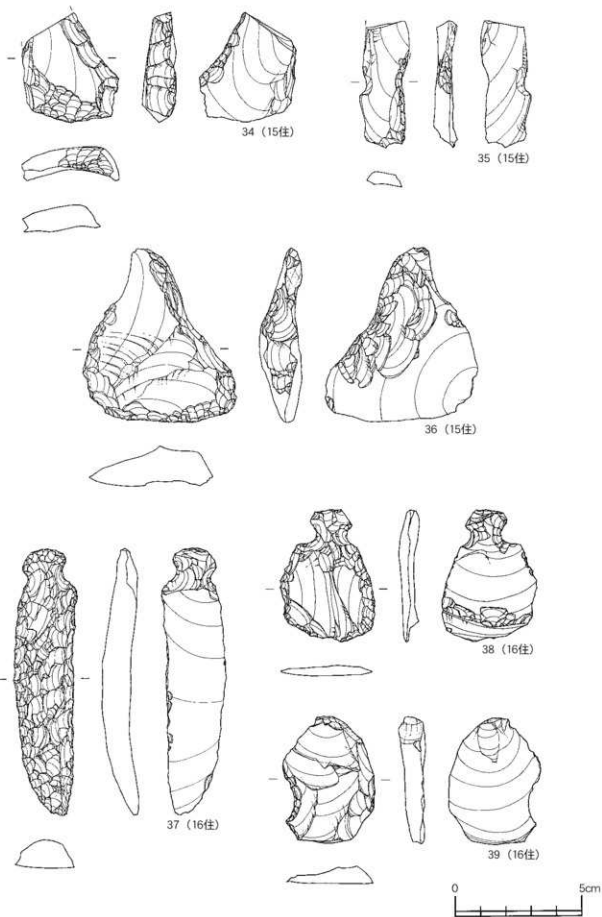


第58図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(3)

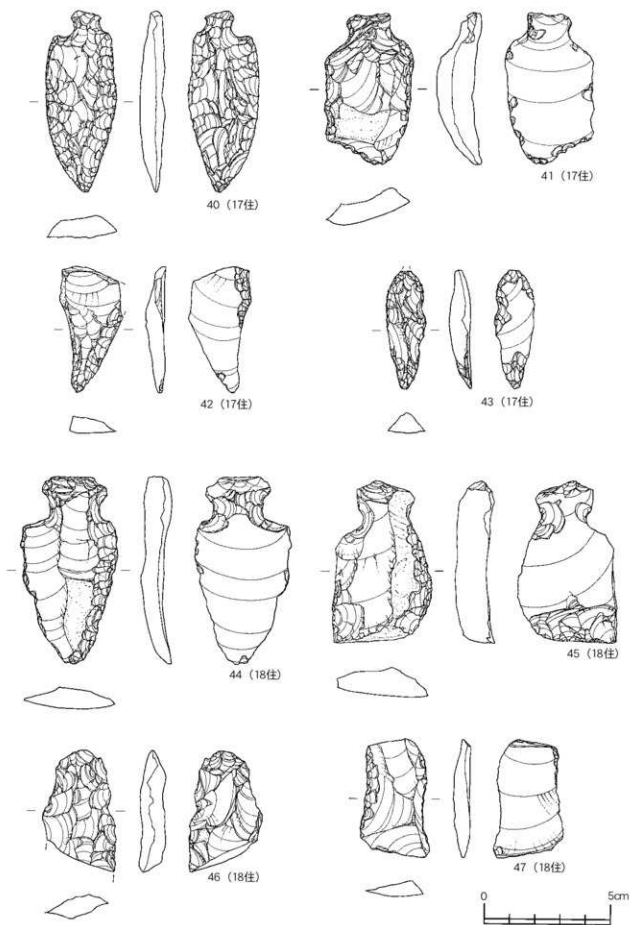


第59図 遺構内出土石器 (竪穴式住居跡) (4)

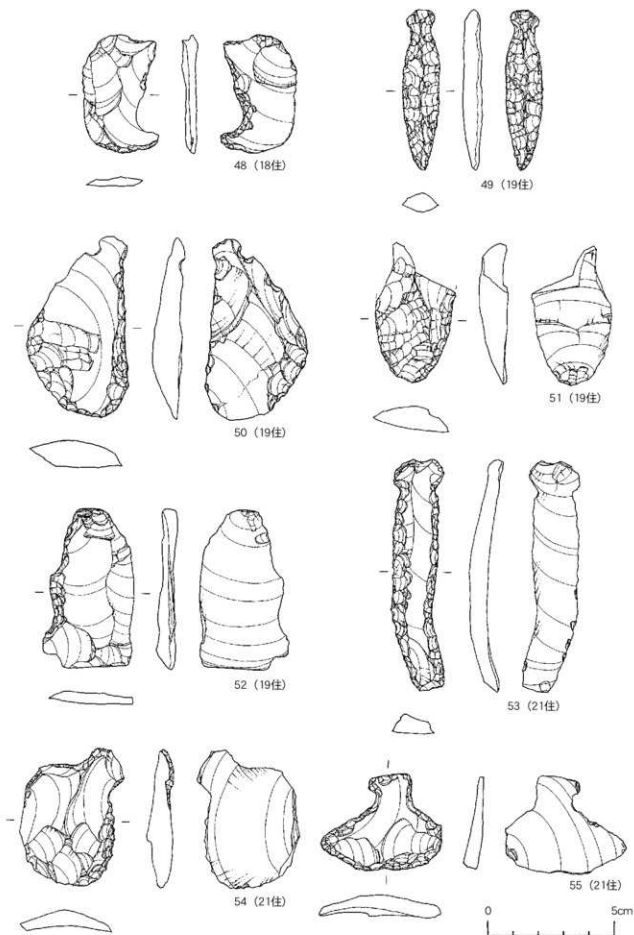




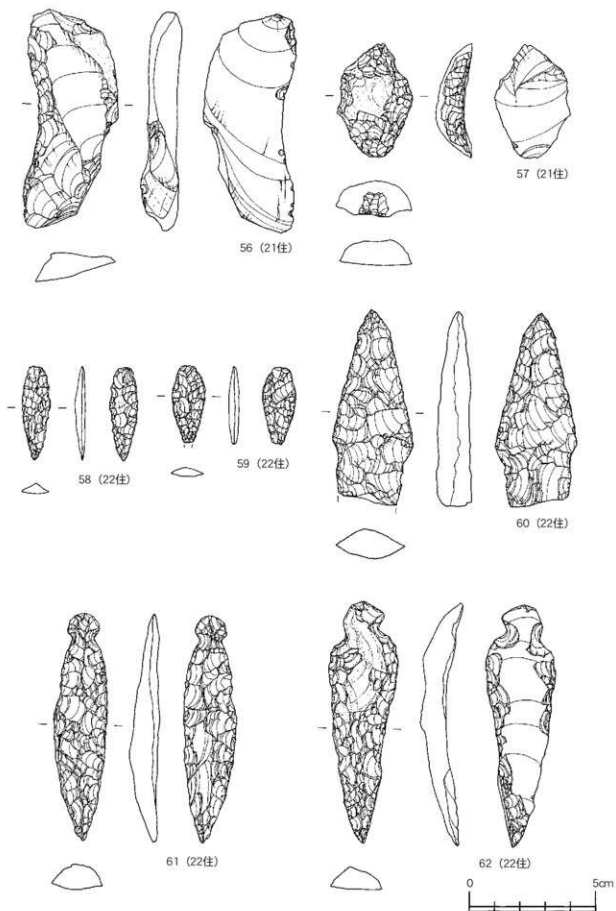
第60図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(5)



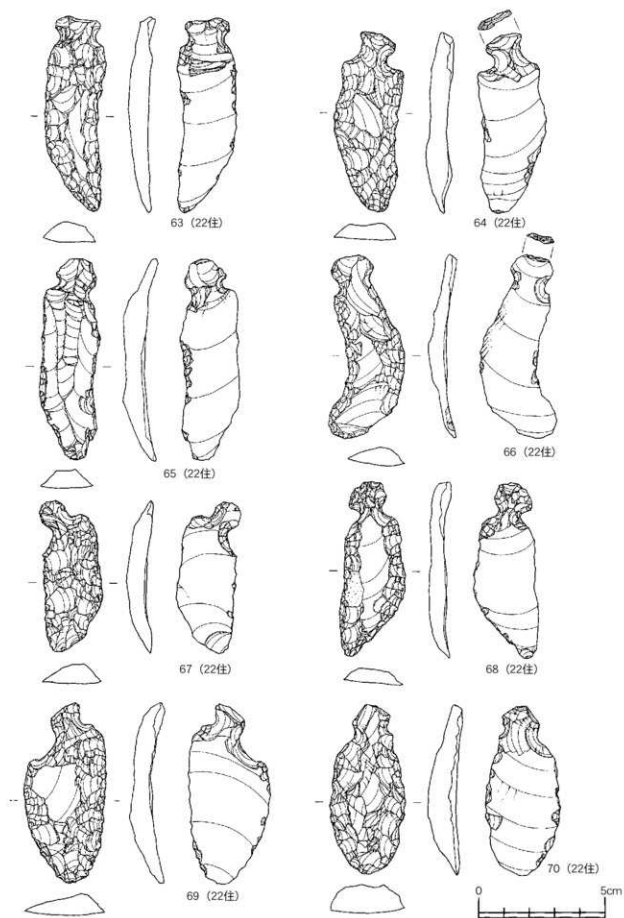
第61図 遺構内出土石器 (竪穴式住居跡) (6)



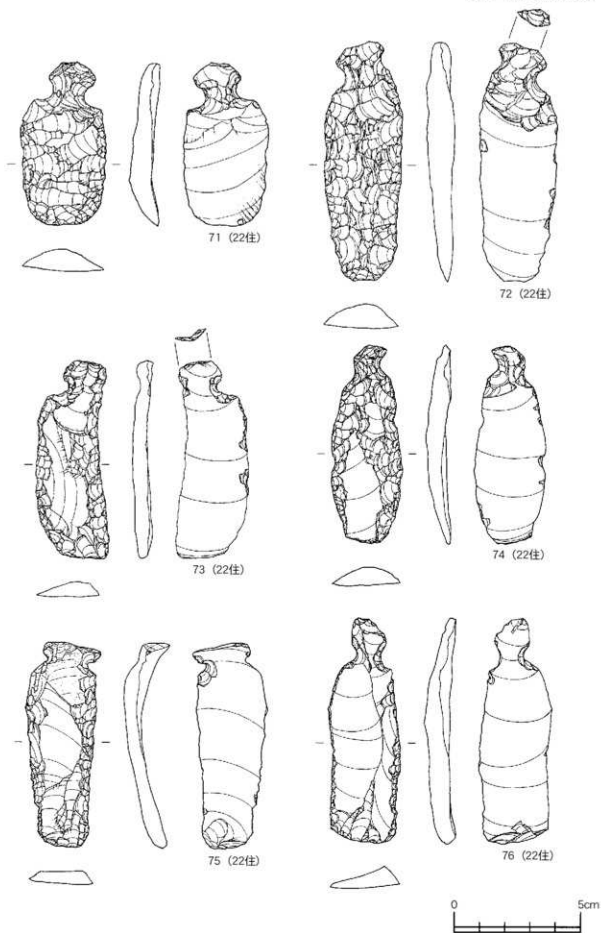
第62図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(7)



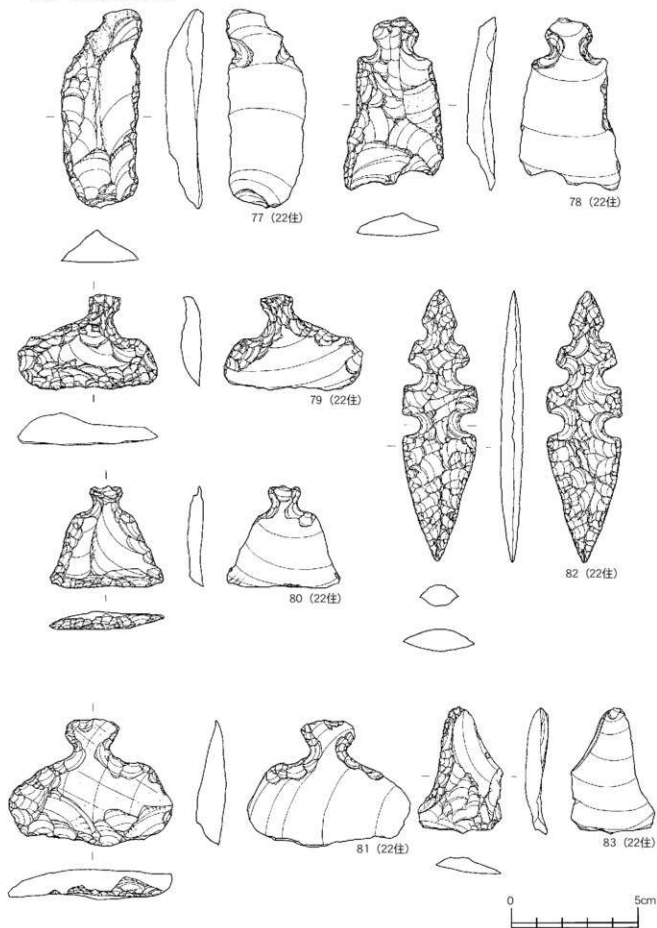
第63図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(8)



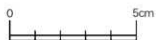
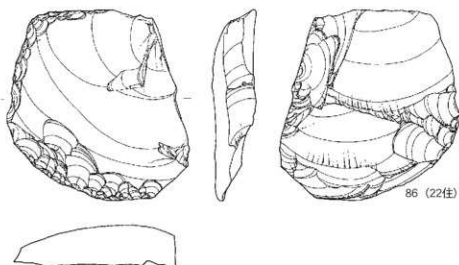
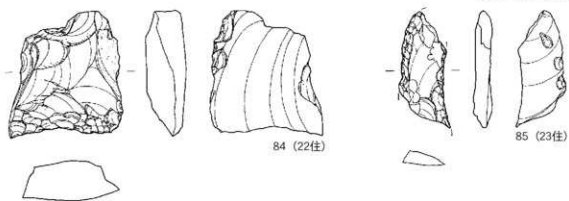
第64図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(9)



第65図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(10)

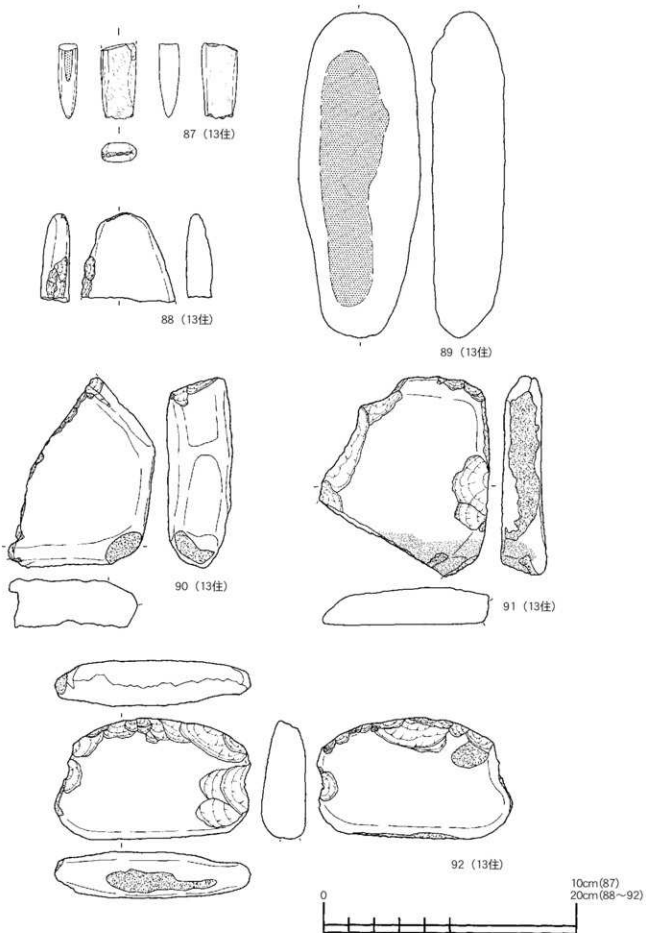


第66図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(11)

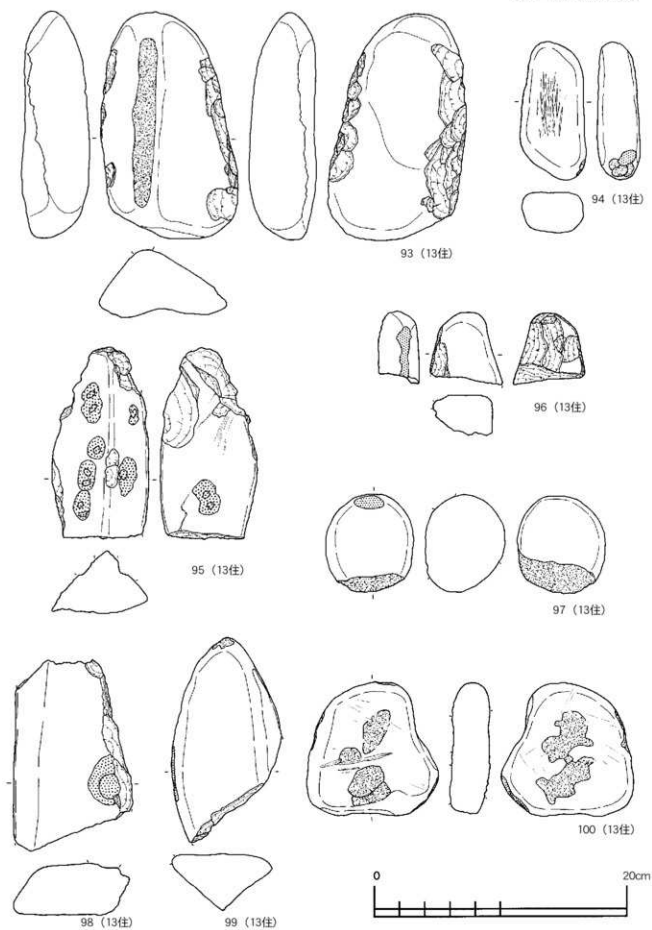


第67図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(12)

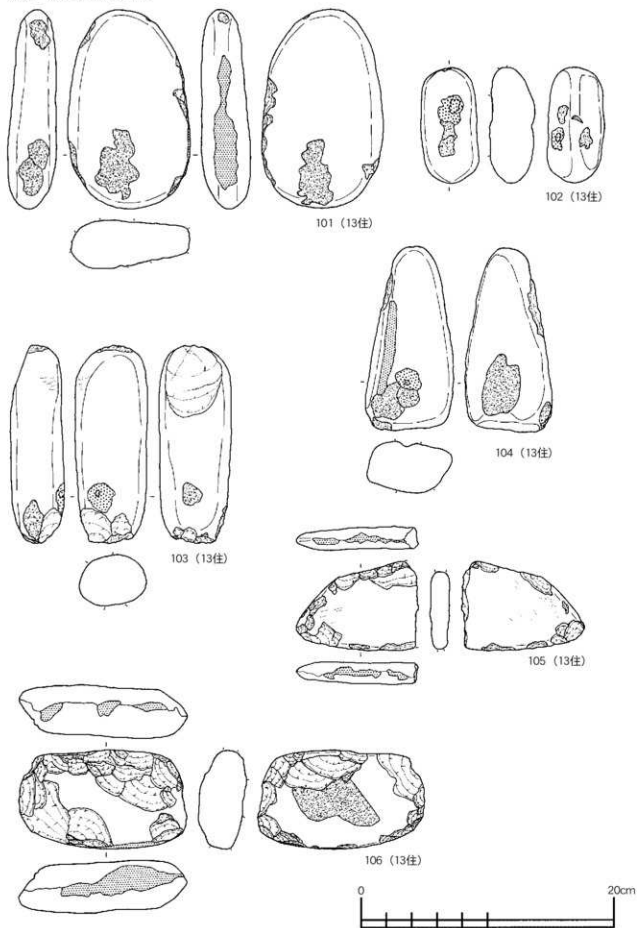




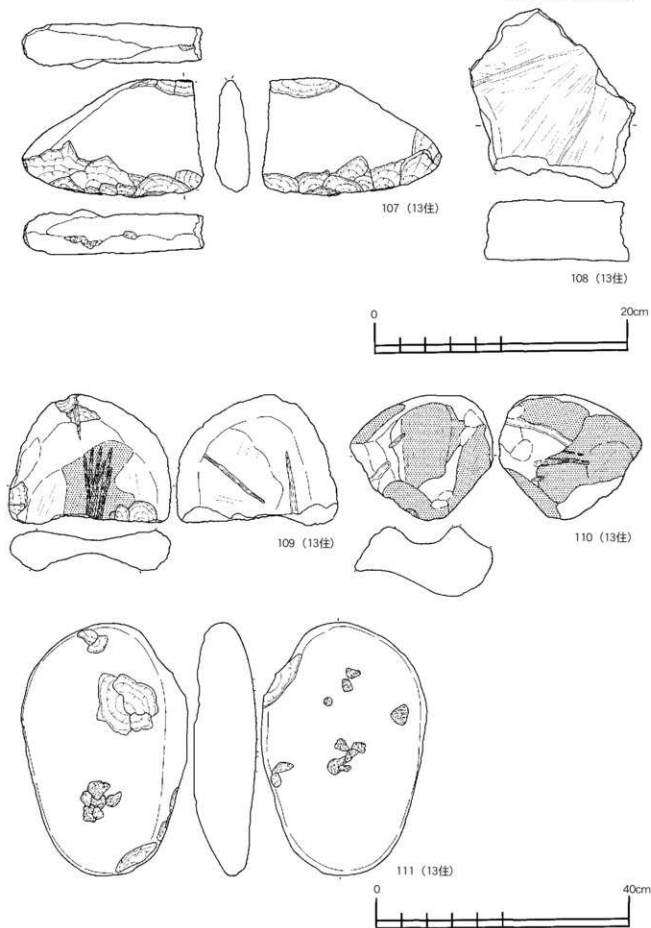
第68図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(13)



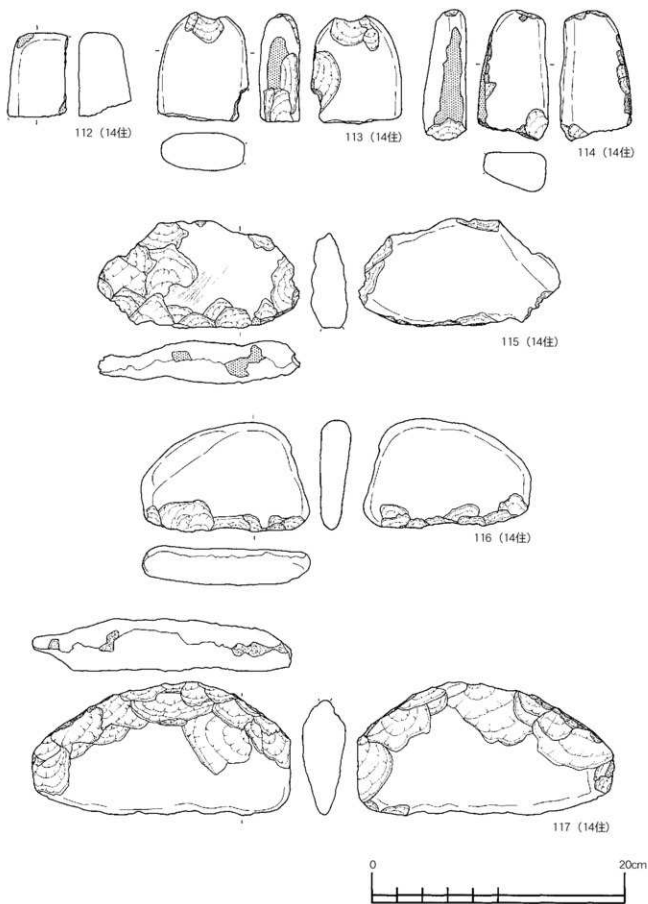
第69図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(14)



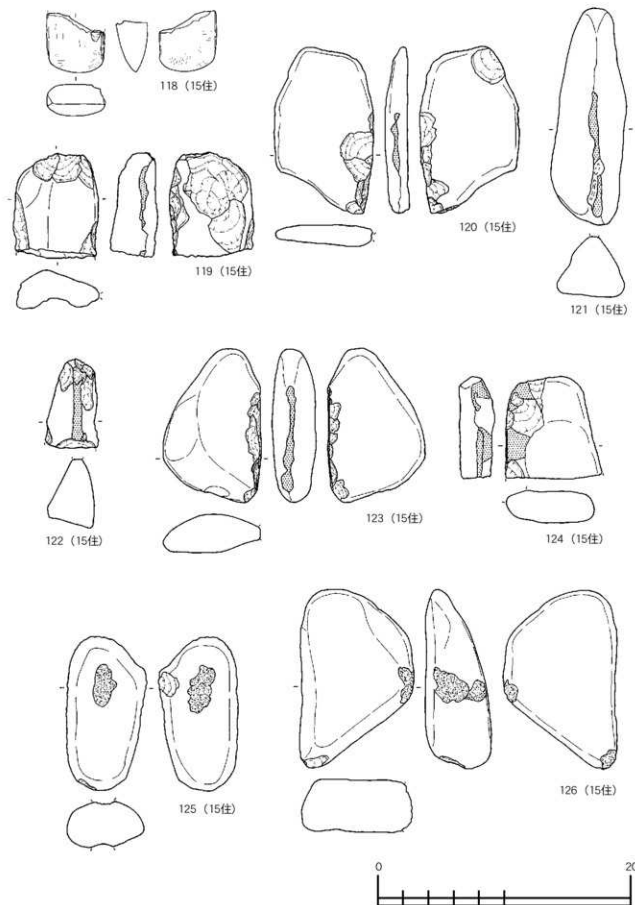
第70図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(15)



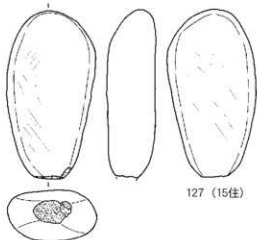
第71図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(16)



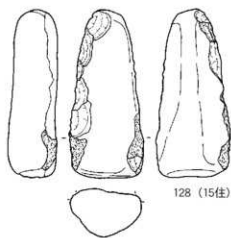
第72図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(17)



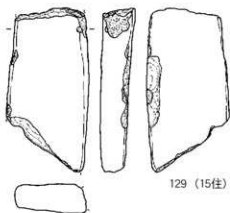
第73図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(18)



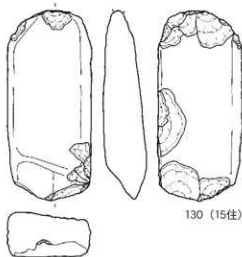
127 (15住)



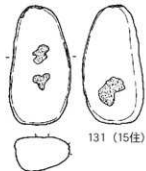
128 (15住)



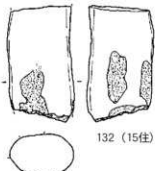
129 (15住)



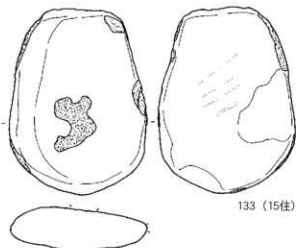
130 (15住)



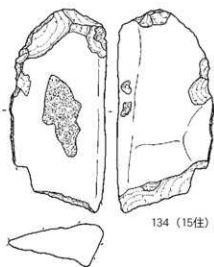
131 (15住)



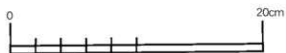
132 (15住)



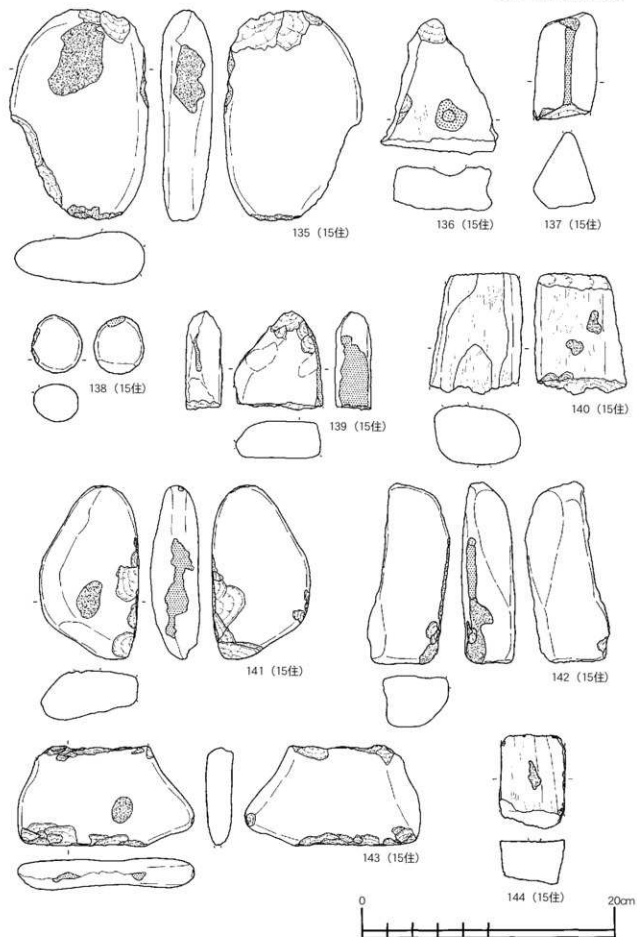
133 (15住)



134 (15住)

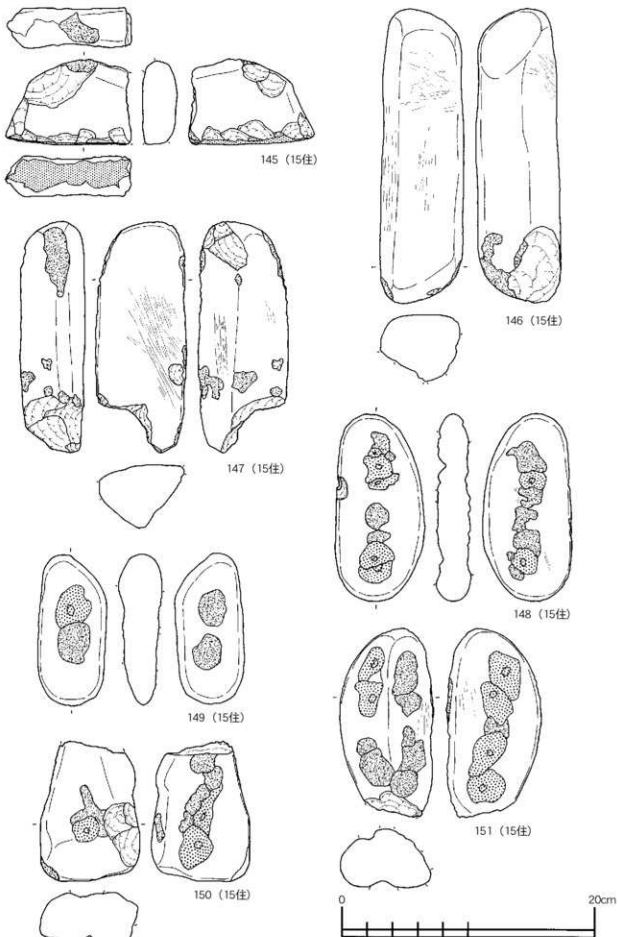


第74図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(19)

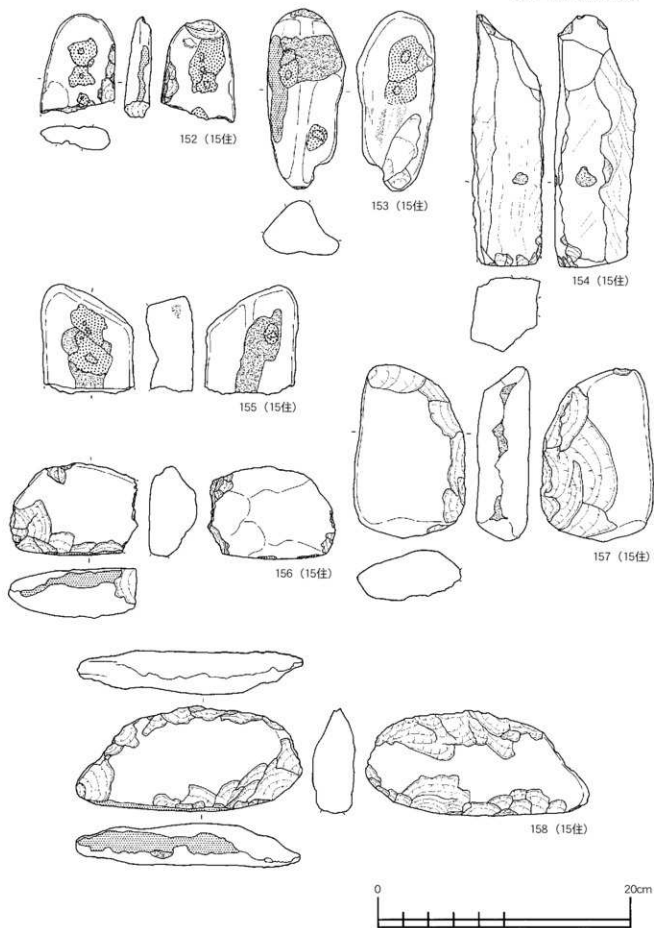


第75図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(20)

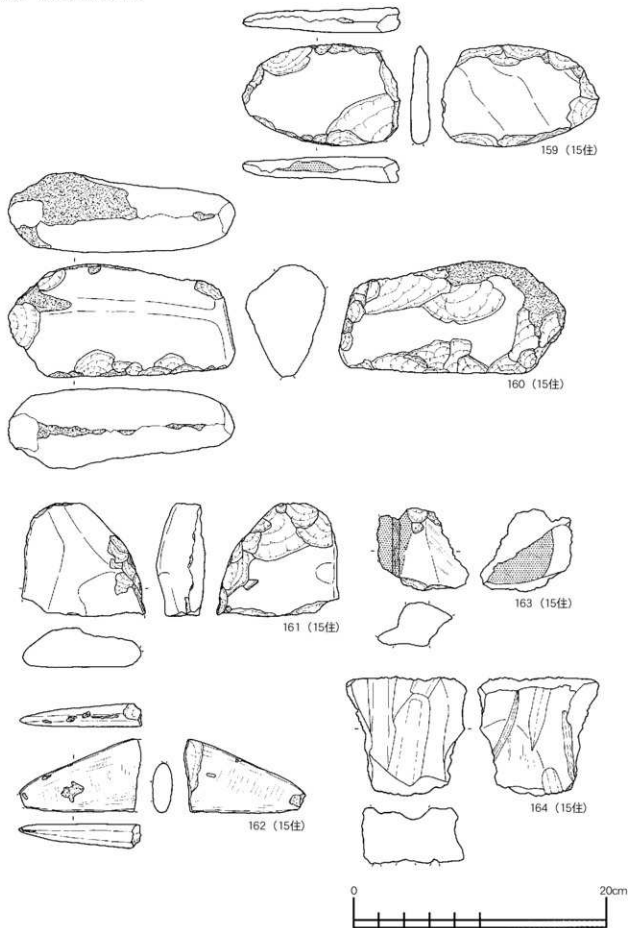




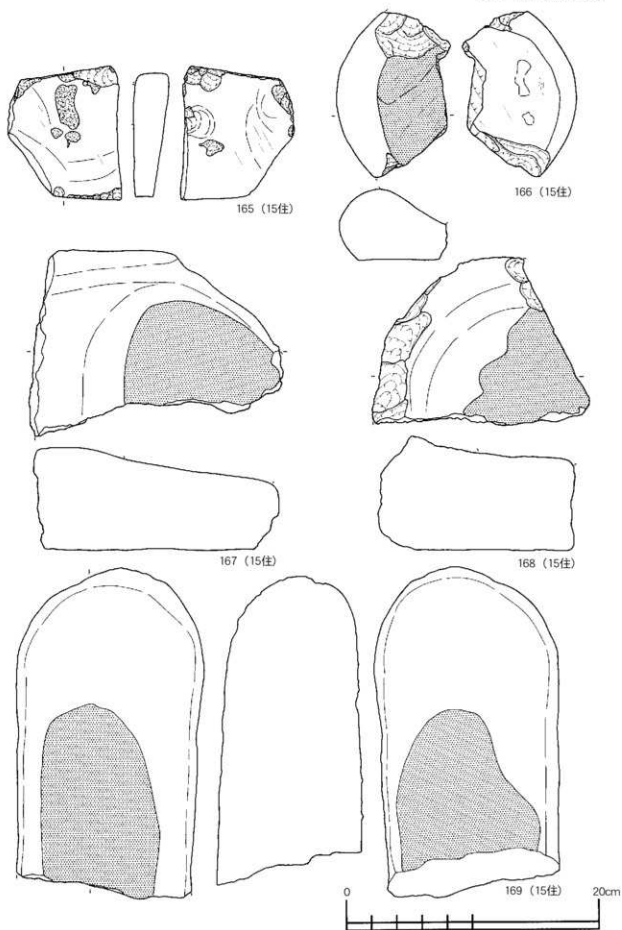
第76図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(21)



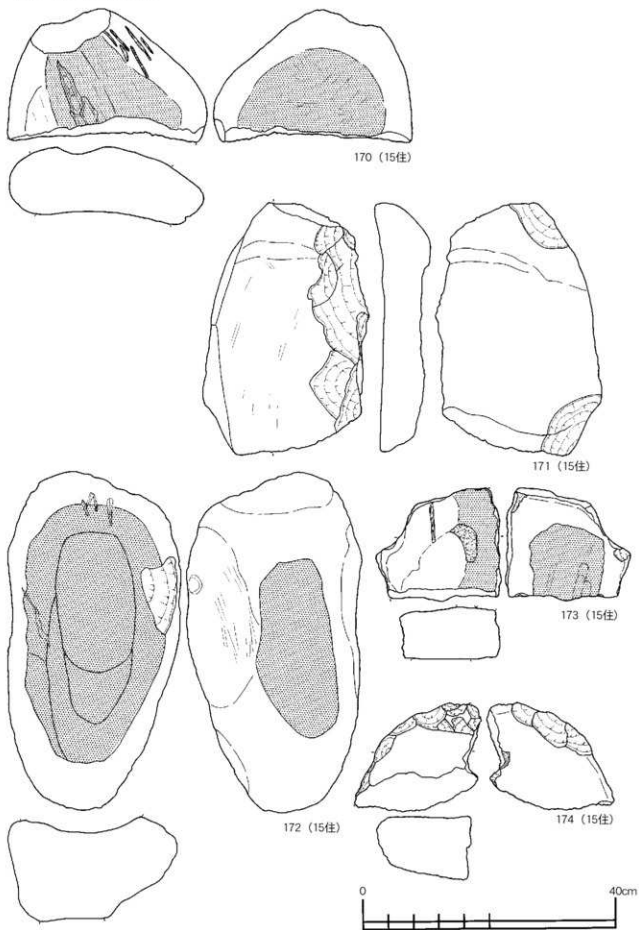
第77図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(22)



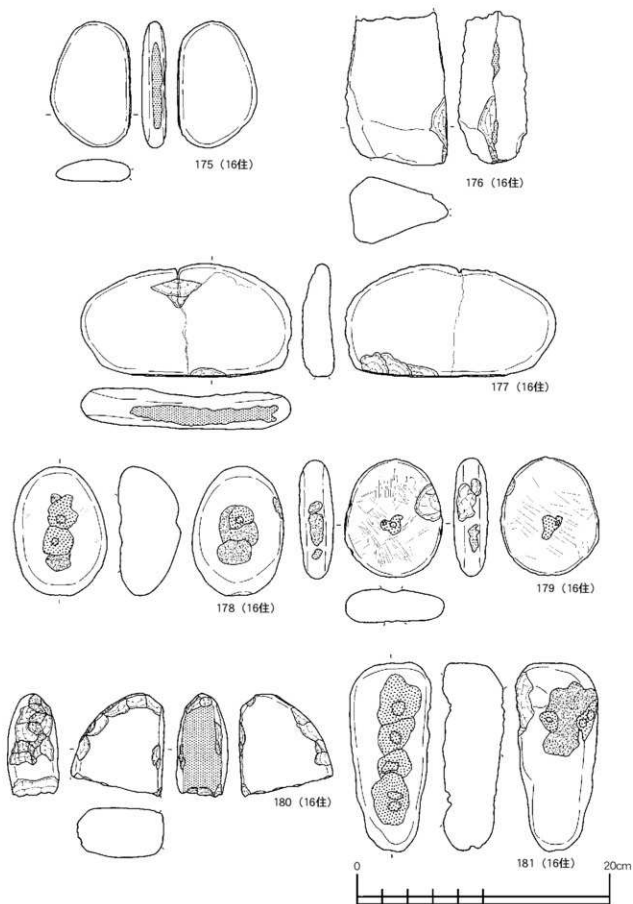
第78図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(23)



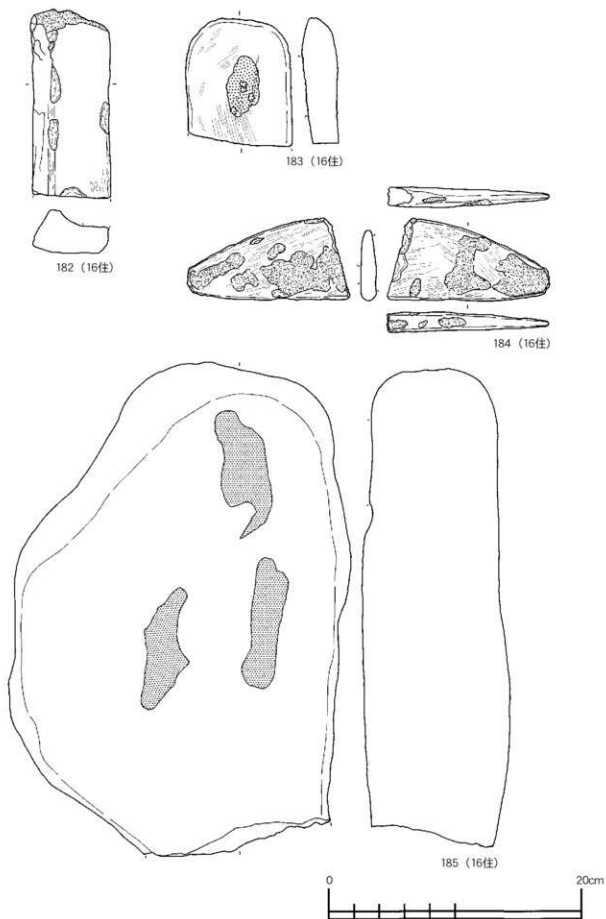
第79図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(24)



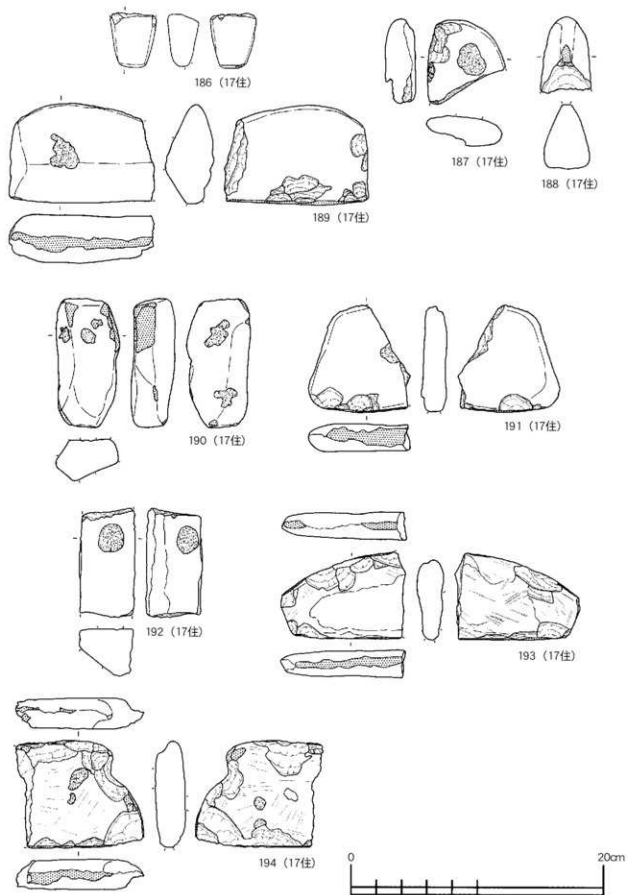
第80図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(25)



第81図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(26)

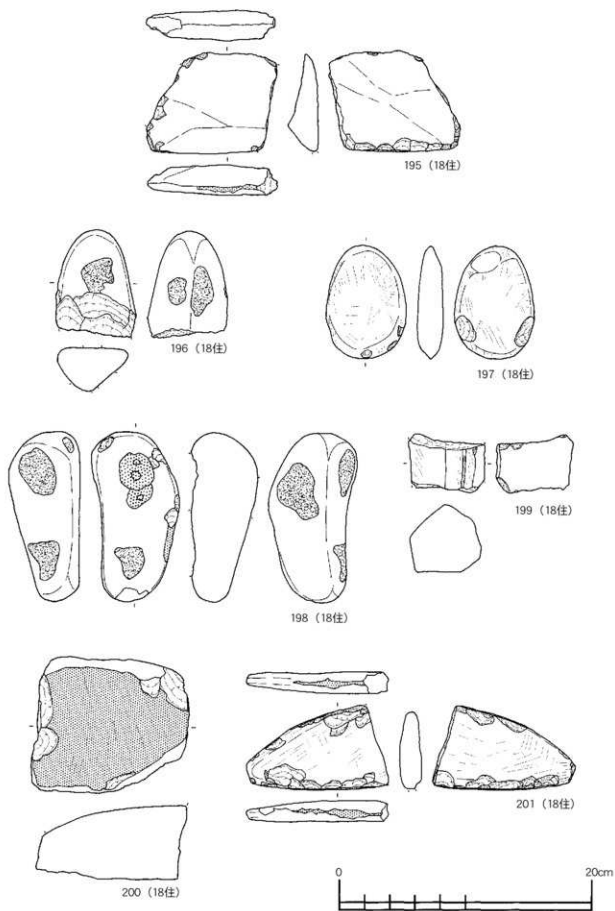


第82図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(27)

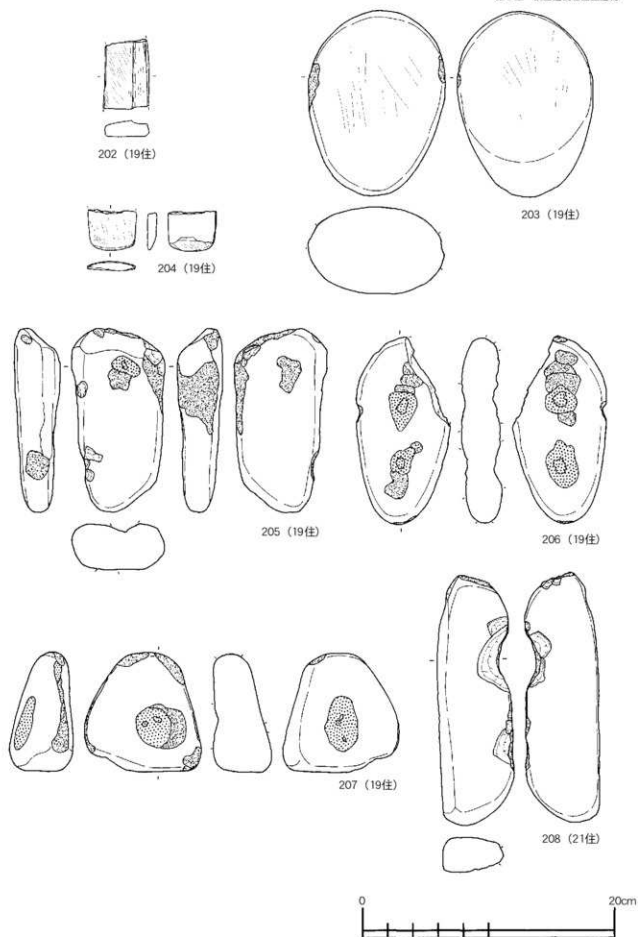


第83図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(28)

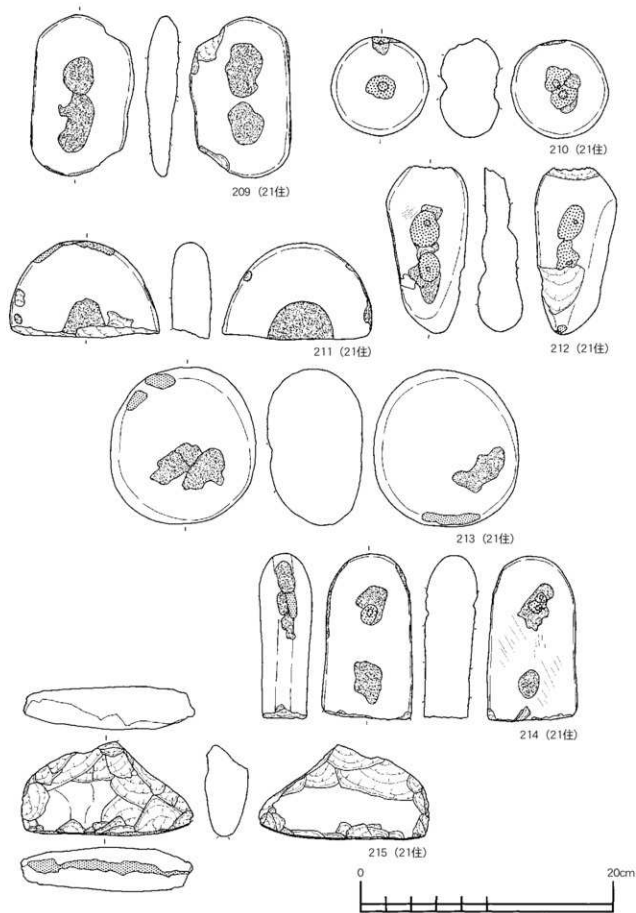




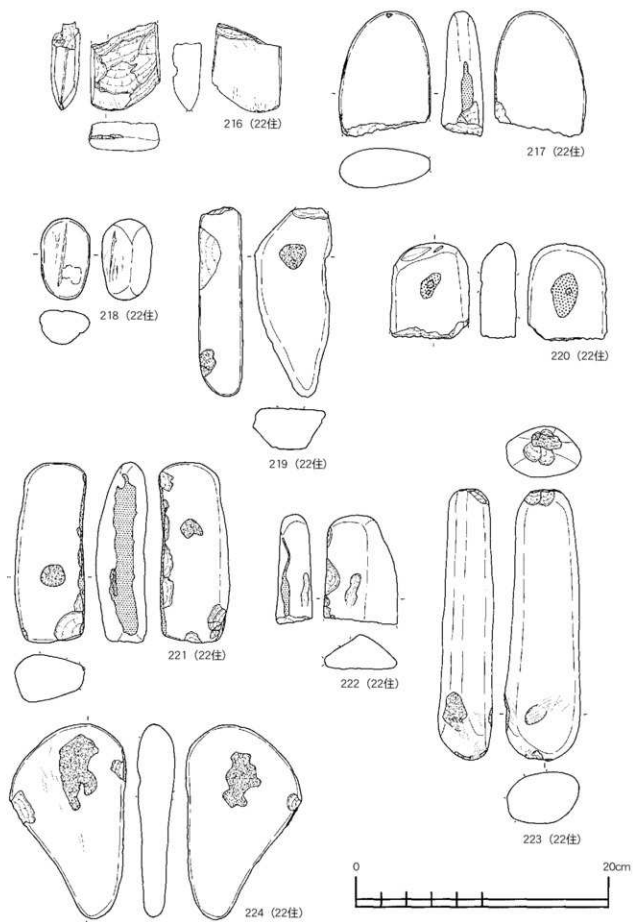
第84図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(29)



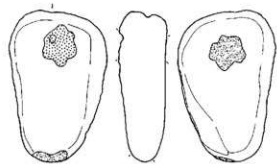
第85図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(30)



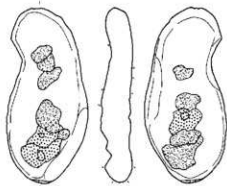
第86図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(31)



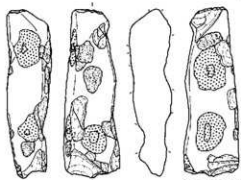
第87図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(32)



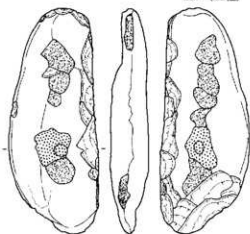
225 (22住)



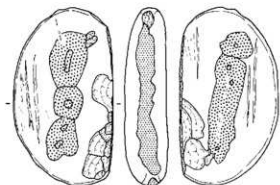
226 (22住)



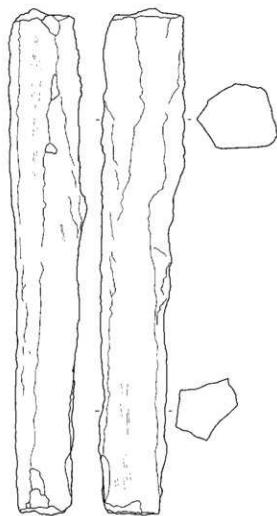
227 (22住)



228 (22住)



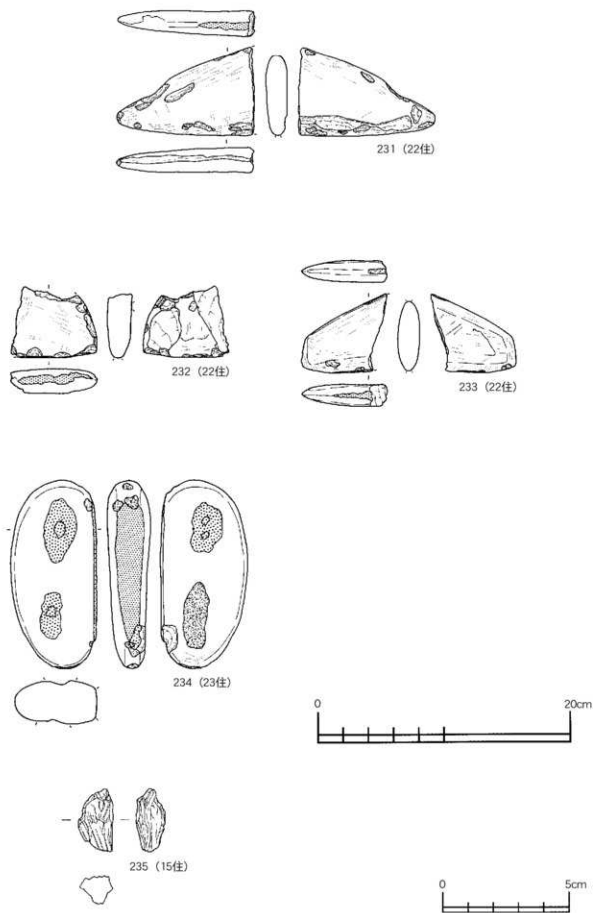
229 (22住)



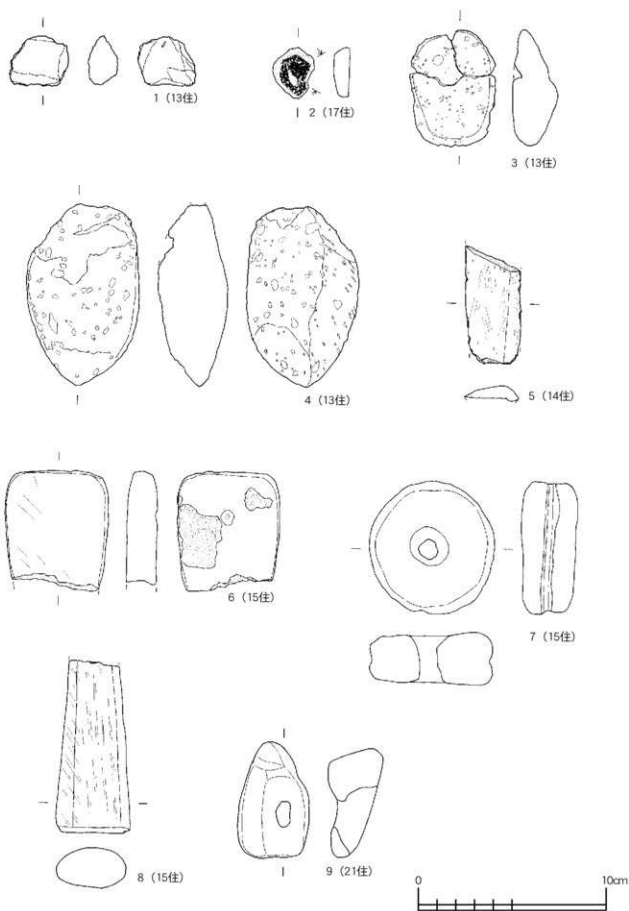
230 (22住)



第88図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(33)



第89図 遺構内出土石器（竪穴式住居跡）(34)



第90図 遺構内出土土製品・石製品（竪穴式住居跡）

## 2. 土坑

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AC・AD - グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] 第2号竪穴式住居跡、第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 若干の起伏を有する。西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 層に分層した。第1〜 層は、黒褐色〜褐色土、赤褐色土が堆積し、黒褐色土、暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。第 層は暗褐色土、黒褐色土が堆積しロームを少量含む。第 層は、自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 、 、5、4〜1層より第 群5a類、6類土器(第 図1、3、4、8、 、 )、第 、9、8、6〜4、1層より第 群4類土器(第 図7)、第 群土器(第 図2、5、6、9、 、 )が出土している。

石器は、第9層より石皿・台石1類が1点(第 図 )、第8層より不定形石器1類Bが1点(図示していない)、第7層よりその他の剥片石器が1点(図示していない)、第6層より不定形石器1類Aが1点(図示していない)、敲磨器類4類Dが1点(第 図 )、第3層より不定形石器3類が1点(図示していない)、第2層より不定形石器1類Cが1点(図示していない)、覆土より石鏃3類2が1点(第 図1)、石匙1類が1点(第 図2)、不定形石器1類Fが1点(図示していない)、3類が1点(図示していない)、敲磨器類1類Eが1点(第 図 )、4類Aが2点(第 図 、 )、石皿・台石1類が2点(第 図 、 )出土している。

土製品は、第6層より土器片利用土製品が3点(第 図1〜3)、第4層より土器片利用土製品が1点(第 図4)、覆土より土器片利用土製品が2点(第 図5、6)出土している。

石製品は、第6層より三角形岩版が2点(第 図1、2)、覆土より円形岩版が1点(第 図3)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD - 、 グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 北側は中位に屈曲部を有し外側へ立ち上がる。他はオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 起伏を有する。東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。第4層は暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。他は、黒褐色〜明赤褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、礫を多量含む。第4層は判然としなが他は人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、3層より第 群6類土器(第 図 、 )、第3、1層、覆土より第 群4類、5類、 類土器(第 図1、第 図 )が出土している。

石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点(第 図3)、不定形石器1類Cが1点(第 図4)、類が1点(図示していない)出土している。



土製品は、第6層より土器片利用土製品が1点(第 図7)、第3層より土器片利用土製品が1点(第 図8) 覆土より土器片利用土製品が2点(第 図9、 ) 出土している。

石製品は、第3層より球状石製品が1点(第 図5) 覆土より碗状石製品が1点(第 図4) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第 号土坑、第2号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑、第2号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] おおむね西側は外側へ直線的に立ち上がり、東側は若干オーバーハングして立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。外側から中央へ若干の傾斜が見られる。底面中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 層に分層した。第3、6、7層は重複する第 号土坑覆土の崩落土と思われる。他は黒褐色～黄褐色土、赤褐色土が堆積し、各層ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 、 、 、 8、6、4層、覆土より第 群3類、5a類、6類土器(第 、 図 、 、 、 、 、 、 、 、 ) 第 、 、 、 、 8、6、4、1層、覆土より第 群3、4、7、 類土器(第 、 図 、 、 、 、 、 ) 第 群土器(第 、 図 、 、 、 、 、 、 、 ) が出土している。

石器は、第 層より不定形石器1類Dが1点(図示していない) 第 層より石鏃1類1が1点(第 図5) 第 層より不定形石器1類Dが1点(第 図6) その他の剥片石器が1点(図示していない) 第7層より不定形石器2類が1点(図示していない) 第4層より不定形石器1類Dが1点(図示していない) 第3層より敲磨器類2類Bが1点(図示していない) 覆土より敲磨器類4類Aが1点(図示していない) 出土している。

土製品は、第 層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 第4層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 第2層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第 c層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 残存部は、オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 層に分層した。第1、5、9層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、混合土ないしロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 、 8、3、2層、覆土より第 群5a類、6類土器(第 図 ~ 、 、

）第3層、覆土より第 群2類土器（第 図）第 群土器（第 図）が出土している。石器は、覆土より不定形石器1類Eが1点（第 図7）不定形石器3類が1点（図示していない）出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] AC - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。中央部と東壁の間に底面ビットを有する。

[堆積土] 3層に分層した。第3層は暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積し、ローム、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器（第 図）第1層、覆土より第 群5類土器（第 図）第 群土器（第 図）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] AC・AD - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 層に分層した。第1～6、8、 層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～橙褐色土、明赤褐色土が堆積し、ローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第8、1層より第 群土器（第 図、 ）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] AD・AE - グリッドに位置する。第 c層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。南側は外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 層に分層した。第6、7、9、 層は黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 6-3層より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 、 、 )、第 9、6、5、3、2層より第 群4類、8類土器(第 図 )、第 群土器(第 図 ー 、 、 )が出土している。

石器は、第 層より不定形石器1類Aが1点(第 図9)、1類Cが1点(第 図8)、覆土より敲磨器類2類Cが1点(図示していない)出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑A(第 図)

[位置・確認層] A E・A F - グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] 第 号土坑Bと重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。第1、4、5層は暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3層より第 群6類土器(第 図 )、第3層より第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、第3層より石匙1類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物、遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑B(第 図)

[位置・確認層] A E・A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑Aと重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構上部に第 c層が堆積しており、縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部北西側に底面ビットを有する。

[堆積土] 3層に分層した。第3層は、第2層中にブロック状に混入する。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群3類土器(第 図)、第2、1層より第 群土器(第 図、)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 北側はおおむね直線的に立ち上がる。南側は外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、炭化物を多量含む。第2層は極暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。第1層は判然としないが、第2層は、自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群5 a類土器(第 図、) 第2、1層より第 群4〜6類土器(第 図、、、) 第 群土器(第 図、)が出土している。

石器は、第1層より石錐1類が1点(第 図) 敲磨器類2類Eが2点(第 図、) 3類が1点(第 図)出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色〜暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な円形で、開口部は cm、底面は cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ緩やかに立ち上がる。

〔底面〕ほぼ平坦である。

〔堆積土〕2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕西側から東側への傾斜が見られる。

〔堆積土〕2層に分層した。第1層は、褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕A D - グリッドに位置する。第 層及び第 号竪穴式住居跡覆土において確認した。

〔重複〕第2号竪穴式住居跡、第 号竪穴式住居跡、第6号溝状遺構と重複し、本遺構は第2号竪穴式住居跡、第 号竪穴式住居跡より新しく、第6号溝状遺構との新旧関係は不明である。

〔平面形・規模〕平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

〔底面〕外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

〔堆積土〕層に分層した。第3、6、8、9、層は暗褐色土が堆積しロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第 5～3層より第 群5a類、6類土器（第 図 、 、 、 ）第 9、6、5、3～1層より第 群6類、類土器（第 図 、 、 ）第 群土器（第 図 、 、 、 、 ）が出土している。

石器は、第9層より石筈1類が1点（第 図 ）敲磨器類2類Eが1点（第 図 ）覆土より不定形石器3類が1点（図示していない）出土している。

土製品は、第 層より土器片利用土製品が1点（第 図 ）第9層より土器片利用土製品が1点（第 図 ）第1層より土器片利用土製品が1点（第 図 ）覆土より土器片利用土製品が1点

(第 図) 出土している。

石製品は、覆土より円形岩版が1点(第 図6)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第2号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 南側の一部は外側へ直線的に立ち上がるが、その他はオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 若干の起伏と南西側から北東側への傾斜が見られる。南東壁側に底面ビットを有する。

[堆積土] 4層に分層した。黒色～褐色土が堆積し、ローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4～1層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏を有するがほぼ平坦である。

[堆積土] 6層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、ローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第7、6層より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 )、第7、5、1層より第 群4、5類土器(第 図 、 )、第 群土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、覆土より石匙3類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E・A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 層に分層した。第9～ 層は暗褐色土が堆積しロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積しローム、炭化物を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 7、5、2層より第 群5 a、6類土器(第 図 、 、 )

、 、 ) 第 一層より第 群4類、5類、8類土器(第 図2、3、6、第 、 図  
、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 ) 第 群土器(第 図 、  
、 、 、 ) が出土している。

石器は、第4層より研磨器類4類Dが1点(図示していない) 石皿・台石1類が1点(第 図 )  
出土している。

土製品は、第9層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 第7層より土器片利用土製品が1点  
(第 図 ) 第6層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 第4層より土器片利用土製品が1  
点(第 図 ) 第3層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 第2層よりミニチュア土器が1  
点(第 図 ) 出土している。

石製品は、覆土より有孔石製品が1点(第 図7) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AF・AG- 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 7層に分層した。第1層は、ロームを微量含む、判然としないが、他は、黒褐色一褐色土が  
堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、4、2、1層より第 群3、5a、6類土器(第 図 、 、 、 )  
第4、1層より第 群6類土器(第 図 ) 第 群土器(第 図 ) が出土している。

石器は、第2層より研磨器類1類Eが1点(図示していない) 覆土より剥離のある礫が1点(図示  
していない) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AF・AG- グリッドに位置する。第 、 a層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。西側は一部オーバーハングしている。

[底面] 若干の起伏を有するがほぼ平坦である。東壁側に底面ビットを有する。

[堆積土] 6層に分層した。第2、3、6層は暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然  
堆積と思われる。他は暗褐色一褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、4、2、1層、覆土より第 群3、5a、6類土器(第 、 図 ~  
、 ) 第1層より第 群8類土器(第 図 ) 第 群土器(第 図 ) が出土している。

石器は、覆土より石匙2類が1点(第 図 ) 出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F・A G - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側に緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏を呈する。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群5 a類土器(第 図、 )が出土している。

石器は、覆土より石匙3類が1点(図示していない)、敲磨器類4類Dが1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

## 第 号坑(第 図)

[位置・確認層] A G - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 8層に分層した。第1、4～6層は、黒褐色～暗褐色土が堆積しロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色土～褐色土が堆積し暗褐色土はロームを中量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図)、第6～1層、覆土より第 群4～8類土器(第 図4、5、第 図、 、 、 )第 群土器(第 図、 、 、 )が出土している。

石器は、第5層より敲磨器類2類Aが1点(図示していない)、2類Bが1点(図示していない)、第4層より敲磨器類1類Aが1点(図示していない)、1類Eが1点(第 図)、2類Aが1点(第 図)、第2層より石錘1類が1点(第 図)、第1層より敲磨器類3類が1点(第 図)出土している。

土製品は、覆土よりミニチュア土器が2点(第 図、 )出土している。

石製品は、第5層より三角形岩版が2点(第 図8、9)、覆土より円形岩版が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A G - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側に緩やかに立ち上がる。



[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より、第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 外側に緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる

[堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積し、角礫を多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より、第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として屈曲して外側に立ち上がるが、南側は一部オーバーハングする。

[底面] 若干の起伏が見られるがほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は炭化物を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群3類土器(第 図)、覆土より第 群5類土器(第 図)、第 群土器(第 図)が出土している。

石器は、覆土より石匙1類が1点(第 図)、不定形石器1類Aが1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積し、ロームを少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側に緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積し、角礫を多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第7、1層より第 群7類土器(第 図、 )第 、7、1層、覆土より第 群4、6類土器(第 図、 )第 群土器(第 図)が出土している。

石器は、第1層より敲磨器類3類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側に緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側に緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏を有する。中央部にピットを有する。

[堆積土] 3層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、ローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。北側は一部オーバーハングする。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

- [位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形である。開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。西側は一部オーバーハングする。
- [底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積し、角礫を多量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

- [位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。一部若干の起伏が見られる。
- [底面] 東側から西側への傾斜が見られる。
- [堆積土] 3層に分層した。褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

- [位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] やや内側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A G - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色、黄褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D・A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。西側は一部オーバーハングする。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 層に分層した。第4、5、 層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、炭化物を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 、7、5、4、1層より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 、 、 )、第7、5～3、1層より第 群7類、8類土器(第 図 、 )、第 群土器(第 図 、 、 、 4)が出土している。

石器は、第6層より石皿・台石1類が1点(第 図 )、第1層より敲磨器類1類Bが1点(第 図 )、覆土より不定形石器1類Bが1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D・A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側への傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色～ぶい黄褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がり、開口部北西側に段差が見られる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より、第 群土器（第 図）が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器（第 図）が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。西側は中位よりさらに外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3～1層より第3群3類、6類土器(第 図 、 、 )、第3、1層より第 群土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、第2層より石匙2類が1点(第 図 )、覆土より石錐1類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第 号土坑覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは6cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は暗褐色土が堆積しロームを中量含む。人為堆積と思われる。第2層は黒色土が堆積しする。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径6cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。開口部付近には段差が見られる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 層に分層した。第3、7、 層は暗褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～黄褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 ー5、2、1層より第 群5 a、6類土器(第 図7、8、第 図 ー、 ー) 第8層、覆土より第 群土器(第 図、 )が出土している。

石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点(第 図)出土している。

土製品は、覆土よりミニチュア土器が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD-、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 東側、西側は、外側へ直線的に立ち上がり、南側は一部オーバーハングする。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。第4、6層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色〜褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、4層、覆土より第 群5 a類、6類土器(第 図、 ) 第5、4、1層、覆土より第 群7類土器(第 図) 第 群土器(第 図、 )が出土している。

石器は、第5層より不定形石器3類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD-、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第2層は、褐色土が堆積し角礫を中量含む。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図) 覆土より第 群5類土器(第 図) が出土している。

石器は、底面より石槍が1点(第 図) 覆土より不定形石器4類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD-、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び以降間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は隅丸長方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。また、起伏が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD・AE - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。また、起伏が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図)、覆土より第 群7類土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD・AE - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 北側はオーバーハングする。南側は緩やかに立ち上がり、開口部付近に段差が見られる。他は、やや外側に直線的に立ち上がる。



[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第2、5層は黒褐色～暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、1層より第群6類土器(第 図 、 ) 第5～1層、覆土より第群6～8類土器(第 図 、 、 、 、 ) 第 群土器(第 図 ～ 、 、 ) が出土している。

石器は、第2層より不定形石器3類が1点(図示していない) 第1層より不定形石器4類が1点(図示していない) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さ cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。東側は一部外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北側から南側への傾斜が見られる。また、若干の起伏を有する。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4～2層より第群3類、5a類、6類土器(第 、 図 、 、 ) 第4～2層より第群4、5、7、8、 類土器(第 、 図 、 、 、 、 ) 第 群土器(第 、 図 、 ) が出土している。

石器は、第3層より不定形石器1類Cが1点(図示していない) 1類Eが1点(第 図 ) 出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。一部は屈曲して立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第4層は暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色土はローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第群6類土器(第 図 ) 第6～1層、覆土より第群2b類、4類、6類、8類土器(第 図 、 、 、 ) 第 群土器(第 図 ～ 、 、 ) が出土している。

石器は、第3層より石錐2類1が1点(第 図 ) 第2層よりその他の剥片石器が1点(第 図 ) 覆土より石鏃3類3が1点(第 図 ) 出土している。

土製品は、第6層より土器片利用土製品が1点(第 図)、第2層より土器片利用土製品が1点(第 図)、第3層よりミニチュア土器が1点(第 図)、覆土より土偶が2点(第 図)、ミニチュア土器が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E -、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。北側は一部オーバーハングする。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。第4層は暗褐色土が堆積しローム、炭化物を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色〜褐色土が堆積し、ローム、炭化物を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4層、覆土より第 群4類土器(第 図)、第 群土器(第 図、)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。南西側は一部オーバーハングする。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 9層に分層した。第2、6〜9層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、3、2層、覆土より第 群5a類、6類土器(第 図〜)が出土している。

石器は、覆土より敲磨器類2類Bが1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C・A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 南側は外側へ緩やかに立ち上がる。北側は若干オーバーハングして立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。東側は一部オーバーハングして立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。中央部及び南壁側に底面ピットを有する。

[堆積土] 層に分層した。第4、7層は、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒色～明褐色土が堆積する。黒色～暗褐色土は、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 、6、5、4、2、1層より第 群5a類、6類土器(第 、 図 ～ )、覆土より第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より不定形石器4類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] にぶい黄褐色土が堆積し、ロームを少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南東側から北西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。第1層は、黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器 (第 図 ) が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A C・A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。また起伏が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第2、3層は、黒褐色～暗褐色土が堆積しローム、角礫を少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3～1層より第 群3、5 a、6類土器 (第 図9、第 図 、 、 ) が、第3～1層より第 群土器 (第 図 、 、 、 ~ ) が出土している。

石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点 (第 図 ) 出土している。

土製品は、第3層より土器片利用土製品が1点 (第 図 ) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A D・A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第3、5層は暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6～4層、覆土より第 群6類土器(第 図 ～ )、第1層、覆土より第 群土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、覆土より敲磨器類2類Aが1点(図示していない)、2類Eが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。西側は一部オーバーハングする。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。また、北側に段差が見られる。

[堆積土] 層に分層した。第2、7層は暗褐色土が堆積しローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒色～暗褐色土が堆積しローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、2、1層より第 群6類土器(第 図 、 、 )、第2、1層より第 群5類、7類土器(第 図 、 第 図 、 )、第 群土器(第 図 、 、 )が出土している。

石器は、第1層より不定形石器3類が1点(図示していない)、石皿・台石1類が1点(第 図 )、覆土より石匙1類が1点(第 図 )出土している。

石製品は、第1層より有孔石製品が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 層に分層した。第1～3、5、8、9、 層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 ～ 、8、5、4、1層より第 群5 a、6類土器(第 図 ～ 9)が出土している。

石器は、第 層より敲磨器類 1 類 A が 1 点 (第 図 ) 第 層より不定形石器 3 類が 1 点 (図示していない) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] AD - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cm である。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 8 層に分層した。第 3、4、6、8 層は黒褐色～暗褐色土が堆積する。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 7、5～3、1 層より第 群 5 a 類、5 b 類、6 類土器 (第 図 、 、 ~ ) 第 8～6、1 層より第 群 2 a 類、3 類、7 類、8 類、類土器 (第 、 図 ~ 、 、 ) 第 群土器 (第 図 、 、 ) が出土している。

石器は、第 1 層より石鏃 3 類 3 が 1 点 (第 図 ) 不定形石器 3 類が 1 点 (図示していない) 4 類が 1 点 (図示していない) 覆土より石筈 1 類が 1 点 (第 図 ) 不定形石器 3 類が 1 点 (図示していない) 出土している。

石製品は、第 1 層より円形岩版が 1 点 (第 図 ) 岩版関係資料が 1 点 (第 図 ) 出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] AD - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cm である。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 3 層に分層した。第 2 層は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色土はローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 3 層、覆土より第 群 6 類土器 (第 図 ~ ) が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cm である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 8層に分層した。第4、5層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～明褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第8～5、2層より第 群6類土器(第 図 、 、 、 ) 第8、6、1層、覆土より第 群土器(第 図 、 、 ) が出土している。

石器は、第7層より剥離のある礫が1点(図示していない) 第5層より敲磨器類1類Dが1点(図示していない) 第2層より敲磨器類4類Aが1点(図示していない) 出土している。

第1層より不定形石器1類Fが1点(図示していない) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[ 位置・確認層 ] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[ 壁 ] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[ 底面 ] 若干の起伏が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[ 堆積土 ] 層に分層した。第1、 層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、第 7、5、3層、覆土より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 、 、 、 ) 第 1層、覆土より第 群4～6、8類土器(第 図 1、第 図 、 、 、 、 ) 第 群土器(第 図 、 、 、 ) が出土している。

石器は、第 層より敲磨器類1類Aが1点(図示していない) 第7層より不定形石器4類が1点(図示していない) 敲磨器類2類Aが1点(図示していない) 第6層より不定形石器1類Aが1点(図示していない) 1類Dが1点(図示していない) 敲磨器類4類Bが1点(第 図 ) 第4層よりその他の剥片石器が1点(図示していない) 覆土より石匙1類が1点(第 図 ) 敲磨器類4類Dが1点(第 図 ) 石皿・台石2類が1点(第 図 ) 出土している。

土製品は、第 層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 第4層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 第6層よりミニチュア土器が1点(第 図 ) 覆土より土器片利用土製品が2点(第 図 、 ) 出土している。

[ 時期 ] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[ 位置・確認層 ] A E - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[ 壁 ] やや内側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北側から南側への傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。第3層は、暗褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、4、2、1層、覆土より第群6類土器(第図、第図、  
、)第2、1層より第群9類土器(第図)第群土器(第図)が出土している。

石器は、第5層より石鏃2類2が1点(第図)覆土より石匙1類が1点(第図)出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AD- グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AD- グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径9 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AD- グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。



[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。  
[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。  
[底面] ほぼ平坦である。  
[堆積土] 褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。  
[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。北東、北西側は一部緩やかに立ち上がる。  
[底面] ほぼ平坦である。  
[堆積土] 4層に分層した。分層第2、3層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒色～黒褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 、 )、覆土より第 群土器(第 図 、 )が出土している。  
石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点(図示していない)出土している。  
土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第 図)出土している。  
[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。  
[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁] 外側に直線的に立ち上がる。  
[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。  
[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] なし。  
[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E・A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。東側の一部はやや内側へ立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図)が出土している。

石器は、第1層より敲磨器類4類Bが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図)、覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。第1、3層は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

他は、褐色～明褐色土が堆積し、角礫を多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、4、2、1層より第 群5 a類、6類土器(第 図、第 図～)が出土している。

石器は、第2層より磨製石斧1類Aが1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は隅丸長方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁]全体として外側へ緩やかに立ち上がる。東側の一部は若干オーバーハングする。

[底面]西側から東側へ傾斜が見られる。また、起伏が見られる。

[堆積土]層に分層した。第2、3、層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、底面、第2層、覆土より第群5a類土器、6類土器(第図、図、  
、)第2層、覆土より第群土器(第図、)が出土している。

石器は、底面より磨製石斧1類Bが1点(第図)第層より石匙1類が1点(第図)第7層より石鏃2類2が1点(第図)出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層]AE-グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複]第号土坑、第号土坑と重複し、本遺構は第号土坑より新しく、第号土坑より古い。

[平面形・規模]平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁]外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面]西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土]暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第1層より第群土器(第図)が出土している。

土製品は、第1層より土器片利用土製品が1点(第図)出土している。

[時期]出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層]AE-グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複]第号土坑、第号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模]平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁]全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面]北西側から南東側へ傾斜が見られる。外側から中央部へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土]2層に分層した。褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第2層より第群4類土器(第図)、第群土器(第図)が出土している。

[時期]出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。また、若干の起伏が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、角礫を微量含む。他は、褐色～褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5～3層、覆土より第 群5 a類、6類土器(第 図、第 図、第 図、第 図)が出土している。

石器は、第5層より不定形石器1類Aが1点(図示していない)、敲磨器類4類Bが1点(図示していない)、覆土よりその他の剥片石器が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D・A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。一部屈曲して立ち上がる。

[底面] 北西側から南東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4層より第 群5 a類土器(第 図、第 図)が出土している。

石器は、異形石器が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕AD- 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕全体としてオーバーハンクス、袋状を呈する。

〔底面〕外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

〔堆積土〕6層に分層した。第6層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第4～1層より第 群5 a類、6類土器（第 図 ～ ）第1層より第 群土器（第 図 ）が出土している。

石器は、第2層より不定形石器1類Fが1点（図示していない）出土している。

石製品は、第2層より球状石製品が1点（第 図 ）出土している。

〔時期〕出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕AE- 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

〔平面形・規模〕平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

〔壁〕全体として外側へ緩やかに立ち上がる。一部やや内側へ立ち上がる。

〔底面〕中央部から外側へ傾斜が見られる。北西壁側に底面ビットを有する。

〔堆積土〕黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第1層より第 群5 a類、6類土器（第 図 、 ）第1層より第 群土器（第 図 ）が出土している。

石器は、第1層より異形石器が1点（第 図 ）不定形石器1類Aが1点（第 図 ）出土している。

〔時期〕出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕AC・AD- グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

〔平面形・規模〕平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕西側から東側へ傾斜が見られる。

〔堆積土〕4層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第3層より第 群5 b類土器（第 図 ）が出土している。

〔時期〕出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 号土坑覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～明褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北東側から南東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第 群 5 a 類土器(第 図、 )が出土している。

石器は、第1層より磨製石斧 1 類 B が 1 点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D・A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第2層は黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C・A D - 、グリッドに位置する。第 a 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 起伏が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 7層に分層した。第1、4、7層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は黒褐色～黄褐色土が堆積し、黒褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第群5a類、6類土器(第図、第図)第1層より第群土器(第図)が出土している。石器は、第1層より石匙1類が2点(第図、) 敲磨器類4類Aが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] A E - 、グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。第3層は、暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。他は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第群6類土器(第図、) 覆土より第群土器(第図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] A E・A F - グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 4層に分層した。暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第群6類土器(第図、) 第3、1層、覆土より第群土器(第図、)が出土している。

石器は、第4層より石匙1類が1点(図示していない) 第3層より敲磨器類3類が1点(図示していない) 4類Bが1点(図示していない) 出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] A D・A E - グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁]おおむね外側へ緩やかに立ち上がる。北西側は一部オーバーハングする。

[底面]若干の起伏を有する。北壁側、中央部、南壁側に底面ピットを有する。

[堆積土]8層に分層した。第1、3、4層は黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第6層より第 群6類土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、覆土より石鏃3類3が1点(第 図 ) 敲磨器類1類Dが1点(図示していない)出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]AC - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]全体として外側へ緩やかに立ち上がるが、西側はオーバーハングする。

[底面]外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土]6層に分層した。黒褐色～にぶい褐色土が堆積しする。人為堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第6～4、2、1層、覆土より第 群4、6類土器(第 図 、 第 図 、 、 )第 群土器(第 図 、 、 )が出土している。

石器は、第6層よりその他の剥片石器が1点(図示していない)出土している。

土製品は、覆土より土偶が1点(第 図 )出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]AC - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面]起伏が見られる。

[堆積土]2層に分層した。褐色土が堆積し、角礫を少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 )第2層より第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より石筈3類が1点(第 図 ) 剥離のある礫が1点(第 図 )出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。



第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AD・AE - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 南東側から北西側へ起伏を伴う傾斜が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積し、角礫を少量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群5a類土器(第 図)が出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 3層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～黄褐色土が堆積し、黒褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 石器は、第1層より石鏃1類1が2点(第図、)、磨製石斧1類Bが1点(第図)出土している。
- [時期] 不明である。

第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは9cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 9 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。南東側はやや内側へ立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D・A E - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として、やや内側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群3類、6類土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C・A D - グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、2層より第 群6類土器(第 、 図 )、第3、2層より第 群4類、7類土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、第3層より不定形石器3類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物、遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - 、 グリッドに位置する。第 号土坑覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] にぶい黄褐色土が堆積し、角礫を少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F・A G - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。東側は外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 6層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色土～明褐色土が堆積し、黒褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4～1層、覆土より第群5a類、6類土器(第図、第図、)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AF・AG - グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第号土坑、第号土坑と重複し、本遺構は第号土坑より新しく、第号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 6層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第群6類土器(第図、) 覆土より第群土器(第図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積し、ロームを少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。一部やや内側へ立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積しローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 南側から北側への傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A E・A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 層に分層した。第1、4、5層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色土・褐色土が堆積し、暗褐色土はローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第、1層より第群6類土器(第 図、) 第～6、4～1層より第群2b類、4類、7類、9類土器(第 図、第 図、) 第群土器(第 図、) が出土している。  
石器は、第7層より敲磨器類2類Cが1点(図示していない)、4類Bが1点(第 図)、第3

層より不定形石器1類Bが1点(図示していない)、4類が1点(図示していない) その他の剥片石器が1点(図示していない)、磨製石斧1類Bが1点(第 図 )出土している。第1層より不定形石器1類Cが1点(図示していない) 覆土より石筈1類が1点(第 図 ) 不定形石器2類が1点(図示していない) 4類が1点(図示していない)出土している。

土製品は、第7層より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。

石製品は、第7層より円形岩版が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E・A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。第1、5層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、5、3、2層より第 群5 a類、6類土器(第 図 ~ ) 第2層、覆土より第 群4類、5類土器(第 図、 )が出土している。

石器は、覆土より石匙1類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は隅丸方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5 a類土器(第 図 ) 覆土より第 群2 b類土器(第 図 ) 第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、第1層より敲磨器類2類Bが1点(図示していない)、覆土より不定形石器3類が1点(図示していない)出土している。

石製品は、覆土より円形岩版が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]外側へ直線的に立ち上がる。

[底面]ほぼ平坦である。

[堆積土]暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]石器は、第1層よりその他の剥片石器が1点(図示していない)出土している。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]AD-、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]全体として外側へ直線的に立ち上がる。南側は一部オーバーハングする。

[底面]起伏が見られる。

[堆積土]6層に分層した。第5層は、暗褐色土が堆積し角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色〜褐色土が堆積し、暗褐色土は角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第6、4、1層、覆土より第 群5a類、5b類、6類土器(第 図 ~ )が出土している。

石器は、覆土より石鏃2類2が1点(第 図)、不定形石器1類Aが1点(第 図)出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]AF-、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。西壁は中位で屈曲し内側へ立ち上がる。

[底面]北東側から南西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土]5層に分層した。第1、4層は暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。他は、黒褐色〜暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第5、2層、覆土より第 群3類、6類土器(第 図 ~ )、覆土より第 群4類土器(第 図)が出土している。

石器は、覆土より敲磨器類2類Aが1点(第 図)出土している。

[時期]出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]AB-グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ屈曲して立ち上がる。南側一部はオーバーハングする。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 9層に分層した。第1～3、8層は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第7、5～3層より第群3類、5a類、6類土器(第図、)、第5、1層より第群4類、5類、7類土器(第図、第図、)第群土器(第図)が出土している。
- 石器は、第7層より敲磨器類2類Aが1点(図示していない)、覆土より不定形石器2類が1点(図示していない)、敲磨器類3類が1点(第図)出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第号土坑(第図)

- [位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第層において確認した。
- [重複] 第号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 段差が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第群土器(第図)が出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第号土坑(第図)

- [位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第層において確認した。
- [重複] 第号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 3層に分層した。第3層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

## 第号土坑(第図)

- [位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 8 cm、深さは 7 cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。



[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 層に分層した。第1、2、5～7、9層は黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群3類土器(第 図)、覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

石器は、覆土より刮磨器類3類が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。西側はオーバーハングする。北側開口部は段差が見られる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 9層に分層した。第2、9層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われ

る。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ローム、炭化物を多量ないし、中量含む。人為堆積と思われる。なお、第1～3層については、重複する第 号土坑覆土の可能性も考えられる。

[出土遺物] 土器は、第9、8、6、4、2、1層より第 群5 a類、6類土器(第 図 ー、  
、 ) 第6、4、1層より第 群4類、8類、類土器(第 図、 ) 第 群  
土器(第 図) が出土している。

石器は、第1層より不定形石器1類Aが1点(図示していない) 出土している。

土製品は、第1層より土器片利用土製品が1点(第 図) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 北東側から南西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 層に分層した。第7、9層は、黒褐色～暗褐色土が堆積しロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～明褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第、8、6、4層より第 群6類土器(第 図、 ー) 第、8、4  
～1層、覆土より第 群2 b類、3類、4類、7類、類土器(第 図、 、第 図 ー、  
ー、 ー) 第 群土器(第 図、 ) が出土している。

石器は、覆土より大石平型石筥が1点(第 図) 不定形石器1類Cが1点(図示していない)  
3類が1点(図示していない) 敲磨器類4類Bが1点(第 図) 出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が2点(第 図、 ) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1、2層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。また、重複する第 号土坑覆土の可能性も考えられる。第3層は、黒褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、1層、覆土より第 群3類、5 a類、6類土器(第 図 ー) 覆土  
より第 群4類土器(第 図) 第 群土器(第 図) が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは6cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第2層は、黒色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色土が堆積しロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は暗褐色土が堆積しロームを中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒色土が堆積し、ローム微量を含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y・Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積しロームを中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 南側から北側へ若干の起伏を伴う傾斜が見られる。
- [堆積土] 3層に分層した。第3層は、黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2、1層より第群6類土器(第図、)第1層、覆土より第群4類土器(第図)第群土器(第図、)が出土している。
- 石製品は、第2層より三角形岩版が1点(第図)出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第号土坑(第図)

- [位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 3層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを中量を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第号土坑(第図)

- [位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは9 cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第群土器(第図)が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第号土坑(第図)

- [位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 南東から北西へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

第2層は、黒褐色土が堆積しロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。西側は一部内側へ立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第2層暗褐色土はロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器 (第 図、 ) が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは7cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群 類土器 (第 図) が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。第1、2層は黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。第3層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。  
[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。  
[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。  
[底面] 起伏が見られる。  
[堆積土] 3層に分層した。  
[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )が出土している。  
[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。  
[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。  
[底面] 南東側から北西側へ傾斜が見られる。  
[堆積土] 7層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積しローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] 土器は、第5～3、1層、覆土より第 群3類、5 a、6類土器(第 図 ~ )が出土している。  
石器は、第2層より不定形石器1類Aが1点(図示していない)、覆土より不定形石器1類Dが1点(図示していない)、3類が1点(図示していない)出土している。  
[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A A・A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。  
[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。  
[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。北側から西側は一部屈曲する。  
[底面] 起伏が見られる。  
[堆積土] 6層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積しローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] 土器は、第5、3～1層、覆土より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 、 ~ )、第2層、覆土より第 群4類、5類、7類土器(第 図 、 ~ )が出土している。

石器は、第1層より敲磨器類2類Eが1点(第 図 ) 覆土より石匙1類が1点(第 図 ) 不定形石器1類Aが1点(第 図 ) 3類が2点(図示していない) 敲磨器類1類Aが1点(図示していない) 4類Aが1点(図示していない) 4類Bが1点(第 図 ) 出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側に緩やかに立ち上がる。一部オーバーハングや屈曲が見られる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第1、4、5層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 )、第5、3～1層より第 群4～6類土器(第 図 ～ )、第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より敲磨器類4類Bが1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 号土坑覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第4層は、黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～黄褐色土が堆積し、黒褐色土は角礫を中量を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4～2層より第 群6類土器(第 図 )、第3、1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、第1層より石匙2類1が1点(第 図 )出土している。

石製品は、覆土より円形岩版が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側に緩やかに立ち上がる。北側一部はオーバーハングする。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。



[堆積土] 5層に分層した。暗褐色土～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、1層、覆土より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 )、第1層、覆土より第 群4類、7類土器(第 図 、 )、第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点(図示していない)、2類が1点(図示していない)、敲磨器類4類Aが1点(図示していない)出土している。

石製品は、第1層より有孔石製品が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北側から南側中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )、第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E・A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。北東一部は外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第5層は、黒褐色土が堆積し、ローム角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

石器は、第3層より石皿・台石1類が1点(第 図 )、覆土より敲磨器類1類Bが1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmで

ある。

[壁] 全体として若干オーバーハングし、袋状を呈する。一部外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 9層に分層した。第5、6、8層は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E・A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北西側から南東側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、覆土より石匙2類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 )、第1層、覆土より第 群3類、4類、7類土器(第 、 図 ～ )、第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より石匙1類が1点(第 図 )出土している。

土製品は、第1層より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハンクス、袋状を呈する。南側は一部やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。褐色～赤褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、1層より第 群2 b類、8類土器(第 図、 )、第 群土器(第 図)が出土している。

石器は、第1層より不定形石器2類が1点(図示していない)、4類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 8 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は隅丸長方形ないし楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。一部はやや内側へ立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群 5 a類土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より石匙1類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。一部はやや内側へ立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～明褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。一部はやや内側へ立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られるがほぼ平坦である。北東壁側に底面ビットを有する。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群 7類土器(第 図 )、第 群土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、第1層より石皿・台石1類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - に位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として南側へ直線的に立ち上がる。南壁側は中位で屈曲が見られる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。東西壁側はやや外側へ立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第1、4層は、暗褐色土が堆積しローム、角礫を微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3～1層、覆土より第 群5類、6類土器(第 図 、 ) 第 群土器(第 図 ~ ) が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 ) が出土している。

石器は、覆土より石匙1類が1点(第 図 ) 出土している。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号溝状遺構と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑よ

り古く、第 号溝状遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は隅丸長方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がるが、一部はやや内側へ立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第3層は黒色土が堆積し、ローム、炭化物を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群3類、5a類土器(第 図、 )が出土している。

土製品は、第3層より土偶が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。一段差が見られる。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。段差が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。第2層は、黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。また、起伏が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 4層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色土は、炭化物を多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群5a類土器(第 図 )、第4、3、1層、覆土より第 群2b類、4～7類土器(第 図 ～ 、 )が出土している。

石器は、第1層より敲磨器類4類Bが1点(第 図 )、覆土より敲磨器類1類Aが1点(図示していない)、2類Eが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバースラングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 層に分層した。暗褐色～明褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第 群6類土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B・A C - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として若干オーバースラングし、袋状を呈する。

[底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 層に分層した。第1、4、5、8層は黒色～褐色土が堆積し、黒色～黒褐色土は、バミス、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積しバミス、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第8、6、5、3、2層より第 群5 a類、6類土器(第 図、 図、 第 図、 )が出土している。

石器は、第 層より剥離のある礫が1点(第 図) 覆土より不定形石器4類が1点(図示していない) 敲磨器類4類Dが1点(第 図) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。



第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全としてやや外側へ緩やかに立ち上がる。一部やや内側へ立ち上がる。
- [底面] 若干の起伏が見られるがほぼ平坦である。
- [堆積土] 2層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C・A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。
- [平面形・規模] 平面形は隅丸長方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 9層に分層した。第4層は、暗褐色土がブロック状に堆積し、ロームを少量含む。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土よりその他の剥片石器が1点(図示していない)出土している。

石製品は、覆土より石刀が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 4層に分層した。第3層は、暗褐色土が堆積し、角礫を多量含む。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、2層より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 )第3、2層より第 群5類土器(第 図 )第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 6層に分層した。第2、3層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色〜褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、4層より第 群6類土器(第 図 、 )第6〜4、1層より第 群6類土器(第 図 )第 群土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、覆土より不定形石器3類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C・A D - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群6類土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AC・AD - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 東側は、外側へ緩やかに立ち上がる。西側は、オーバーハングする。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第3、4層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群3類、5b類土器(第 図、 )、第1層より第 群6類、8類土器(第 図、 )が出土している。

石器は、第1層より敲磨器類1類Aが1点(第 図)、4類Aが1点(図示していない)、覆土より不定形石器3類が1点(図示していない)、剥離のある礫が1点(図示していない)出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AC・AD - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。中位より屈曲する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AC - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

- [底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。また、一部起伏が見られる。
- [堆積土] 3層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒色～黒褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群3類土器(第 図)が出土している。
- 石器は、覆土より敲磨器類4類Bが1点(第 図)出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。東側は外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。また、南側には段差が見られる。
- [堆積土] 9層に分層した。第3、7層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図)、第1層より第 群3類土器(第 図)、第 群土器(第 図)が出土している。
- 石器は、第8層より石鏃2類2が1点(第 図)、第3層より石鏃2類2が2点(第 図、)出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A E - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し角礫を多量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群2 a類土器(第 図)が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図)、覆土より第 群2a類土器(第 図)、第 群土器(第 図、)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AF-、グリッドに位置する。第 a層、第 層において確認した。

[重複] 第7号溝状遺構と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。北側、西側はオーバーハングする。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第2層は、黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図)、第1層より第 群4類、7類土器(第 図、)第 群土器(第 図)が出土している。

石器は、第3層より不定形石器1類Eが1点(第 図)、覆土より磨製石斧1類Cが1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AB・AC-、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。開口部付近に段差が見られる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 8層に分層した。第6、8層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5a類土器(第 図)、覆土より第 群4類土器(第 図)が出土している。

石器は、覆土より石匙1類が1点(第 図)、敲磨器類4類Bが1点(第 図)、挟入扁平磨製石器が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AD- グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは9 cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 4 cm、深さは 8 cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 6層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 北側は外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 4層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B・A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は長方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 層に分層した。第2、5、9層は、暗褐色～褐色土が堆積し、ロームを含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ローム、炭化物を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第、 、 、8、6、4、1層より第群5a類、6類土器(第図～)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AC - グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第号土坑、第号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。開口部付近で外側へ屈曲する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 9層に分層した。第3～5層は暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第7層より第群6類土器(第図)、第7～5、2層より第群4類、6類土器(第図、 、 、 )、第群土器(第、図、 )が出土している。

石器は、第6層より敲磨器類4類Aが1点(図示していない)、1類Aが1点(図示していない)出土している。

土製品は、第6層より土器片利用土製品が1点(第図)、覆土より土器片利用土製品が1点(第図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AC - グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第号土坑、第号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がり、中位で屈曲し緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。西側に規模の大きい底面ビットを有する。

[堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積し、ローム、炭化物を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AF - グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。



[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は9 cm 6 cm、底面は8 cm 6 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部への傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 8 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A F・A G - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 9 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、炭化物を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A F・A G - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第7号溝状遺構と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 層に分層した。第3、6、9層は、黒褐色～黄褐色土が堆積し、ローム、角礫、炭化物を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図)、覆土より第 群土器(第 図)が

出土している。

石器は、覆土よりその他の剥片石器が1点(第 図)、敲磨器類3類が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第7号溝状遺構と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径8 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。北側は、中位で屈曲する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第7号溝状遺構と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm 9 cm、底面は3 cm 2 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径8 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側から緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 6 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 9 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積しローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 8 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 南側から北側への傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。北側は、一部オーバーハングする。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - に位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。一部若干の屈曲が見られる。

[底面]起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、角礫、炭化物を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群5a類土器(第 図 、 )、第2、1層より第 群土器(第 図 、 )が出土している。

石製品は、覆土より有孔石製品が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E・A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第4、5層は、黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黄褐色土、明褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3層、覆土より第 群 5 a類、6類土器(第 図、 ) 覆土より第 群 4～6類土器(第 図、 ) 第 群土器(第 図) が出土している。

石器は、覆土より石匙1類が1点(第 図) 敲磨器類2類Bが1点(図示していない) 出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第 図) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 8層に分層した。第2層及び底面ピット第1層は黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫、炭化物を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 、 8、6、4層より、第 群 3類、6類土器(第 図、 、 、 ) 第 、 ～4、2、1層より第 群 4～9類土器(第 図 ～ 、 、 、 、 ) 第 群土器(第 図、 、 、 ) が出土している。

石器は、第 層より不定形石器3類が2点(図示していない) 第 層より石筈3類が1点(第 図) 不定形石器1類Aが1点(図示していない) 敲磨器類1類Aが1点(図示していない) 第8層より敲磨器類2類Bが1点(図示していない) 第6層より石筈3類3が1点(第 図) 第1層より不定形石器1類Aが1点(図示していない)、3類が1点(図示していない) 覆土より敲磨器類1類Aが1点(図示していない) 出土している。

土製品は、第 層より土器片利用土製品が3点(第 図 ～ ) 第 層より鐔形土製品が1点(第 図) 土器片利用土製品が1点(第 図) 第1層より土器片利用土製品が1点(第 図) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

〔堆積土〕褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第1層より第 群5類土器（第 図）、第 群土器（第 図）が出土している。

〔時期〕出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕A E - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕北側は、やや外側へ直線的に立ち上がる。南側は、内側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕西側から東側へ傾斜が見られる。

〔堆積土〕褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第1層より第 群土器（第 図）が出土している。

〔時期〕出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

〔平面形・規模〕平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ緩やかに立ち上がる。

〔底面〕外側から中央部へ傾斜が見られる。

〔堆積土〕6層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第1層、覆土より第 群3類、6類土器（第 図、 ）が出土している。

石器は、第6層より敲磨器類1類Eが1点（図示していない）出土している。

〔時期〕出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm

である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南東側から北西側への傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A D・A E - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器 (第 図) が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ローム、炭化物を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A E・A F - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以前の土坑と思われる。



### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以後の土坑と思われる。

### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] ほぼ平坦である。中央部に底面ピットを有する。
- [堆積土] 層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～橙色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ローム、炭化物を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第 1層より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 ) 第 、 、 、 6、5、2、1層より第 群4～6、8、 類土器(第 図 、 第 図 ~ 、 、 ) 第 群土器(第 図 、 、 、 )が出土している。
- 石器は、第 層より不定形石器3類が1点(図示していない) 第 層より敲磨器類4類Aが1点(図示していない) 石皿・台石2類が1点(第 図 ) 第1層より敲磨器類2類Bが1点(図示していない) 2類Eが1点(図示していない) 覆土より石鏃2類2が1点(第 図 ) 敲磨器類4類Dが1点(第 図 ) 剥離のある礫が1点(図示していない) 出土している。
- 土製品は、第 層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 焼成粘土塊が1点(第 図 ) 第 層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 第5層より土器片利用土製品が1点(第 図 ) 出土している。
- 石製品は、第 層より有孔石製品が1点(第 図) 出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。下位で屈曲する。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。段差を有する。

[堆積土] 8層に分層した。第4、8層は、黒色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、3層より第 群6類土器(第 図、 )、第6、3層より第 群土器(第 図、 )が出土している。

石器は、覆土より磨製石斧1類Cが1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B・A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第8号溝状遺構と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第2層は、黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群8類土器(第 図)、第 群土器(第 図、 )が出土

している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AC - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。一部オーバーハングする。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層、覆土より第 群4類土器(第 図)、第 群土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AC - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 明褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、第1層より敲磨器類1類Aが1点(図示していない)出土している。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AF・AG - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側への傾斜が見られる。北側が落ち込む段差を有する。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群2b類土器(第 図)、第 群土器(第 図)が出土している。

土製品は、第1層より土器片利用土製品が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、焼土、炭化物、角礫を含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A G - グリッドに位置する。第 a 層において確認した。
- [重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 東側から西側への傾斜が見られる。
- [堆積土] 8層に分層した。第8層は、暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土はロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第6層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。
- [時期] 遺構確認層より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A G - グリッドに位置する。第 a 層において確認した。
- [重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈するものと思われる。
- [底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 3層に分層した。第1層は暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を少量含む。他は、暗褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第3層より第 群6類土器(第 図 )、第2層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。
- [時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A B・A C - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏を有する。

[堆積土] 3層に分層した。第3層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群4類土器(第 図 )が出土している。

石器は、第1層より敲磨器類4類Aが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AB・AC - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。一部はやや内側へ立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。東西壁際に底面ビットを有する。

[堆積土] 層に分層した。第1～3、7、 層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第8、5～2層、覆土より第 群3類、5a類、6類土器(第 図、第 図、 )第8、1層、覆土より第 群4類、8類土器(第 図、 )第 群土器(第 図、 )が出土している。

石器は、第2層より石鏃2類2が1点(第 図 )石匙1類が1点(第 図 )敲磨器類1類Aが1点(第 図 )第1層より石鏃2類2(第 図 )砥石が1点(第 図 )覆土より不定形石器4類が1点(図示していない)敲磨器類4類Bが1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AE - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東西側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AB・AC - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 7層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第4層より第 群6類土器(第 図)、第5、4、2層、覆土より第 群2a類、4～8類、類、類土器(第、図～、第 図、～) 第 群土器(第 図) が出土している。
- 石器は、第3層より敲磨器類3類が1点(第 図)、覆土より石鏃2類1が1点(第 図)、石筈3類が1点(第 図)、不定形石器1類Fが1点(図示していない)、磨製石斧1類C類が2点(第 図、) 敲磨器類4類Dが1点(第 図) 出土している。
- 土製品は、覆土より鏝形土製品が1点(第 図)、土器片利用土製品が2点(第 図、) 出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ起伏を伴い緩やかに立ち上がる。
- [底面] 起伏を伴うが、ほぼ平坦である。
- [堆積土] 不明である。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群5a類土器(第 図)、第 群土器(第 図) が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さ cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A A・A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。中央部北東側に底面ピットを有する。

[堆積土] 7層に分層した。第1、3、5層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒色～黒褐色土が堆積し、ローム、炭化物を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第7、5～1層、覆土より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 、 ～ ) 第4層より第 群4類、6類土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、覆土より異形石器が1点(第 図 ) 敲磨器類2類Bが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径9cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C・A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは9cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm 8 cm、底面は長径 9 cm、深さは 8 cm である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。一部屈曲が見られる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。暗褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 4、2、1層より第 群 3類、6類土器 (第 図 ~ ) が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cm である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A A・A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。



〔重複〕第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

〔平面形・規模〕平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕やや外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕起伏が見られる。

〔堆積土〕4層に分層した。第4層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

他は、黒褐色～黄褐色土が堆積し、黒褐色土は、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第4、1層より第 群3類、6類土器(第 図、 )が出土している。

〔時期〕出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

〔位置・確認層〕A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕ほぼ平坦である。

〔堆積土〕黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

〔位置・確認層〕A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

〔堆積土〕黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

〔位置・確認層〕A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ緩やかに立ち上がる。

〔底面〕外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

〔堆積土〕黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量を含む。自然堆積とおもわれる。

〔出土遺物〕なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは9 cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 段差が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。第2層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構確認層より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] X - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C・A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。西側はオーバーハングする。
- [底面] 若干の起伏を伴うが、ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]なし。  
[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複]なし。  
[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは9 cmである。  
[壁]外側へ緩やかに立ち上がる。  
[底面]西側から東側へ傾斜が見られる。  
[堆積土]褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。  
[出土遺物]なし。  
[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複]なし。  
[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁]やや外側へ直線的に立ち上がる。一部はやや内側へ立ち上がる。  
[底面]ほぼ平坦である。  
[堆積土]暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。  
[出土遺物]なし。  
[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複]なし。  
[平面形・規模]平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは8 cmである。  
[壁]外側へ直線的に立ち上がる。  
[底面]東側から西側へ若干の傾斜が見られる。  
[堆積土]2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。  
第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。  
[出土遺物]なし。  
[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B・A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複]なし。

- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 北側は外側へ緩やかに立ち上がる。西側はオーバーハングする。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 4層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図、 )が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 部分的に起伏が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2層より第 群3類土器(第 図)、第2、1層より第 群8類(第 図)、第 群土器(第 図、 )が出土している。
- 土製品は、第1層より土器片利用土製品が1点(第 図)出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 5層に分層した。第1、3、5層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5層より第 群5 a類土器(第 図 )、第2、1層、覆土より第 群4類、6類土器(第 図 、 )、第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、第5層より石鏃2類2が3点(第 図 一 )、石匙1類が2点(第 図 、 )、磨製石斧1類Bが1点(第 図 )、1類Cが1点(第 図 )、覆土より石鏃2類2が1点(第 図 )、石筥2類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第4層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

他は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。ローム、人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第9、6層より第 群5 a類土器(第 図 、 )、第4、2層より第 群土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、第2層より不定形石器1類Eが1点(第 図 )、2類が1点(図示していない)、その他の剥片石器が1点(図示していない)出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が2点(第 図 、 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。東側は中位で屈曲する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 )、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 号土坑、第 号土坑覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は、第 号土坑、第 号土坑より新しく、第 号土坑、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 ) 第1層より第 群土器(第 図 ) が出土している。

石器は、第1層より礫石錘3類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。黒色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4層より第 群6類土器(第 図 ) 第5、4、2、1層、覆土より第 群 2b類、3類、4類、7類土器(第 図 、 、 、 ) 第 群土器(第 図 、 、 、 ) が出土している。

石器は、第5層より不定形石器1類Aが1点(図示していない) 1類Bが3点(図示していない) 1類Cが1点(図示していない) 1類Dが1点(図示していない) 第4層より敲磨器類2類Aが1点(図示していない) 第1層より石匙2類が1点(第 図 ) 不定形石器1類Aが1点(図示していない) 1類Bが1点(第 図 ) 1類Dが1点(図示していない) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。東側一部はオーバーハングする。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5類、6類土器(第 図 、 ) が出土している。

石器は、覆土より敲磨器類1類Aが1点(図示していない) 出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が2点(第 図 、 ) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。



第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 北側はオーバーハングし、袋状を呈する。南側は外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 8 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 4 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は隅丸長方形で、開口部は cm cm、底面は 9 cm 8 cm、深さは 6 cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 9 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 2層に分層した。黒色～黒褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。第2層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群5 a類土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 9cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 8cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 9 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A C・A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

- [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

- [ 位置・確認層 ] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。第2層は、黒褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

- [ 位置・確認層 ] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] ほぼ平坦である。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色土はロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

- [ 位置・確認層 ] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 東側から西側への傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。第2層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AC - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AB・AC - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 西側から東側への傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。一部はオーバーハングする。
- [底面] 外側から中央部へ若干の起伏を伴う傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。黄褐色土、明褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2、1層、覆土より第 群土器(第 図 ～ )が出土している。



[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y・Z - グリッドに位置する。第 a層、第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 9層に分層した。第2、4、6層は暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土、暗赤褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、3層、覆土より第 群3類、5a類、5b類、6類土器(第 、 図 一、第 、 図 、 、 )、第2層、覆土より第 群4類土器(第 図 )、第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より石匙1類が1点(第 図 )、不定形石器3類が1点(図示していない)、その他の剥片石器が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 号土坑覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群 類土器(第 図 )、第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑A、第 号土坑Bと重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑A、第 号土坑Bより新しく、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。北東側は一部外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。中央部南側に底面ピットを有する。

[堆積土] 4層に分層した。第3層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4層より第 群6類土器(第 図)、第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群6類土器(第 図)、第2、1層より、第 群2b類(第 図)、第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は隅丸長方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。北側はやや屈曲して立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。南西、北東壁際に内側に傾く底面ビットを有する。

[堆積土] 7層に分層した。黒褐色～黄褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4、1層より第 群3類、6類土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ緩やかに立ち上がる。

〔底面〕起伏が見られる。

〔堆積土〕暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第1層より第 群土器（第 図）が出土している。

土製品は、第1層より鐮形土製品が1点（第 図）出土している。

〔時期〕出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Z - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

〔平面形・規模〕平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。北側は一部オーバーハングする。

〔底面〕西側から東側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

〔堆積土〕6層に分層した。第3、4、6層は、黒褐色～暗褐色土が堆積しロームを少量ないし微量含む。他は、黒褐色～黄褐色土が堆積し、黒褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第4、2層より第 群6類土器（第 図、）第2、1層より第 群土器（第 図、）が出土している。

石器は、覆土より不定形石器1類Fが1点（図示していない）出土している。

〔時期〕出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

〔平面形・規模〕平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ緩やかに立ち上がる。

〔底面〕若干の起伏が見られる。

〔堆積土〕5層に分層した。第1、2層は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第4、2層より第 群5 a類、6類土器（第 図、第 図、）が出土している。

〔時期〕出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]外側へ直線的に立ち上がる。

[底面]ほぼ平坦である。

[堆積土]黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 7 cm、深さは cmである。

[壁]東側に傾き直線的に立ち上がる。

[底面]丸くなっている。外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

[堆積土]黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模]平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面]ほぼ平坦である。

[堆積土]黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]A D - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模]平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は 9 cm 6 cm、深さは cmである。

[壁]外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面]ほぼ平坦である。

[堆積土]黒褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてやや東に傾き直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。第2、3層は、黒色一黒褐色土が堆積する。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 第1層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。第2層は、黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A G - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。中位、上位で外側に屈曲する。
- [底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積する。ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。中位で屈曲し外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 4層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を多量ないし中量含む。自然堆



積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群3類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 残存部はほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。西側一部は若干外側へ屈曲し立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色〜褐色土が堆積し、黒褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 号土坑覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積する。ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。第2層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。北側は一部オーバーハングする。西側は外側へ屈曲して立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層、覆土より第 群4類土器(第 図)、第 群土器(第 図)が出土している。

石器は、覆土より敲磨器類4類Aが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] Y - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。一部やや内側へ屈曲して立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 3層に分層した。第3層は、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第3群3類土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA・AB - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。一部内側へオーバーハングして立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第2、3層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、2層、覆土より第5群5a類、6類土器(第 図、第 図、 )、第4、2層より第2群2b類土器(第 図)、第 群土器(第 図、 )が出土している。

石器は、第3層より石匙1類が1点(第 図)、不定形石器1類Aが1点(図示していない)、1類Bが1点(図示していない)、第2層より石鏃3類3が1点(第 図)、覆土より不定形石器1類Cが1点(第 図)、3類が1点(図示していない)出土している。

石製品は、覆土より円形岩版が(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA・AB - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。また、一部起伏が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第3層は、黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第3群3類、6類土器(第 図、 )、覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

石器は、覆土より敲磨器類4類Aが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、1層、覆土より第 群3類、6類、類土器(第 図、第 図、第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。北東壁側に底面ビットを有する。

[堆積土] 6層に分層した。第3層は、暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、4～2層、覆土より第 群3類、4類、6類、8類土器(第 図、第 図、第 図)が出土している。

石器は、第3層より不定形石器1類Dが1点(第 図)、第1層より敲磨器類2類Aが1点(図示していない)、覆土より不定形石器1類Cが1点(第 図)、不定形石器1類Eが1点(第 図)、不定形石器2類が1点(図示していない)出土している。

土製品は、覆土よりミニチュア土器が1点(第 図)、土器片利用土製品が2点(第 図、第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

- [位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは9 cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 黒色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器（第 図）が出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

- [位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器（第 図、 ）第1層より第 群土器（第 図、 ）が出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

- [位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 残存部は、外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ起伏を伴う傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器（第図）が出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

- [位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ起伏を伴い緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 6層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～明褐色土が堆積し、黒褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、4、3層より第群3類、5a類、6類土器(第図～) 覆土より第群類土器(第図)が出土している。

石器は、第3層より敲磨器類4類Bが1点(第図) 覆土より磨製石斧1類Bが1点(第図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] Z - 、グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第号土坑、第号土坑と重複し、本遺構は第号土坑より古く、第号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ一部起伏を伴い緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第1、5層は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒色～黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、1層より第群5a類土器(第図、)が出土している。

石器は、第1層よりその他の剥片石器が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AB - グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層] AB - グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径5cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 7 cm、深さは cmである。

[壁] 北側に傾き直線的に立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積する。ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は隅丸長方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 東側に傾き直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A A・A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 8 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。



第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕やや外側へ直線的に立ち上がり、開口部付近で段差が見られる。

〔底面〕ほぼ平坦である。

〔堆積土〕黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

〔平面形・規模〕平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

〔底面〕南側から北側へ若干の傾斜が見られる。中央部東側に底面ピットを有する。

〔堆積土〕9層に分層した。第1、3層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第7層より第 群5 a類土器（第 図 ）、第9～5、3、2層、覆土より第 群2 b類、4類、6～8類、 類土器（第 図 ）、 類土器（第 図 ）が出土している。

石器は、第8層より敲磨器類4類Aが1点（第 図 ）、第2層より不定形石器1類Aが1点（図示していない）、覆土より磨製石斧1類Cが1点（図示していない）出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が3点（第 図 ）出土している。

〔時期〕出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕X・Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

〔平面形・規模〕平面形は隅丸長方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。西側一部はやや内側へ立ち上がる。

〔底面〕西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

〔堆積土〕3層に分層した。黒褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕土器は、第3～1層より第 群第3類、6類土器（第 図 ）が出土している。

〔時期〕出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。



[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁]全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面]ほぼ平坦である。

[堆積土]黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第1層より第 群6類土器(第 図)、第1層より第 群7類土器(第 図)、第 群土器(第 図)が出土している。

土製品は、第1層より鐮形土製品が1点(第 図)出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]全体として外側へ緩やかに立ち上がる。東側は一部オーバーハングする。南西側の一部は開口部付近で外側へ屈曲する。

[底面]若干の起伏が見られる。

[堆積土]7層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第6～3、1層、覆土より第 群4～6類土器(第 図、第 図、第 図)、第 群土器(第 図～)が出土している。

石器は、第4層より不定形石器4類が1点(図示していない)、覆土より不定形石器3類が1点(図示していない)、4類が2点(図示していない)出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第 図)出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]Z - グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。

[重複]第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模]平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁]外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面]北側から南側へ傾斜が見られる。西壁際に2個、南壁際に1個の底面ピットを有する。

- [堆積土] 2層に分層した。黒褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。  
 ビットは黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群3類、6類土器(第 図、 )が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群3類土器(第 図)が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑A(第 図)

- [位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑Bと重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 4層に分層した。第1、2層は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。  
 自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑B(第 図)

- [位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 号土坑A覆土において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑Aと重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑Aより新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。西壁際に底面ビットを有する。

[堆積土] 3層に分層した。黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3～1層より第 群6類、8類土器（第 図、 ）第 群土器（第 図）が出土している。

石器は、覆土より磨製石斧1類Bが1点（第 図）出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑Bと重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第3層は、黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、覆土より石匙2類が1点（第 図）出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点（第 図）出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第3層は、暗褐色土が堆積し、黄褐色土を中量含む。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑 B と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑 B との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cm である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北東側から南西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第1、4層は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X・Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cm である。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。南西側はやや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

土製品は、覆土よりミニチュア土器が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は隅丸長方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。東西壁はやや内側へ屈曲して立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。第4層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6～4、2層より第 群5a類、6類土器(第 図～) 覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。北側一部は中位で屈曲する。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 6層に分層した。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第6、3層より第 群3類、6類土器(第 図、 )が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群3類土器(第 図)、第1層、覆土より第 群4類、8類土器(第 図、 )が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む、自然堆積と思われる。他は、黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] Z・AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構とは新旧不明である。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、角礫を含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 起伏を呈し、東側に段差が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。一部屈曲が見られる。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム少量を含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] Y - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。



[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、褐色土を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] Y - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。また、起伏も見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群3類、5a類、6類土器(第 図 ~ )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 若干の起伏を有する。

[堆積土] 7層に分層した。第3、4、6層は、暗褐色土が堆積し、混入物を含むものは、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色〜褐色土が堆積し、黒褐色土は、ローム、角礫を多量なしいし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6〜4、2層、覆土より第 群3類、5a類、6類土器(第 図、第 図 ~、 )、第1層より第 群8類土器(第 図)、第 群土器(第 図)が出土している。

石器は、第5層より不定形石器3類が1点(図示していない)、第4層より敲磨器類2類Bが1点(第 図)、第1層より石錐2類2が1点(第 図)、不定形石器3類が1点(図示していない)、覆土よりその他の剥片石器が1点(第 図)、敲磨器類2類Bが1点(図示していない)、4類Aが1点(図示していない)、4類Bが1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑 (第 図)

[位置・確認層] AA - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。一部屈曲が見られる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 7層に分層した。第5層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第7、5、4、1層より第 群5a類、6類土器(第 図 ～ )が出土している。

石器は、第4層より敲磨器類2類Bが1点(図示していない) 第1層より不定形石器4類が1点(図示していない)出土している。

石製品は、第1層よりその他の石製品が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑A(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 号土坑B、第 号土坑覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑B、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてやや外側へオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北東側から南西側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] にぶい黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑B(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑A、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より新しく、第 号土坑Aより古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦であるが、若干の起伏を伴う。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4層より第 群6類土器(第 図 ) 第4、1層、覆土より第 群3類土器(第 図 ) 第 群土器(第 図 、 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑A、第 号土坑B、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑A、第 号土坑B、第 号土坑より古く、第 号土坑、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 5層に分層した。第1、3、5層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒色～褐色土が堆積し、黒色土は、炭化物層である。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5、4層より第 群5a類、6類土器(第 図、第 図、 )、第5層より第 群4類土器(第 図 )が出土している。

石器は、第4層より剥離のある礫が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 3層に分層した。第2層は、黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3～1層より第 群4～6類土器(第 図 ～ )が出土している。

石器は、覆土より不定形石器3類が2点(図示していない)出土している。

土製品は、第1層よりミニチュア土器が1点(第 図 )、覆土よりミニチュア土器が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は隅丸長方形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 層に分層した。第1、3、6、9～ 層は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ローム、黄褐色土を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第 ～ 、 ～9、7、4、1層より第 群3類、5a類、6類土器(第 図

～ )が出土している。

石器は、第 層より石匙1類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA・AB - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてやや外側へ屈曲を伴い立ち上がる。一部は若干オーバーハングする。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。第7層は、暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

他は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、炭化物を多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、第7、6、4、2、1層より第 群5 a類、6類土器(第 図 ～ )が出土している。

石器は、第3層より石匙1類が1点(第 図 )、覆土より石匙1類が1点(第 図 )出土している。

土製品は、第4層より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA・AB - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 層に分層した。第8、 層は、暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を少量ないし微量含む、自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、第 、 、9、7、4層より第 群3類、5 a類、6類土器(第 図 ～ )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 若干の屈曲を伴い外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北西側から南東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図 ) が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。第1、5層は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、第2層中にブロック状に堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、4層より第 群3類、5a類土器(第 図 、 ) 第6～4、2、1層より第 群4類土器(第 図 、 ) 第 群土器(第 図 ～ ) が出土している。

石器は、第6層より不定形石器1類Dが1点(図示していない)、第4層より不定形石器1類Dが1点(図示していない)、覆土より石匙3類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 東西壁はやや外側へ直線的に立ち上がり、中位で屈曲し外側へ緩やかに立ち上がる。南壁は外側へ緩やかに立ち上がる。北壁はオーバーハングして立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第4層は、黒褐色土が堆積し、角礫を多量含む。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群2a類土器(第 図 、 ) が出土している。

石器は、第1層よりその他の剥片石器が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。  
 [底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。  
 [堆積土] 暗褐色土が堆積する。自然堆積と思われる。  
 [出土遺物] なし。  
 [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

## 第 号土坑 (第 図)

- [位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
 [重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑、第 号土坑より新しく、第 号土坑、第 号土坑との新旧関係は不明である。  
 [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
 [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。  
 [底面] 南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。  
 [堆積土] 層に分層した。第1、3～6、 層は、黒色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫、明褐色土を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土、明褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。  
 [出土遺物] 土器は、第2層より第 群6類土器(第 図 )、第 、 5、4、2、1層、覆土より第 群4類、6類、8類、9類土器(第 図 ～ )、第 群土器(第 図 )が出土している。  
 石器は、覆土より敲磨器類2類Eが1点(図示していない)出土している。  
 [時期] 出土遺物及び遺構の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑 (第 図)

- [位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
 [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。  
 [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
 [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。  
 [底面] ほぼ平坦である。  
 [堆積土] 6層に分層した。第4層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。  
 [出土遺物] 土器は、第5～1層より第 群4類、6類土器(第 図 ～ )、第 群土器(第 図 、 )が出土している。  
 [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑 (第 図)

- [位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
 [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ起伏を伴う傾斜が見られる。
- [堆積土] 4層に分層した。第1、2層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群4類、5類、8類土器(第 図 ～ )が出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 8 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ロームを含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑A(第 図)

- [位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑B、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑Bより新しく、第 号土坑との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。一部外側へ屈曲する。
- [底面] 北西側から南東側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 7層に分層した。第2、3、5、7層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

#### 第 号土坑B(第 図)

- [位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑A、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑Aより古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 8 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 不明である。

[堆積土] 3層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y・Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 7cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 段差が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径9cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。開口部付近で若干外側へ屈曲する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。



- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 南西側から北東側へ急な傾斜が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。黒色～黒褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Z・AA - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ屈曲して立ち上がる。開口部付近に段差を有し、東西にピットを有する。
- [底面] 外側からほぼ中央部へ若干の傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。
- [堆積土] 4層に分層した。第2～4層は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第4～1層より第 群5 a類、6類土器(第 図 ～ )が出土している。石器は、第1層より敲磨器類2類Eが1点(図示していない)、3類が2点(第 図、1点は図示していない)出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は 号土坑より新しく、第 号土坑、第 号土坑より古い。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 残存部は、外側へ起伏を伴い緩やかに立ち上がる。
- [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 3層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第3層、覆土より第 群8類土器(第 図 )、第 群土器(第 、 図、 )が出土している。石器は、第2層より敲磨器類2類Aが1点(図示していない)出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。西側は開口部付近で外側へ若干屈曲する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群3類、6類土器(第 図、第 図、)が出土している。

石器は、第1層より石匙1類が1点(第 図) 抉入扁平磨製石器が1点(第 図) 出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y・Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。一部オーバーハングする。

[底面] 南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 9層に分層した。第6、7層は、黒褐色土が堆積し、角礫、炭化物を微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～黄褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。なお、重複する第 号土坑の覆土が第1層上部に流れ込んでいる可能性が高いと思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5a類土器(第 図) 第8～4層、覆土より第 群5類土器(第 図) 第 群土器(第 図、)が出土している。

石器は、覆土より石匙1類が1点(第 図) 不定形石器3類が1点(図示していない) 4類が1点(図示していない) 出土している。

土製品は、第5層より土器片利用土製品が2点(第 図、) 覆土より土器片利用土製品が1点(第 図) 出土している。

石製品は、覆土より円形岩版が1点(第 図) 出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてやや外側へ屈曲し立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、川原石を多量、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第5層より第 群6類土器（第 図 ）、第2、1層より第 群4～6類土器（第 図 ～ ）、第 群土器（第 図 、 ）が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハンクス、袋状を呈する。

[底面] 南東側から北西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構確認層及び遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] X・Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器（第 図 ）が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑A、第 号土坑Bと重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 4層に分層した。第3層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 5層に分層した。第5層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )、覆土より第 群4類、8類、 類土器(第 図 - )が出土している。
- 石器は、覆土より石鏃2類2が1点(第 図 )出土している。
- 土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Z - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。南側は一部オーバーハングする。開口部付近で屈曲し段差が見られる。また、開口部南西側にピットを有する。
- [底面] 南東側から北西側へ若干の傾斜が見られる。
- [堆積土] 層に分層した。第4、8、9、 層は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～黄褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第 、 7層より第 群3類、5a類土器(第 図 - )が出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第1、2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群3類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑A(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑B、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑B、第 号土坑、第 号土坑より新しく、第 号土坑、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第3層は、暗褐色土が堆積し、角礫を微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層、覆土より第 群4類、6類、8類土器(第 図 ~ )、第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑B(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑A、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 若干の起伏を伴うが、ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。褐色～明褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。南側一部は外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 2層に分層した。暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群5類土器(第 図 ) 第 群土器(第 図 ) が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] X・Y - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。また、覆土上部に第 a層が堆積する。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群4類土器(第 図 ) が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Z - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 起伏が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Y - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。一部起伏が見られる。
- [底面] 起伏が見られる。中央部南西側に底面ビットを有する。
- [堆積土] 4層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積し、炭化物を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第 群6類土器(第 図 、 )、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、第1層より不定形石器3類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X・Y - グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑より古く、第 号土坑より新しく、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。一部やや内側へ立ち上がる。

[底面] 北西側から南西側へ若干の傾斜が見られる。中央部から南壁にかけて、楕円形の底面ピットを有する。

[堆積土] 第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群5 a類土器(第 図 )が出土している。

石製品は、第1層より有孔石製品が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層及び第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第4層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群4類土器(第 図 )、第 群土器(第 図 、 )が出土している。

[時期] 遺構確認層及び出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AC - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、第1層より石皿・台石1類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3層より第 群6類土器(第 図 )、第3～1層より第 群4類、5類、8類土器(第 図 ~、 )、第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、第3層より不定形石器1類Gが1点(第 図 )、半円状扁平打製石器が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C・A D - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏を有する。



- [堆積土] 4層に分層した。第4層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第3層より第 群6類土器(第 図 )、第4～1層、覆土より第 群6類土器(第 図 )、第 群土器(第 図 、 )が出土している。
- 石器は、覆土より不定形石器1類Cが1点(第 図 )出土している。
- 土製品は、第4層より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 南側から北側へ若干の起伏を伴う傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] X・Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形である。開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器(第 図 )が出土している。
- 土製品は、覆土より土器片利用土製品が3点(第 図 )出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてオーバーハンクス、袋状を呈する。南側は一部やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 4層に分層した。第1、2層は、黒色～黒褐色土が堆積し、ローム、褐色土を中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第7、5～3、1層より第 群4類、6類土器(第 図、第 図、 ) 第 群土器(第 図、 )が出土している。

石器は、第7層より不定形石器3類が1点(図示していない)、覆土より石皿・台石1類が1点(第 図)出土している。

土製品は、第4層より土器片利用土製品が1点(第 図)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z・AA - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群 類土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z・AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 残存部は、外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。また起伏が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、角礫を微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図)、第 群土器(第 図)が出土し

ている。

石器は、覆土より敲磨器類2類Aが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z・AA - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。一部屈曲が見られる。

[底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第3層は、黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色〜褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、第4、3層より第 群6類土器(第 図 、 )、第4〜1層より第 群5類、6類、8類土器(第 図 、 第 図 ~ )、第 群土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、第2層より石鏃3類2が1点(第 図 )、第1層より不定形石器1類Eが1点(図示していない) 覆土より石鏃2類2が1点(第 図 )、大石平形石筈が1点(第 図 )、不定形石器2類が1点(図示していない)、4類が1点(図示していない)、敲磨器類4類Aが1点(図示していない)出土している。

土製品は、底面より土器片利用土製品が1点(第 図 )、第1層より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。

石製品は、第1層より円形岩版が1点(第 図 )、石冠が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。中央部および東壁側に底面ビットを有する。

[堆積土] 7層に分層した。第5、6層は、暗褐色土が堆積しローム、角礫を少量ないし微量含む。他は、暗褐色〜褐色土が堆積し、ローム、炭化物を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、第5、4、2、1層、覆土より第 群3類、6類、7類土器(第 図 、 第 図 、 、 )、第 群土器(第 図 、 、 、 )が出土している。

石器は、覆土より敲磨器類1類Aが1点(図示していない)出土している。

土製品は、第1層より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] X・Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。南西側に底面ピットを有する。

[堆積土] 4層に分層した。暗褐色～黄橙色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4層より第 群土器（第 図）が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] A C・A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

## 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群土器（第 図）が出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点（図示していない）出土している。

石製品は、覆土より円形岩版が1点（第 図）出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてややオーバーハンクス、袋状を呈する。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 7層に分層した。第1、4、6層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第7層より第 群6類土器(第 図 )、第5～3、1層、覆土より第 群4～6類、類土器(第 図、第 図 ～、 ～ )、第 群土器(第 図、 )が出土している。

石器は、第4層より敲磨器類1類Dが1点(図示していない)出土している。

土製品は、第4層よりミニチュア土器が1点(第 図 )、土器片利用土製品が1点(第 図 )、覆土より土器片利用土製品が2点(第 図、 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は、第 号土坑より新しく第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。第2層は、黒色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏を有するがほぼ平坦である。北西側に底面ビットを有する。

[堆積土] 3層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 号土坑A覆土において確認した。

[重複] 第 号土、第 号土坑Aと重複し、本遺構は第 号土より新しく、第 号土坑Aとの新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑A、第 号土坑B、第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑A、第 号土坑B、第 号土坑、第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第 群5a類土器(第 図 、 )、覆土より第 群土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、第1層より石匙2類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第1、2層は、暗褐色土が堆積し、角礫、炭化物を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より、第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑B、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群4類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第1号石棺墓と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 8層に分層した。暗褐色～暗赤褐色土が堆積し、暗褐色土は、炭化物を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5a類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 不明である。

[堆積土] 3層に分層した。黒色～褐色土が堆積し、黒色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmであ

る。

- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。西側開口部は外側へ湾曲する。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群 6 類土器(第 図 )が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 4層に分層した。黒色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第2層より第 群 6 類土器(第 図 )、第1層より第 群土器(第 図 )が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。



第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] A B - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形である。開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 中央部から東西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] A C・A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長形 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒色土が堆積し、ローム、炭化物を微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北東側から南西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 7 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 8 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第4層は、暗褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。他は、黒色〜黒褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。第2層は、黒褐色土が堆積し、角礫を微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図)、覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z・AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 残存部はオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 段差が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図)、第1層より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。第4、6層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、炭化物、円礫を多量ないし中量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、5、3層、覆土より第 群3類、8類土器(第 図、 ) 第 群土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。一部オーバーハングする。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北東側から南西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

- [底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。  
 [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。  
 [出土遺物] なし。  
 [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
 [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。  
 [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。  
 [壁] やや外側へ直線的に立ち上がり、中位で屈曲して外側へ緩やかに立ち上がる。  
 [底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。  
 [堆積土] 3層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を微量含む。自然堆積と思われる。  
 [出土遺物] 土器は、第3、2層、覆土より第 群4類、5類土器(第 図、 )、第 群土器(第 図、 )が出土している。  
 土製品は、第2層より土器片利用土製品が1点(第 図)出土している。  
 [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A B・A C - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。  
 [重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑、第 号土坑より古い。  
 [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さ cmである。  
 [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。  
 [底面] 起伏が見られる。  
 [堆積土] 黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。  
 [出土遺物] 土器は、第1層より第 群7、8類土器(第 図、 )が出土している。  
 石器は、第1層より敲磨器類1類Aが2点(図示していない)出土している。  
 [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
 [重複] なし。  
 [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは9cmである。  
 [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。  
 [底面] ほぼ平坦である。  
 [堆積土] 黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。  
 [出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層、覆土より第 群6類土器(第 図)、第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第2層は、黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4～1層より第 群4類、7類土器(第 図 、 ) 第 群土器(第 図 、 、 、 )が出土している。

石器は、第1層より不定形石器2類が1点(図示していない)、覆土より不定形石器1類Fが1点(図示していない)出土している。

土製品は、第1層より土器片利用土製品が1点(第 図 )、覆土より土器片利用土製品が2点(第 図 、 )出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - 、 に位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。南側の一部は直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。



#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 号土坑、第 号土坑覆土において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてオーバークラフ、袋状を呈する。
- [底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 4層に分層した。第1、2層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、黒色～暗赤褐色土が堆積し、黒色土は、角礫、炭化物を中量含む。ローム、人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類、7類土器(第 図 、 、 )、第 群土器(第 図 、 )が出土している。
- 石器は、覆土より不定形石器1類Dが2点(第 図 、 1点は図示していない)、4類が1点(図示していない)出土している。
- 土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。一部屈曲が見られる。
- [底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 7層に分層した。第1、2層は、黒褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群 類土器(第 図 )、第 群土器(第 図 )が出土している。
- 石器は、覆土より刮磨器類4類Cが1点(第 図 )出土している。
- 石製品は、覆土より線刻礫が1点(第 図 )出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がり、中位で屈曲し外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。黒色～暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AB - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。南側に底面ピットを有する。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 東西側は外側へ緩やかに立ち上がる。南北側はやや内側へ若干オーバーハングして立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。第2層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群6類土器(第 図)、第 群土器(第 図、 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁]やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面]西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土]暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 6 cm、深さは cmである。

[壁]外側へ直線的に立ち上がる。

[底面]ほぼ平坦である。

[堆積土]暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]Y - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]外側へ直線的に立ち上がる。

[底面]北東側から南西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土]黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]Y - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 9 cm、深さは cmである。

[壁]外側へ直線的に立ち上がる。

[底面]ほぼ平坦である。

[堆積土]暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑より新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。北東側開口部付近は段差が見られる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

第2層は、黒褐色土が堆積し、ローム、炭化物を微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[ 位置・確認層 ] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] なし。

[ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] なし。

[ 時期 ] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[ 位置・確認層 ] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[ 壁 ] 外側へ緩やかに立ち上がる

[ 底面 ] 南西側から北東側へ傾斜を有する。

[ 堆積土 ] 2層に分層した。黒色-黒褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[ 位置・確認層 ] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[ 重複 ] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[ 平面形・規模 ] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[ 壁 ] 外側へ直線的に立ち上がる。

[ 底面 ] ほぼ平坦である。

[ 堆積土 ] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[ 出土遺物 ] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[ 時期 ] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。東側は開口部付近で屈曲し、外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

第2層は、黒色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは9cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。西側は開口部付近で屈曲し、段差が見られる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。黒色～黒褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群 5 a類土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より石筈2類が1点(第 図 )、不定形石器1類Eが1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。北側は開口部付近で屈曲し、外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。第2層は、黒色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。  
[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。  
[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。  
[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。  
[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。  
[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。  
[底面] ほぼ平坦である。  
[堆積土] 黒色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。  
[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。  
[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは 8 cmである。  
[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。  
[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。  
[堆積土] 2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。  
第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。  
[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。  
[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmであ



る。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。南北側は開口部付近で屈曲し、段差を有する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北東側から南西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北東側から南西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。北側は開口部付近で屈曲し、段差を有する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。南西側は開口部付近で屈曲し、外側へ緩やかに立ち上がり、段差が見られる。

[底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。黒色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。南側は開口部付近で屈曲し、段差が見られる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 3層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北西側から南東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z・AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 不明である。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑A、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑A、第 号土坑より古く、第 号土坑、第 号土坑との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 起伏が見られる。
- [堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、覆土より第 群4類土器(第 図 )が出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Y・Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑Aと重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。中央部東側に底面ピットを有する。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面]ほぼ平坦である。

[堆積土]不明である。

[出土遺物]土器は、覆土より第 群 5 a 類土器(第 図)、覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期]出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁]外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面]南東側から北西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土]2層に分層した。暗褐色〜褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。また、覆土上部には、第 a 層が堆積する。

[出土遺物]なし。

[時期]遺構確認層より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模]平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁]残存部は外側へ直線的に立ち上がる。

[底面]東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土]暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]Y - グリッドにおいて確認した。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]外側へ直線的に立ち上がる。

[底面]西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土]黒色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]全体として外側へ直線的に立ち上がる。南側はやや外側へ屈曲し、立ち上がる。

[底面]ほぼ平坦である。

[堆積土]暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]全体として外側へ直線的に立ち上がる。北側は中位で屈曲し、外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面]南側から北側へ傾斜が見られる。

[堆積土]暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層]Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面]ほぼ平坦である。

[堆積土]黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物]なし。

[時期]不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕やや外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕南側から北側へ傾斜が見られる。

〔堆積土〕暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕やや外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕南側から北側へ若干の傾斜が見られる。

〔堆積土〕暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕やや外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕ほぼ平坦である。

〔堆積土〕2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

第2層は、暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕やや外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕ほぼ平坦である。

〔堆積土〕褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。  
[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は9 cm 7 cm、深さは cmである。  
[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。  
[底面] ほぼ平坦である。  
[堆積土] 2層に分層した。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。第2層は、黒色土が堆積する。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。  
[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。  
[底面] ほぼ平坦である。  
[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。  
[出土遺物] 石器は、覆土より半円状扁平打製石器が1点(第 図 )出土している。  
[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。  
[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。  
[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。  
[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。  
[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。



- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] AB - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 8 cm、深さは cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がり、中位で屈曲し外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群土器(第 図)が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。北側は開口部付近で屈曲し、外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 層、第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北西側から南東側へ傾斜が見られる。中央部に底面ピットを有する。

[堆積土] 9層に分層した。第3、5、6、9層は、暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より敲磨類器4類Bが1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] U・V - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 南側から北側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 黒色土が堆積する。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] V・W - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

石器は、第1層より不定形石器1類Aが1点(図示していない)、4類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] T - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは7cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] X - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。

[底面] 南側から中央部へ傾斜が見られる。中央部北側に底面ビットを有する。

[堆積土] 6層に分層した。第1、2、4層は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、ローム、炭化物を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5a類土器(第 図 )、覆土より第 群6類土器(第 図 )、第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点(図示していない)、剥離のある礫が1点(図示していない)出土している。

土製品は、覆土より土器片利用土製品が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 9cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上る。西側は中位で屈曲し、段差が見られる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] A A - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

- [ 底面 ] 西側から東側へ傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [ 位置・確認層 ] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [ 位置・確認層 ] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [ 壁 ] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [ 底面 ] 西側から南側へ若干の傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [ 位置・確認層 ] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [ 重複 ] なし。
- [ 平面形・規模 ] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径6 cm、深さは cmである。
- [ 壁 ] 全体としてやや北側へ起伏を伴い立ち上がる。
- [ 底面 ] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。
- [ 堆積土 ] 2層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積する。第1層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。第2層は、黒褐色土が堆積しロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [ 出土遺物 ] なし。
- [ 時期 ] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

- [ 位置・確認層 ] AA - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径9 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z・AA - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径7 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として西側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側が落ち込む段差が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。



第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 7cm、深さは cmである。

〔壁〕やや外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕ほぼ平坦である。

〔堆積土〕黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

〔壁〕やや外側へ直線的に立ち上がる。南西側は中位で屈曲し、外側へ緩やかに立ち上がる。

〔底面〕ほぼ平坦である。

〔堆積土〕2層に分層した。黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕外側へ直線的に立ち上がる。

〔底面〕ほぼ平坦である。

〔堆積土〕黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕なし。

〔時期〕不明である。

第 号土坑（第 図）

〔位置・確認層〕Y・Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

〔重複〕なし。

〔平面形・規模〕平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

〔壁〕全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

〔底面〕ほぼ平坦である。

〔堆積土〕層に分層した。第1、3、5、6、8層は、黒色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。

自然堆積と思われる。他は、黒褐色～黄褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群5 a類土器(第 図 )、第2層より第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、第2層より不定形石器1類Aが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Q - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 北側から南側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 6層に分層した。第2、5層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6、3、1層より第 群3類土器(第 図 、 、 )、第6、4、1層、覆土より第 群4類、5類、7類、類土器(第 図 ～ 、 、 )、第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より敲磨器類2類Cが1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm 9 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ丸みを帯びた若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。  
[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。  
[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。  
[堆積土] 黒色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。  
[出土遺物] なし。  
[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] R - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] なし。  
[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。  
[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。  
[底面] 北側から南側へ傾斜が見られる。また、起伏が見られる。  
[堆積土] 4層に分層した。第1、3層は、黒褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。  
第2、4層は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] 土器は、第3～1層より第 群3類、6類土器(第 図 ～ )が出土している。  
石器は、第4層より不定形石器3類が1点(図示していない)、第2層より不定形石器3類が1点(図示していない)出土している。  
[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] P・Q - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。  
[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。  
[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。  
[壁] 残存部は、やや外側へ直線的に立ち上がる。  
[底面] ほぼ平坦である。  
[堆積土] 2層に分層した。暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。  
[出土遺物] 土器は、第2、1層より第 群5 a類、5 b類、6類土器(第 図 ～ )が出土している。  
石器は、第2層より不定形石器1類Aが1点(図示していない)、不定形石器1類Dが1点(第 図)、敲磨器類4類Bが1点(第 図)、覆土より不定形石器3類が2点(図示していない)出

土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] R - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 7層に分層した。第6層は、黒褐色土が堆積し、ロームを微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、ローム、角礫を多量ないし中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第6～2層より第 群5 a類、6類土器(第 図 ～ )が出土している。

石器は、第5層より不定形石器3類が1点(図示していない)、覆土より不定形石器4類が1点(図示していない)、敲磨器類2類Bが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] P - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。第6層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、黒色～暗褐色土が堆積し、角礫、炭化物を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第7、6、4～2層より第 群6類土器(第 、 図 ～ )が出土している。

石器は、第6層より敲磨器類2類Aが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] S - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。若干の屈曲が見られる。

[底面] 若干の起伏が見られるがほぼ平坦である。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群5 a類、6類土器(第 図 、 )が出土している。

石器は、第1層より石匙1類が1点(第 図 )、覆土より石匙1類が1点(第 図 )、敲磨器類1類Cが2点(第 図 、 )、砥石が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Q・R - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群5a類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] P - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ屈曲して立ち上がる。

[底面] 北西側から南東側へ起伏を伴う傾斜が見られる。

[堆積土] 5層に分層した。第2、3層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を多量含む。人為堆積と思われる。他は、黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4層より第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、第1層より石錘1類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Q - に位置する。第 層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面]若干の起伏が見られるが、ほぼ平坦である。

[堆積土]4層に分層した。第2、4層は、黒褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第2、1層より第群6類土器(第図、第図)第2、1層、覆土より第群2類土器(第図)第群土器(第図、)が出土している。

石器は、第2層より石匙1類が1点(第図)不定形石器1類Aが2点(図示していない)、第1層より石鏃3類3が1点(第図)出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層]Q-グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複]第号土坑、第号土坑と重複し、本遺構とは新旧不明である。

[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面]若干の起伏が見られる。

[堆積土]暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第1層より第群3類、6類土器(第図、第図)第群8類土器(第図)が出土している。

石器は、第1層より敲磨器類1類Gが1点(第図)出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層]P・Q-、グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複]なし。

[平面形・規模]平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁]外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面]南西側から北東側へ若干の傾斜が見られる。北東側に底面ビットを有する。

[堆積土]4層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物]土器は、第2、1層より第群5a類土器(第図、)が出土している。

[時期]出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第号土坑(第図)

[位置・確認層]P・Q-、グリッドに位置する。第層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてやや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 4層に分層した。第1、3層は、褐色～明褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第2層より第 群6類土器(第 図、 )が出土している。

石器は、覆土より粘磨器類1類Aが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、黒色土が堆積し、ロームを少量含む。人為堆積と思われる。第2層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Q - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑、第 号土坑より新しく、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 若干の起伏が見られる。

[堆積土] 7層に分層した。第4、5層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。第5層は崩落土の可能性も考えられる。他は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より覆土より第 群6類土器(第 図 ) 第5、3、2層、覆土より第 群2b類、4類、5類、7類、8類土器(第 図 ~、~ ) 第 群土器(第 図、 ) が出土している。

石器は、覆土より不定形石器1類Aが1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Q- グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北東側から南西側へ傾斜が見られる。西側に底面ビットを有する。

[堆積土] 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Q- グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整形で、開口部は最長 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 黒褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3層より第 群土器(第 図 ) が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Q- グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 北側から南側へ若干の傾斜が見られる。



[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y・Z - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。屈曲して立ち上がる。

[底面] 不整形の段差を有する。中央部南西側に底面ビットを有する。

[堆積土] 層に分層した。第1、2、6、9～層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第、6、2、1層より第 群5 a類、6類土器(第 図 ～ )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Y・Z - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ屈曲して立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1、3層は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。第2層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] P・Q - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 全体としてオーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] ほぼ平坦である。

[堆積土] 4層に分層した。第2、3層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、暗褐色土は、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] P・Q - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] オーバーハングし、フラスコ状を呈する。
- [底面] 東側から西側へ若干の起伏を伴う傾斜が見られる。
- [堆積土] 9層に分層した。第1、2、6層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] R - 、 グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] なし。
- [平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] オーバーハングし、袋状を呈する。
- [底面] 若干の起伏が見られるがほぼ平坦である。
- [堆積土] 8層に分層した。第1、3、5、7層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～明褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第8、7、5～1層より第 群5 a類、6類土器(第 図 ～ )が出土している。
- 石製品は、覆土より軽石石製品が1点(第 図 )出土している。
- [時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

## 第 号土坑(第 図)

- [位置・確認層] Q・R - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。
- [平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 起伏が見られる。
- [堆積土] 3層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。他は、暗褐色土が堆積し、ロームを少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。
- 石器は、覆土より不定形石器3類が2点(図示していない)、敲磨器類2類Bが1点(図示していない)出土している。
- [時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代前期の土坑と思われる。

### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] Q - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より古く、第 号土坑との新旧関係は不明である。

[平面形・規模] 平面形は不整な円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。黒褐色～黄褐色土が堆積し、黒褐色土は、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の土坑と思われる。

### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] P・Q - 、グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不明で、開口部は最長 cm、底面は最長 cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ直線的に立ち上がる。東側は若干オーバーハングする。

[底面] 若干の起伏が見られるが、ほぼ平坦である。

[堆積土] 5層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群 5 a類土器（第 図）が出土している。

石器は、覆土より不定形石器3類が1点（図示していない）、敲磨器類4類Aが1点（図示していない）、5類が1点（第 図）出土している。

[時期] 出土遺物及び遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の土坑と思われる。

### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] Y - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ傾斜が見られる。また、段差が見られる。

[堆積土] 黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

### 第 号土坑（第 図）

[位置・確認層] R・S - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 東側から西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第2層は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色土は、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第3、2層より第 群6類土器(第 図、 )、覆土より第 群土器(第 図)が出土している。

石器は、覆土より不定形石器4類が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] R・S - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] オーバーハングし、袋状を呈する。

[底面] 南側から北側へ若干の傾斜が見られる。中央部に底面ビットを有する。

[堆積土] 3層に分層した。第3層は、暗褐色土が堆積する。自然堆積と思われる。他は、暗褐色～褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、底面、第2層、覆土より第 群5a類、6類土器(第 図、第 図、 )が出土している。

石器は、覆土より剥離のある礫が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Q - ・ グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 平面形は不整な楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cm である。

[壁] 外側へ直線的に立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 暗褐色土が堆積し、角礫を中量含む。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、敲磨器類4類Bが1点(第 図)出土している。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] Q - ・ グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 北東側から南西側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 2層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積し、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 石器は、第1層より挟入扁平磨製石器が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] P・Q - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ若干底曲して立ち上がる。

[底面] 西側から東側へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 4層に分層した。第1、4層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。他は、褐色～黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第4、3層、覆土より第 群3類、6類土器(第 図、第 図、 ) 第3層より第 群土器(第 図 )が出土している。

石器は、第3層より敲磨器類2類Bが1点(図示していない)、第1層より石匙1類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代後期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] P - . グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 全体として外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 外側から中央部へ若干の傾斜が見られる。

[堆積土] 3層に分層した。第1、2層は、黒褐色～暗褐色土が堆積し、ローム、角礫を少量ないし微量含む。自然堆積と思われる。第3層は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、覆土より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

石器は、覆土より敲磨器類1類Aが1点(第 図)、2類Bが1点(図示していない)、4類B(特殊磨石)が1点(図示していない)出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] S・T - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は楕円形で、開口部は cm cm、底面は cm cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

#### 第 号土坑(第 図)

[位置・確認層] S・T- グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 平面形は円形で、開口部は長径 cm、底面は長径 cm、深さは cmである。

[壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

[底面] 起伏が見られる。

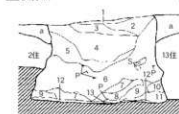
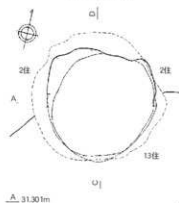
[堆積土] 褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] 土器は、第1層より第 群6類土器(第 図 )が出土している。

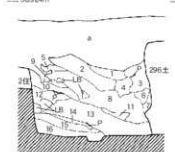
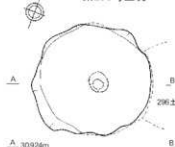
石器は、覆土より石匙1類が1点(第 図 )出土している。

[時期] 出土遺物より縄文時代前期の土坑と思われる。

第277号土坑

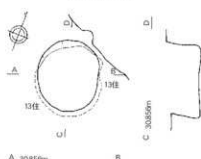


第295号土坑



- 第295号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒、炭化物多量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒、炭化物、角礫少量
  - 第3層 暗褐色土 (7.5YR3/4) 炭化物少量、□—ム粒少量
  - 第4層 暗褐色土 (10YR2/3) □—ム粒、炭化物、角礫少量
  - 第5層 暗褐色土 (10YR4/4) □—ム粒中量、P2又角礫
  - 第6層 暗褐色土 (10YR3/3) □—ム粒多量、暗褐色土 (7.5YR3/4) 少量
  - 第7層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒少量
  - 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒、炭化物中量、L.B.少量
  - 第9層 暗褐色土 (10YR2/3) □—ム粒中量、暗褐色土 (10YR4/4) 少量、炭化物少量
  - 第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒、炭化物中量、L.B.少量
  - 第11層 暗褐色土 (10YR2/3) □—ム粒、炭化物少量、L.B.少量
  - 第12層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒多量、炭化物中量、L.B.少量
  - 第13層 暗褐色土 (10YR2/3) □—ム粒、炭化物多量、L.B.少量
  - 第14層 赤褐色土 (5YR4/8) 暗褐色土 (7.5YR3/4)、L.B.多量、炭化物少量
  - 第15層 暗褐色土 (10YR2/3) □—ム粒中量、炭化物少量
  - 第16層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒中量、炭化物少量

第282号土坑

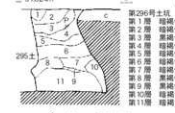
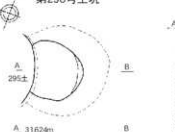


第304号土坑



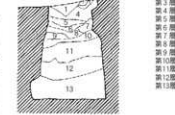
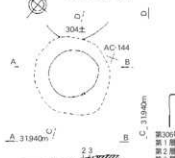
- 第304号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR4/3) L.B. □—ム粒少量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR4/6) 角礫多量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) □—ム粒、炭化物物量

第296号土坑



- 第296号土坑
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR3/2) L.B. □—ム粒、角礫少量、炭化物物量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒、炭化物物量
  - 第3層 暗褐色土 (7.5YR2/2) □—ム粒、炭化物物量
  - 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒多量、炭化物少量、角礫物量
  - 第5層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒、角礫少量
  - 第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒多量、炭化物、角礫物量
  - 第7層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒多量、L.B.少量
  - 第8層 暗褐色土 (7.5YR2/2) 暗褐色土 (7.5YR3/4)、L.B. □—ム粒少量
  - 第9層 暗褐色土 (7.5YR2/2) 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒少量
  - 第10層 暗褐色土 (7.5YR2/2) 暗褐色土 (7.5YR2/2) 多量、□—ム粒少量
  - 第11層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒多量、L.B.中量、炭化物少量

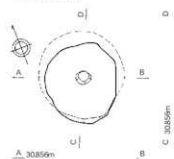
第306号土坑



- 第306号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR2/3) □—ム粒、角礫少量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR2/3) □—ム粒、角礫少量、炭化物物量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR2/3) □—ム粒、角礫少量
  - 第4層 暗褐色土 (10YR2/3) 暗褐色土 (7.5YR4/3) 中量、□—ム粒、角礫少量
  - 第5層 暗褐色土 (7.5YR2/2) □—ム粒少量
  - 第6層 暗褐色土 (7.5YR2/2) P2又少量
  - 第7層 暗褐色土 (7.5YR3/6) □—ム粒少量
  - 第8層 暗褐色土 (7.5YR3/2) □—ム粒少量
  - 第9層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒
  - 第10層 暗褐色土 (7.5YR3/4) □—ム粒
  - 第11層 暗褐色土 (7.5YR3/6) と暗褐色土 (7.5YR3/3) の混合、L.B.中量
  - 第12層 暗褐色土 (7.5YR3/6) □—ム粒
  - 第13層 暗褐色土 (7.5YR3/4) L.B.少量
  - 第14層 暗褐色土 (7.5YR3/6) と暗褐色土 (5YR5/6) の混合、□—ム粒、角礫多量
  - 第15層 暗褐色土 (7.5YR4/3) L.B. □—ム粒少量
  - 第16層 暗褐色土 (7.5YR3/2) 角礫多量、L.B.中量、□—ム粒、炭化物物量

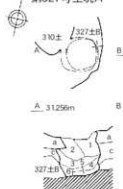
第91図 土坑 (1) (277土・282土・295土・296土・304土・306土)

第318号土坑



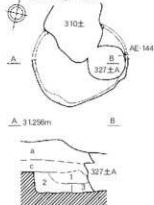
- 第318号土坑  
 第1層 褐色土 (75YR4/6) □-ム粒少量, 炭化物微量  
 第2層 褐色土 (75YR4/6) L.B.多量, 炭化物微量  
 第3層 褐色土 (75YR4/6) □-ム粒, 炭化物少量, 炭化物微量  
 第4層 暗褐色土 (75YR3/4) L.B.多量, □-ム粒少量, 炭化物, 角礫微量  
 第5層 褐色土 (75YR4/6) □-ム粒少量, 炭化物微量  
 第6層 暗褐色土 (75YR3/4) □-ム粒, 炭化物少量, 角礫微量  
 第7層 暗褐色土 (75YR3/4) □-ム粒, 炭化物少量  
 第8層 褐色土 (75YR4/6) L.B.多量, 角礫少量, □-ム粒微量  
 第9層 暗褐色土 (75YR3/4) □-ム粒, 炭化物, 角礫微量  
 第10層 褐色土 (75YR4/6) L.B.多量, □-ム粒, 炭化物少量, 角礫微量  
 第11層 暗褐色土 (75YR3/4) □-ム粒, 炭化物少量, 角礫微量  
 第12層 暗褐色土 (75YR2/2) □-ム粒少量

第327号土坑A



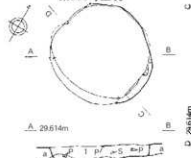
- 第327号土坑A  
 第1層 暗褐色土 (10YR2/4) □-ム粒, 角礫少量, P12ス, 炭化物微量  
 第2層 褐色土 (10YR4/6) □-ム粒, 角礫少量, P12ス, 炭化物微量  
 第3層 褐色土 (75YR4/6) L.B.少量, □-ム粒, 炭化物微量  
 第4層 暗褐色土 (75YR3/4) □-ム粒, 角礫少量, L.B., 炭化物微量  
 第5層 暗褐色土 (10YR2/4) □-ム粒, 角礫少量, 炭化物微量  
 第6層 褐色土 (75YR4/6) □-ム粒, 炭化物微量

第327号土坑B



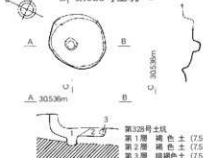
- 第327号土坑B  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒少量, P12ス, 炭化物微量  
 第2層 暗褐色土 (10YR2/3) □-ム粒少量, P12ス, 炭化物微量  
 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) 黒色土 (10YR2/1) 少量, □-ム粒微量

第330号土坑



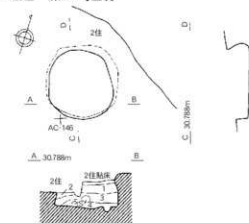
- 第330号土坑  
 第1層 暗褐色土 (75YR3/2) 炭化物多量, □-ム粒, 角礫少量  
 第2層 暗褐色土 (75YR2/3) □-ム粒少量, 角礫微量

第328号土坑



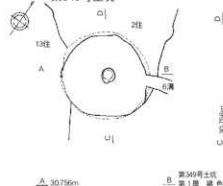
- 第328号土坑  
 第1層 褐色土 (75YR4/4) □-ム粒, 炭化物少量, 角礫微量  
 第2層 褐色土 (75YR4/3) □-ム粒少量, 炭化物, 角礫微量  
 第3層 暗褐色土 (75YR3/3) 黒色土 (10YR2/1) 少量, □-ム粒微量

第451号土坑



- 第451号土坑  
 第1層 褐色土 (75YR4/4) □-ム粒多量, 炭化物少量, 角礫微量  
 第2層 暗褐色土 (75YR3/4) □-ム粒, 角礫中量  
 第3層 褐色土 (75YR2/1) □-ム粒中量, 暗褐色土 (75YR3/4), 炭化物少量, 角礫微量  
 第4層 褐色土 (75YR4/4) □-ム粒, 角礫多量, 炭化物少量

第349号土坑

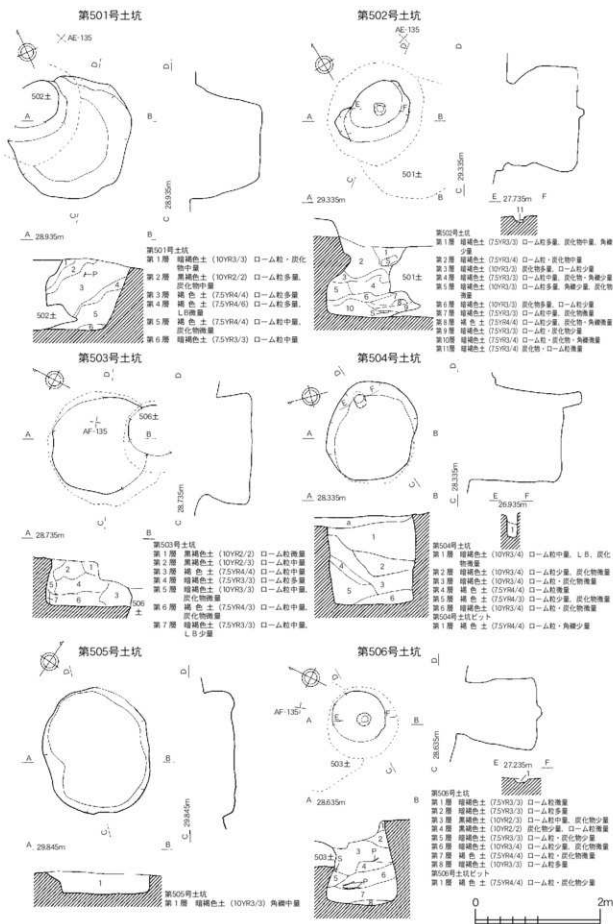


- 第349号土坑  
 第1層 褐色土 (75YR4/6) □-ム粒少量, 炭化物, 角礫微量  
 第2層 褐色土 (75YR4/4) □-ム粒, 炭化物微量  
 第3層 暗褐色土 (75YR3/4) □-ム粒少量, 炭化物, 角礫微量  
 第4層 褐色土 (75YR4/4) 角礫少量, □-ム粒, 炭化物微量  
 第5層 褐色土 (75YR4/4) □-ム粒, 炭化物, 角礫, 汚穢物微量  
 第6層 暗褐色土 (75YR3/4) □-ム粒, 炭化物微量  
 第7層 褐色土 (75YR4/4) 炭化物, 汚穢物微量  
 第8層 暗褐色土 (75YR3/3) □-ム粒, 炭化物微量  
 第9層 暗褐色土 (75YR3/4) □-ム粒少量, L.B., 炭化物, 角礫微量  
 第10層 褐色土 (75YR4/4) □-ム粒, 炭化物, 角礫微量  
 第11層 褐色土 (75YR4/4) □-ム粒少量, 炭化物微量  
 第12層 暗褐色土 (75YR3/4) □-ム粒少量, 炭化物, 角礫微量  
 第13層 褐色土 (75YR4/6) □-ム粒少量, 炭化物微量

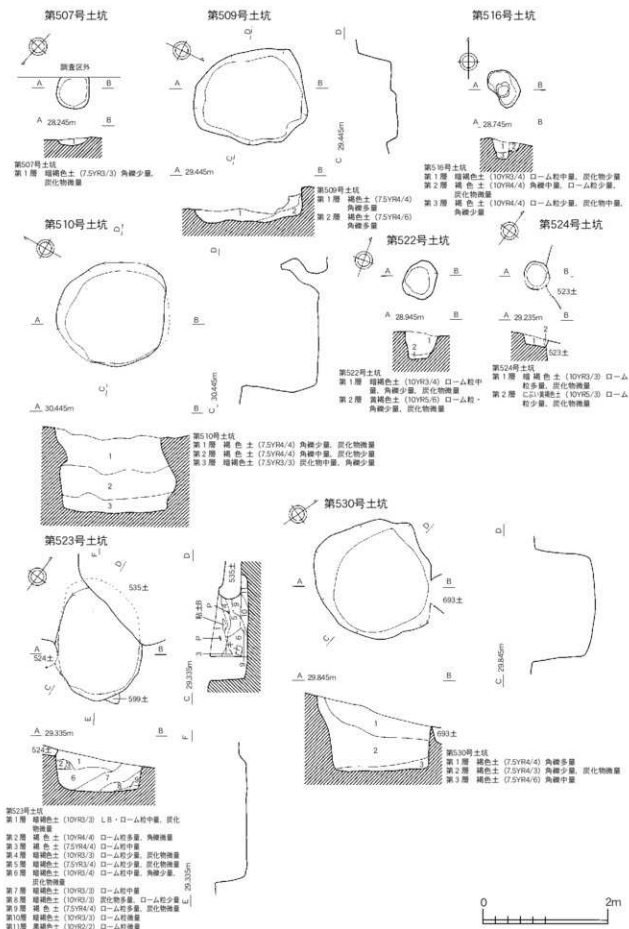
第92図 土坑 (2) (318土・327土A・327土B・328土・330土・349土・451土)





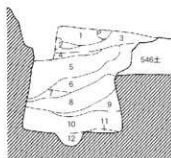
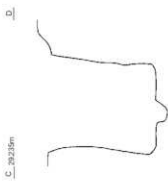
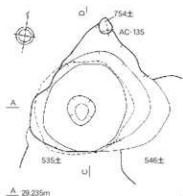


第93図 土坑 (3) (501~506土)



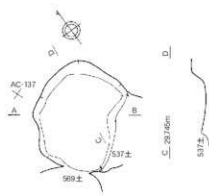
第94図 土坑 (4) (507土・509土・510土・516土・522~524土・530土)

第534号土坑



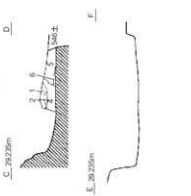
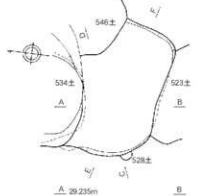
- 第534号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) □—△粒中量, 炭化物少量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR4/4) □—△粒多量, 炭化物微量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) □—△粒少量
  - 第4層 C-51暗褐色土 (7.5YR5/4) 角礫中量, □—△粒少量
  - 第5層 暗褐色土 (7.5YR4/6) □—△粒多量, 角礫中量
  - 第6層 暗褐色土 (7.5YR4/4) □—△粒少量, 炭化物, 角礫微量
  - 第7層 暗褐色土 (10YR2/2) □—△粒少量
  - 第8層 暗褐色土 (7.5YR4/4) 角礫少量, □—△粒微量
  - 第9層 黄褐色土 (10YR2/1) □—△粒中量, 炭化物微量
  - 第10層 暗褐色土 (10YR3/4) □—△粒微量
  - 第11層 暗褐色土 (10YR2/2) □—△粒中量, 炭化物微量
  - 第12層 暗褐色土 (7.5YR4/4) □—△粒中量

第536号土坑



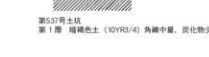
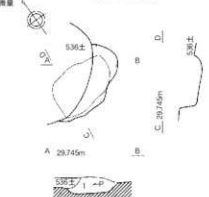
- 第536号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫微量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR4/6) 角礫中量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR2/2) 角礫少量, 炭化物微量

第535号土坑



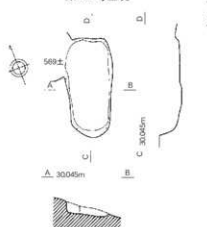
- 第535号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) □—△粒中量, 炭化物, 角礫微量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR4/4) □—△粒多量, 炭化物微量
  - 第3層 暗褐色土 (7.5YR4/4) □—△粒中量, 炭化物微量
  - 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) □—△粒少量
  - 第5層 暗褐色土 (7.5YR4/4) □—△粒多量
  - 第6層 暗褐色土 (10YR3/3) □—△粒, 炭化物微量

第537号土坑



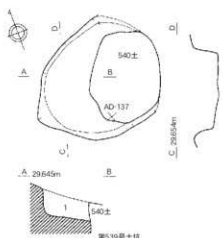
- 第537号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫中量, 炭化物少量

第538号土坑

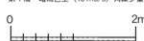


- 第538号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫多量, 炭化物微量

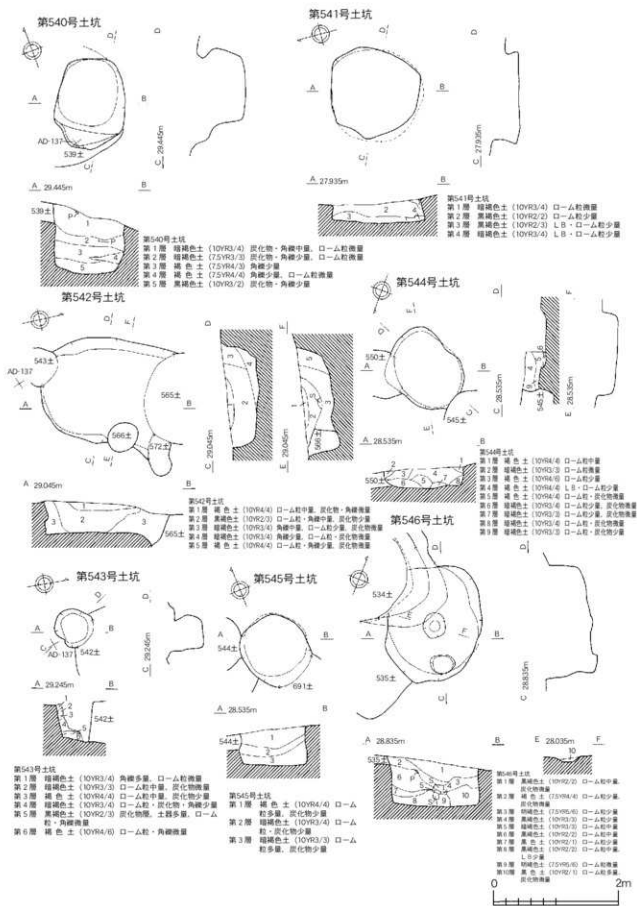
第539号土坑



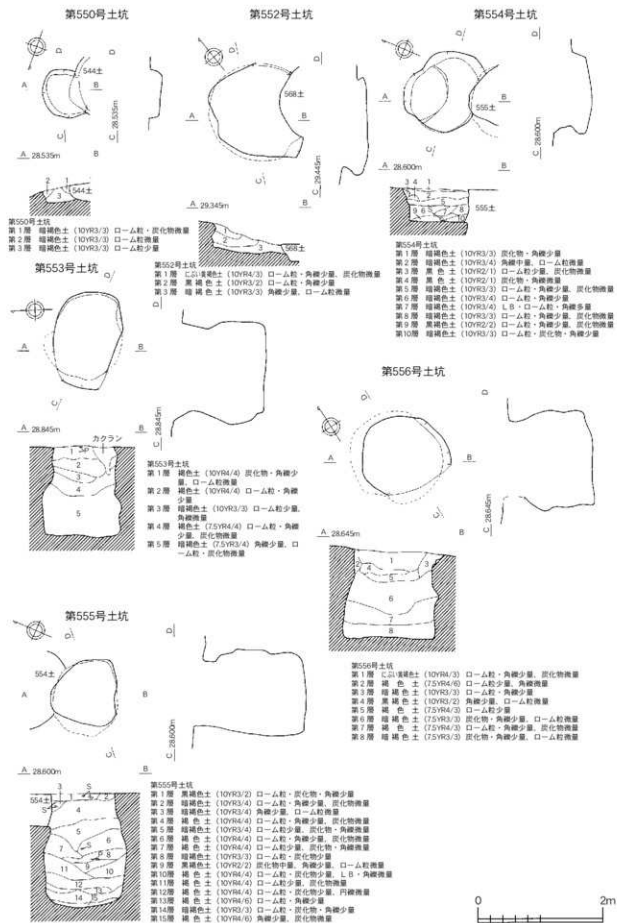
- 第539号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫少量



第95図 土坑 (5) (534~539土)

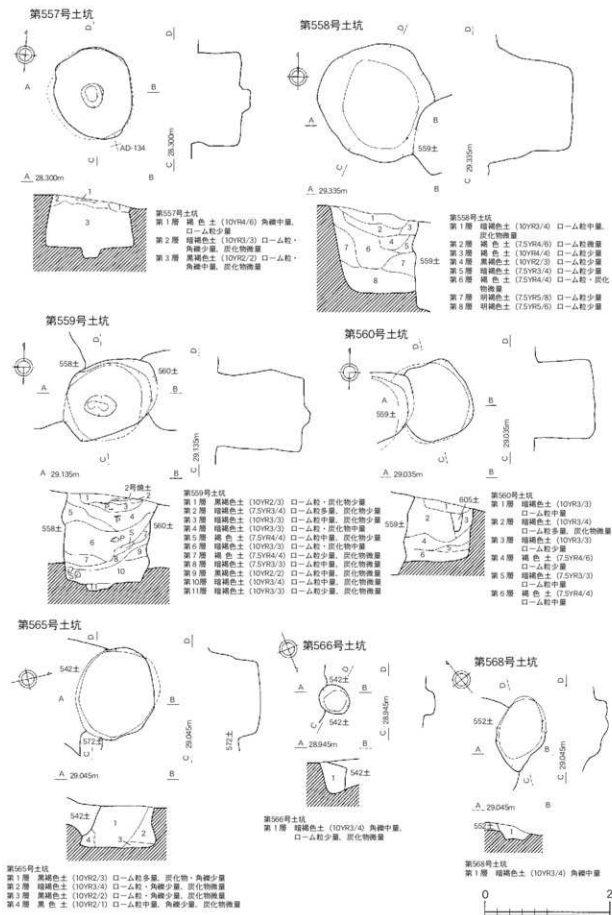


第96図 土坑 (6) (540~546土)



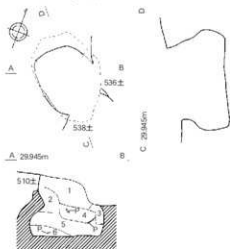
第97図 土坑 (7) (550土・552土～556土)





第98図 土坑 (8) (557~560土・565土・566土・568土)

第569号土坑



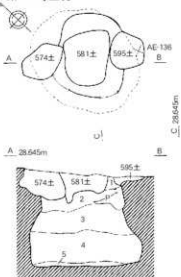
- 第569号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物、角礫少量、口—ム粒微量  
 第2層 褐色土 (10YR4/4) 角礫多量  
 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫少量  
 第4層 暗褐色土 (7.5YR3/3) 口—ム、角礫多量  
 第5層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫多量、炭化物微量  
 第6層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫少量

第572号土坑



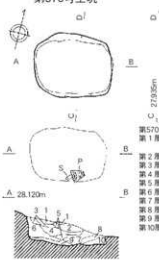
- 第572号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫少量、口—ム粒微量

第575号土坑



- 第575号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫微量  
 第2層 口—ム暗褐色土 (10YR4/3) 口—ム粒、角礫微量  
 第3層 口—ム暗褐色土 (10YR4/3) 角礫微量  
 第4層 褐色土 (7.5YR4/4) 炭化物、角礫少量  
 第5層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫少量

第570号土坑



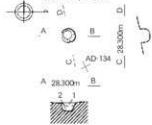
- 第570号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭褐色土 (10YR2/2) 中量、口—ム粒、角礫少量、炭化物微量  
 第2層 褐色土 (10YR4/4) 口—ム粒、角礫中量  
 第3層 褐色土 (10YR4/4) 口—ム粒少量  
 第4層 暗褐色土 (10YR3/3) 口—ム粒少量、円礫微量  
 第5層 暗褐色土 (10YR3/3) L B - 口—ム粒少量  
 第6層 暗褐色土 (10YR3/2) 口—ム粒少量  
 第7層 暗褐色土 (10YR3/3) 口—ム粒、角礫少量  
 第8層 暗褐色土 (10YR3/3) 口—ム粒少量  
 第9層 暗褐色土 (10YR3/3) 口—ム粒少量  
 第10層 褐色土 (10YR4/4) 口—ム粒少量

第574号土坑



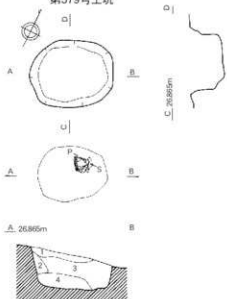
- 第574号土坑  
 第1層 暗褐色土 (7.5YR4/3) 口—ム粒、炭化物、角礫少量  
 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) 口—ム粒、角礫少量

第578号土坑



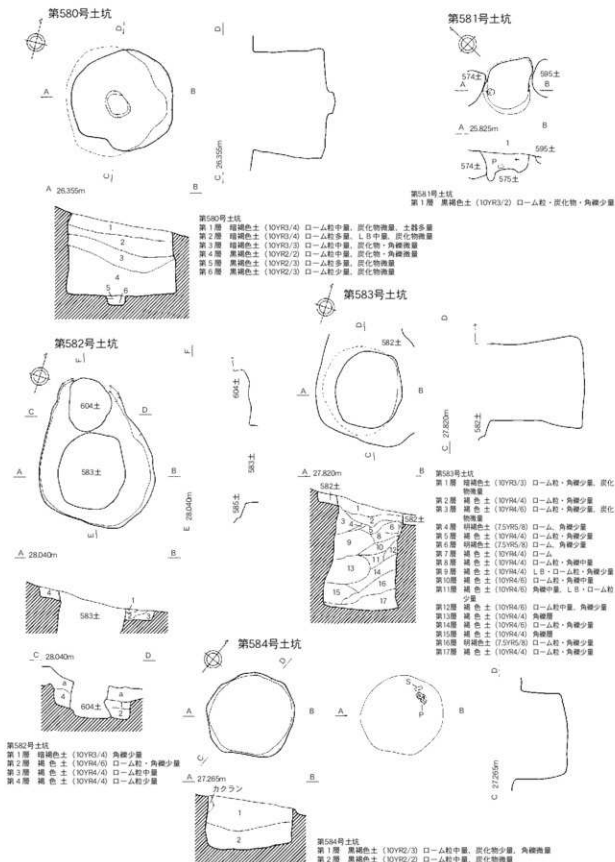
- 第578号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 口—ム粒、炭化物、角礫少量  
 第2層 暗褐色土 (10YR3/2) 口—ム粒、炭化物、角礫少量

第579号土坑



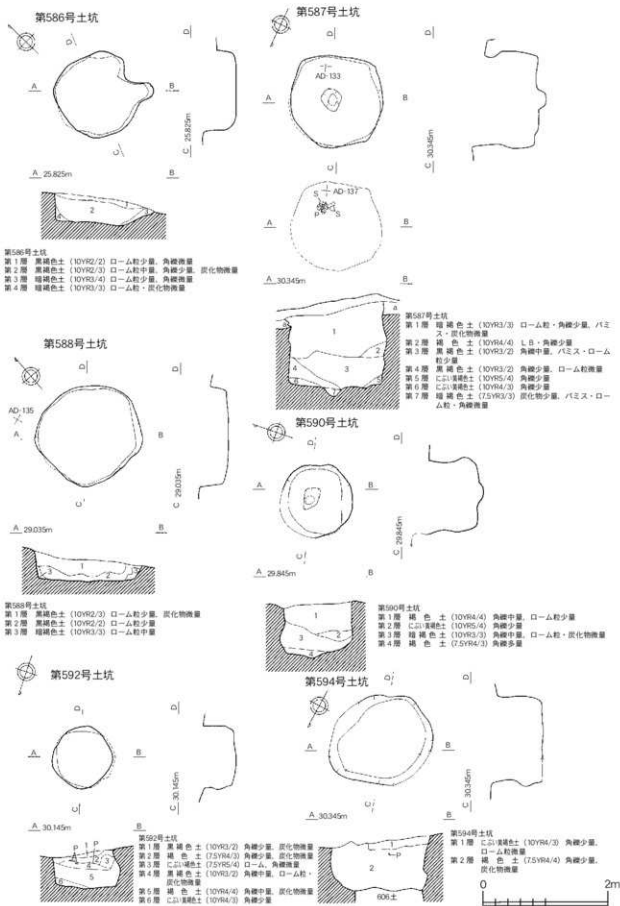
- 第579号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR2/2) 口—ム粒少量、炭化物微量  
 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) 口—ム粒中量、炭化物微量  
 第3層 暗褐色土 (10YR2/3) L B - 口—ム粒中量、炭化物微量  
 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) L B - 口—ム粒少量、土器多量



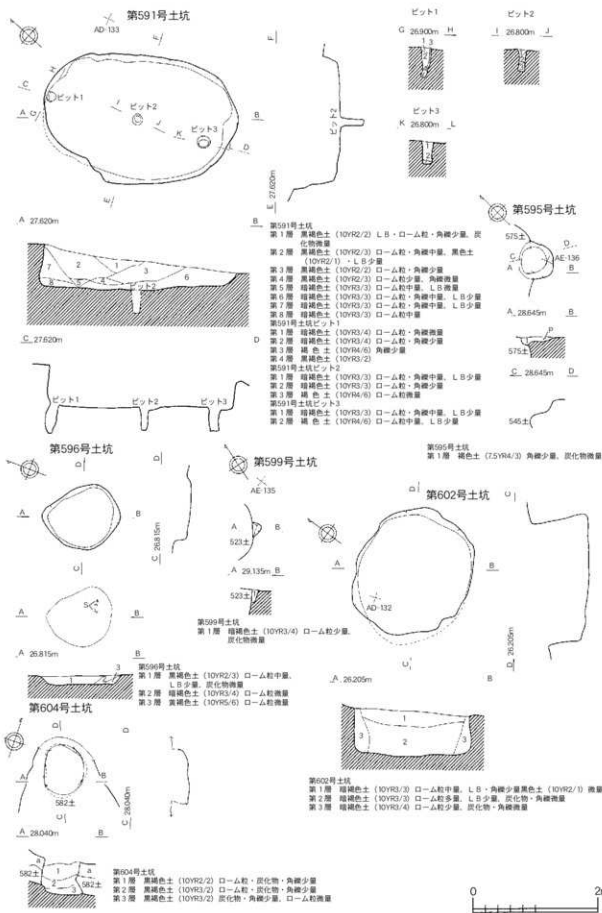


第100図 土坑 (10) (580~584土)

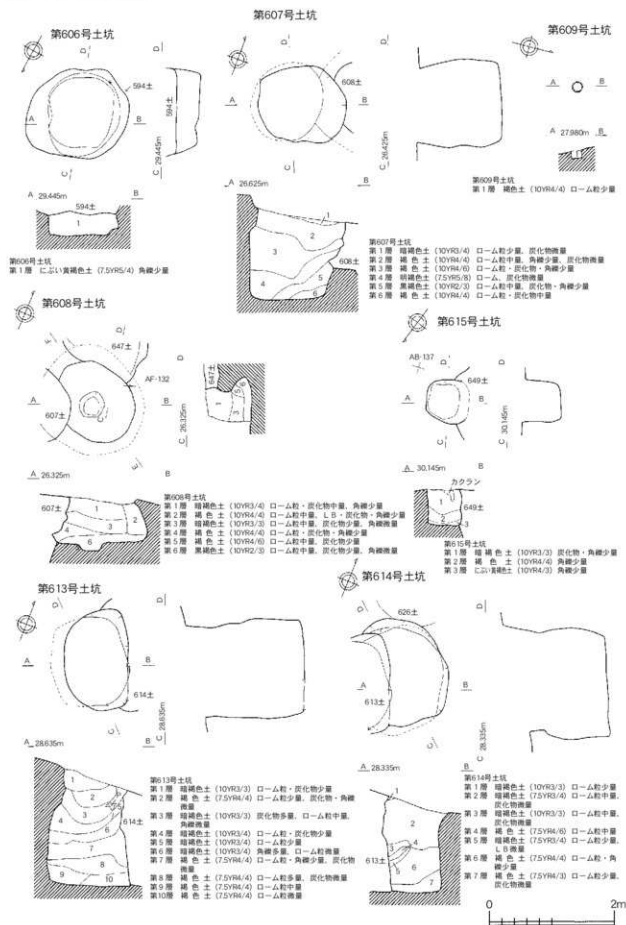




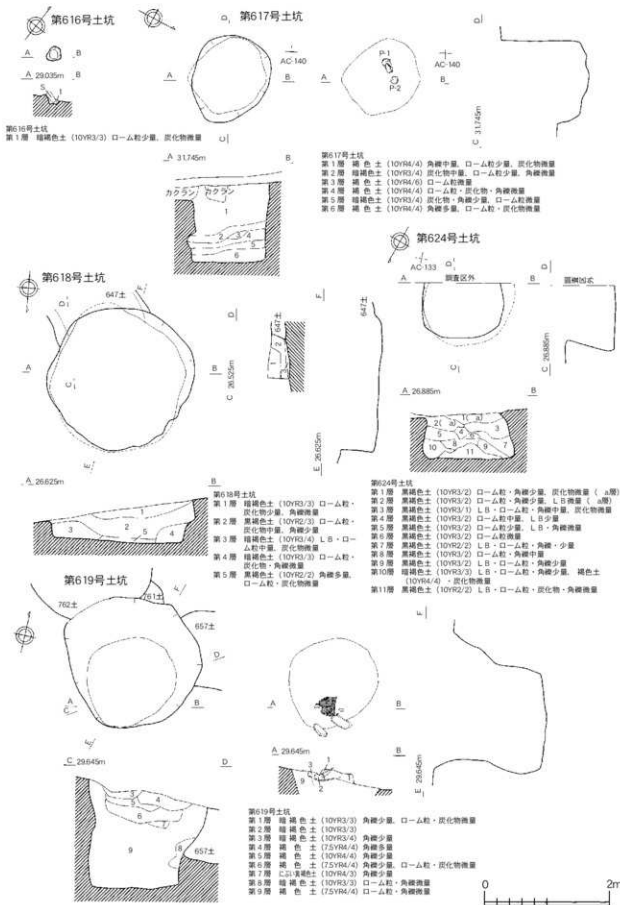
第101図 土坑 (11) (586~588土・590土・592土・594土)



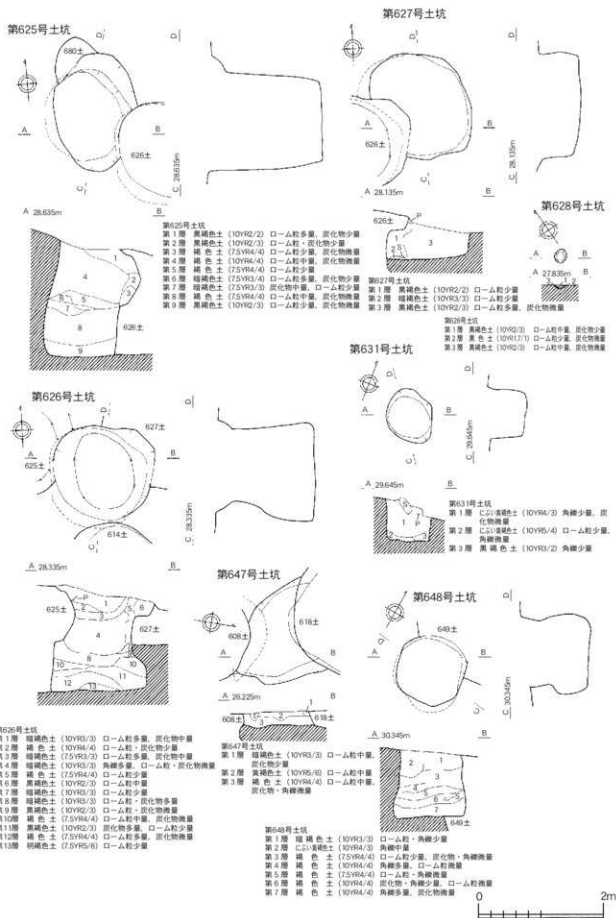
第102図 土坑 (12) (591土・595土・596土・599土・602土・604土)



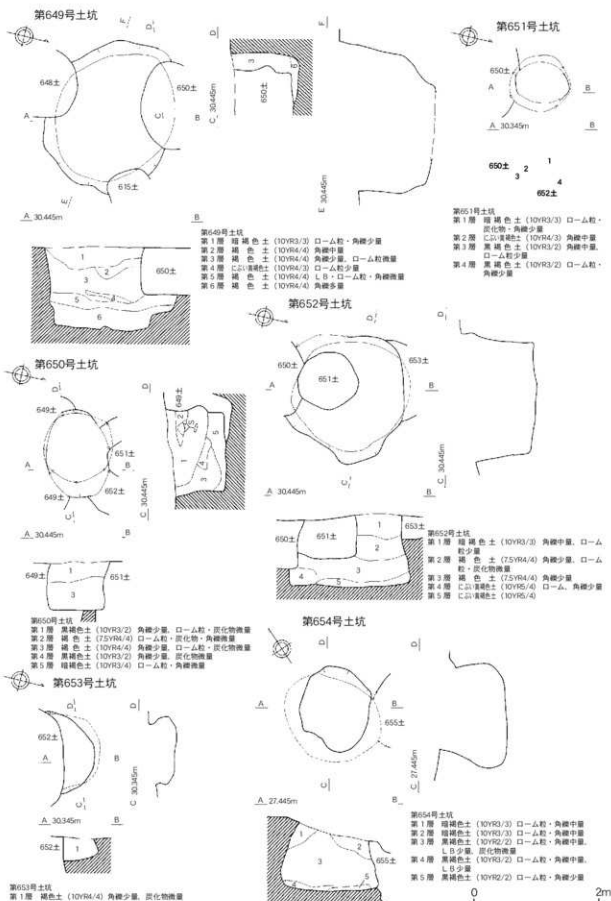
第103図 土坑 (13) (606~609土・613~615土)



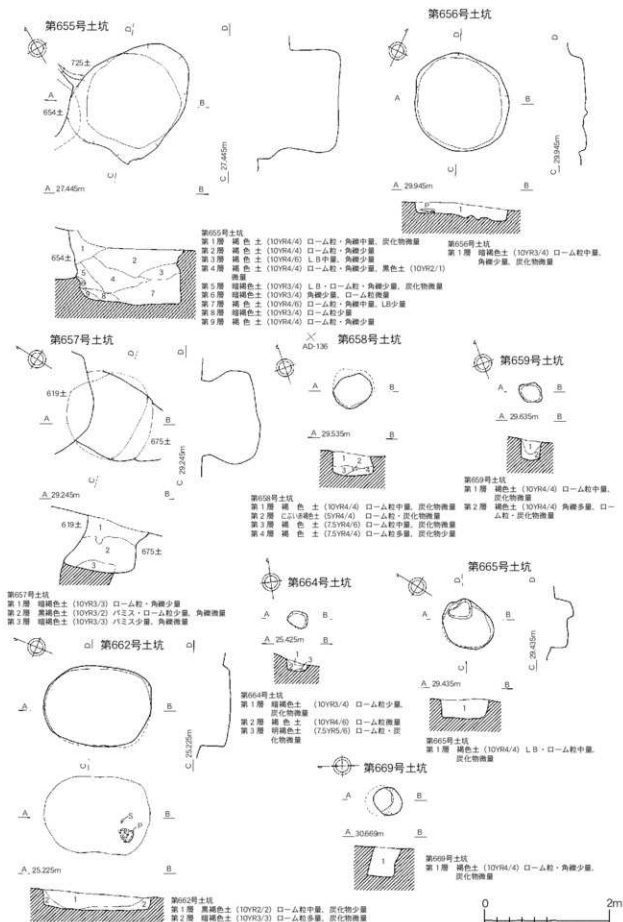
第104図 土坑 (14) (616~619土・624土)



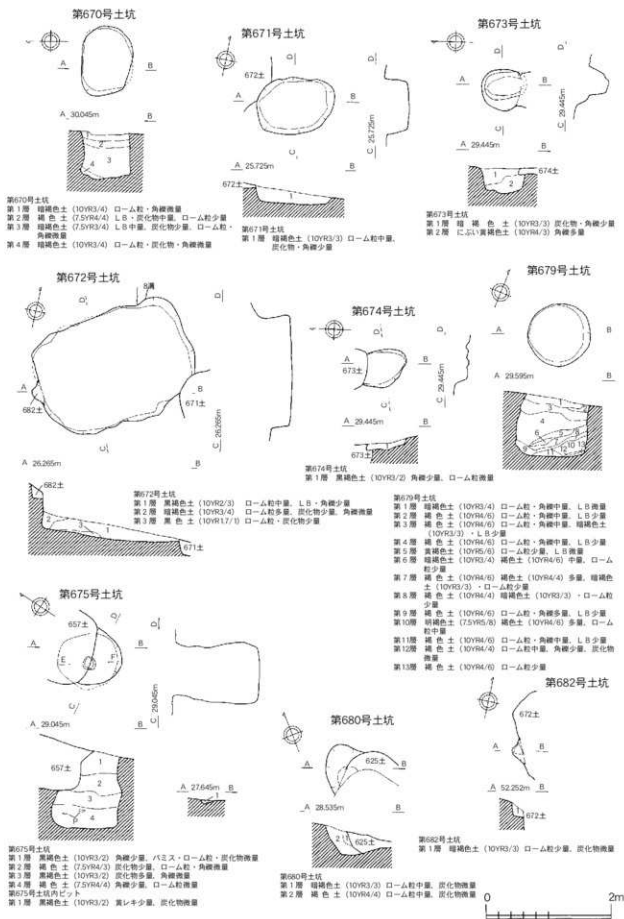
第105図 土坑 (15) (625~628土・631土・647土・648土)



第106圖 土坑 (16) (649~654土)

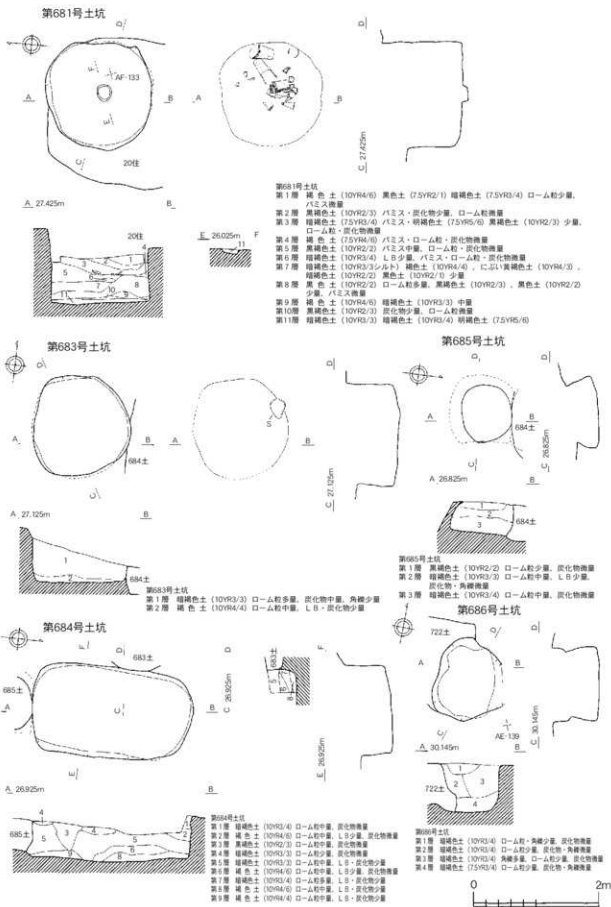


第107図 土坑 (17) (655~659土・662土・664土・665土・669土)

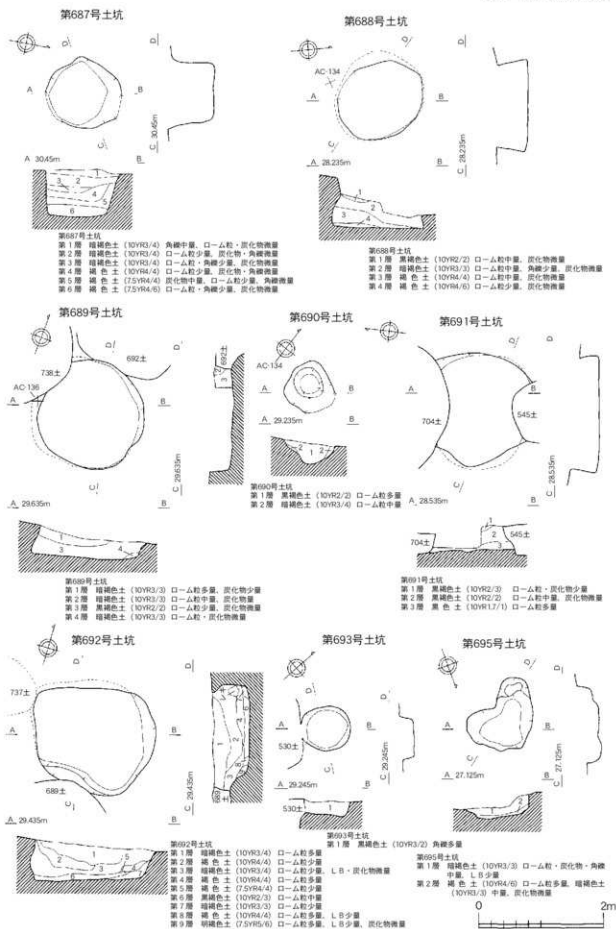


第108図 土坑 (18) (670~675土・679土・680土・682土)

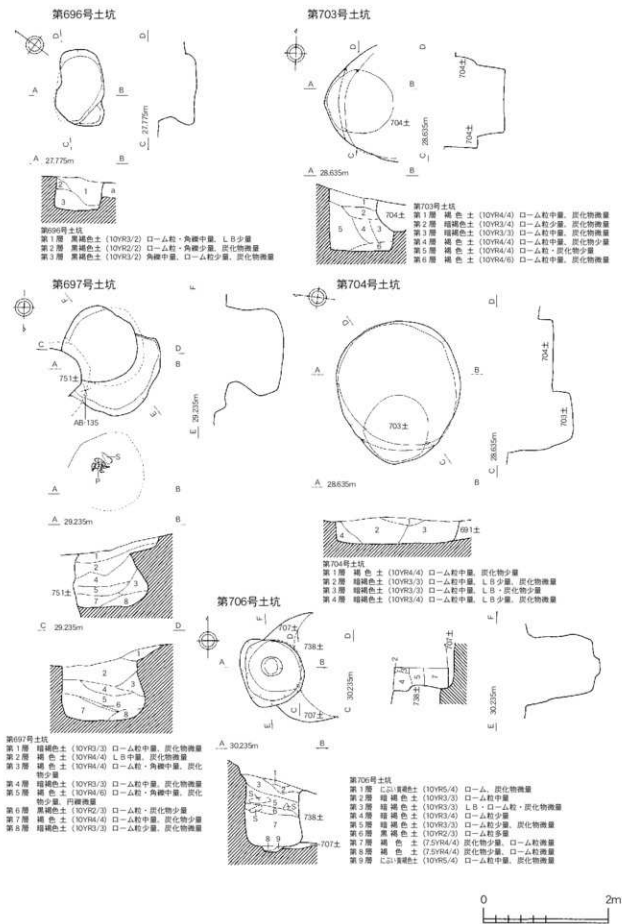




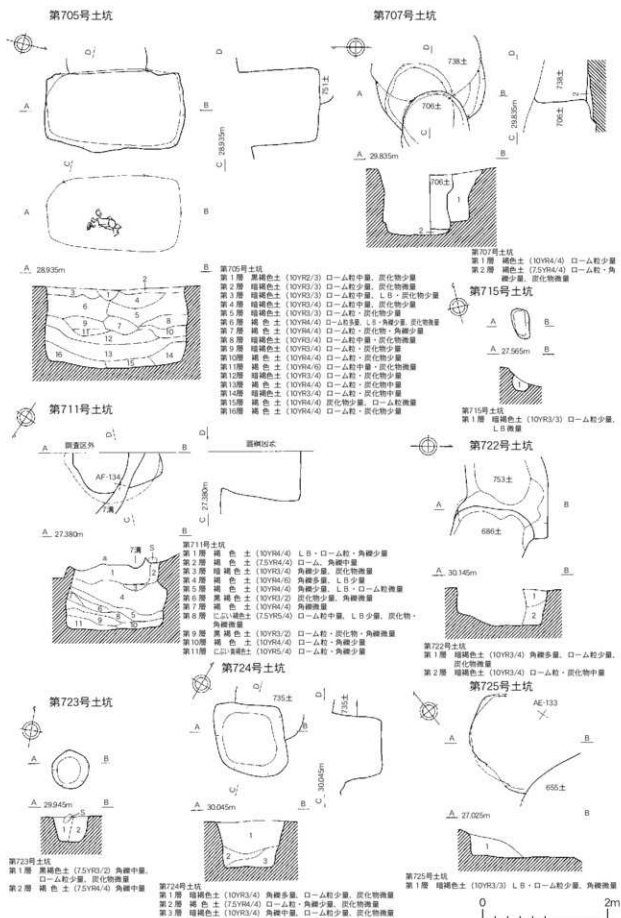
第109図 土坑 (19) (681土・683~686土)



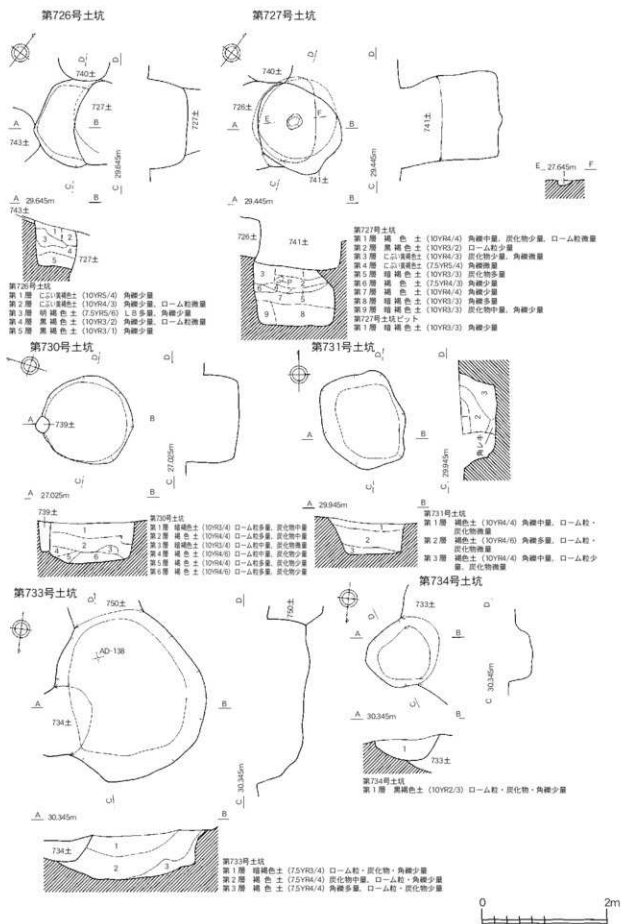
第110図 土坑 (20) (687~695土・695土)



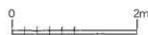
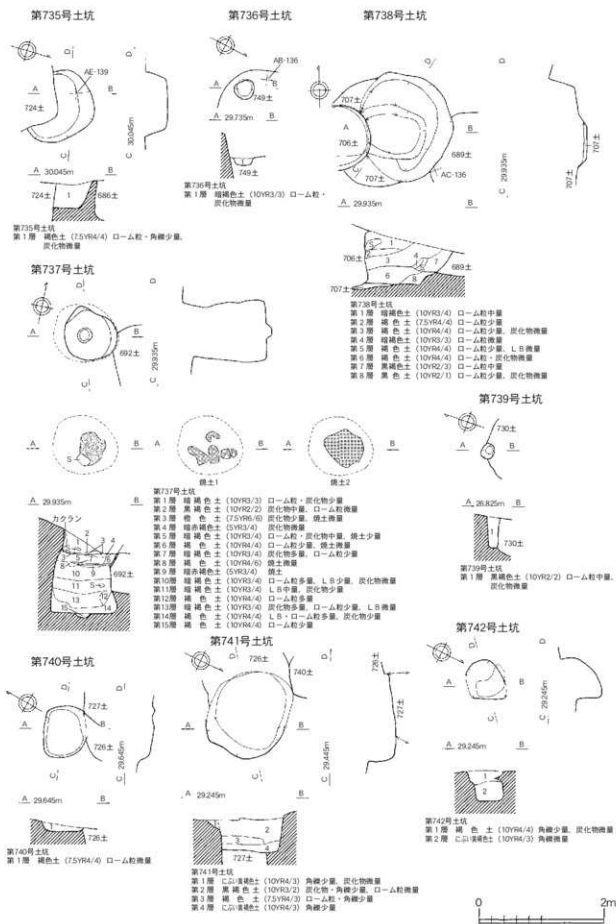
第111圖 土坑 (21) (696土・697土・703土・704土・706土)



第112図 土坑 (22) (705土・707土・711土・715土・722~725土)



第113図 土坑 (23) (726±・727±・730±・731±・733±・734±)



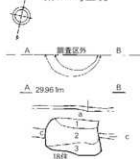
第114図 土坑 (24) (735~742土)

第743号土坑



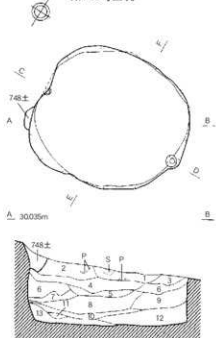
第743号土坑  
第1層 暗褐色土 (7.5YR5/2) 角礫少量

第747号土坑



第747号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒、炭化物少量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒多量、炭化物、角礫中量  
第3層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒多量、炭化物、角礫少量

第749号土坑



第749号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒、炭化物少量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒多量、炭化物、角礫中量  
第3層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒多量、炭化物、角礫少量

第744号土坑



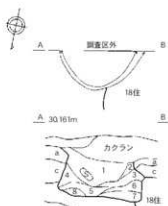
第744号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫中量、L B・ローム粒、炭化物少量

第748号土坑



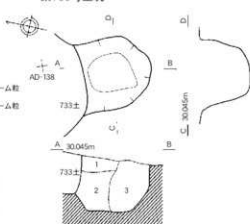
第748号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量、炭化物微量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒少量、炭化物微量  
第3層 褐色土 (10YR4/6)

第746号土坑



第746号土坑  
第1層 黒褐色土 (7.5YR2/2) ローム粒多量、角礫・土器中量、暗褐色土 (7.5YR3/4)、炭化物少量  
第2層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量、黒褐色土 (7.5YR2/2) 少量、炭化物微量  
第3層 褐色土 (7.5YR4/6) ローム粒多量、炭化物微量  
第4層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、黒褐色土 (7.5YR2/2) 少量  
第5層 褐色土 (7.5YR4/6) ローム粒少量、炭化物微量  
第6層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒中量、褐色土 (7.5YR4/6) 少量、炭化物微量  
第7層 暗褐色土 (7.5YR3/3) ローム粒中量、褐色土 (7.5YR4/6) 少量  
第8層 暗褐色土 (7.5YR3/4) ローム粒微量

第750号土坑



第750号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒、角礫少量、炭化物微量  
第2層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量、炭化物、角礫微量  
第3層 暗褐色土 (10YR4/4) 角礫多量、ローム粒、炭化物微量

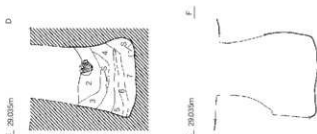
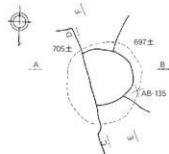
第745号土坑

第745号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量、炭化物微量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/2) ローム粒少量、炭化物微量  
第3層 暗褐色土 (10YR2/2) ローム粒少量、炭化物微量  
第4層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒多量  
第5層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒中量、L B少量  
第6層 暗褐色土 (10YR3/2) ローム粒中量  
第7層 暗褐色土 (10YR3/4) ローム粒少量  
第8層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒多量、角礫少量、炭化物微量  
第9層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒多量、角礫中量  
第10層 暗褐色土 (10YR3/3) ローム粒、炭化物少量  
第11層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒多量  
第12層 褐色土 (10YR4/4) ローム粒多量、炭化物微量  
第13層 C土層土 (10YR5/4) ローム粒少量、L B微量  
第14層 暗褐色土内ピット1  
第1層 褐色土 (10YR4/6) ローム粒多量  
第15層 暗褐色土内ピット2  
第1層 暗褐色土 (10YR4/6) ローム粒多量、角礫少量

第115図 土坑 (25) (743土・744土・746～750土)

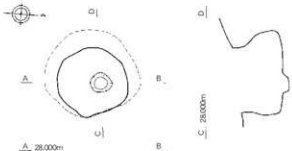
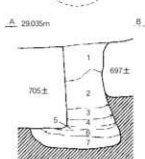


第751号土坑



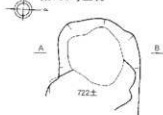
- 第751号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 土器多量、口-△粒中量、炭化物・角礫少量  
 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物中量、口-△粒、角礫微量  
 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) 土器・炭化物多量、口-△粒、角礫少量  
 第4層 褐色土 (10YR4/4) 口-△粒中量、炭化物・角礫少量  
 第5層 暗褐色土 (10YR3/3) 土器・炭化物多量、口-△粒少量、角礫微量  
 第6層 褐色土 (10YR4/4) 炭化物中量、口-△粒少量  
 第7層 暗褐色土 (10YR3/4) 口-△粒、角礫中量、炭化物少量

第755号土坑

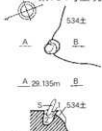


- 第755号土坑  
 第1層 黄褐色土 (10YR2/2) 口-△粒少量  
 第2層 黄褐色土 (10YR2/3) 口-△粒多量、L B少量、炭化物微量  
 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) 口-△粒、炭化物少量  
 第4層 黄褐色土 (10YR2/2) 口-△粒多量、L B少量、炭化物微量  
 第5層 黄褐色土 (10YR2/3) 口-△粒少量、L B微量  
 第6層 黄褐色土 (10YR2/2) 炭化物中量、黄色土 (10YR2/1)、口-△粒少量  
 第7層 黄色土 (10YR2/1) 口-△粒多量

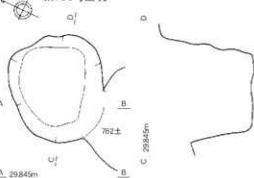
第753号土坑



第754号土坑



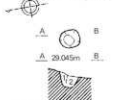
第760号土坑



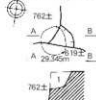
- 第754号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 口-△粒少量、炭化物微量  
 第2層 暗褐色土 (10YR3/3) 口-△粒少量、炭化物微量

- 第753号土坑の土質  
 第1層 暗赤褐色土 (5YR3/4) 礫土層、口-△粒多量、炭化物中量  
 第2層 褐色土 (7.5YR4/4) 口-△粒、炭化物・角礫微量

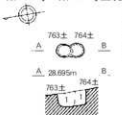
第756号土坑



第761号土坑



第763号・第764号土坑



- 第760号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫中量  
 第2層 C.I.黄褐色土 (10YR5/4) 角礫中量  
 第3層 褐色土 (10YR4/4) 角礫多量  
 第4層 褐色土 (10YR4/4) 炭化物  
 第5層 C.I.黄褐色土 (10YR4/3) 角礫少量、口-△粒微量

- 第756号土坑  
 第1層 C.I.暗褐色土 (7.5YR5/4) 角礫少量  
 第2層 褐色土 (10YR4/4) 角礫少量、口-△粒微量

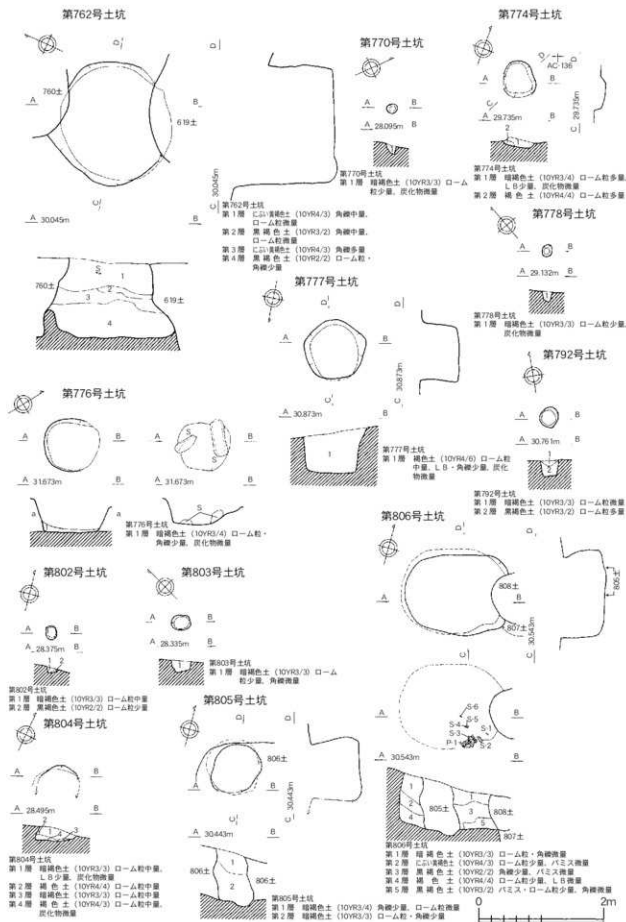
- 第761号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR4/4) 角礫少量

- 第763号土坑  
 第1層 黄褐色土 (10YR2/3) 口-△粒少量、L B微量  
 第764号土坑  
 第1層 黄褐色土 (10YR3/3) 口-△粒少量、L B微量

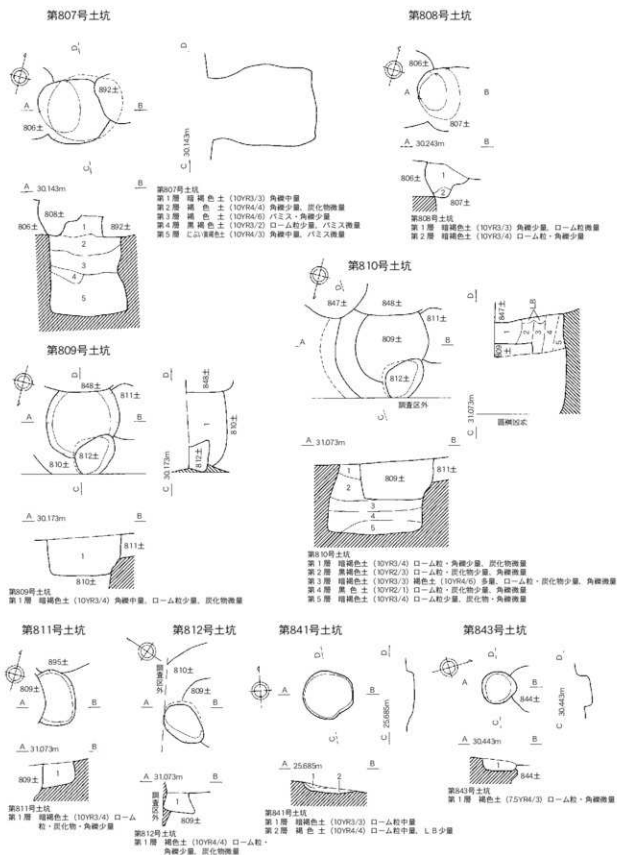


第116図 土坑 (26) (751土・753~756土・760土・761土・763土・764土)





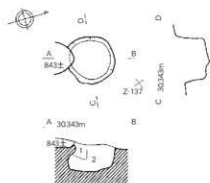
第117図 土坑 (27) (762土・770土・774土・776~778土・792土・806土~809土)



第118図 土坑 (28) (807~812土・841土・843土)



第844号土坑



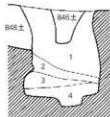
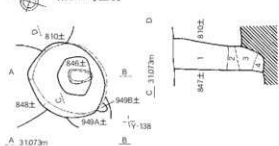
第844号土坑  
第1層 暗褐色土 (75YR5/6) □-△粒・角礫少量  
第2層 C(赤褐色土) (10YR4/3) 角礫少量、□-△粒微量

第846号土坑



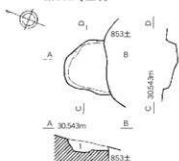
第846号土坑  
第1層 黒褐色土 (10YR2/3) □-△粒・角礫少量、炭化物微量

第847号土坑



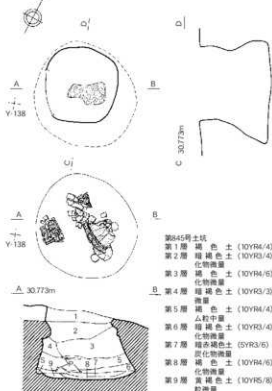
第847号土坑  
第1層 褐色土 (10YR6/4) 角礫中量、L B・□-△粒少量、炭化物微量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/4) 褐色土 (10YR4/6)・炭化物・角礫中量、□-△粒少量  
第3層 黒褐色土 (10YR2/3) □-△粒少量、炭化物・角礫微量  
第4層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒中量、角礫少量、炭化物微量

第852号土坑



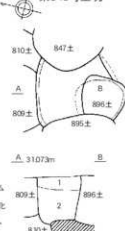
第852号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) □-△粒少量

第845号土坑



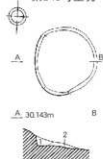
第845号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒中量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒少量、炭化物微量  
第3層 褐色土 (10YR4/6) □-△粒少量、炭化物微量  
第4層 暗褐色土 (10YR3/2) □-△粒・炭化物微量  
第5層 褐色土 (10YR4/4) 炭化物多量、□-△粒中量  
第6層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒少量、炭化物微量  
第7層 暗赤褐色土 (5YR3/6) L B・□-△粒・炭化物微量  
第8層 褐色土 (10YR4/6) □-△粒少量、炭化物微量  
第9層 黄褐色土 (10YR5/6) L B少量、□-△粒微量

第848号土坑



第848号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/6) □-△粒少量、炭化物・角礫微量  
第2層 褐色土 (10YR4/6) □-△粒・角礫少量、炭化物微量

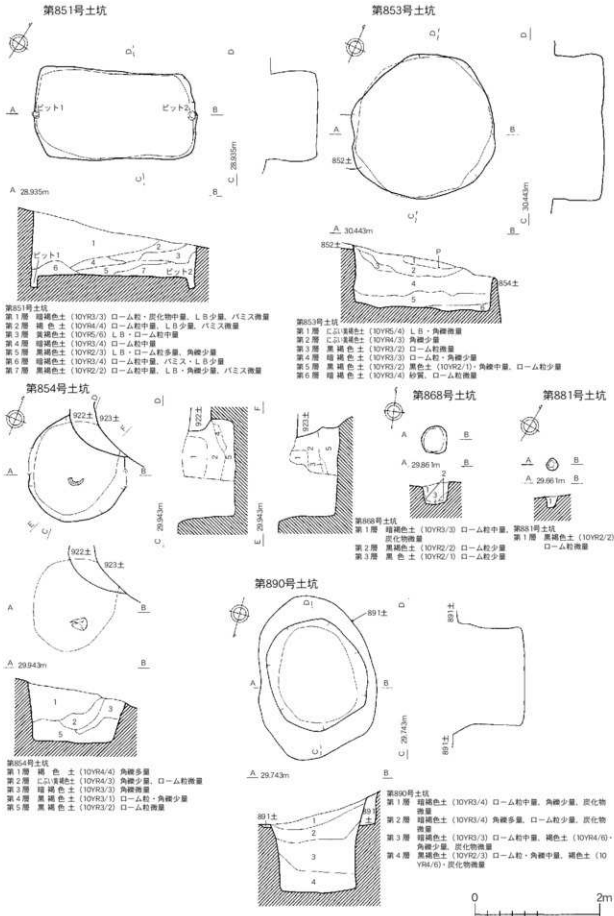
第849号土坑



第849号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫微量  
第2層 黒褐色土 (10YR2/2) 角礫少量

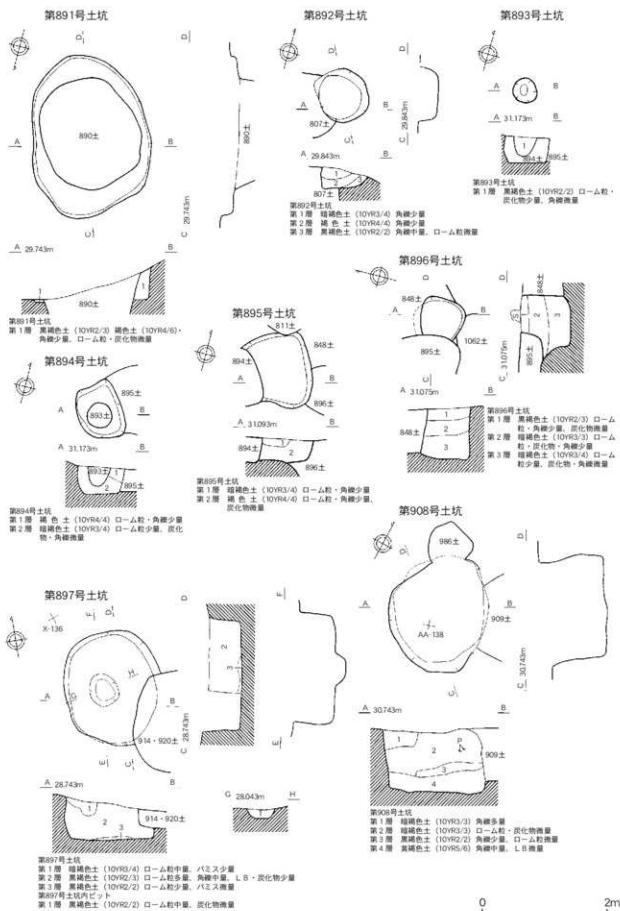


第119図 土坑 (29) (844~849土・852土)

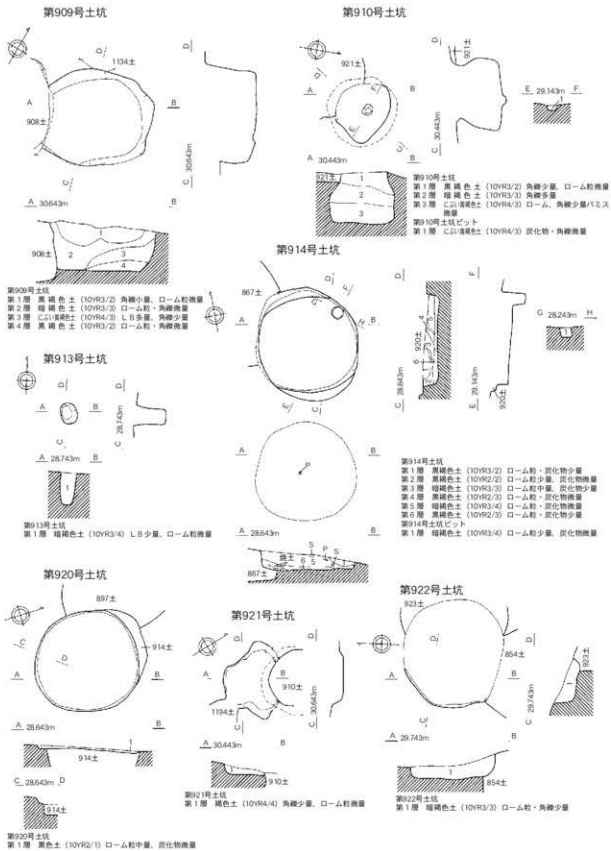


第120図 土坑 (30) (851±・853±・854±・868±・881±・890±)

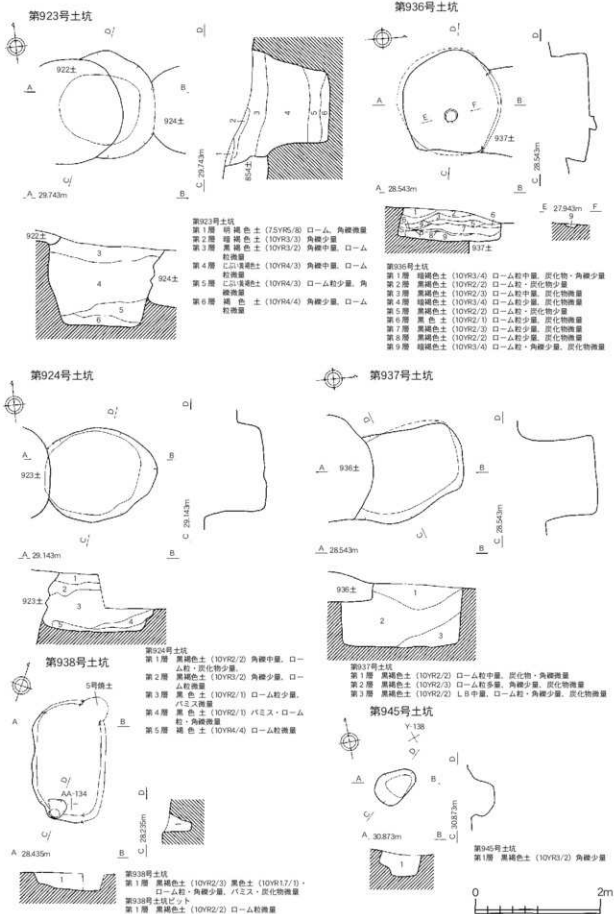
第6編 平成 年度発掘調査成果

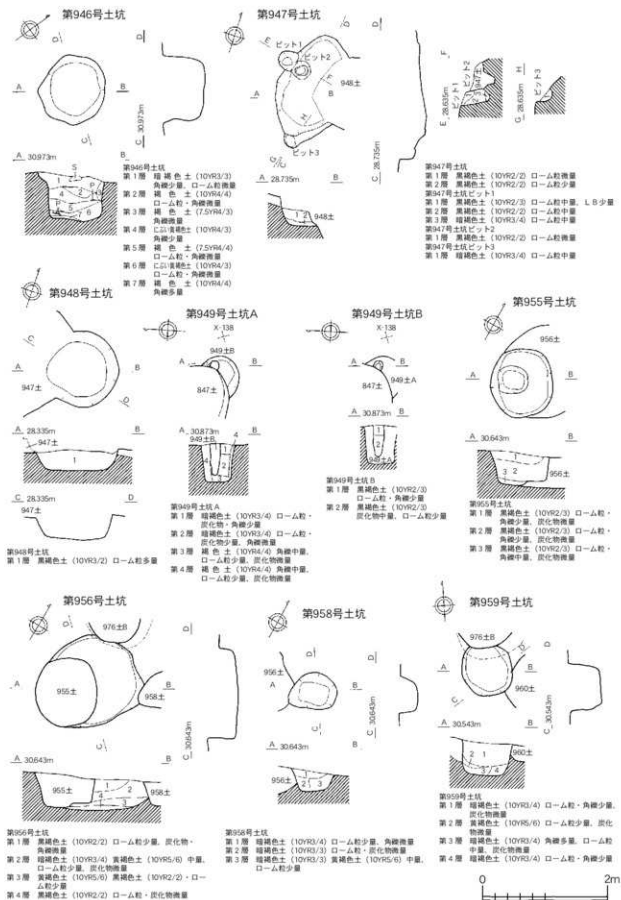


第121図 土坑 (31) (891~897土・908土)



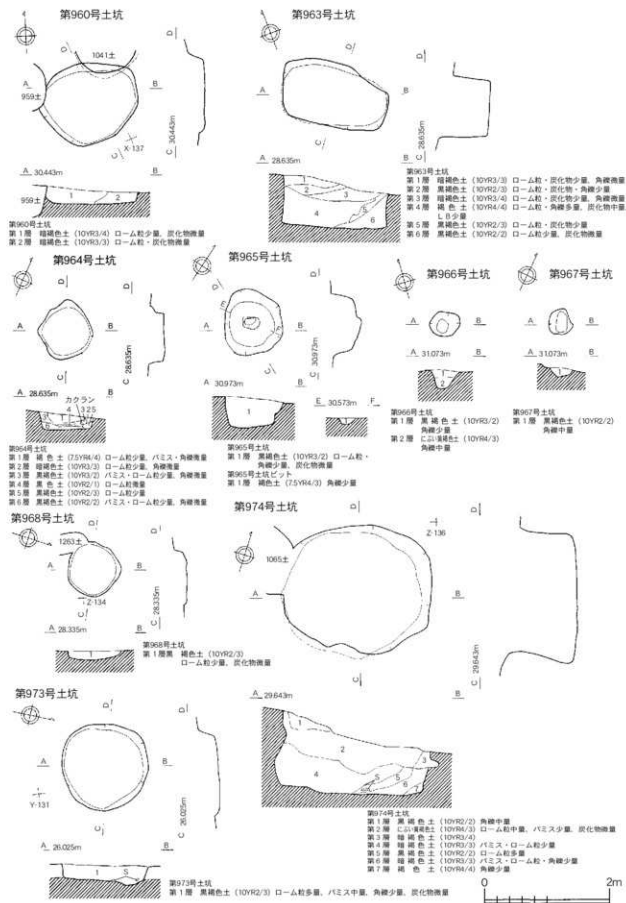
第122図 土坑 (32) (909±・910±・913±・914±・920～922±)





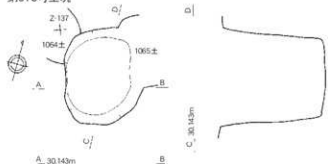
第124図 土坑 (34) (946~948土・949土A・949土B・955土・956土・958土・959土)





第125図 土坑 (35) (960土・963~968土・973土・974土)

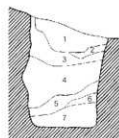
第975号土坑



A. 30.143m

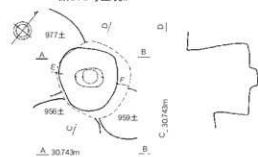
B

C. 30.143m



- 第975号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫中量、ロ-ム粒少量  
 第2層 褐色土 (10YR4/4) 角礫少量  
 第3層 土壌褐色土 (10YR4/3) 灰化物、角礫少量、パズス、ロ-ム粒少量  
 第4層 暗褐色土 (7.5YR4/3) 灰化物、角礫少量、パズス、角礫少量  
 第5層 暗褐色土 (10YR3/2) ロ-ム粒少量、パズス、角礫少量  
 第6層 土壌褐色土 (10YR3/4) 角礫少量、ロ-ム粒、灰化物少量  
 第7層 暗褐色土 (10YR4/4) パズス、ロ-ム粒、角礫少量

第976号土坑B



A. 30.743m

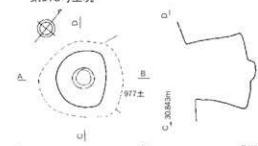
B

C. 30.743m



- 第976号土坑B  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ロ-ム粒中量、灰化物、角礫少量  
 第2層 暗褐色土 (10YR2/3) ロ-ム粒中量、灰化物少量、角礫少量  
 第3層 褐色土 (7.5YR4/4)  
 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) 黄褐色土 (10YR5/6) ロ-ム粒中量、灰化物、角礫少量

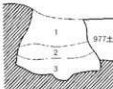
第978号土坑



A. 30.843m

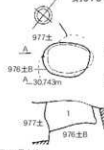
B

C. 30.843m



- 第978号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) ロ-ム粒、灰化物、角礫少量  
 第2層 黄褐色土 (10YR5/6) ロ-ム粒中量、暗褐色土 (10YR3/4)、灰化物少量  
 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) 黄褐色土 (10YR5/6) ロ-ム粒少量、灰化物少量

第976号土坑A



第976号土坑A  
 第1層 土壌褐色土 (10YR5/4) ロ-ム、灰化物少量

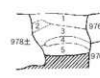
第977号土坑



A. 30.743m

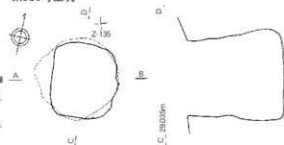
B

C. 30.743m



- 第977号土坑  
 第1層 黄褐色土 (10YR2/3) ロ-ム粒少量、灰化物、角礫少量  
 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) ロ-ム粒中量、灰化物少量  
 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) ロ-ム粒、灰化物少量  
 第4層 黄褐色土 (10YR1/1) 灰化物、土粒多量、ロ-ム粒少量  
 第5層 暗褐色土 (10YR3/4) ロ-ム粒少量、灰化物少量

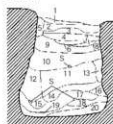
第983号土坑



A. 29.035m

B

C. 29.035m

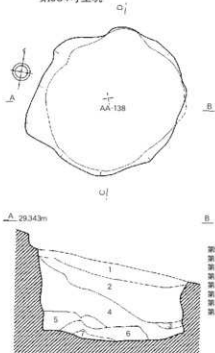


- 第983号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫少量、ロ-ム粒少量  
 第2層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫少量、パズス、ロ-ム粒、灰化物少量  
 第3層 褐色土 (10YR4/4) 暗褐色土 (10YR3/4)、砂中量、パズス、ロ-ム粒、灰化物少量  
 第4層 暗褐色土 (10YR3/4) 黄褐色土 (10YR2/2) パズス、ロ-ム粒少量  
 第5層 暗褐色土 (10YR3/4) パズス、ロ-ム粒、灰化物少量  
 第6層 暗褐色土 (10YR3/4) ロ-ム粒中量、灰化物少量、パズス少量  
 第7層 黄褐色土 (10YR2/1) 黄褐色土 (10YR2/3) 少量、パズス、ロ-ム粒、灰化物少量  
 第8層 暗褐色土 (10YR3/4) 砂質、角礫少量、ロ-ム粒少量  
 第9層 暗褐色土 (10YR3/3) ロ-ム粒少量、パズス中量、L.S.、灰化物少量  
 第10層 黄褐色土 (10YR2/3) 黄褐色土 (10YR2/1) 褐色土 (10YR4/4) 中量、パズス、L.S.少量、ロ-ム粒、灰化物少量  
 第11層 暗褐色土 (10YR3/3) パズス、ロ-ム粒中量、灰化物少量、L.S.少量  
 第12層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫少量、パズス、ロ-ム粒、灰化物少量  
 第13層 暗褐色土 (10YR3/4) パズス少量、ロ-ム粒、灰化物少量  
 第14層 暗褐色土 (10YR3/3) 黄褐色土 (10YR2/2) ロ-ム粒少量、パズス、灰化物少量  
 第15層 黄褐色土 (10YR2/2) パズス、ロ-ム粒、灰化物、角礫少量  
 第16層 暗褐色土 (10YR3/4) パズス、ロ-ム粒、灰化物少量  
 第17層 暗褐色土 (10YR4/4) パズス、角礫少量、ロ-ム粒少量  
 第18層 暗褐色土 (10YR3/3) パズス、L.S.、ロ-ム粒、灰化物少量  
 第19層 暗褐色土 (10YR3/3) ロ-ム粒少量  
 第20層 暗褐色土 (10YR3/4) ロ-ム粒、灰化物、角礫少量

0 2m

第126図 土坑 (36) (975土・976土A・976土B・977土・978土・983土)

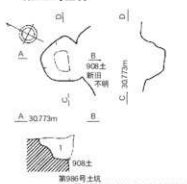
第984号土坑



第984号土坑

- 第1層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒中量、角礫少量、炭化物微量
- 第2層 褐色土 (10YR4/6) □-△粒中量、炭化物、角礫少量
- 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物多量、□-△粒少量
- 第4層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒中量、角礫少量、炭化物微量
- 第5層 灰褐色土 (10YR4/3) L B多量、炭化物微量
- 第6層 褐色土 (10YR4/6) 角礫少量、□-△粒、炭化物微量
- 第7層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒、炭化物微量

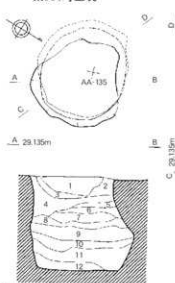
第986号土坑



第986号土坑

- 第1層 褐色土 (7.5YR4/3) 角礫中量

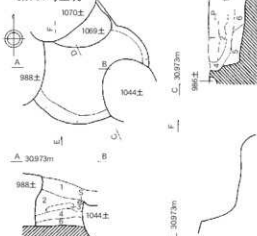
第985号土坑



第985号土坑

- 第1層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒中量、炭化物微量
- 第2層 褐色土 (10YR4/4) L B多量、□-△粒、炭化物微量
- 第3層 灰褐色土 (10YR3/2) □-△粒中量、褐色土 (10YR4/4)、炭化物少量
- 第4層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒、炭化物微量
- 第5層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒微量
- 第6層 褐色土 (10YR4/6) □-△粒微量
- 第7層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒中量、炭化物微量
- 第8層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒、炭化物少量
- 第9層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒少量、P 2次、炭化物微量
- 第10層 褐色土 (10YR4/4) 角礫少量、□-△粒、炭化物微量
- 第11層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒少量、炭化物微量
- 第12層 暗褐色土 (10YR3/4) □-△粒中量、P 2次、炭化物微量

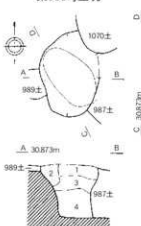
第987号土坑



第987号土坑

- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫微量
- 第2層 褐色土 (10YR4/4) □-△粒、角礫少量、炭化物微量
- 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) L B、角礫少量
- 第4層 灰褐色土 (10YR4/3) □-△粒、炭化物微量
- 第5層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫少量、□-△粒、炭化物微量
- 第6層 褐色土 (10YR4/4) 角礫少量、炭化物微量

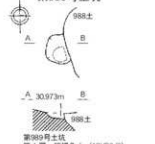
第988号土坑



第988号土坑

- 第1層 灰褐色土 (10YR3/2) 角礫少量、□-△粒微量
- 第2層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫少量
- 第3層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫少量
- 第4層 灰褐色土 (10YR3/2) 角礫多量

第989号土坑

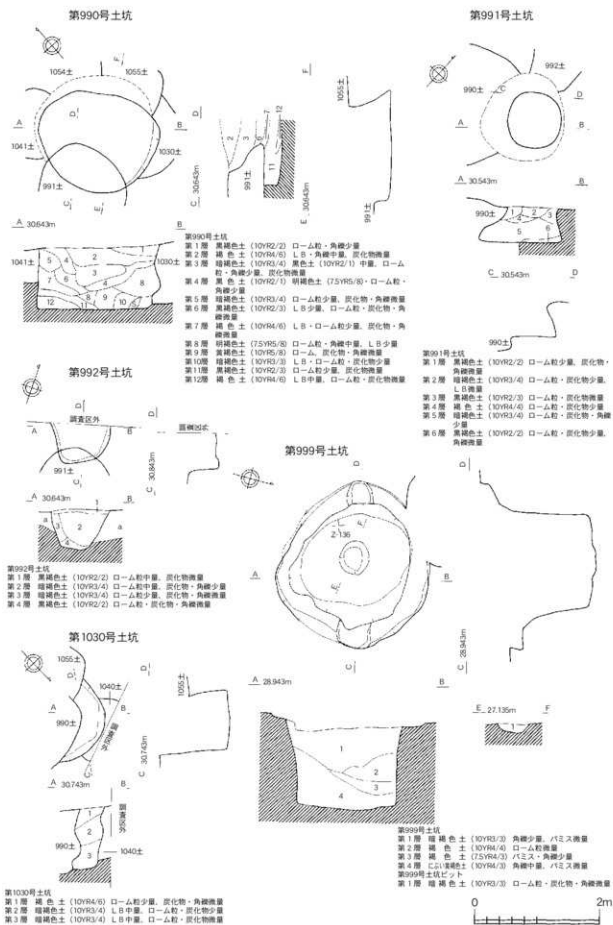


第989号土坑

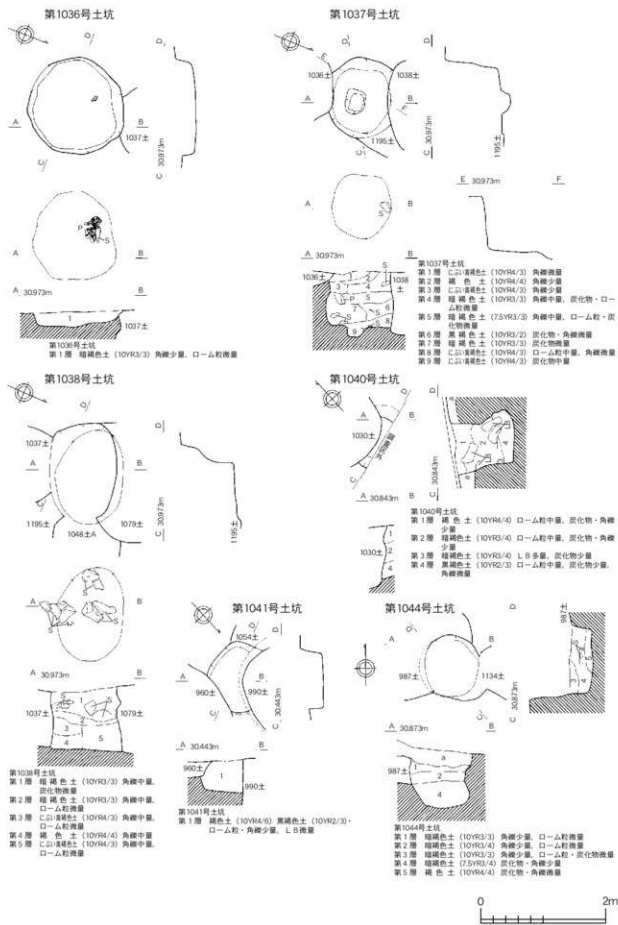
- 第1層 暗褐色土 (10YR3/3)



第127図 土坑 (37) (984~989土)

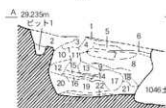
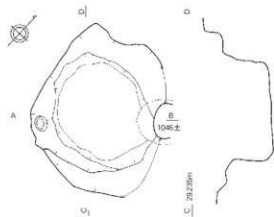


第128図 土坑 (38) (990~992土・999土・1030土)



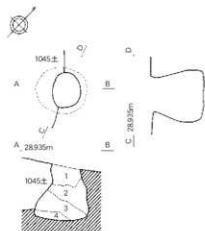
第129図 土坑 (39) (1036~1038土・1040土・1041土・1044土)

第1045号土坑



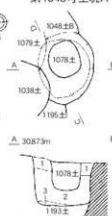
- 第1045号土坑
- 第1層 褐色土 (10YR4/6) 口-△粒少量
  - 第2層 褐色土 (10YR4/6) 角礫少量, 口-△粒, 炭化物少量
  - 第3層 褐色土 (10YR4/6) 口-△粒, 角礫少量
  - 第4層 暗褐色土 (10YR2/3) 口-△粒, 炭化物少量
  - 第5層 土 10YR4/3 口-△粒少量
  - 第6層 黄褐色土 (10YR2/3) 口-△粒中量
  - 第7層 褐色土 (10YR4/6), 暗褐色土 (10YR2/3) 混合土
  - 第8層 暗褐色土 (10YR2/3) L B, 口-△粒少量, 角礫少量
  - 第9層 暗褐色土 (10YR2/3) 口-△粒少量
  - 第10層 褐色土 (10YR4/6) 口-△粒少量
  - 第11層 土 10YR2/3 少量, 口-△粒少量
  - 第12層 土 10YR4/3 L B, 口-△粒少量
  - 第13層 褐色土 (10YR4/6) 口-△粒少量
  - 第14層 暗褐色土 (10YR2/3) 口-△粒少量
  - 第15層 土 10YR4/3 口-△
  - 第16層 土 10YR4/3 黄褐色土 (10YR2/3) 中量
  - 第17層 暗褐色土 (10YR2/3) 口-△粒中量, L B少量
  - 第18層 暗褐色土 (10YR2/3) L B, 口-△粒中量
  - 第19層 黄褐色土 (10YR4/6) 口-△, 黄褐色土 (10YR2/3) 少量
  - 第20層 土 10YR4/3 口-△粒少量
  - 第21層 暗褐色土 (10YR2/3) 口-△粒中量, 黄褐色土 (10YR2/3) 少量
  - 第22層 褐色土 (10YR4/6) L B, 口-△粒中量, 暗褐色土 (10YR2/3) 少量, 黄褐色土 (10YR2/3) 少量

第1046号土坑



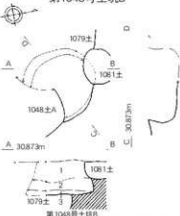
- 第1046号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR2/3) 口-△粒少量, 炭化物少量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR2/3) 口-△粒少量, 炭化物少量
  - 第3層 褐色土 (10YR4/4) 口-△粒少量, 炭化物少量
  - 第4層 褐色土 (10YR4/4) 黄褐色土 (10YR2/3), 口-△粒少量

第1048号土坑A



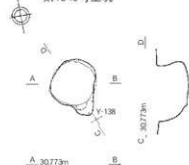
- 第1048号土坑A
- 第1層 褐色土 (10YR4/6) 角礫少量, 口-△粒少量
  - 第2層 土 10YR4/3 角礫中量, 口-△粒, 炭化物少量
  - 第3層 暗褐色土 (10YR2/3) 角礫少量

第1048号土坑B



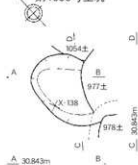
- 第1048号土坑B
- 第1層 暗褐色土 (7.5YR5/6) 角礫中量
  - 第2層 暗褐色土 (7.5YR5/6) 角礫少量
  - 第3層 褐色土 (7.5YR4/3) 角礫少量

第1049号土坑



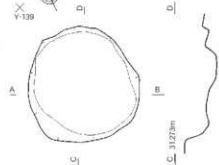
- 第1049号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR2/3) 口-△粒少量
  - 第2層 暗褐色土 (10YR4/4) 口-△粒, 角礫少量

第1050号土坑



- 第1050号土坑
- 第1層 暗褐色土 (10YR2/4) 口-△粒, 炭化物少量

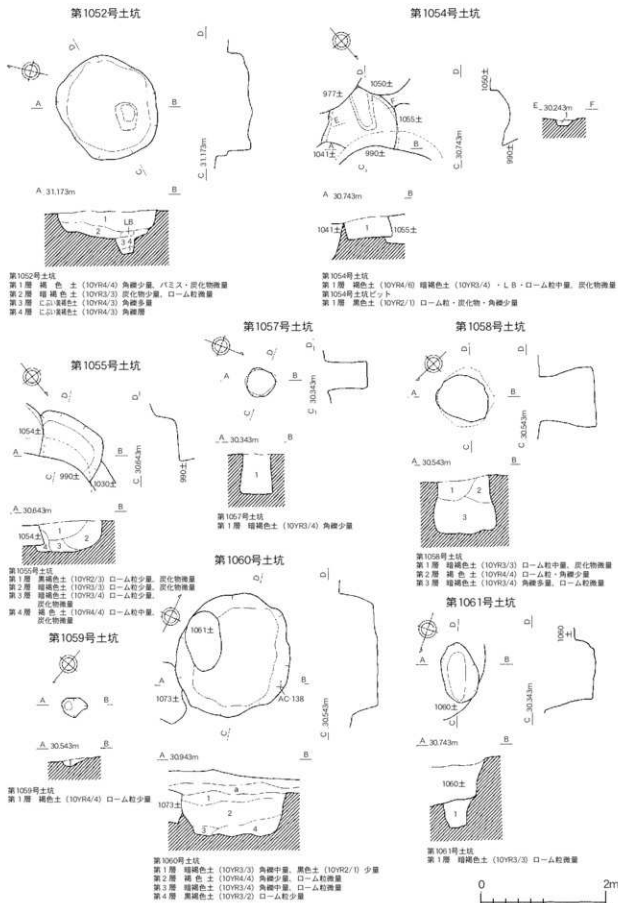
第1051号土坑



- 第1051号土坑
- 第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫中量



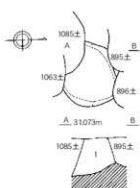
第130図 土坑 (40) (1045号土坑・1046号土坑・1048号土坑A・1048号土坑B・1049号土坑・1050号土坑・1051号土坑)



第131図 土坑 (41) (1052土・1054土・1055土・1057~1061土)

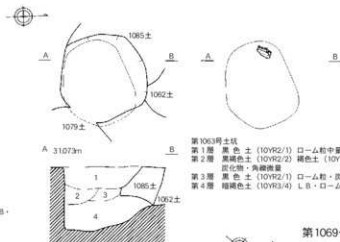


第1062号土坑



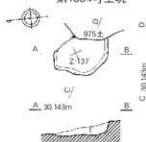
第1062号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫中量, LB,  
口—ム粒、炭化物微量

第1063号土坑



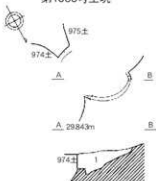
第1063号土坑  
第1層 灰色土 (10YR2/1) 口—ム粒中量, LB、角礫少量、炭化物微量  
第2層 黄褐色土 (10YR2/2) 褐色土 (10YR4/4) 中量, 口—ム粒少量、  
炭化物、角礫微量  
第3層 黑色土 (10YR2/1) 口—ム粒、炭化物、角礫微量  
第4層 暗褐色土 (10YR3/4) LB、口—ム粒、炭化物、角礫少量

第1064号土坑



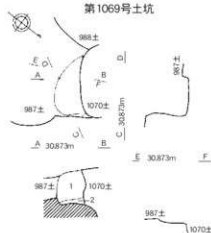
第1064号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 口—ム粒、角礫微量

第1065号土坑



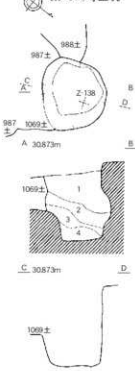
第1065号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫少量, P/Lミス微量

第1069号土坑



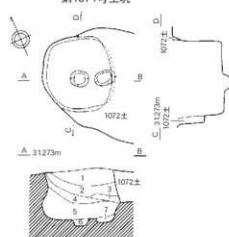
第1069号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫中量, 炭化物微量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫微量

第1070号土坑



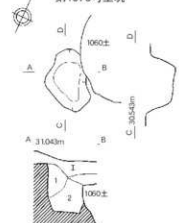
第1070号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫中量, 口—ム粒、炭化物微量  
第2層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫微量  
第3層 暗褐色土 (10YR2/2) 角礫少量  
第4層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫中量

第1071号土坑



第1071号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 口—ム粒中量, 炭化物、角礫少量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/3) 炭化物中量, 口—ム粒、角礫少量  
第3層 褐色土 (10YR4/4) 口—ム粒少量, 炭化物、角礫微量  
第4層 褐色土 (10YR4/4) 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫少量、  
口—ム粒、炭化物微量  
第5層 暗褐色土 (10YR3/4) LB、口—ム粒、角礫少量, 炭化  
物微量  
第6層 暗褐色土 (10YR3/4) 口—ム粒、炭化物微量  
第7層 暗褐色土 (10YR5/4) 口—ム粒、炭化物微量

第1073号土坑



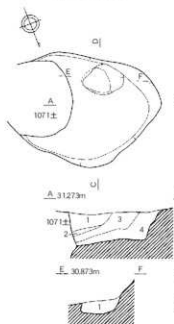
第1073号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫多量  
第2層 褐色土 (10YR4/4) 角礫多量, 口—ム粒少量



第132図 土坑 (42) (1062~1065土・1069~1071土・1073土)



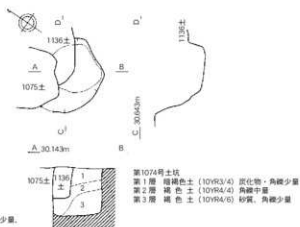
第1072号土坑



第1072号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/4) □-ム粒少量、炭化物・角礫少量  
第2層 黄褐色土 (10YR7/8) □-ム  
第3層 褐色土 (10YR4/4) □-ム粒・角礫中量、炭化物少量  
第4層 暗褐色土 (10YR3/4) 角礫中量、黒色土 (10YR2/1)・L.B.少量、炭化物少量

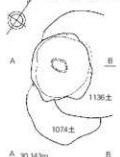
第1072号土坑ピット  
第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫中量、□-ム粒少量

第1074号土坑



第1074号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物・角礫少量  
第2層 褐色土 (10YR4/4) 角礫中量  
第3層 褐色土 (10YR4/4) 砂質、角礫少量

第1075号土坑

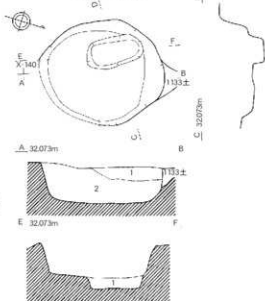


第1076号土坑



第1076号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫少量  
第2層 黄褐色土 (10YR7/1) 角礫少量

第1077号土坑



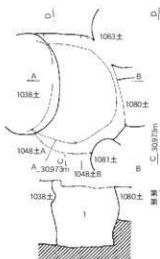
第1077号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒・角礫少量、炭化物少量  
第2層 褐色土 (10YR4/4) □-ム粒中量、角礫少量、炭化物少量  
第1077号土坑ピット  
第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫中量、□-ム粒少量、炭化物少量

第1078号土坑



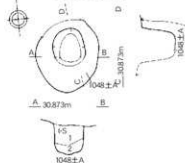
第1078号土坑  
第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫少量、□-ム粒少量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒・炭化物・角礫少量  
第3層 黄褐色土 (10YR7/2) □-ム粒・炭化物少量  
第4層 褐色土 (10YR4/4) 砂質、角礫少量  
第5層 黒褐色土 (10YR3/2) 暗褐色土 (10YR3/4) 少量  
第6層 褐色土 (10YR4/4) 角礫少量  
第7層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒少量

第1079号土坑



第1079号土坑  
第1層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒・角礫少量、炭化物少量  
第2層 褐色土 (10YR4/4) □-ム粒中量、角礫少量、炭化物少量  
第1079号土坑ピット  
第1層 褐色土 (10YR4/4) 角礫中量、□-ム粒少量、炭化物少量

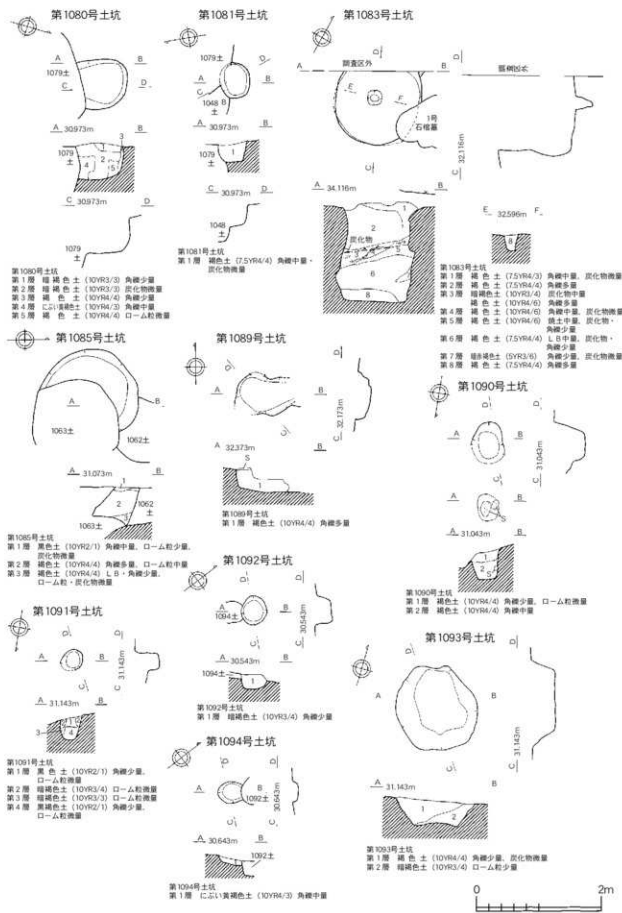
第1078号土坑



第1078号土坑  
第1層 黄褐色土 (10YR7/1) □-ム粒・角礫少量、炭化物少量  
第2層 暗褐色土 (10YR3/3) □-ム粒・炭化物・角礫少量

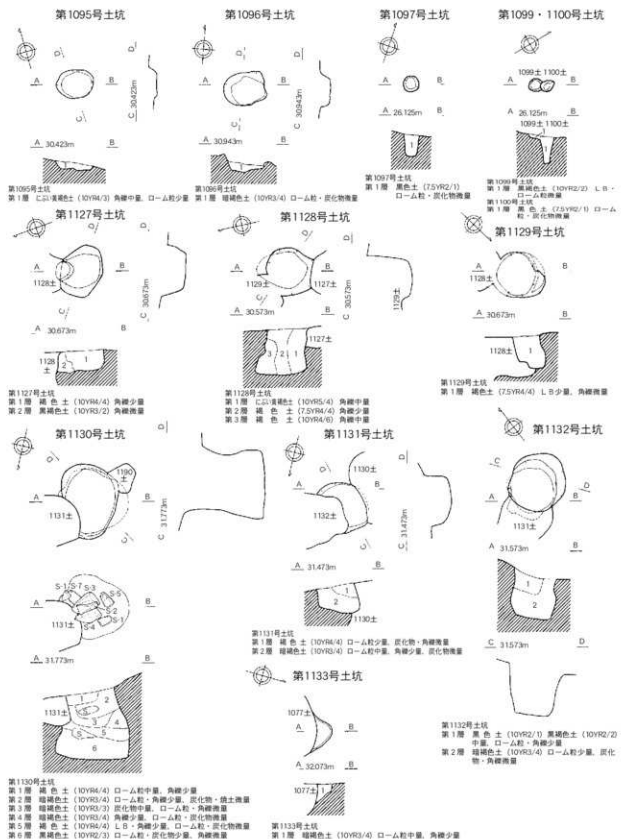
第133図 土坑 (43) (1072土・1074~1079土)



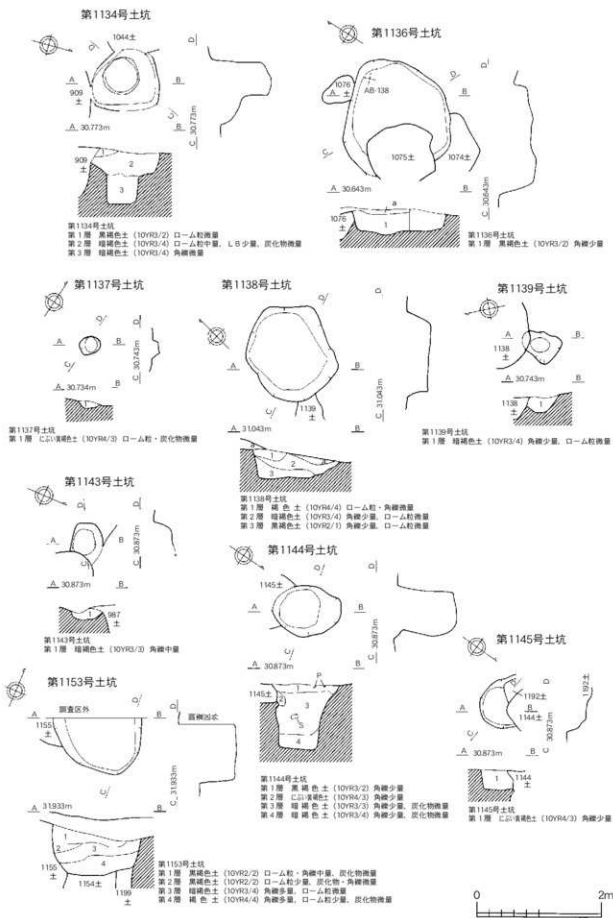


第134図 土坑 (44) (1080土・1081土・1083土・1085土・1089~1094土)



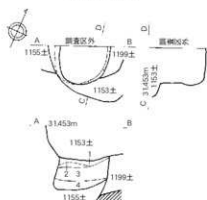


第135図 土坑 (45) (1095~1097土・1099土・1100土・1127~1133土)



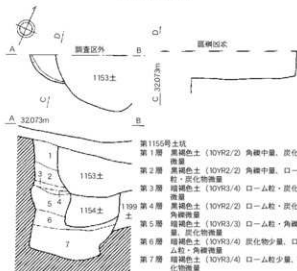
第136図 土坑 (46) (1134土・1136~1139土・1143~1145土・1153土)

第1154号土坑



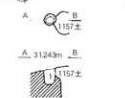
第1154号土坑  
 第1層 黄褐色土 (10YR2/3) □-ム粒少量, 炭化物・角礫少量  
 第2層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒, 炭化物少量, 角礫少量  
 第3層 黑色土 (10YR2/1) 炭化物・角礫中量, □-ム粒少量  
 第4層 暗赤褐色土 (5YR3/6) 焼土多量, □-ム粒, 炭化物少量

第1155号土坑



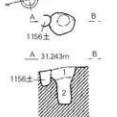
第1155号土坑  
 第1層 黄褐色土 (10YR2/2) 角礫中量, 炭化物少量  
 第2層 黄褐色土 (10YR2/2) 角礫中量, □-ム粒, 炭化物少量  
 第3層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒, 炭化物少量  
 第4層 黄褐色土 (10YR2/2) □-ム粒, 炭化物・角礫少量  
 第5層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒, 角礫少量, 炭化物少量  
 第6層 暗褐色土 (10YR3/4) 炭化物少量, □-ム粒, 角礫少量  
 第7層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒少量, 炭化物少量

第1156号土坑



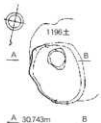
第1156号土坑  
 第1層 黄褐色土 (10YR2/1) 角礫中量

第1157号土坑



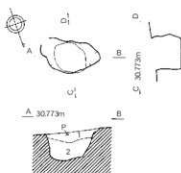
第1157号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫少量, □-ム粒少量  
 第2層 黄褐色土 (10YR2/1) 角礫少量

第1158号土坑



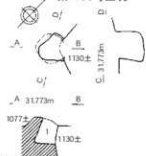
第1158号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/4) □-ム粒中量, 角礫少量

第1159号土坑



第1159号土坑  
 第1層 黄褐色土 (10YR3/2) L B・角礫少量  
 第2層 褐色土 (10YR4/4) 炭化物少量

第1190号土坑



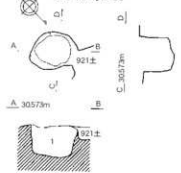
第1190号土坑  
 第1層 褐色土 (10YR4/4) □-ム粒少量

第1191号土坑



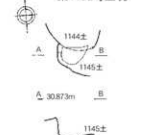
第1191号土坑  
 第1層 暗褐色土 (10YR3/3) 角礫少量

第1194号土坑



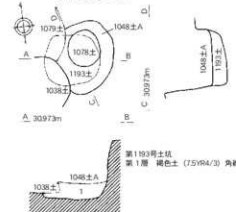
第1194号土坑  
 第1層 褐色土 (7.5YR4/4) 角礫少量

第1192号土坑



第1192号土坑  
 第1層 褐色土 (7.5YR4/3) 角礫中量

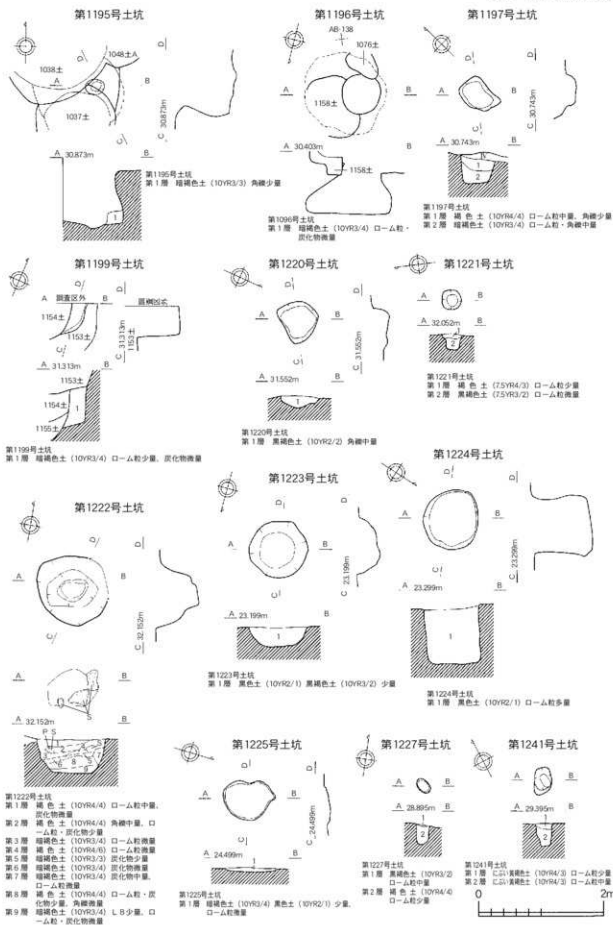
第1193号土坑



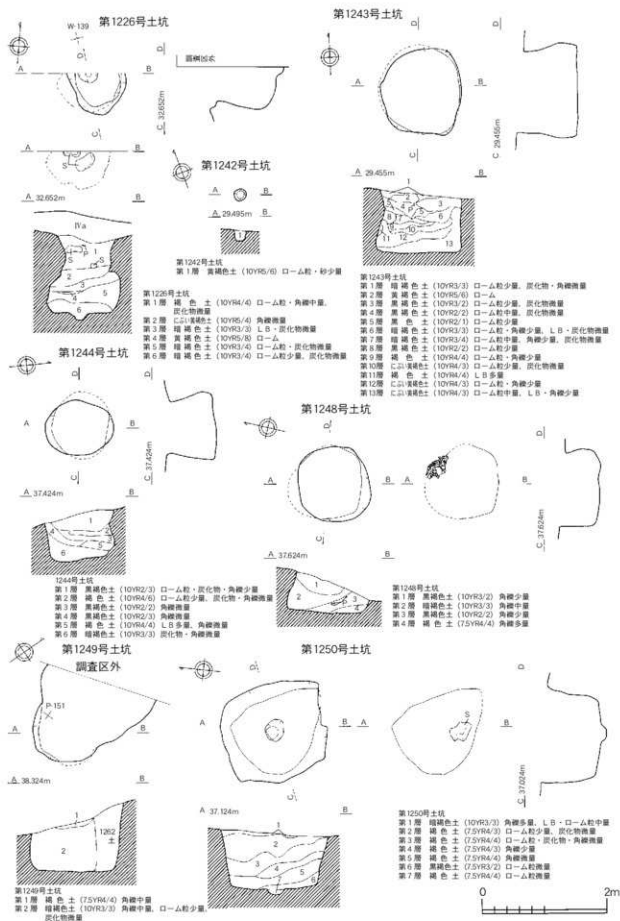
第1193号土坑  
 第1層 褐色土 (7.5YR4/3) 角礫中量



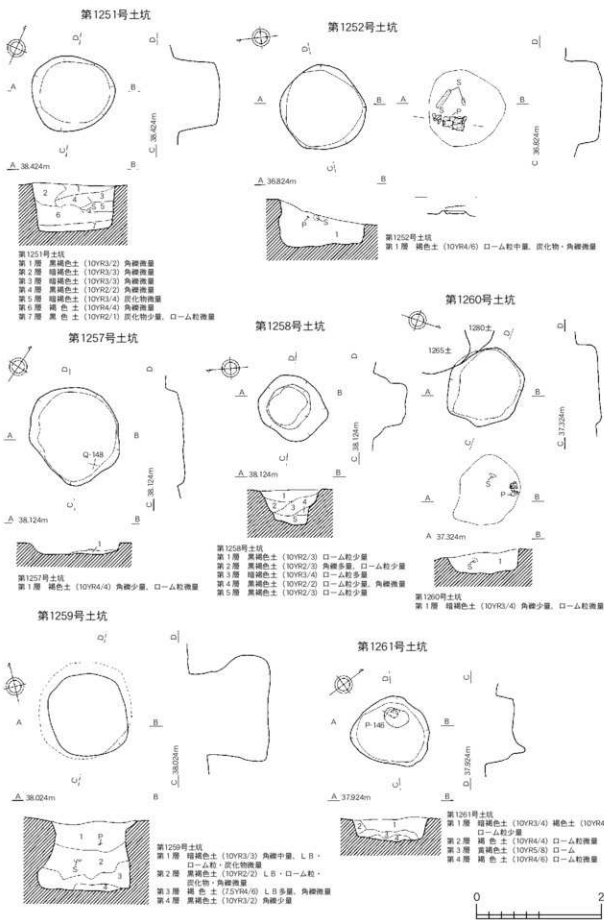
第137圖 土坑 (47) (1154~1159土・1190~1194土)



第138图 土坑 (48) (1195~1197土・1199土・1220~1225土・1227土・1241土)

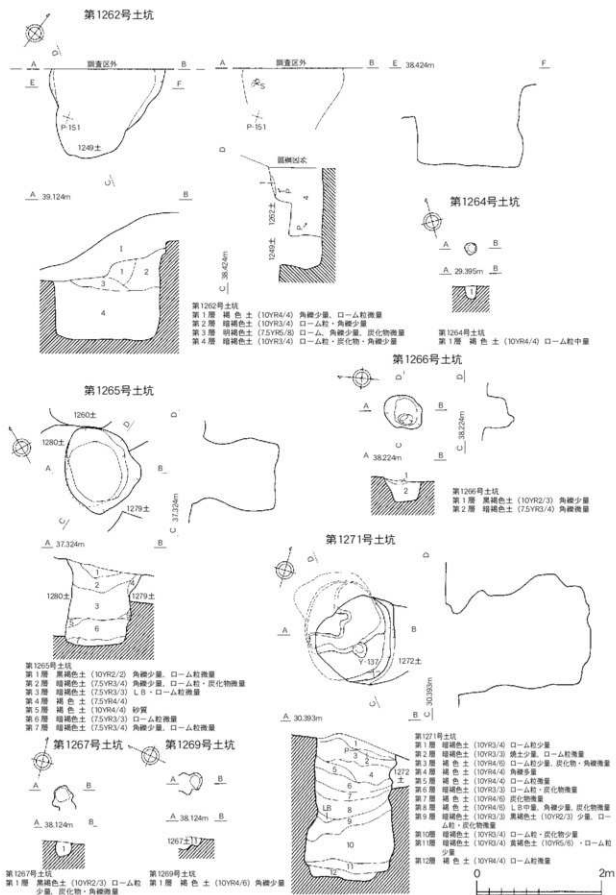


第139図 土坑 (49) (1226土・1242土～1244土・1248～1250土)

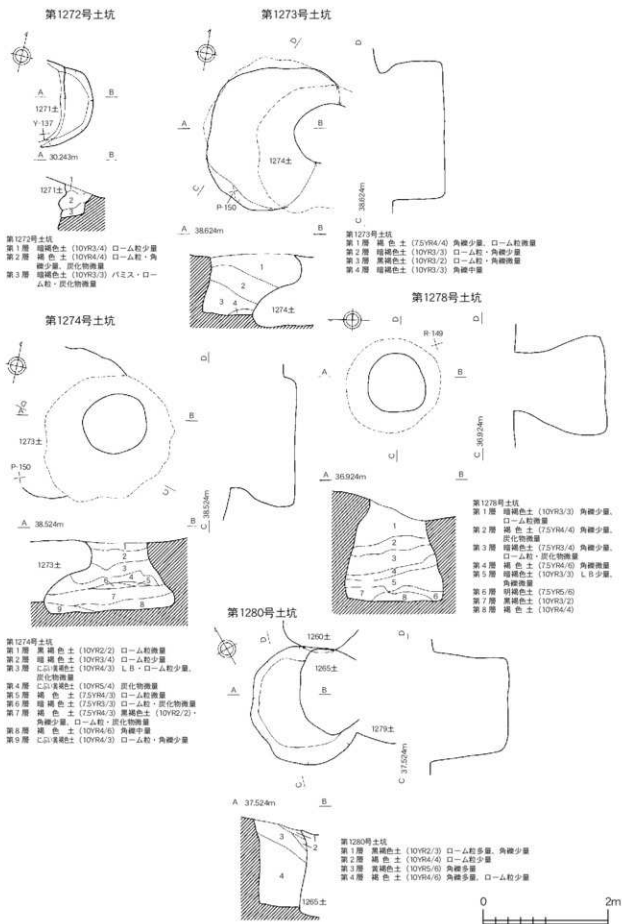


第140図 土坑 (50) (1251土・1252土・1257~1261土)

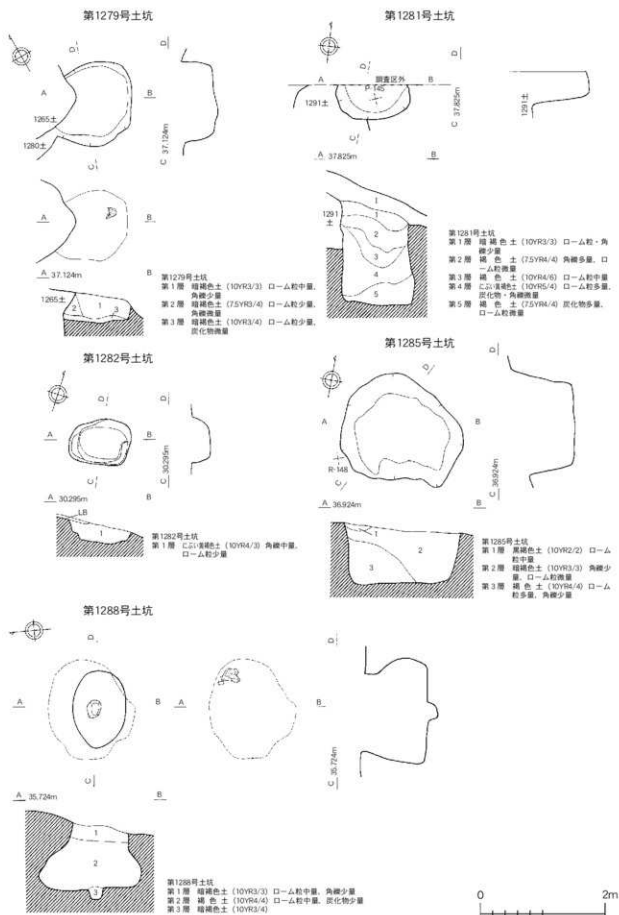




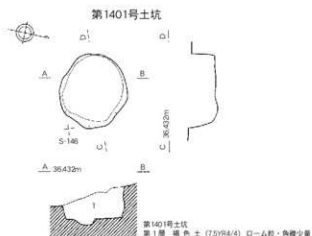
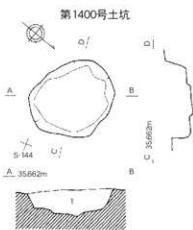
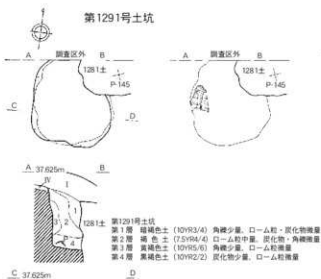
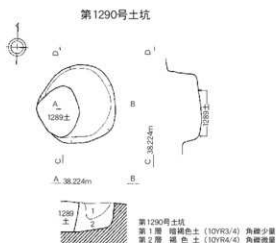
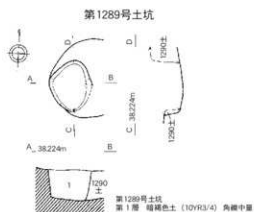
第141圖 土坑 (51) (1262土・1264～1267土・1269土・1271土)



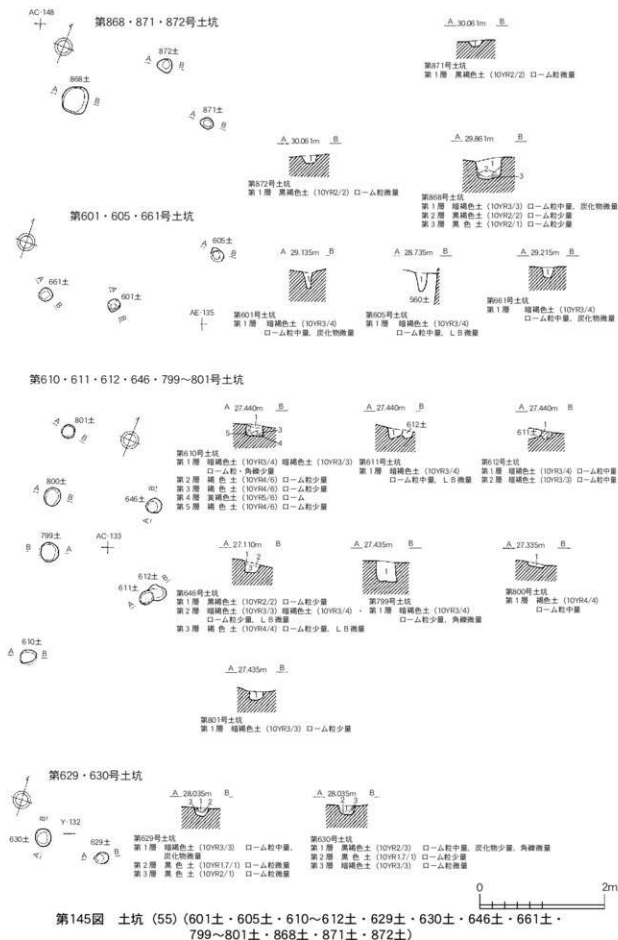
第142図 土坑 (52) (1272~1274土・1278土・1280土)



第143図 土坑 (53) (1279土・1281土・1282土・1285土・1288土)

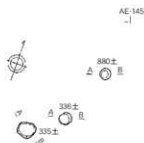


第144図 土坑 (54) (1289~1292土・1400土・1401土)



第145図 土坑 (55) (601土・605土・610~612土・629土・630土・646土・661土・799~801土・868土・871土・872土)

## 第335・336・880号土坑



第335号土坑  
第1層 赭褐色土 (75YR3/4)  
黑色土 (75YR2/1) 少量  
□—ム粒、炭化物、角礫物量  
第2層 黄褐色土 (75YR3/2)  
□—ム粒少量



第336号土坑  
第1層 黄褐色土 (10YR2/3)  
□—ム粒少量  
第2層 黄褐色土 (75YR3/2)  
□—ム粒、炭化物物量  
第3層 赭褐色土 (75YR/1)  
□—ム粒少量



第880号土坑  
第1層 黄褐色土 (10YR2/2)  
□—ム粒少量

## 第337・338・884・885号土坑



第337号土坑  
第1層 赭褐色土 (75YR3/4) □—ム粒、炭化物物量  
第2層 黄褐色土 (75YR2/2) □—ム粒少量



第338号土坑  
第1層 赭褐色土 (75YR4/4) 角礫中量、黑色土 (75YR2/1)  
□—ム粒少量  
第2層 黄褐色土 (75YR2/2) □—ム粒、炭化物、角礫物量



第884号土坑  
第1層 黄褐色土 (10YR2/2) □—ム粒少量



第885号土坑  
第1層 黄褐色土 (10YR2/2) □—ム粒少量

## 第512・513号土坑



第512号土坑  
第1層 赭褐色土 (75YR4/4) L B □—ム粒少量、炭化物物量  
第513号土坑  
第1層 赭褐色土 (10YR4/6) 角礫中量、炭化物少量、□—ム粒少量

## 第515・517・519~521・567号土坑



第515号土坑  
第1層 赭褐色土 (10YR4/6) □—ム粒中量、炭化物少量



第517号土坑  
第1層 赭褐色土 (10YR3/4) □—ム粒中量、炭化物少量



第519号土坑  
第1層 赭褐色土 (10YR4/6) 角礫少量、□—ム粒、炭化物少量



第520号土坑  
第1層 赭褐色土 (10YR4/4) □—ム粒、炭化物少量、角礫物量  
第2層 黄褐色土 (10YR5/6) □—ム粒、角礫中量、炭化物物量  
第3層 赭褐色土 (10YR4/6) □—ム粒、炭化物少量



第521号土坑  
第1層 黄褐色土 (10YR2/3) 角礫中量、□—ム粒、炭化物少量



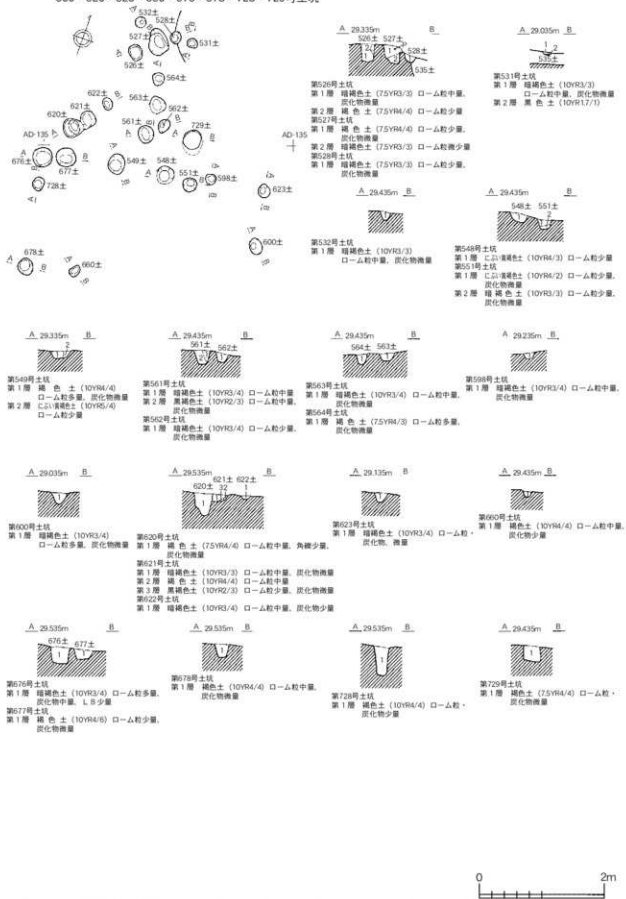
第517号土坑  
第1層 赭褐色土 (10YR3/4) □—ム粒、角礫中量、炭化物物量



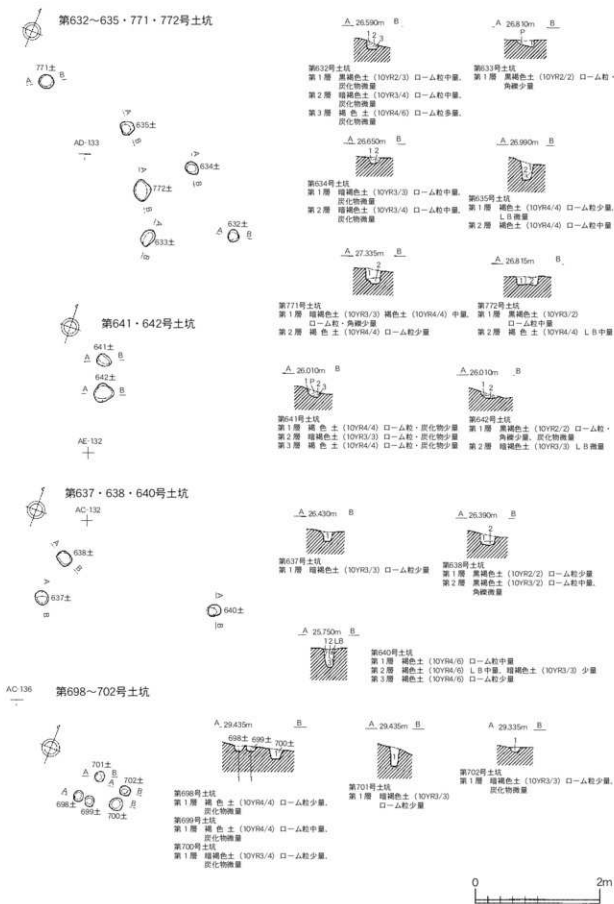
第146图 土坑 (56) (335~338土・512土・513土・515土・517土・519~521土・567土・880土・884土・885土)

第6編 平成 年度発掘調査成果

第526~528・531・532・548・549・551・561~564・598・600・620~623・660・676~678・728・729号土坑



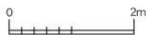
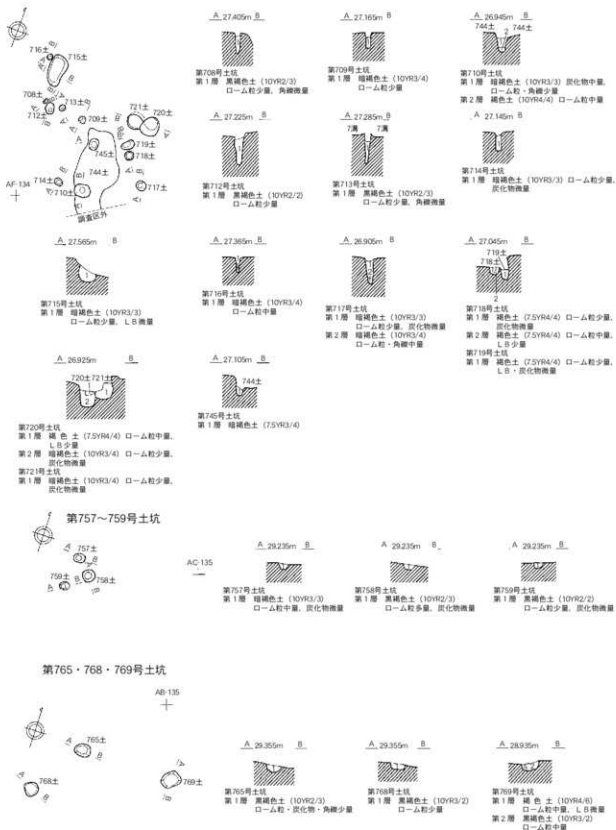
第147図 土坑 (57) (526~528土・531土・532土・548土・549土・551土・561~564土・598土・600土・620~623土・660土・676~678土・728土・729土)



第148図 土坑 (58) (632~635土・637土・638土・640~642土・698~702土・771土・772土)

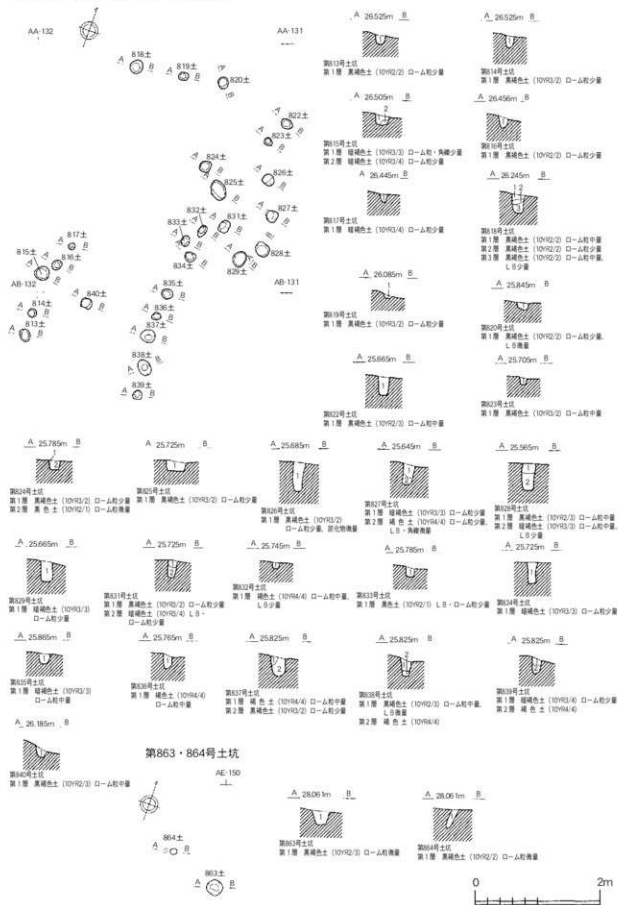


第708～710・712～721・745号土坑

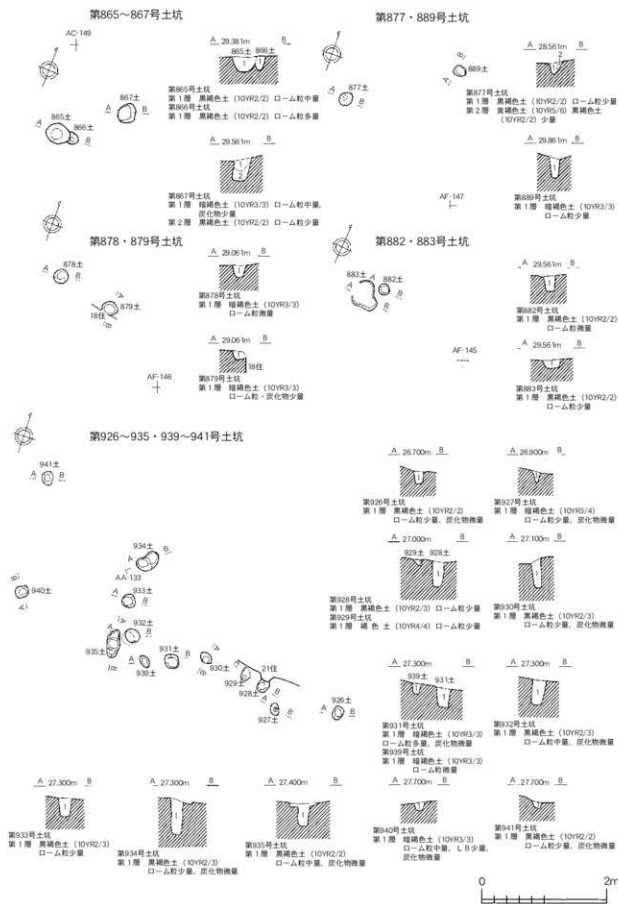


第149図 土坑 (59) (708～710土・712～721土・745土・757～759土・765土・768土・769土)

## 第813~820・822~829・831~840号土坑



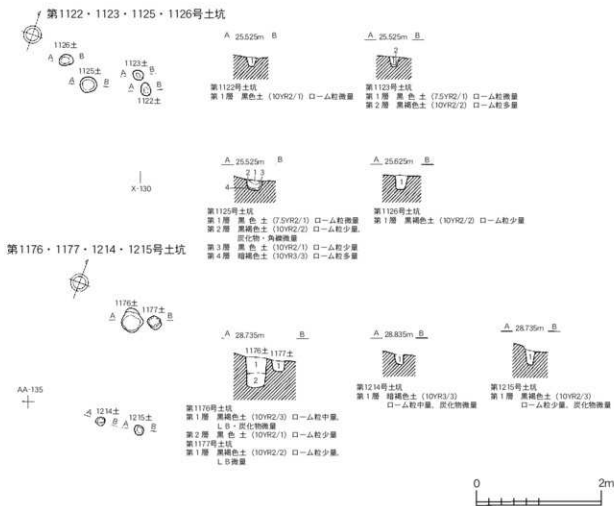
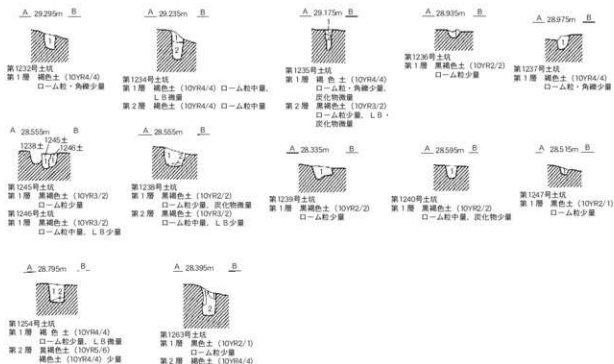
第150图 土坑 (60) (813~820土・822~829土・831土~840土・863土・864土)



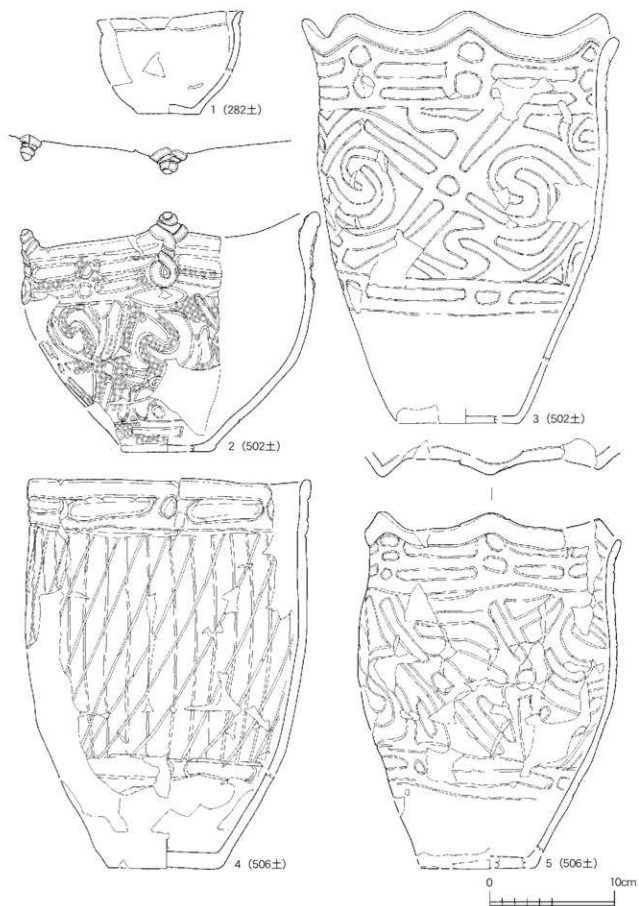
第151図 土坑 (61) (865～867土・877～879土・882土・883土・889土・926～935土・939～941土)



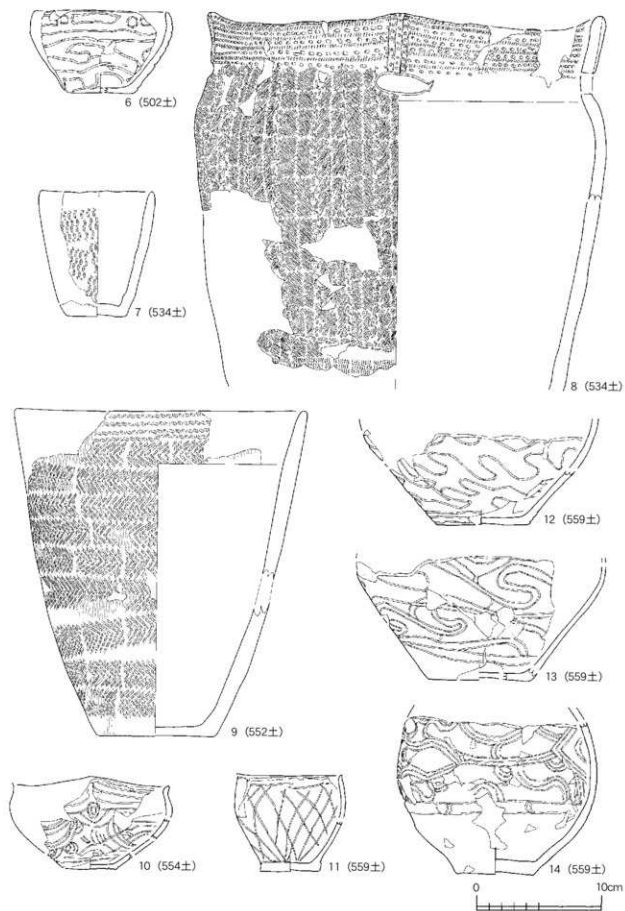




第154図 土坑 (64) (1122土・1123土・1125土・1126土・1176土・1177土・1214土・1215土・1232土・1234~1240土・1245~1247土・1254土・1263土)

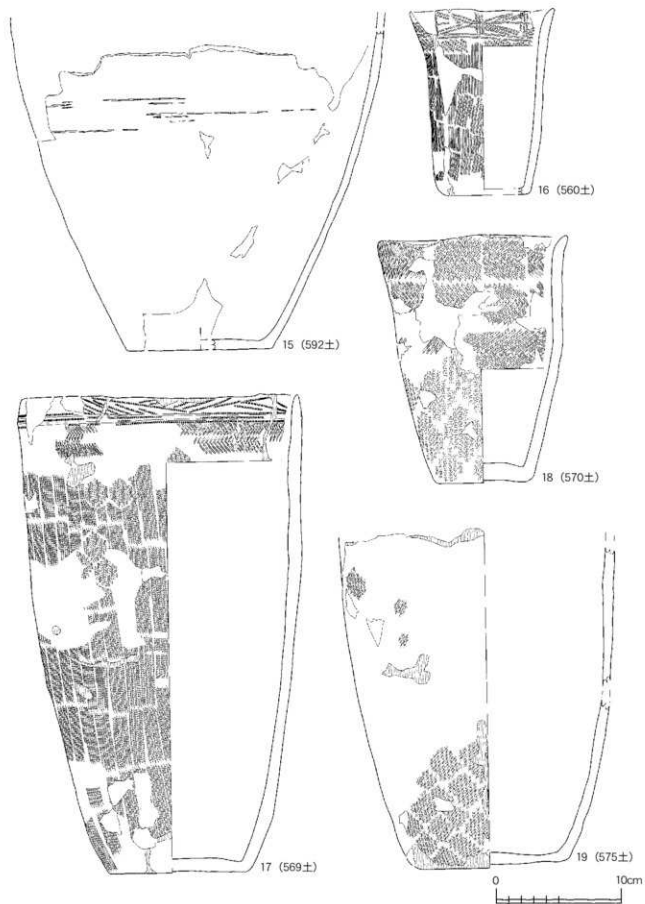


第155図 遺構内出土土器（土坑）(1)

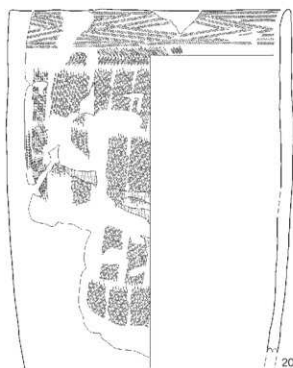


第156図 遺構内出土土器（土坑）(2)

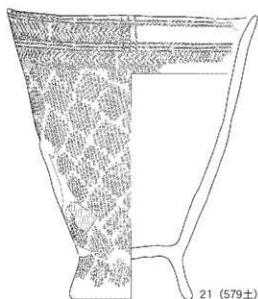




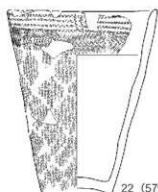
第157図 遺構内出土土器（土坑）(3)



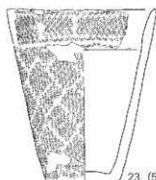
20 (575±)



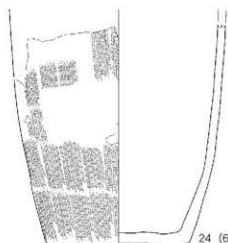
21 (579±)



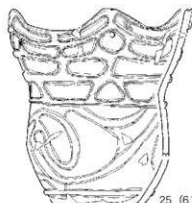
22 (579±)



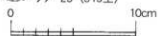
23 (587±)



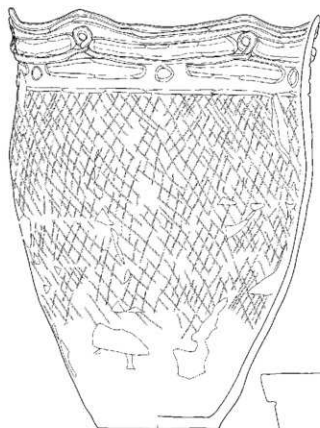
24 (607±)



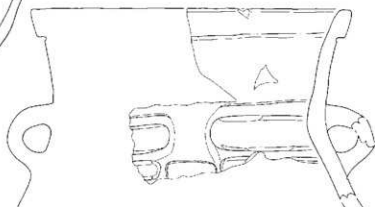
25 (613±)



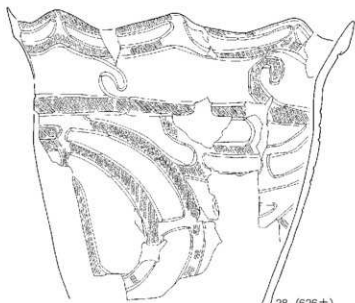
第158図 遺構内出土土器（土坑）(4)



26 (619土)



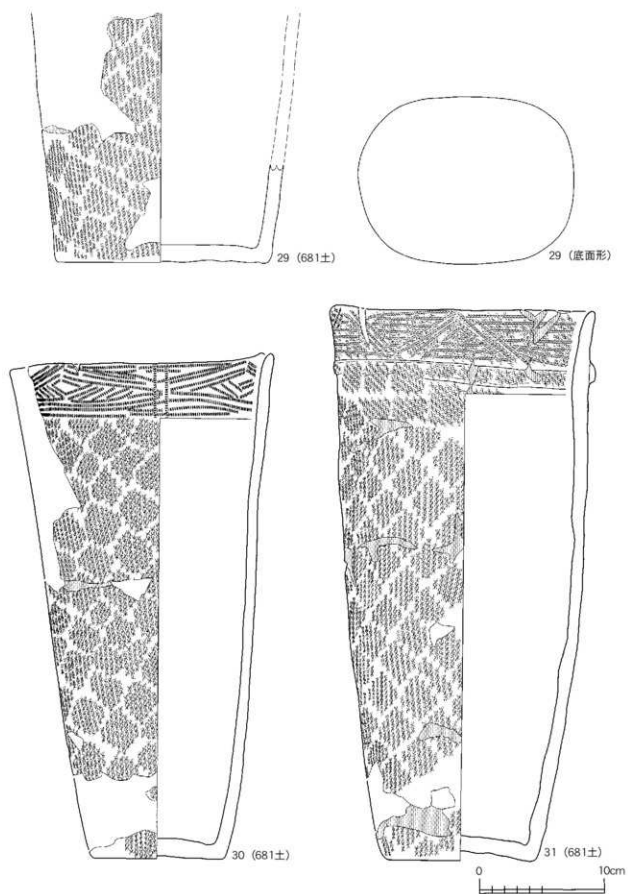
27 (626土)



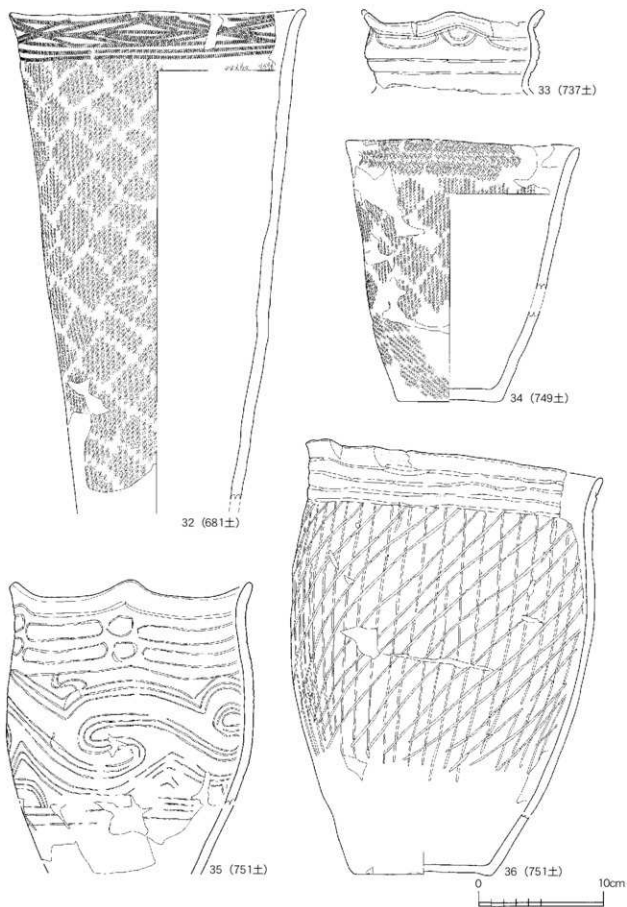
28 (626土)



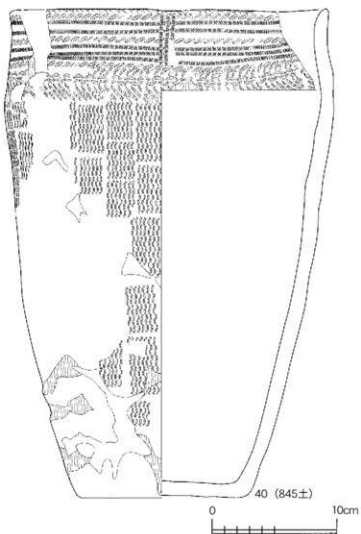
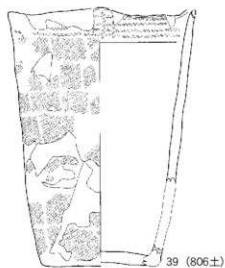
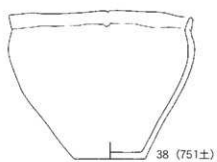
第159図 遺構内出土土器（土坑）(5)



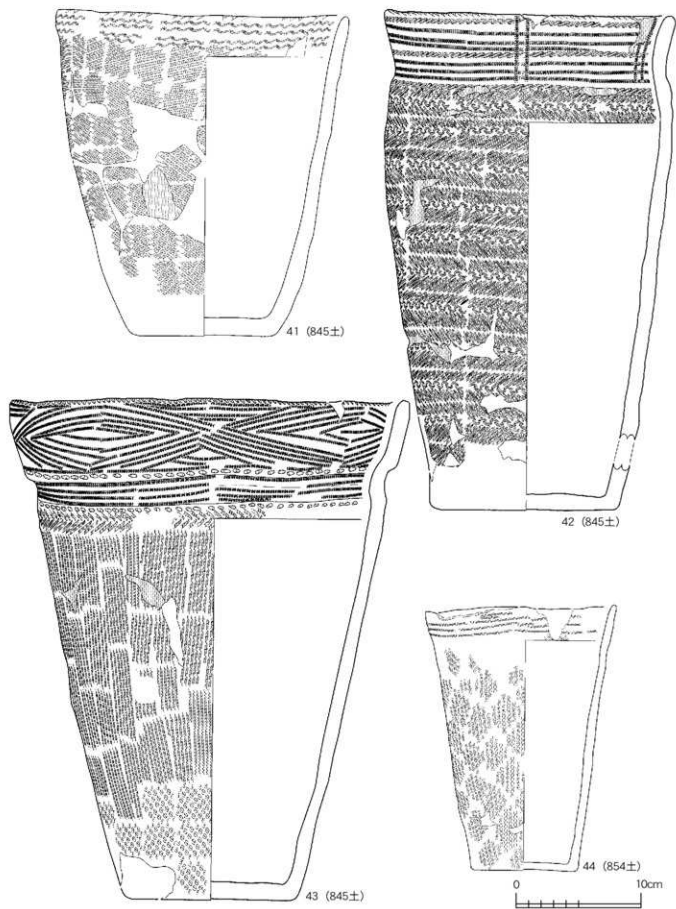
第160図 遺構内出土土器（土坑）(6)



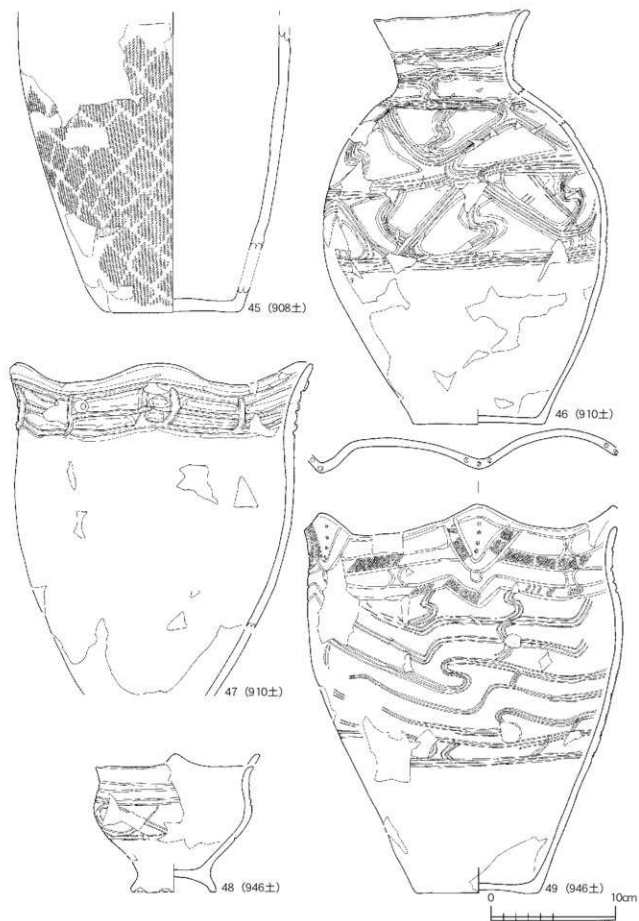
第161図 遺構内出土土器（土坑）(7)



第162図 遺構内出土土器（土坑）(8)

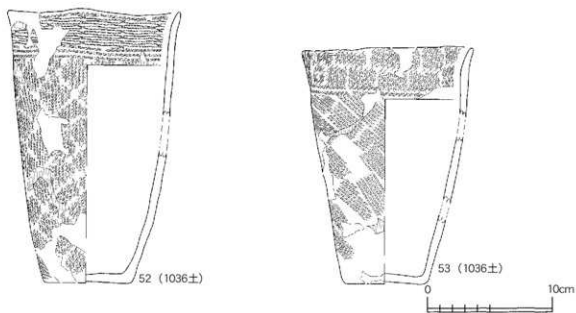
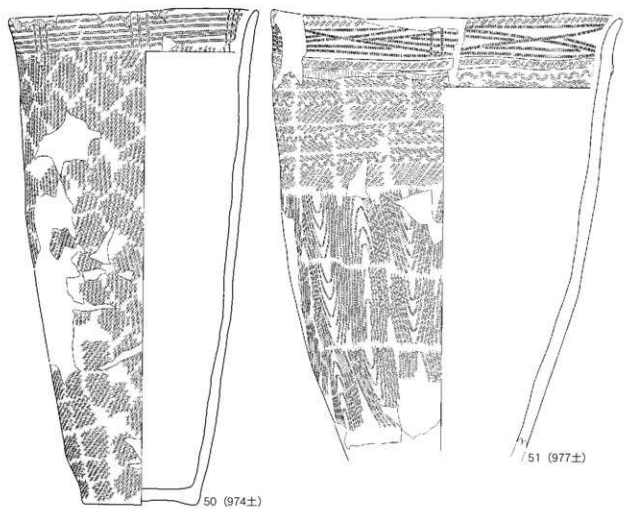


第163圖 遺構内出土土器（土坑）(9)

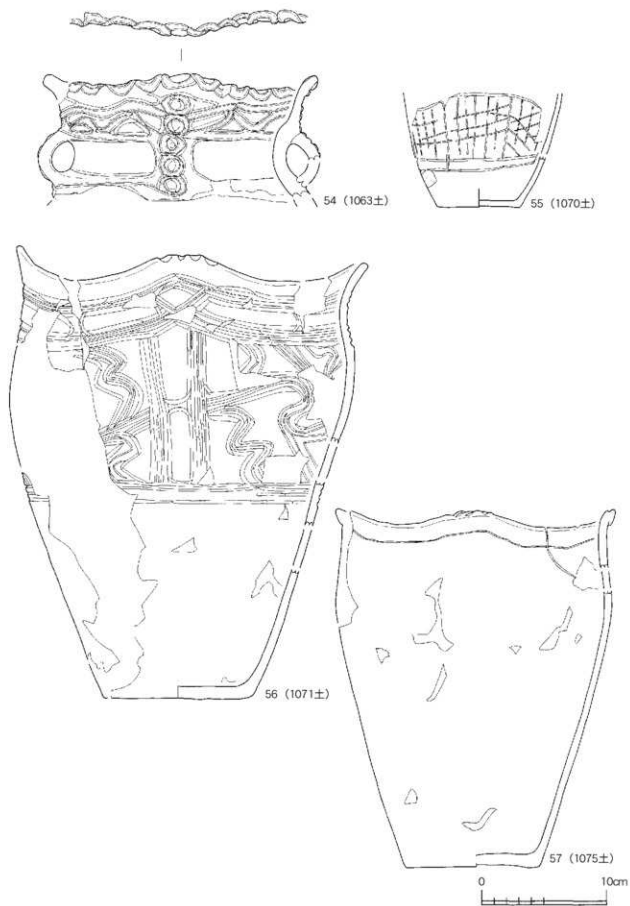


第164図 遺構内出土土器（土坑）(10)

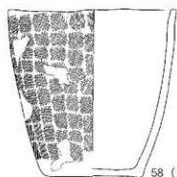




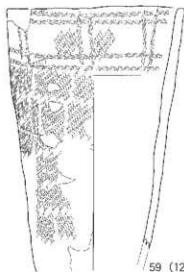
第165図 遺構内出土土器（土坑）(11)



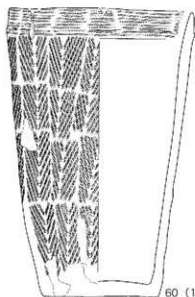
第166図 遺構内出土土器（土坑）(12)



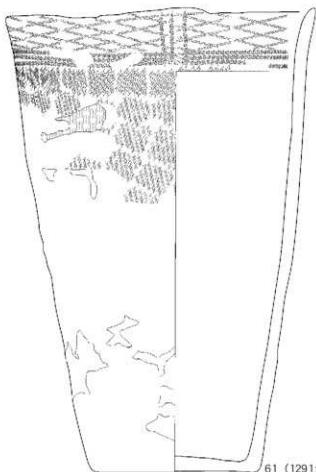
58 (1259土)



59 (1260土)



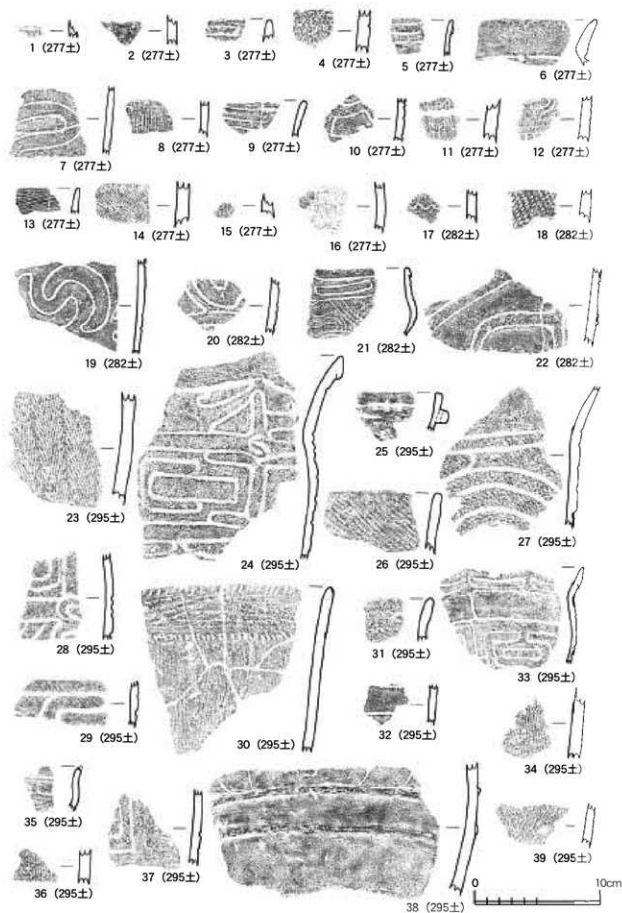
60 (1288土)



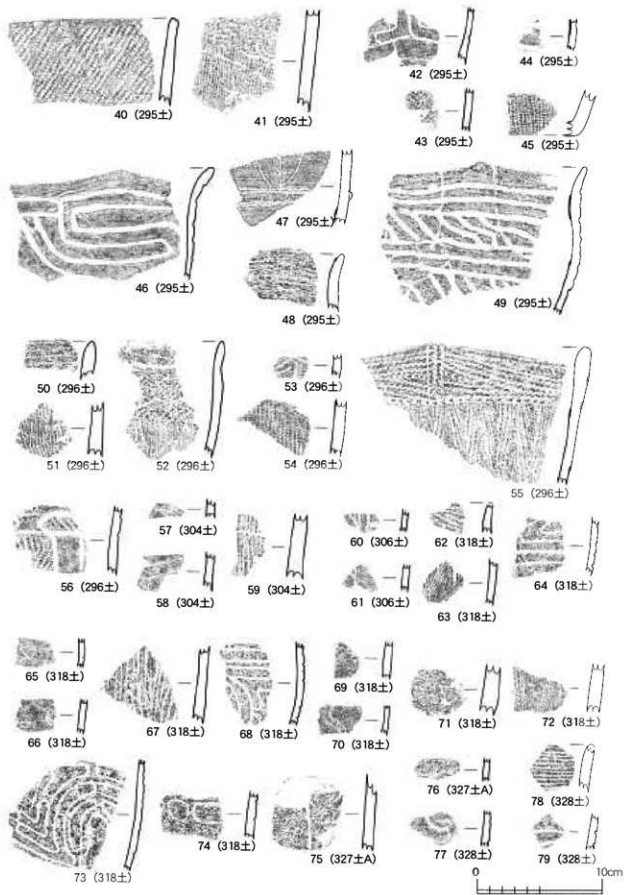
61 (1291土)



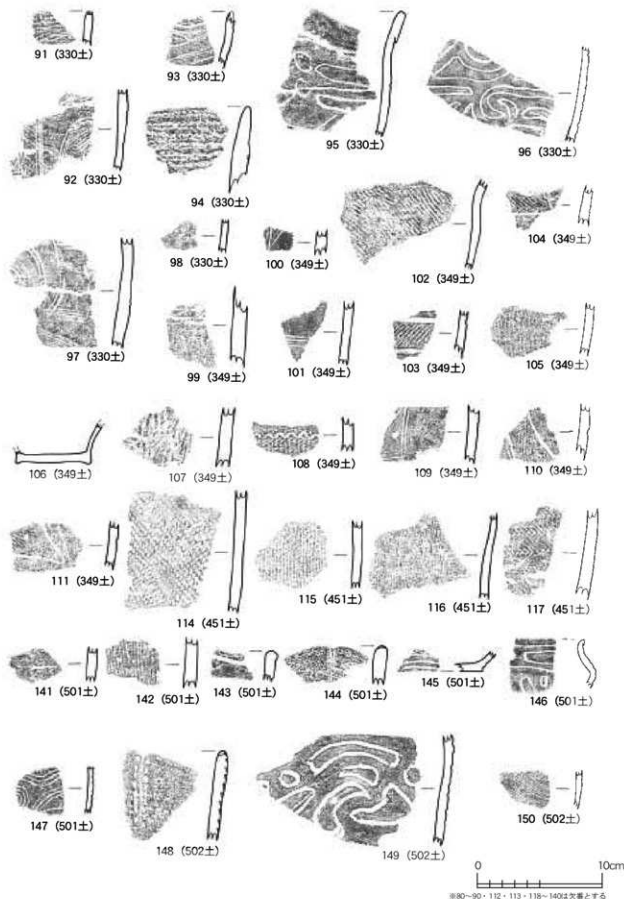
第167図 遺構内出土土器（土坑）(13)



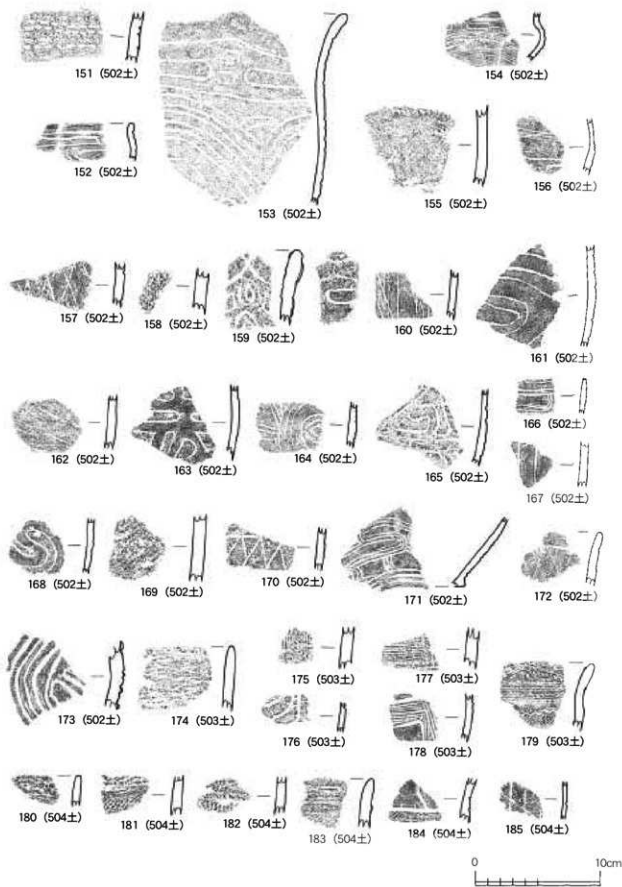
第168図 遺構内出土土器（土坑）(14)



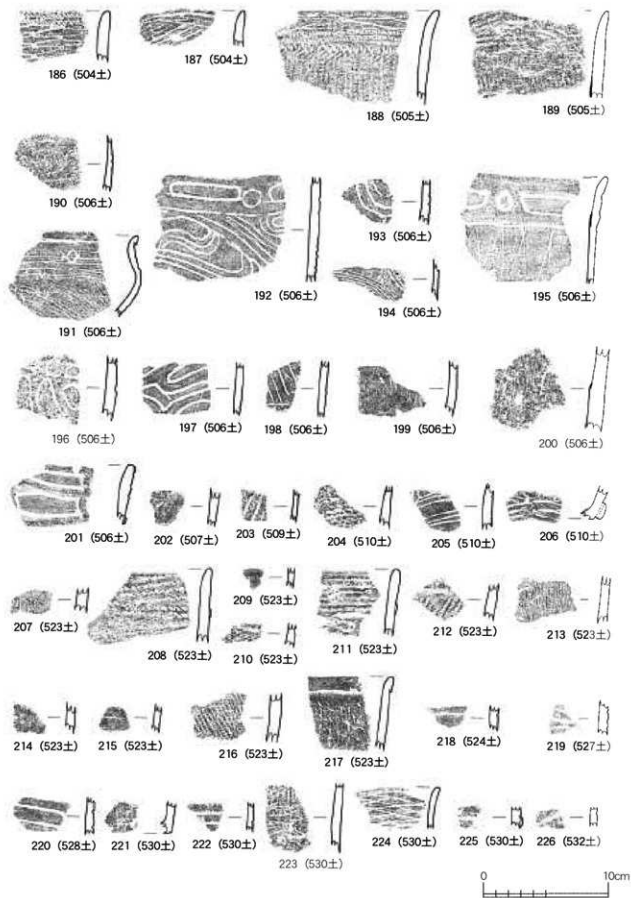
第169図 遺構内出土土器（土坑）(15)



第170図 遺構内出土土器（土坑）(16)

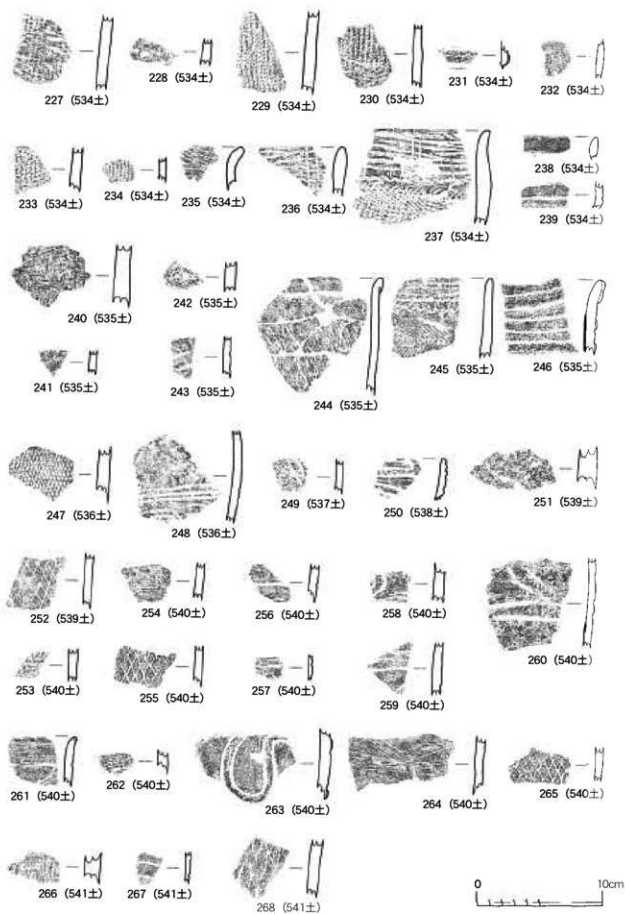


第171図 遺構内出土土器（土坑）(17)

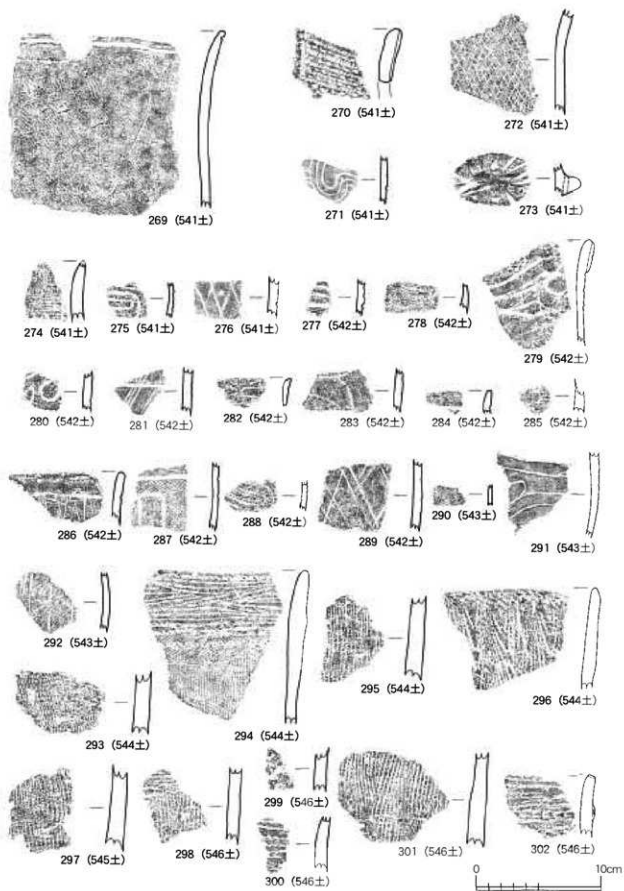


第172図 遺構内出土土器（土坑）(18)

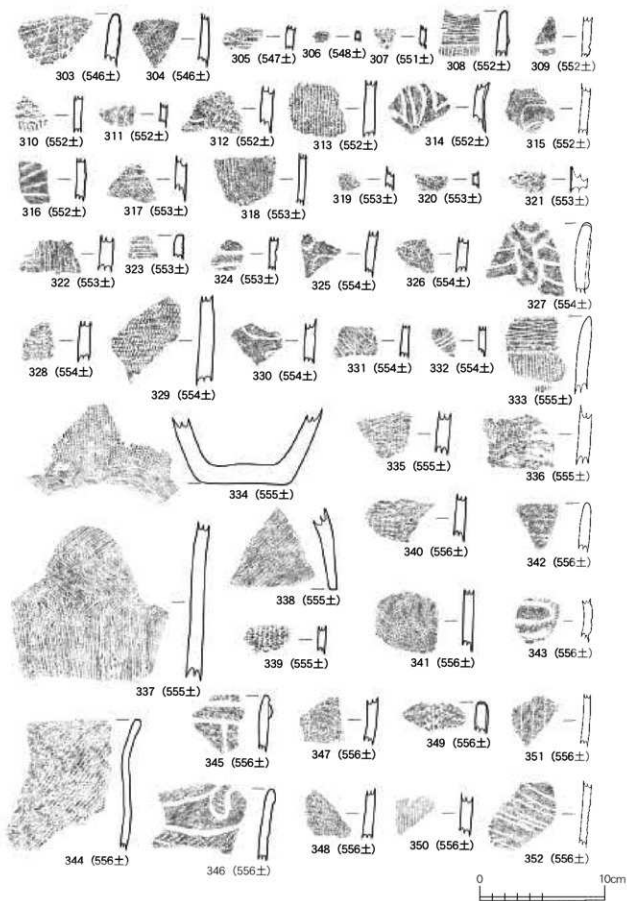




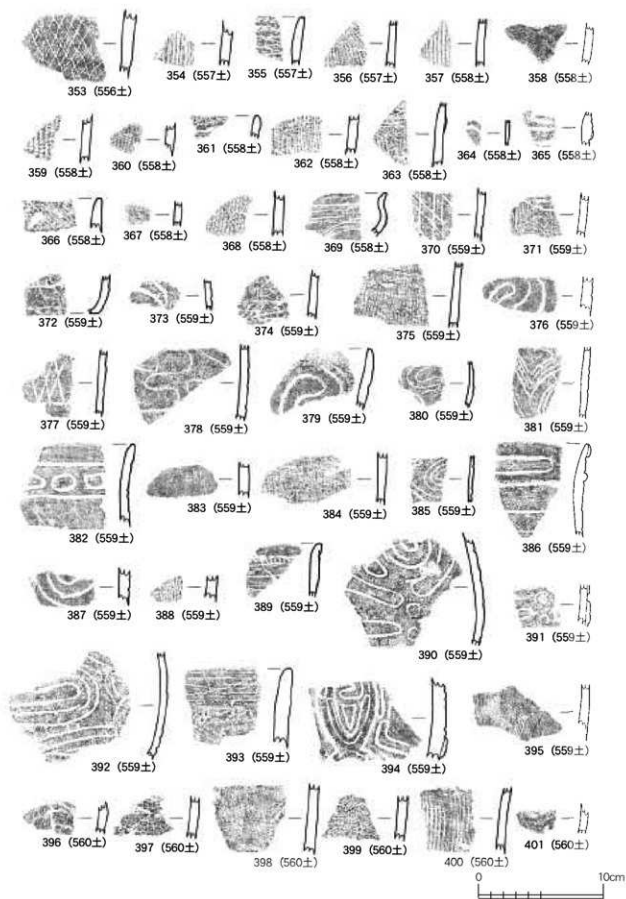
第173図 遺構内出土土器 (土坑) (19)



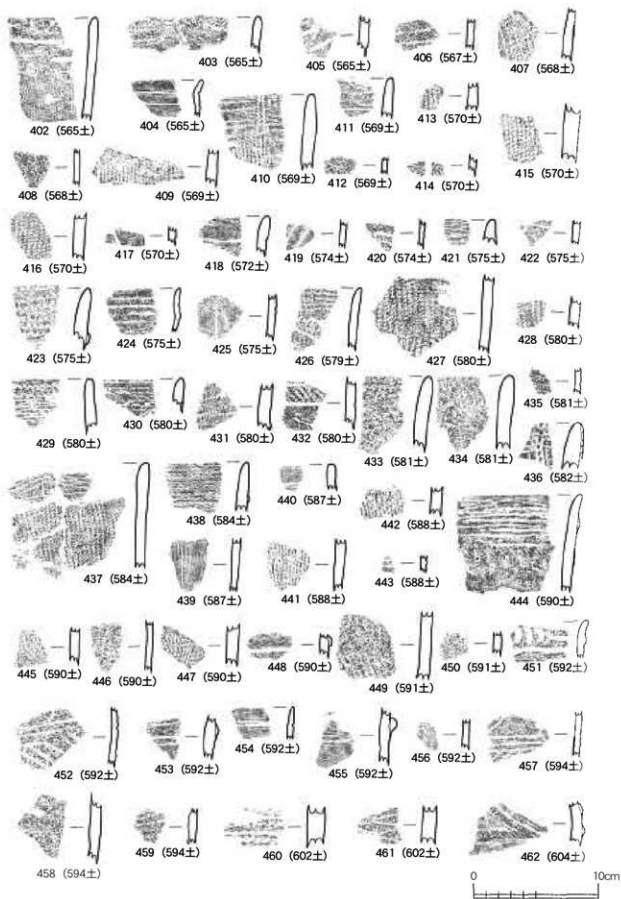
第174図 遺構内出土土器（土坑）(20)



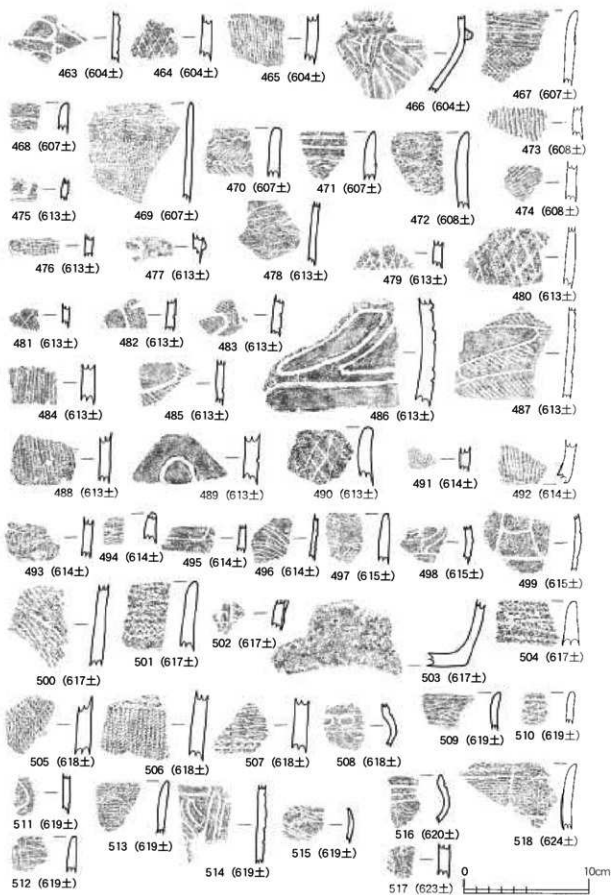
第175図 遺構内出土土器 (土坑) (21)



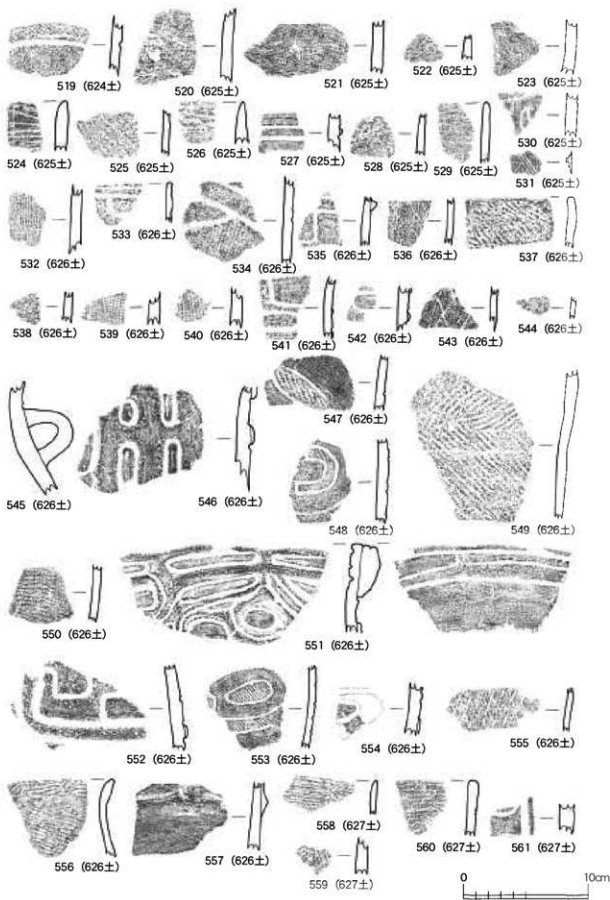
第176図 遺構内出土土器（土坑）(22)



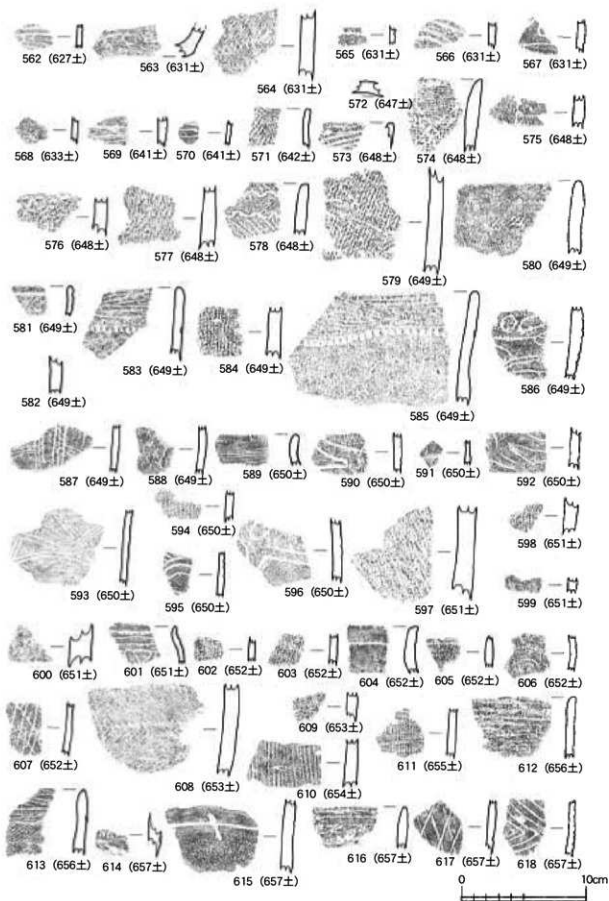
第177図 遺構内出土土器 (土坑) (23)



第178図 遺構内出土土器（土坑）(24)

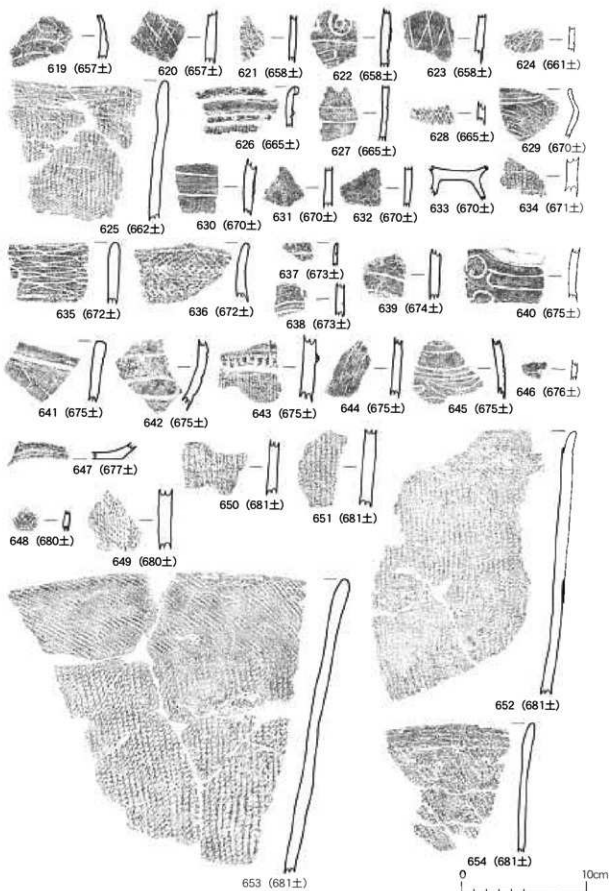


第179図 遺構内出土土器（土坑）(25)

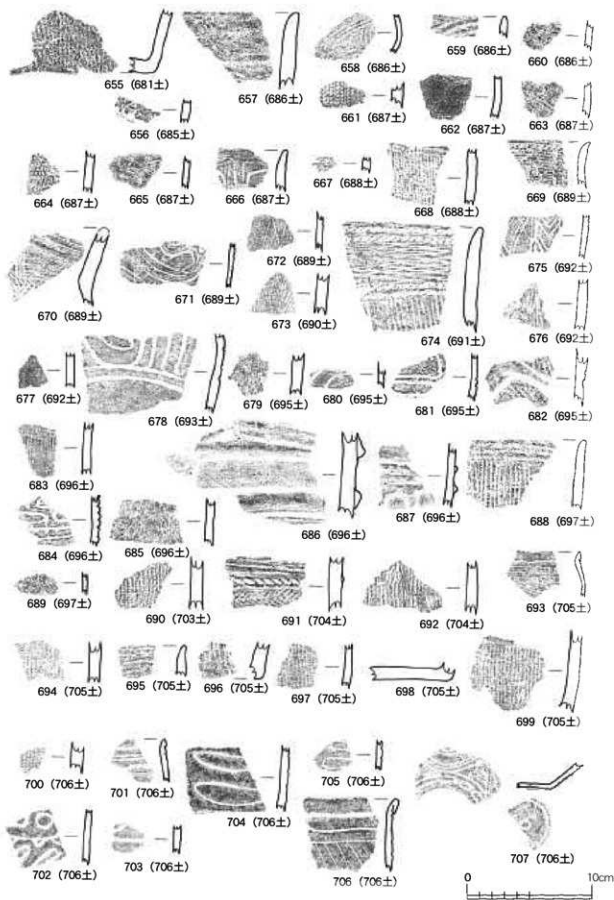


第180図 遺構内出土土器（土坑）(26)

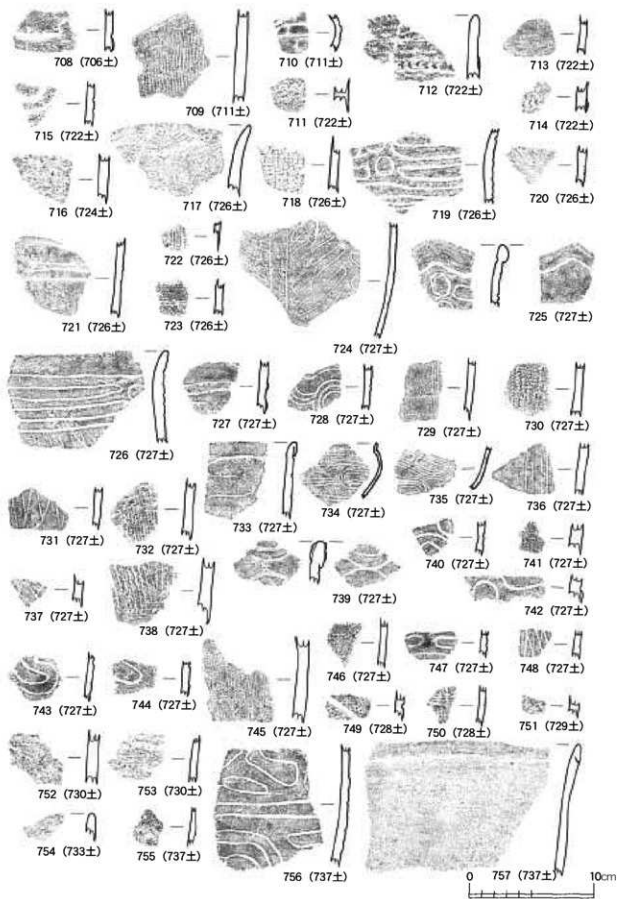




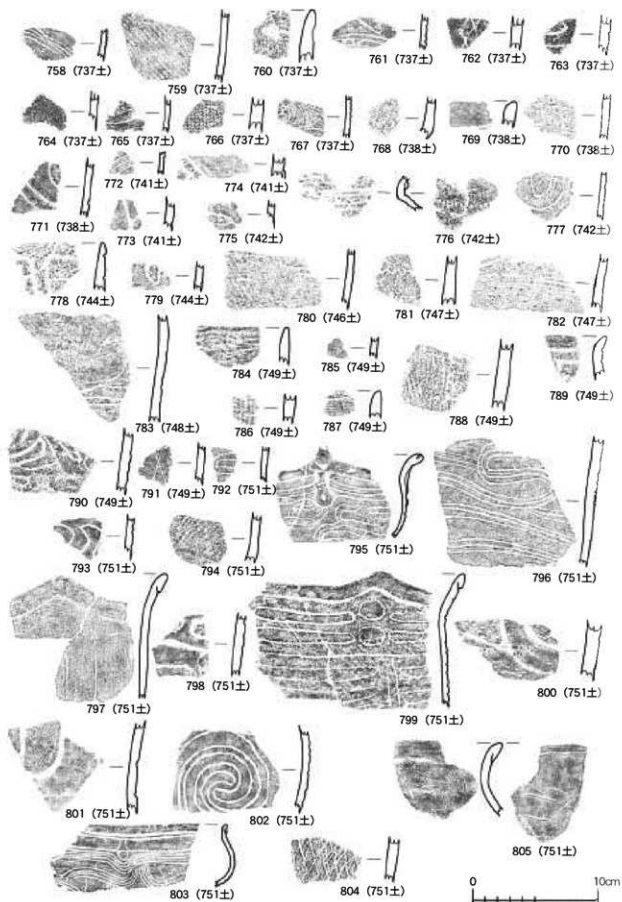
第181図 遺構内出土土器 (土坑) (27)



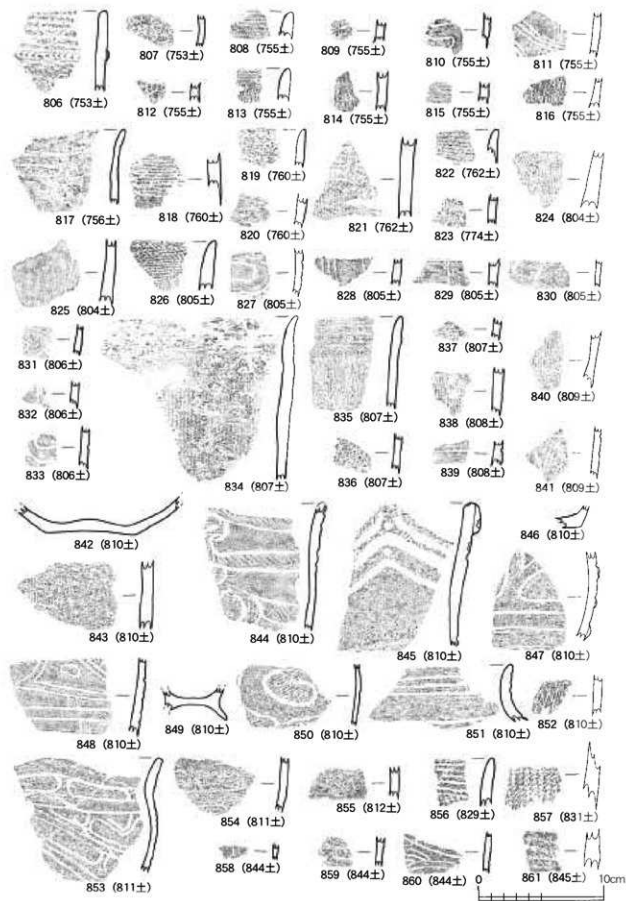
第182図 遺構内出土土器（土坑）(28)



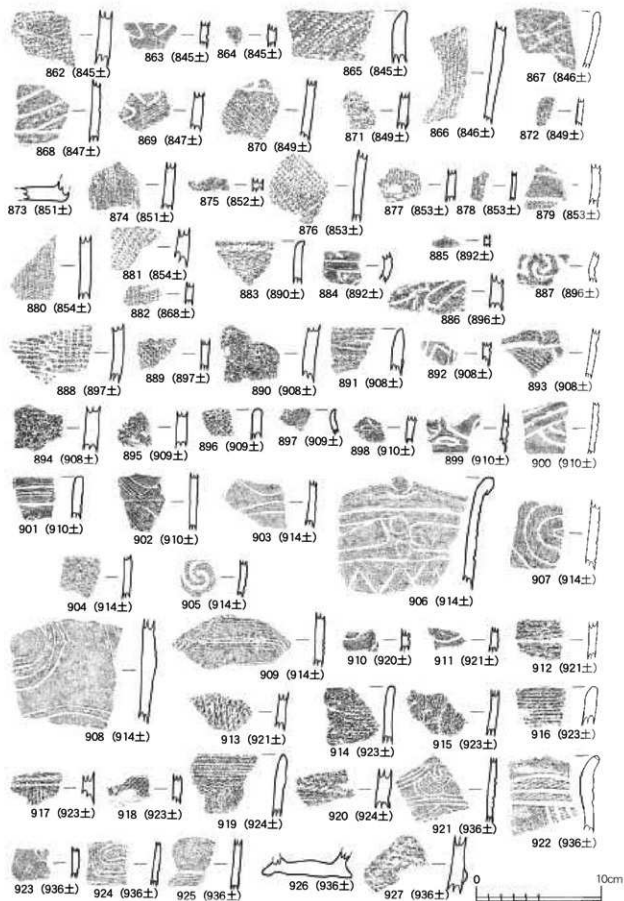
第183図 遺構内出土土器 (土坑) (29)



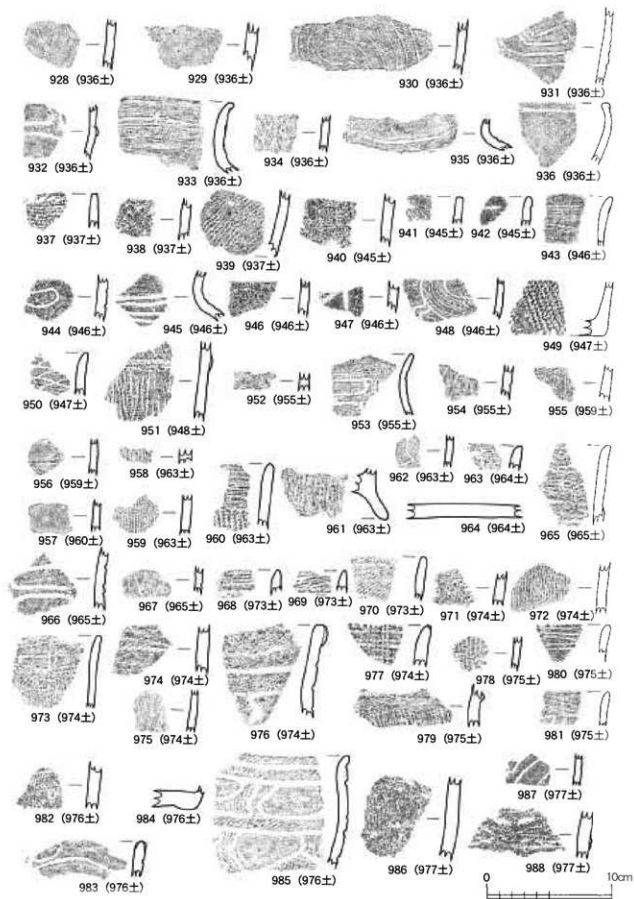
第184図 遺構内出土土器（土坑）(30)



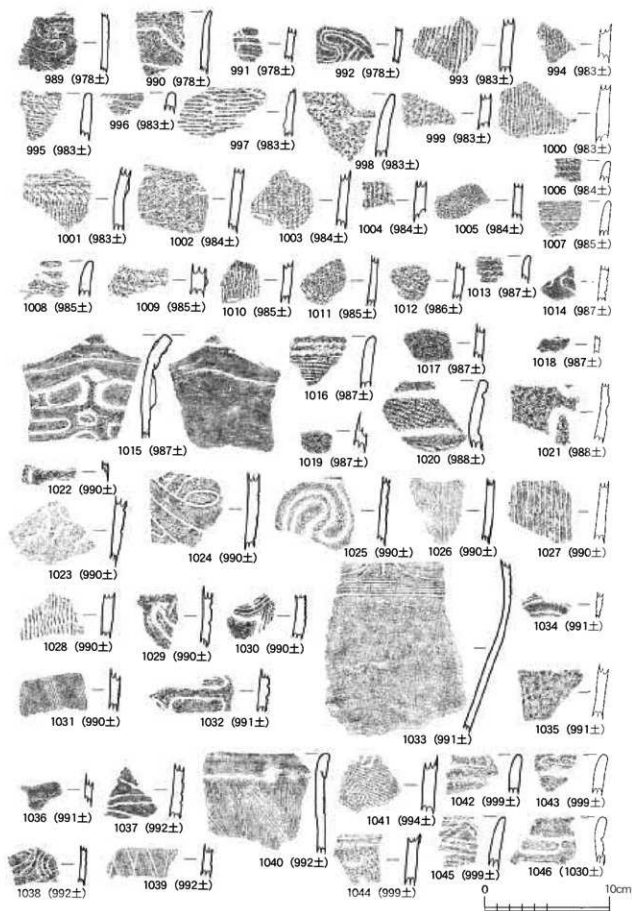
第185図 遺構内出土土器（土坑）(31)



第186図 遺構内出土土器 (土坑) (32)

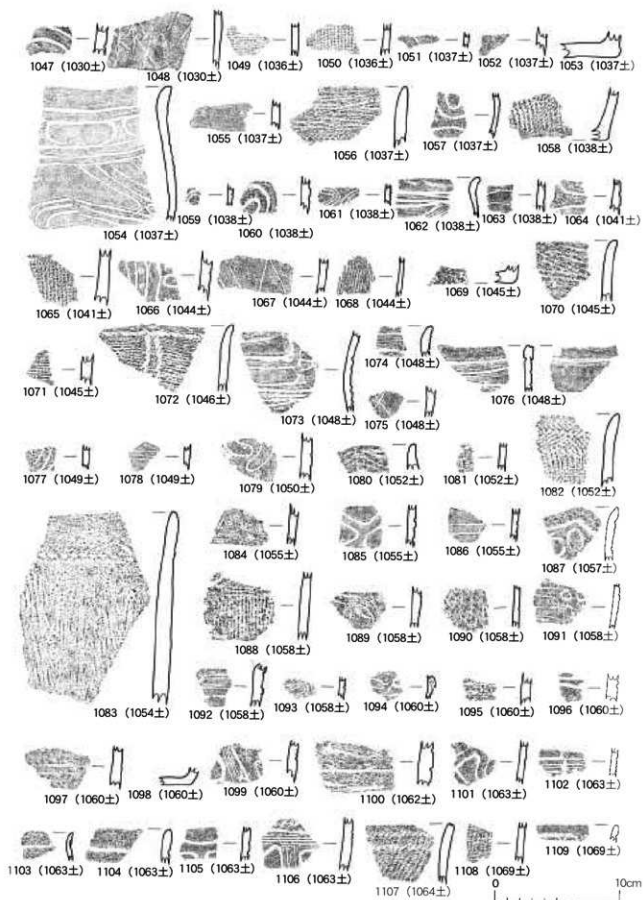


第187図 遺構内出土土器（土坑）(33)

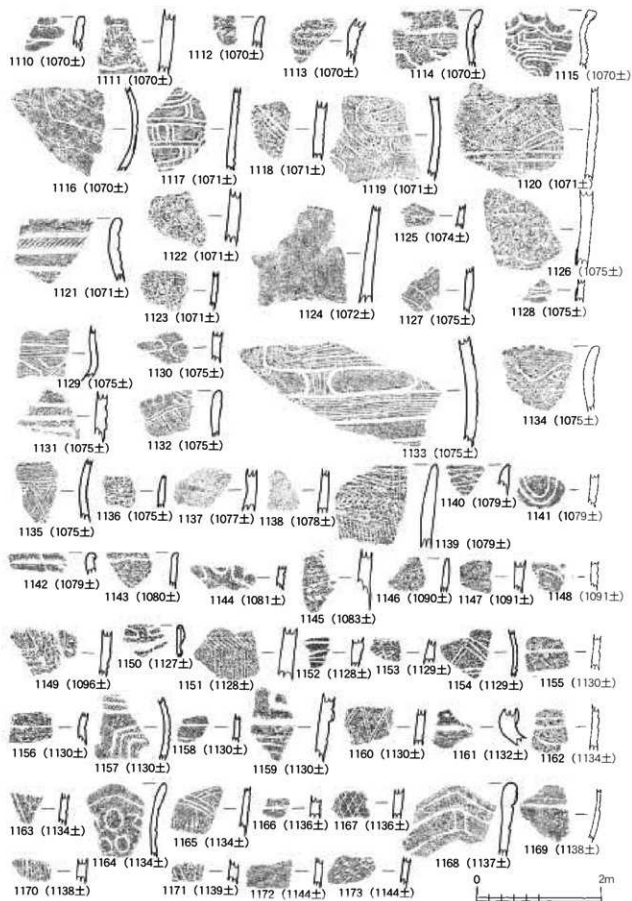


第188図 遺構内出土土器(土坑)(34)

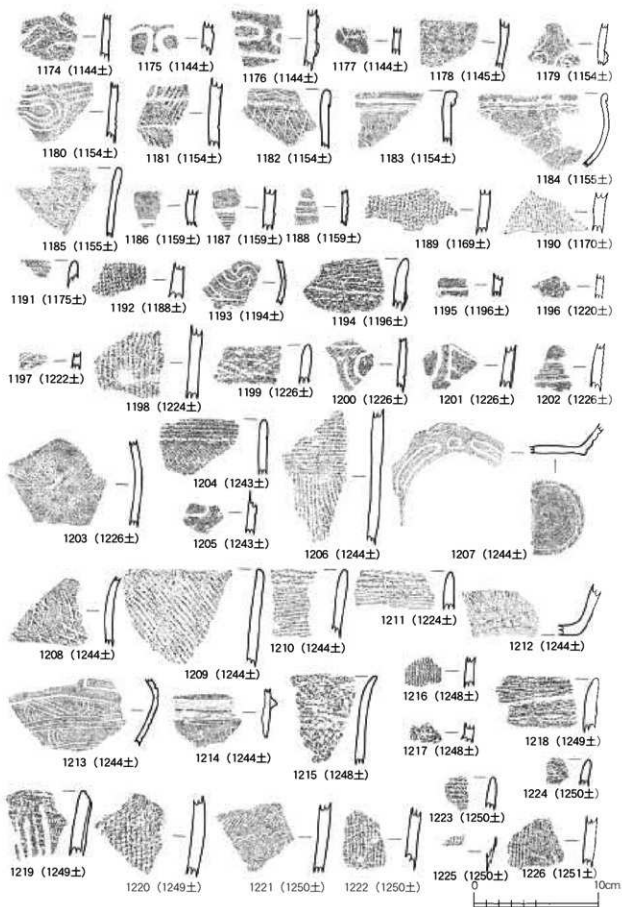




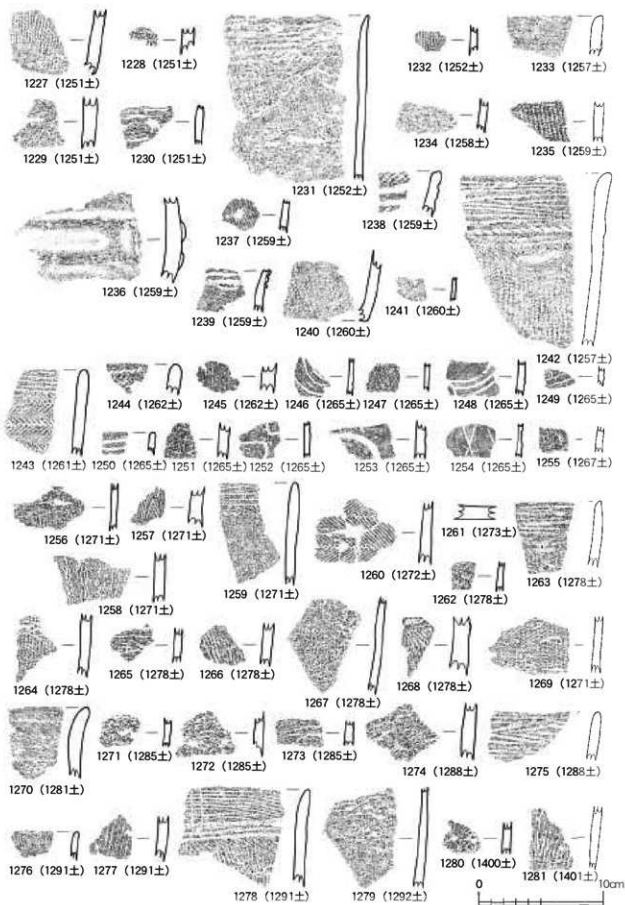
第189図 遺構内出土土器 (土坑) (35)



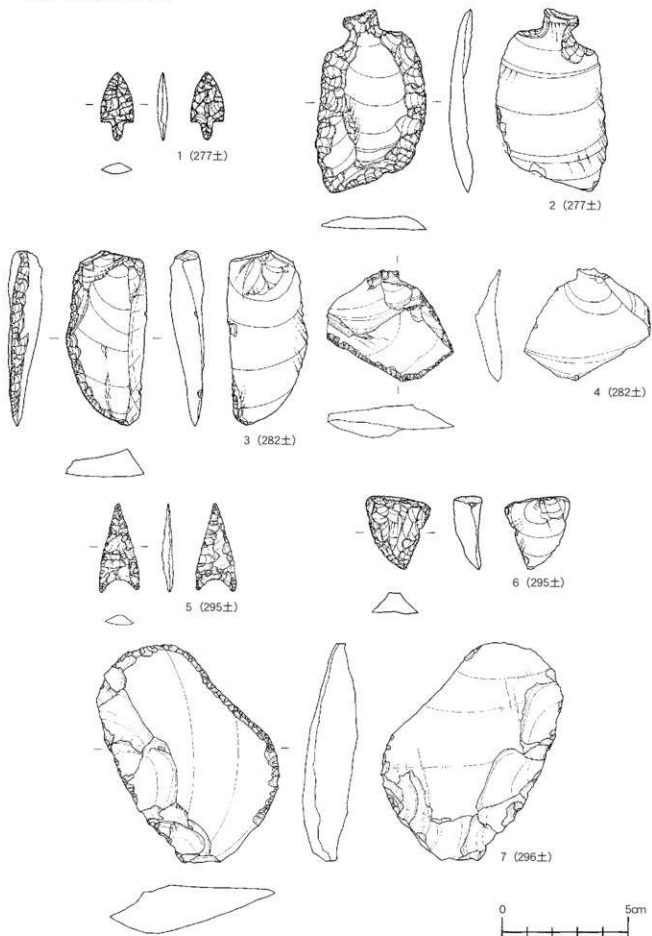
第190図 遺構内出土土器（土坑）(36)



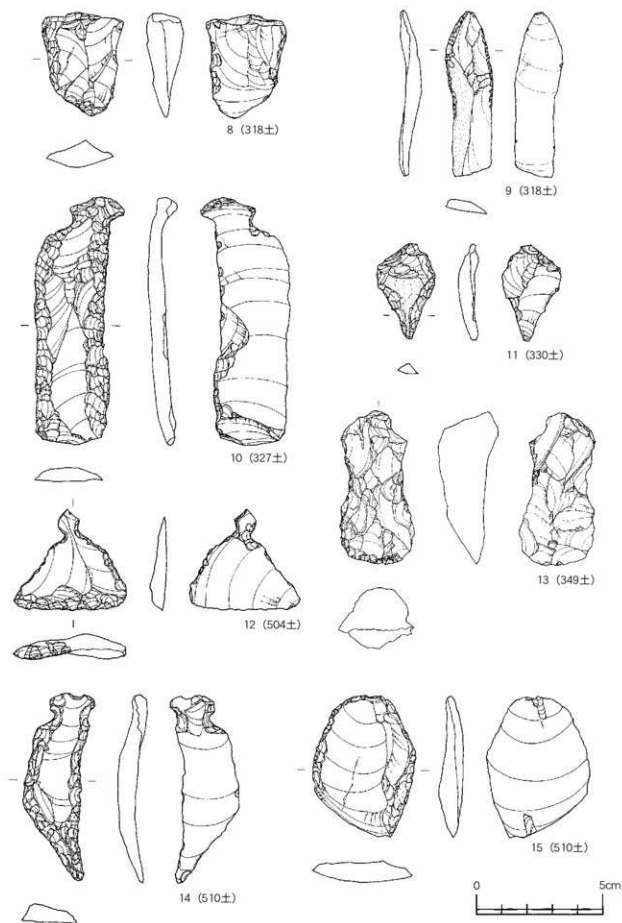
第191図 遺構内出土土器 (37)



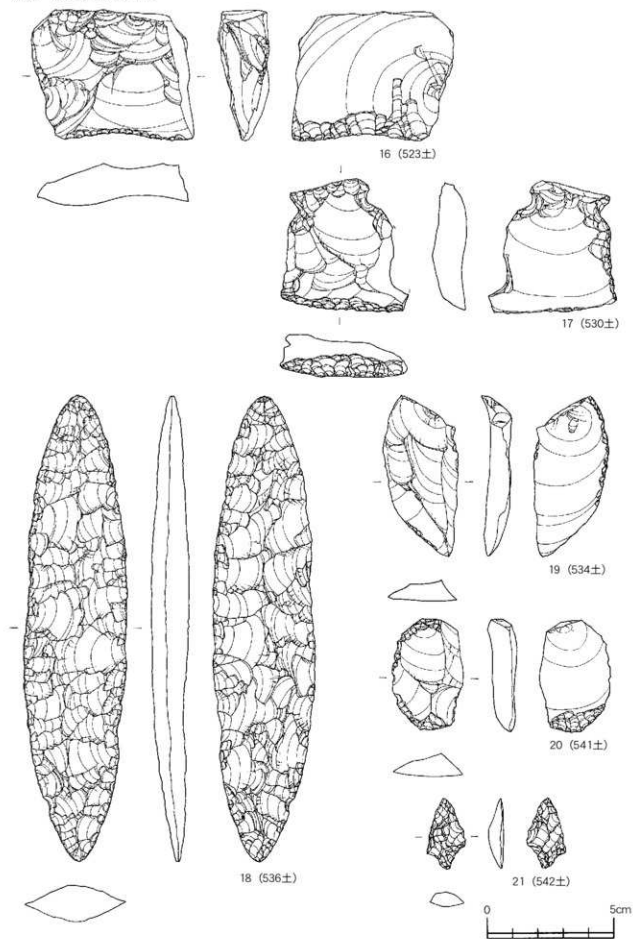
第192図 遺構内出土土器 (38)



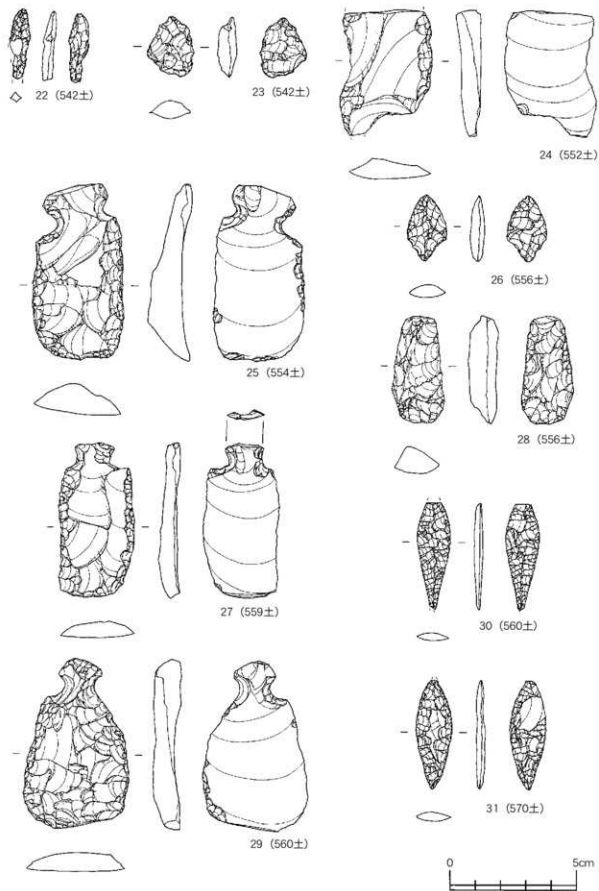
第193圖 遺構内出土石器(土坑)(1)



第194図 遺構内出土石器（土坑）(2)

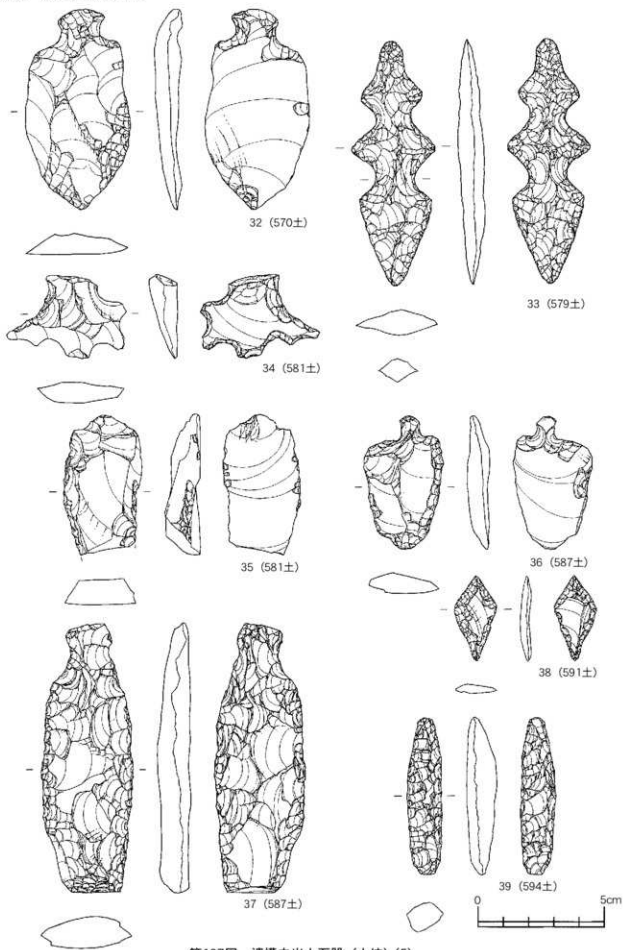


第195図 遺構内出土石器（土坑）(3)

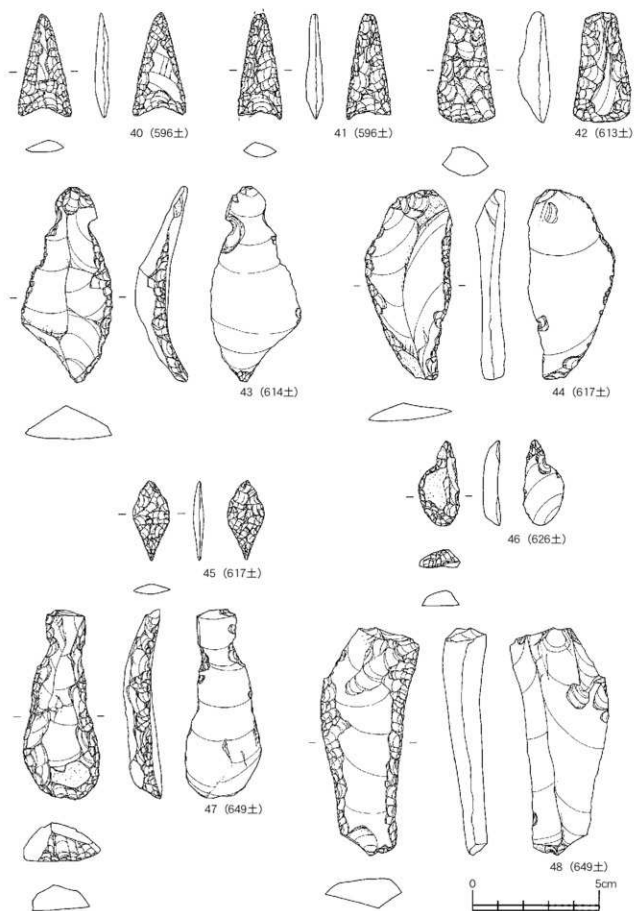


第196図 遺構内出土石器（土坑）(4)

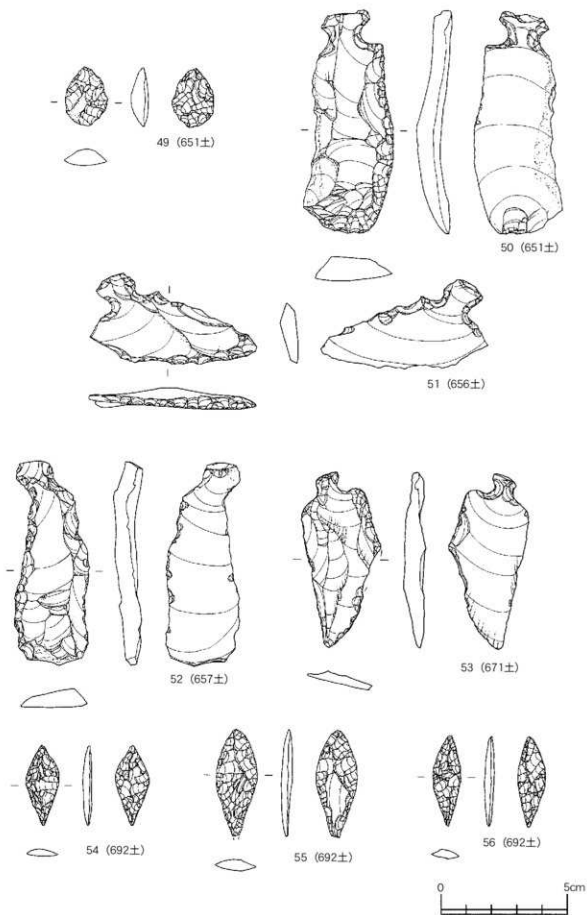




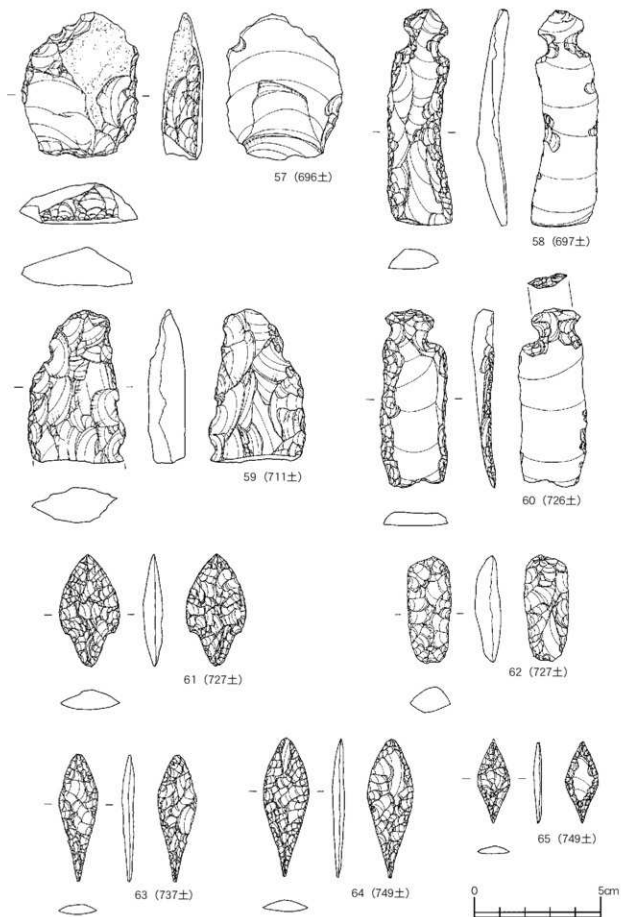
第197図 遺構内出土石器(土坑)(5)



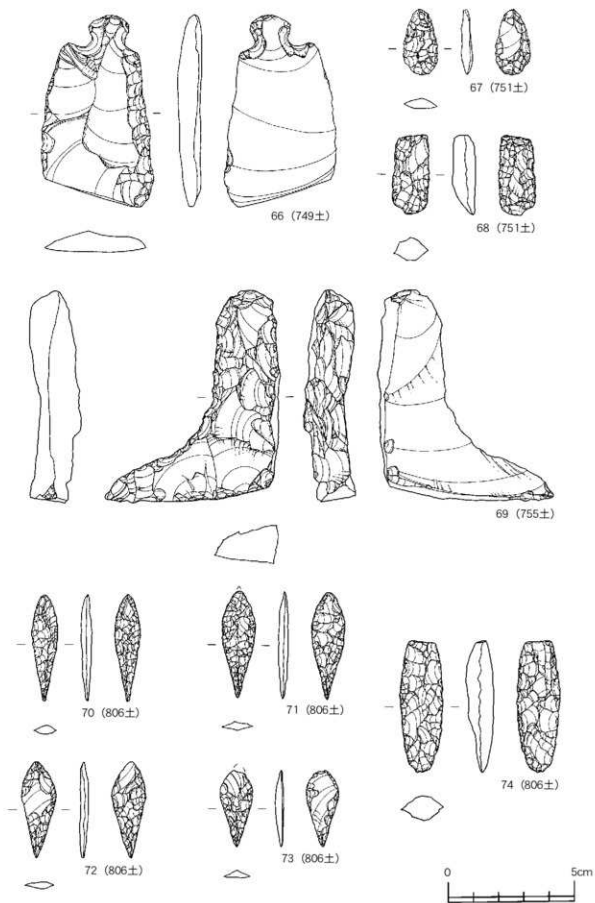
第198図 遺構内出土石器（土坑）(6)



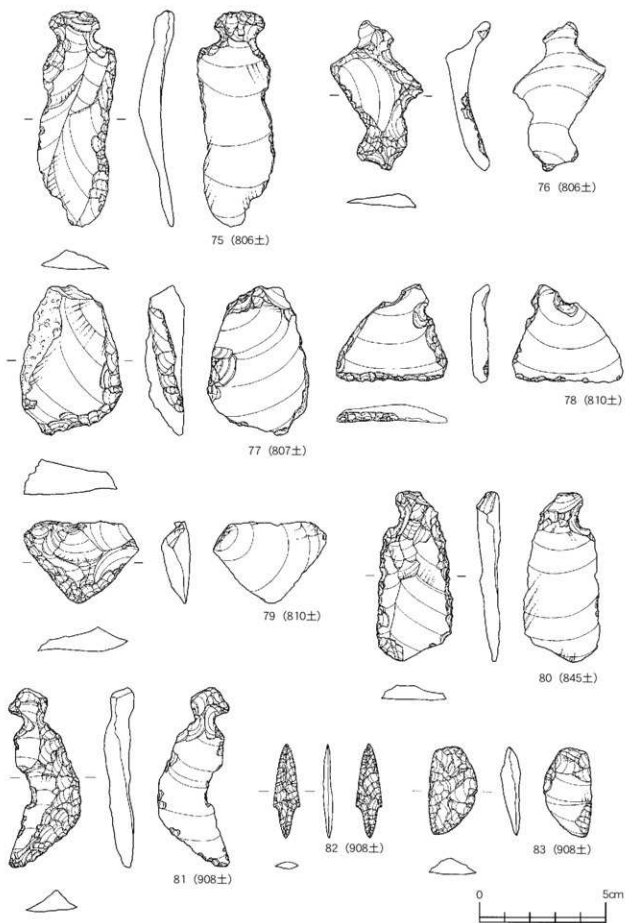
第199図 遺構内出土石器（土坑）(7)



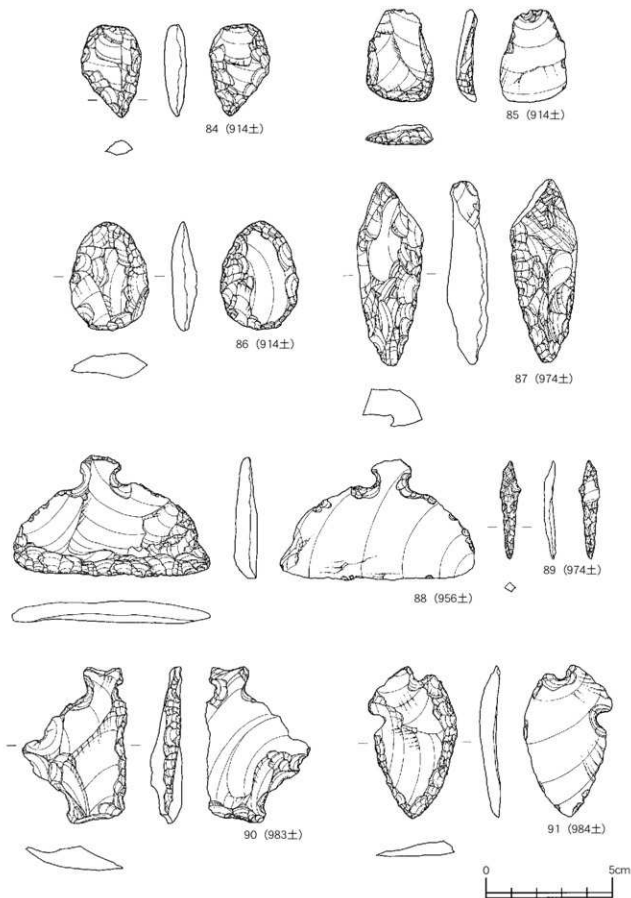
第200図 遺構内出土石器（土坑）(8)



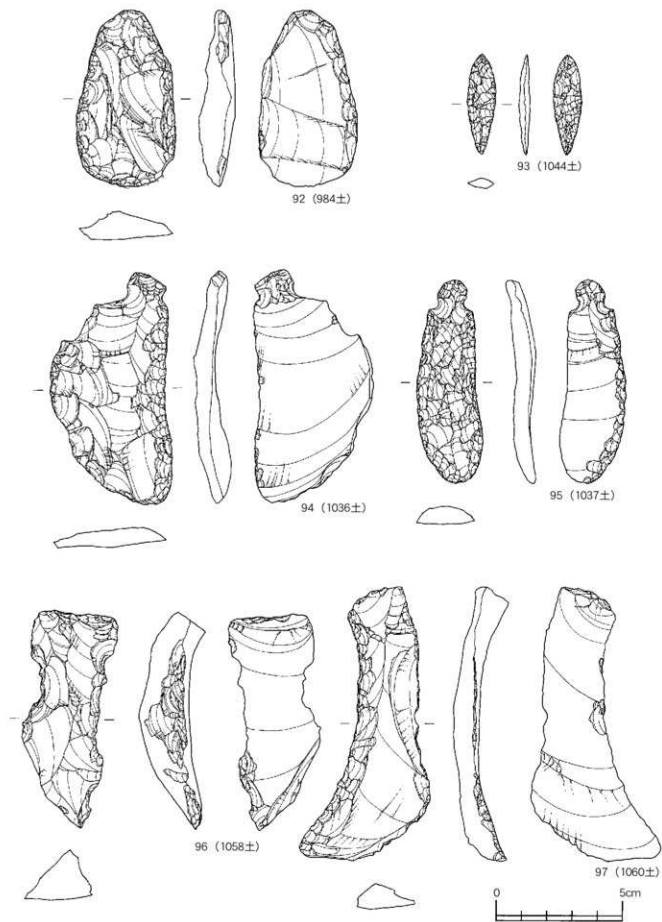
第201図 遺構内出土石器（土坑）(9)



第202図 遺構内出土石器（土坑）(10)

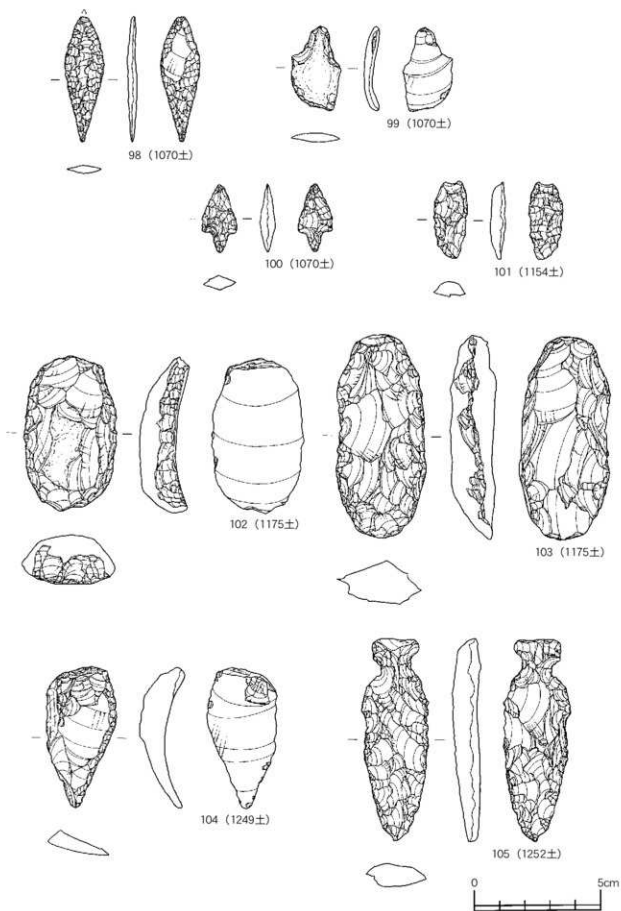


第203図 遺構内出土石器（土坑）(11)

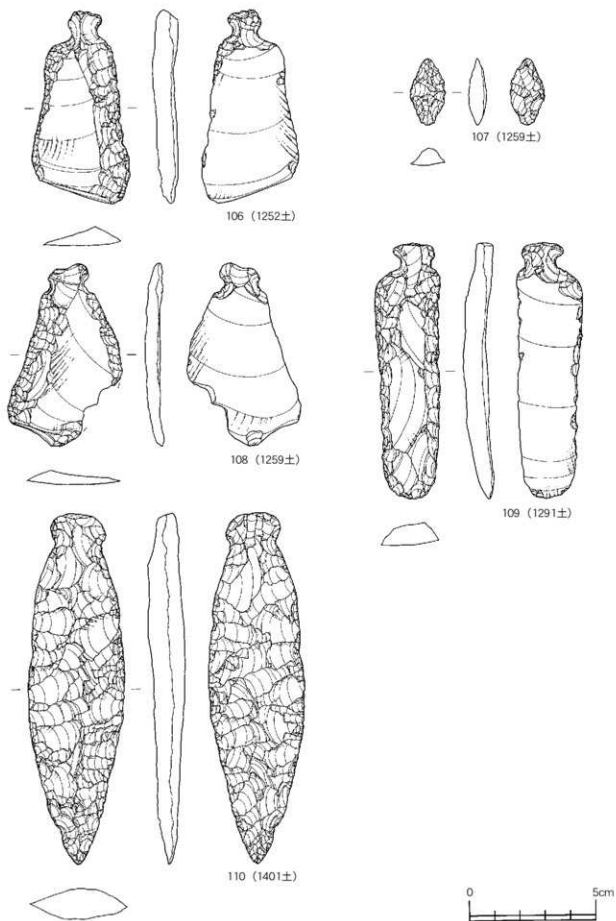


第204図 遺構内出土石器（土坑）(12)

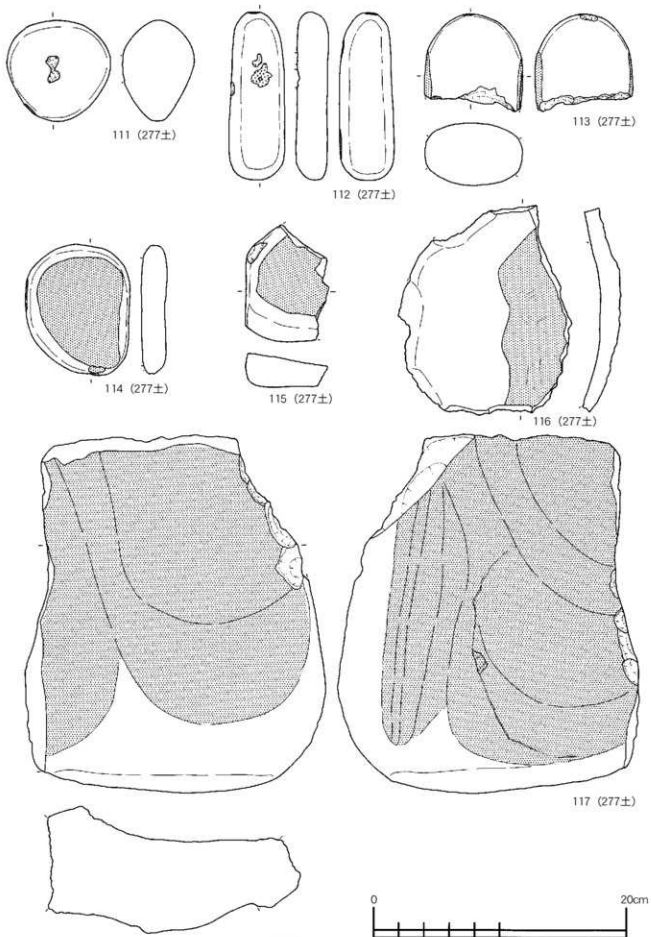




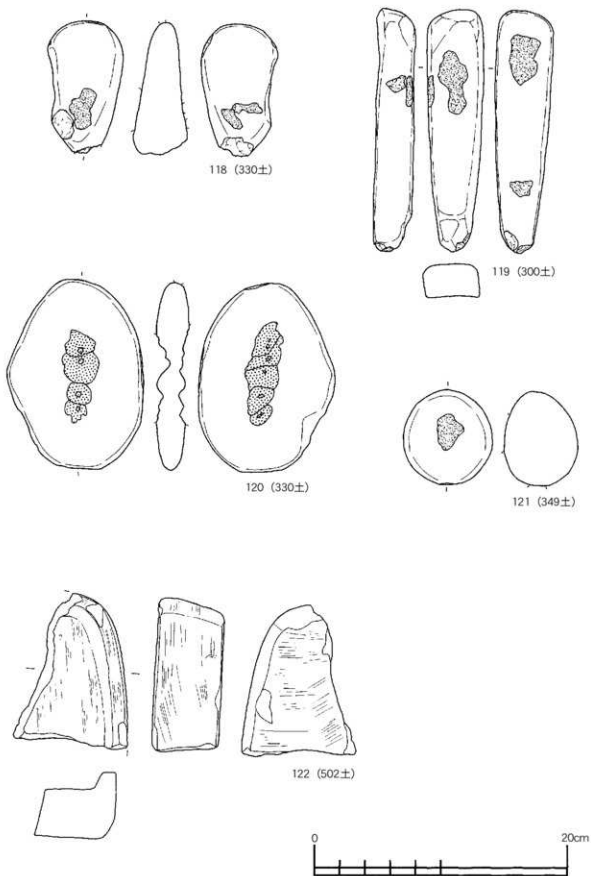
第205図 遺構内出土石器（土坑）(13)



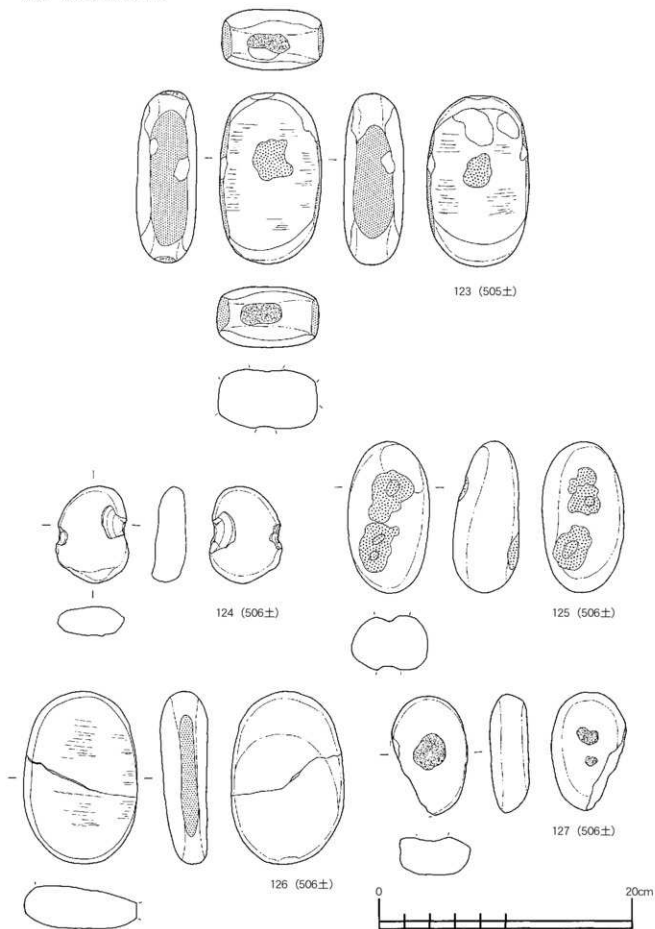
第206図 遺構内出土石器（土坑）(14)



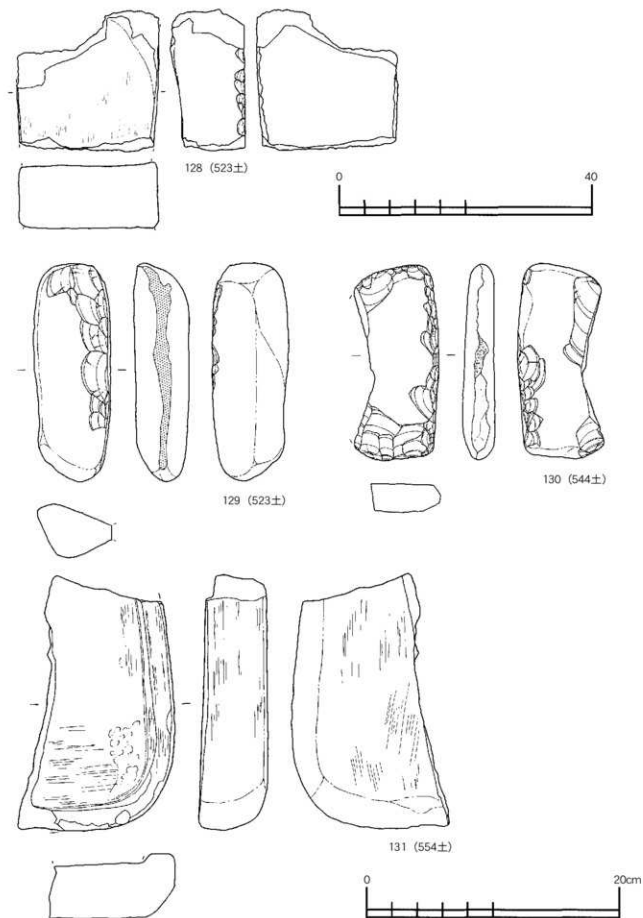
第207図 遺構内出土石器 (土坑) (15)



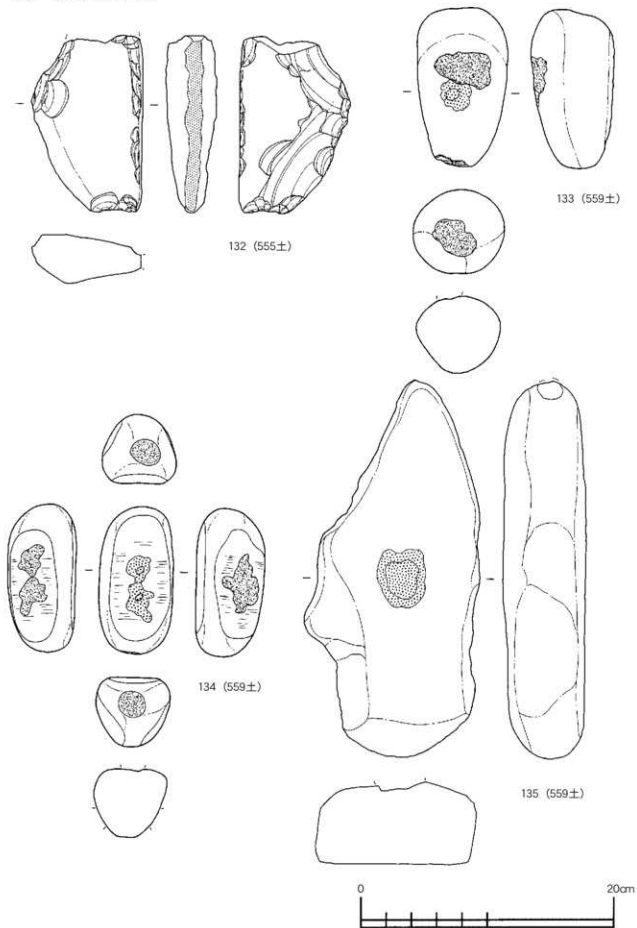
第208図 遺構内出土石器（土坑）(16)



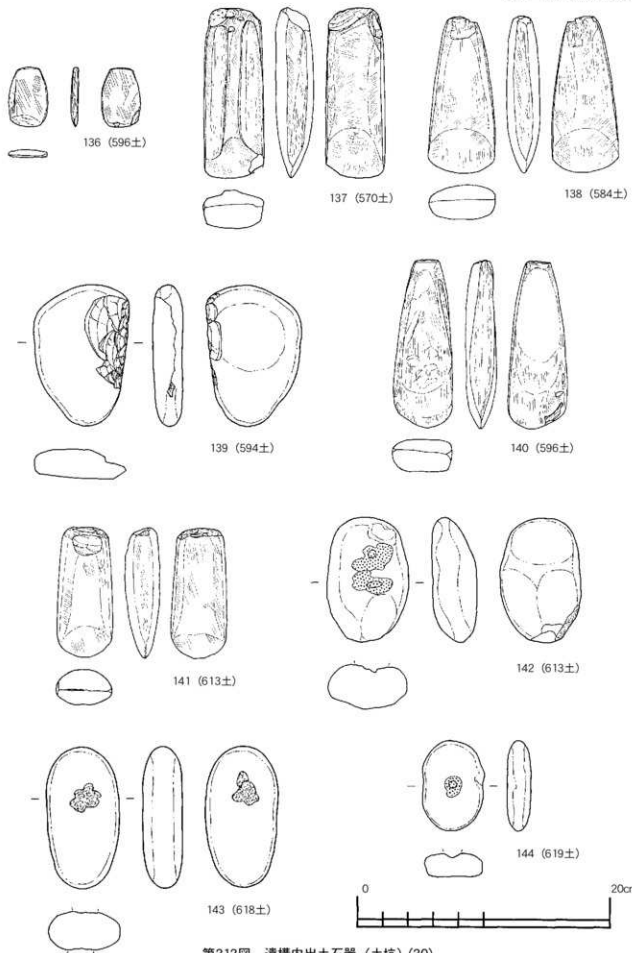
第209図 遺構内出土石器（土坑）(17)



第210図 遺構内出土石器（土坑）(18)

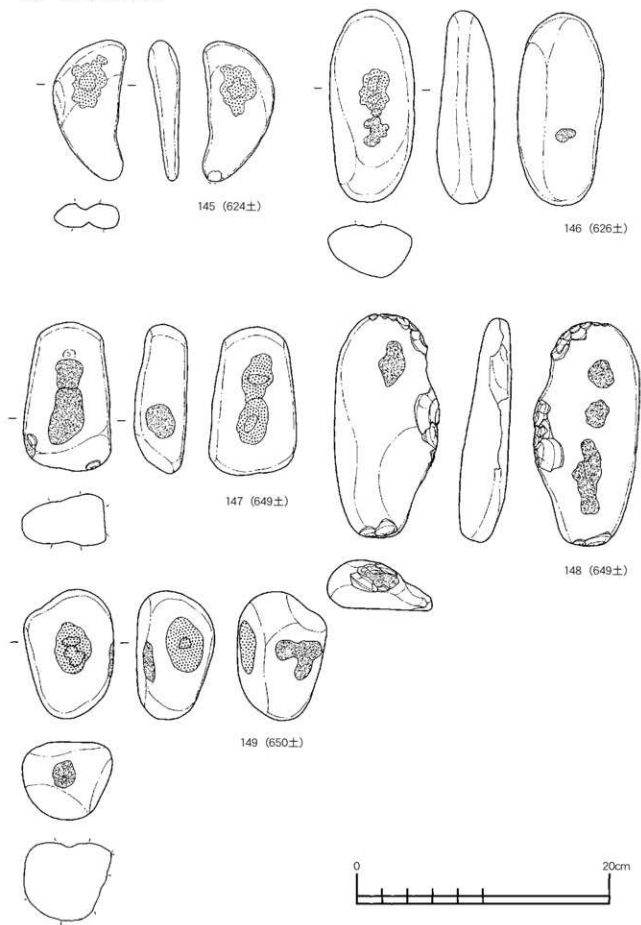


第211図 遺構内出土石器（土坑）(19)

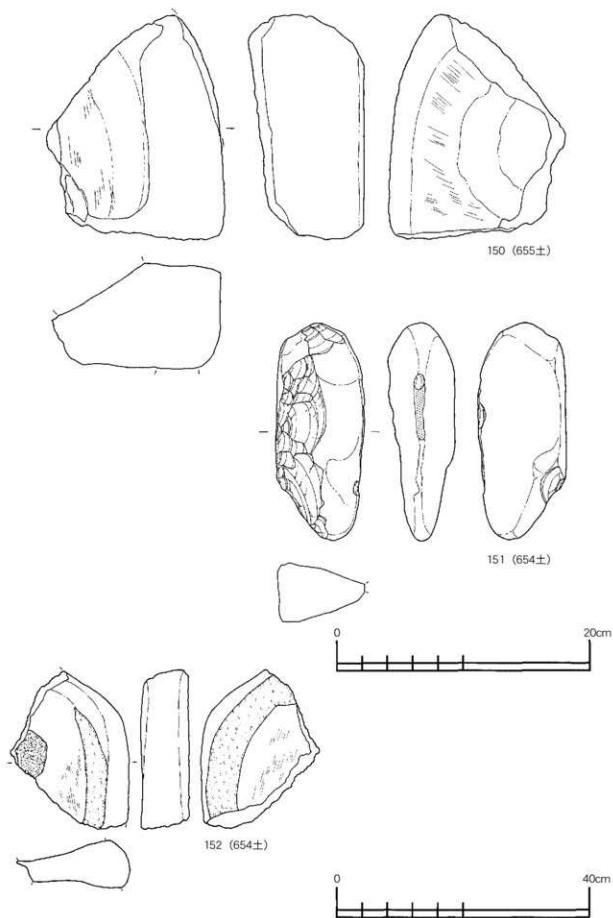


第212図 遺構内出土石器（土坑）(20)

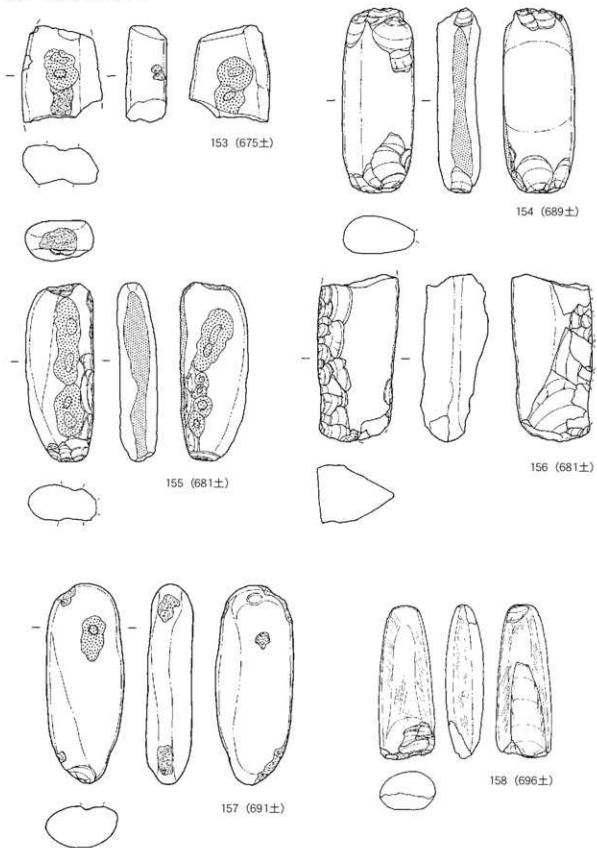




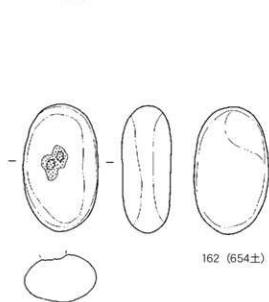
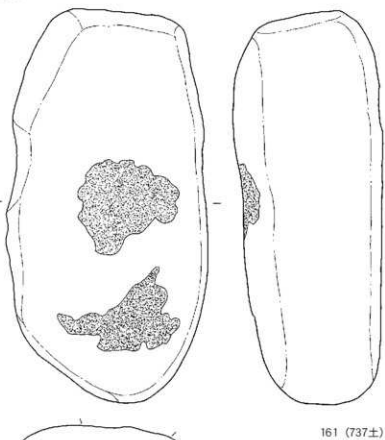
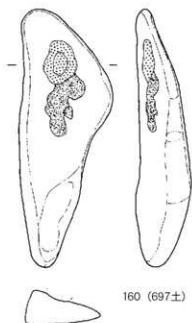
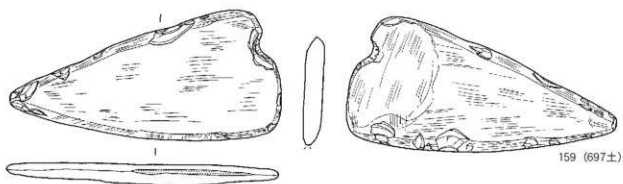
第213図 遺構内出土石器（土坑）(21)



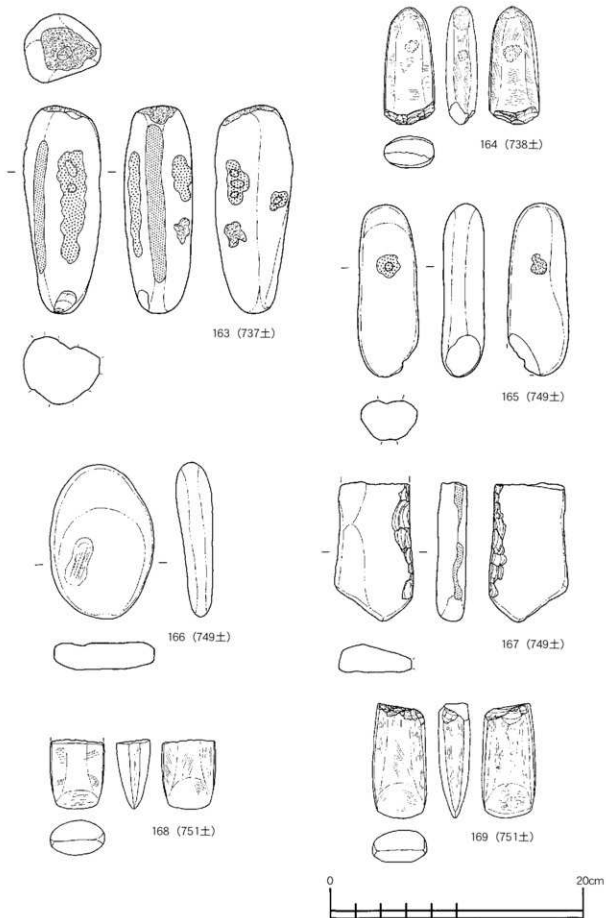
第214図 遺構内出土石器（土坑）(22)



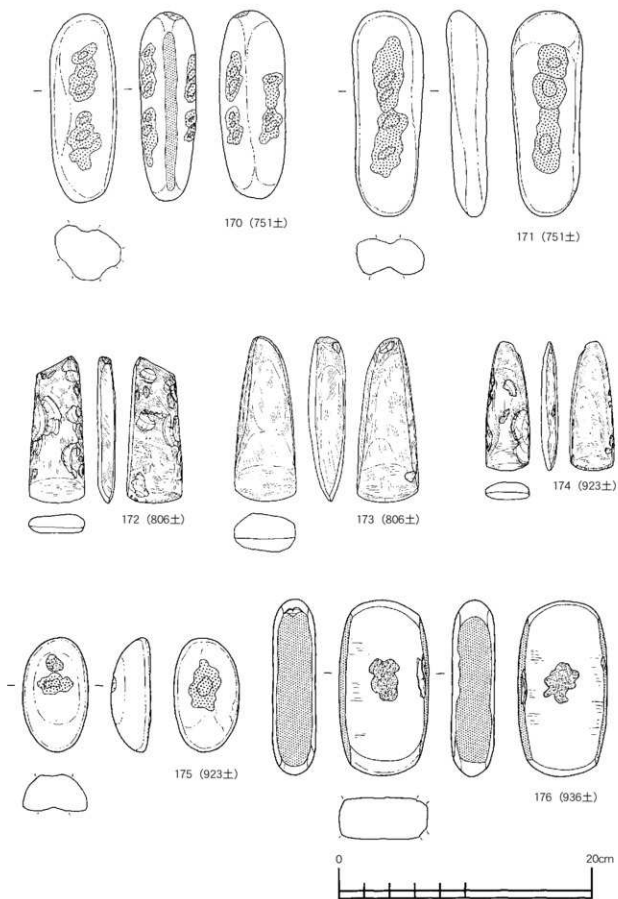
第215図 遺構内出土石器（土坑）(23)



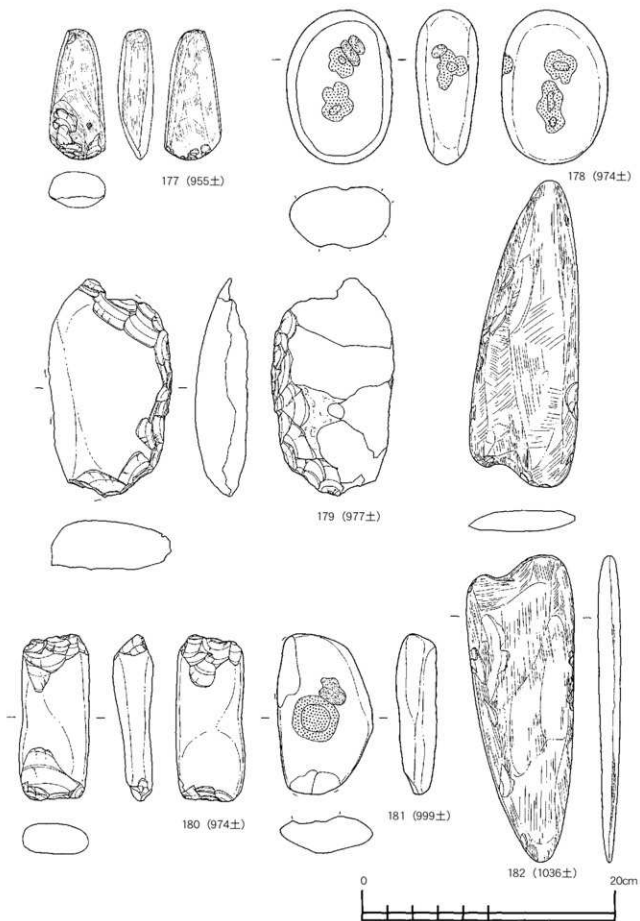
第216図 遺構内出土石器（土坑）(24)



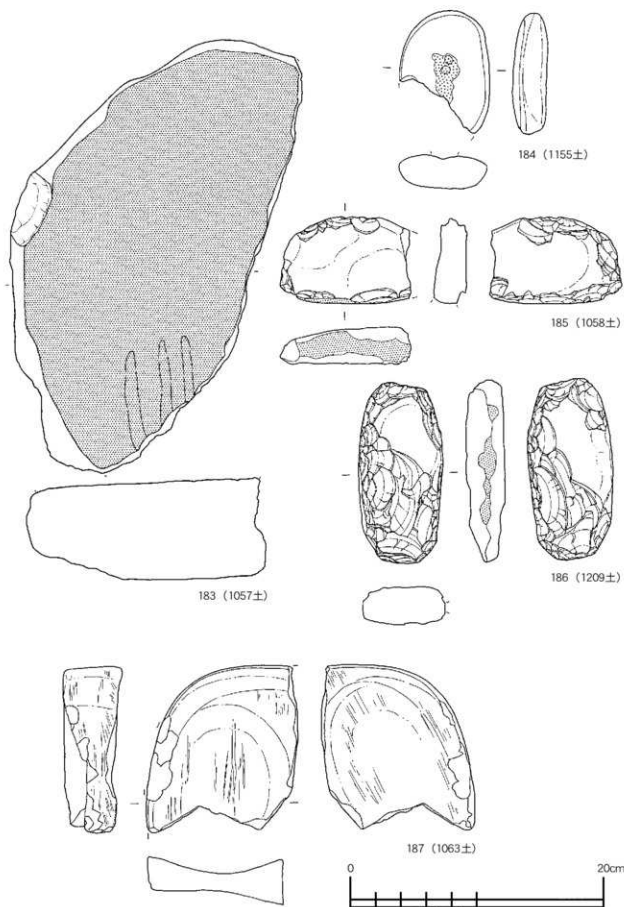
第217図 遺構内出土石器（土坑）(25)



第218図 遺構内出土石器（土坑）(26)

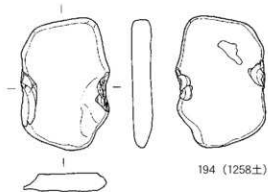
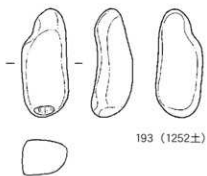
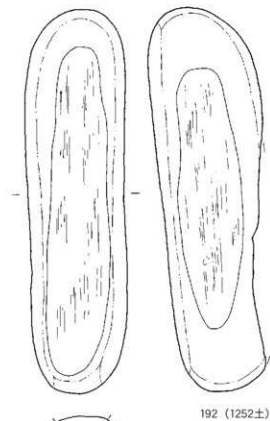
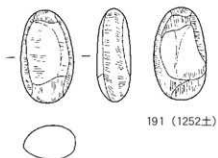
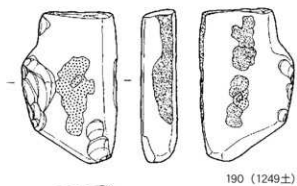
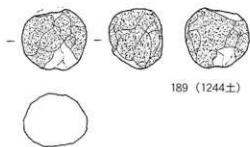
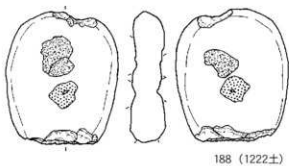


第219図 遺構内出土石器（土坑）(27)

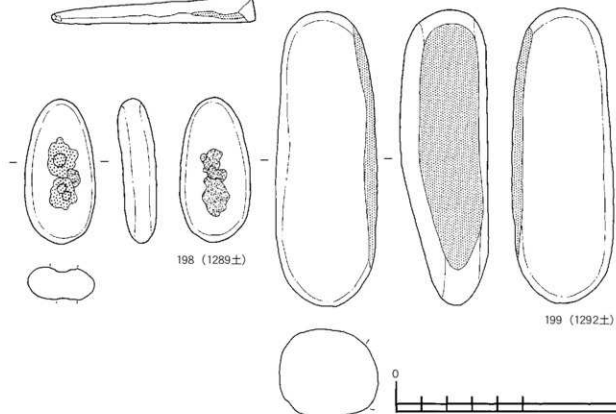
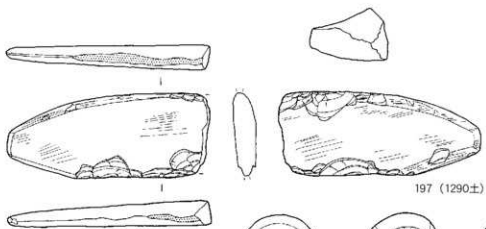
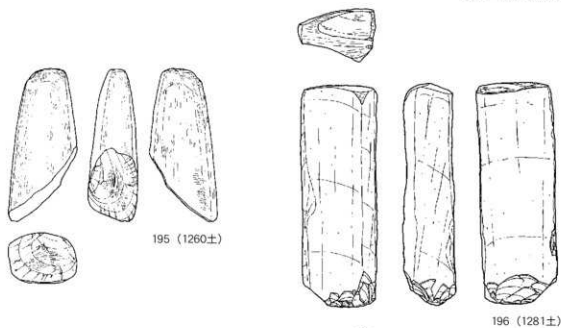


第220図 遺構内出土石器（土坑）(28)

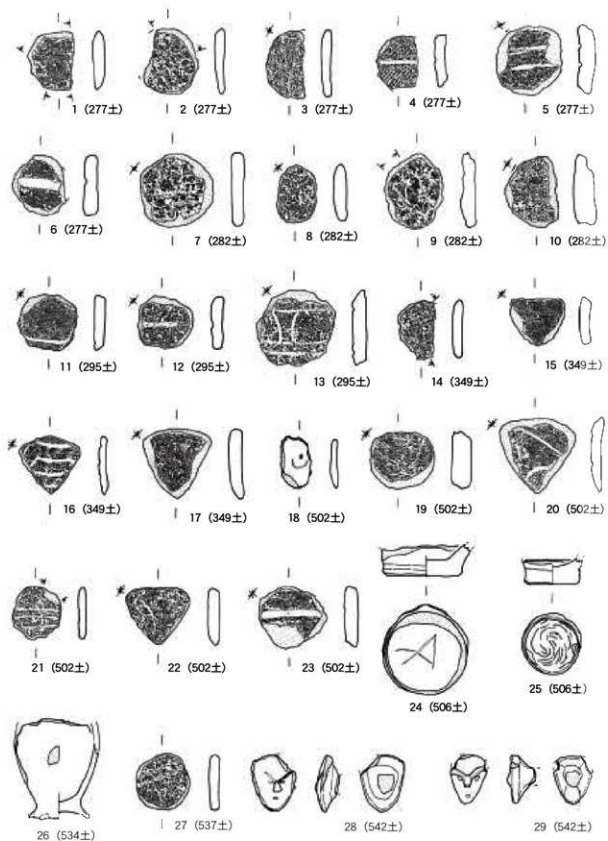




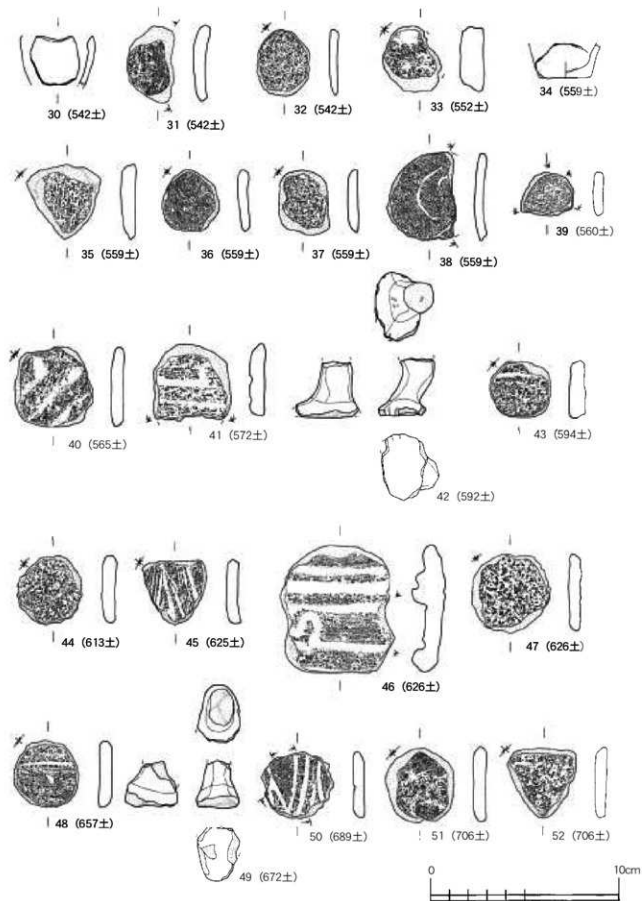
第221図 遺構内出土石器（土坑）(29)



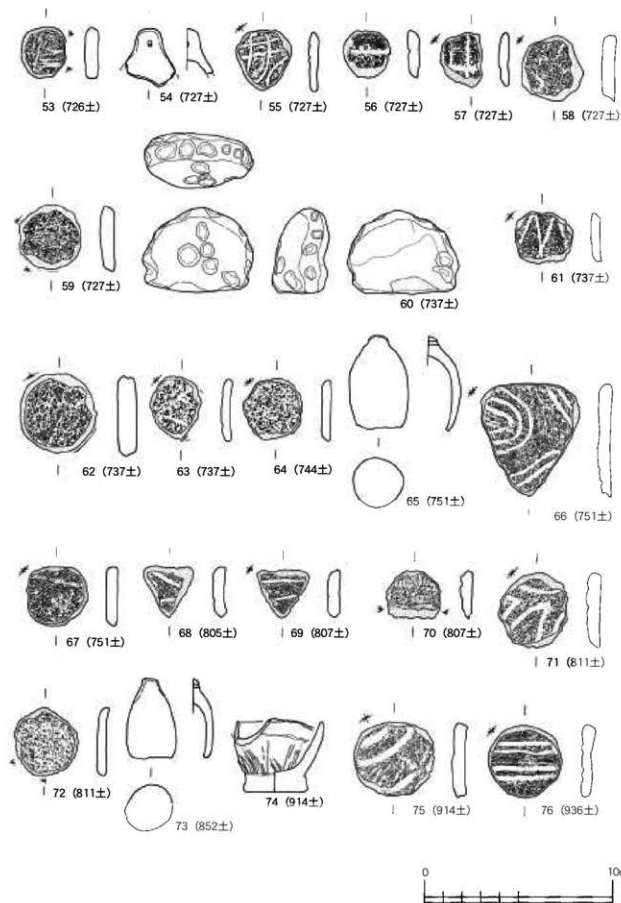
第222図 遺構内出土石器（土坑）(30)



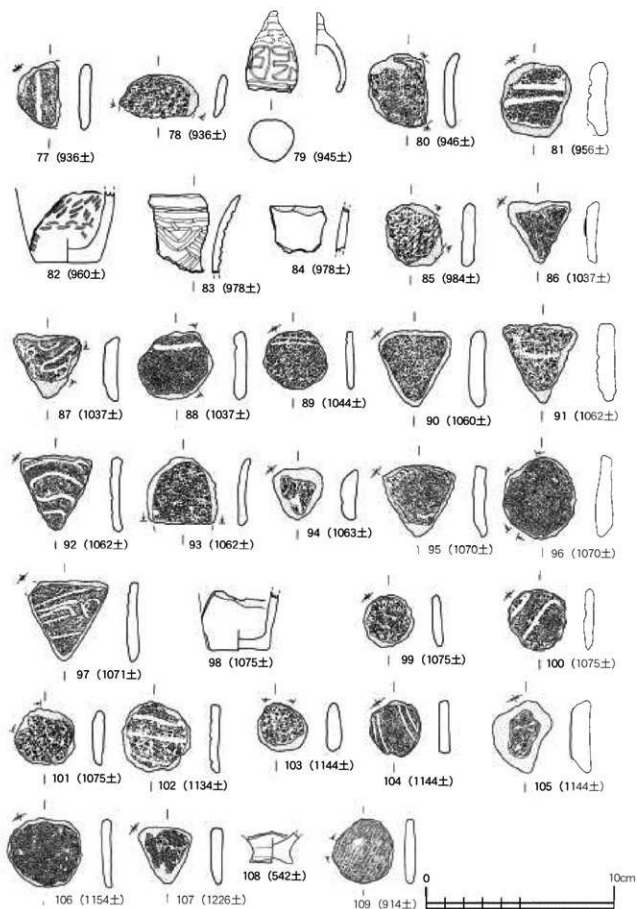
第223図 遺構内出土土製品（土坑）(1)



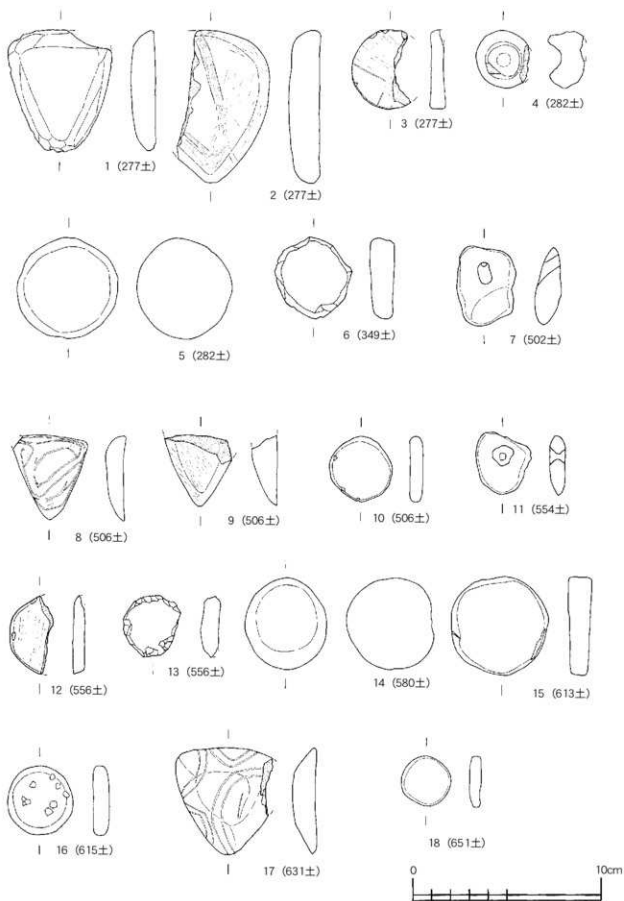
第224図 遺構内出土土製品 (土坑) (2)



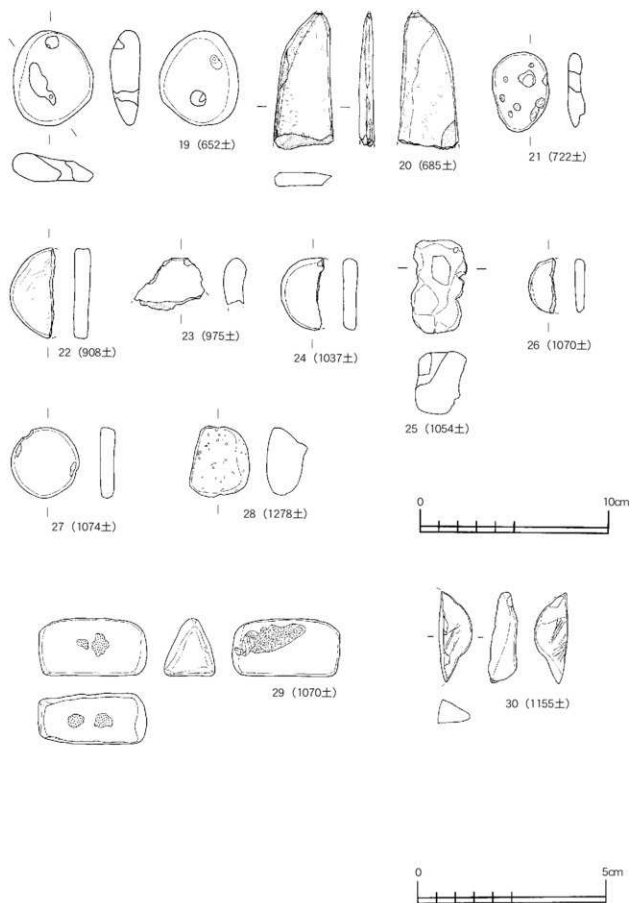
第225図 遺構内出土土製品（土坑）(3)



第226図 遺構内出土土製品 (土坑) (4)



第227図 遺構内出土石製品(土坑)(1)



第228図 遺構内出土石製品（土坑）(2)



### 3. 埋設土器遺構

#### 第 号埋設土器遺構（第 図）

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 c 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cmを測る。

[堆積土] 土器内部を2層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器（第 図1）が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代末葉と考えられる。

#### 第 号埋設土器遺構（第 図）

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 c 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cmを測る。

[堆積土] 土器内部を3層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類、6類に属する深鉢形土器（第 図2、4）が正立した状態で埋設されていた。また、覆土より第 群6類に属する深鉢形土器（第 図3）が出土した。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第 号埋設土器遺構（第 図）

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 c 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cmを測る。

[堆積土] 土器内部を2層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器（第 図5）が倒立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第 号埋設土器遺構（第 図）

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cmを測る。

[堆積土] 土器内部を2層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群5 a類に属する深鉢形土器（第 図6）が倒立した状態で埋設されていた。また、覆土中から敲磨器類4類Bが1点（第 図8）出土した。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

#### 第 号埋設土器遺構（第 図）

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 c 層において確認した。

[重複] なし。

- [平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cmを測る。  
 [堆積土] 土器内部を2層に分層した。  
 [出土遺物・状況] 第 群6類に属する深鉢形土器(第 図 )が倒立した状態で埋設されていた。  
 また、覆土中から石匙1類が1点(第 図7)、敲磨器類1類Aが1点(第 図9)出土した。  
 [時期] 出土土器から縄文時代前期後半と考えられる。

## 第 号埋設土器遺構(第 図)

- [位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第 c層において確認した。  
 [重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。  
 [平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cmを測る。  
 [堆積土] 土器内部を1層に分層した。  
 [出土遺物・状況] 第 群5a類に属する深鉢形土器(第 図 )が正立した状態で埋設されていた。  
 [時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

## 第 号埋設土器遺構(第 図)

- [位置・確認層] AF - グリッドに位置する。第 c層及び第 号竪穴式住居跡覆土において確認した。  
 [重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。  
 [平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cmを測る。  
 [堆積土] 土器内部を4層に分層した。  
 [出土遺物・状況] 第 群5a類に属する深鉢形土器(第 、 図 、 )が正立した状態で2個体重ね合わせて埋設されていた。  
 [時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

## 第 号埋設土器遺構(第 図)

- [位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第 層において確認した。  
 [重複] なし。  
 [平面形・規模] 掘り方は不整な円形を呈する。規模は、開口部で cmを測る。深さは土器最高面から最低面まで cmを測る。  
 [堆積土] 土器内部を含め、3層に分層した。  
 [出土遺物・状況] 第 群類に属する深鉢形土器(第 図 )が正立した状態で埋設されていた。  
 [時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

## 第 号埋設土器遺構(第 図)

- [位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第 c層において確認した。  
 [重複] なし。  
 [平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cmを測る。  
 [堆積土] 土器内部を1層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群 6 類に属する深鉢形土器(第 図)が斜位の状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期後半と考えられる。

第 号埋設土器遺構(第 図)

[位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 c 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで 9 cm を測る。

[堆積土] 土器内部を 1 層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群 5 a 類に属する深鉢形土器(第 図)が倒立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

第 号埋設土器遺構(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。第 号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cm を測る。

[堆積土] 土器内部を 1 層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群 5 a 類に属する深鉢形土器(第 図)が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

第 号埋設土器遺構(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 号竪穴式住居跡覆土において確認した。

[重複] 第 号竪穴式住居跡と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cm を測る。

[堆積土] 土器内部を 1 層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群 5 a 類に属する深鉢形土器(第 図)が倒立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期末葉と考えられる。

第 号埋設土器遺構(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。第 c 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cm を測る。

[堆積土] 土器内部を含め 2 層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群 6 類に属する深鉢形土器(第 図)が倒立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器から縄文時代前期後半と考えられる。

第 号埋設土器遺構(第 図)

[位置・確認層] Y - に位置する。第 a 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは、土器最高面から最低面まで cmを測る。

[堆積土] 第 a層が堆積する。

[出土遺物・状況] 第 群3、4、類に属する壺形土器(第 図)、鉢形土器(第 図、  
、)が正立し重ね合わせた状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器より縄文時代後期前葉と考えられる。

#### 第 号埋設土器遺構(第 図)

[位置・確認層] X - グリッドに位置する。第 a層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 明確な掘り方は確認できなかった。深さは土器最高面から最低面まで cmを測る。

[堆積土] 土器内部を1層に分層した。

[出土遺物・状況] 第 群4類に属する壺形土器(第 図)が正立した状態で埋設されていた。

[時期] 出土土器より縄文時代後期前葉と考えられる。

第26号埋設土器遺構

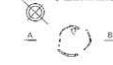


A 29.576m B



- 第26号埋設土器遺構  
1. 暗緑色土 (75YR3/3) ローム粒少量、炭化物、炭化物少量  
2. 褐色土 (75YR4/6) ローム粒・炭化物少量

第36号埋設土器遺構



A 29.909m B

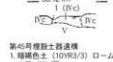


- 第36号埋設土器遺構  
1. 褐色土 (75YR4/6) ローム粒少量

第45号埋設土器遺構



A 30.121m B



- 第45号埋設土器遺構  
1. 暗緑色土 (10YR3/3) ローム粒少量 (Nc層)

第58号埋設土器遺構

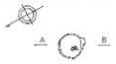


A 30.241m B



- 第58号埋設土器遺構  
1. 白・淡緑色土 (10YR5/4) ローム粒中量  
2. 黄褐色土 (10YR5/6) ローム粒中量

第27号埋設土器遺構



A 29.806m B

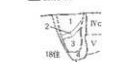


- 第27号埋設土器遺構  
1. 褐色土 (75YR4/3) 炭化物少量、ローム粒少量  
2. 褐色土 (75YR4/4) ローム粒、炭化物少量  
3. 褐色土 (75YR4/3) 褐色土 (75YR4/4) 少量、炭化物少量

第42号埋設土器遺構



A 29.691m B



- 第42号埋設土器遺構  
1. 暗緑色土 (10YR3/4) と黄褐色土 (10YR2/3) の混合土 ローム粒少量  
2. 黄褐色土 (10YR2/3) ローム粒少量  
3. 黒色土 (10YR2/1) ローム粒少量  
4. 黄褐色土 (10YR2/3) ローム粒少量

第47号埋設土器遺構



A 28.841m B



- 第47号埋設土器遺構  
1. 褐色土 (10YR4/6) 炭化物少量

第28号埋設土器遺構



A 29.712m B



- 第28号埋設土器遺構  
1. 暗緑色土 (75YR3/3) と褐色土 (75YR4/4) の混合土 ローム粒少量、炭化物少量  
2. 褐色土 (75YR4/4) ローム粒少量、炭化物少量

第43号埋設土器遺構



A 29.691m B



- 第43号埋設土器遺構  
1. 暗緑色土 (10YR3/3) の混合土 ローム粒少量  
2. 褐色土 (75YR4/4) ローム粒少量  
3. 褐色土 (75YR4/6) ローム粒少量

第50号埋設土器遺構

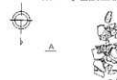


A 28.841m B

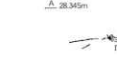


- 第50号埋設土器遺構  
1. 暗緑色土 (10YR3/4) ローム粒少量、円筒状

第61号埋設土器遺構



A 28.345m B



- 第61号埋設土器遺構  
1. 暗緑色土 (10YR3/4) ローム粒少量、円筒状

第30号埋設土器遺構

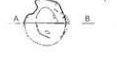


A 29.194m B



- 第30号埋設土器遺構  
1. 暗緑色土 (75YR3/3) ローム粒、炭化物少量  
2. 褐色土 (75YR4/4) ローム粒、炭化物少量

第43号埋設土器遺構



A 29.245m B



- 第43号埋設土器遺構  
1. 黄褐色土 (10YR5/6) ローム粒・角礫少量  
2. 褐色土 (75YR4/4) ローム粒少量  
3. 褐色土 (75YR4/6) ローム粒少量

第50号埋設土器遺構



A 29.361m B



- 第50号埋設土器遺構  
1. 暗緑色土 (10YR3/4) ローム粒少量、円筒状

第32号埋設土器遺構



A 30.106m B

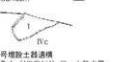


- 第32号埋設土器遺構  
1. 黒色土 (75YR2/1) ローム粒・炭化物少量  
2. 黒色土 (75YR17/1) と褐色土 (75YR4/4) の混合土 ローム粒・炭化物少量

第44号埋設土器遺構



A 30.105m B



- 第44号埋設土器遺構  
1. 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量

第44号埋設土器遺構



A 30.105m B

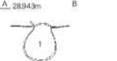


- 第44号埋設土器遺構  
1. 褐色土 (10YR4/4) ローム粒少量

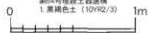
第64号埋設土器遺構



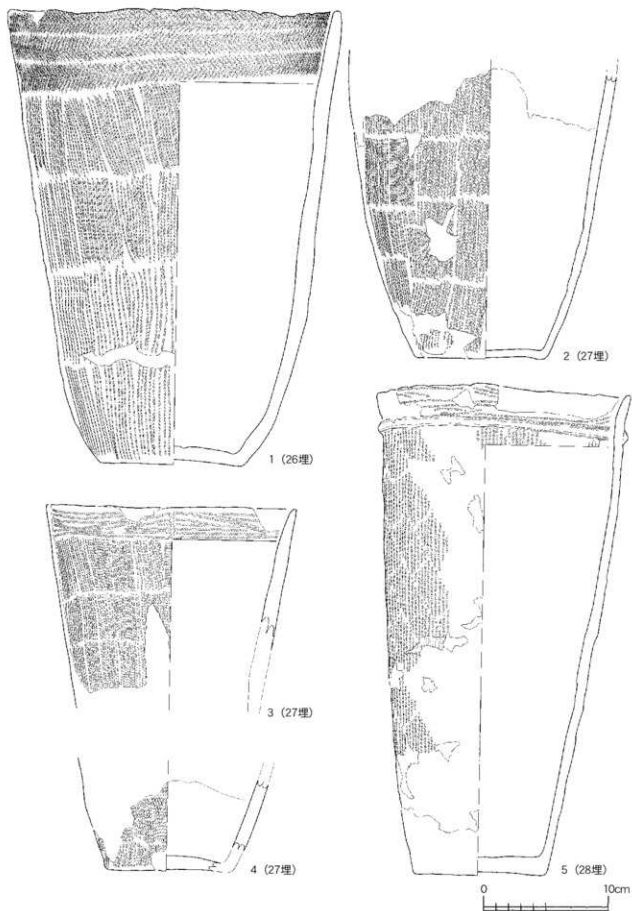
A 28.943m B



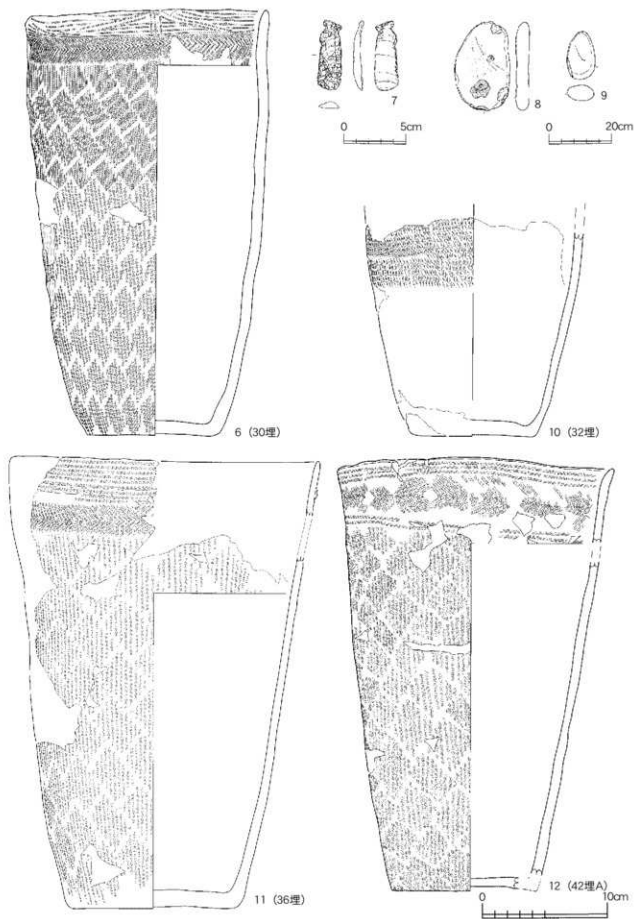
- 第64号埋設土器遺構  
1. 黄褐色土 (10YR2/3)



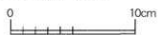
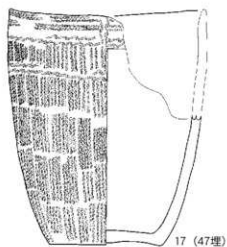
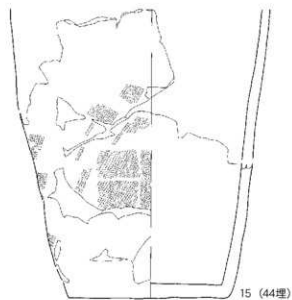
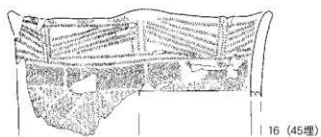
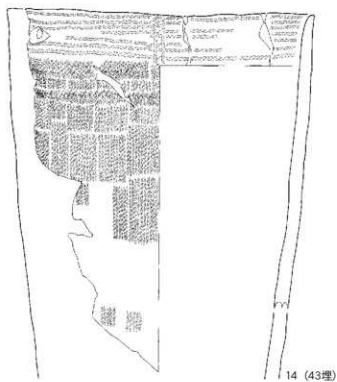
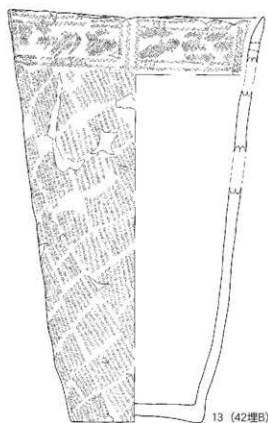
第229図 埋設土器遺構



第230図 遺構内出土土器（埋設土器遺構）(1)

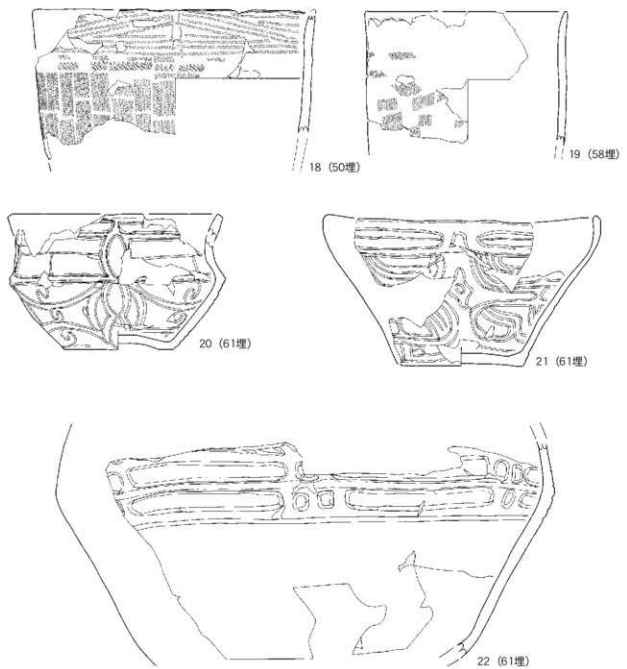


第231図 遺構内出土土器・石器（埋設土器遺構）

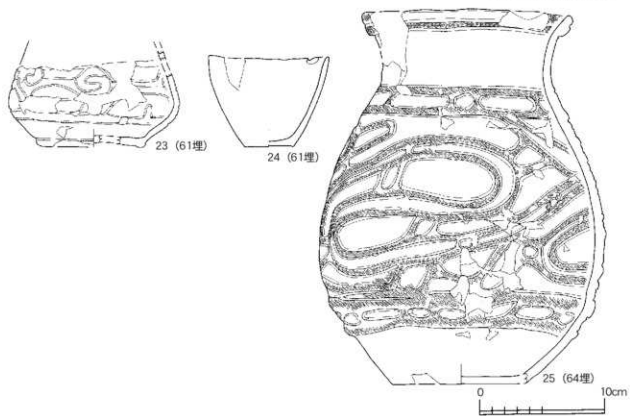


第232図 遺構内出土土器（埋設土器遺構）(2)





第233図 遺構内出土土器（埋設土器遺構）(3)



第234図 遺構内出土土器（埋設土器遺構）(4)

#### 4. 配石遺構

##### 第2号配石遺構(第 図)

[位置・確認層] A F - グリッドに位置する。表土下の第 a 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 点の自然礫(S-1- )を集めて配置している。付近には他に、3点の自然礫(S- )が認められた。下部において付随すると思われる土坑等は確認していない。規模は、最長 cmである。

[壁] なし。

[底面] なし。

[堆積土] 上面には第 層が堆積する。

[出土遺物] 敲磨器類1類Aが1点(第 図1)、1類が1点(第 図4)、2類Aが1点(第 図2)、2類Bが1点(第 図3)、3類が1点(第 図5)、剥離のある礫が1点(第 図6)、石皿・台石1類が1点(第 、 図7、8)出土している。

[時期] 遺構確認層より縄文時代後期初頭から前葉と思われる。

##### 第3号配石遺構(第 図)

[位置・確認層] A E - グリッドに位置する。表土下の第 a 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 点の自然礫(S-1-5、9-)を集めて配置している。下部において付随すると思われる土坑等は確認していない。規模は、最長 cmである。

[壁] なし。

[底面] なし。

[堆積土] 上面には第 層が堆積する。

[出土遺物] 敲磨器類2類Aが3点(第 図9、 、 )、4類Aが1点(第 図 )、4類Bが1点(第 図 )出土している。

[時期] 遺構確認層より縄文時代後期初頭から前葉と思われる。

##### 第4号配石遺構(第 図)

[位置・確認層] A G - グリッドに位置する。表土下の第 a 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 点の自然礫(S-1-4ほか)を集めて配置している。付近には他に4点の自然礫が認められた。下部において付随すると思われる土坑等は、確認していない。規模は、最長 cmである。

[壁] なし。

[底面] なし。

[堆積土] 上面には第 層が堆積する。

[出土遺物] 不定形石器3類が1点(図示していない)、敲磨器類2類Bが1点(第 図 )、石皿・台石1類が4点(第 、 図 - 、 )出土している。

[時期] 遺構確認層より縄文時代後期初頭～前葉と思われる。

#### 第5号配石遺構(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。表土下の第 a 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 点の自然礫(S-7-)を集めて配置している。付近には他に6点の自然礫(S-1-6)が認められた。下部において付随すると思われる土坑等は、確認していない。規模は、最長 cmである。

[壁] なし。

[底面] なし。

[堆積土] 上面には第 層が堆積する。

[出土遺物] 耐磨器類1類Aが1点(第 図)、2類Eが2点(第 図、 )出土している。

[時期] 以降確認層より縄文時代後期初頭～前葉と思われる。

#### 第 号配石遺構(第 図)

[位置・確認層] X・Y - 、 グリッドに位置する。第 a 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 点の自然礫(S-、-)を2列に配置している。付近には他に、点の自然礫(S-1-、)が認められた。下部において付随すると思われる土坑等は、確認していない。規模は最長 cmである。

[壁] なし。

[底面] なし。

[堆積土] 上面には第 層が堆積する。

[出土遺物] 石皿・台石1類が1点(第 図)出土している。

[時期] 遺構確認層より縄文時代後期初頭から前葉と思われる。

#### 第 号配石遺構(第 図)

[位置・確認層] A B - グリッドに位置する。第 a 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 9点の自然礫(S-1-9)を集めて配置している。付近には他に5点の自然礫(S-、-)が認められた。下部において付随すると思われる土坑等は、確認していない。規模は、最長 cmである。

[壁] なし。

[底面] なし。

[堆積土] 上面には第 層が堆積する。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構確認層より縄文時代後期初頭から前葉と思われる。

第 号配石遺構(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 a 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 点の自然礫を弧状に配置している。付近には他にも自然礫が認められた。下部において付随すると思われる土坑等は、確認していない。規模は、最長 cmである。また、弧の内側には部分的に赤褐色土が認められたが、第 層に相当する。ロ - ムが廃棄されたものと判断した。

[壁] なし。

[底面] なし。

[堆積土] 上面には第 a 層が堆積する。

[出土遺物] 石皿・台石1類が1点(第 図)、2類が1点(第 図)出土している。

[時期] 遺構確認層より縄文時代後期初頭から前葉と思われる。

第 号配石遺構(第 図)

[位置・確認層] AC - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 8点の自然礫を列状に配置している。下部において付随すると思われる土坑等は、確認していない。規模は、最長 cmである。

[壁] なし。

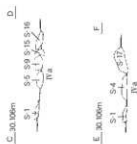
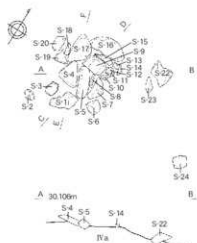
[底面] なし。

[堆積土] 上面には第 層が堆積する。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構確認層より縄文時代後期初頭から前葉と思われる。

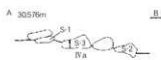
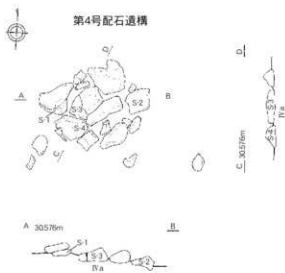
第2号配石遺構



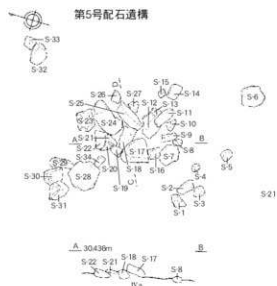
第3号配石遺構



第4号配石遺構

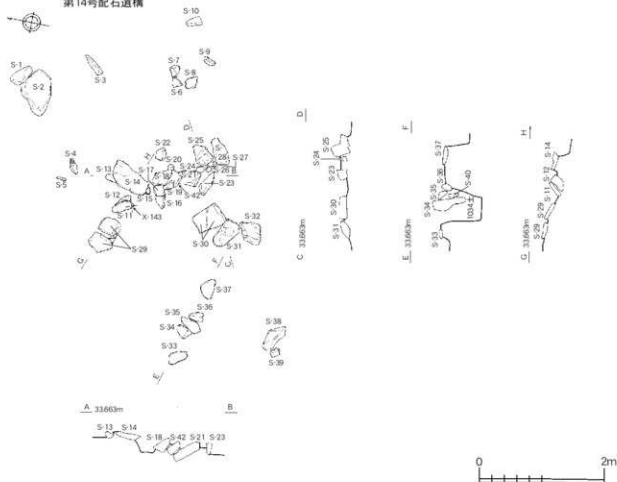


第5号配石遺構

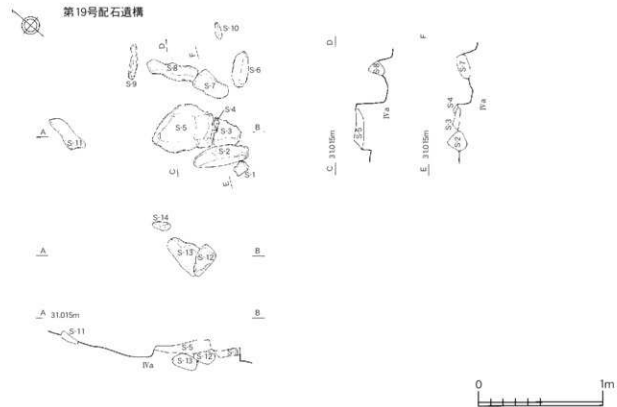


第235図 配石遺構 (1)

第14号配石遺構

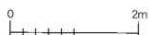
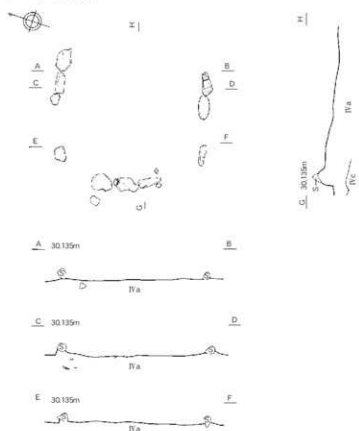


第19号配石遺構

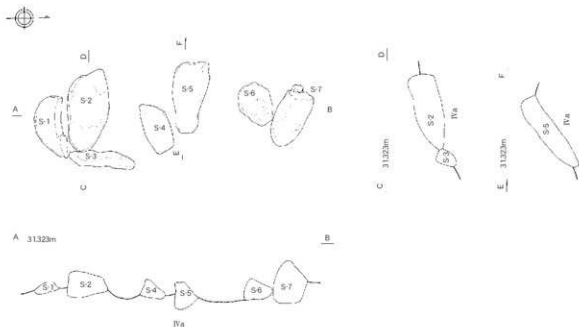


第236図 配石遺構 (2)

第20号 配石遺構

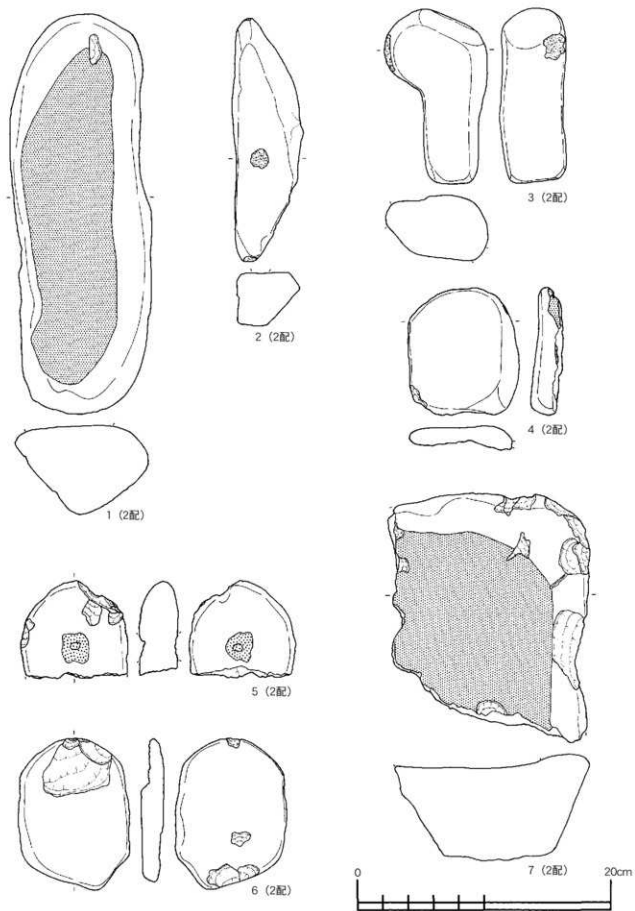


第21号 配石遺構

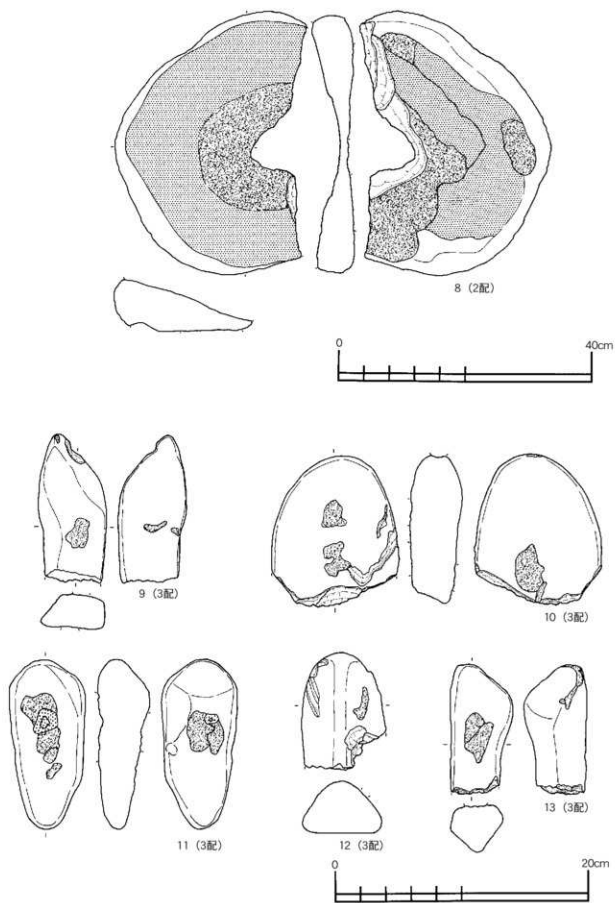


第237図 配石遺構 (3)

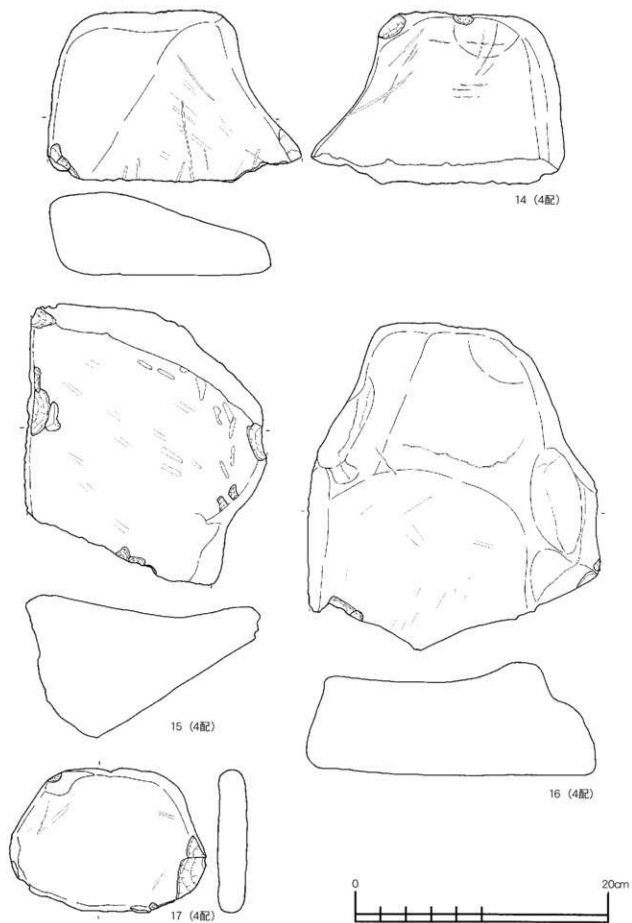




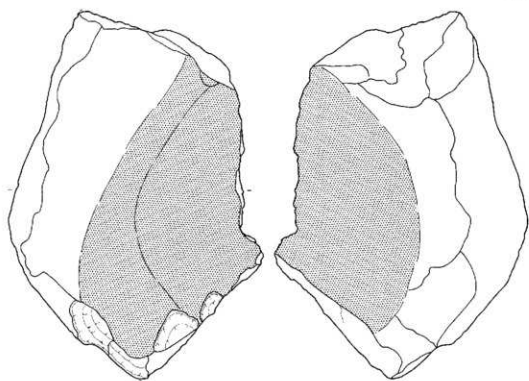
第238図 遺構内出土石器 (配石遺構) (1)



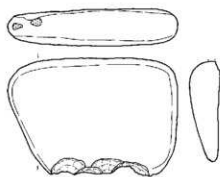
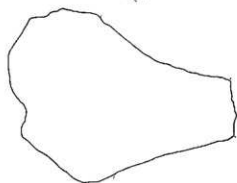
第239図 遺構内出土石器（配石遺構）(2)



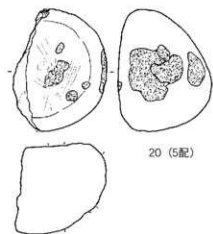
第240図 遺構内出土石器（配石遺構）(3)



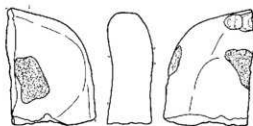
18 (4配)



19 (5配)



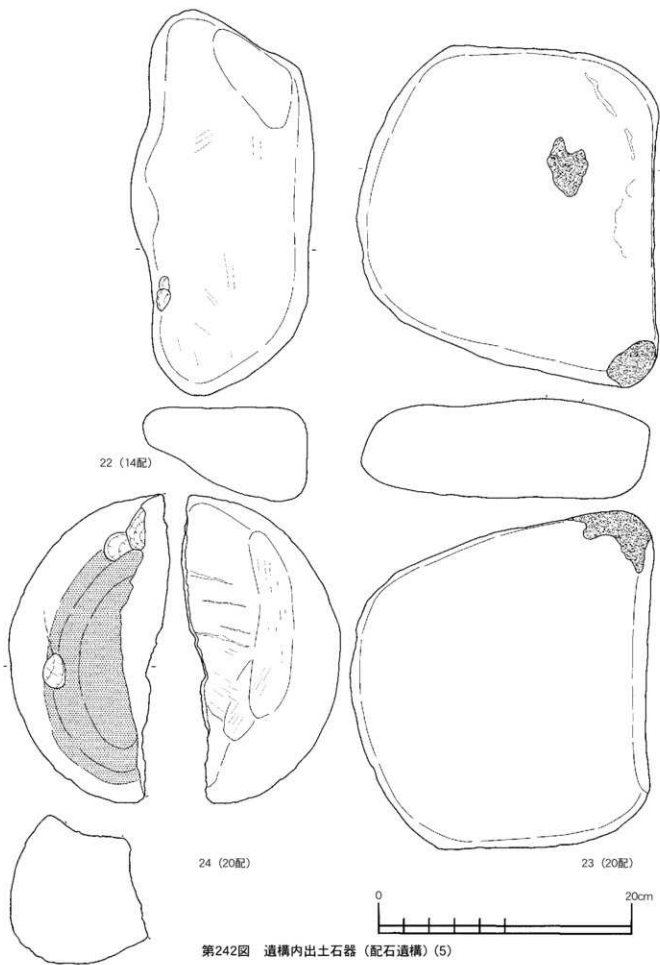
20 (5配)



21 (5配)



第241図 遺構内出土石器 (配石遺構) (4)



第242図 遺構内出土石器 (配石遺構) (5)

## 5. 溝状遺構

## 第6号溝状遺構(第 図)

- [位置・確認層] A D - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第2号竪穴式住居跡、第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第2号竪穴式住居跡より新しく、第 号土坑、第 号土坑との新旧関係は、不明である。
- [平面形・規模] 長さが cm、最大幅が cm、深さが cmである。
- [壁] やや外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] ほぼ平坦である。
- [堆積土] 暗褐色土が堆積する。ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代前期以降の溝状遺構と思われる。

## 第7号溝状遺構(第 図)

- [位置・確認層] A F - 、 、 A G - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑、第 号土坑と重複し、本遺構は第 号土坑より新しく、第 号土坑より古い。
- [平面形・規模] 長さが cm、最大幅が cm、深さが cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。
- [底面] 丸みを帯びる。
- [堆積土] 4層に分層した。黒褐色～褐色土が堆積し、黒褐色～暗褐色土は、ローム、角礫を少量含む。自然堆積と思われる。その他は、褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の溝状遺構と思われる。

## 第8号溝状遺構(第 図)

- [位置・確認層] A B・A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 長さが cm、最大幅が cm、深さが cmである。
- [壁] 外側へ直線的に立ち上がる。
- [底面] 起伏が見られる。
- [堆積土] 2層に分層した。黄褐色土が堆積する。人為堆積と思われる。
- [出土遺物] なし。
- [時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の溝状遺構と思われる。

## 第 号溝状遺構(第 図)

- [位置・確認層] A B・A C - グリッドに位置する。第 層において確認した。
- [重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が古い。
- [平面形・規模] 長さが cm、最大幅が cm、深さが 8 cmである。
- [壁] 外側へ緩やかに立ち上がる。

〔底面〕 ほぼ平坦である。部分的に丸みを帯びる。

〔堆積土〕 2層に分層した。黒褐色～暗褐色土が堆積し、ロームを中量含む。人為堆積と思われる。

〔出土遺物〕 なし。

〔時期〕 遺構間の重複関係より縄文時代後期以前の溝状遺構と思われる。

## 6. 焼土遺構

## 第1号焼土遺構(第 図)

[位置・確認層] AD - グリッドに位置する。第 c 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 焼土の平面形は、不整形を呈する。炭化物範囲は、不整な楕円形を呈する。規模は、焼土が最長 cm、炭化物が最長 cmである。

[壁] なし。

[底面] なし。

[堆積土] 6層に分層した。第1層は、炭化物層である。その他は、暗赤褐色～赤褐色土が堆積し、焼床面と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。

## 第2号焼土遺構(第 図)

[位置・確認層] AE - グリッドに位置する。第 号土坑覆土において確認した。

[重複] 第 号土坑と重複し、本遺構が新しい。

[平面形・規模] 焼土の平面形は、不整形を呈する。規模は最長 cmである。

[壁] なし。

[底面] なし。

[堆積土] 2層に分層した。黄橙色～明褐色土が堆積し、火床面と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 遺構間の重複関係より縄文時代後期以降の焼土遺構と思われる。

## 第5号焼土遺構(第 図)

[位置・確認層] AA - グリッドに位置する。第 層において確認した。

[重複] なし。

[平面形・規模] 焼土の平面形は、不整形を呈する。円形の掘り方の上部に位置する。規模は、焼土が最長 cm、掘り方が長径 cm、深さが cmである。

[壁] 掘り方は外側へ緩やかに立ち上がる。一部屈曲が見られる。

[底面] 掘り方は、東側から西側へ傾斜が見られる。

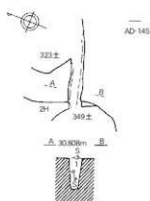
[堆積土] 掘り方も含め3層に分層した。第1層は、暗褐色土が堆積する。焼土が廃棄されたものと思われる。第2層は、黒褐色土が堆積し、ロームを多量含む。人為堆積と思われる。第3層は、黒褐色土が堆積する。第2層と一緒にブロック状に堆積する。人為堆積と思われる。

[出土遺物] なし。

[時期] 不明である。



第6号溝状遺構



第6号溝状遺構  
1. 暗褐色土 (10YR3/3) □—ム粒、炭化物、角礫少量

第8号溝状遺構



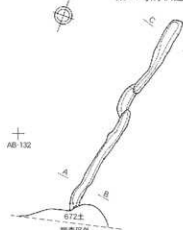
第8号溝状遺構  
1. C. 2. 赤褐色土 (10YR4/3) 角礫少量、□—ム粒、炭化物微量  
2. C. 2. 赤褐色土 (10YR4/3) □—ム粒微量

第7号溝状遺構



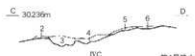
第7号溝状遺構  
1. 暗褐色土 (10YR3/4) □—ム粒、角礫少量  
2. 暗褐色土 (10YR4/6) □—ム粒少量  
3. 暗褐色土 (10YR4/4) □—ム粒少量  
4. 黄褐色土 (10YR3/2) □—ム粒少量

第11号溝状遺構



第11号溝状遺構  
1. 暗褐色土 (10YR3/3) □—ム粒中量  
2. 黄褐色土 (10YR2/3) □—ム粒中量

第1号焼土遺構



第1号焼土遺構  
1. 黄褐色土 (10YR17/1) 炭化物層  
2. 赤褐色土 (2.5YR4/6) 炭化物の微量  
3. 暗赤褐色土 (2.5YR3/6) 赤線混入  
4. 暗赤褐色土 (2.5YR3/3) 炭化物の微量、暗褐色土混入  
5. 暗赤褐色土 (2.5YR3/4) 炭化物少量、赤線、暗褐色土混入  
6. 暗赤褐色土 (2.5YR3/6) 炭化物少量

第2号焼土遺構



第2号焼土遺構  
1. 明赤褐色土 (5YR5/6)  
2. C. 2. 黄褐色土 (10YR6/4)

第5号焼土遺構



第5号焼土遺構  
1. 暗赤褐色土 (5YR3/2)  
2. 黄褐色土 (10YR3/2) LB多量、□—ム粒中量  
3. 黄褐色土 (10YR3/2)

第243図 溝状遺構・焼土遺構

















を施すもの、胴最上部に結束第二種羽状縄文下部に単軸絡糸体第1類の縦位回転文を施すもの(第図)などが見られる。

- ・狭い口縁部に横位、斜位に絡糸体押圧による圧痕文を施文するもの。(第図2、第図7、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図)

口縁部押圧には単軸絡糸体第1類を用いていると思われる。口縁部と胴部間に区画文がみられないもの(第図7、第図、第図)と隆帯が見られるもの(第図2、第図)とがある。胴部には斜位の複節縄文が見られるもの(第図)と胴最上部に結束第一種を施し下部に単軸絡糸体第1類の縦位回転文(第図)、斜位の複節縄文(第図7、第図)、単節縄文(第図2)の見えるものがある。

- ・狭い口縁部に横位、斜位に縄押圧、絡糸体押圧による圧痕文や刺突文等異なる施文具や手法を用いて施文するもの。(第図、第図)

口縁部をR原体押圧と刺突により施文するものが見られる。

- ・狭い口縁部に横位、縦位に縄押圧による圧痕文を施文するもの。(第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図、第図)

口縁部の原体には、R(第図、第図、第図)、LR(第図、第図、第図、第図、第図)、RL(第図、第図)、LRとRL(第図)が見られる。

口縁部と胴部間に隆帯による区画文の見えるもの(第図)もあるが大半は見られない。胴部には、単軸絡糸体第1類の縦位回転文(第図)、斜位の複節縄文(第図、第図、第図)、横位の単節縄文(第図)や、胴最上に結束第一種羽状縄文下部に単軸絡糸体第1類の縦位回転文(第図、第図)、下部に斜位の複節縄文(第図、第図)、胴最上部に横位の単節縄文下部に斜位の複節縄文(第図)、上半部と下部で複節縄文の種類が異なるもの(第図)などが見られる。

- ・狭い口縁部に横位、縦位に絡糸体押圧による圧痕文を施文するもの。(第図、第図、第図)

口縁部の施文には単軸絡糸体第1類を用いている。口縁部と胴部間に区画文の見られないもの(第図)と隆帯が見られるもの(第図)がある。胴部には単軸絡糸体第1類の縦位回転文(第図)と斜位の複節縄文(第図)とが見られる。

- ・狭い口縁部に横位、縦位に刺突文を施文するもの。(第図)

口縁部に刺突文のみ見られるものである。胴部には多軸絡糸体の縦位回転文が見られる。また口唇部にはへら状工具による刻目が見られる。



図、第 図) 胴最上部に横位結節回転文と単軸結条体の縦位回転文、下部斜位の複節縄文を施すもの(第 図) 斜位に胴上半は単節縄文、下半に複節縄文(第 図6)を施すものが見られる。

・狭い口縁部に横位、斜位、縦位に結条体押圧による圧痕文を施文するもの。(第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、)

口縁部の施文原体には単軸結条体第1類が用いられている。口縁部と胴部間に区画文のないもの(第 図、第 図、第 図、第 図)と隆帯の見られるもの(第 図、第 図、第 図)とがある。胴部には斜位の複節縄文(第 図、第 図) 胴最上部に横位の結束第一種羽状縄文が施され下部に斜位の複節縄文が施されるもの(第 図) 下部に斜位の単節縄文が施されるもの(第 図) 胴上半に横位の結束第二種羽状縄文、下半に単軸結条体第1A類の縦位回転文が施されるもの(第 図)などが見られる。

・狭い口縁部に横位、斜位、縦位に縄押圧、結条体押圧による圧痕文や刺突文等異なる施文具や手法を用いて施文するもの。(第 図)

口縁部の施文にはLR原体と刺突文が用いられている。口縁部と胴部間には区画文はなく、胴部には単軸結条体第1A類の縦位回転文が施されている。

・狭い口縁部に横位、縦位及び曲線的に縄押圧による圧痕文を施文するもの。(第 図)

口縁部の施文にはLR原体が用いられている。口縁部と胴部間に区画文として隆帯が見られる。胴部には、単軸結条体第1類の縦位回転文が施されている。

・狭い口縁部に横位、縦位及び曲線的に縄押圧、結条体押圧による圧痕文や刺突文等異なる施文具や手法を用いて施文するもの。(第 図、第 図)

口縁部の施文にはR原体と刺突文が施されている。口縁部と胴部間に区画文はない。胴部には斜位の単節縄文が施されている。

・狭い口縁部に横位、斜位等に縄押圧、結条体押圧による圧痕文や刺突文等を施文し、縦位の隆帯を施文するもの(第 図8)

口縁部の施文には単軸結条体、刺突文、縦位の隆帯が見られる。口縁部と胴部間には楕円形の貫通孔が見られる。胴部には、縦位の結束第二種羽状縄文が見られる。

#### b 円筒下層d<sub>2</sub>式土器に比定される土器

(第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図)

先述した円筒下層d<sub>2</sub>式土器と比較し口縁部幅が広く外半する器形を有すると思われるものである。多くは口縁部のみの破片であるが、全体形のわかるもの(第 図)は、頸部が屈曲し広い口縁部が外半している。口縁部の施文には、縄押圧による斜位、縦位の押圧の見られるもの(第 図) 結条体押圧による横位、斜位の施文が見られるもの(第 図) 結条体押圧による横位、斜位の施文と



7類 大木式土器等他地域の影響を受けた土器

(第 図 ～ )

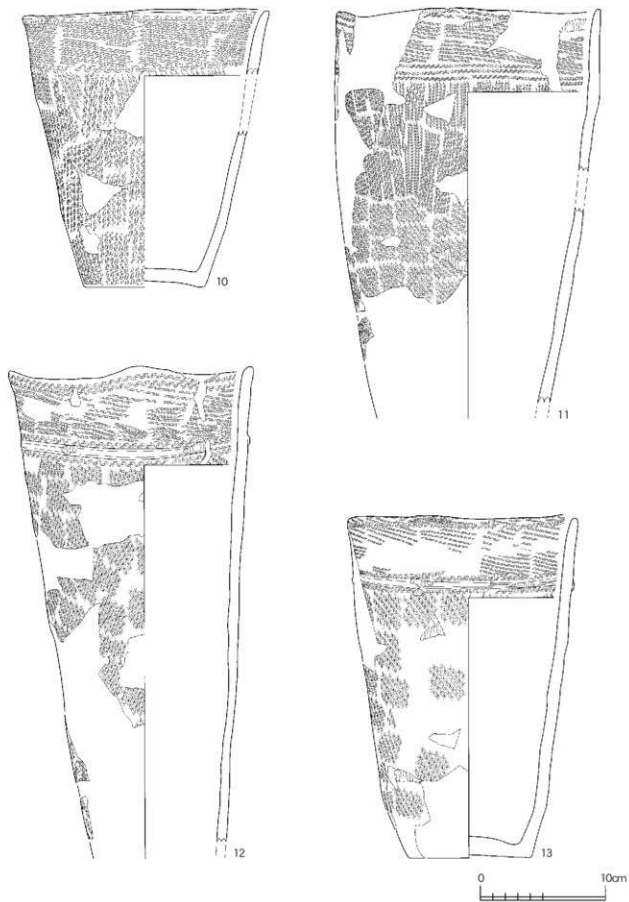
おおむね、縄文時代前期末葉の土器と思われるが、施文手法等が在地の土器である円筒下層式土器とは異なるものである。口縁部に円形の隆帯や連続した斜位の沈線の見られるもの(第 図 、 )、鋸歯状、斜位に刻線状の沈線の見られるもの(第 図 、 )がある。



第244図 遺構外出土第II群土器 (1)

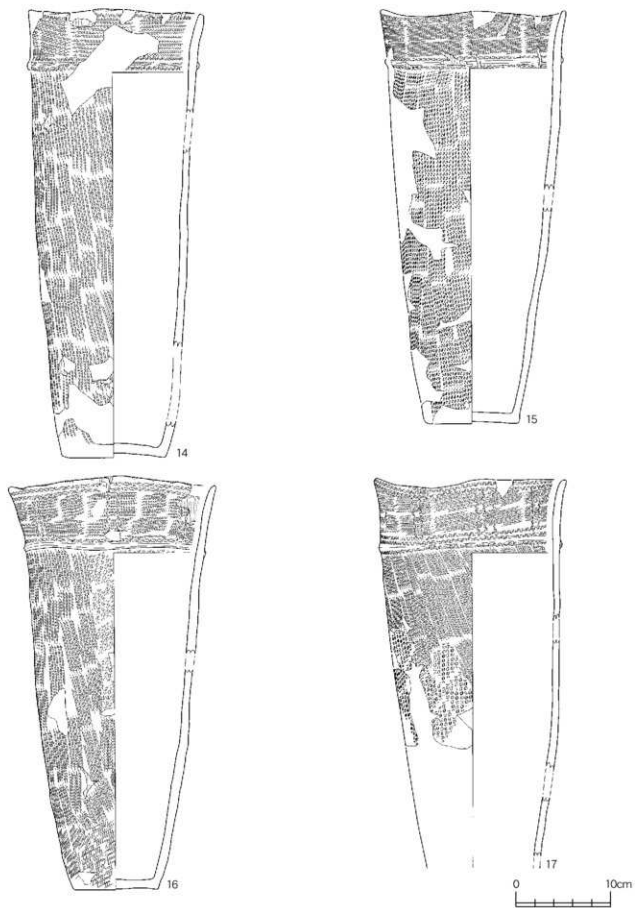


第245図 遺構外出土第II群土器 (2)

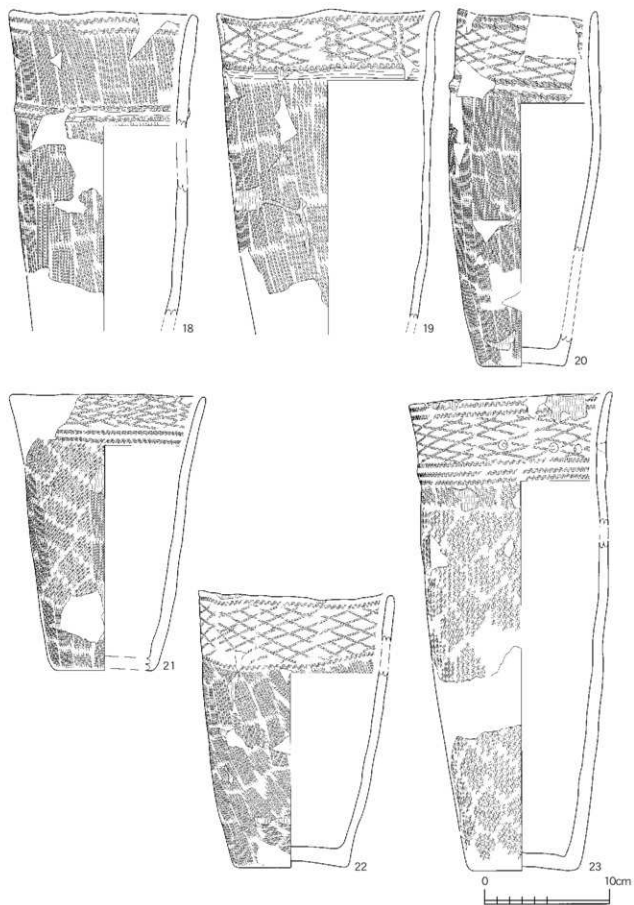


第246図 遺構外出土第II群土器 (3)

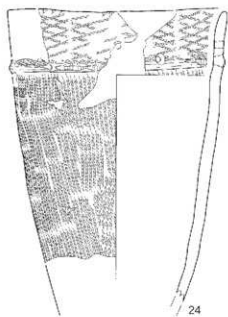




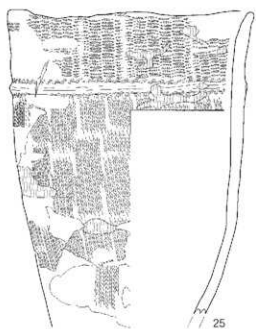
第247図 遺構外出土第II群土器 (4)



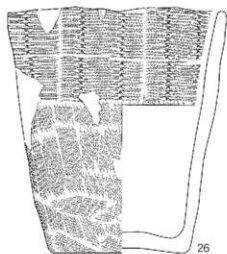
第248図 遺構外出土第II群土器 (5)



24



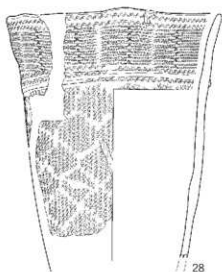
25



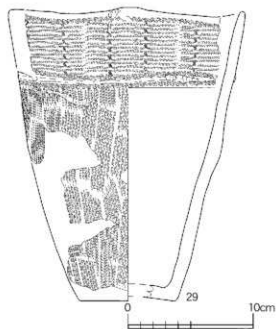
26



27



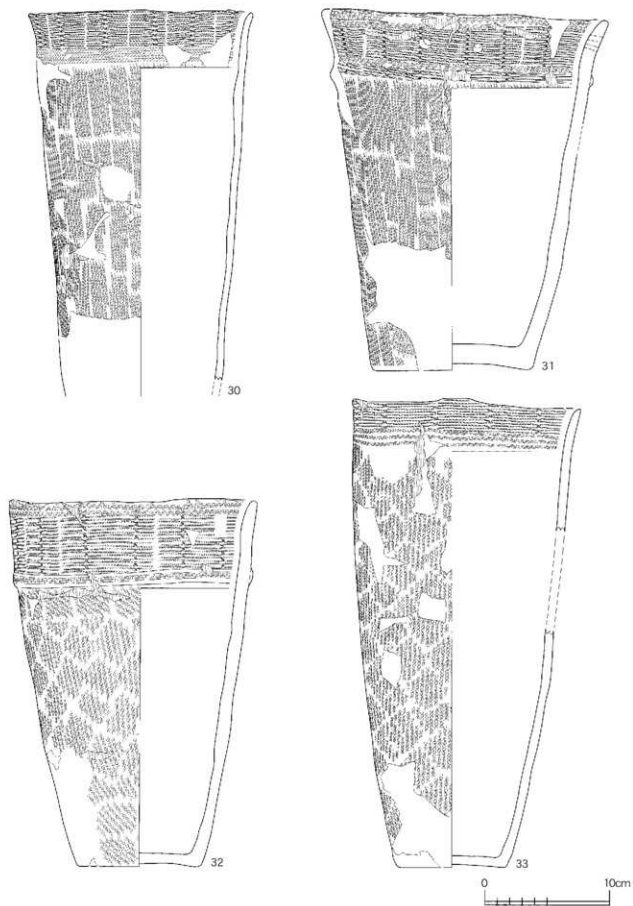
28



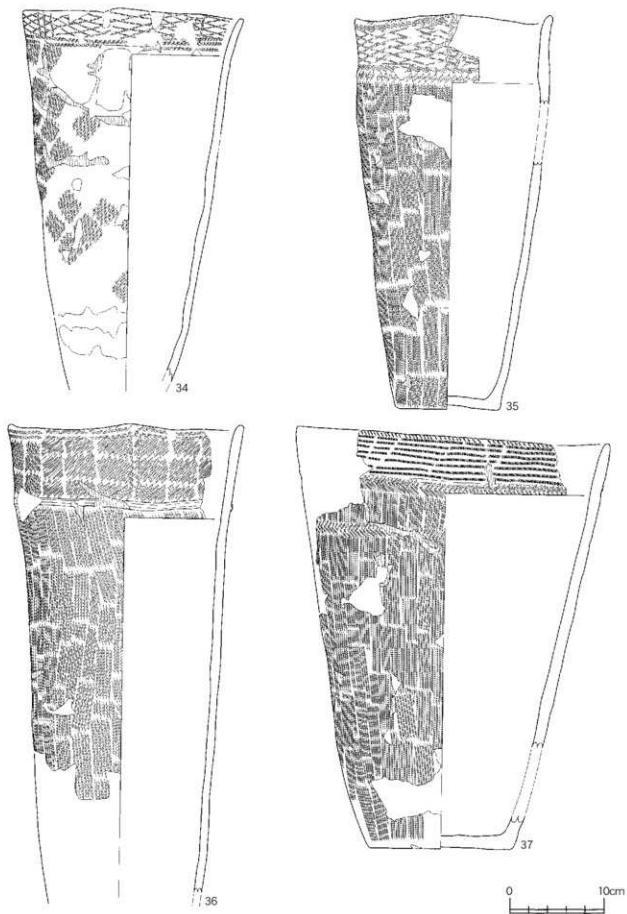
29

10cm

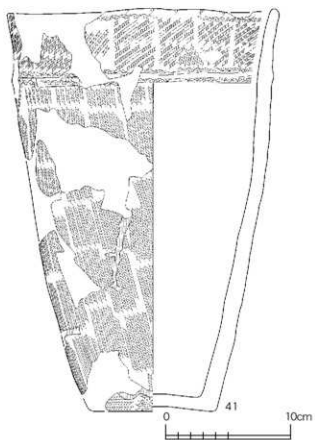
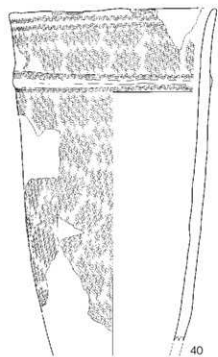
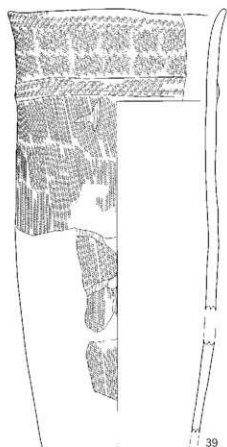
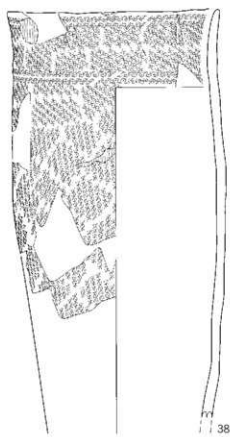
第249図 遺構外出土第Ⅱ群土器 (6)



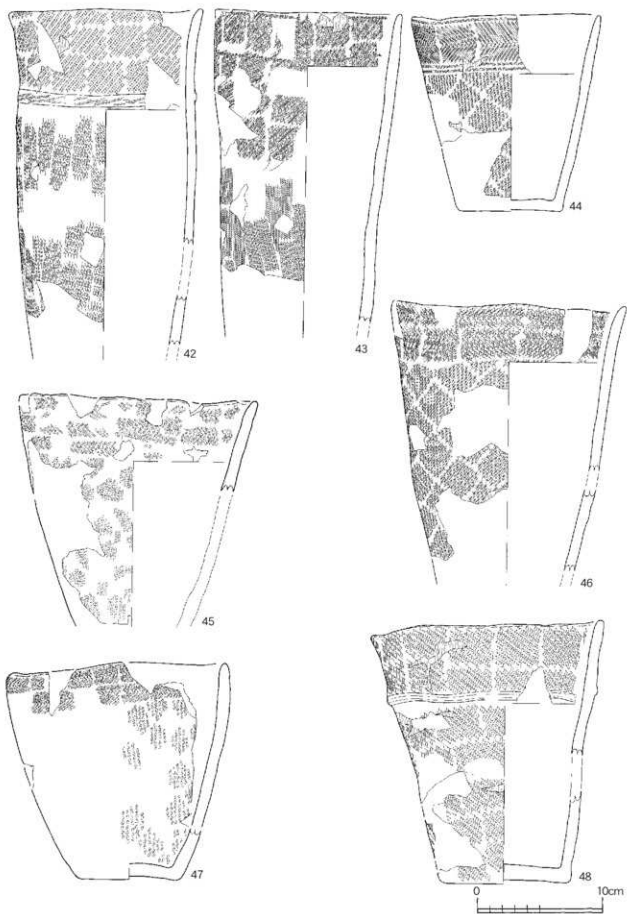
第250図 遺構外出土第II群土器 (7)



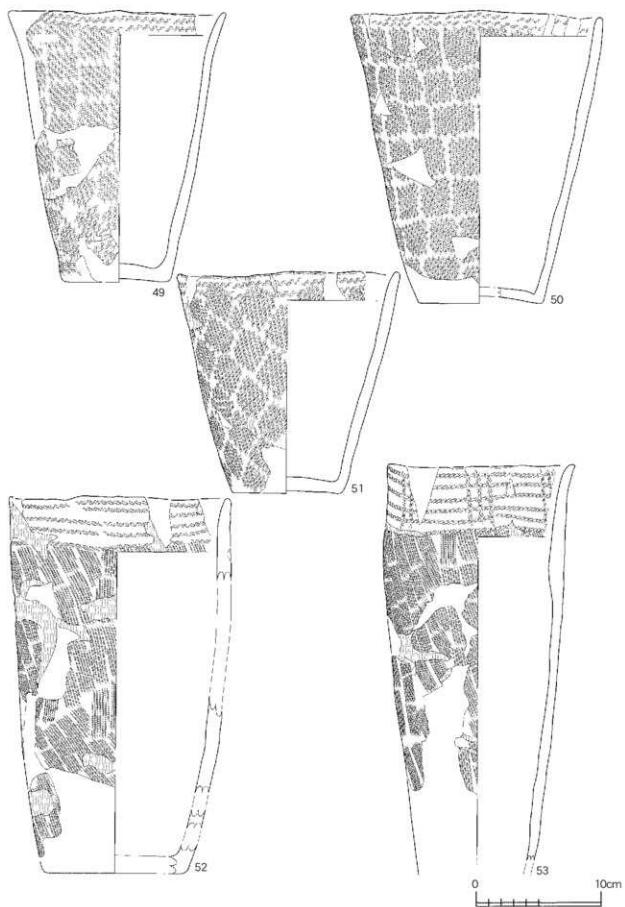
第251圖 遠構外出土第Ⅱ群土器 (8)



第252図 遺構外出土第II群土器 (9)

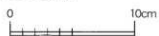
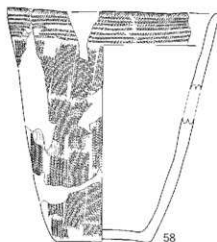
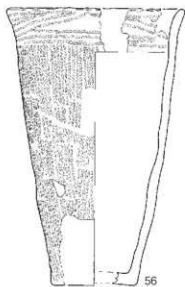
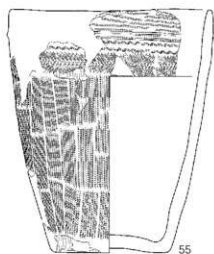
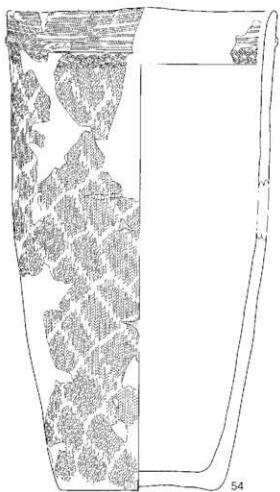


第253図 遺構外出土第Ⅱ群土器 (10)

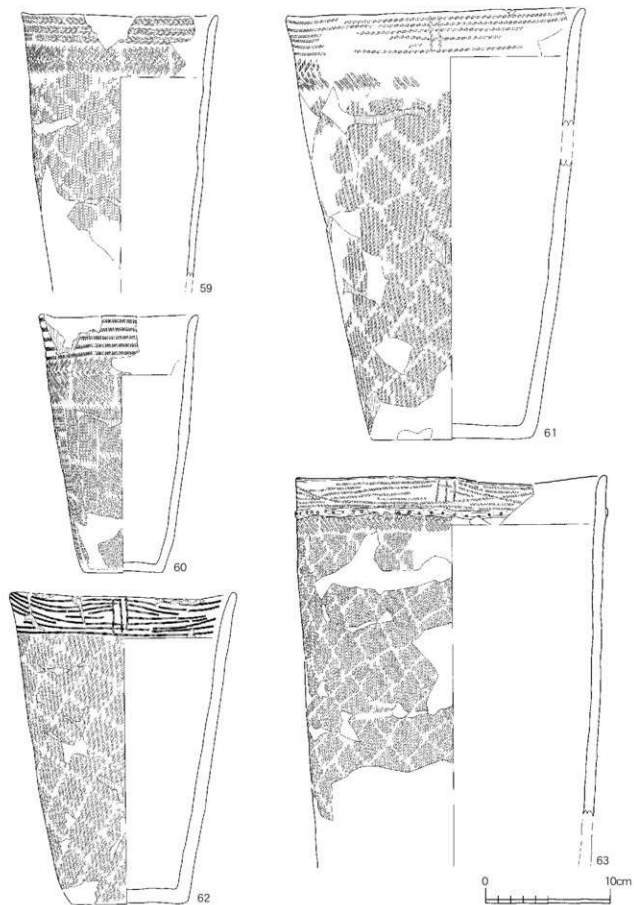


第254図 遺構外出土第Ⅱ群土器 (11)

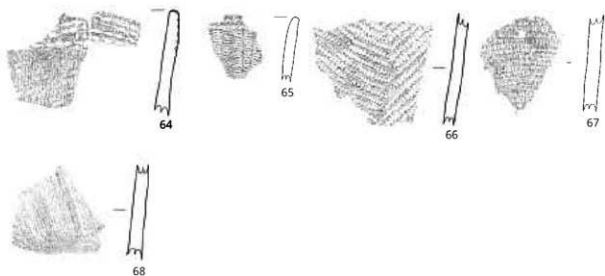




第255図 遺構外出土第II群土器 (12)



第256図 遺構外出土第II群土器 (13)















深鉢形土器は、燃系の圧痕文は縦位のL燃系圧痕(第 図 ) R燃系圧痕(第 図)によるものが見られる。燃系の回転文は、Lの横位回転によるもの(第 図)が見られる。縄文の回転文は、LRで縦位回転(第 図、第 図、第 図 ~ ) RLで縦位回転(第 図、第 図、第 図) LRで横位回転(第 図)したものや、縄文のほか口縁部上端に沈線文が巡るもの(第 図)が見られる。

壺形土器は、燃系の圧痕文と回転文により施文されたもの(第 図)が見られる。

#### 類

(第 図1、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 ~、第 図)

無文を主体とする土器である。

深鉢形土器は、波状口縁をもつもので口縁部に隆帯による装飾を有するもの(第 図、第 図、 ) 波状口縁で口縁部に沈線を有するもの(第 図) 小波状口縁をもち口縁部に沈線の見られるもの(第 図) 平坦口縁をもつもの(第 図、第 図)などがみられる。

鉢形土器は、平坦口縁をもち、口縁部を巡る沈線を有するもの(第 図1、第 図、 ) 口縁部に沈線による方形文の見られるもの(第 図) 平坦口縁をもち、施文がみられないもの(第 図、第 図、第 図) 波状口縁をもつもの(第 図)などが見られる。

壺形土器は、紐通突起を有する切断土器(第 図、 )が見られる。

浅鉢形土器は、平坦口縁で口縁部を巡る沈線を有するもの(第 図)が見られる。

#### その他の土器

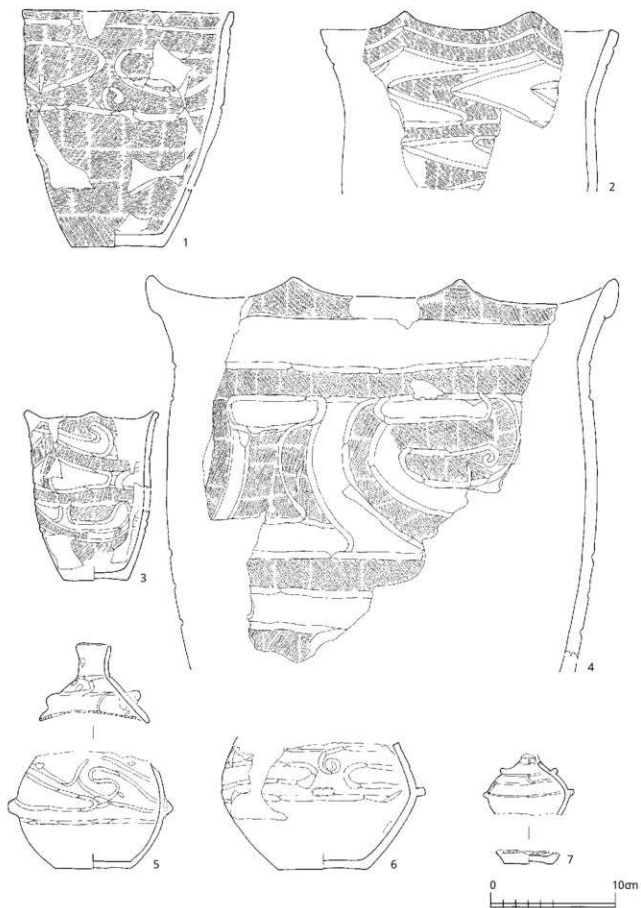
分類方法と異なる特徴的なものである。

狩猟文土器(第 図、 )

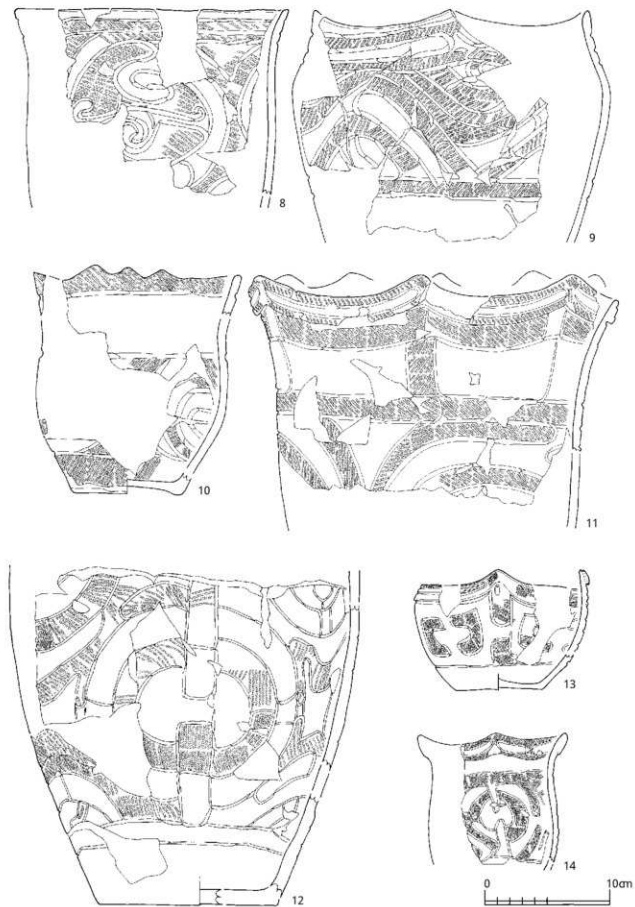
2点が出土している。2b類、3類に属する深鉢形土器と思われる。胴部に隆帯の貼付により四肢を伸ばした動物が表現されている。

切断土器(第 図5~7、第 図、第 図、 ~、第 図、 、 )

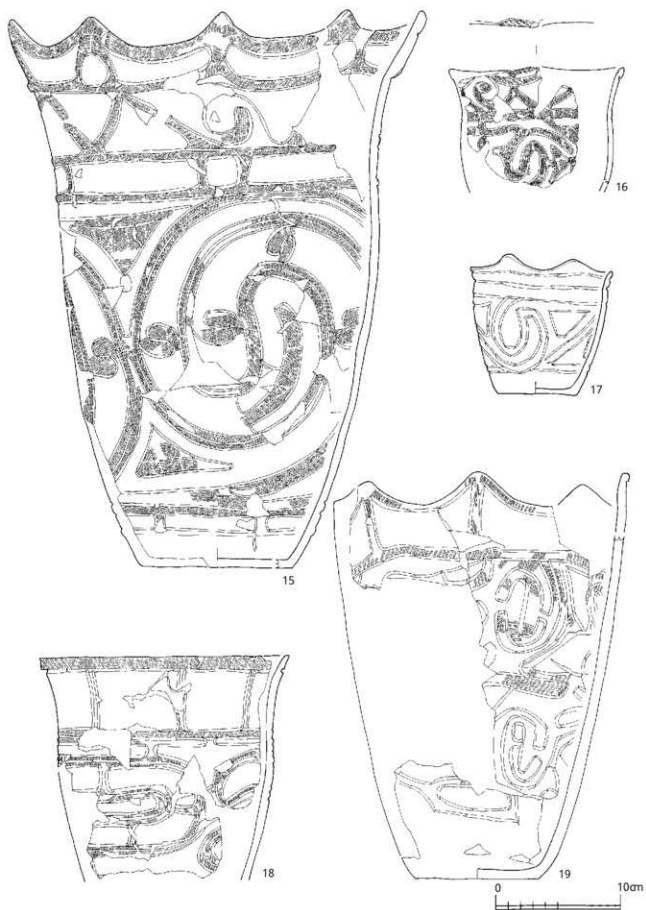
点出土している。2a~4類、 類に属する壺形土器と思われる。土器の切断される位置には、胴部上半のもの(第 図5、6、第 図、第 図、 ~、第 図)と胴部下半のもの(第 図7、第 図、第 図、 )とが見られる。なお、接合部に黒色物質で目張りされていたと思われるもの(第 図7、第 図)も見られる(調査員 西 勲 氏のご教示による)。



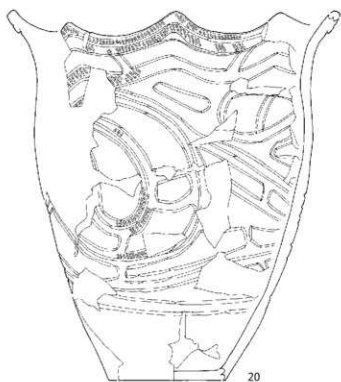
第258図 遺構外出土第IV群土器(1)



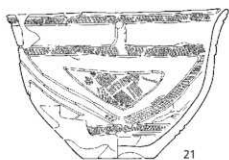
第259図 遺構外出土第IV群土器(2)



第26圖 遺構外出土第IV群土器(3)



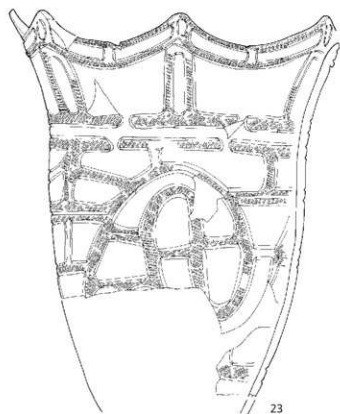
20



21



22



23



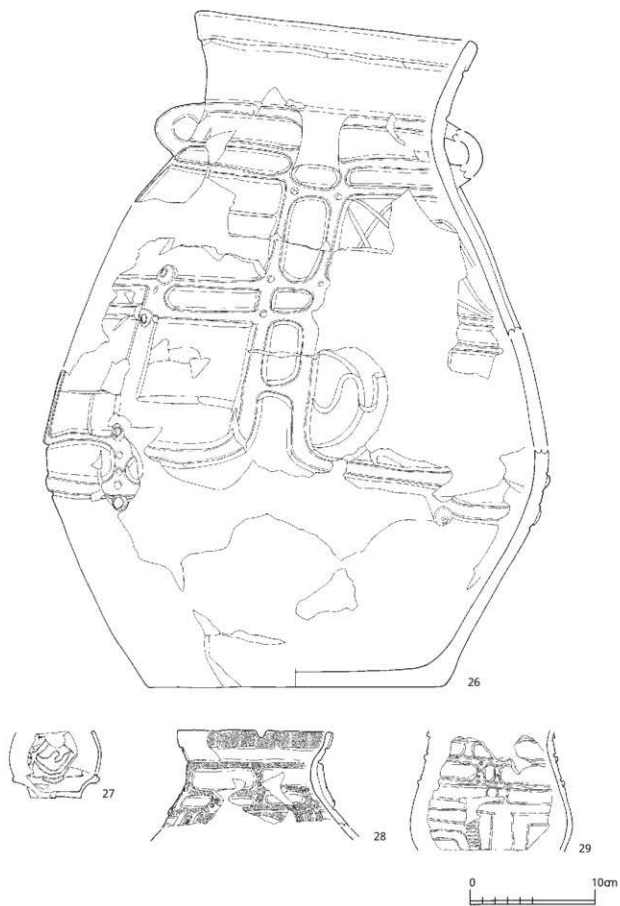
24



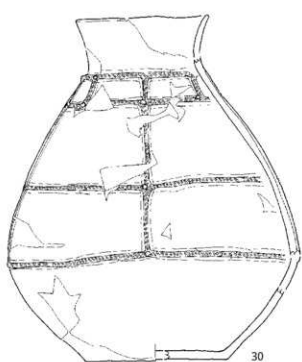
25



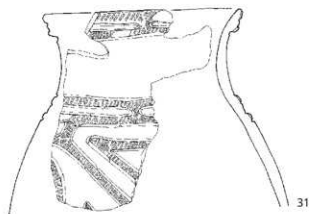
第26図 遺構外出土第IV群土器(4)



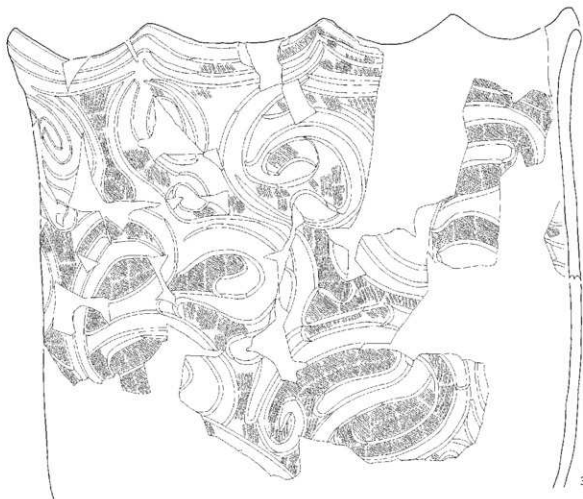
第26図 遺構外出土第IV群土器(5)



30



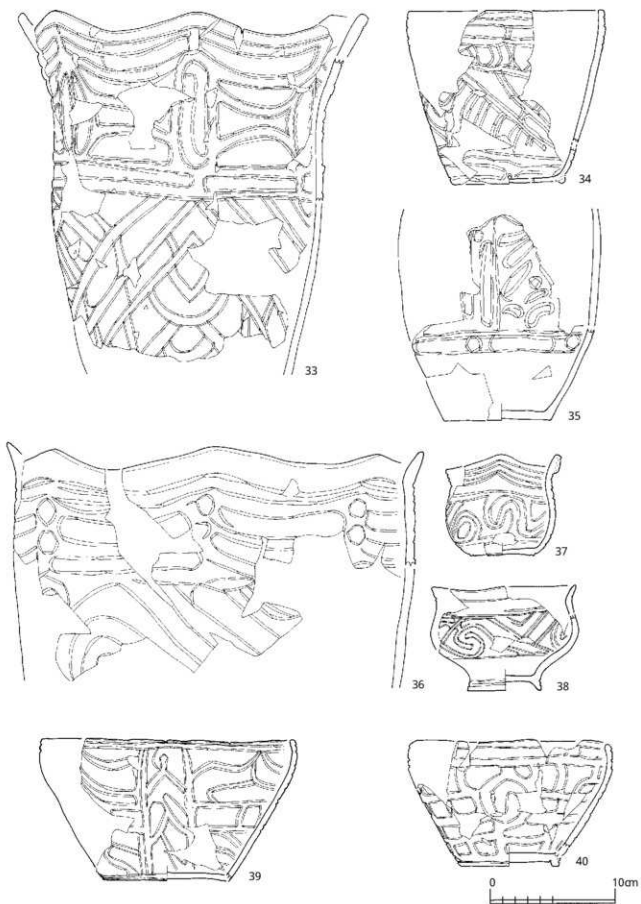
31



32

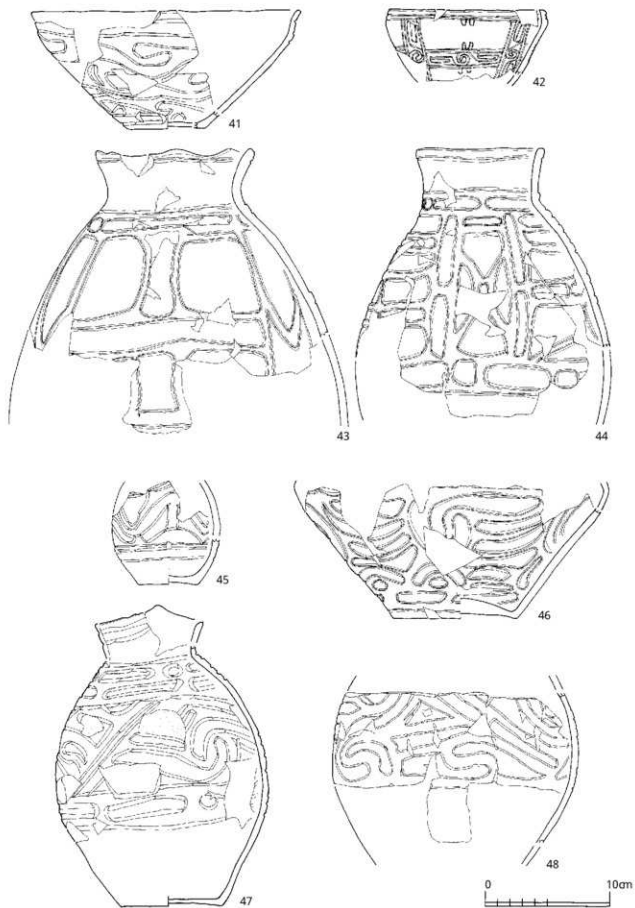


第26図 遺構外出土第IV群土器(6)

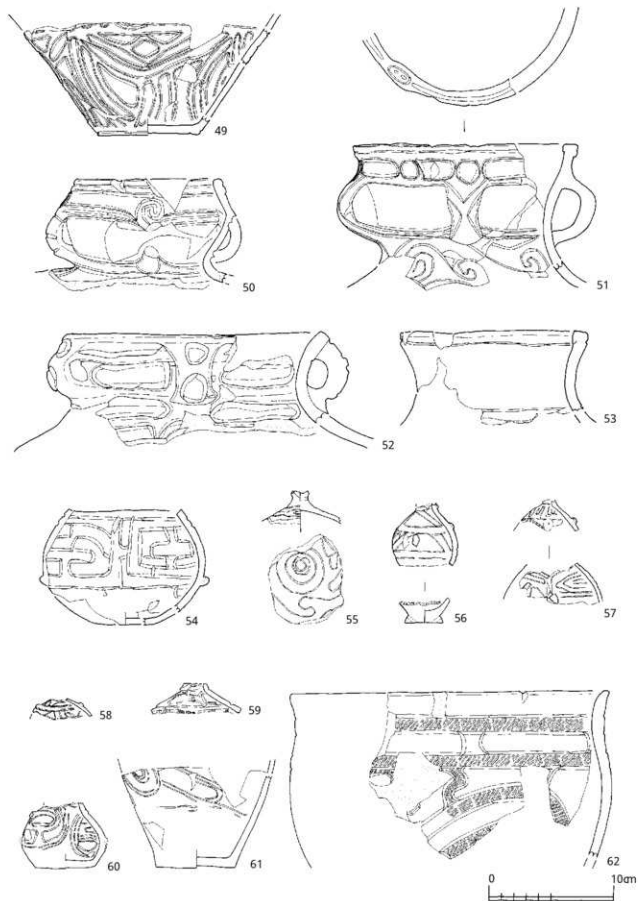


第264図 遺構外出土第IV群土器(7)

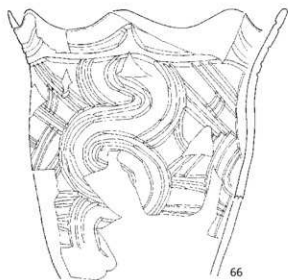
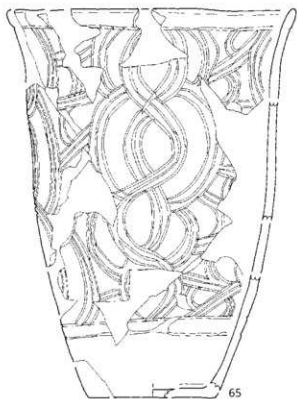
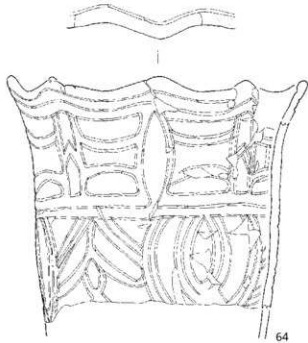
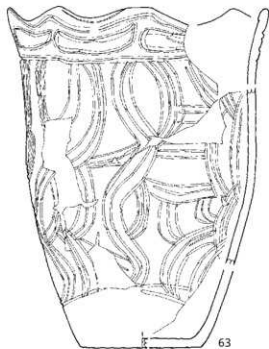




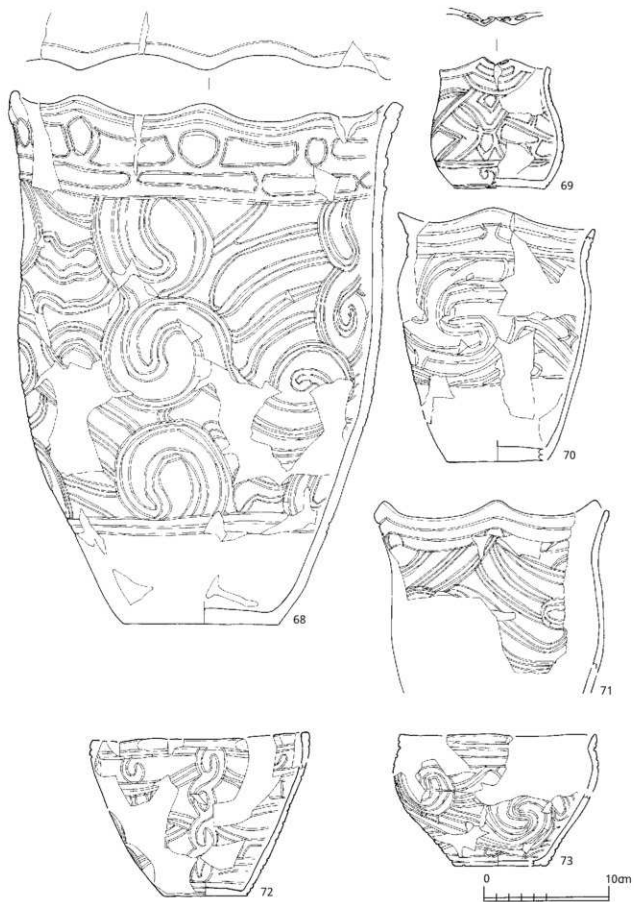
第26図 遺構外出土第IV群土器(8)



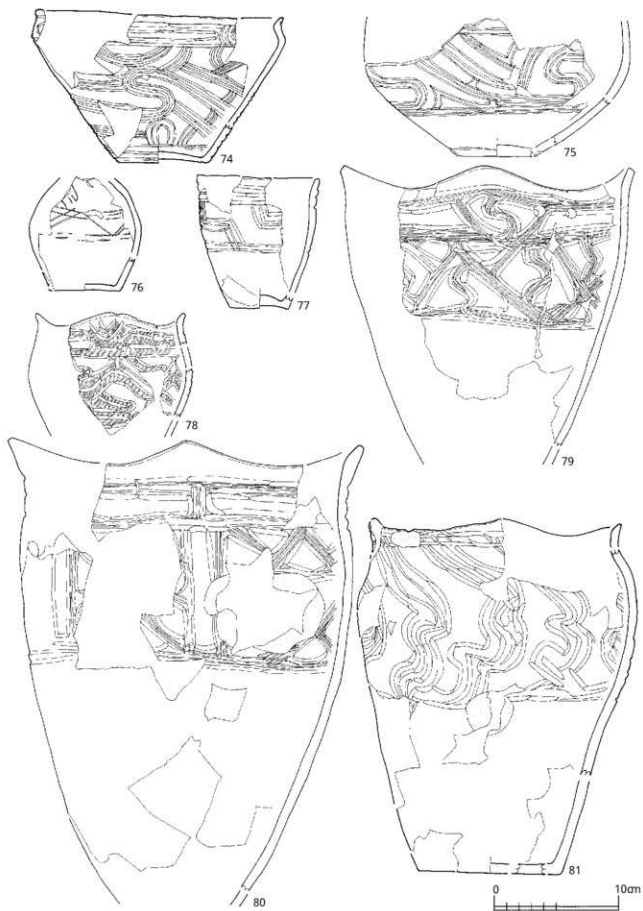
第26図 遺構外出土第IV群土器(9)



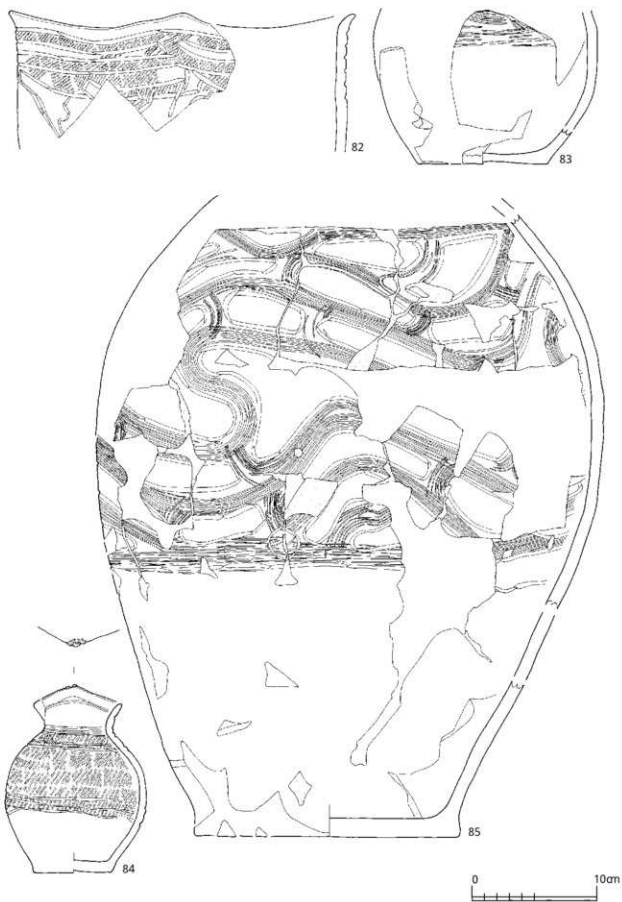
第26図 遺構外出土第IV群土器(10)



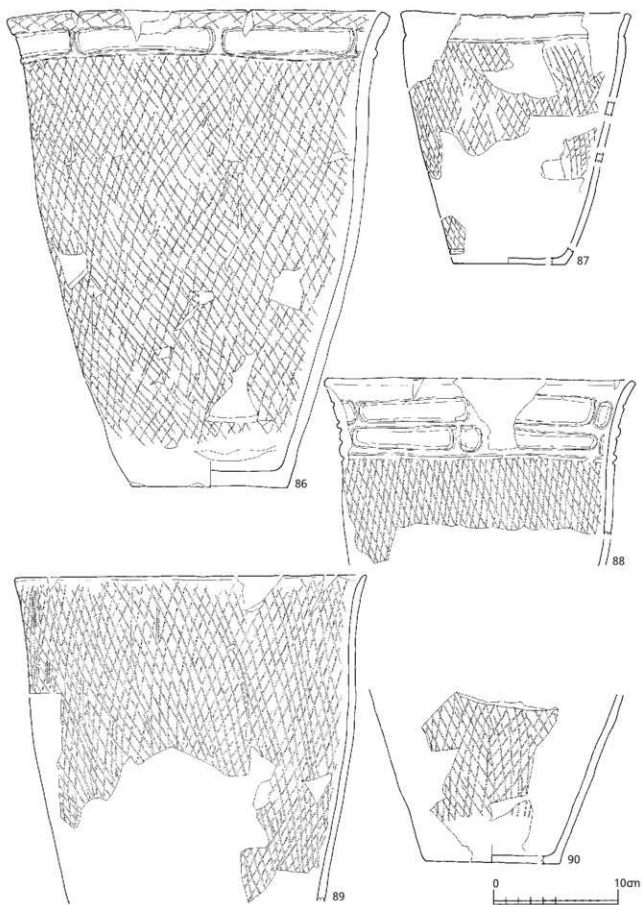
第26図 遺構外出土第IV群土器(11)



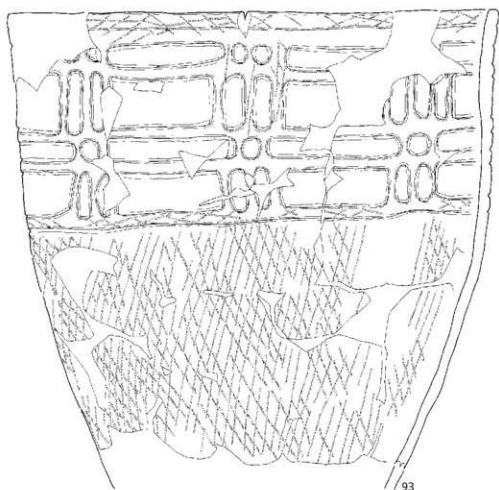
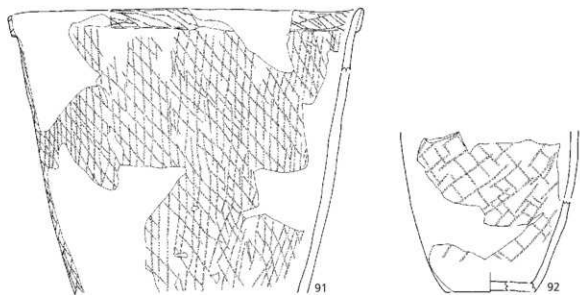
第269図 遺構外出土第IV群土器(12)



第27図 遺構外出土第IV群土器(13)

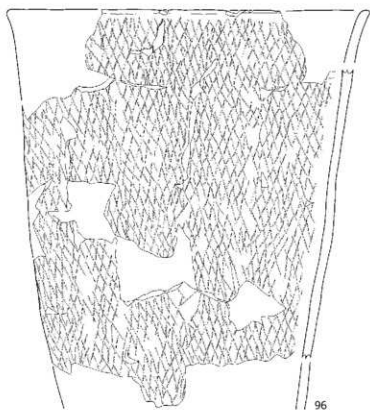
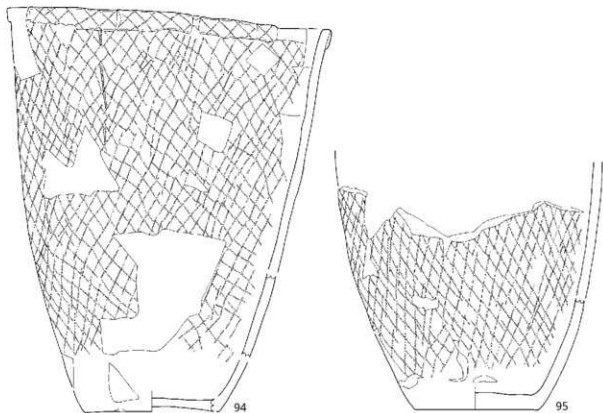


第27図 遺構外出土第IV群土器(14)

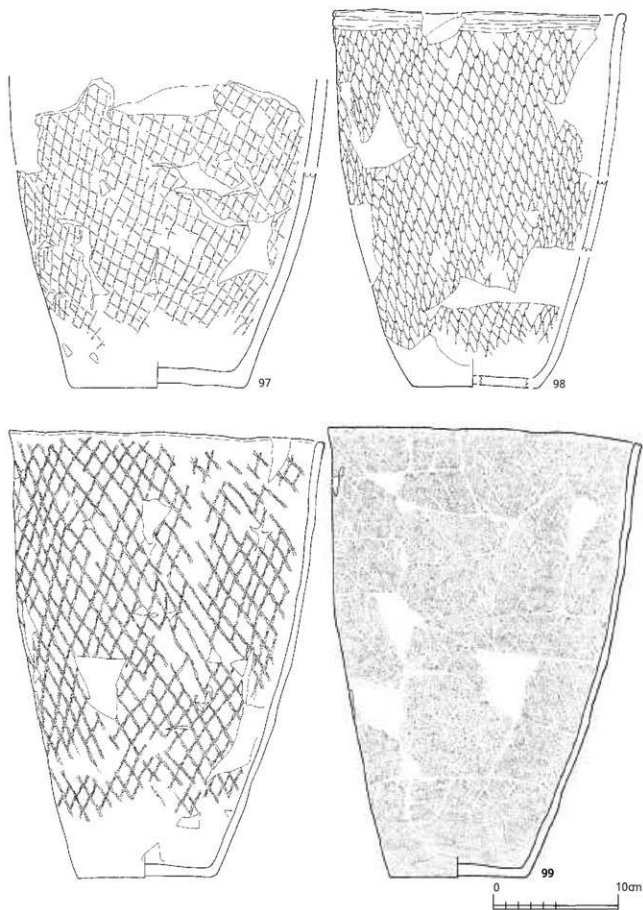


第27図 遺構外出土第IV群土器(15)

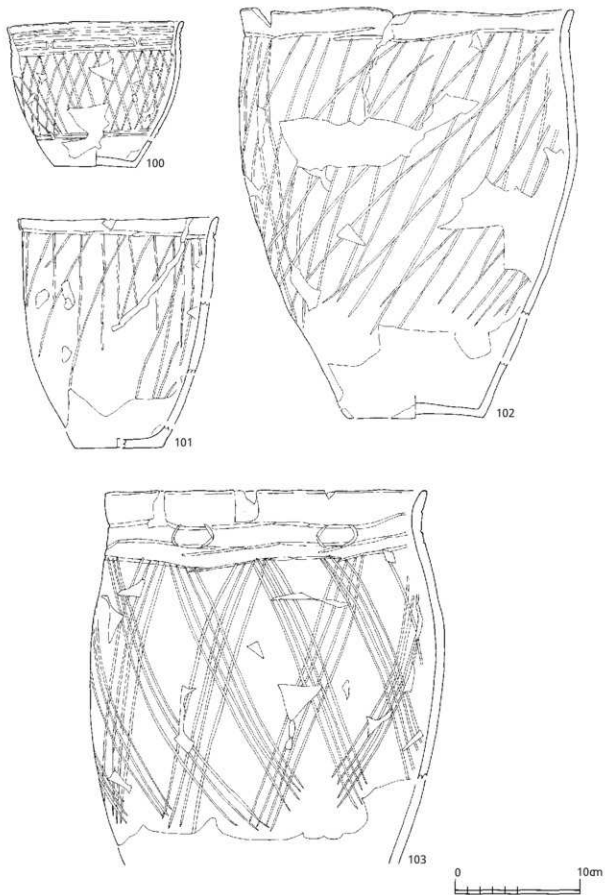




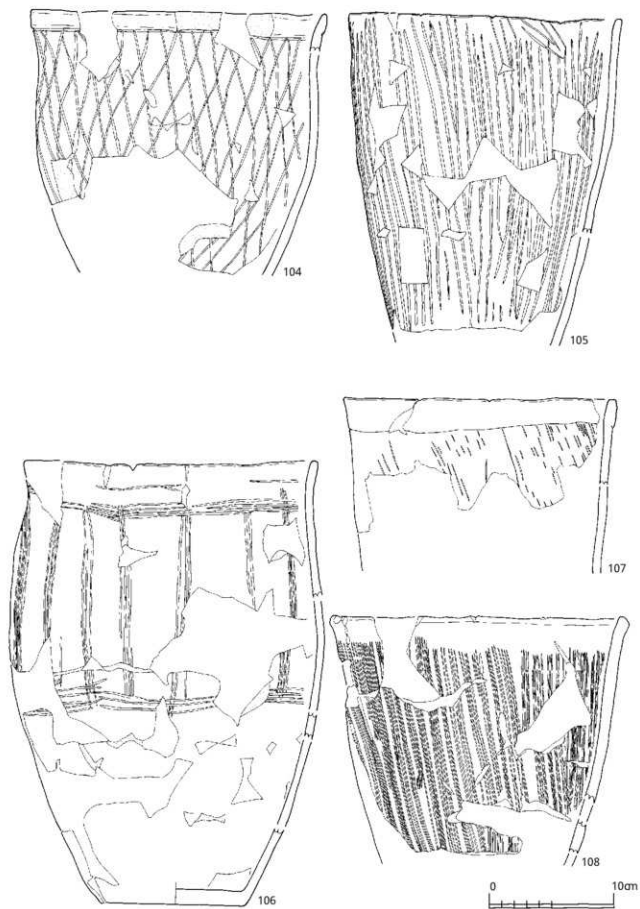
第27図 遺構外出土第IV群土器(16)



第274図 遺構外出土第IV群土器(17)



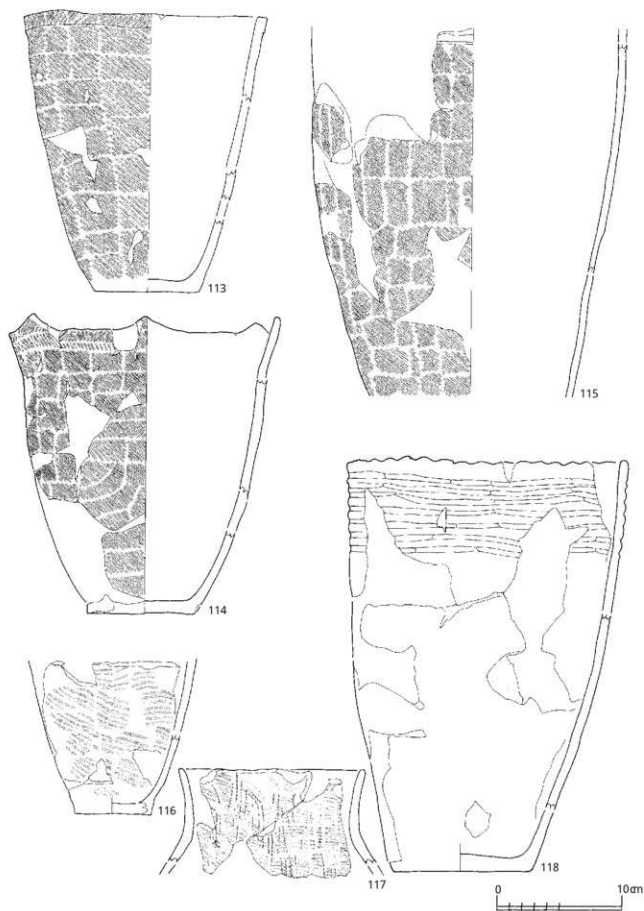
第279図 遺構外出土第IV群土器(18)



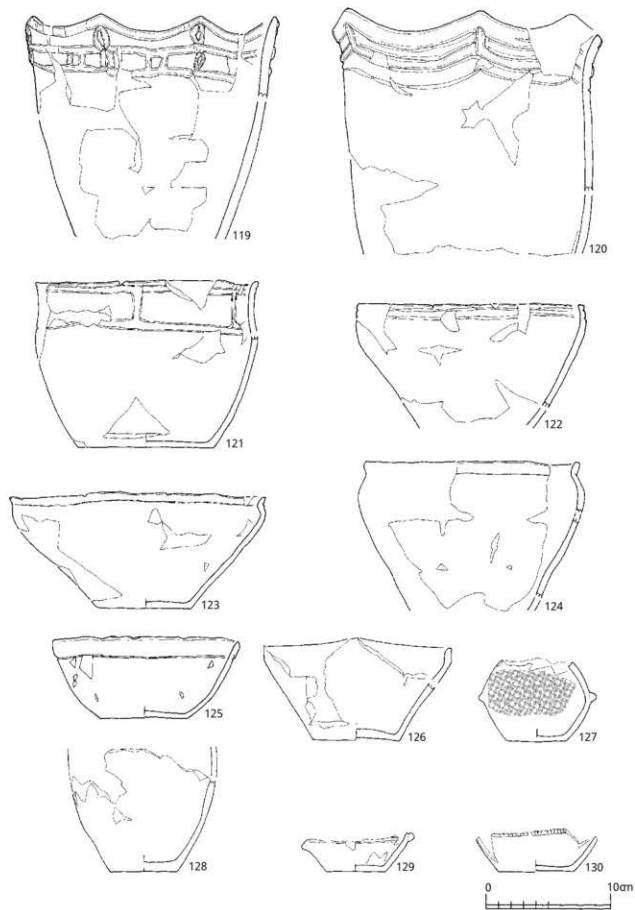
第27図 遺構外出土第IV群土器(19)



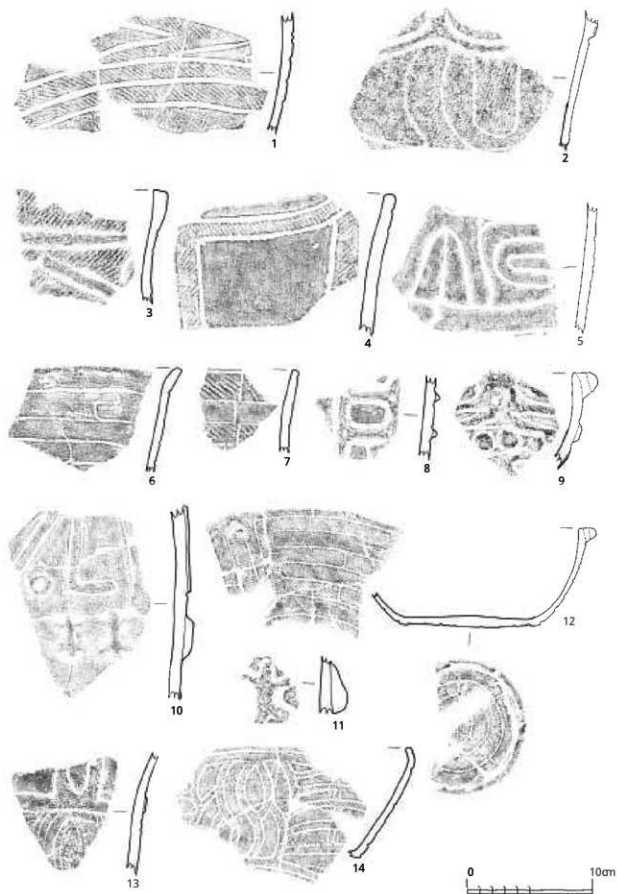
第27図 遺構外出土第IV群土器(20)



第278図 遺構外出土第IV群土器(21)

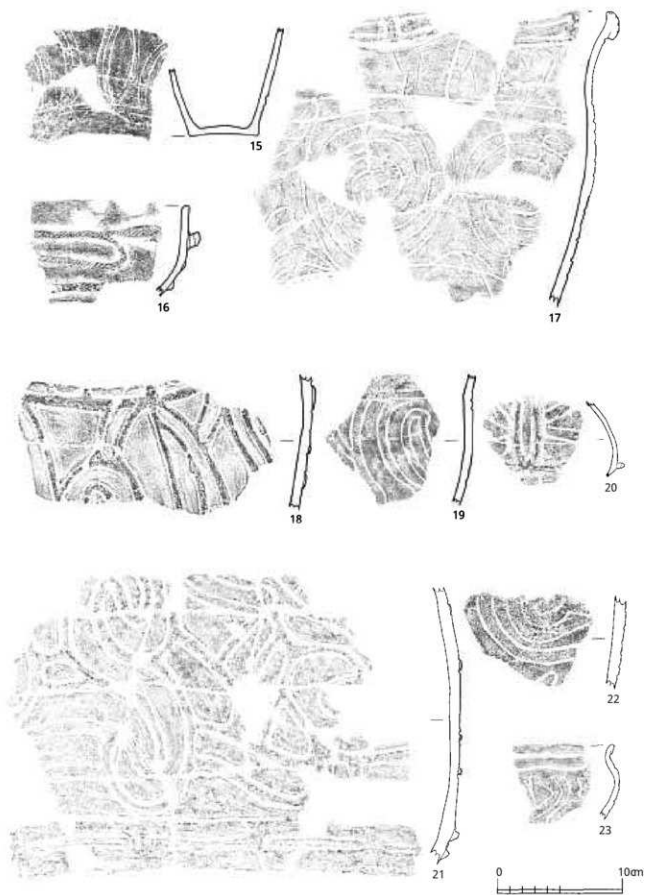


第 279 図 遺構外出土第 IV 群土器 ( 22 )

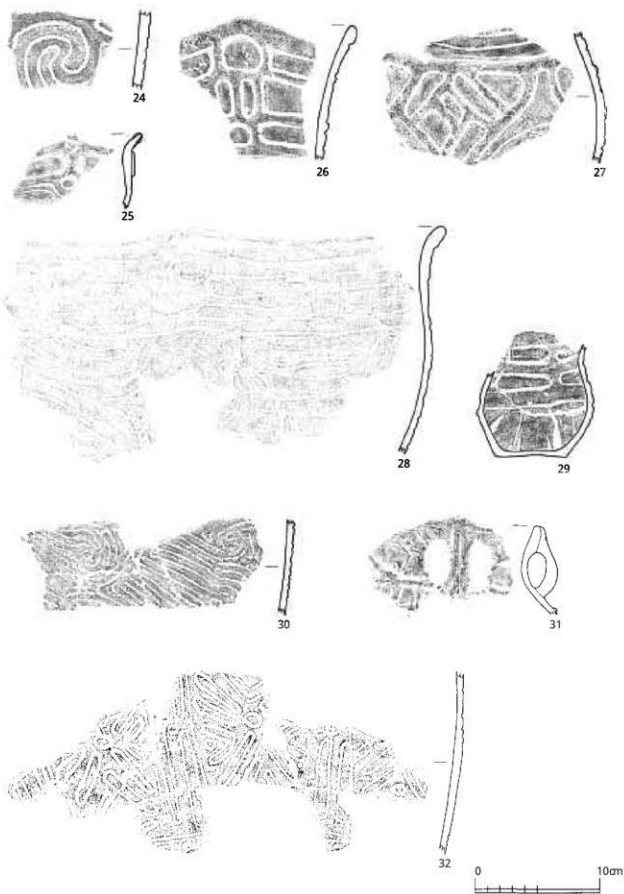


第28図 遺構外出土第IV群土器(23)

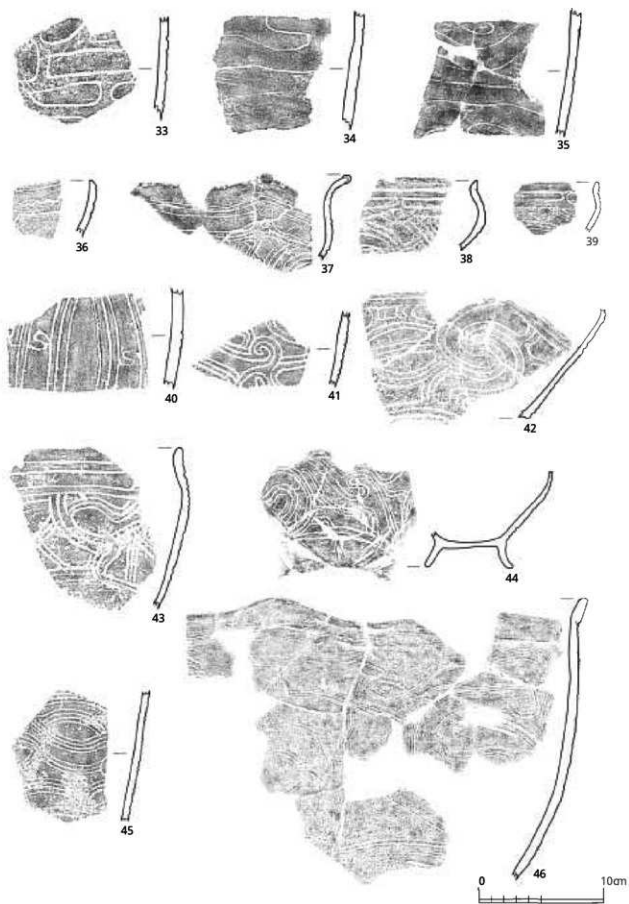




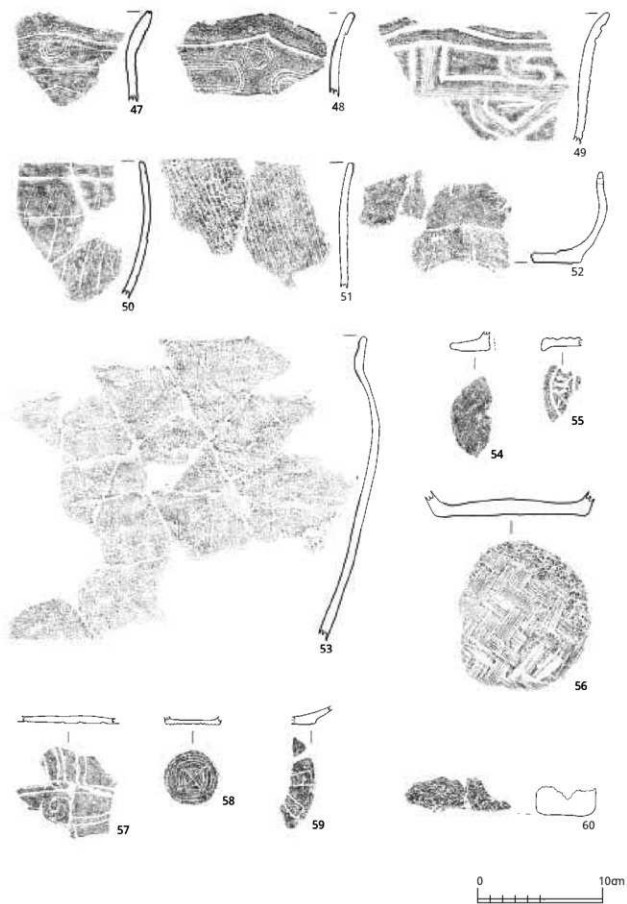
第28図 遺構外出土第IV群土器(24)



第28図 遺構外出土第IV群土器(25)



第28図 遺構外出土第IV群土器(26)



第284図 遺構外出土第IV群土器(27)



見られる。

### 3. 有茎

#### (1) 凹基(第 図 ~ )

遺構外から8点、総数8点が出土している。

基部付近で側縁が広がりやや内湾する形状のもの(第 図 ~ )が見られる。

#### (2) 平基(第 図1、第 図、第 図 ~、第 図 ~ )

遺構内から2点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

小型のもの、やや大型で細長い形状のものが見られる。

基部を除き腹面にほとんど調整の認められないもの(第 図 )なども見られる。

#### (3) 凸基(第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 ~、第 図 )

遺構内から6点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

小型のものが多く側縁がやや湾曲しているのが見られる。

また、全体に荒い調整の認められるもの(第 図、第 図 )幅広の形状のもの(第 図 )なども見られる。

### 4. その他の石畿。

出土していない。

### 5. 欠損品等で基部が無く、細分できないもの。

遺構外から8点、総数8点が出土している。

### 6. 石畿未製品。(第 図7、第 図 ~ )

遺構外から5点、総数5点が出土している。

基部および一側縁にのみ調整が認められるもの(第 図 )などが見られる。

・銚先畿 出土していない。

・石槍(第 図、第 図、 )

遺構内から1点、遺構外から2点、総数3点が出土している。石質は、形質頁岩が %を占める。

#### 1. 幅広のもの。(第 図 )

遺構外から1点、総数1点が出土している。

#### 2. 細長のもの。(第 図、第 図 )

遺構内から1点、遺構外から1点、総数2点が出土している。

#### 3. 欠損品等で細分できないもの。

出土していない。

・石錐

遺構内から4点、遺構外から 点、総数 点が出土している。石質は、形質頁岩が %を占め、他は玉髄が2点である。

#### 1. 錐部のみ二次調整を行うもの。(第 図、第 図 ~、第 図 ~ )

遺構内から2点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

剥片の端部に調整を施し錐部を作出するものである。

2. 全体に二次調整を行うもの。

(1) つまみ部を有するもの。(第 図、第 図、 、 )

遺構内から1点、遺構外から3点、総数4点が出土している。やや幅広のつまみ部を有する。

(2) 直線的な棒状のもの。(第 図、第 図、 、 、 ~、第 図 ~ )

遺構内から1点、遺構外から 点、総数 点が出土している。おおむね直線的な形状を呈するが器体中位がやや膨らむ形状のもの(第 図 も見られる。)

3. 錐部の欠損品等で細分できないもの。

出土していない。

・石匙

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。石質は、形質頁岩が %を占め、他は玉髄が2点である。

1. 縦形。(第 図2、3、7、8、第 図 ~、第 図 ~、第 図、 、第 図、 、 、第 図 ~、 、第 図、 、第 図 ~、第 図 ~、第 図、 、第 図2、第 図、 、第 図、 、第 図、 、第 図、 、第 図、 、第 図、 、第 図、 、第 図、第 図、 、 、第 図、 、第 図、 、第 図、 、第 図 ~、第 図7、第 図 ~、第 図 ~、第 図 ~、第 図 ~、第 図 ~、第 図 ~、第 図 ~、第 図 ~、第 図 ~、第 図、第 図、 、 、第 図、 、 ~ )

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

細身で両側縁が平行なもの(第 図 ~、第 図 ~、第 図、 ) 細身で下端が鋭くとがる形状のもの(第 図、第 図、 ) やや幅広で両側縁が平行なもの(第 図 ~ ) やや幅広で三角形のもの(第 図、 、 ) 幅広(第 図 ~ ) 一側縁が直線的、他側縁が弧状で半月状のもの(第 図 ~、第 図 ~、第 図 ~ ) などが見られる。また、幅広いつまみ部を有するもの(第 図 ) やつまみ部の調整のほか一側縁にのみ調整の認められるもの(第 図、 、第 図 ) などが見られる。

2. 横形。(第 図9、第 図、第 図、 、第 図、第 図、第 図 ~、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 ~、第 図 ~、第 図 ~、第 図、 、 、 、第 図 )

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

つまみ部が短軸の軸線上にあるもの。(第 図、第 図、第 図、 、 、第 図、 ~、第 図 ) とつまみ部が短軸の軸線上と斜交するもの。(第 図、第 図、第 図、 、第 図、 、第 図 ~ ) とがある。また、幅広のつまみ部を有するもの(第 図、第 図 ~、 ) も見られる。

## 3. 欠損品等で細分できないもの。

遺構内から6点、総数6点が出土している。

## ・大石平石筥(第 図、第 図、第 図 ～、第 図 ～)

遺構内から2点、遺構外から 点、総数 点が出土している。石質は、形質頁岩が %を占める。

つまみ状の頭部を呈するものと、細長い柄状のものがある。全体として背面を主体とする調整が見られるが、一部には、腹面全面に調整の認められるもの(第 図)や古い剥離面を残すもの(第 図、第 図)も見られる。

## ・石筥

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。石質は、形質頁岩が %を占め、他は玉髄2点、緑色凝灰岩1点である。

## 1. 投形を呈するもの。(第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 ～、第 図 ～、第 図 ～、第 図、)

遺構内から4点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

おおむね両面からの調整が認められるが、腹面の調整が側縁に留まるもの(第 図、) 両面ともに調整が側縁に留まるもの(第 図、第 ) 荒めの調整でやや大型のもの(第 図、) などが見られる。

## 2. 側縁が弧状のもの。(第 図、第 図、第 図、第 図 ～、第 図 ～)

遺構内から3点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

比較的大型で荒めの調整のものと小型のものとが見られる。また、調整が側縁に留まるもの(第 図)も見られる。

## 3. 側縁が直線的なもの。(第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 ～、第 図 ～)

遺構内から3点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

## 4. 欠損品等で細分できないもの。

遺構外から3点、総数3点が出土している。

比較的大型で荒めの調整のものと小型のものとが見られる。大型のものは腹面の調整が側縁に留まる。

## ・異形石器(第 図、第 図、第 図、第 図)

遺構内から5点、総数5点が出土している。石質は、形質頁岩が %を占め、他は赤鉄鉱が1点である。

## ・不定形石器

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。石質は、形質頁岩が %を占め、他は玉髄3点、安山岩3点、石英安山岩2点である。

## 1. 刃部の調整が側縁の / 以上にわたるもの。A～Hに細分した。



A 側縁部のみに調整が施されるもの。(第 図4、6、第 図、 、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図3、第 図9、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 )

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

B 端部のみに調整が施されるもの。(第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 )

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

C 側縁部及び端部に調整が施されるもの。(第 図5、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図4、第 図8、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 )

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

D 尖頭状の刃部を有するもの。(第 図、第 図6、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 )

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

E 円形、楕円形の器体周囲に調整が施されるもの。(第 図、第 図7、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 )

遺構内から9点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

F 定形石器の欠損品と思われるもの。

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

G 挟入部をもつもの。(第 図、第 図、第 図 )

遺構内から6点、遺構外から6点、総数 点が出土している。

H 側縁が鋸歯状のもの。

遺構内から1点、遺構外から3点、総数4点が出土している。

2. 刃部の調整が一側縁の / 未満のもの。(第 図 )

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

3. 刃部は作出されていないが、微細剥離が認められるもの。(第 図、 )

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

4. 欠損品等で細分できないもの。

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

・その他の剥片石器(第 図、第 図、第 図、第 図 )

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。石質は、形質頁岩が %を占め、他は玉髄1点、石英安山岩1点である。

(2) 石斧(第図)

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。石質は、輝緑凝灰岩が %、閃緑岩が %、安山岩が %、変朽安山岩が %を占め、他は頁岩4点、石英安山岩3点、粘板岩2点、凝灰岩1点である。

1. 磨製石斧

A 小型磨製石斧(第 図、第 図、第 図 )

遺構内から2点、遺構外から9点、総数 点が出土している。

おおむね5cm未満のものである。擦切痕の認められるものも含まれる。

B 擦切磨製石斧(第 図、第 図、第 図、第 図、 、 、 、第 図、  
、第 図、第 図、 、第 図)

遺構内から 点、遺構外から8点、総数 点が出土している。

C A、B以外のもの(第 図、第 図、第 図、第 図、 、 、第 図)

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

## 2. 打製石斧 出土していない。

### (3) 礫石器

#### ・礫石錘

遺構内から3点、遺構外から 点、総数 点が出土している。石質は、安山岩が %、凝灰岩が %、石英安山岩が %、凝灰角礫岩が %を占め、他は珪質頁岩2点、頁岩2点、緑色凝灰岩1点である。

1. 器体の長軸に平行な側縁に抉りを作成するもの。(第 図、第 図、第 図 ~、  
第 図 ~)

遺構内から2点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

長軸端部に敲打痕の認められるもの(第 図)や断面が三角形を呈する柱状の礫に抉りを作成するもの(第 図)も見られる。

2. 器体の短軸に平行な側縁に抉りを作成するもの。(第 図 ~)

遺構外から 点、総数 点が出土している。

3. 器体の長軸及び短軸に平行な側縁に抉りを作成するもの。(第 図、 )

遺構内から1点、遺構外から 点、総数 点が出土している。器体周囲の3個所以上に抉りが作出されているものも含めた。3個所に抉りが作出されるもの(第 図)、4個所に抉りが作出されるもの(第 図、 )が見られる。

4. 欠損品等で細分できないもの。

出土していない。

#### ・有溝石錘

遺構外から6点、総数6点が出土している。石質は、凝灰岩が %を占め、他は安山岩1点である。

1. 円形・扁平な礫の器体長軸に全周する1条の溝を有するもの。(第 図 ~、 )

遺構外から4点、総数4点が出土している。

2. 円形・扁平な礫の器体短軸に全周する1条の溝を有するもの。(第 図)

遺構外から1点、総数1点が出土している。器体短軸に数条が合わさり、結果として1条と判断した。

3. 2条以上の溝を有するもの。(第 図)

遺構外から1点、総数1点が出土している。交差する各1条の溝が認められる。



## 2. 敲打痕のみを有するもの。

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

A 円形、楕円形を呈する扁平な礫の平坦面に敲打痕を有するもの。(第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図2、第 図9、第 図、第 図)

遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。面中央部に敲打痕の認められるものと、中央部からややはずれた位置に敲打痕の認められるものがある。

B 円形、楕円形を呈する扁平な礫の端部に敲打痕を有するもの。(第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図3、第 図、第 図、第 図) 遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

C 球状を呈する礫の広範囲に敲打痕を有するもの。(第 図、第 図 ~ ) 遺構内から 3点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

D 断面が三角形を呈する礫の側縁に敲打痕を有するもの。(第 図、第 図) 遺構内から 2点、遺構外から 2点、総数 4点が出土している。

E 敲打痕の部位が複合するもの。(第 図、第 図 ~、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図 ~) 遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。側縁と側面、側面と端部、側縁と端部への敲打痕が認められる。

F 上記以外の形態の自然礫を用いているもの。(第 図 ~) 遺構外から 6点、総数 6点が出土している。不整形な形状の礫に敲打痕が認められるものである。

G 他の石器を転用しているもの。(第 図 ~) 遺構外から 4点、総数 4点が出土している。磨製石斧や石皿の欠損品を用いている。

3. 凹痕のみを有するもの(第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図5、第 図、第 図 ~)

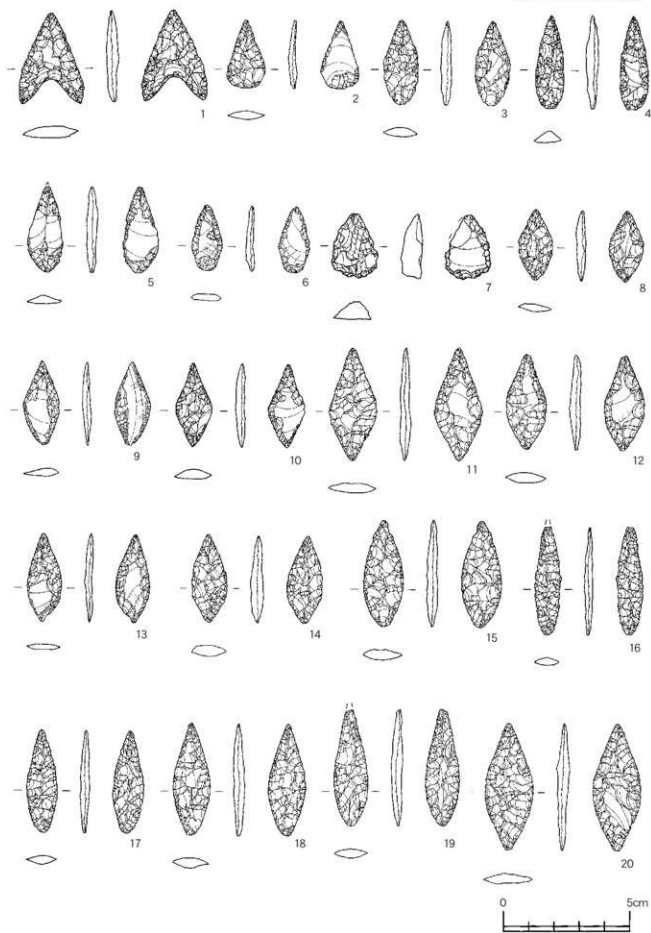
遺構内から 点、遺構外から 点、総数 点が出土している。

側面に1箇所のみ凹痕の認められるものが多数であるが、3個以上(第 図、第 図、第 図) 複数面に敲打痕の認められるもの(第 図、第 図、第 図) が見られる。



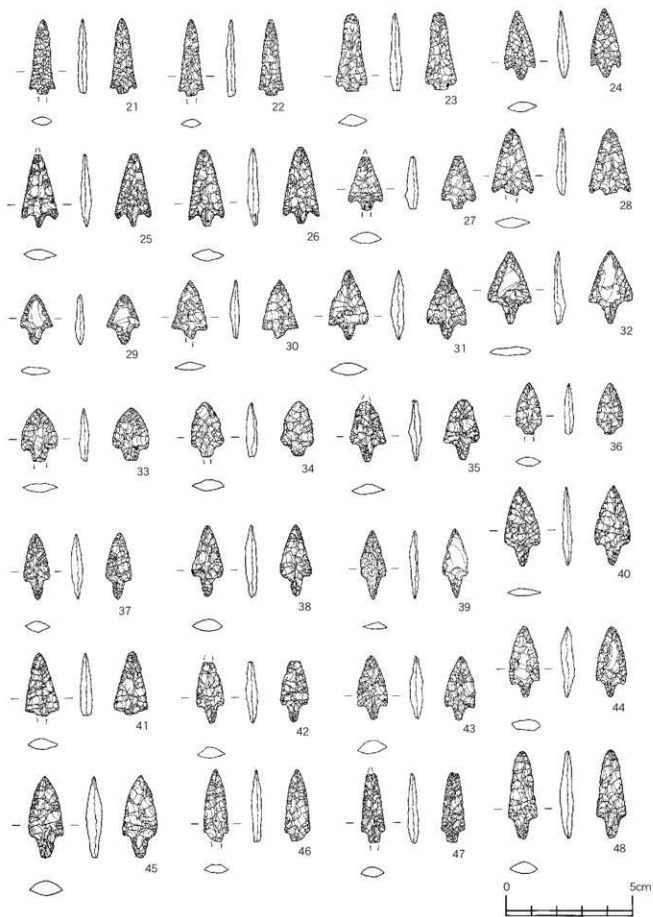




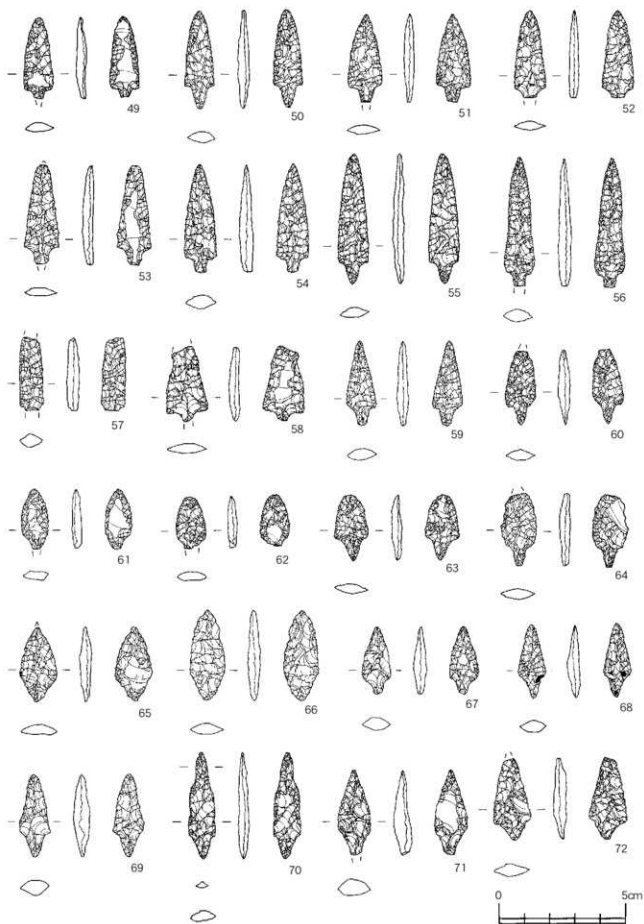


第285図 遺構外出土石器 (1)

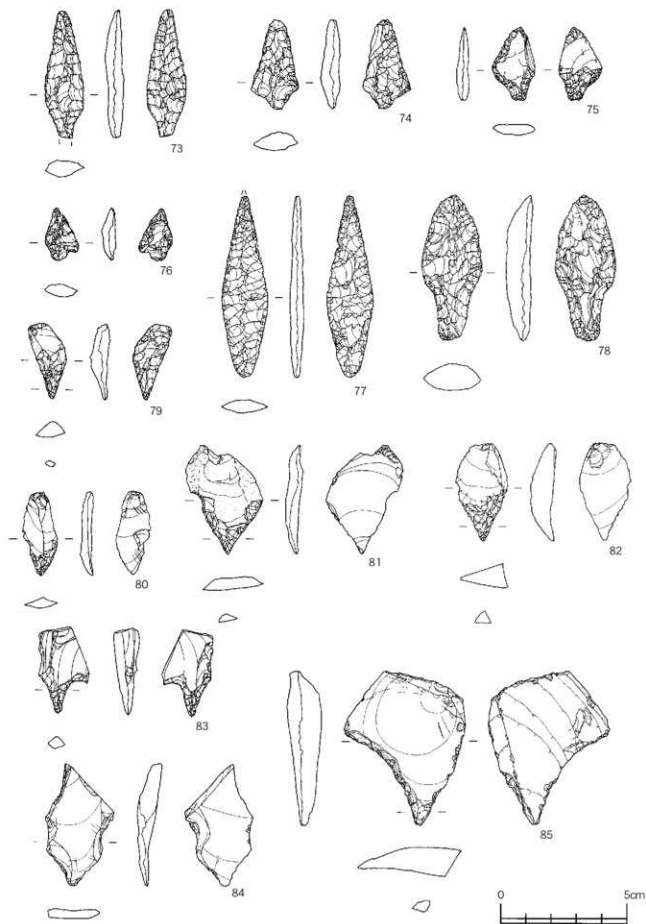




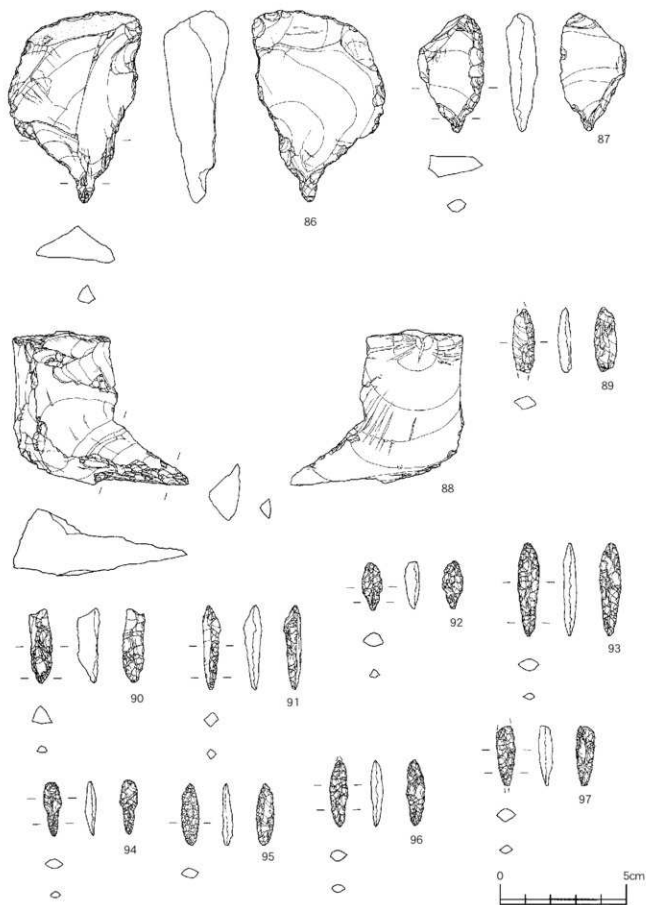
第286図 遺構外出土石器(2)



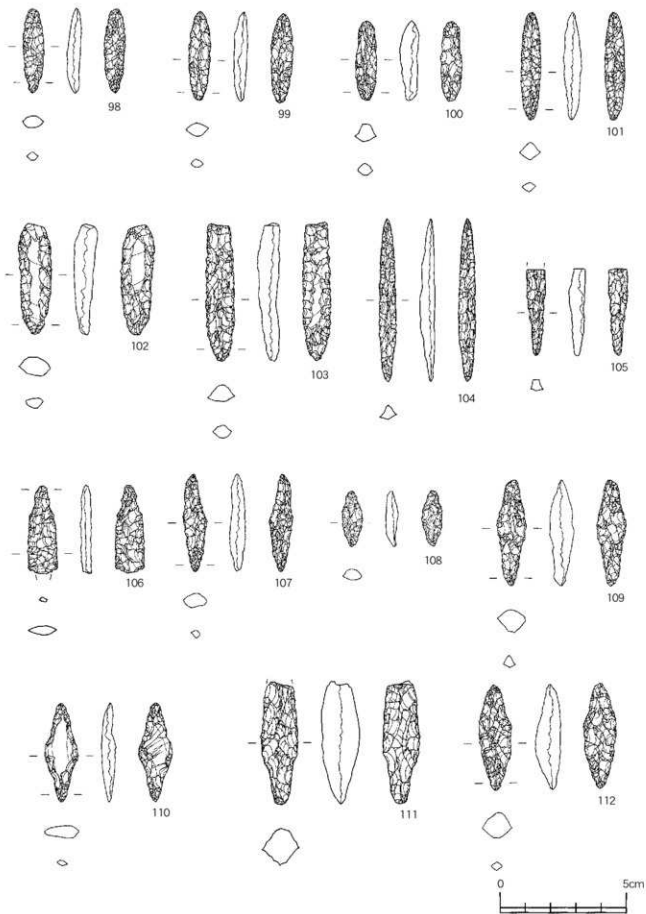
第287図 遺構外出土石器 (3)



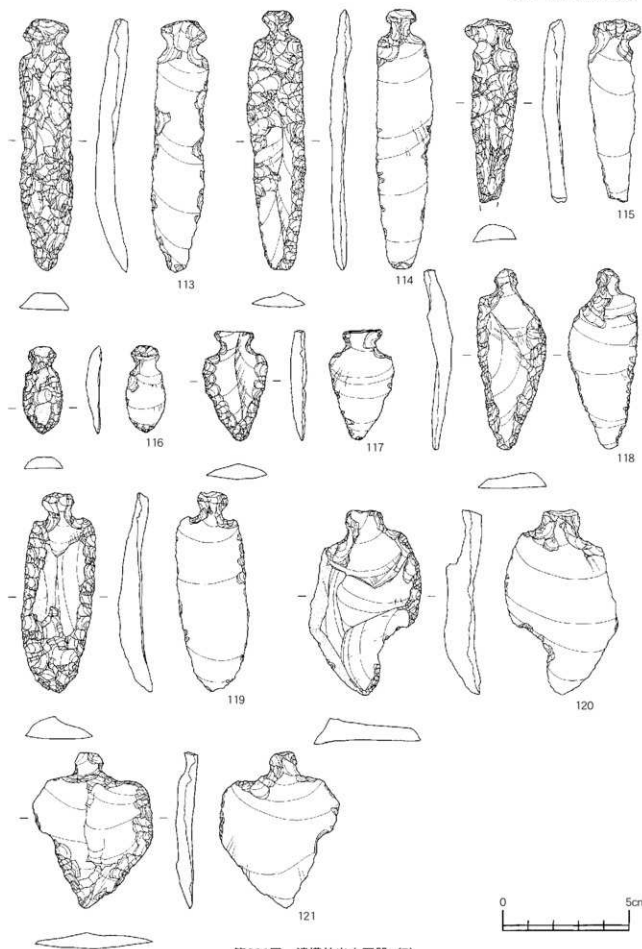
第288図 遺構外出土石器(4)



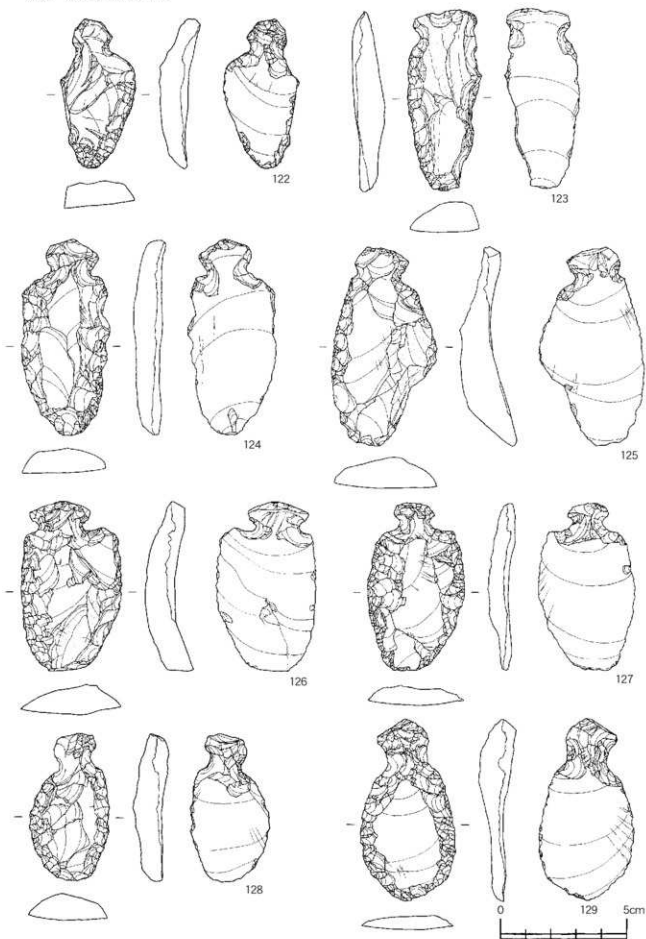
第289圖 遺構外出土石器 (5)



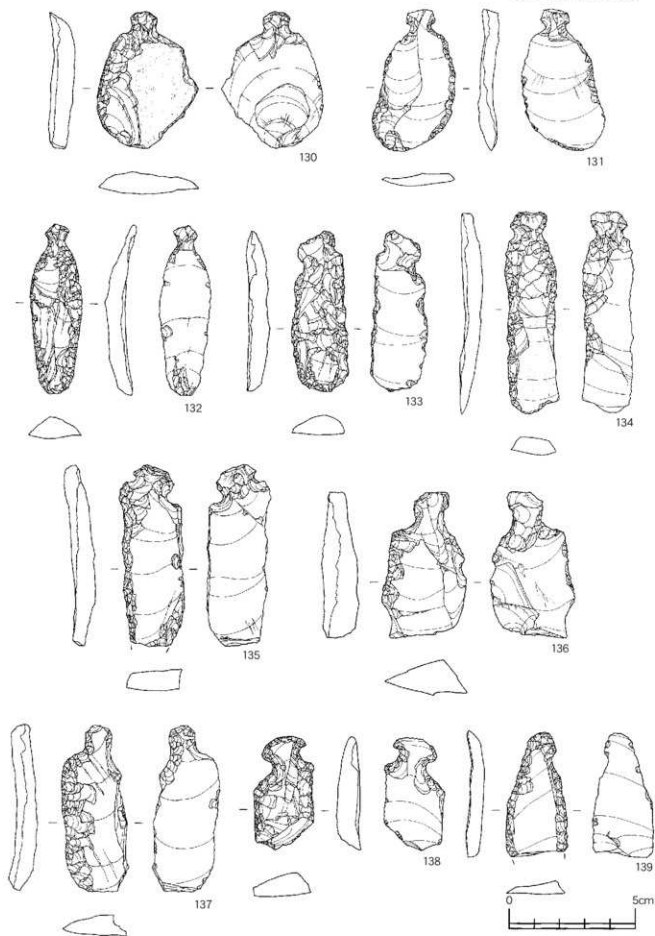
第290図 遺構外出土石器 (6)



第291図 遺構外出土石器 (7)

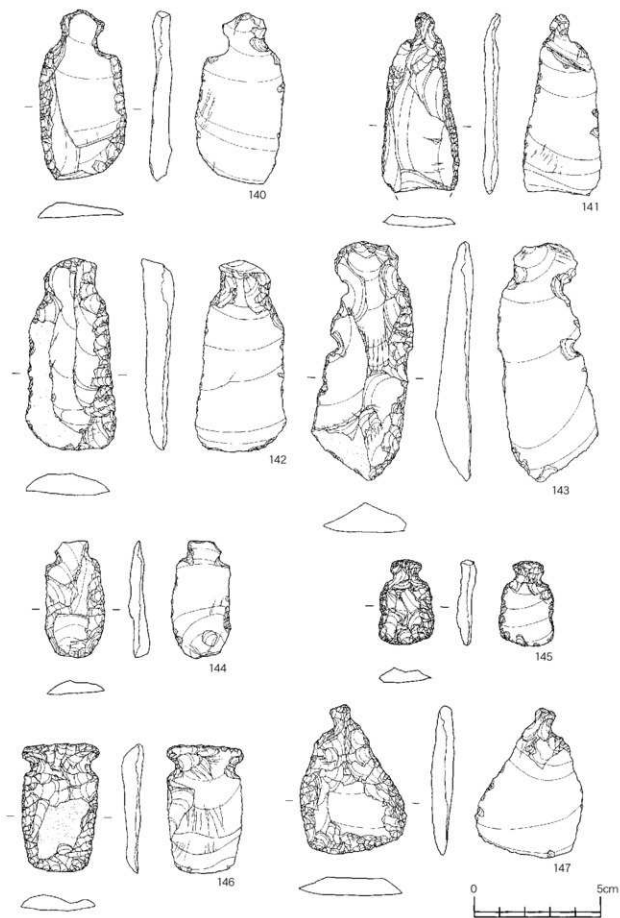


第292図 遺構外出土石器(8)

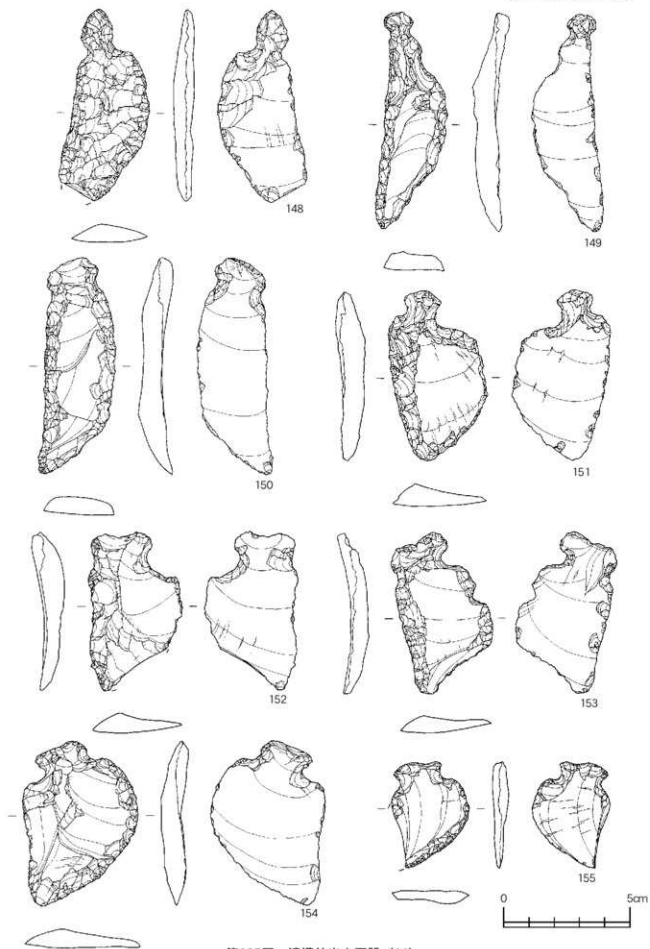


第293図 遺構外出土石器 (9)

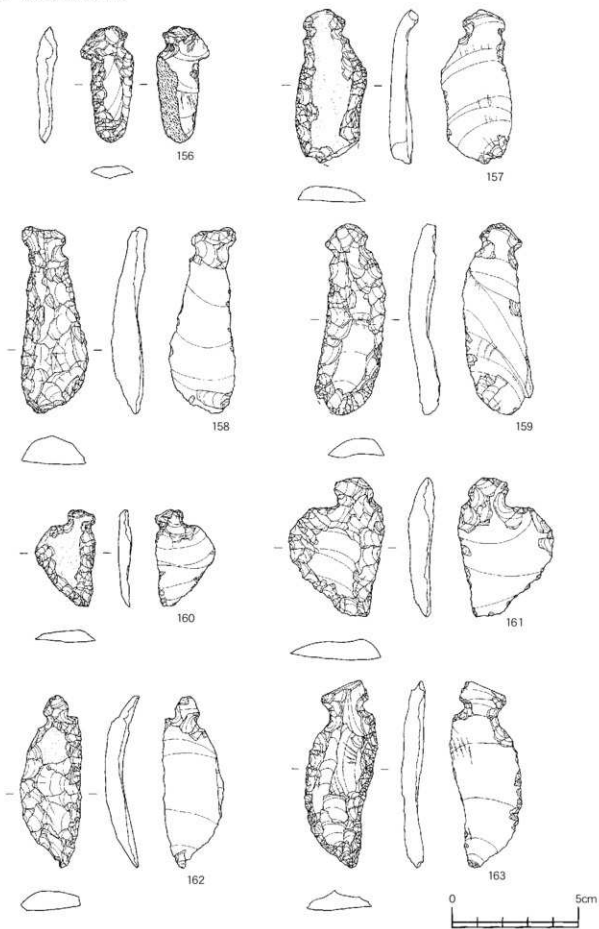




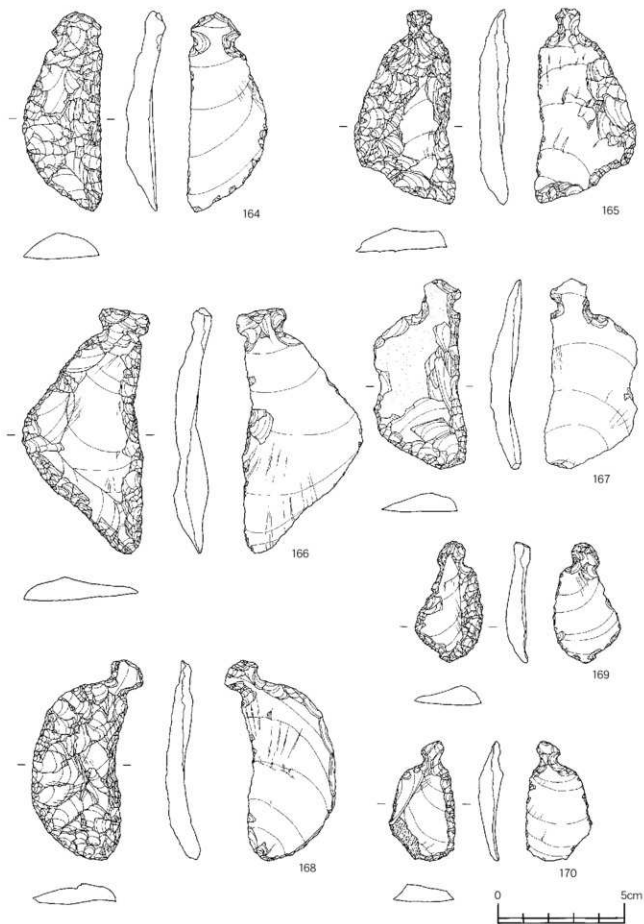
第294図 遺構外出土石器 (10)



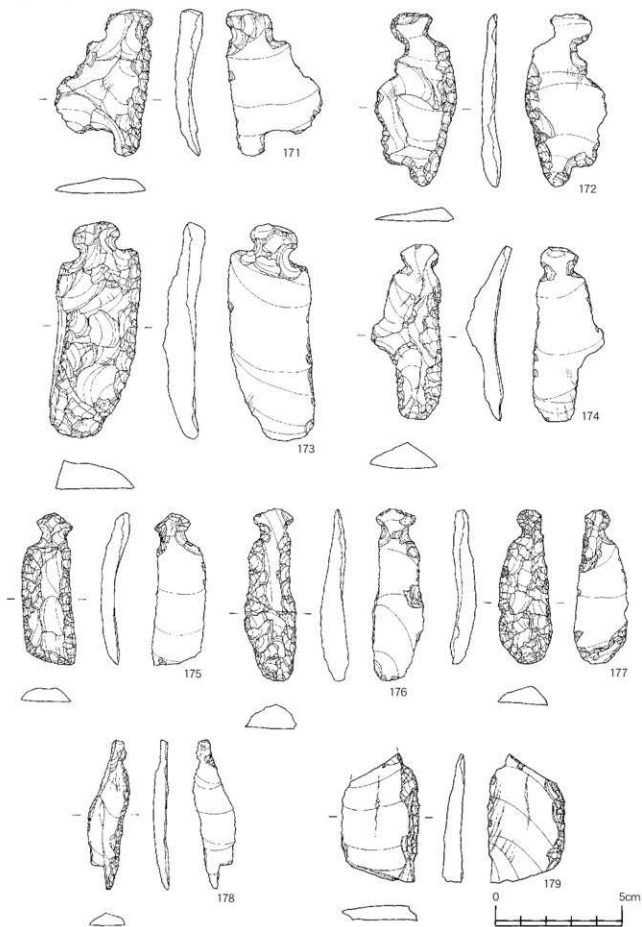
第295図 遺構外出土石器 (11)



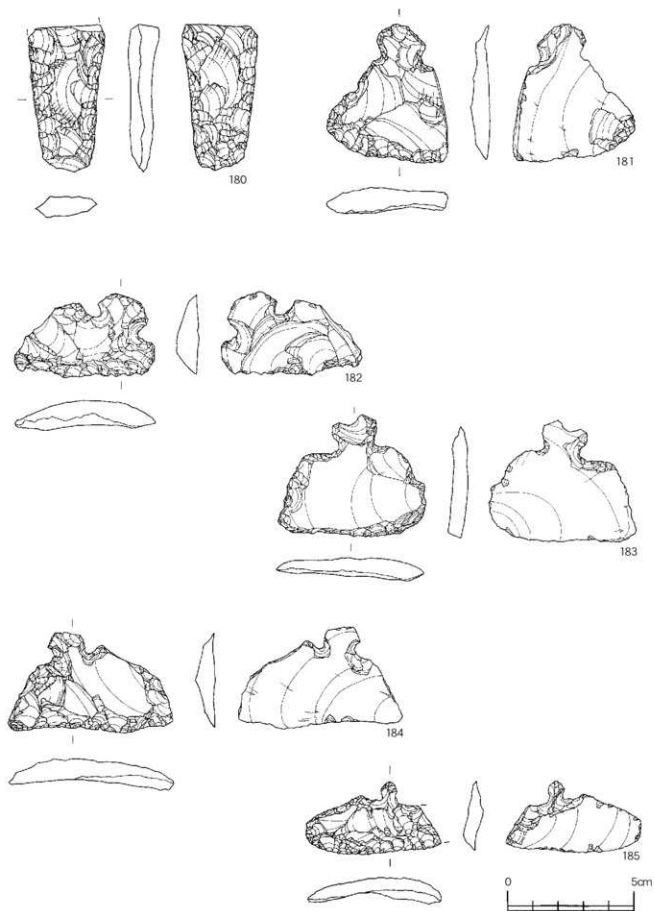
第296図 遺構外出土石器 (12)



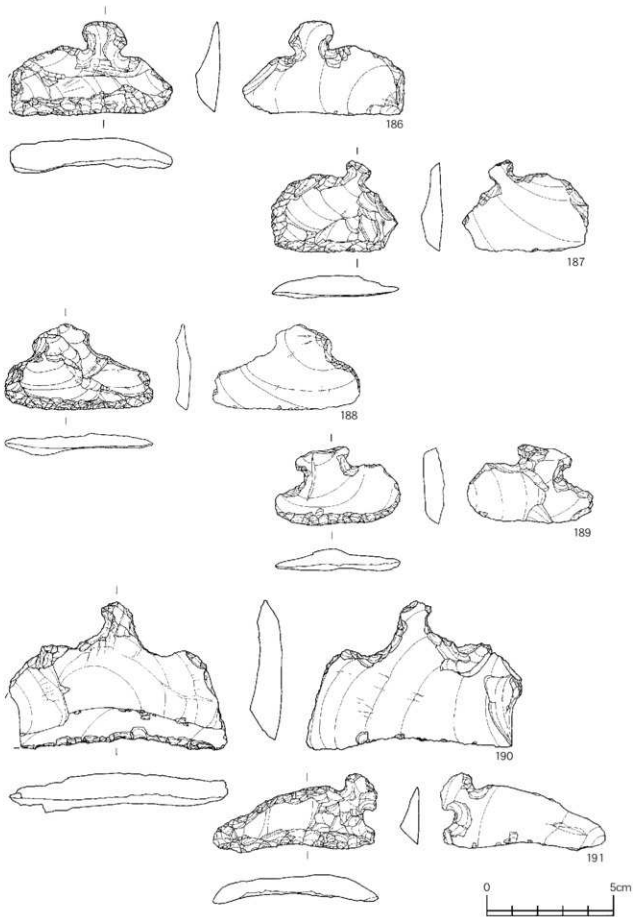
第297図 遺構外出土石器 (13)



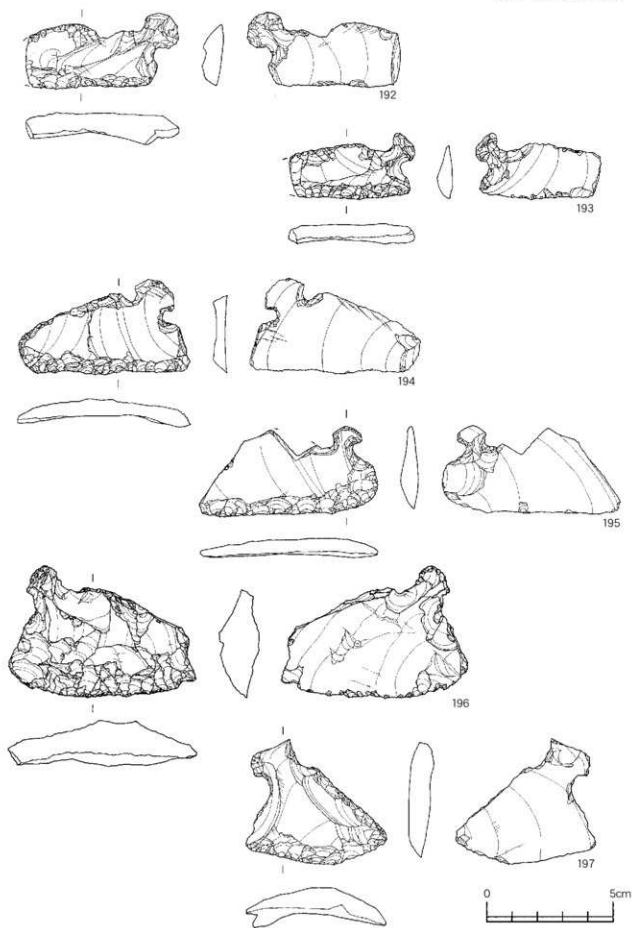
第298図 遺構外出土石器 (14)



第299図 遺構外出土石器 (15)



第300図 遺構外出土石器 (16)

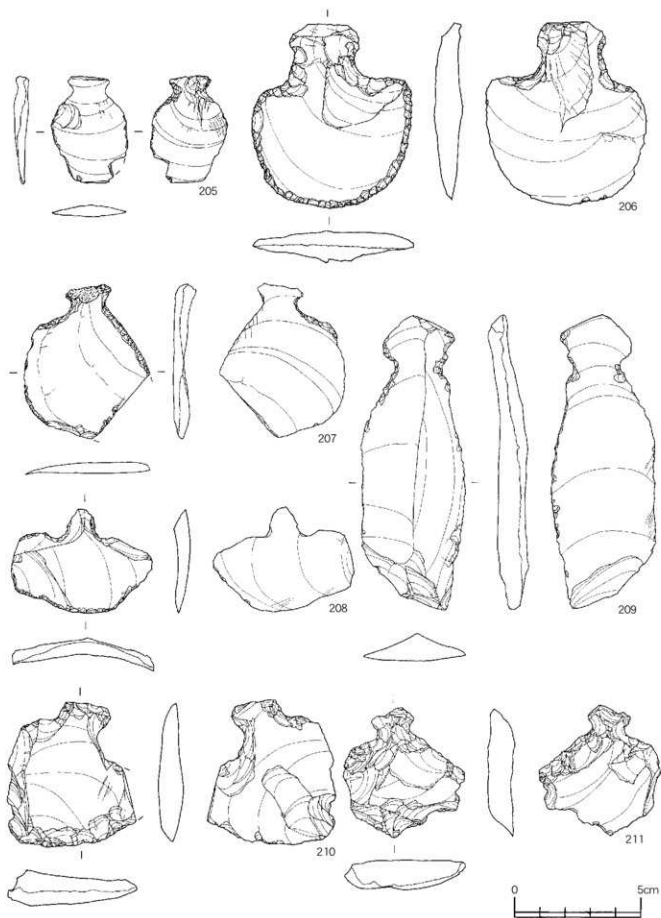


第301図 遺構外出土石器 (17)

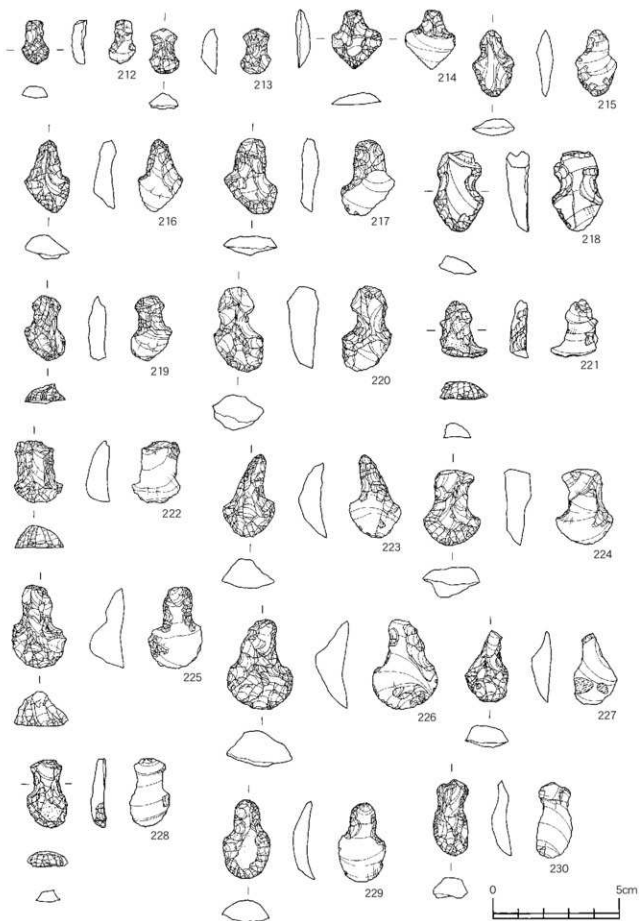




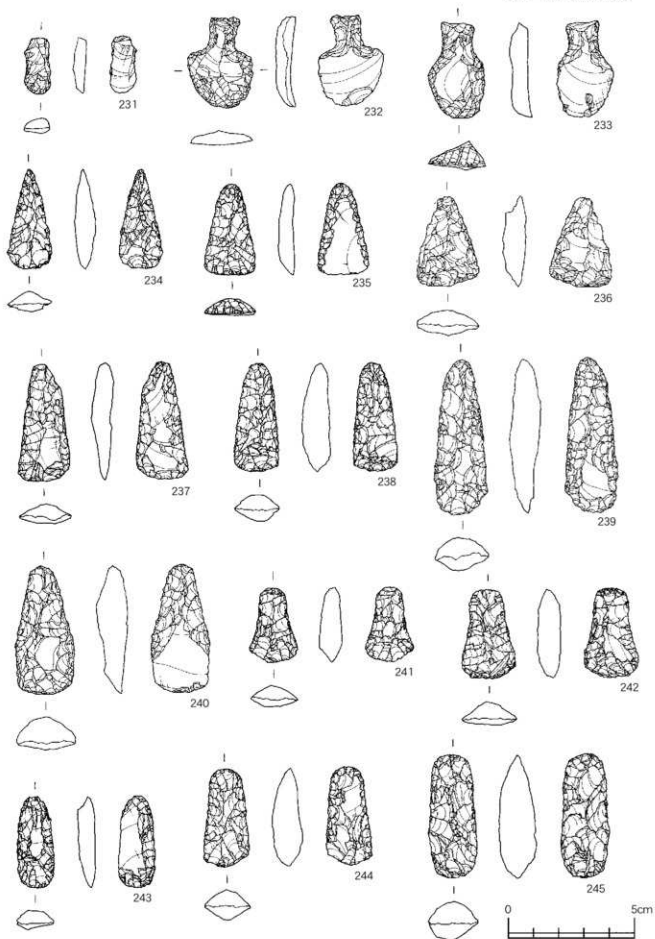
第302図 遺構外出土石器 (18)



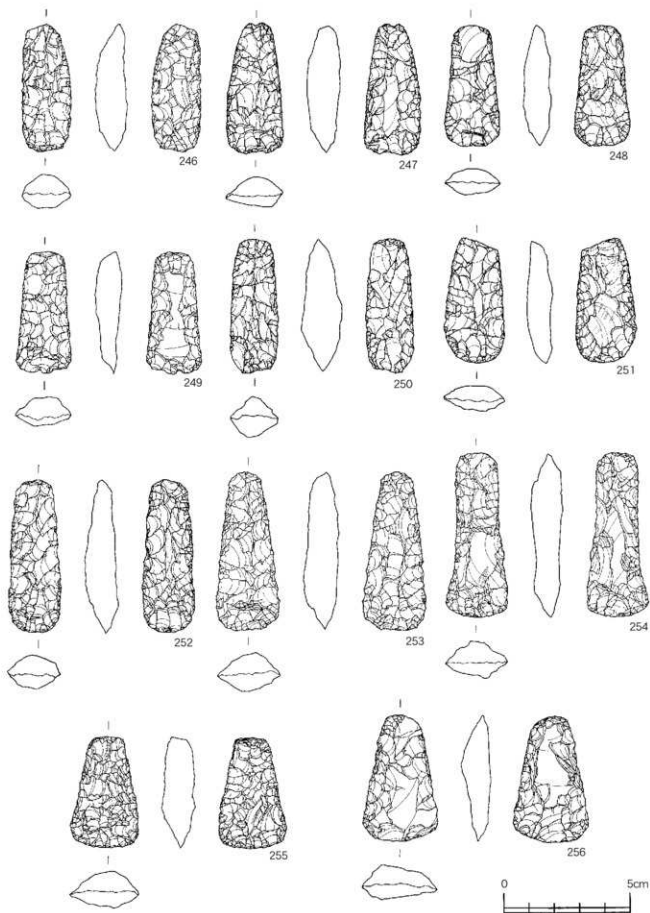
第303図 遺構外出土石器 (19)



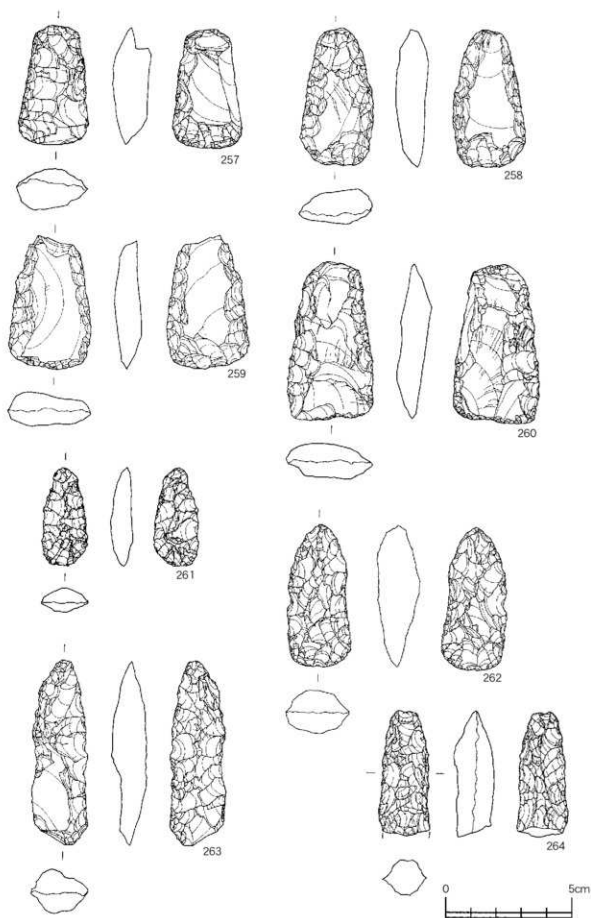
第304図 遺構外出土石器 (20)



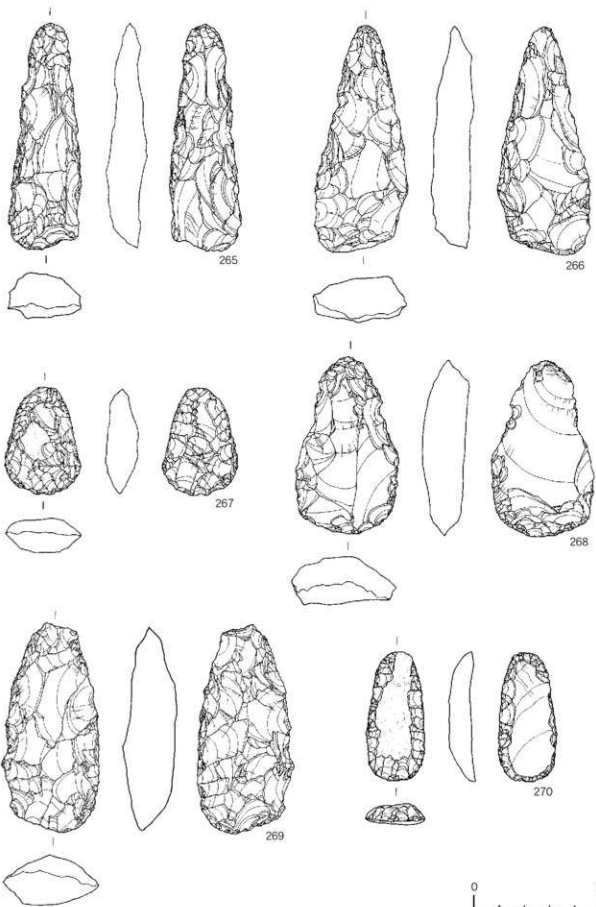
第305図 遺構外出土石器 (21)



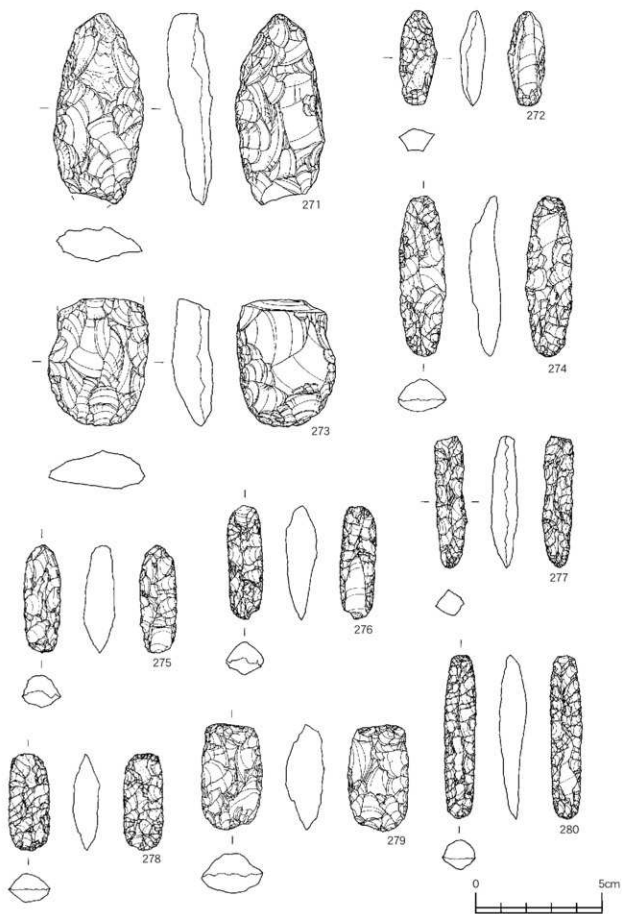
第306図 遺構外出土石器 (22)



第307図 遺構外出土石器 (23)

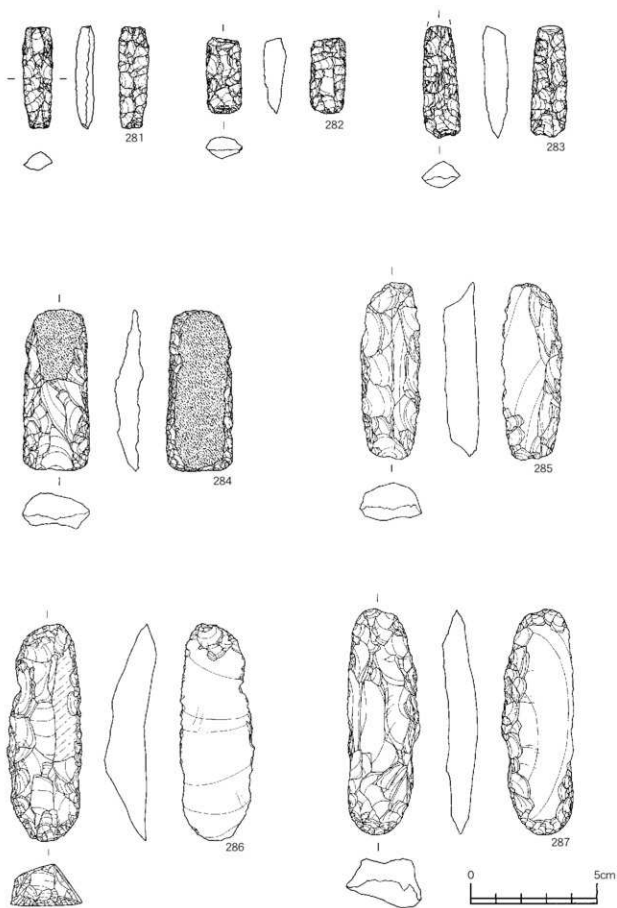


第308図 遺構外出土石器 (24)

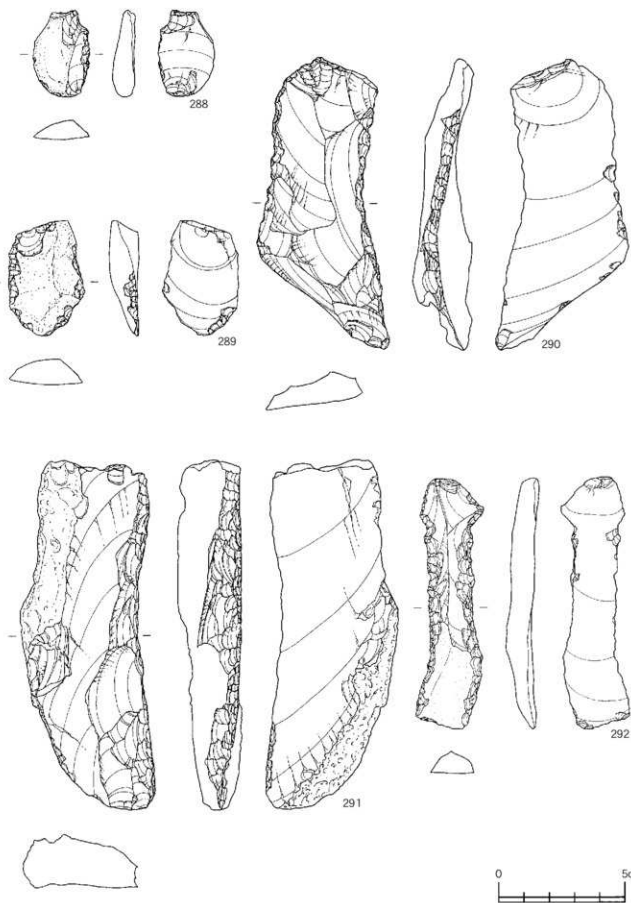


第309図 遺構外出土石器 (25)

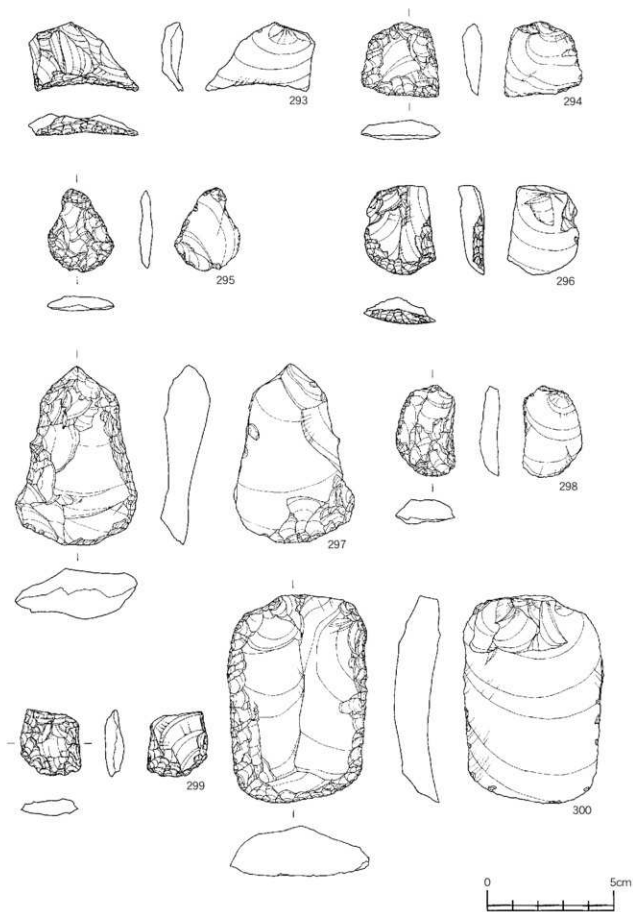




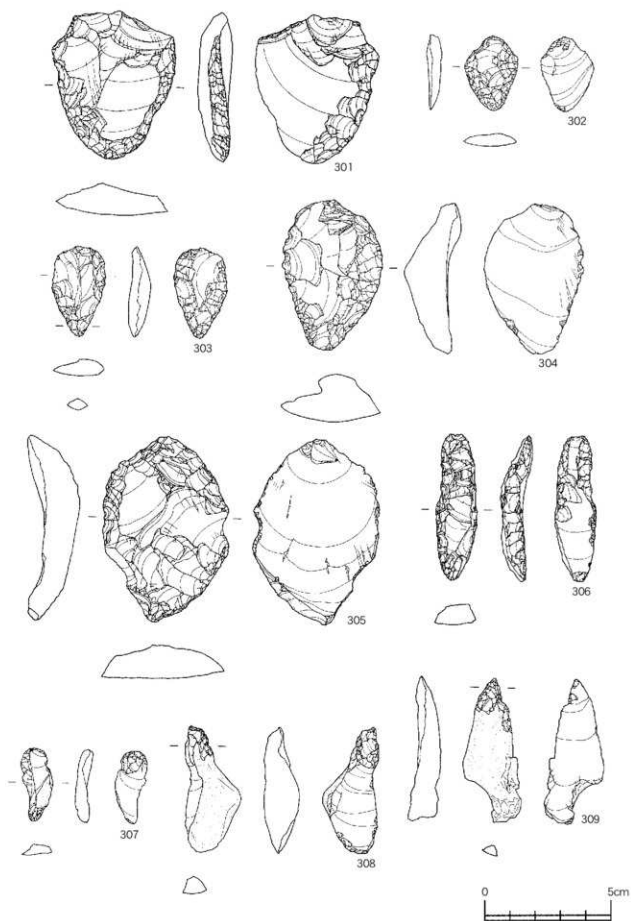
第310図 遺構外出土石器 (26)



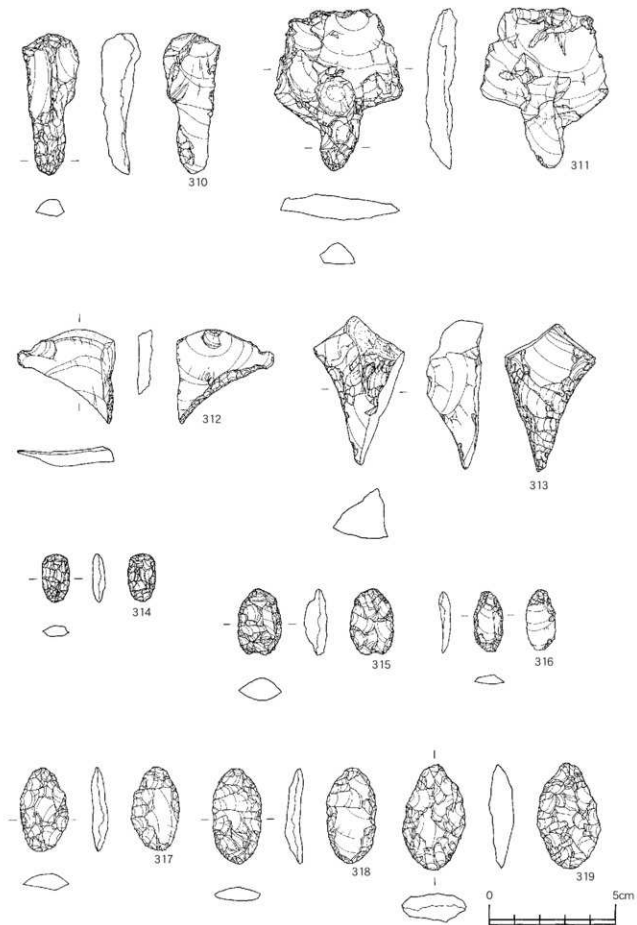
第311図 遺構外出土石器 (27)



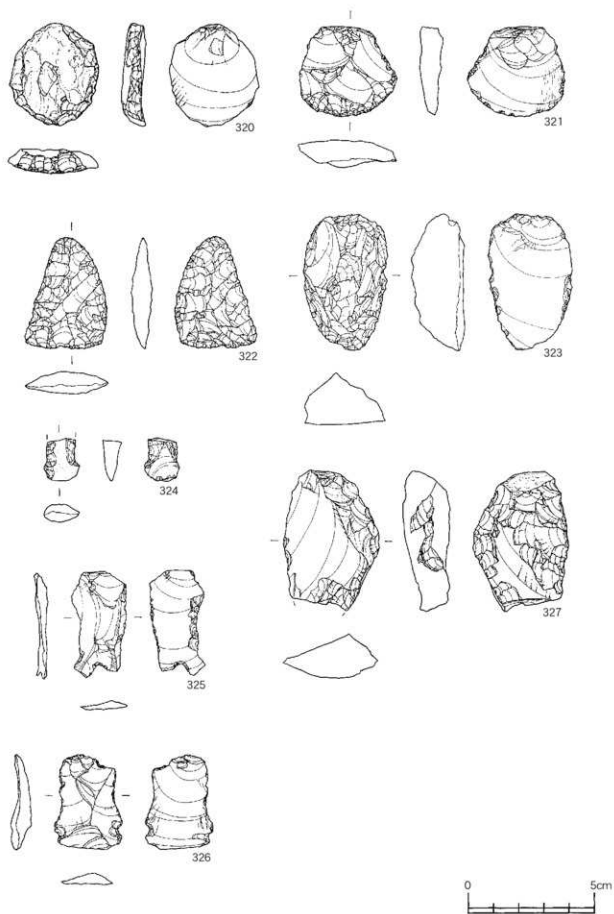
第312図 遺構外出土石器 (28)



第313図 遺構外出土石器 (29)



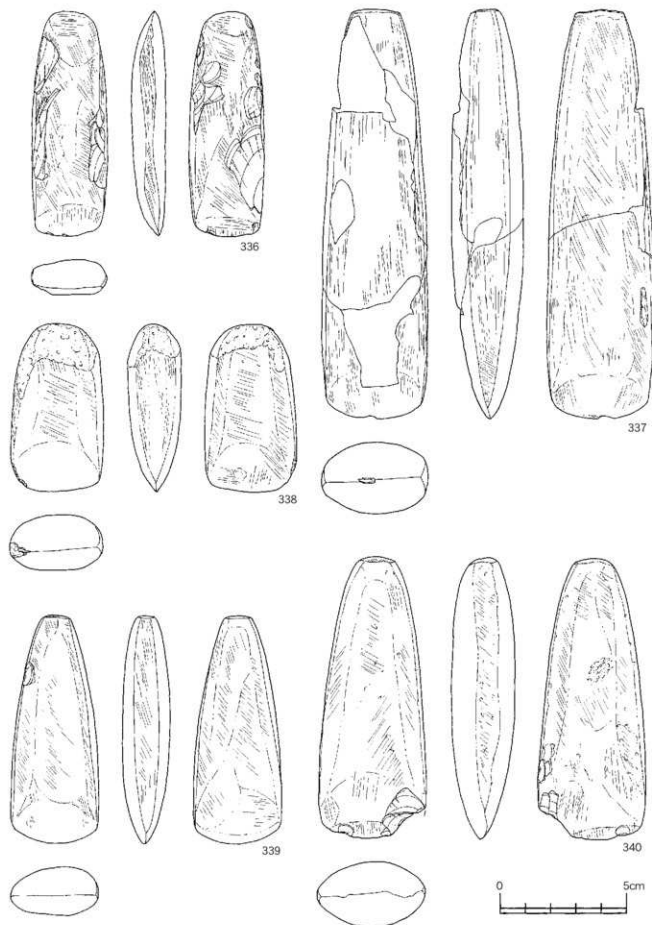
第314図 遺構外出土石器 (30)



第315図 遺構外出土石器 (31)

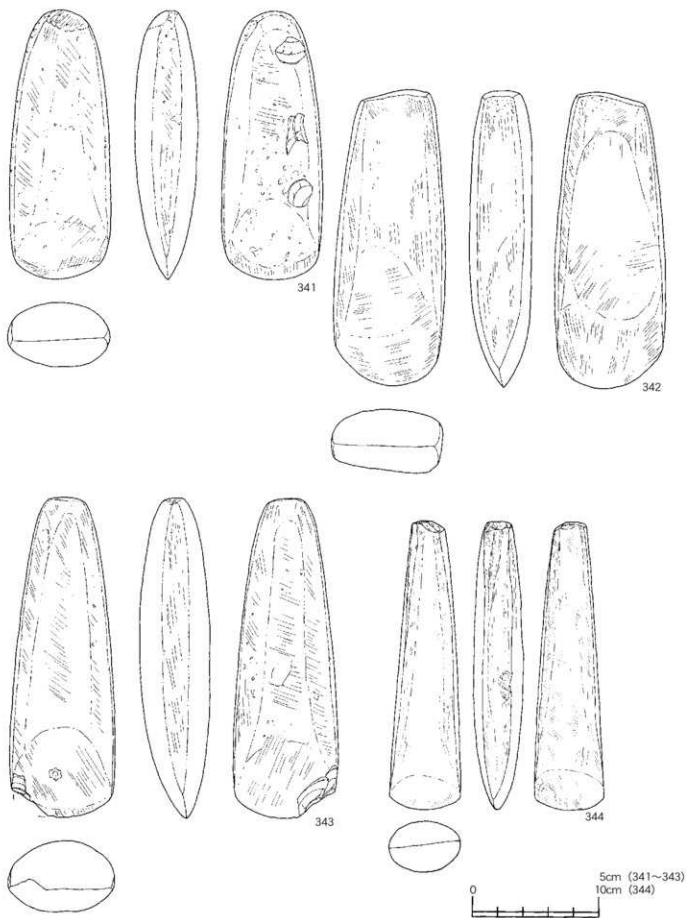


第316図 遺構外出土石器 (32)

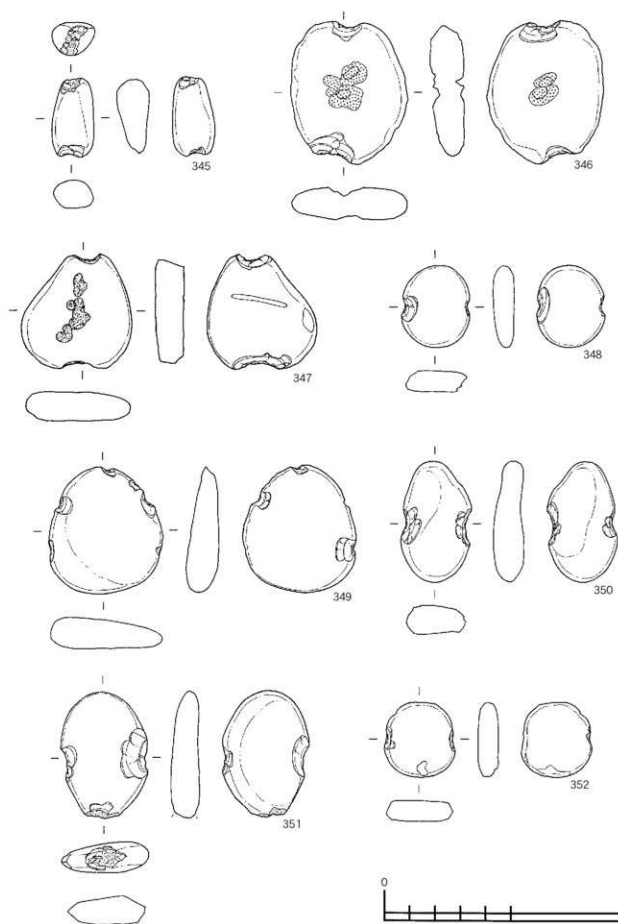


第317図 遺構外出土石器 (33)

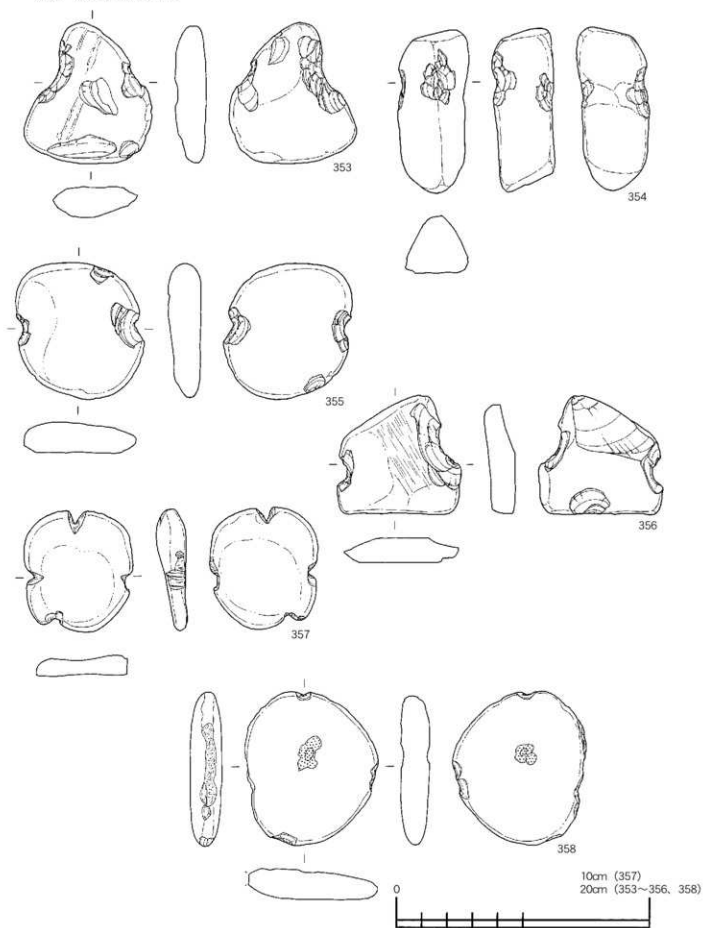




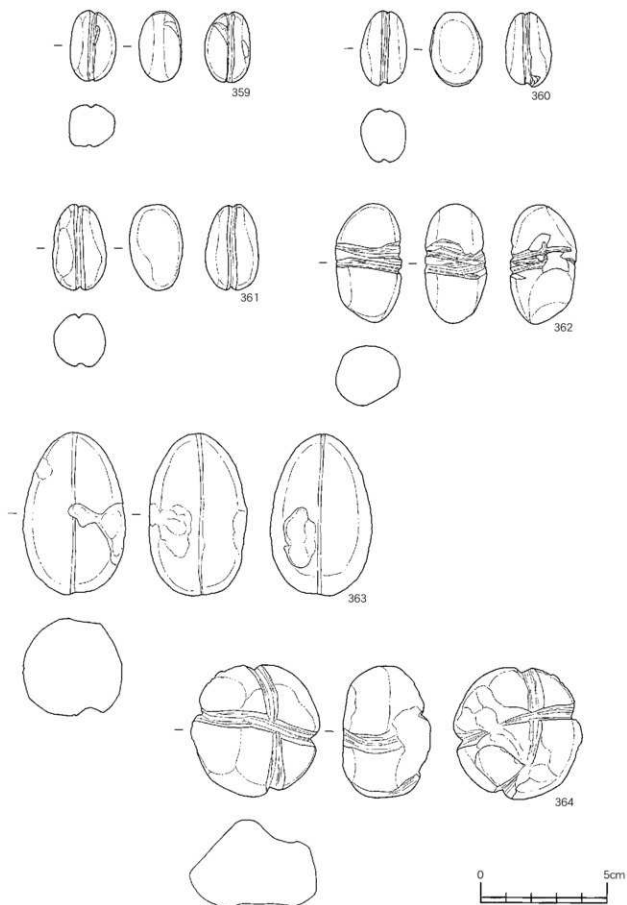
第318図 遺構外出土石器 (34)



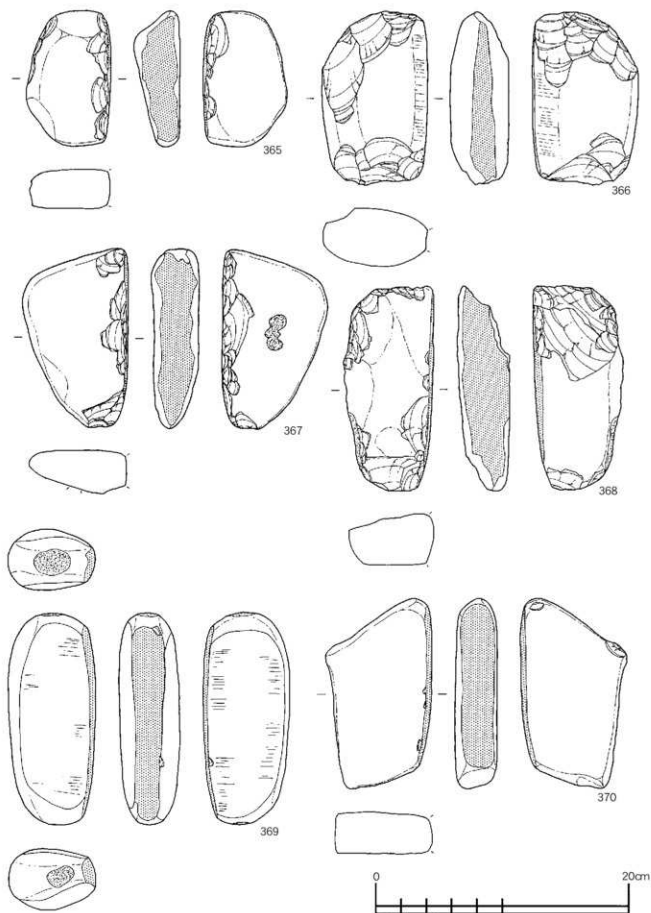
第319図 遺構外出土石器 (35)



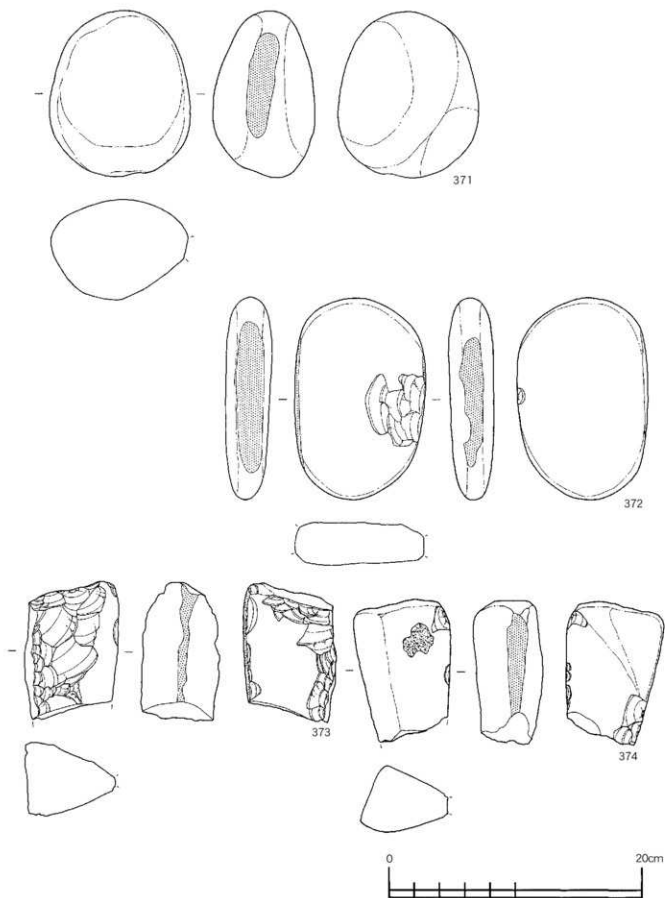
第320図 遺構外出土石器 (36)



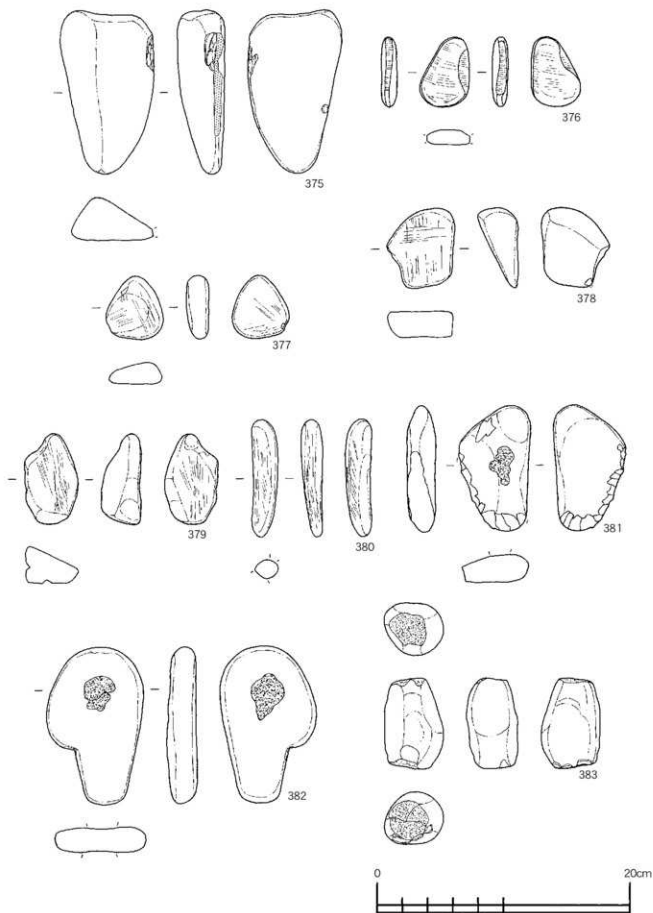
第321図 遺構外出土石器 (37)



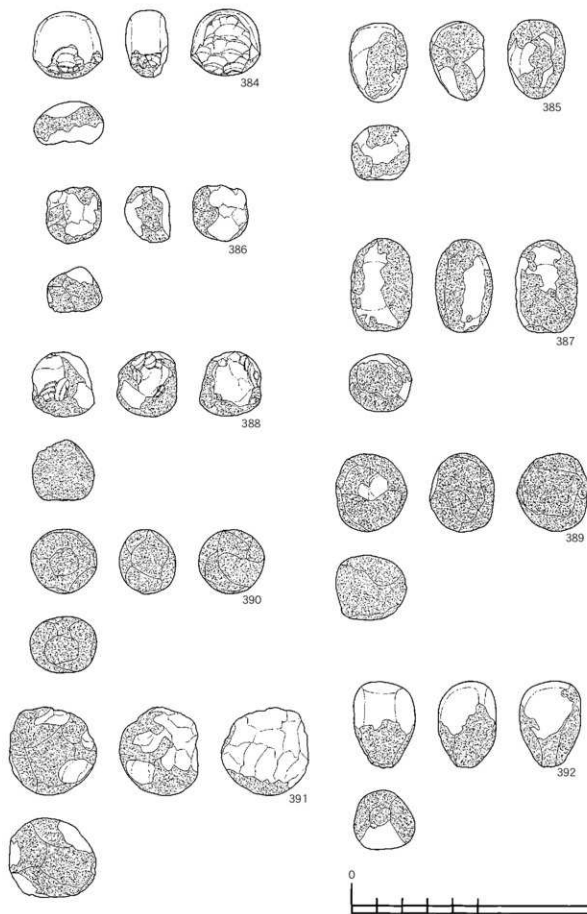
第322図 遺構外出土石器 (38)



第323図 遺構外出土石器 (39)

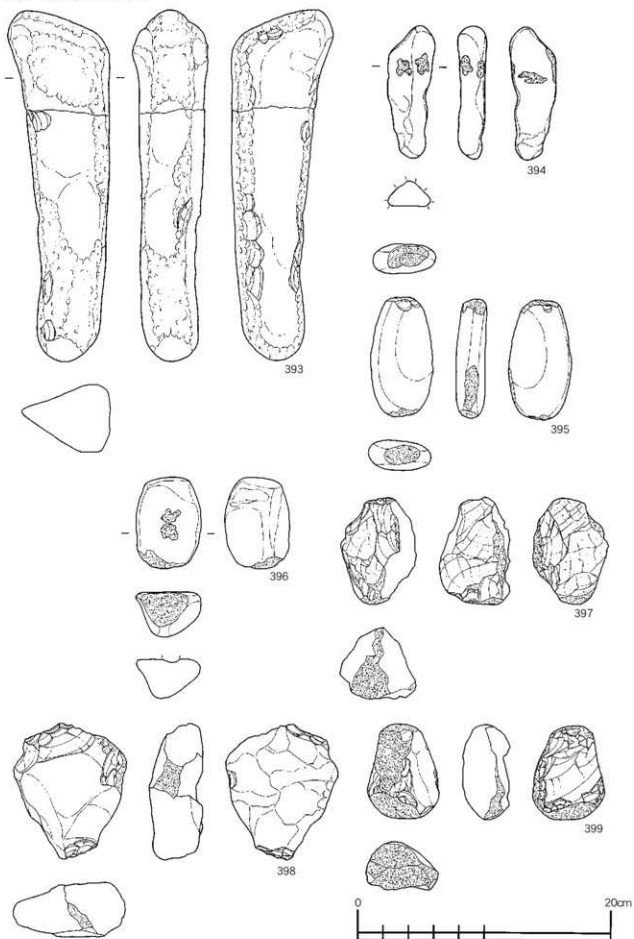


第324図 遺構外出土石器 (40)



第325 遺構外出土石器 (41)

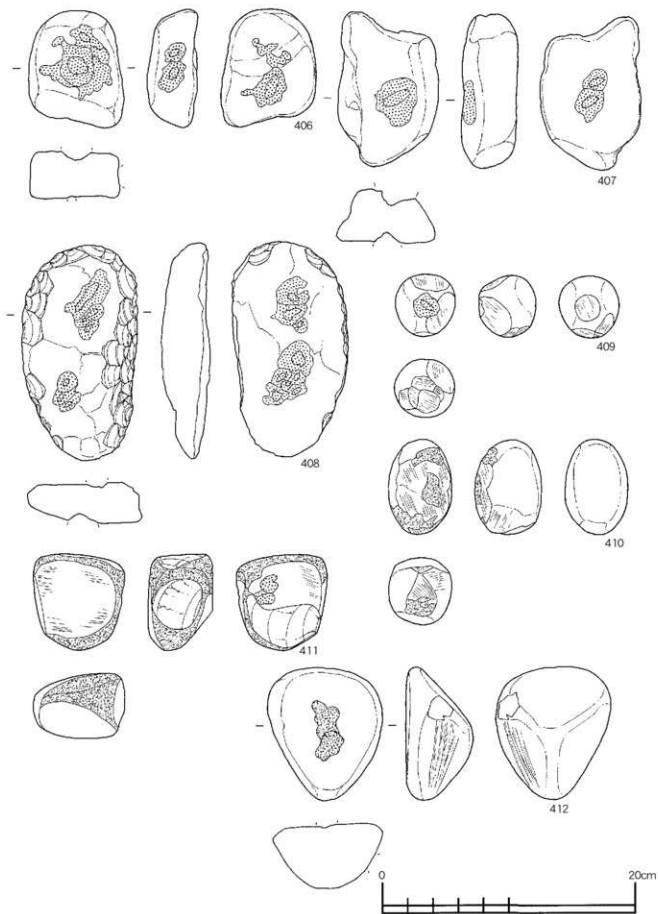




第326図 遺構外出土石器 (42)



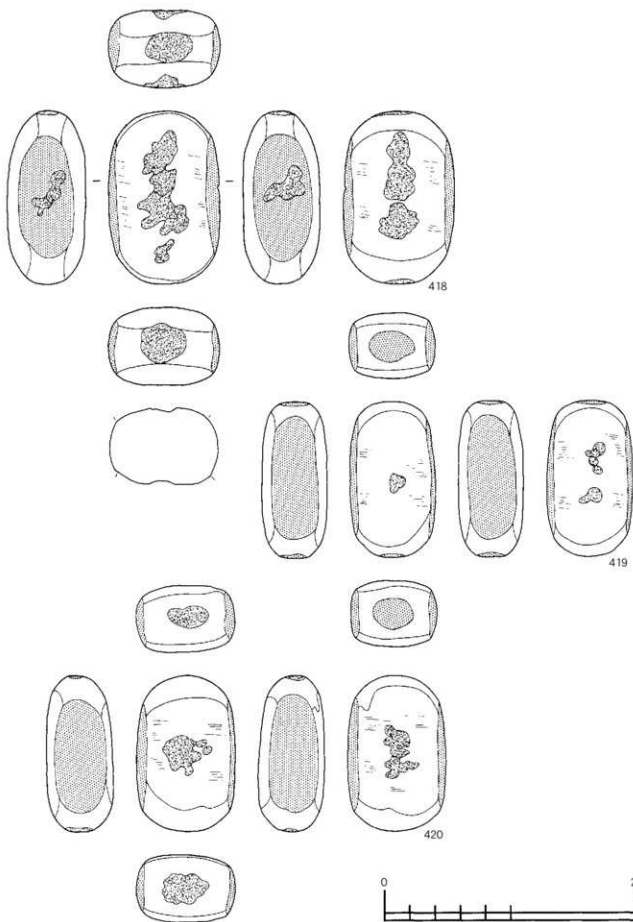
第327図 遺構外出土石器 (43)



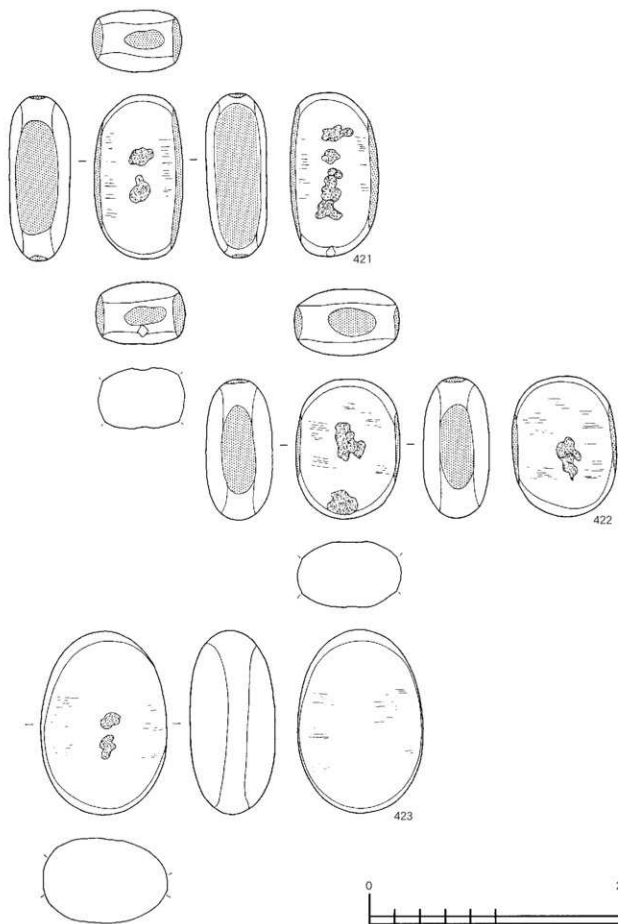
第328図 遺構外出土石器 (44)



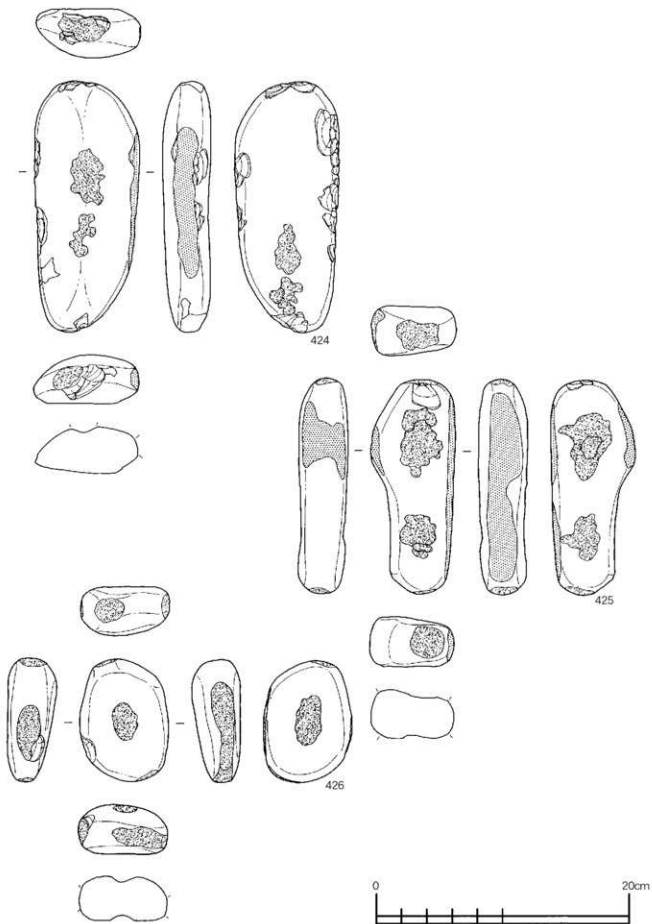
第329図 遺構外出土石器 (45)



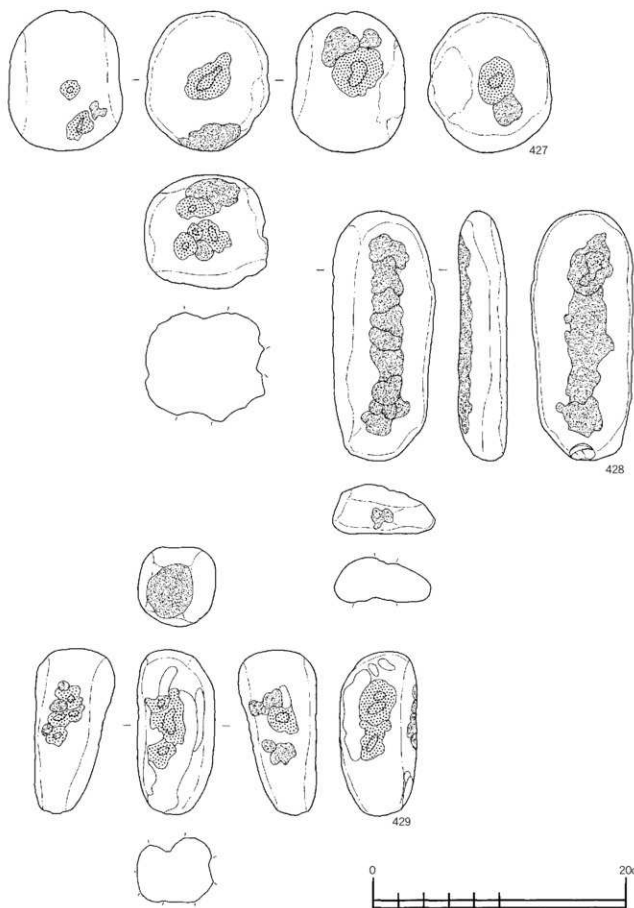
第330図 遺構外出土石器 (46)



第331図 遺構外出土石器 (47)

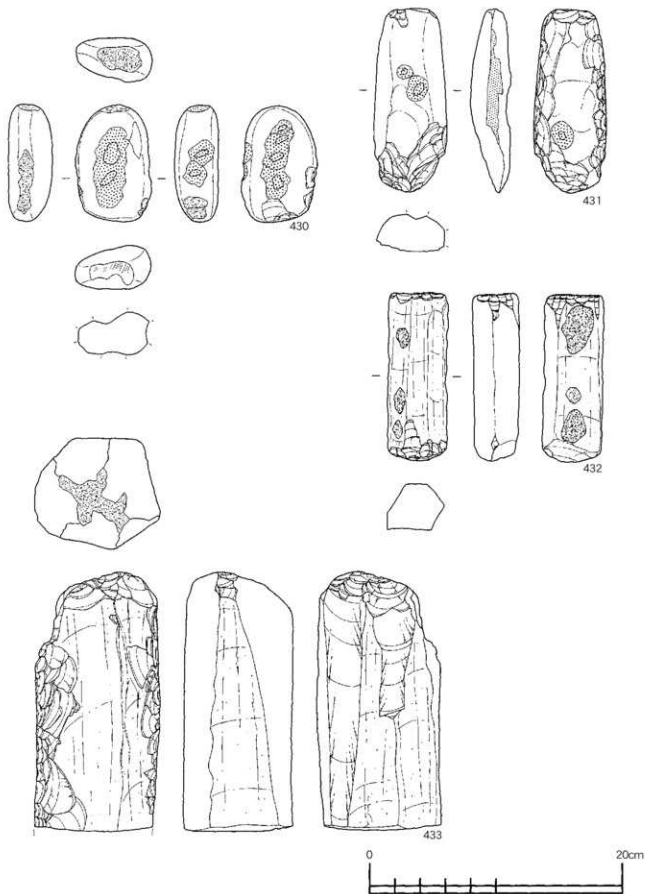


第332図 遺構外出土石器 (48)

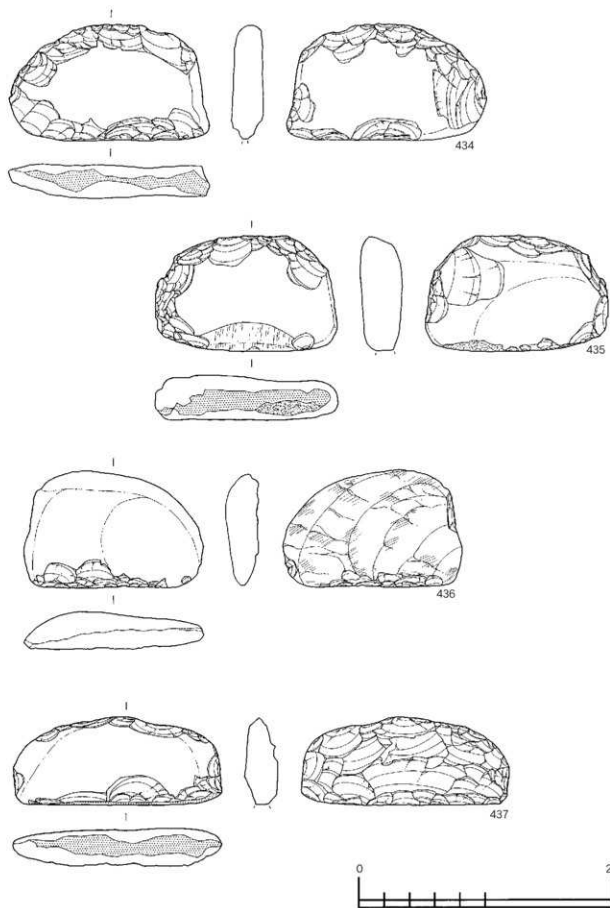


第333図 遺構外出土石器 (49)

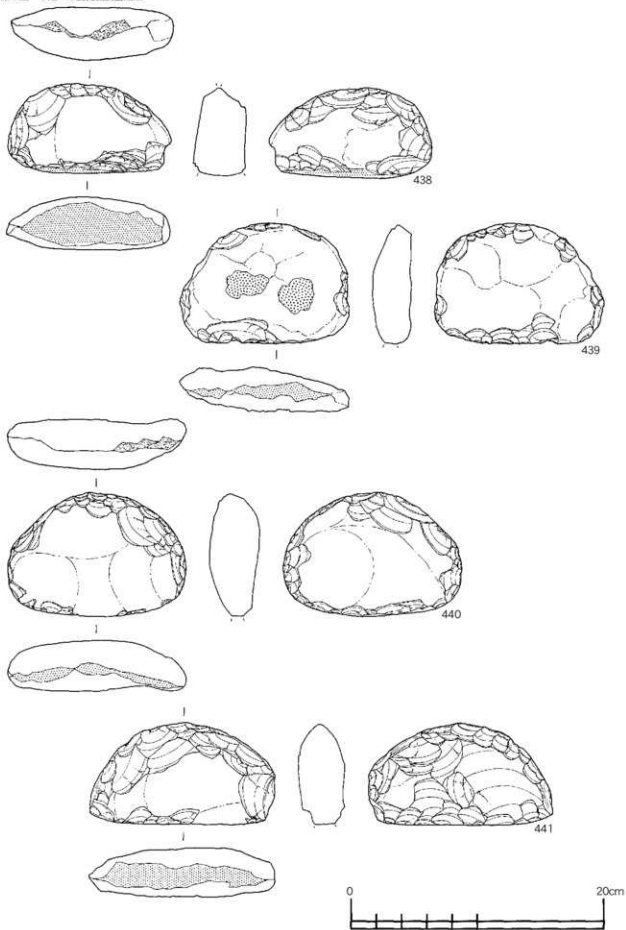




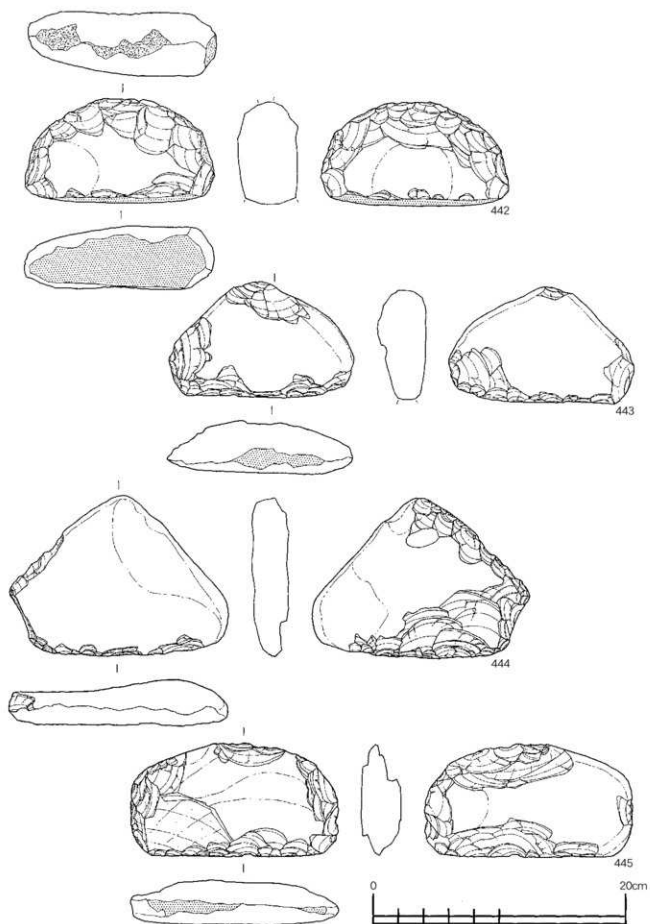
第334図 遺構外出土石器 (50)



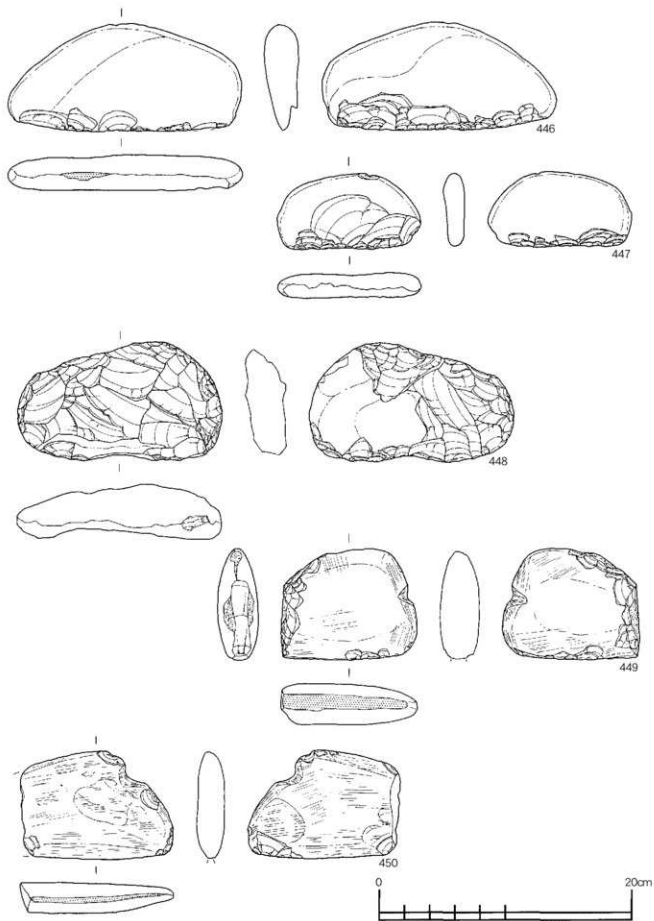
第335図 遺構外出土石器 (51)



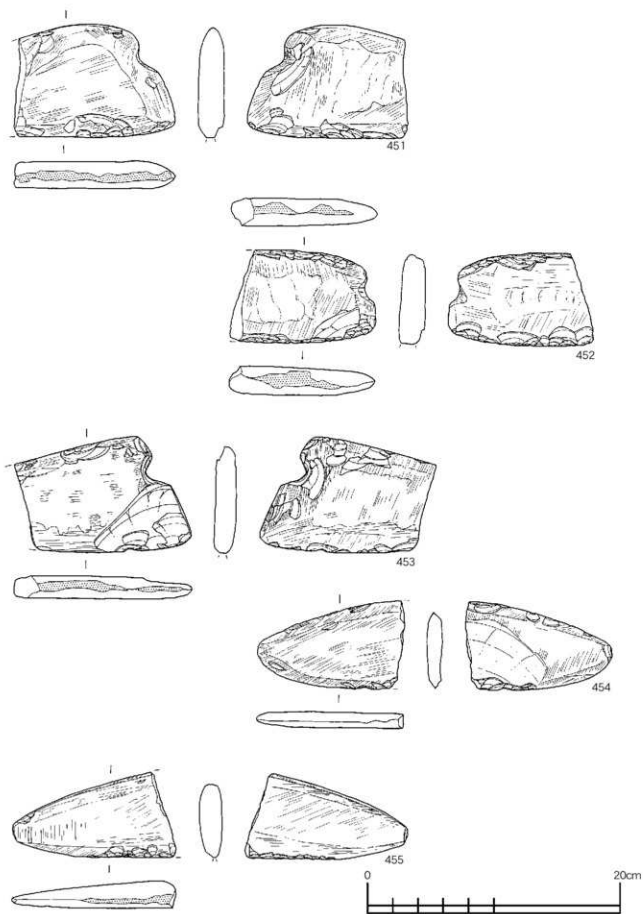
第336図 遺構外出土石器 (52)



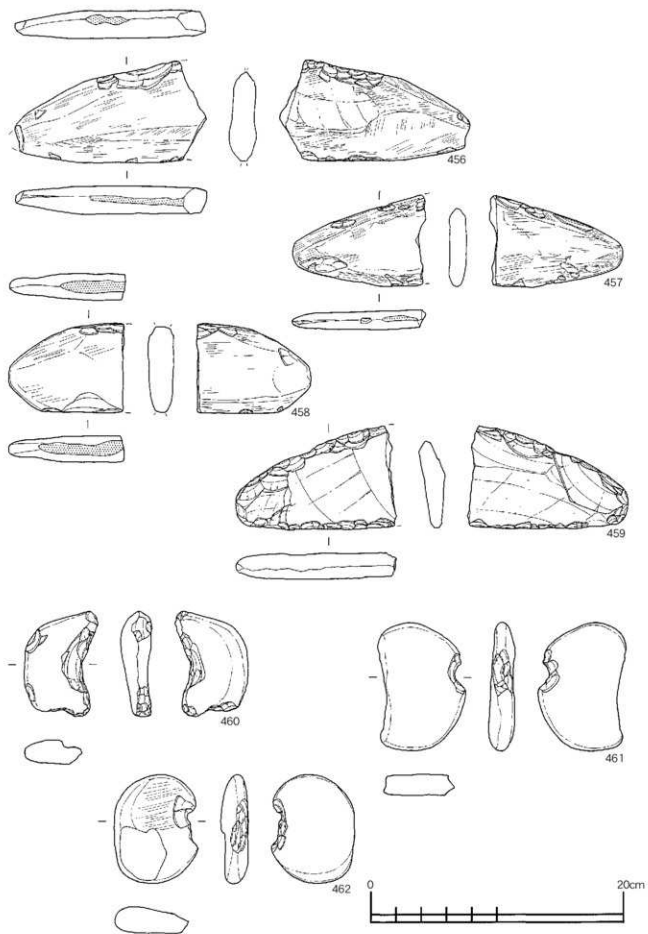
第337図 遺構外出土石器 (53)



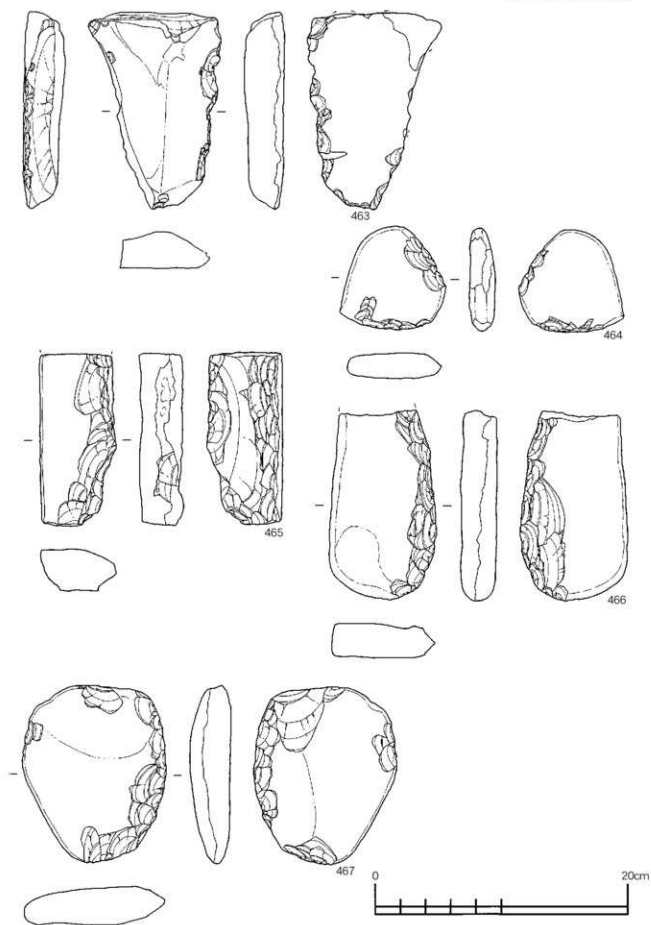
第338図 遺構外出土石器 (54)



第339図 遺構外出土石器 (55)

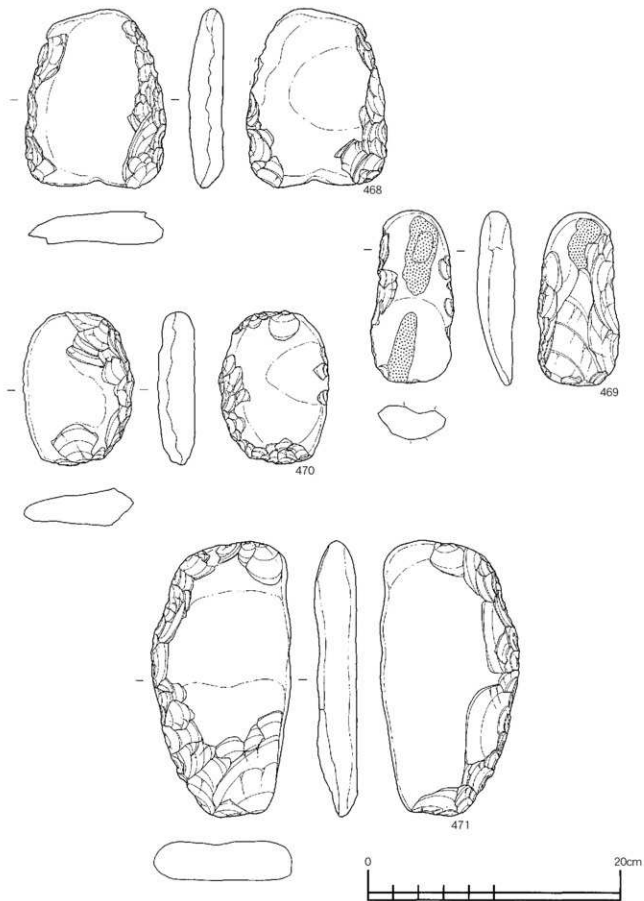


第340図 遺構外出土石器 (56)

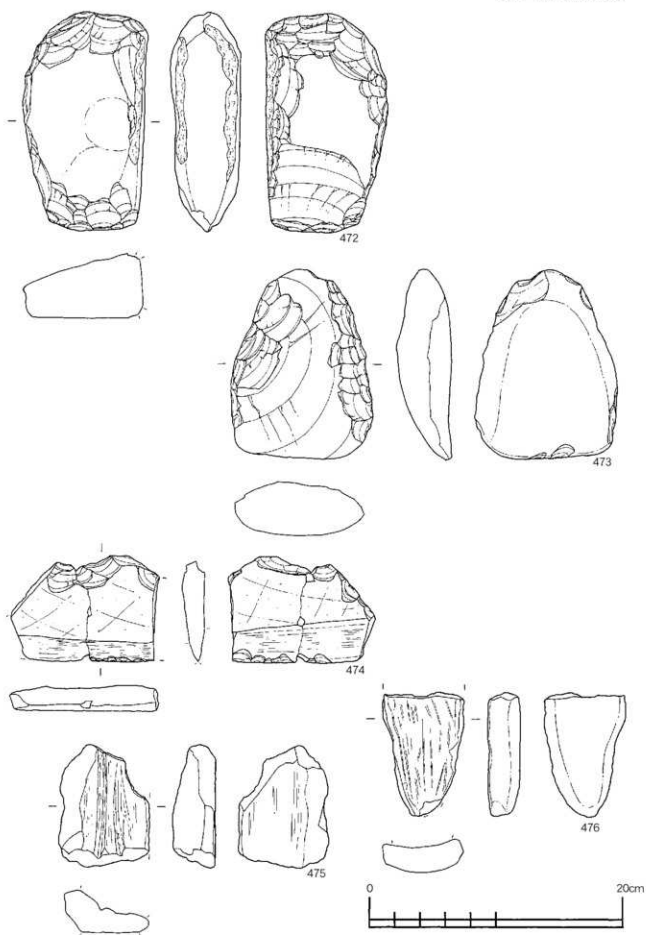


第341図 遺構外出土石器 (57)

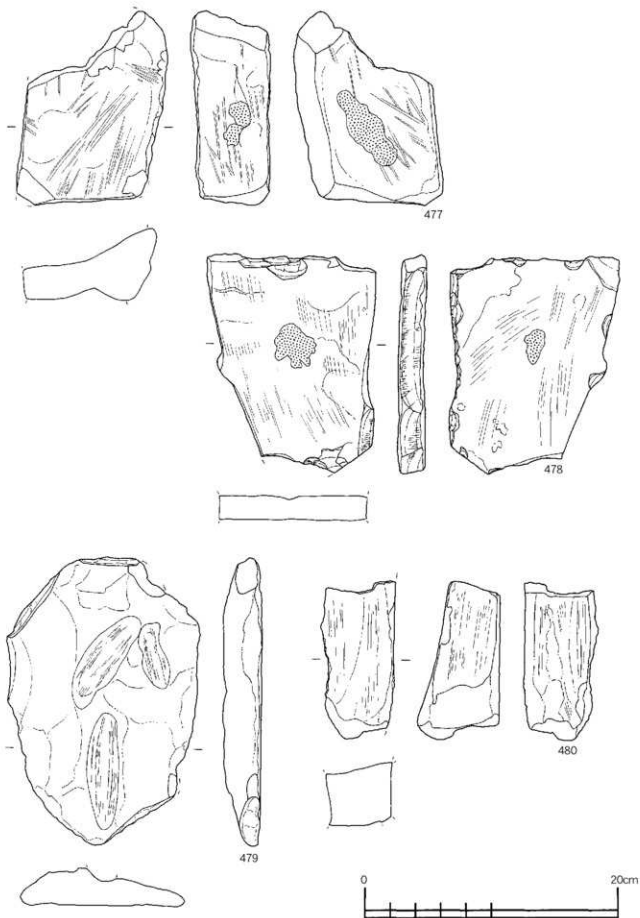




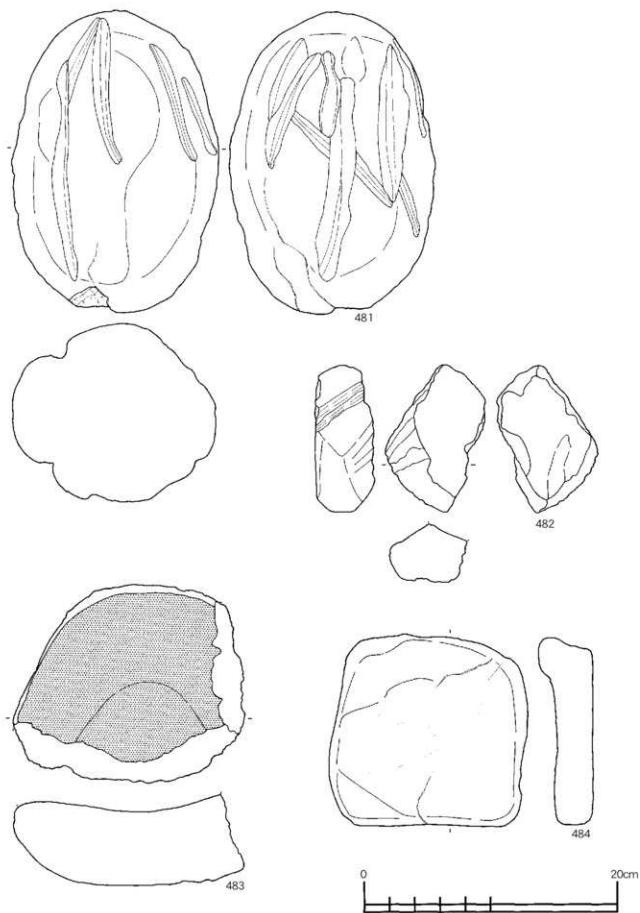
第342図 遺構外出土石器 (58)



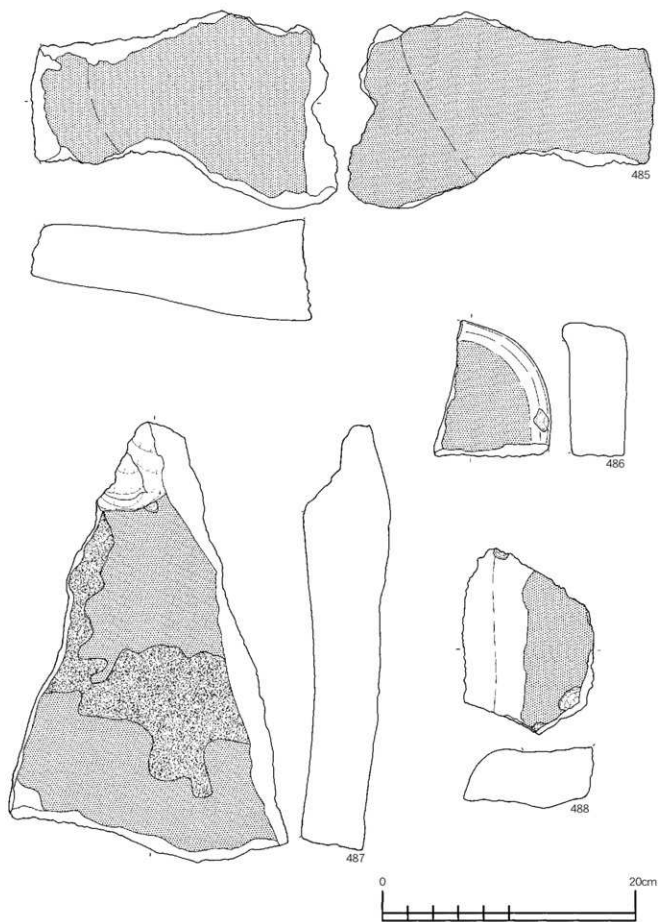
第343図 遺構外出土石器 (59)



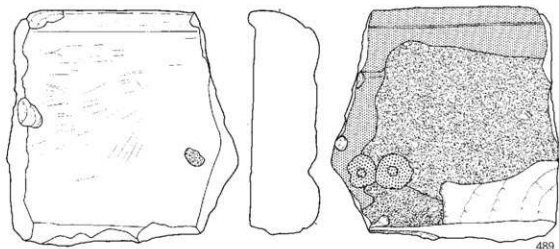
第344図 遺構外出土石器 (60)



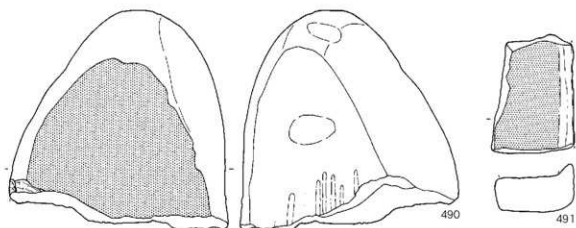
第345図 遺構外出土石器 (61)



第346図 遺構外出土石器 (62)

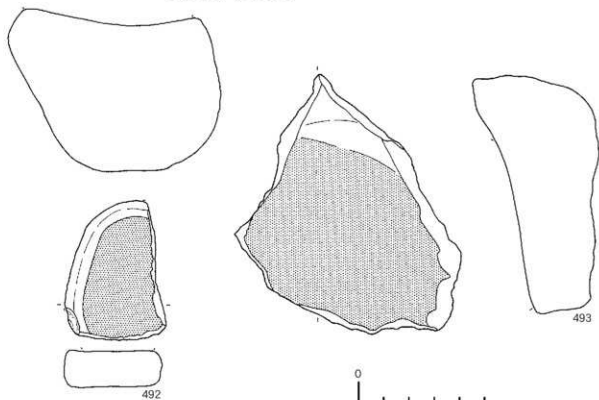


489



490

491

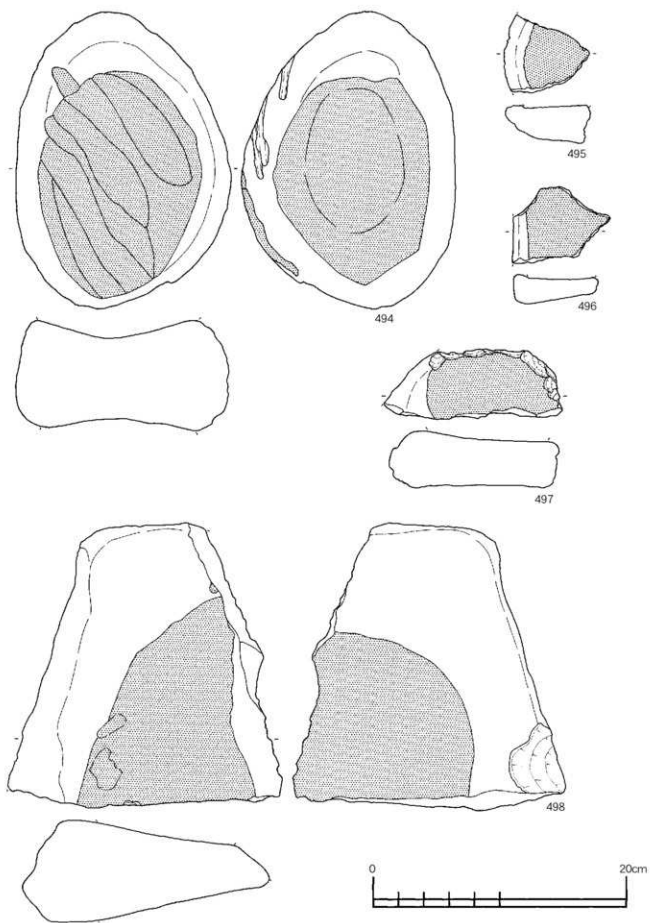


492

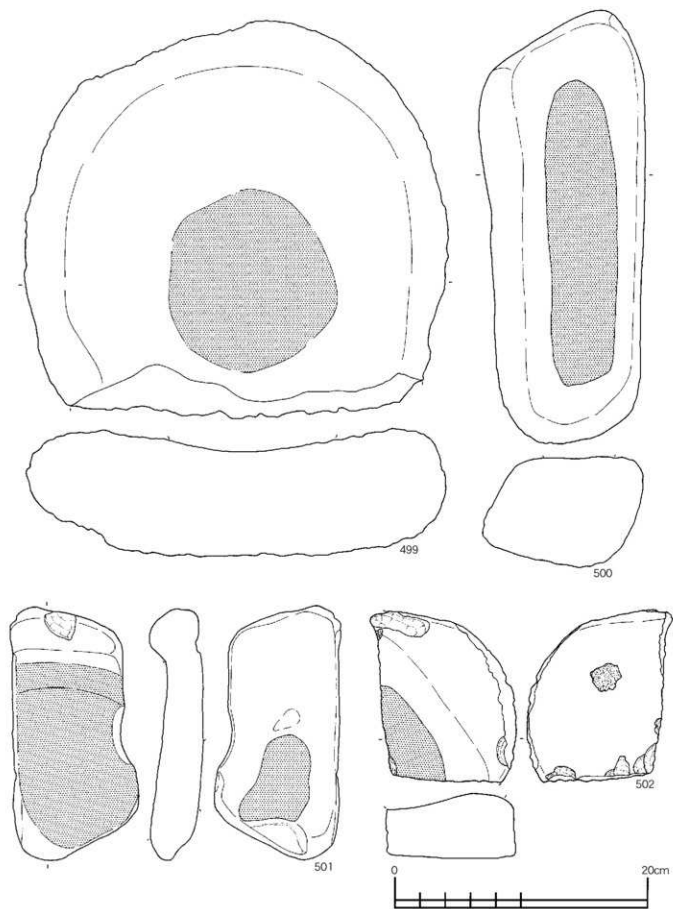
493



第347図 遺構外出土石器 (63)

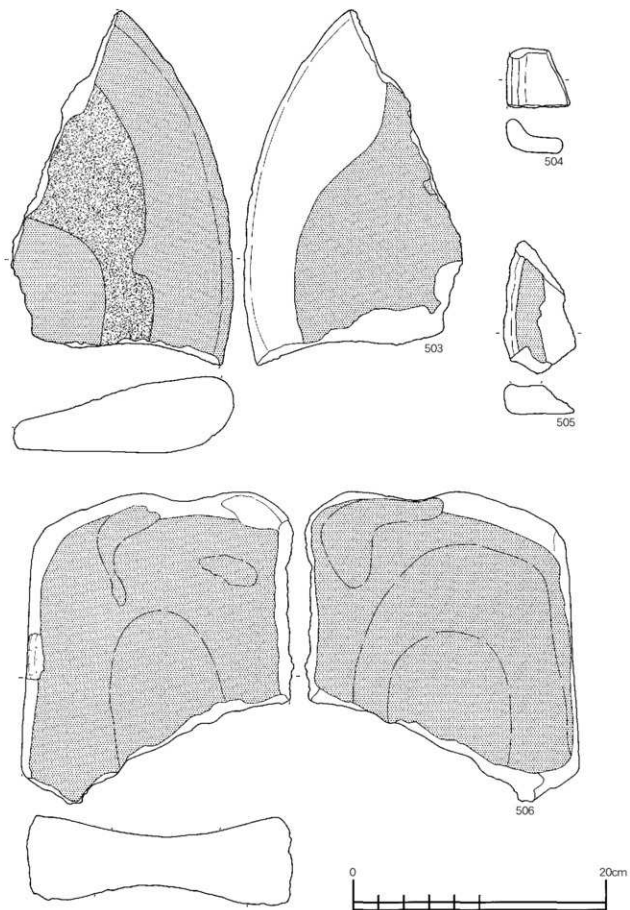


第348図 遺構外出土石器 (64)

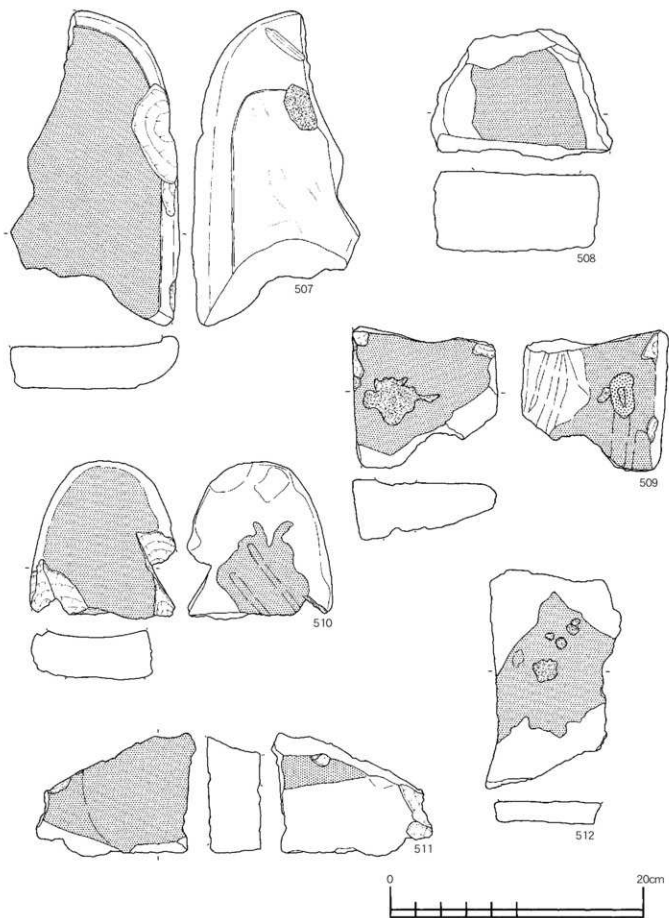


第349図 遺構外出土石器 (65)

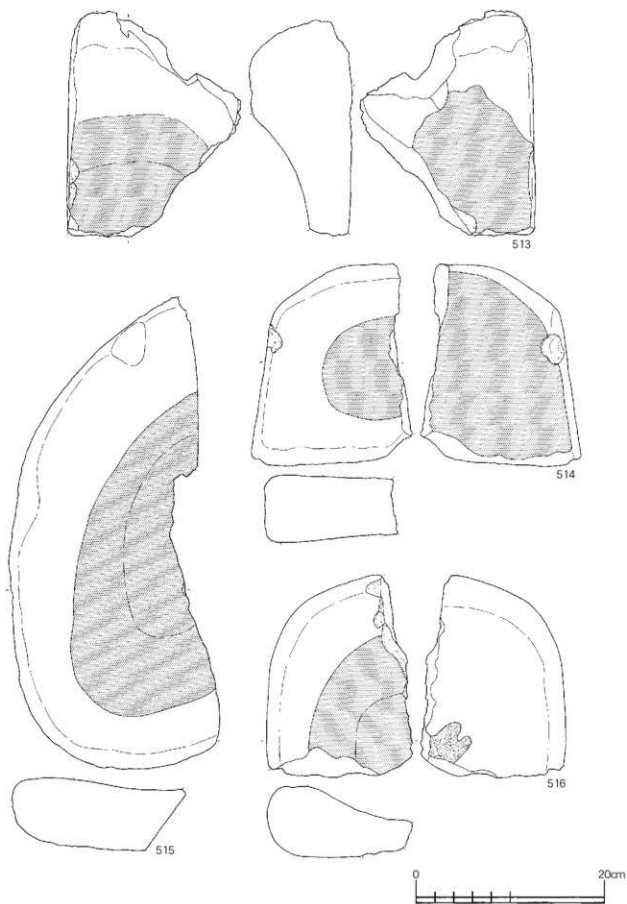




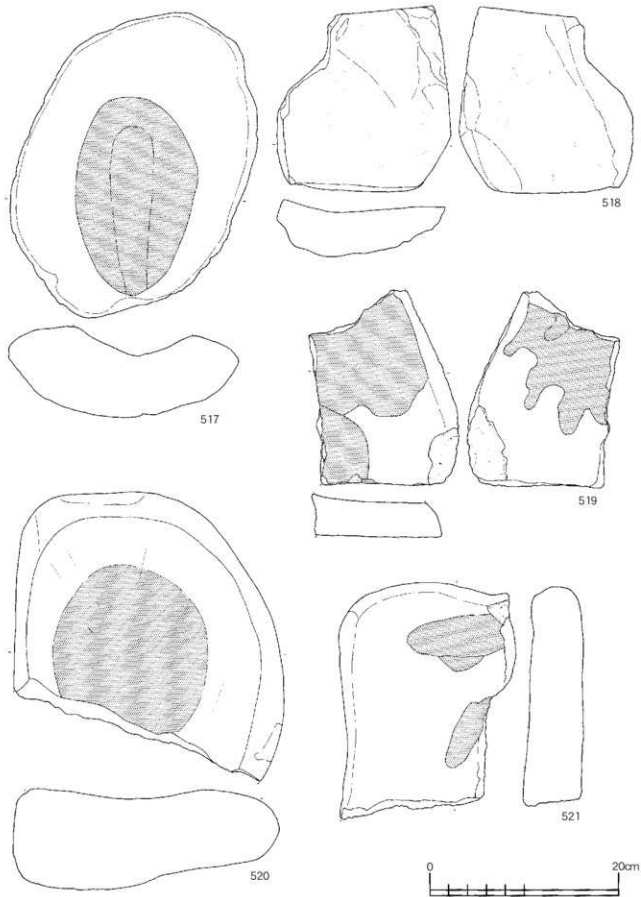
第350図 遺構外出土石器 (66)



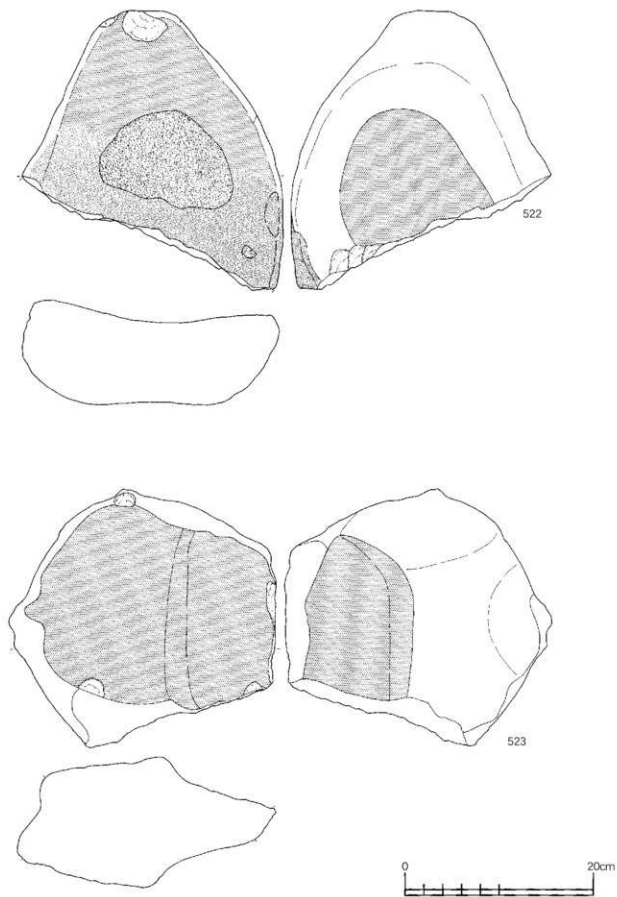
第351図 遺構外出土石器 (67)



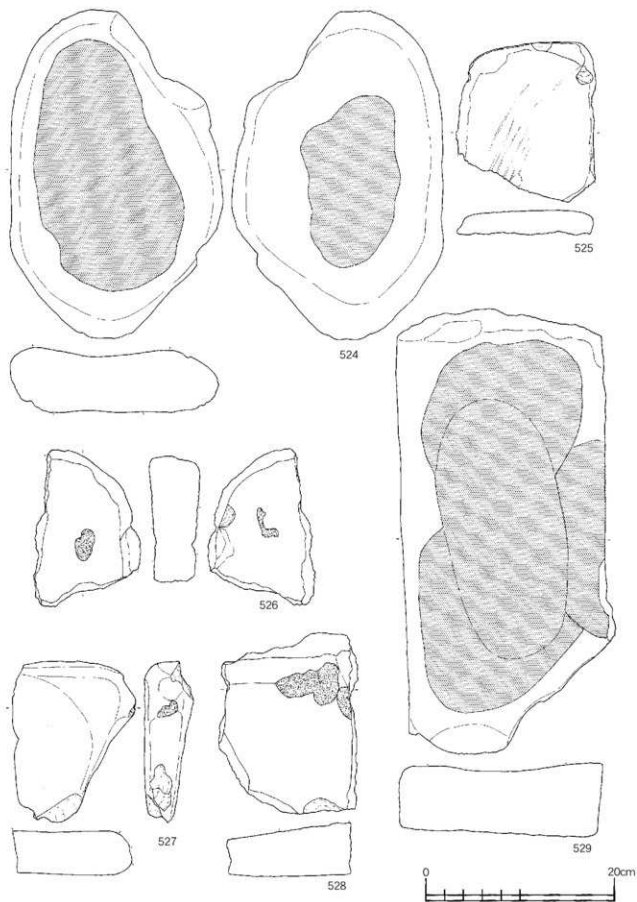
第352図 遺構外出土石器 (68)



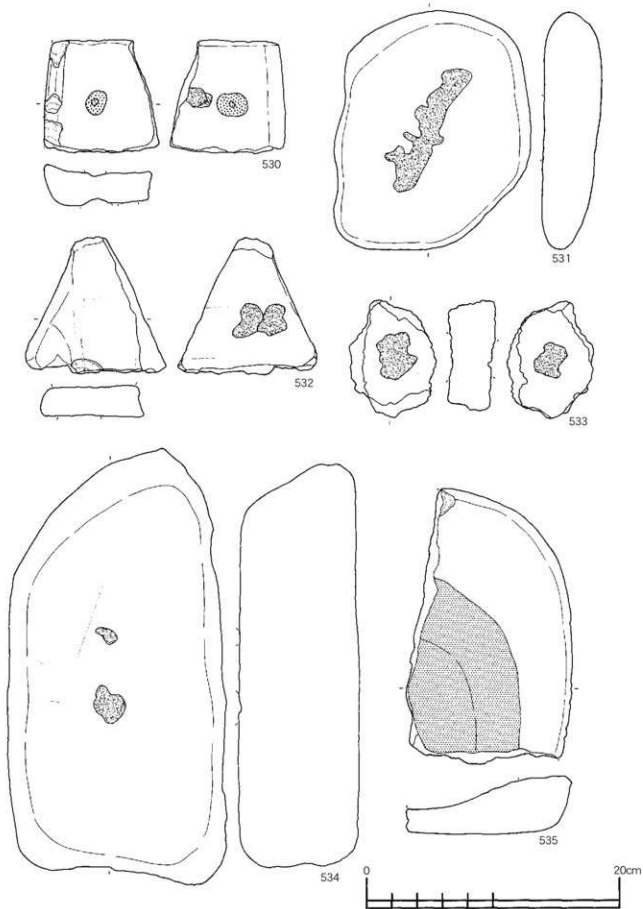
第353図 遺構外出土石器 (69)



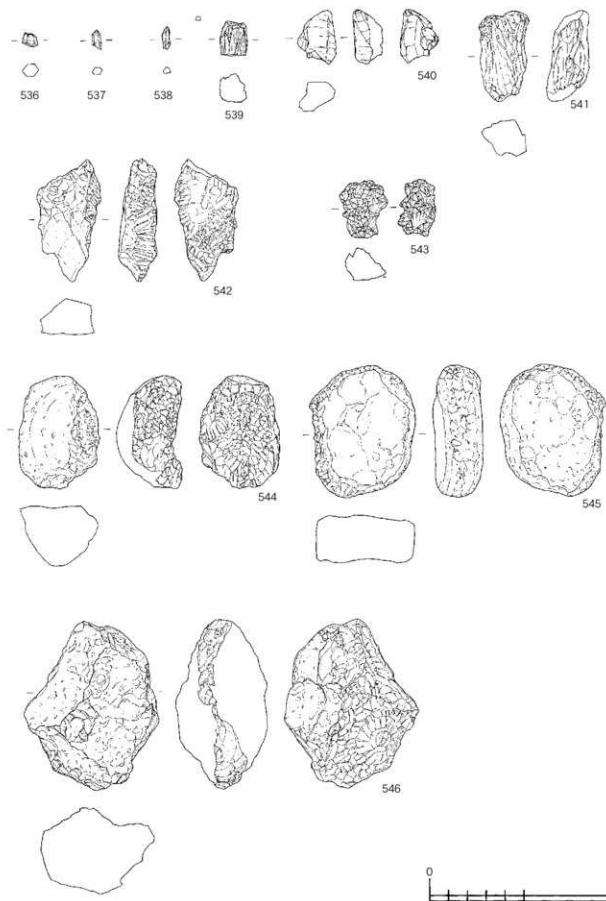
第354図 遺構外出土石器 (70)



第355図 遺構外出土石器 (71)



第356図 遺構外出土石器 (72)



第357図 遺構外出土石器 (73)



## 3. 土製品

本調査で出土した土製品は、遺構内 点、遺構外 点、計 点である。出土した土製品の種別、数量は、下表のとおりである。なお、平成 年度調査報告（青森市教育委員会 第 集『稲山遺跡発掘調査報告書』）において細分されているものについては、同様の細分を行い、記述することとする。

種 別	遺 構 内	遺 構 外	合 計
土 偶			
鐎形土製品			
ミニチュア土器			
有孔土製品			
三角形土版			
土 版			
腕輪状土製品			
靴形土製品			
箕形土製品			
動物形土製品			
球状土製品			
碗状土製品			
土器片利用土製品			
焼成粘土塊			
合 計			

土偶（第 図 、 、第 図 、 、第 図1～ ）

人間の形態を模倣、もしくは抽象化して製作された土製品である。遺構内から4点、遺構外から 点、計 点出土している。完形のものではなく、頭部、胴部、腕部、脚部の破片が出土している。

## ・頭部（第 図 、 、第 図1）

顔面が円形ないし方形に整形され、目、鼻と思われる表現が顔面下部に見られるほか、おおむね2列の刺突列による施文が施されるもの（第 図1）顔面が逆三角形に整形され、目、口、鼻穴が刺突、眉、鼻が隆帯により表現されるもの（第 図 、 ）が見られる。

## ・胴部（第 図2、3、6、7、9）

両腕部も残存し、乳房が貼付により表現され、肩上部から外側へ斜位の貫通孔が施されるもの（第 図2）乳房が貼付により表現され、連続する短沈線が横位に一条、縦位にほぼ平行に施されるもの（第 図3）胴部正面、背面に沈線、短沈線により格子目状沈線が施されるもの（第 図6）胴部正面に渦巻状沈線と斜位の平行沈線、背面に渦巻状沈線と横位、斜位の沈線、側面に縦位の沈線が施されるもの（第 図7）両脚部も残存し、正面、背面、側面におおむね縦位に刺突列と沈線が施されるもの（第 図9）が見られる。

## ・腕部（第 図4、5、8）

肩上部から内側へ斜位の貫通孔が施されるもの（第 図4）肩上部から外側へ斜位の貫通孔が施さ

れるもの(第 図5) 肩上部からやや内側へ斜位の貫通孔が見られるほか、正面、背面、側面に横位、縦位、斜位の短沈線により格子目状沈線が施されるもの(第 図8)が見られる。

・脚部(第 図、第 図)

すねから下(第 図)、足首から下(第 図)、膝から下(第 図)がそれぞれ残存している。刻目で足の指が表現されているもの(第 図、第 図)が見られる。

鐙形土製品(第 図、第 図、第 図)

鐙や鐘等の形状を呈している土製品である。遺構内から4点、遺構外から 点、計 点出土している。形状、文様については、以下のとおりである。

[形状]

- a : 突起の短軸方向に開口部と平行に穿孔されるもの(第 図、第 図) % (5点)
- b : 突起の長軸方向に開口部と平行に穿孔されるもの(第 図、第 図) % (点)
- c : 二又突起の短軸方向に穿孔されるもの(第 図) % (1点)
- d : 二又突起の短軸方向に穿孔されるもの(第 図) % (1点)
- e : 二又突起の両端を斜位方向に穿孔されるもの(第 図) % (1点)
- f : ほぼ円形の突起に穿孔されるもの(第 図、第 図) % (3点)
- g : 突起のないもの。 % (0点)
- x : 不明なもの(第 図、第 図) % (3点)

[文様]

- a : 無文のもの(第 図、第 図、第 図、第 図) % (点)
- b : 沈線が施されるもの(第 図、第 図) % (6点)
- c : 沈線と刺突の両方が施されるもの(第 図、第 図) % (5点)
- d : 隆帯が施されるもの。 % (0点)

ミニチュア土器(第 図、第 図、第 図、第 図、第 図、第 図)

手捏ねで作られた土器および器高や底径が5cm未満の小型の土器である。遺構内から 点、遺構外から 点、計 点出土している。

器形は、深鉢形が 点(第 図、第 図、第 図)、浅鉢形が 点(第 図、第 図)、台付鉢が6点(第 図、第 図、第 図)、壺形が 点(第 図)である。

文様は、無文のもの(第 図、第 図、第 図)、渦巻状沈線(第 図、第 図)、平行沈線(第 図)、沈線と刺突(第 図)、縄文(第 図、第 図)などが見られる。

腕輪状土製品(第 図)

腕輪状の形状を呈する土製品である。遺構外より1点出土している。



構外から 点、計 点出土している。

(形状)

- ・三角形を呈するもの。 % ( 点 )
- ・円形を呈するもの。 % ( 点 )
- ・楕円形を呈するもの。 % ( 点 )
- ・方形を呈するもの。 % ( 3点 )
- ・貫通孔を有するもの。出土していない。
- ・その他の形状のもの。 % ( 点 )

(素材)

深鉢形土器の、胴部片が用いられていると思われる。

(破壊状況)

完形品ないし一部欠損のものが大半を占める。その他、約半分欠損のものが見られ、一部残存のものは確認していない。しかし、平成 年度の報告にもあるように、本製品の認定にあたって欠損品が認定されにくいという状況が影響している可能性も考えられる。

(加工状況)

- a : 打ち欠きのみのもの。 % ( 点 )
- b : 打ち欠き後、一部に研磨が施されるもの。 % ( 点 )
- c : 全周に研磨が施されるもの。 % ( 点 )

形状毎の加工状況は次の通りである。

- ・三角形を呈するもの： a 点、 点、 c 点。
- ・円形を呈するもの： a 点、 b 点、 c 点。
- ・楕円形を呈するもの： a 2点、 b 点、 c 3点。
- ・方形を呈するもの： a 0点、 b 0点、 c 3点。
- ・その他の形状を呈するもの： a 3点、 b 3点、 c 5点。

球状土製品 (第 図 ～ )

球状を呈する土製品である。遺構外から 3点出土している。

散発的に刺突やへら状工具の痕跡が認められるもの (第 図 ) も見られる。

碗状土製品 (第 図 )

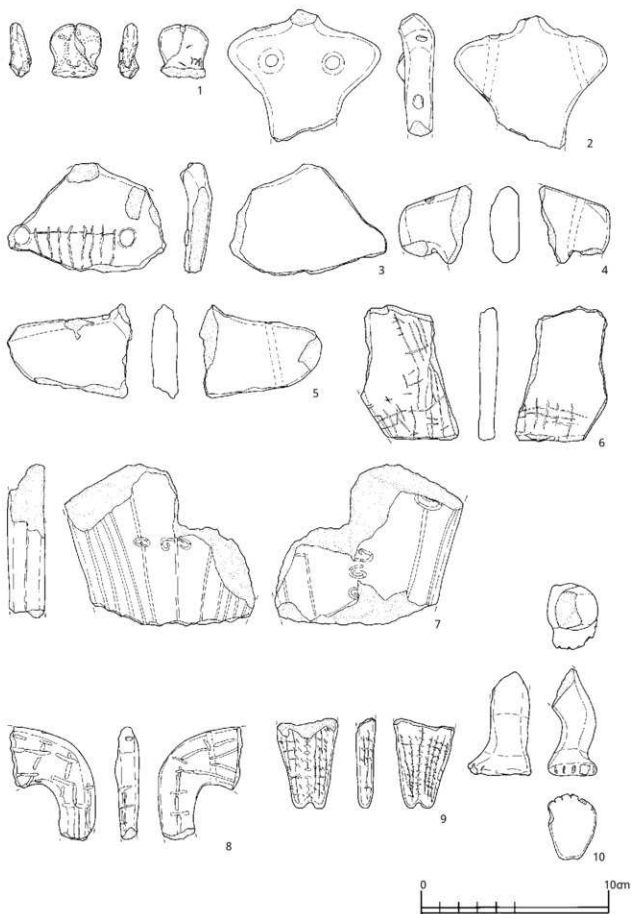
碗状を呈する土製品である。遺構外から 1点出土している。

外面が丸みを帯び、内面中央部が窪んでいる。あるいは、莖形土製品の笠部である可能性も考えられる。

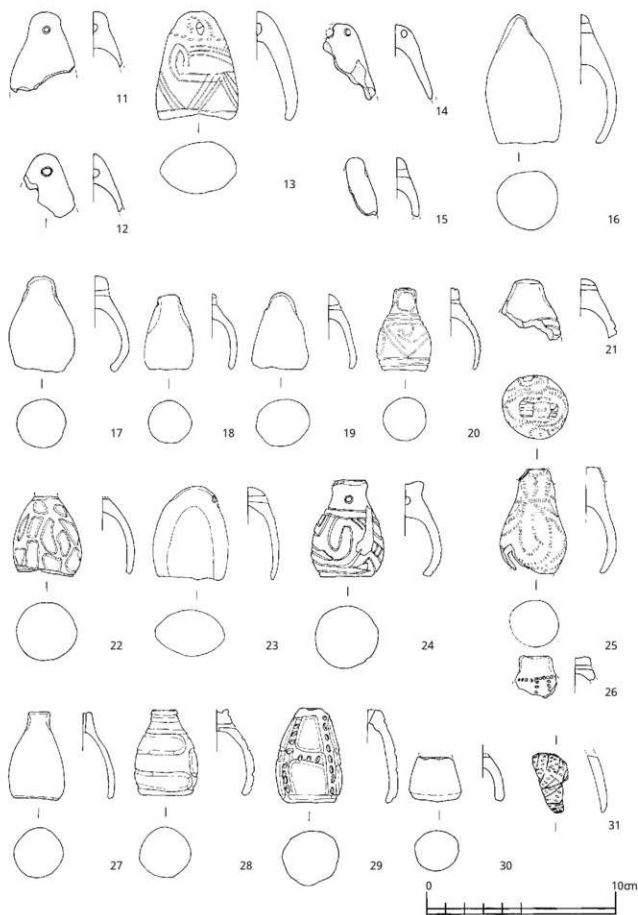
焼成粘土塊 (第 図1、第 図、第 図 ～ )

焼成された不定形の粘土の塊である。遺構内から 2点、遺構外から 5点、計 7点出土している。

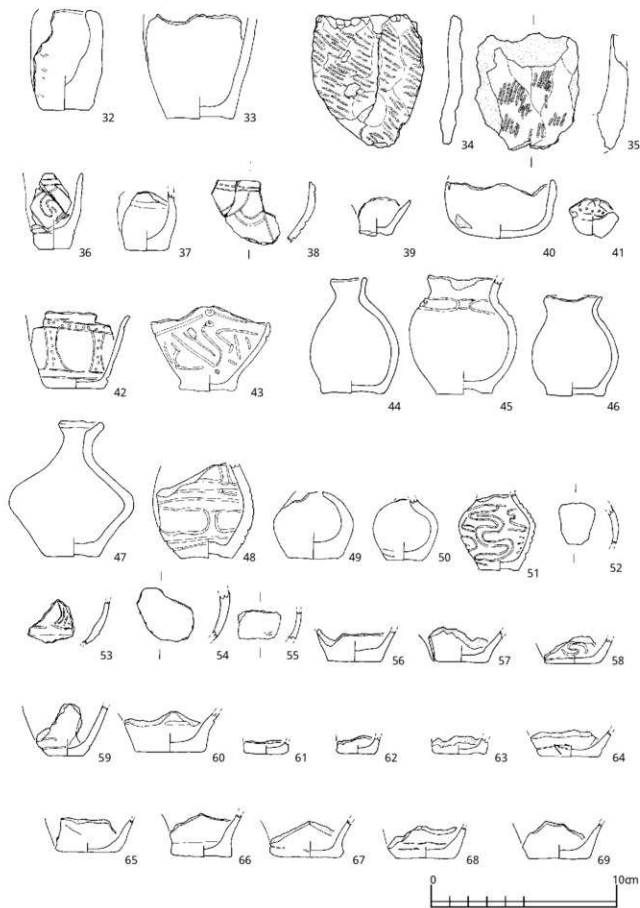
一面のみ平坦面を有するもの (第 図、 ) 指頭による調整痕が認められるもの (第 図、第 図) 折り曲げられた痕跡が認められるもの (第 図) 一部工具の痕跡が認められるもの (第 図) などが見られる。



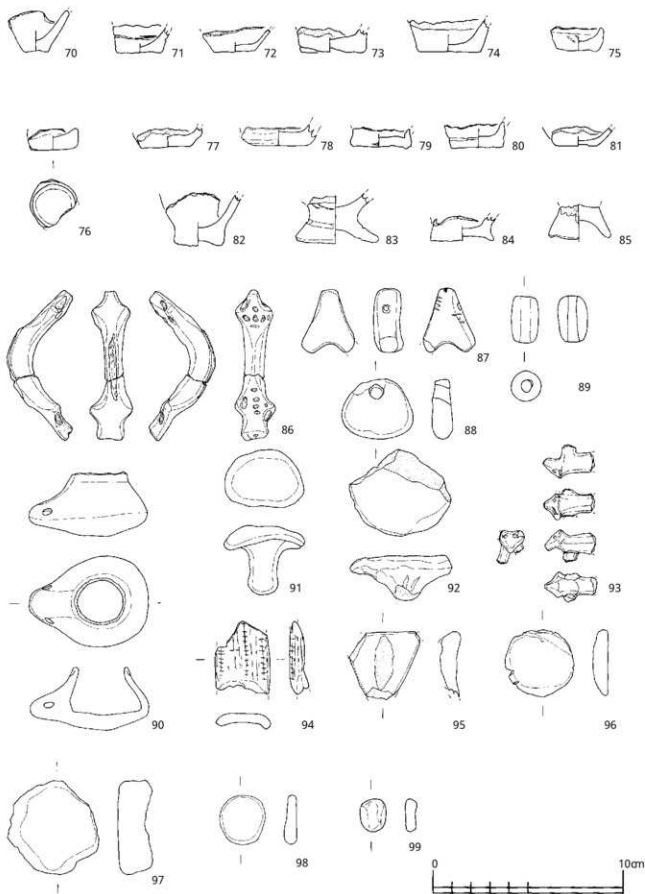
第358図 遺構外出土土製品(1)



第359図 遺構外出土土製品(2)

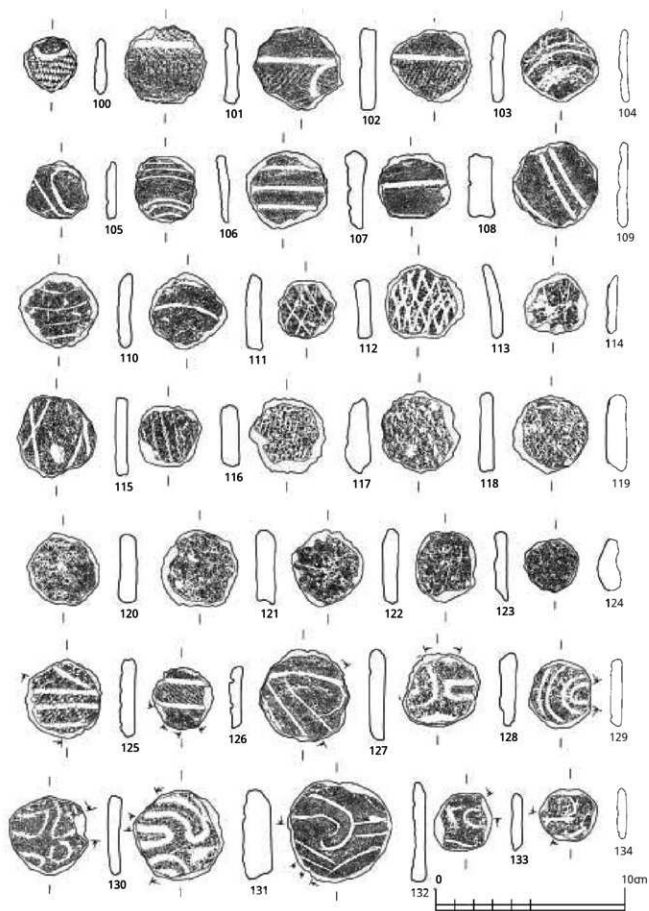


第360図 遺構外出土土製品(3)

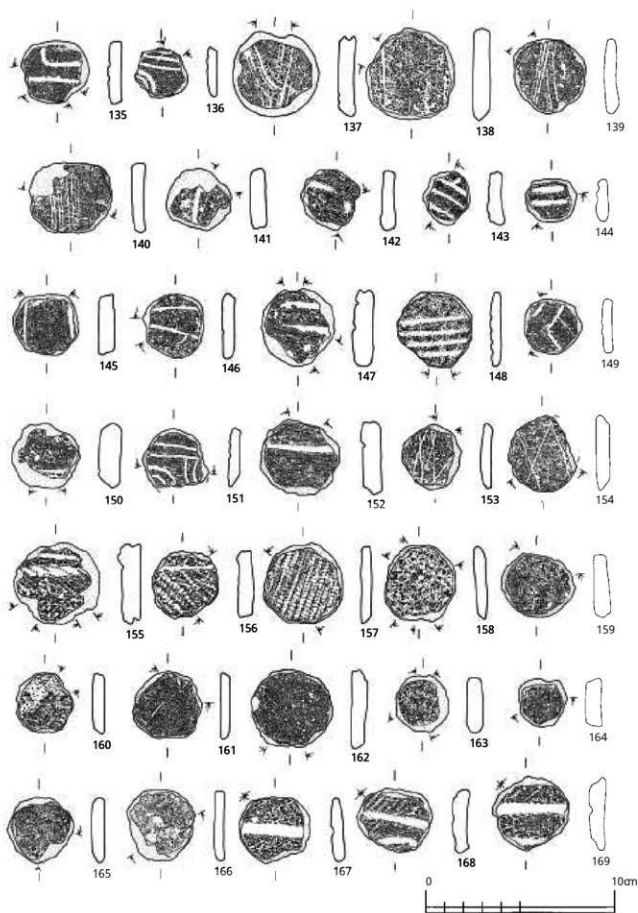


第361図 遺構外出土土製品(4)

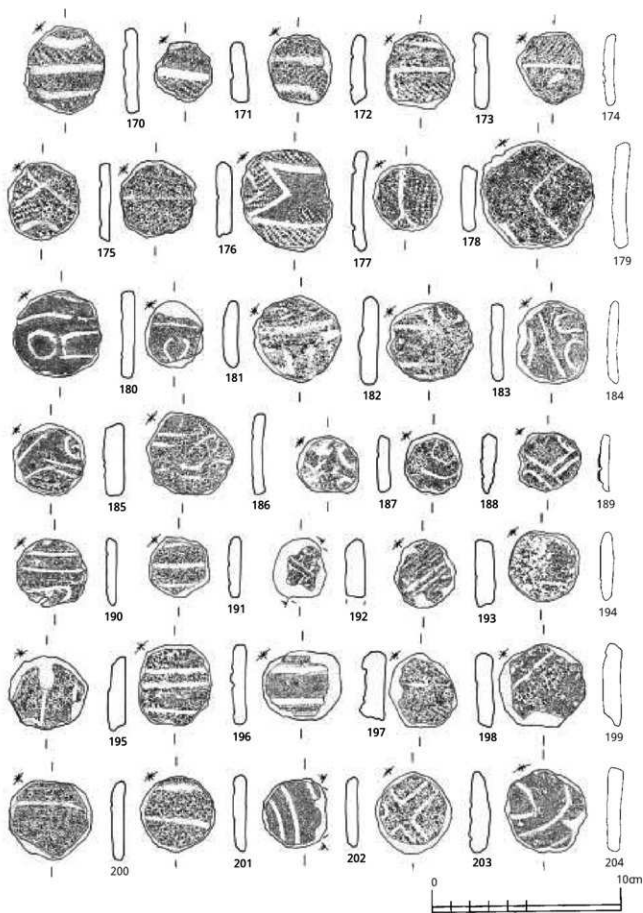




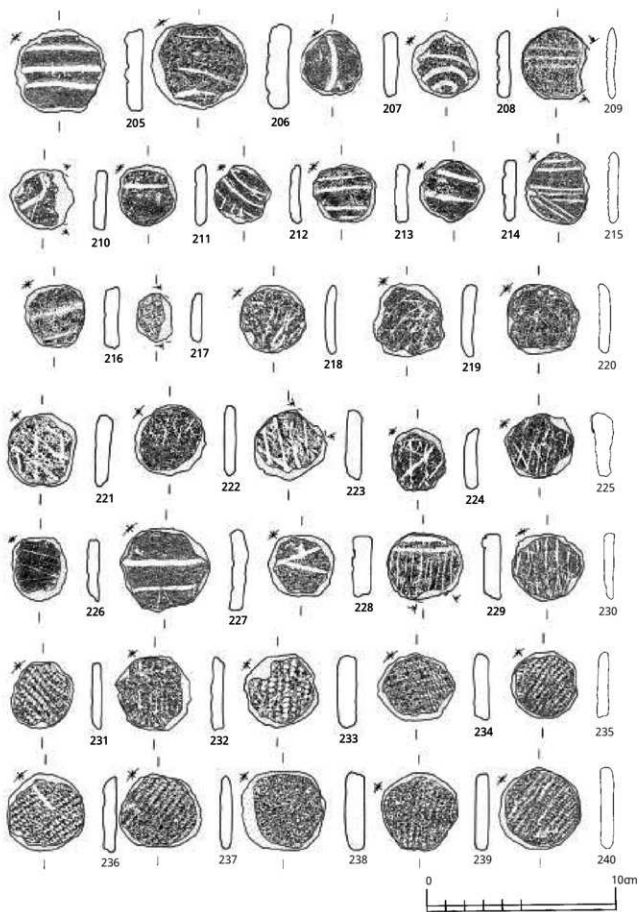
第36図 遺構外出土土製品(5)



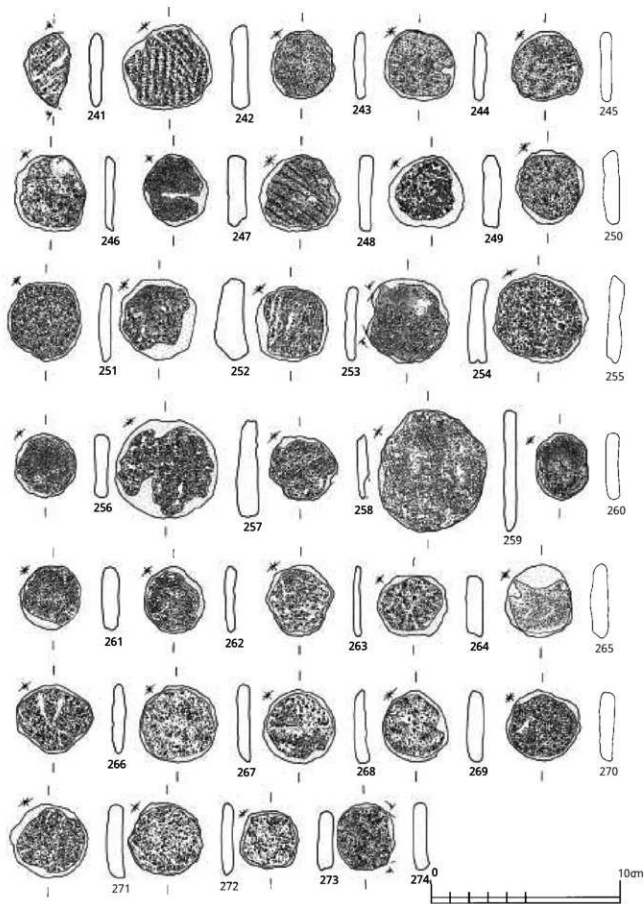
第36図 遺構外出土土製品(6)



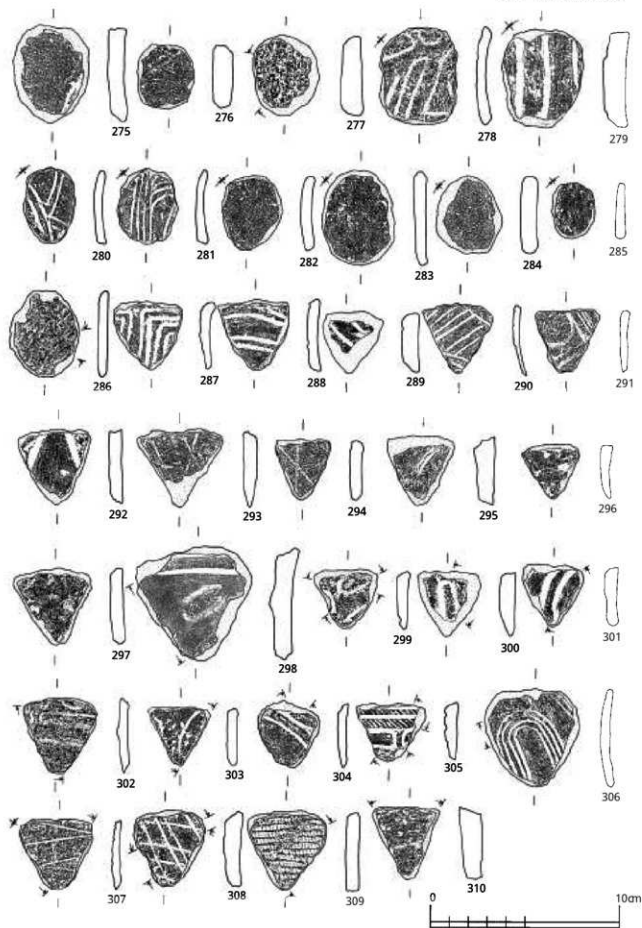
第364図 遺構外出土製品(7)



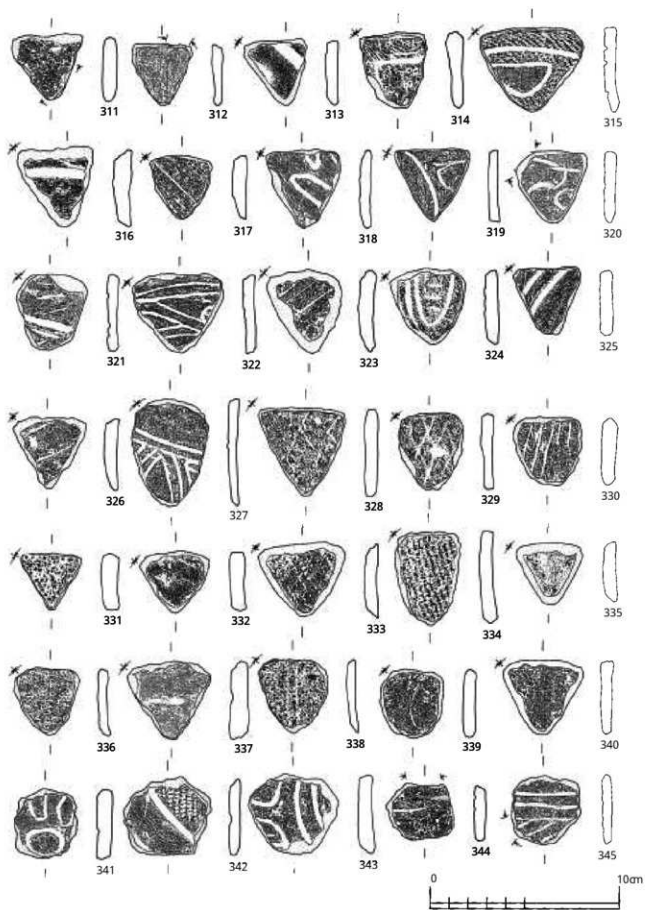
第36図 遺構外出土土製品(8)



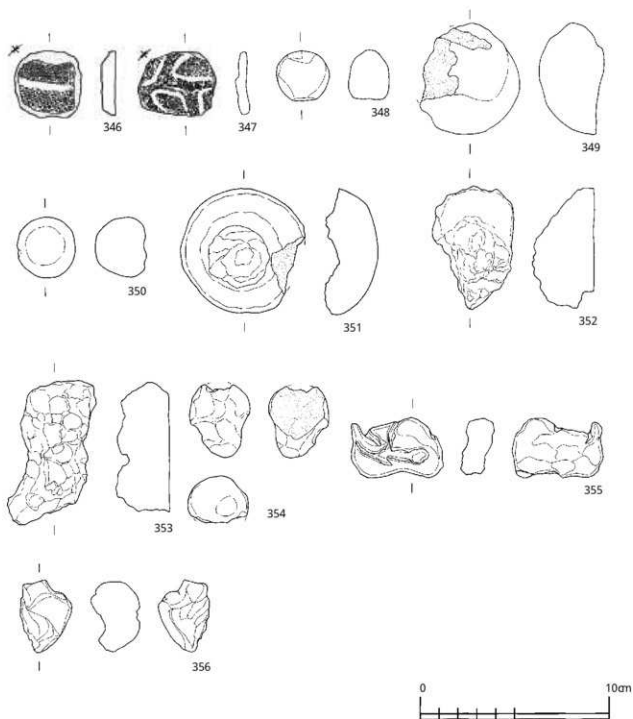
第36図 遺構外出土製品(9)



第36図 遺構外出土土製品(10)



第 368 図 遺構外出土土製品 ( 11 )



第 369 図 遺構外出土土製品 ( 12 )



## 4. 石製品

本調査で出土した石製品は、遺構内 点、遺構外 点、計 点である。出土した石製品の種別、数量は、下表のとおりである。なお、平成 年度調査報告（青森市教育委員会 第 集 『稲山遺跡発掘調査報告書』）において細分されているものについては、同様の細分を行い、記述することとする。

種 別	遺 構 内	遺 構 外	合 計
三 角 形 岩 版			
円 形 岩 版			
そ の 他 の 岩 版			
有 孔 石 製 品			
球 状 石 製 品			
碗 状 石 製 品			
線 刻 礫			
採 集 石 製 品			
石 棒			
石 刀			
石 冠			
軽 石 石 製 品			
そ の 他 の 石 製 品			
合 計			

三角形岩版（第 図1、2、8、9、第 図1～、第 図～、第 図～、第 図～、第 図～、第 図～、第 図～、第 図～、第 図～）

平面が三角形、あるいは三角形に近い形状を呈する岩版である。遺構内から5点、遺構外から 点、計 点が出土している。

## 〔破損状況〕

完形品は、全体の %、欠損ないし剥離するものが %と大半を占める。欠損品のうち一部頂角欠損等 / 以下の欠損が %、 / 以上の欠損が %、一部剥離のみでほぼ完形のもの %である。

## 〔形状〕

- ・二等辺三角形を呈するもの。 % ( 点 )
- ・正三角形を呈するもの。 % ( 8点 )
- ・台形に近い形状を呈するもの。 % ( 4点 )
- ・楕円形に近い形状を呈するもの。 % ( 点 )
- ・蒲鉾形を呈するもの。 % ( 0点 )
- ・不明のもの。 % ( 点 )

## [加工状況]

表面が球状に研磨されるもの 点、平滑に研磨されるもの 点である。

## [文様]

三角形岩版に見られる基本的な5種類の単位文様(児玉 )は以下の通りである。

- ・斜位直線：平行する刻線が斜めに施される。
- ・弧状線：平行する刻線が弧状に施される。
- ・重弧状線：上記の弧状線の上位に、もう1つの平行する弧状線が施される。
- ・ブーメラン状刻線：2条の刻線の端部が連結しており、ブーメラン状に施される。
- ・渦巻状刻線：渦巻状の刻線が施される。

これら単位文様の組み合わせにより本遺跡の三角形岩版は細分されており、細分毎に以下に示す。

- a 類：無文のもの。 % ( 点 )
- b 類 - 1：弧状線を右縁辺部に配置するもの。 % ( 5 点 )
- 2：弧状線を左縁辺部に配置するもの。 % ( 3 点 )
- 3：弧状線を上縁辺部に配置するもの。 % ( 1 点 )
- 4：弧状線を左右対称に配置するもの。 % ( 4 点 )
- 5：縁辺部全周にわたり弧状線を配置するもの。 % ( 6 点 )
- c 類：斜位直線が左右に交差するもの。 % ( 2 点 )
- d 類 - 1：右傾の斜位直線が施されているもの。 % ( 点 )
- 2：左傾の斜位直線が施されているもの。 % ( 1 点 )
- e 類 - 1：右傾の斜位直線と右縁辺部に弧状線を配置するもの。 % ( 3 点 )
- 2：左傾の斜位直線と右縁辺部に弧状線を配置するもの。 % ( 0 点 )
- f 類 - 1：右傾の斜位直線と左縁辺部に弧状線を配置するもの。 % ( 1 点 )
- 2：左傾の斜位直線と左縁辺部に弧状線を配置するもの。 % ( 0 点 )
- g 類 - 1：右傾の斜位直線と左右縁辺部に弧状線を配置するもの。 % ( 1 点 )
- 2：左傾の斜位直線と左右縁辺部に弧状線を配置するもの。 % ( 0 点 )
- h 類 - 1：右傾の斜位直線と縁辺部全周にわたり弧状線を配置するもの。 % ( 0 点 )
- 2：左傾の斜位直線と縁辺部全周にわたり弧状線を配置するもの。 % ( 0 点 )
- i 類 - 1：重弧状線を右縁辺部に配置するもの。 % ( 4 点 )
- 2：重弧状線を左縁辺部に配置するもの。 % ( 2 点 )
- 3：重弧状線を上縁辺部に配置するもの。 % ( 0 点 )
- 4：重弧状線を左右対称に配置するもの。 % ( 2 点 )
- 5：縁辺部全周にわたり重弧状線を配置するもの。 % ( 0 点 )
- 6：重弧状線と弧状線を縁辺部に配置するもの。 % ( 9 点 )
- j 類 - 1：右傾の斜位直線と重弧状線を右縁辺部に配置するもの。 % ( 0 点 )
- 2：右傾の斜位直線と重弧状線を左縁辺部に配置するもの。 % ( 0 点 )
- 3：左傾の斜位直線と重弧状線を右縁辺部に配置するもの。 % ( 0 点 )
- 4：左傾の斜位直線と重弧状線を左縁辺部に配置するもの。 % ( 0 点 )
- k 類：ブーメラン状刻線を施すもの。 % ( 0 点 )

- 1類 - 1 : 渦巻状刻線を施すもの。 % ( 2点 )  
 - 2 : 右傾の斜位直線に渦巻状刻線を施すもの。 % ( 2点 )  
 - 3 : 左傾の斜位直線に渦巻状刻線を施すもの。 % ( 0点 )
- m類 - 1 : 弧状線、重弧状線および渦巻状刻線を施すもの。 % ( 0点 )  
 - 2 : 右傾の斜位直線と弧状線、重弧状線および渦巻状刻線を施すもの。 % ( 0点 )  
 - 3 : 左傾の斜位直線と弧状線、重弧状線および渦巻状刻線を施すもの。 % ( 0点 )
- x類 : 分類不能および不明のもの。 % ( 点 )

結果、無文のa類が半数以上を占める。また、文様をもつものでは、d - 1類が多数見られる。

[材質] 石質は、泥岩 % ( 点 ) 凝灰岩 % ( 点 ) 安山岩 % ( 9点 ) 緑色凝灰岩 % ( 7点 ) 頁岩 % ( 7点 ) 変朽安山岩 % ( 3点 ) 石英安山岩 % ( 1点 ) 凝灰角礫岩 % ( 1点 ) である。

円形岩版(第 図3、6、 、 、 、 、第 図 、 、 、 、第 図 ~ 、第 図 ~ 、第 図 ~ 、第 図 ~ 、第 図 ~ )

平面形が円形を呈する岩版である。遺構内から 点、遺構外から 点、計 点が出土している。

[破損状況] 完形品 % ( 点 ) 一部欠損 % ( 点 )、約半分欠損 % ( 点 )、一部残存 % ( 点 ) である。

[加工状況]

a類 : 表裏両面および側面に平滑的な研磨を施し、断面形が長方形および台形に近い形状を呈するもの。 % ( 点 )

b類 : 表裏両面に平滑的な研磨を施し、側面が丸みを帯びているもの。 % ( 点 )

c類 : 周縁のすべてを打ち欠きによって整形し、表裏両面に平滑的な研磨を施すもの。 % ( 点 )

d類 : 周縁の一部を打ち欠きによって整形し、表裏両面に平滑的な研磨を施すもの。 % ( 1点 )

e類 : 周縁を打ち欠きと研磨によって整形し、表裏両面に平滑的な研磨を施すもの。 % ( 9点 )

f類 : 表面を球状、裏面を平滑的に研磨し、断面形が蒲鉾状を呈するもの。 % ( 1点 )

[材質] 石質は、凝灰岩 % ( 点 ) 頁岩 % ( 点 ) 安山岩 % ( 点 ) 緑色凝灰岩 % ( 点 ) 泥岩 % ( 7点 ) 変朽安山岩 % ( 3点 ) 石英安山岩 % ( 2点 ) 熔結凝灰岩 % ( 2点 ) 凝灰角礫岩 % ( 1点 ) である。

その他の岩版(第 図6、第 図 、第 図 ~ 、第 図 ~ 、第 図 ~ )

平面形が三角形および円形以外の岩版である。遺構内から 2点、遺構外から 点、計 点が出土している。

形状は、楕円形ないし不整楕円形を呈するもの 点、方形を呈するもの 7点、台形を呈するもの 1点、不明なもの 7点である。

石質は、凝灰岩 % ( 点 ) 泥岩 % ( 7点 ) 緑色凝灰岩 % ( 5点 ) 安山岩 % ( 5点 ) 頁岩 % ( 4点 ) 変朽安山岩 % ( 2点 ) 凝灰角礫岩 % ( 1点 ) である。

有孔石製品(第 図7、9、第 図7、 、第 図、 、第 図 ~、第 図 ~、第 図 ~ )

孔を有する石製品である。遺構内から7点、遺構外から 点、計 点出土している。

穿孔された人工的な孔を有するものと、孔を有する自然礫とが見られる。なお、後者は加工痕が見られず、いわゆる「製品」では無いが、孔を有する観点から選択・搬入された可能性を考慮し、本項で記述することとする。

人工的な孔を有するものでは、楕円形を呈するもの9点(第 図、第 図、 、 、 、 、第 図 ) 円形を呈するもの3点(第 図7) 半円形を呈するもの9点(第 図、 ~、 ~、 ~、 ~、 ~、 ~、 ~、 ~) 球形のもの1点(第 図 ) 不整形のもの1点(第 図 )が認められた。うち穿孔が1箇所のもの 点、2箇所のもの1点である。

孔を有する自然礫では、形状は多様であるが、おおむね楕円形および不整形のもの(第 図 ~、第 図 ~ )が大半を占め、その他不整形のもの(第 図 )が認められる。

石質は、凝灰岩 %( 点) 変朽安山岩 %( 点) 泥岩 %( 点) 安山岩 %( 8点) 頁岩 %( 3点) 石英安山岩 %( 2点) 緑色凝灰岩 %( 1点) 熔結凝灰岩 %( 1点) 玉髄 %( 1点) 珩質頁岩 %( 1点)である。

球状石製品(第 図5、 、第 図 ~、第 図 ~ )

球状に整形している石製品である。遺構内から2点、遺構外から 点、計 点が出土している。

欠損品(第 図 ~ )も見られる。

石質は、凝灰岩 %( 点) 泥岩 %( 4点)である。

碗状石製品(第 図4、第 図 ~ )

碗状の凹部を有する石製品である。遺構内から1点、遺構外から8点、計9点が出土している。

石質は、凝灰岩 %( 5点) 泥岩 %( 4点)である。

線刻礫(第 図、第 図 )

線刻が施されている礫である。遺構内から1点、遺構外から1点、計2点が出土している。

石質は、凝灰岩2点である。

採集石製品(第 図 ~ )

特異な形態を呈する自然礫で、縄文人が製品もしくは道具として意図的に採集してきたと考えられるものである。なお、これらは加工痕が見られず、いわゆる「製品」では無いが、本遺跡のこれまでの調査報告書で、同様のものを「採集石製品」の名称で報告している点、また、それらには一部加工痕の認められるものも含まれている点から、今回も同じ名称の項で記述することとする。遺構外から3点が出土している。瓢箪形を呈するもの(第 図1) 窪みの見られるもの(第 図 ) 不整形三角形のもの(第 図 )とが見られる。

石質は、珩質頁岩、変朽安山岩、玉髄各1点である。

石棒（第 図8、第 図 、 ）

棒の形態に加工している石製品である。遺構内から1点、遺構外から2点、計3点が出土している。石質は、石英安山岩2点、石英安山岩1点である。断面形状が三角形のもの（第 図 ）も見られる。

石刀（第 図5、第 図 、第 図 ～ ）

刀の形態に加工している石製品である。遺構内から2点、遺構外から8点、計 点が出土している。石質は、粘板岩 %（9点）輝緑凝灰岩 %（1点）である。溝が見られるもの（第 図 、 ）も見られる。

石冠（第 図 、第 図 ～ ）

三角柱状の形態を呈する石製品である。遺構内から1点、遺構外から3点、計4点が出土している。側面に敲打痕と凹痕の見られるもの（第 図 ） 端部や表面に磨痕の認められるもの（第 図 、 ）が見られる。  
石質は、安山岩2点、変朽安山岩2点である。

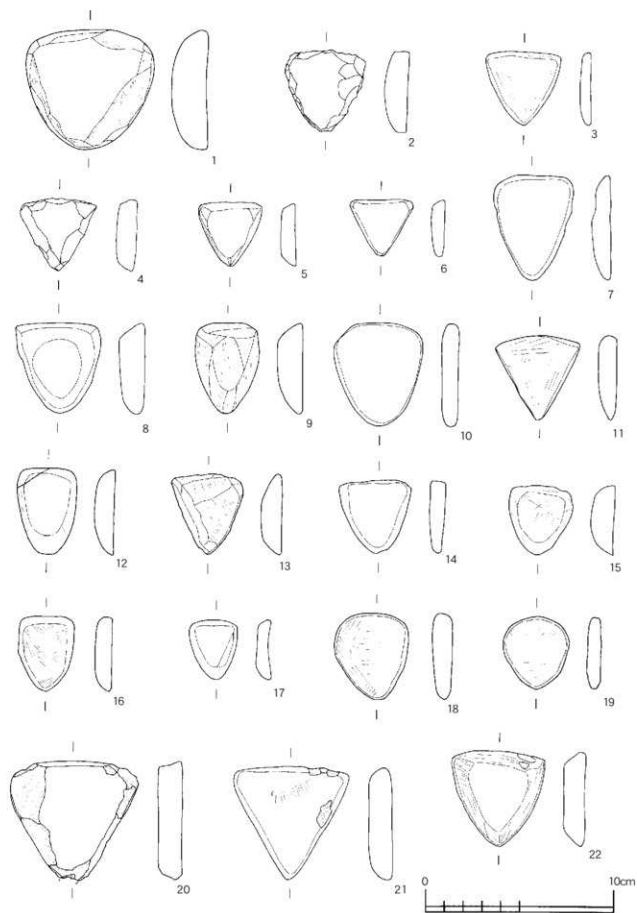
軽石石製品（第 図3、4、第 図 、第 図 ～ ）

軽石を素材とし加工しているものである。

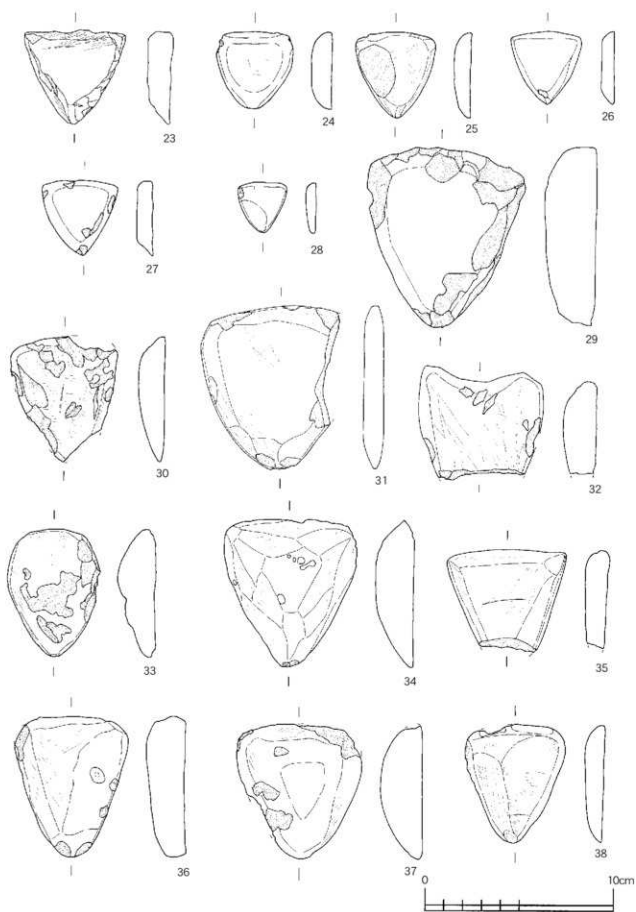
平坦な面の見られるもの（第 図3、第 図 、 、 ～ ） 湾曲した滑らかな面が見られるもの（第 図 ） 球状に滑らかな面が見られるもの（第 図4、第 図 、 ）などがある。  
石質は軽石である。

その他の石製品（第 図 、第 図 ～ 、第 図 ～ 、 、 ）

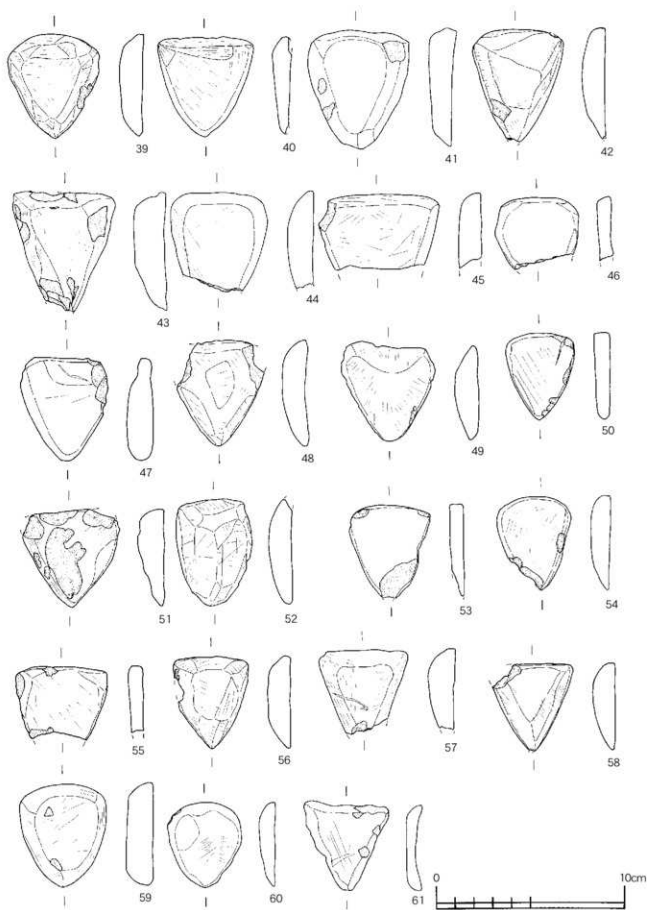
上記に含まれないものを一括した。遺構内から1点、遺構外から 点、計 点が出土している。刻線により施文されているもの（第 図 ～ ） 盤状で側縁に溝が認められるもの（第 図 ） 中央部に孔、側縁に溝および鍵状の刻目が見られるもの（第 図 ） おおむね棒状を呈し、部分的に研磨痕の認められるもの（第 図 ～ ） 底面が円形ないし方形で断面が三角形を呈し、刻目や溝の施されるもの（第 図 ～ ） 瑪瑙を素材とし滑らかに研磨されているもの（第 図 、第 図 ） などが見られる。



第370図 遺構外出土石製品 (1)

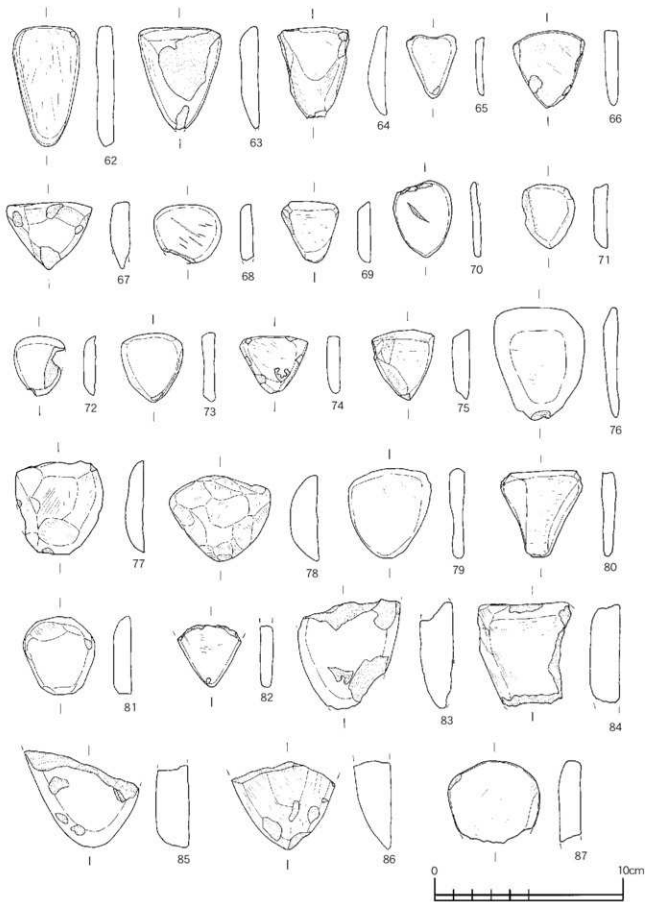


第371図 遺構外出土石製品 (2)

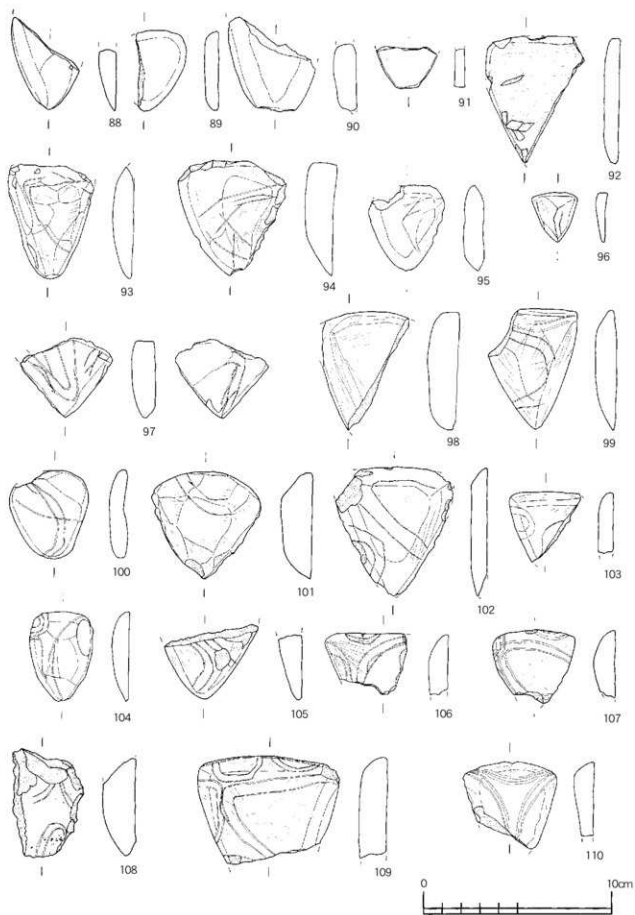


第372図 遺構外出土石製品 (3)

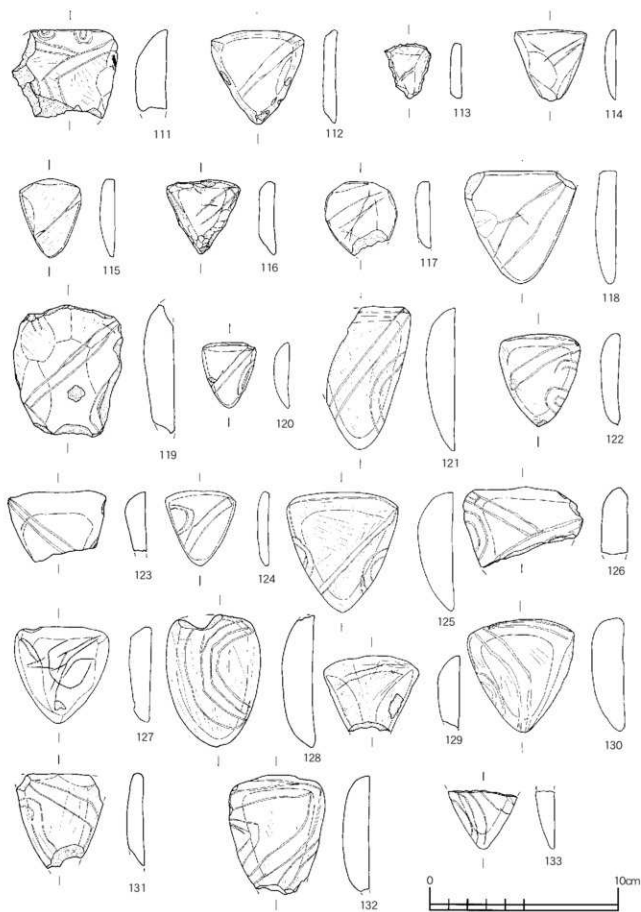




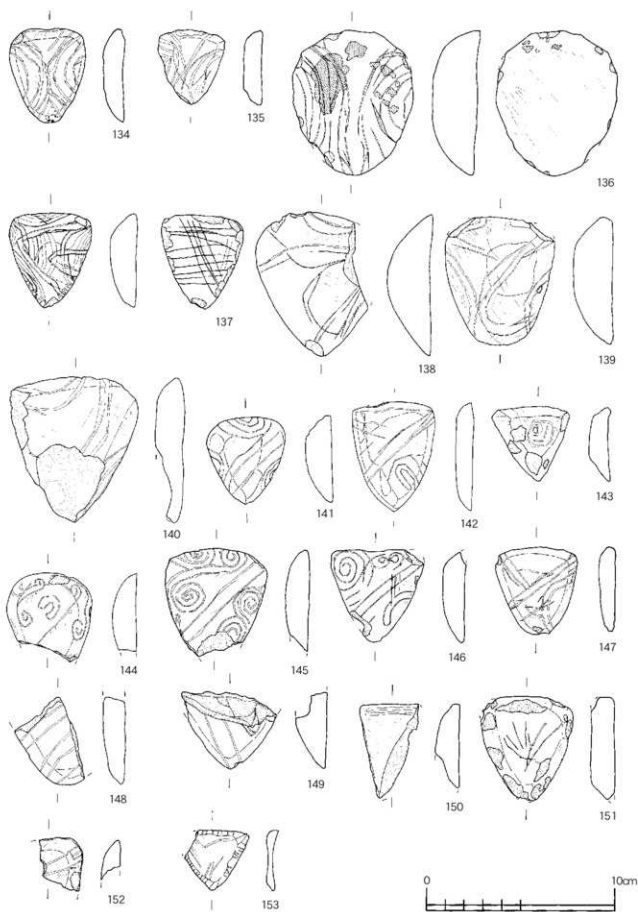
第373図 遺構外出土石製品 (4)



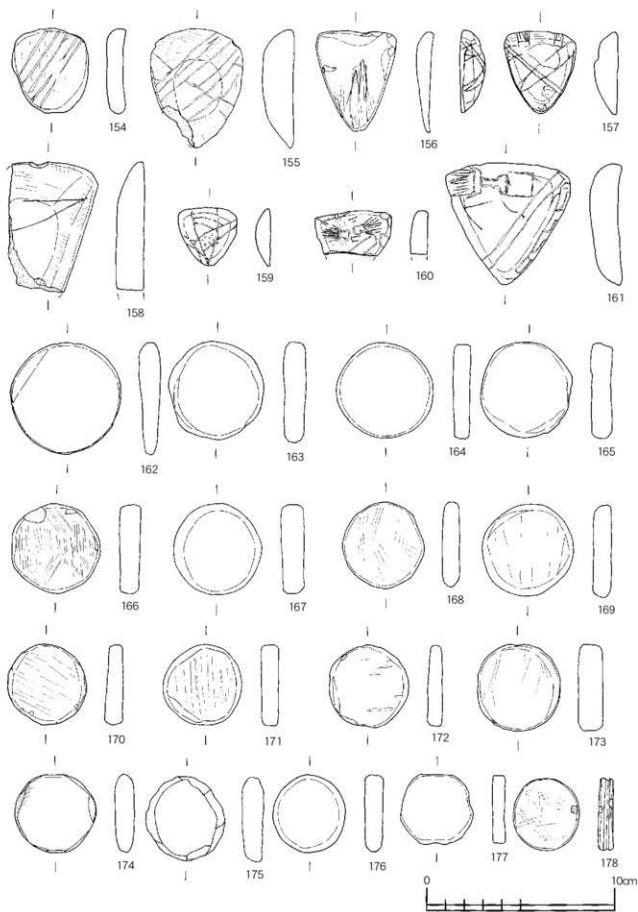
第374図 遺構外出土石製品 (5)



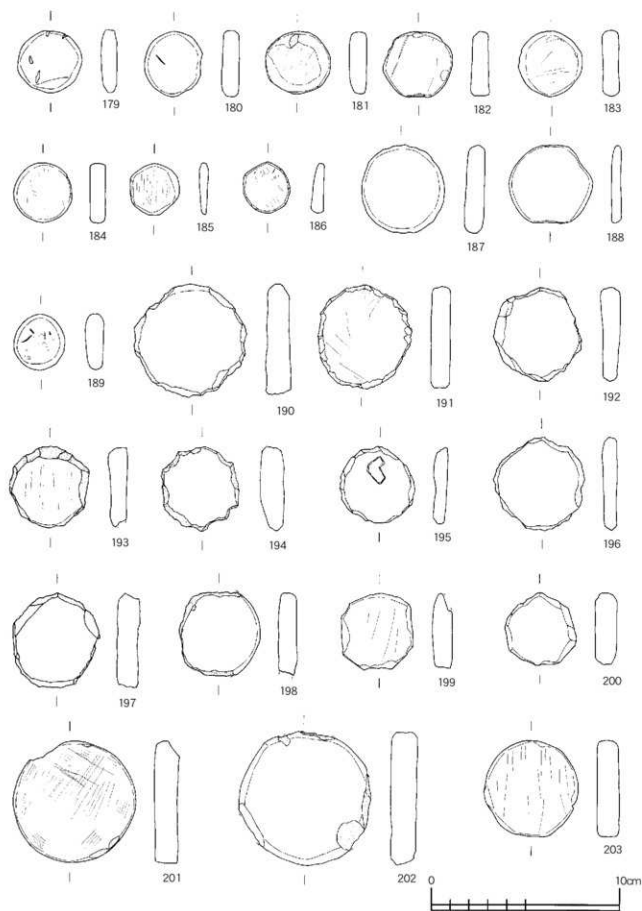
第375図 遺構外出土石製品 (6)



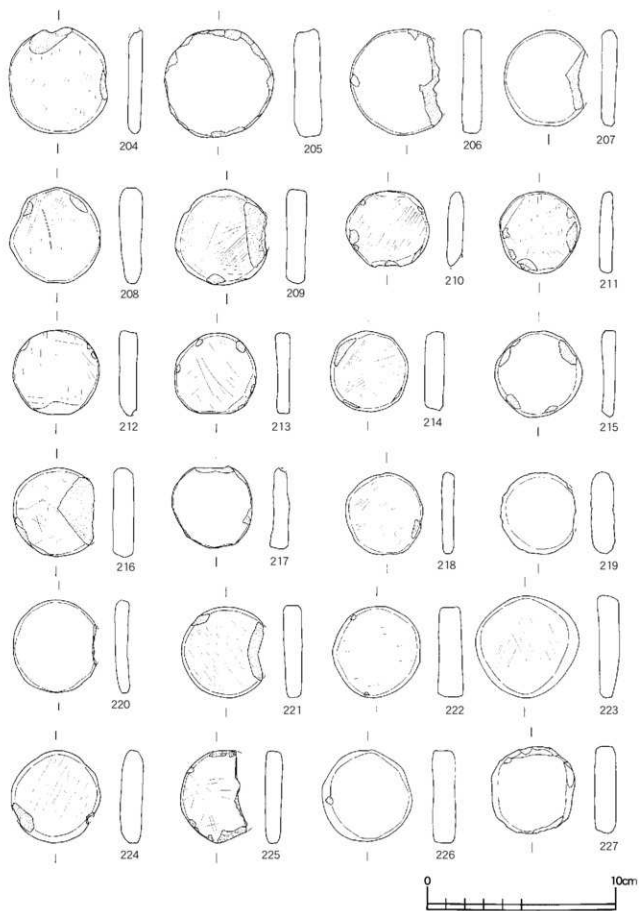
第376図 遺構外出土石製品 (7)



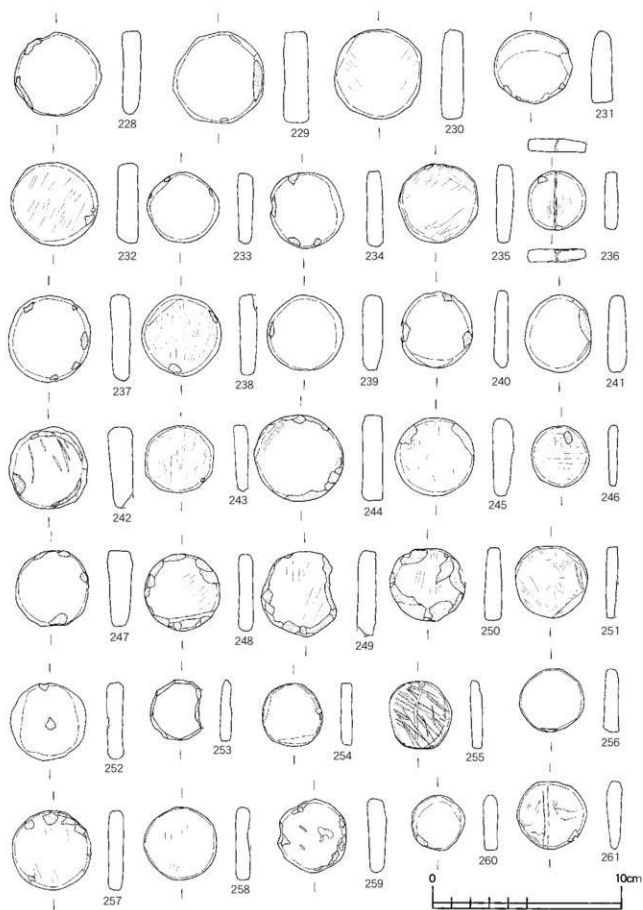
第377図 遺構外出土石製品 (8)



第378図 遺構外出土石製品 (9)

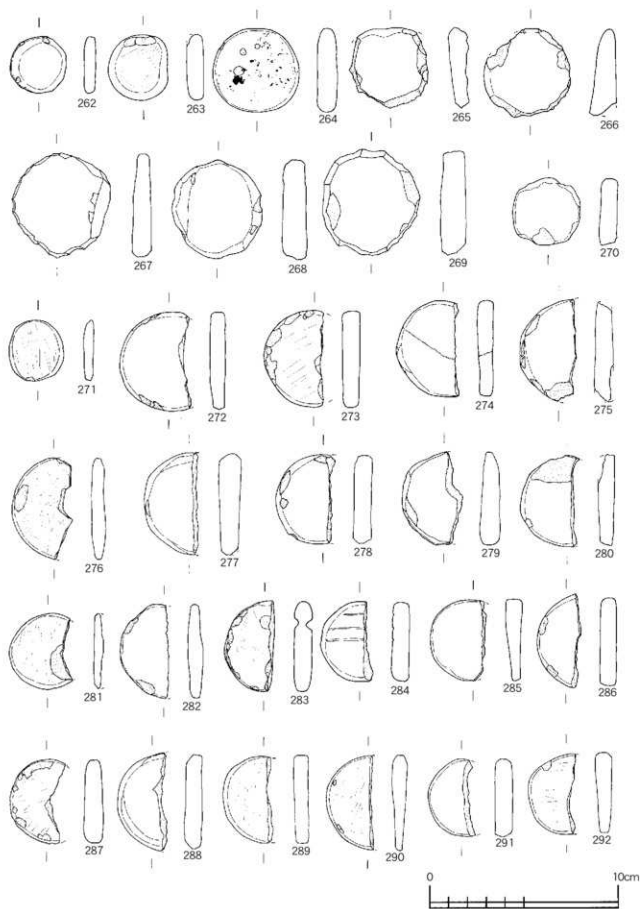


第379図 遺構外出土石製品 (10)

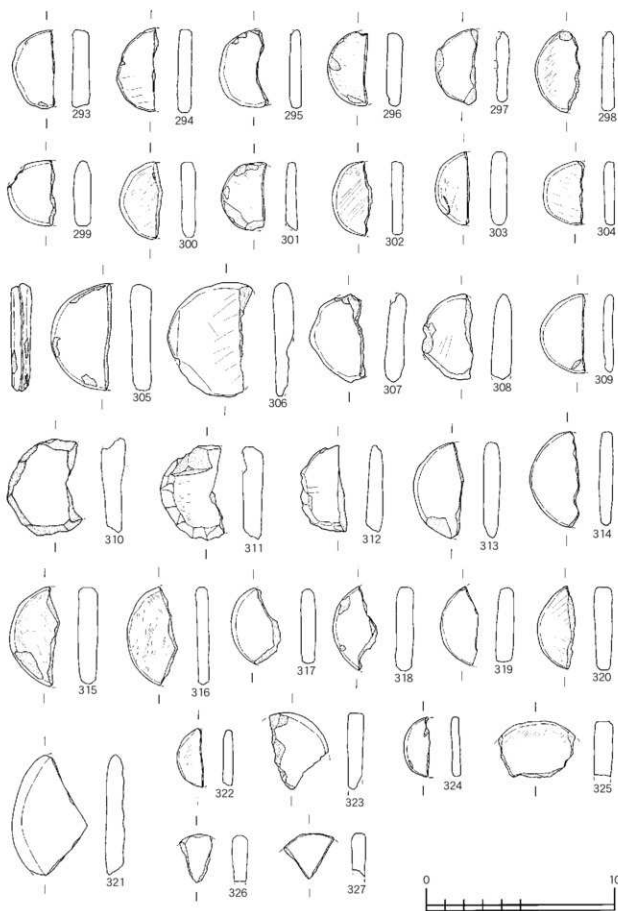


第380図 遺構外出土石製品 (11)

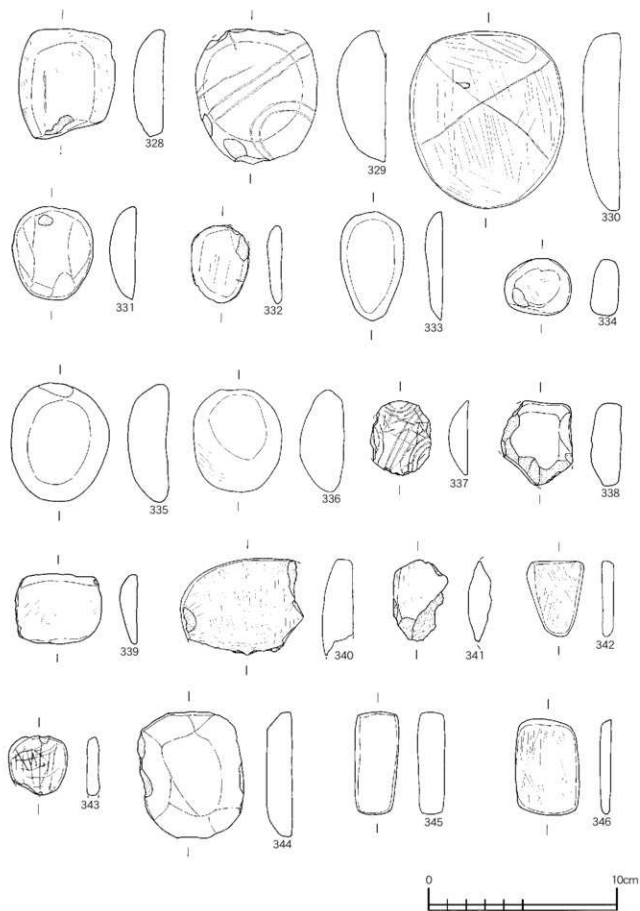




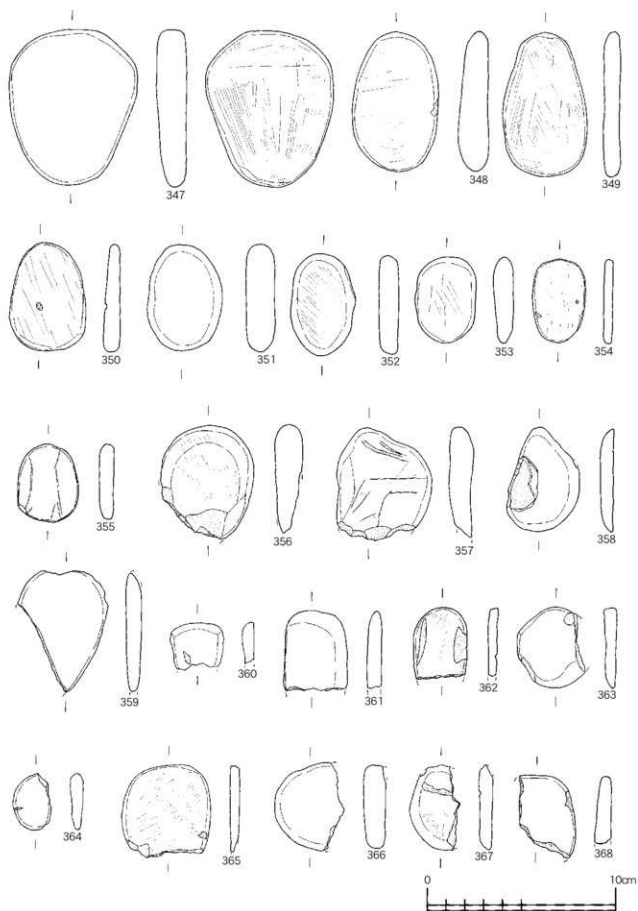
第381図 遺構外出土石製品 (12)



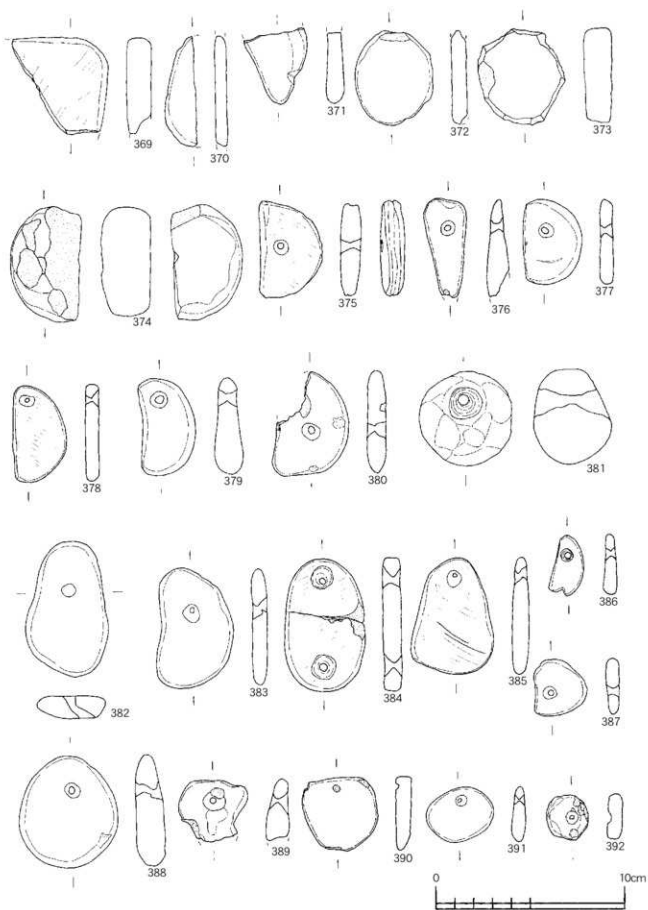
第382図 遺構外出土石製品 (13)



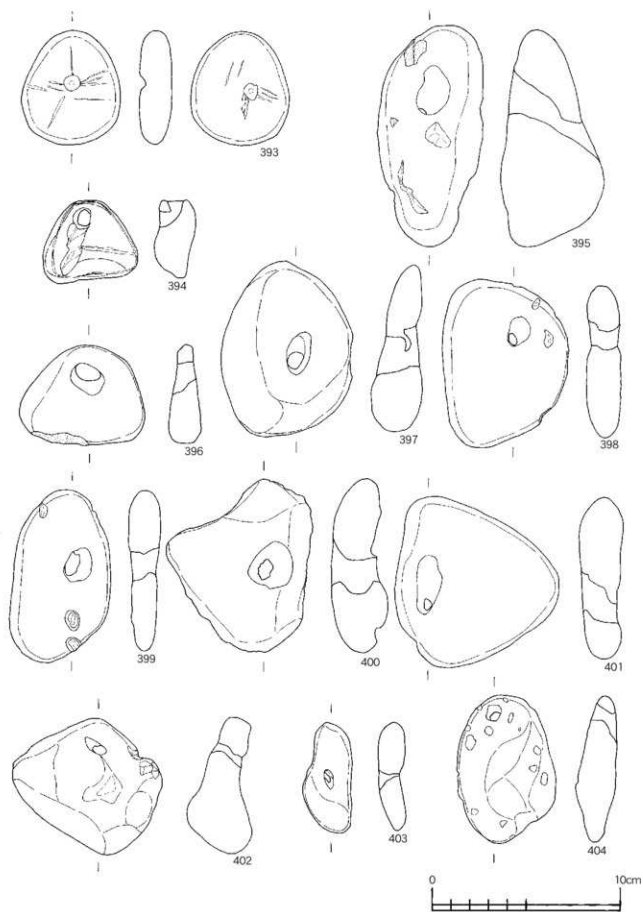
第383図 遺構外出土石製品 (14)



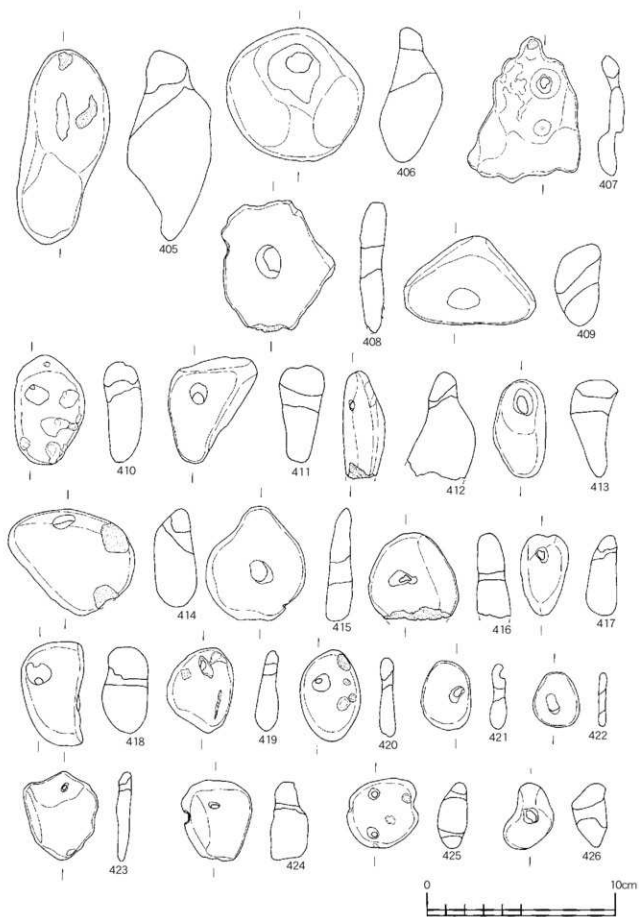
第384図 遺構外出土石製品 (15)



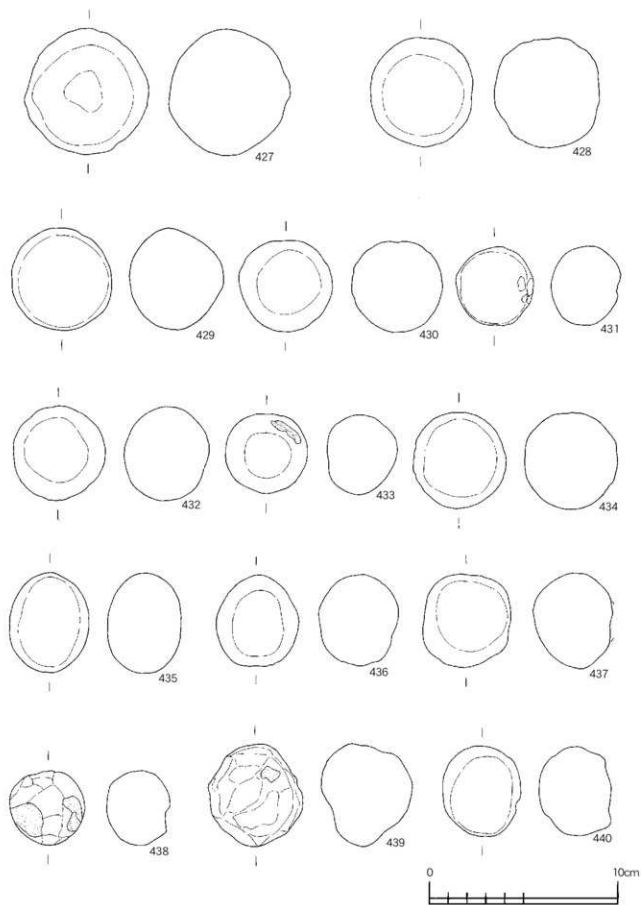
第385図 遺構外出土石製品 (16)



第386図 遺構外出土石製品 (17)

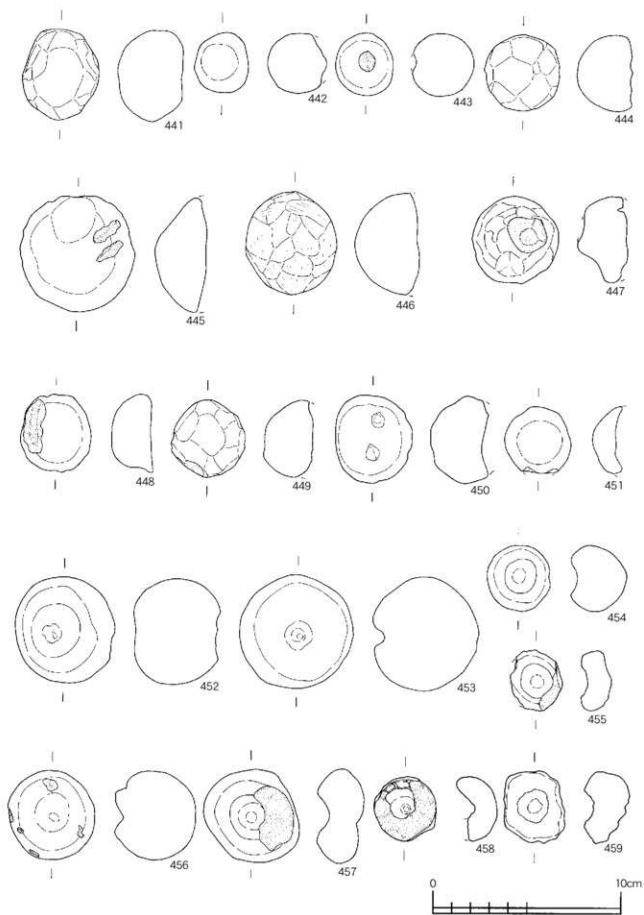


第387図 遺構外出土石製品 (18)

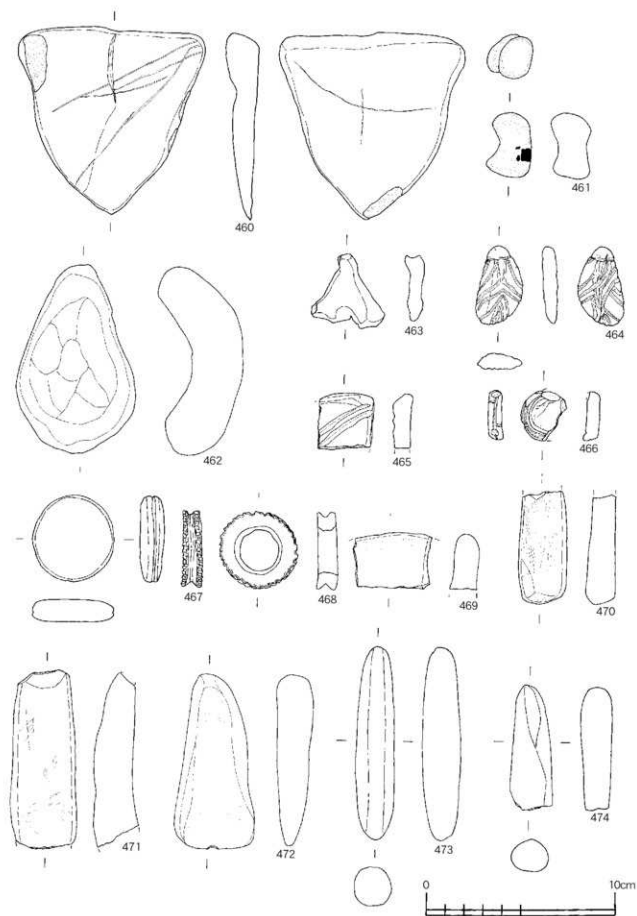


第388図 遺構外出土石製品 (19)

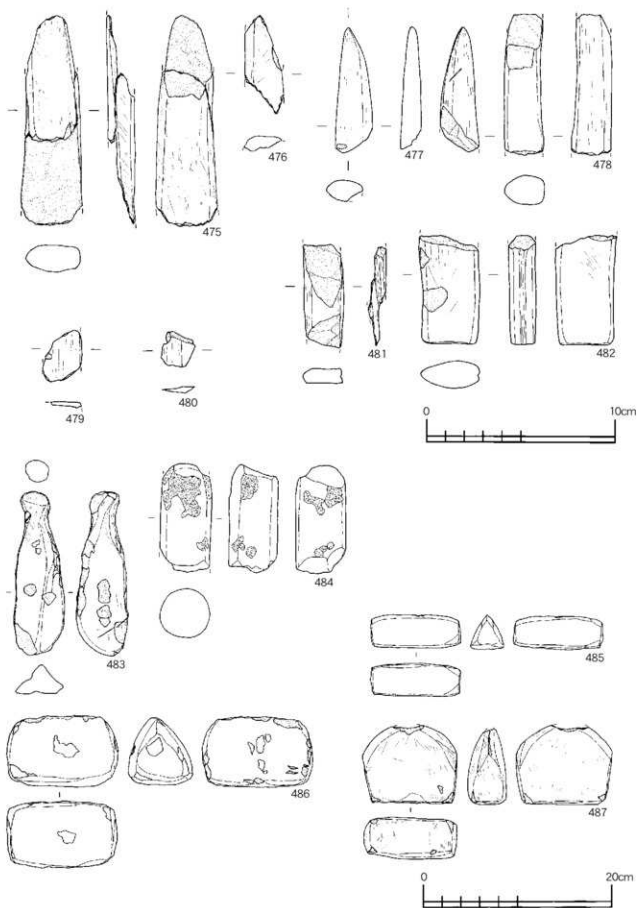




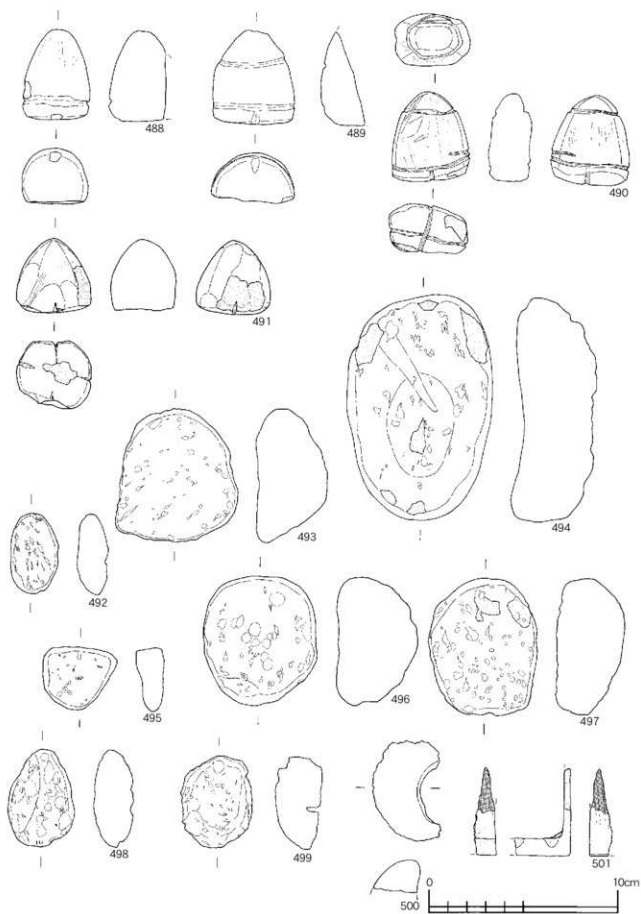
第389図 遺構外出土石製品 (20)



第390図 遺構外出土石製品 (21)



第391図 遺構外出土石製品 (22)



第392図 遺構外出土石製品 (23)

## 平成 年度調査のまとめ

稲山遺跡は、青森市諏訪沢字山辺に所在する。

本遺跡は、青森市東部の山地に位置し、砥取山から北東に伸びる小山地の末端部に相当する稲山の南丘陵、標高 〃 mに位置する。調査対象区は遺跡の北側にあたり、調査区中央部は、丘陵が一部南に突き出し、台地状の地形となっている。西側は緩やかな丘陵、東側は平坦に近い地形である。

本遺跡の発掘調査は、平成 年度より実施しており、平成 年度調査は、第三次調査に相当する。平成 年度調査においては、調査対象区東側や中央部の台地上を主体に調査面積 ㎡の発掘調査を実施した。

調査の結果、竪穴式住居跡 軒、土坑 基、埋設土器遺構 基、配石遺構8基、溝状遺構4基、焼土遺構3基を検出した。竪穴式住居跡は、縄文時代前期中葉の時期と思われるもの2軒、縄文時代前期末葉の時期と思われるもの9軒である。土坑は、縄文時代前期と思われるもの 基、前期ないし前期以前と思われるもの2基、前期ないし前期以降と思われるもの6基、縄文時代後期と思われるもの 基、後期ないし後期以前と思われるもの 基、後期ないし後期以降と思われるもの 基、時期が不明なもの

基である。埋設土器遺構は、縄文時代前期末葉と思われるもの 基、縄文時代前期後半と思われるもの3基、縄文時代後期前半と思われるもの2基である。配石遺構は時期を特定できるような遺物の出土は見られなかったが確認層より縄文時代後期初頭から前葉と思われる。溝状遺構も遺物の出土はないが他遺構との重複関係より縄文時代前期以降と思われるもの1基、縄文時代後期以前と思われるもの2基、縄文時代後期以降と思われるもの1基である。焼土遺構は、他遺構との重複関係より縄文時代後期以降と思われるもの1基、時期不明なもの2基である。

これらの遺構は、縄文時代前期、後期ともにほとんどがこれまでの調査と同様調査区中央部の台地上で検出しており、台地を取り囲むように濃密に分布している。土坑については新たに、これまでの袋状、フラスコ状のものとは異なる、平面形が隅丸長方形や長い楕円形を呈するタイプのものを検出しており、これらには、第 群土器と石器との共伴関係が一部見られる。また、埋設土器遺構では、縄文時代前期以外に縄文時代後期前葉のものを検出した。また、詳細な時期は不明であるが、溝状遺構や焼土遺構を検出した。

出土遺物は、土器、石器、土製品、石製品等段ボール箱換算で計 箱が出土している。検出遺構と同様調査区中央部の台地上で大半が出土している。出土土器は、第 群、第 群土器である。第 群土器では、四足を伸ばした動物をモチーフにしていると思われる狩猟土器も出土している。石器は、遺構内外より剥片石器 点、石斧 点、礫石器 点、水晶 点、計 点と多数出土している。土製品並びに石製品では、これまでの調査と同様、土器片土器片利用土製品や三角形岩版、円形岩版が多数出土している。

また、調査区東端部では、遺構は無く、流れ込みと思われる状況で散発的な遺物の出土が見られるのみであったことから全面調査には至らないと判断した。この地点の出土遺物については、本遺跡の主体部と思われる調査区中央部からのものとは距離的にも考えにくく、平成 年度本遺跡の東方で新たに稲山(2)遺跡が確認されたこともあり、本遺跡外より東側への関連が考えられる。

本遺跡の発掘調査は、これまで平成 年度から平成 年度の四次にわたり実施しており、調査対象範囲のうち残る ㎡については、平成 年度に調査を予定している状況である。

最後になりましたが、本遺跡の現地調査並びに整理作業・報告書刊行作業にわたり、ご指導ご協力を賜った関係各位に深くお礼を申し上げます。



## 報 告 書 抄 録

ふりがな	いなやまいせきはつくつちょうさほうこくしょ							
書名	稲山遺跡発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 集							
編著者名	小野貴之							
編集機関	青森市教育委員会							
所在地	〒 青森県青森市中央一丁目 - 5 TEL - -							
発行年月日	西暦 年 3 月 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測値系		調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
いな 稲	やま 山  あお ちり し あお あび 青 森 市 大 字  す わ の さ だ り あ び や ま べ 諏 訪 沢 字 山 辺					～		道路建設（東北縦貫自動車道八戸線建設工事並びに高規格道路建設促進事業）に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構			主な遺物	特記事項	
いな 稲	やま 山  集 落 跡	縄 文	竪穴式住居跡 土坑 埋設土器遺構 配石遺構 溝状遺構 焼土遺構	軒 基 基 8 基 4 基 3 基	縄文土器 石器 土製品 石製品			

## 既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財	1	『三内置園遺跡調査概報。』	青森市埋蔵文化財調査報告書	
"	2	『四ツ石遺跡調査概報。』	"	『新町野遺跡発掘調査報告書。』
"	3	『玉清水遺跡調査概報。』	"	『野木遺跡発掘調査報告書。』
"	4	『三内丸山遺跡調査概報。』	"	『市内遺跡詳細分布調査報告書。』
"	5	『野木和遺跡調査報告書。』	"	『小牧野遺跡発掘調査報告書。』
"	6	『玉清水 遺跡発掘調査報告書。』	"	『野木遺跡発掘調査概報。』
"	7	『大浦遺跡調査報告書。』	"	『熊沢遺跡発掘調査概報。』
"	8	『孫内遺跡発掘調査報告書。』	"	『市内遺跡詳細分布調査報告書。』
		『壺沢遺跡。』	"	『葛野(2)遺跡発掘調査報告書。』
		『四戸橋遺跡調査報告書。』	"	『小牧野遺跡発掘調査報告書。』
青森市の埋蔵文化財		『山野峠遺跡。』	"	『新町野・野木遺跡発掘調査概報。』
"		『長森遺跡発掘調査報告書。』	"	『稲山遺跡発掘調査概報。』
"		『田茂木野遺跡発掘調査報告書。』	"	『熊沢遺跡発掘調査報告書。』
"		『横内城跡発掘調査報告書。』	"	『稲山遺跡発掘調査概報。』
"		『三内丸山 遺跡発掘調査報告書。』	"	『小牧野遺跡発掘調査報告書。』
青森市埋蔵文化財調査報告書			"	『桜塚(1)・雲谷山吹(3)遺跡 発掘調査報告書。』
"	第 集	『山吹(1)遺跡発掘調査報告書。』	"	『大矢沢野田(1)遺跡調査報告書。』
"	第 集	『埋蔵文化財出土遺物調査報告書。』	"	『市内遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『三内丸山(2)遺跡発掘調査概報。』	"	『新町野遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『市内遺跡発掘調査報告書。』	"	『野木遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『小牧野遺跡発掘調査概報。』	"	『小牧野遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『市内遺跡詳細分布調査報告書。』	"	『稲山遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『小三内遺跡発掘調査報告書。』	"	『稲山遺跡発掘調査概報。』
"	第 集	『三内丸山(2)小三内遺跡発掘調査報告書。』	"	『大矢沢野田(1)遺跡発掘調査概報。』
"	第 集	『横内遺跡・横内(2)遺跡発掘調査報告書。』	"	『市内遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『市内遺跡詳細分布調査報告書。』	"	『小牧野遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『桜塚(2)遺跡発掘調査報告書。』	"	『大矢沢野田(1)遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『桜塚(1)遺跡発掘調査概報。』	"	『稲山遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『三内丸山(2)遺跡発掘調査報告書。』	"	『稲山遺跡発掘調査概報。』
"	第 集	『市内遺跡詳細分布調査報告書。』	"	『市内遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『小牧野遺跡発掘調査報告書。』	"	『雲谷山吹(4)〜(7)遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『桜塚(1)遺跡発掘調査概報。』	"	『稲山遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『新町野遺跡試掘調査報告書。』	"	『深沢(3)遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『葛野(2)遺跡発掘調査報告書。』	"	『近野遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『小牧野遺跡発掘調査報告書。』	"	『市内遺跡発掘調査報告書。』
"	第 集	『桜塚(1)遺跡発掘調査報告書。』	"	『小牧野遺跡発掘調査報告書。』

青森市埋蔵文化財調査報告書第 集

### 稲山遺跡発掘調査報告書

発行年月日 平成 年 3 月 日

発行 青森市教育委員会  
〒 青森市中央一丁目 5

TEL

印刷 青森オフセット印刷株式会社  
〒 青森市本町二丁目

TEL



